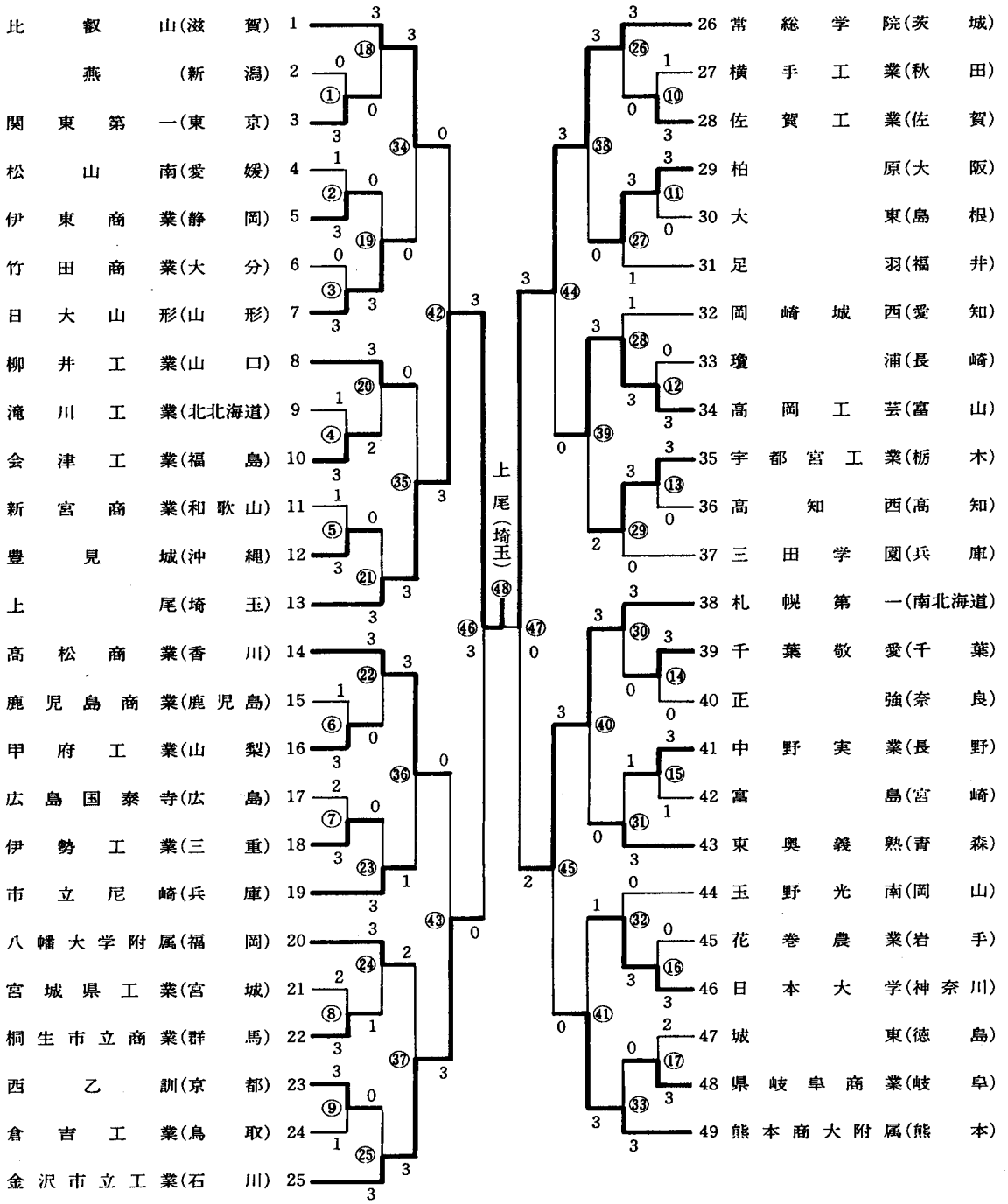
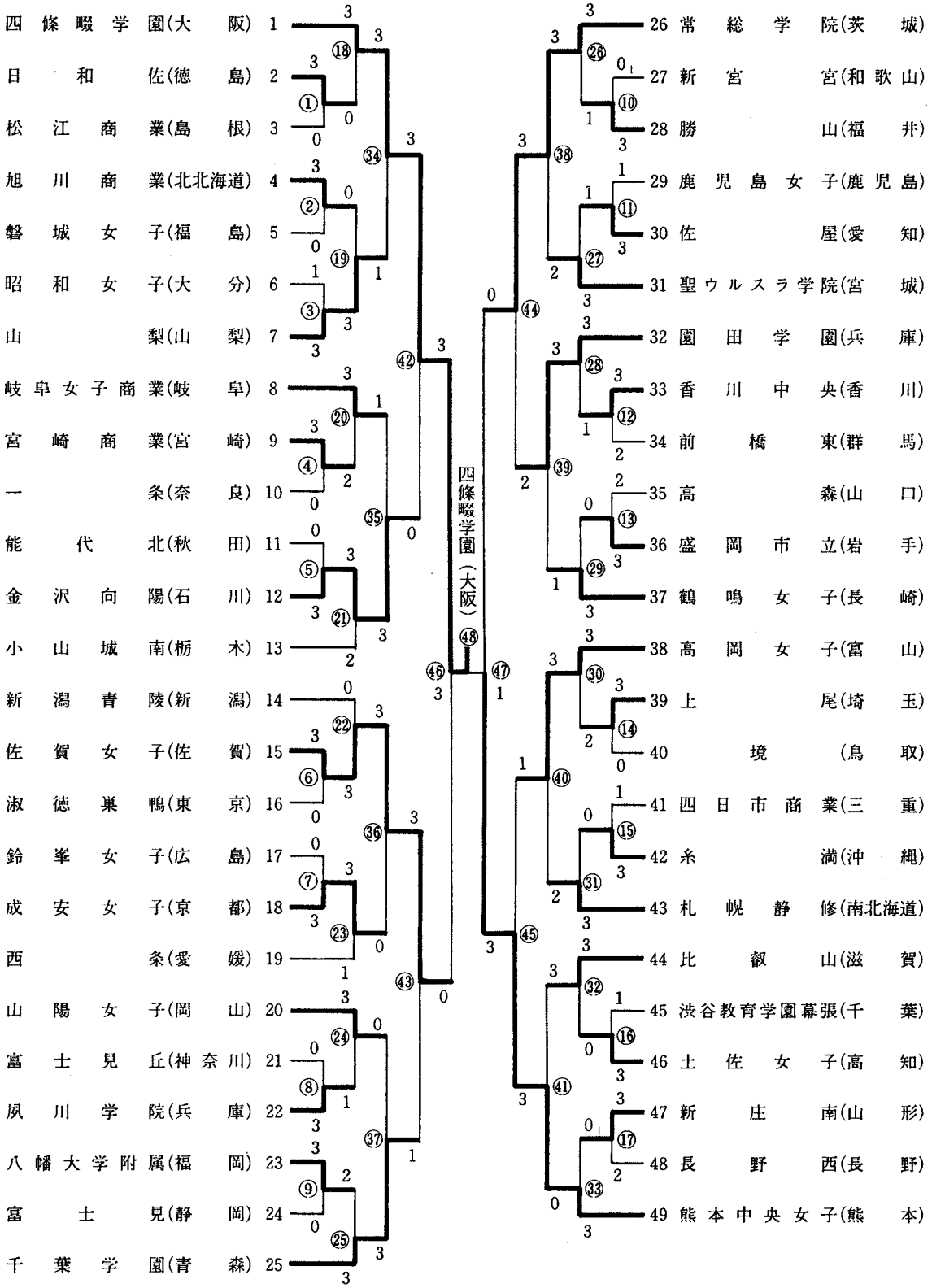
第39回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1988年度)

期日　昭和63年８月１日～６日
会場　宝塚市立スポーツセンター総合体育館　　三和銀行逆瀬川体育館
　　兵庫県立宝塚北高等学校体育館　　夙川学院高等学校増谷記念館

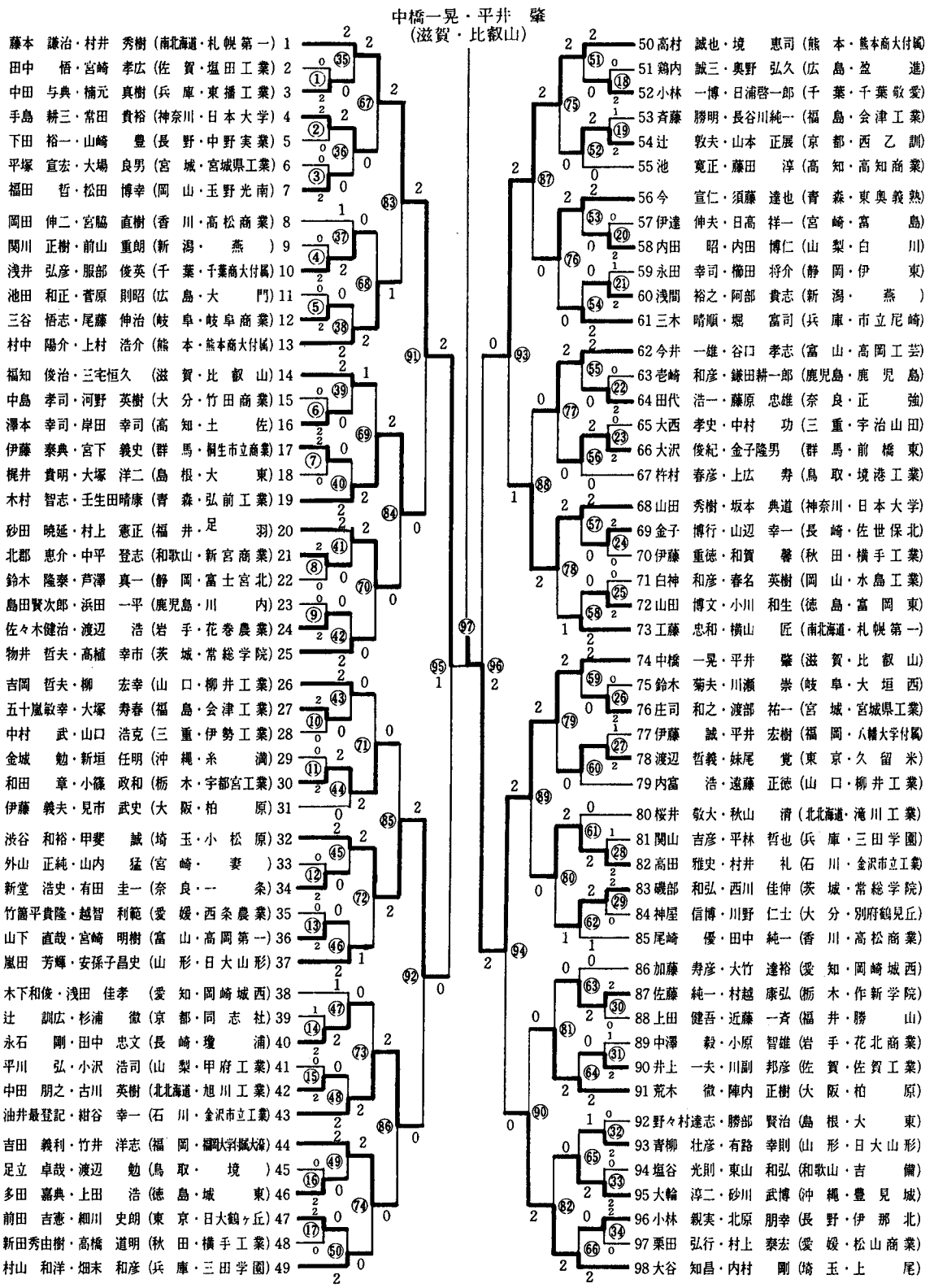
男子団体　(49校)



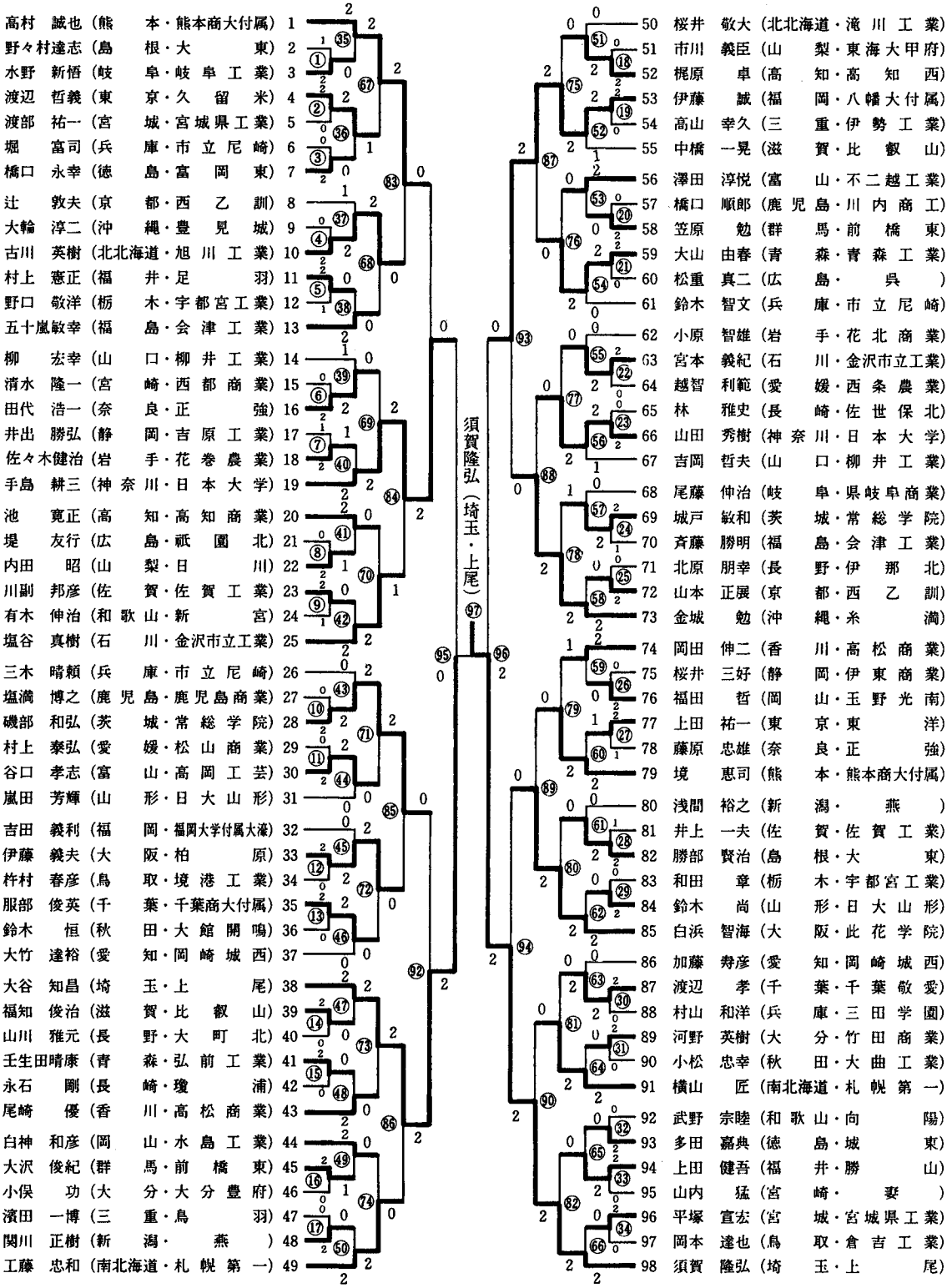
女子団体 (49校)


四條畷学園(大阪) 1
日和佐(徳島) 2
松江商業(島根) 3
旭川商業(北北海道) 4
磐城女子(福島) 5
昭和女子(大分) 6
山梨(山梨) 7
岐阜女子商業(岐阜) 8
宮崎商業(宮崎) 9
一条(奈良) 10
能代北(秋田) 11
金沢向陽(石川) 12
小山城南(栃木) 13
新潟青陵(新潟) 14
佐賀女子(佐賀) 15
淑徳巣鴨(東京) 16
鈴峯女子(広島) 17
成安女子(京都) 18
西条(愛媛) 19
山陽女子(岡山) 20
富士見丘(神奈川) 21
夙川学院(兵庫) 22
八幡大学附属(福岡) 23
富士見(静岡) 24
千葉学園(青森) 25
26 常総学院(茨城)
27 新宮宮(和歌山)
28 勝山(福井)
29 鹿児島女子(鹿児島)
30 佐屋(愛知)
31 聖ウルスラ学院(宮城)
32 園田学園(兵庫)
33 香川中央(香川)
34 前橋東(群馬)
35 高森(山口)
36 盛岡市立(岩手)
37 鶴鳴女子(長崎)
38 高岡女子(富山)
39 上尾(埼玉)
40 境(鳥取)
41 四日市商業(三重)
42 糸満(沖縄)
43 札幌静修(南北海道)
44 比叡山(滋賀)
45 渋谷教育学園幕張(千葉)
46 土佐女子(高知)
47 新庄南(山形)
48 長野西(長野)
49 熊本中央女子(熊本)
四條畷学園(大阪)

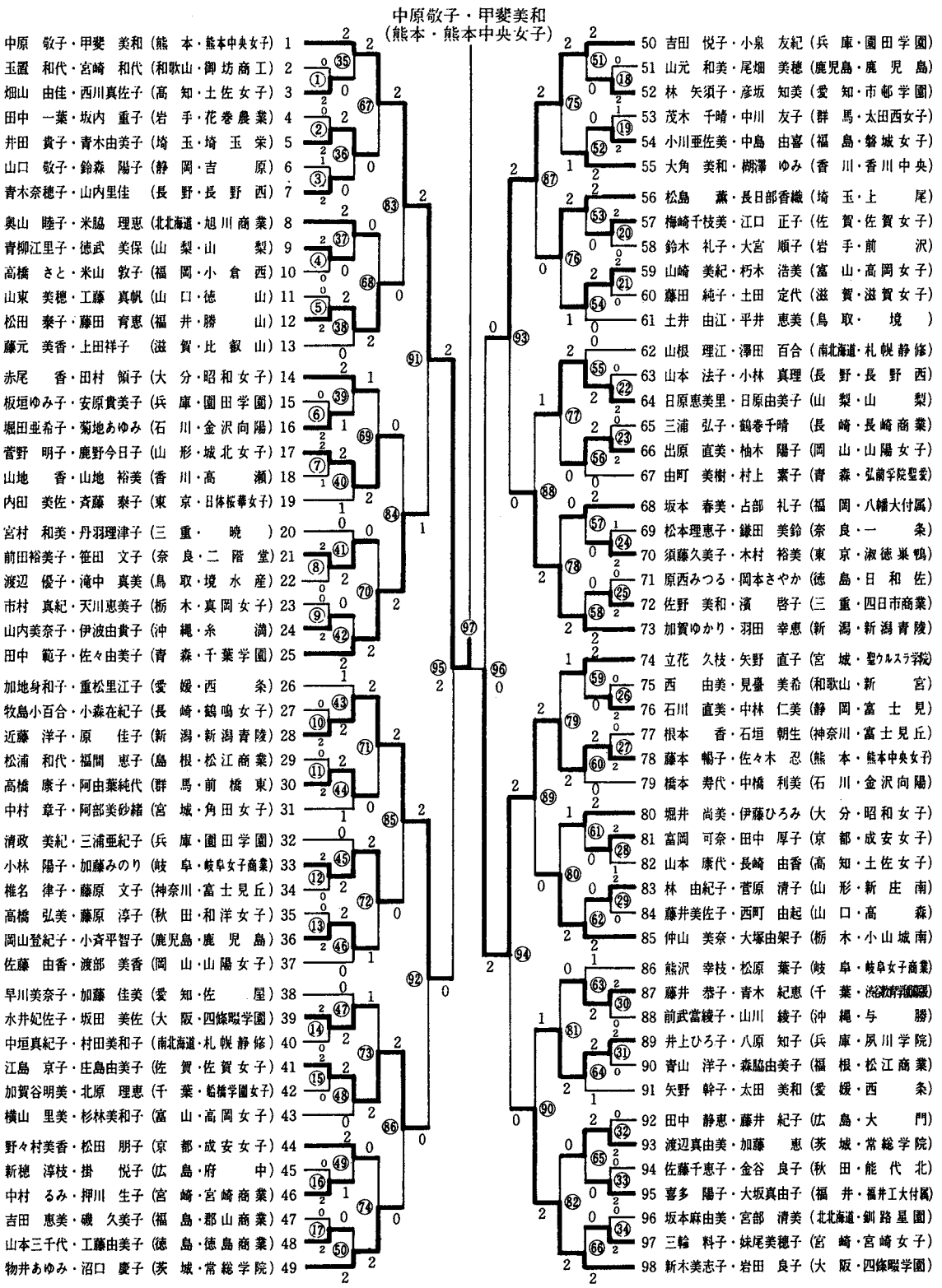
男子ダブルス (98組)


中橋一晃・平井　肇
(滋賀・比叡山)
藤本　謙治・村井　秀樹 (南北海道・札幌第一) 1
田中　悟・宮崎　孝広 (佐賀・塩田工業) 2
中田　与典・楠元　真樹 (兵庫・東播工業) 3
手島　耕三・常田　貴裕 (神奈川・日本大学) 4
下田　裕一・山崎　豊 (長野・中野実業) 5
平塚　宣宏・大場　良男 (宮城・宮城県工業) 6
福田　哲・松田　博幸 (岡山・玉野光南) 7
岡田　伸二・宮脇　直樹 (香川・高松商業) 8
関川　正樹・前山　重朗 (新潟・　燕　) 9
浅井　弘彦・服部　俊英 (千葉・千葉商大付属) 10
池田　和正・蒼原　則昭 (広島・大　門) 11
三谷　悟志・尾藤　伸治 (岐阜・岐阜商業) 12
村中　陽介・上村　浩介 (熊本・熊本商大付属) 13
福知　俊治・三宅恒久 (滋賀・比叡山) 14
中島　孝司・河野　英樹 (大分・竹田商業) 15
澤本　幸司・岸田　幸司 (高知・土　佐) 16
伊藤　泰典・宮下　義史 (群馬・桐生市立商業) 17
梶井　貴明・大塚　洋二 (島根・大　東) 18
木村　智志・壬生田晴康 (青森・弘前工業) 19
砂田　暁延・村上　憲正 (福井・足　羽) 20
北郡　恵介・中平　登志 (和歌山・新宮商業) 21
鈴木　隆泰・芦澤　真一 (静岡・富士宮北) 22
島田賢次郎・浜田　一平 (鹿児島・川　内) 23
佐々木健治・渡辺　浩 (岩手・花巻農業) 24
物井　哲夫・高植　幸市 (茨城・常総学院) 25
吉岡　哲夫・柳　宏幸 (山口・柳井工業) 26
五十嵐敏幸・大塚　寿春 (福島・会津工業) 27
中村　武・山口　浩克 (三重・伊勢工業) 28
金城　勉・新垣　任明 (沖縄・糸　満) 29
和田　章・小篠　政和 (栃木・宇都宮工業) 30
伊藤　義夫・見市　武史 (大阪・柏　原) 31
渋谷　和裕・甲斐　誠 (埼玉・小松原) 32
外山　正純・山内　猛 (宮崎・　妻　) 33
新堂　浩史・有田　圭一 (奈良・一　条) 34
竹簡平貴隆・越智　利範 (愛媛・西条農業) 35
山下　直哉・宮崎　明樹 (富山・高岡第一) 36
嵐田　芳輝・安孫子昌史 (山形・日大山形) 37
木下和俊・浅田　佳孝 (愛知・岡崎城西) 38
辻　訓広・杉浦　徹 (京都・同志社) 39
永石　剛・田中　忠文 (長崎・瓊　浦) 40
平川　弘・小沢　浩司 (山梨・甲府工業) 41
中田　朋之・古川　英樹 (北北海道・旭川工業) 42
油井最登記・紺谷　幸一 (石川・金沢市立工業) 43
吉田　義利・竹井　洋志 (福岡・福岡大学附属大濠) 44
足立　卓哉・渡辺　勉 (鳥取・　境　) 45
多田　嘉典・上田　浩 (徳島・城　東) 46
前田　吉憲・細川　史朗 (東京・日大鶴ヶ丘) 47
新田秀由樹・高橋　道明 (秋田・横手工業) 48
村山　和洋・畑末　和彦 (兵庫・三田学園) 49
50 高村　誠也・境　恵司 (熊本・熊本商大付属)
51 鶏内　誠三・奥野　弘久 (広島・盈　進)
52 小林　一博・日浦啓一郎 (千葉・千葉敬愛)
53 斉藤　勝明・長谷川純一 (福島・会津工業)
54 辻　敦夫・山本　正展 (京都・西乙訓)
55 池　寛正・藤田　淳 (高知・高知商業)
56 今　宣仁・須藤　達也 (青森・東奥義塾)
57 伊達　伸夫・日高　祥一 (宮崎・富　島)
58 内田　昭・内田　博仁 (山梨・白　川)
59 永田　幸司・櫛田　将介 (静岡・伊　東)
60 浅間　裕之・阿部　貴志 (新潟・　燕　)
61 三木　晴順・堀　富司 (兵庫・市立尼崎)
62 今井　一雄・谷口　孝志 (富山・高岡工芸)
63 老崎　和彦・鎌田耕一郎 (鹿児島・鹿児島)
64 田代　浩一・藤原　忠雄 (奈良・正　強)
65 大西　孝史・中村　功 (三重・宇治山田)
66 大沢　俊紀・金子隆男 (群馬・前橋東)
67 杵村　春彦・上広　寿 (鳥取・境港工業)
68 山田　秀樹・坂本　典道 (神奈川・日本大学)
69 金子　博行・山辺　幸一 (長崎・佐世保北)
70 伊藤　重徳・和賀　馨 (秋田・横手工業)
71 白神　和彦・春名　英樹 (岡山・水島工業)
72 山田　博文・小川　和生 (徳島・富岡東)
73 工藤　忠和・横山　匠 (南北海道・札幌第一)
74 中橋　一晃・平井　肇 (滋賀・比叡山)
75 鈴木　菊夫・川瀬　崇 (岐阜・大垣西)
76 庄司　和之・渡部　祐一 (宮城・宮城県工業)
77 伊藤　誠・平井　宏樹 (福岡・八幡大学付属)
78 渡辺　哲義・妹尾　覚 (東京・久留米)
79 内富　浩・遠藤　正徳 (山口・柳井工業)
80 桜井　敬大・秋山　清 (北北海道・滝川工業)
81 関山　吉彦・平林　哲也 (兵庫・三田学園)
82 高田　雅史・村井　礼 (石川・金沢市立工業)
83 磯部　和弘・西川　佳伸 (茨城・常総学院)
84 神屋　信博・川野　仁士 (大分・別府鶴見丘)
85 尾崎　優・田中　純一 (香川・高松商業)
86 加藤　寿彦・大竹　達裕 (愛知・岡崎城西)
87 佐藤　純一・村越　康弘 (栃木・作新学院)
88 上田　健吾・近藤　一斉 (福井・勝　山)
89 中澤　毅・小原　智雄 (岩手・花北商業)
90 井上　一夫・川副　邦彦 (佐賀・佐賀工業)
91 荒木　徹・陣内　正樹 (大阪・柏　原)
92 野々村達志・勝部　賢治 (島根・大　東)
93 青柳　壮彦・有路　幸則 (山形・日大山形)
94 塩谷　光則・東山　和弘 (和歌山・吉　備)
95 大輪　淳二・砂川　武博 (沖縄・豊見城)
96 小林　親実・北原　朋幸 (長野・伊那北)
97 栗田　弘行・村上　泰宏 (愛媛・松山商業)
98 大谷　知昌・内村　剛 (埼玉・上　尾)

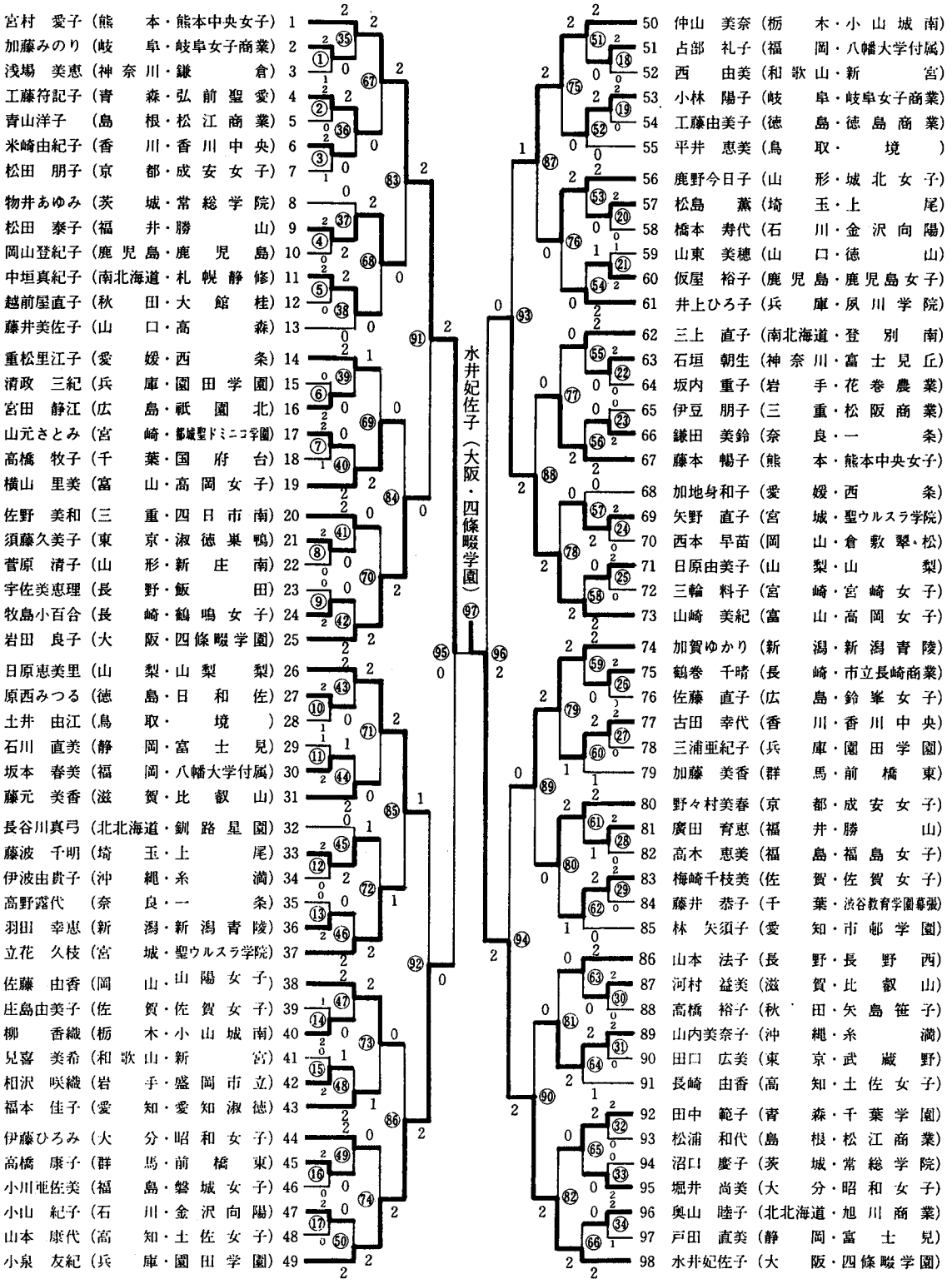
男子シングルス (98名)


高村 誠也 (熊 本・熊本商大付属) 1
野々村達志 (島 根・大 東) 2
水野 新悟 (岐 阜・岐阜工業) 3
渡辺 哲義 (東 京・久 留 米) 4
渡部 祐一 (宮 城・宮城県工業) 5
堀 富司 (兵 庫・市立尼崎) 6
橋口 永幸 (徳 島・富 岡 東) 7
辻 敦夫 (京 都・西 乙 訓) 8
大輪 淳二 (沖 縄・豊 見 城) 9
古川 英樹 (北北海道・旭 川 工 業) 10
村上 憲正 (福 井・足 羽) 11
野口 敬洋 (栃 木・宇都宮工業) 12
五十嵐敏幸 (福 島・会 津 工 業) 13
柳 宏幸 (山 口・柳 井 工 業) 14
清水 隆一 (宮 崎・西 都 商 業) 15
田代 浩一 (奈 良・正 強) 16
井出 勝弘 (静 岡・吉 原 工 業) 17
佐々木健治 (岩 手・花 巻 農 業) 18
手島 耕三 (神奈川・日本大学) 19
池 寛正 (高 知・高知商業) 20
堤 友行 (広 島・祇 園 北) 21
内田 昭 (山 梨・日 川) 22
川副 邦彦 (佐 賀・佐賀工業) 23
有木 伸治 (和歌山・新 宮) 24
塩谷 真樹 (石 川・金沢市立工業) 25
三木 晴頼 (兵 庫・市立尼崎) 26
塩満 博之 (鹿児島・鹿児島商業) 27
磯部 和弘 (茨 城・常総学院) 28
村上 泰弘 (愛 媛・松山商業) 29
谷口 孝志 (富 山・高岡工芸) 30
嵐田 芳輝 (山 形・日大山形) 31
吉田 義利 (福 岡・福岡大学付属大濠) 32
伊藤 義夫 (大 阪・柏 原) 33
杵村 春彦 (鳥 取・境港工業) 34
服部 俊英 (千 葉・千葉商大付属) 35
鈴木 恒 (秋 田・大館鳳鳴) 36
大竹 達裕 (愛 知・岡崎城西) 37
大谷 知昌 (埼 玉・上 尾) 38
福知 俊治 (滋 賀・比 叡 山) 39
山川 雅元 (長 野・大 町 北) 40
壬生田晴康 (青 森・弘前工業) 41
永石 剛 (長 崎・瓊 浦) 42
尾崎 優 (香 川・高松商業) 43
白神 和彦 (岡 山・水島工業) 44
大沢 俊紀 (群 馬・前 橋 東) 45
小俣 功 (大 分・大分豊府) 46
濱田 一博 (三 重・鳥 羽) 47
関川 正樹 (新 潟・燕) 48
工藤 忠和 (南北海道・札幌第一) 49
須賀隆弘 (埼玉・上尾)
桜井 敬大 (北北海道・滝川工業) 50
市川 義臣 (山 梨・東海大甲府) 51
梶原 卓 (高 知・高 知 西) 52
伊藤 誠 (福 岡・八幡大付属) 53
高山 幸久 (三 重・伊勢工業) 54
中橋 一晃 (滋 賀・比 叡 山) 55
澤田 淳悦 (富 山・不二越工業) 56
橋口 順郎 (鹿児島・川内商工) 57
笠原 勉 (群 馬・前 橋 東) 58
大山 由春 (青 森・青森工業) 59
松重 真二 (広 島・呉) 60
鈴木 智文 (兵 庫・市立尼崎) 61
小原 智雄 (岩 手・花北商業) 62
宮本 義紀 (石 川・金沢市立工業) 63
越智 利範 (愛 媛・西条農業) 64
林 雅史 (長 崎・佐世保北) 65
山田 秀樹 (神奈川・日本大学) 66
吉岡 哲夫 (山 口・柳井工業) 67
尾藤 伸治 (岐 阜・県岐阜商業) 68
城戸 敏和 (茨 城・常総学院) 69
斉藤 勝明 (福 島・会津工業) 70
北原 朋幸 (長 野・伊那北) 71
山本 正展 (京 都・西乙訓) 72
金城 勉 (沖 縄・糸満) 73
岡田 伸二 (香 川・高松商業) 74
桜井 三好 (静 岡・伊東商業) 75
福田 哲 (岡 山・玉野光南) 76
上田 祐一 (東 京・東 洋) 77
藤原 忠雄 (奈 良・正 強) 78
境 恵司 (熊 本・熊本商大付属) 79
浅間 裕之 (新 潟・燕) 80
井上 一夫 (佐 賀・佐賀工業) 81
勝部 賢治 (島 根・大 東) 82
和田 章 (栃 木・宇都宮工業) 83
鈴木 尚 (山 形・日大山形) 84
白浜 智海 (大 阪・此花学院) 85
加藤 寿彦 (愛 知・岡崎城西) 86
渡辺 孝 (千 葉・千葉敬愛) 87
村山 和洋 (兵 庫・三田学園) 88
河野 英樹 (大 分・竹田商業) 89
小松 忠幸 (秋 田・大曲工業) 90
横山 匠 (南北海道・札幌第一) 91
武野 宗睦 (和歌山・向 陽) 92
多田 嘉典 (徳 島・城 東) 93
上田 健吾 (福 井・勝 山) 94
山内 猛 (宮 崎・妻) 95
平塚 宣宏 (宮 城・宮城県工業) 96
岡本 達也 (鳥 取・倉吉工業) 97
須賀 隆弘 (埼 玉・上 尾) 98

女子ダブルス　(98組)


中原敬子・甲斐美和
(熊本・熊本中央女子)
1 中原　敬子・甲斐　美和 (熊　本・熊本中央女子)
2 玉置　和代・宮崎　和代 (和歌山・御坊商工)
3 畑山　由佳・西川真佐子 (高　知・土佐女子)
4 田中　一葉・坂内　重子 (岩　手・花巻農業)
5 井田　貴子・青木由美子 (埼　玉・埼　玉　栄)
6 山口　敬子・鈴森　陽子 (静　岡・吉　　原)
7 青木奈穂子・山内里佳　(長　野・長　野　西)
8 奥山　睦子・米脇　理恵 (北北海道・旭川商業)
9 青柳江里子・徳武　美保 (山　梨・山　　梨)
10 高橋　さと・米山　敦子 (福　岡・小　倉　西)
11 山東　美穂・工藤　真帆 (山　口・徳　　山)
12 松田　泰子・藤田　育恵 (福　井・勝　　山)
13 藤元　美香・上田祥子　(滋　賀・比　叡　山)
14 赤尾　　香・田村　領子 (大　分・昭和女子)
15 板垣ゆみ子・安原貴美子 (兵　庫・園田学園)
16 堀田亜希子・菊地あゆみ (石　川・金沢向陽)
17 菅野　明子・鹿野今日子 (山　形・城北女子)
18 山地　　香・山地　裕美 (香　川・高　　瀬)
19 内田　美佐・斉藤　泰子 (東　京・日体桜華女子)
20 宮村　和美・丹羽理津子 (三　重・　　暁　)
21 前田裕美子・笹田　文子 (奈　良・二　階　堂)
22 渡辺　優子・滝中　真美 (鳥　取・境　水　産)
23 市村　真紀・天川恵美子 (栃　木・真岡女子)
24 山内美奈子・伊波由貴子 (沖　縄・糸　　満)
25 田中　範子・佐々由美子 (青　森・千葉学園)
26 加地身和子・重松里江子 (愛　媛・西　　条)
27 牧島小百合・小森在紀子 (長　崎・鶴鳴女子)
28 近藤　洋子・原　　佳子 (新　潟・新潟青陵)
29 松浦　和代・福間　恵子 (島　根・松江商業)
30 高橋　康子・阿由葉純代 (群　馬・前　橋　東)
31 中村　章子・阿部美砂緒 (宮　城・角田女子)
32 清政　美紀・三浦亜紀子 (兵　庫・園田学園)
33 小林　陽子・加藤みのり (岐　阜・岐阜女子商業)
34 椎名　律子・藤原　文子 (神奈川・富士見丘)
35 高橋　弘美・藤原　淳子 (秋　田・和洋女子)
36 岡山登紀子・小斉平智子 (鹿児島・鹿　児　島)
37 佐藤　由香・渡部　美香 (岡　山・山陽女子)
38 早川美奈子・加藤　佳美 (愛　知・佐　　屋)
39 水井妃佐子・坂田　美佐 (大　阪・四條畷学園)
40 中垣真紀子・村田美和子 (南北海道・札幌静修)
41 江島　京子・庄島由美子 (佐　賀・佐賀女子)
42 加賀谷明美・北原　理恵 (千　葉・船橋学園女子)
43 横山　里美・杉林美和子 (富　山・高岡女子)
44 野々村美香・松田　朋子 (京　都・成安女子)
45 新穂　淳枝・掛　　悦子 (広　島・府　　中)
46 中村　るみ・押川　生子 (宮　崎・宮崎商業)
47 吉田　恵美・磯　久美子 (福　島・郡山商業)
48 山本三千代・工藤由美子 (徳　島・徳島商業)
49 物井あゆみ・沼口　慶子 (茨　城・常総学院)
50 吉田　悦子・小泉　友紀 (兵　庫・園田学園)
51 山元　和美・尾畑　美穂 (鹿児島・鹿　児　島)
52 林　矢須子・彦坂　知美 (愛　知・市邨学園)
53 茂木　千晴・中川　友子 (群　馬・太田西女子)
54 小川亜佐美・中島　由喜 (福　島・磐城女子)
55 大角　美和・棚澤　ゆみ (香　川・香川中央)
56 松島　　薫・長日部香織 (埼　玉・上　　尾)
57 梅崎千枝美・江口　正子 (佐　賀・佐賀女子)
58 鈴木　礼子・大宮　順子 (岩　手・前　　沢)
59 山崎　美紀・朽木　浩美 (富　山・高岡女子)
60 藤田　純子・土田　定代 (滋　賀・滋賀女子)
61 土井　由江・平井　恵美 (鳥　取・　　境　)
62 山根　理江・澤田　百合 (南北海道・札幌静修)
63 山本　法子・小林　真理 (長　野・長　野　西)
64 日原恵美里・日原由美子 (山　梨・山　　梨)
65 三浦　弘子・鶴巻千晴　(長　崎・長崎商業)
66 出原　直美・柚木　陽子 (岡　山・山陽女子)
67 由町　美樹・村上　素子 (青　森・弘前学院聖愛)
68 坂本　春美・占部　礼子 (福　岡・八幡大付属)
69 松本理恵子・鎌田　美鈴 (奈　良・一　　条)
70 須藤久美子・木村　裕美 (東　京・淑徳巣鴨)
71 原西みつる・岡本さやか (徳　島・日　和　佐)
72 佐野　美和・濱　　啓子 (三　重・四日市商業)
73 加賀ゆかり・羽田　幸恵 (新　潟・新潟青陵)
74 立花　久枝・矢野　直子 (宮　城・聖ウルスラ学院)
75 西　　由美・見臺　美希 (和歌山・新　　宮)
76 石川　直美・中林　仁美 (静　岡・富　士　見)
77 根本　　香・石垣　朝生 (神奈川・富士見丘)
78 藤本　暢子・佐々木　忍 (熊　本・熊本中央女子)
79 橋本　寿代・中橋　利美 (石　川・金沢向陽)
80 堀井　尚美・伊藤ひろみ (大　分・昭和女子)
81 富岡　可奈・田中　厚子 (京　都・成安女子)
82 山本　康代・長崎　由香 (高　知・土佐女子)
83 林　由紀子・菅原　清子 (山　形・新　庄　南)
84 藤井美佐子・西町　由起 (山　口・高　　森)
85 仲山　美奈・大塚由架子 (栃　木・小山城南)
86 熊沢　幸枝・松原　葉子 (岐　阜・岐阜女子商業)
87 藤井　恭子・青木　紀恵 (千　葉・渋谷教育学園幕張)
88 前武當綾子・山川　綾子 (沖　縄・与　　勝)
89 井上ひろ子・八原　知子 (兵　庫・夙川学院)
90 青山　洋子・森脇由美子 (福　根・松江商業)
91 矢野　幹子・太田　美和 (愛　媛・西　　条)
92 田中　静恵・藤井　紀子 (広　島・大　　門)
93 渡辺真由美・加藤　　恵 (茨　城・常総学院)
94 佐藤千恵子・金谷　良子 (秋　田・能　代　北)
95 喜多　陽子・大坂真由子 (福　井・福井工大付属)
96 坂本麻由美・宮部　清美 (北北海道・釧路星園)
97 三輪　料子・妹尾美穂子 (宮　崎・宮崎女子)
98 新木美志子・岩田　良子 (大　阪・四條畷学園)

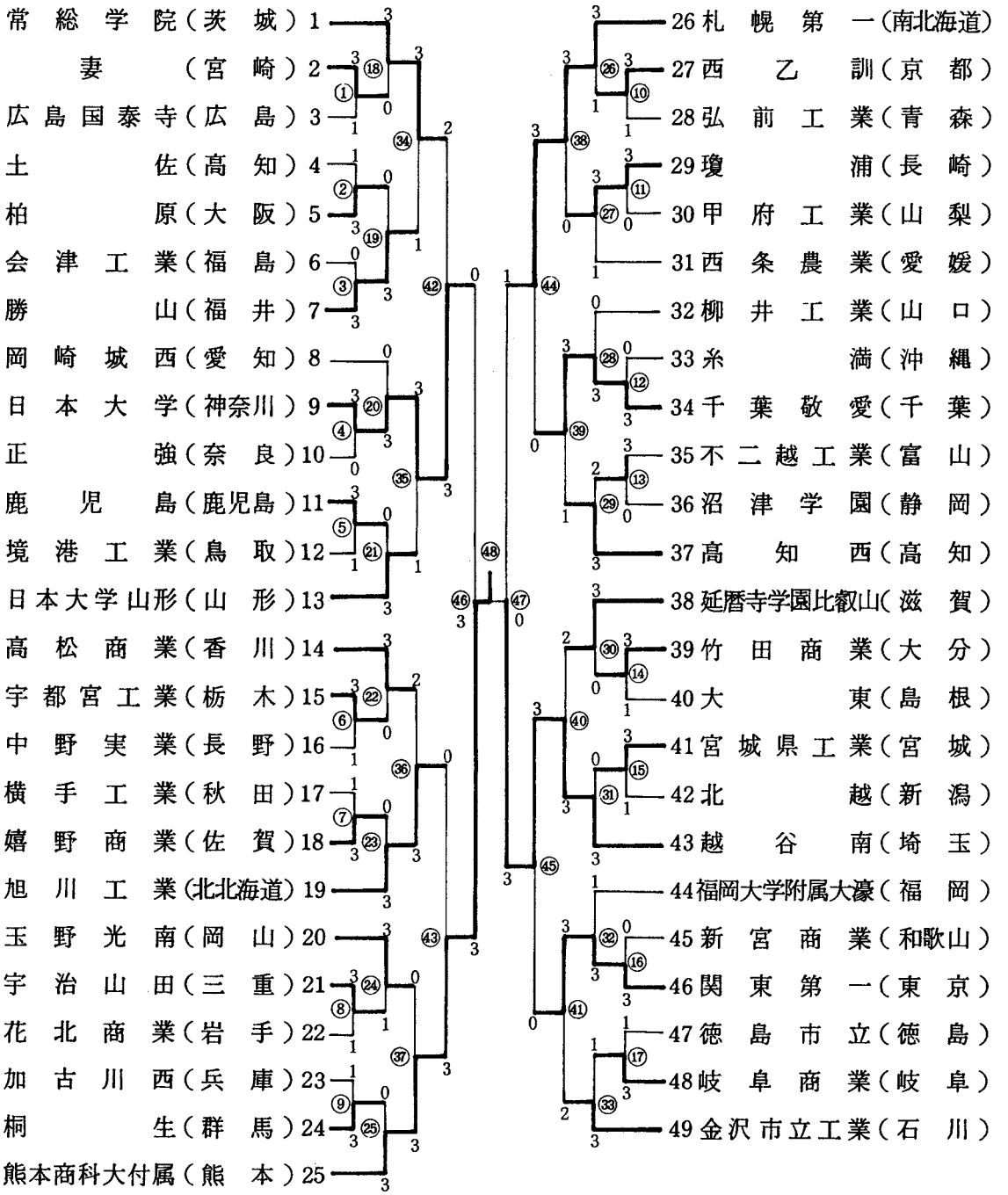
女子シングルス　(98名)


宮村　愛子（熊　本・熊本中央女子）1
加藤みのり（岐　阜・岐阜女子商業）2
浅場　美恵（神奈川・鎌　倉）3
工藤符記子（青　森・弘前聖愛）4
青山洋子（島　根・松江商業）5
米崎由紀子（香　川・香川中央）6
松田　朋子（京　都・成安女子）7
物井あゆみ（茨　城・常総学院）8
松田　泰子（福　井・勝　山）9
岡山登紀子（鹿児島・鹿　児　島）10
中垣真紀子（南北海道・札幌静修）11
越前屋直子（秋　田・大　館　桂）12
藤井美佐子（山　口・高　森）13
重松里江子（愛　媛・西　条）14
清政　三紀（兵　庫・園田学園）15
宮田　静江（広　島・祇　園　北）16
山元さとみ（宮　崎・都城聖ドミニコ学園）17
高橋　牧子（千　葉・国　府　台）18
横山　里美（富　山・高岡女子）19
佐野　美和（三　重・四日市南）20
須藤久美子（東　京・淑徳巣鴨）21
菅原　清子（山　形・新　庄　南）22
宇佐美恵理（長　野・飯　田）23
牧島小百合（長　崎・鶴鳴女子）24
岩田　良子（大　阪・四條畷学園）25
日原恵美里（山　梨・山　梨　梨）26
原西みつる（徳　島・日　和　佐）27
土井　由江（鳥　取・　境　）28
石川　直美（静　岡・富　士　見）29
坂本　春美（福　岡・八幡大学付属）30
藤元　美香（滋　賀・比　叡　山）31
長谷川真弓（北北海道・釧路星園）32
藤波　千明（埼　玉・上　尾）33
伊波由貴子（沖　縄・糸　満）34
高野露代（奈　良・一　条）35
羽田　幸恵（新　潟・新潟青陵）36
立花　久枝（宮　城・聖ウルスラ学院）37
佐藤　由香（岡　山・山陽女子）38
庄島由美子（佐　賀・佐賀女子）39
柳　香織（栃　木・小山城南）40
兒喜　美希（和歌山・新　宮）41
相沢　咲織（岩　手・盛岡市立）42
福本　佳子（愛　知・愛知淑徳）43
伊藤ひろみ（大　分・昭和女子）44
高橋　康子（群　馬・前　橋　東）45
小川亜佐美（福　島・磐城女子）46
小山　紀子（石　川・金沢向陽）47
山本　康代（高　知・土佐女子）48
小泉　友紀（兵　庫・園田学園）49
水井妃佐子（大阪・四條畷学園）
仲山　美奈（栃　木・小山城南）50
占部　礼子（福　岡・八幡大学付属）51
西　由美（和歌山・新　宮）52
小林　陽子（岐　阜・岐阜女子商業）53
工藤由美子（徳　島・徳島商業）54
平井　恵美（鳥　取・　境　）55
鹿野今日子（山　形・城北女子）56
松島　薫（埼　玉・上　尾）57
橋本　寿代（石　川・金沢向陽）58
山東　美穂（山　口・徳　山）59
仮屋　裕子（鹿児島・鹿児島女子）60
井上ひろ子（兵　庫・夙川学院）61
三上　直子（南北海道・登　別　南）62
石垣　朝生（神奈川・富士見丘）63
坂内　重子（岩　手・花巻農業）64
伊豆　朋子（三　重・松阪商業）65
鎌田　美鈴（奈　良・一　条）66
藤本　暢子（熊　本・熊本中央女子）67
加地身和子（愛　媛・西　条）68
矢野　直子（宮　城・聖ウルスラ学院）69
西本　早苗（岡　山・倉敷翠松）70
日原由美子（山　梨・山　梨）71
三輪　料子（宮　崎・宮崎女子）72
山崎　美紀（富　山・高岡女子）73
加賀ゆかり（新　潟・新潟青陵）74
鶴巻　千晴（長　崎・市立長崎商業）75
佐藤　直子（広　島・鈴峯女子）76
古田　幸代（香　川・香川中央）77
三浦亜紀子（兵　庫・園田学園）78
加藤　美香（群　馬・前　橋　東）79
野々村美春（京　都・成安女子）80
廣田　育恵（福　井・勝　山）81
高木　恵美（福　島・福島女子）82
梅崎千枝美（佐　賀・佐賀女子）83
藤井　恭子（千　葉・渋谷教育学園幕張）84
林　矢須子（愛　知・市邨学園）85
山本　法子（長　野・長　野　西）86
河村　益美（滋　賀・比　叡　山）87
高橋　裕子（秋　田・矢島笹子）88
山内美奈子（沖　縄・糸　満）89
田口　広美（東　京・武　蔵　野）90
長崎　由香（高　知・土佐女子）91
田中　範子（青　森・千葉学園）92
松浦　和代（島　根・松江商業）93
沼口　慶子（茨　城・常総学院）94
堀井　尚美（大　分・昭和女子）95
奥山　睦子（北北海道・旭川商業）96
戸田　直美（静　岡・富　士　見）97
水井妃佐子（大　阪・四條畷学園）98

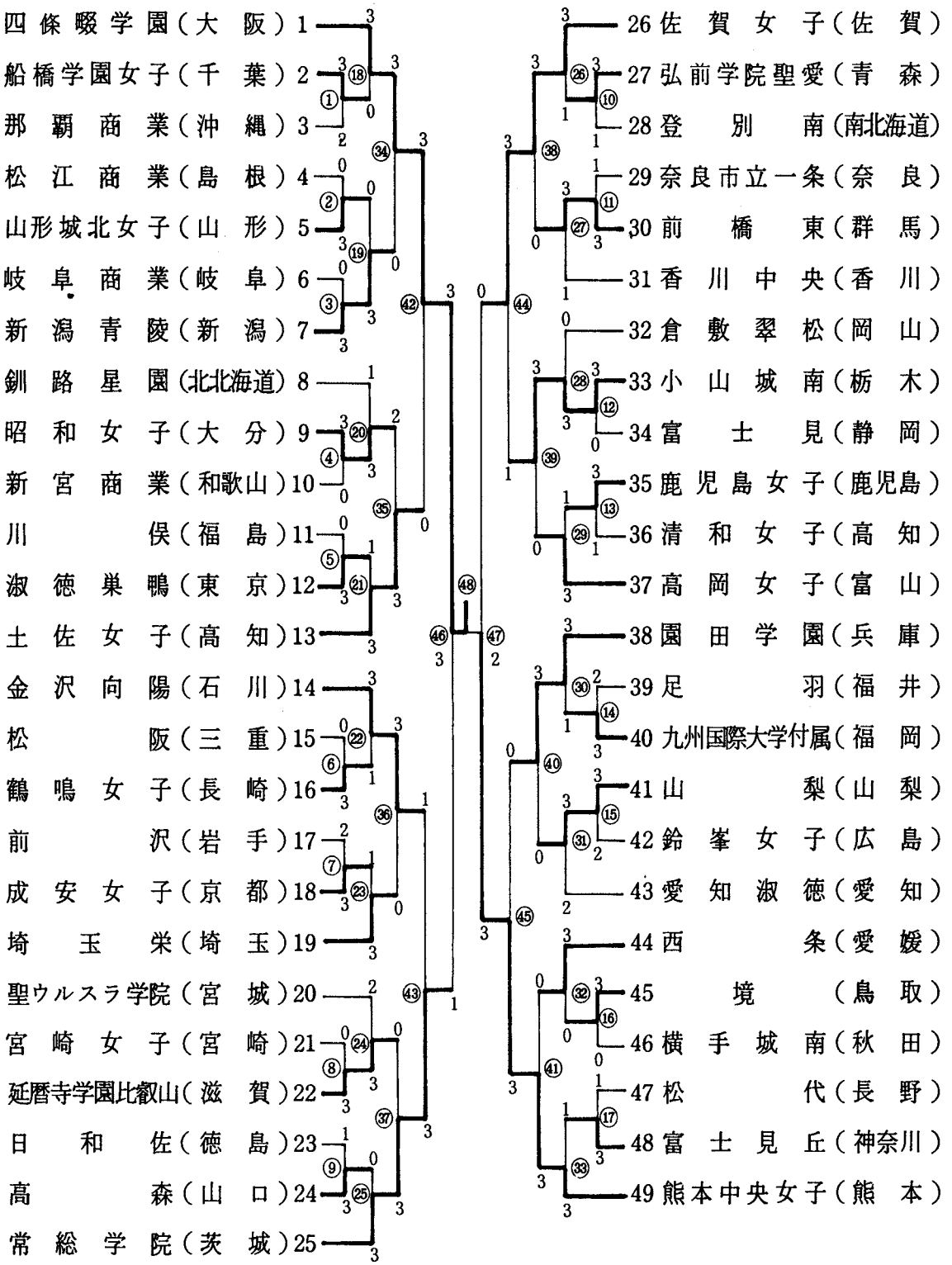
第40回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1989年度)

期日　平成元年８月１日～６日
会場　高知ぢばさんセンター　　県立高知追手前高等学校体育館
　　サンピア高知体育館　　県立高知丸の内高等学校体育館
　　土佐女子高等学校体育館

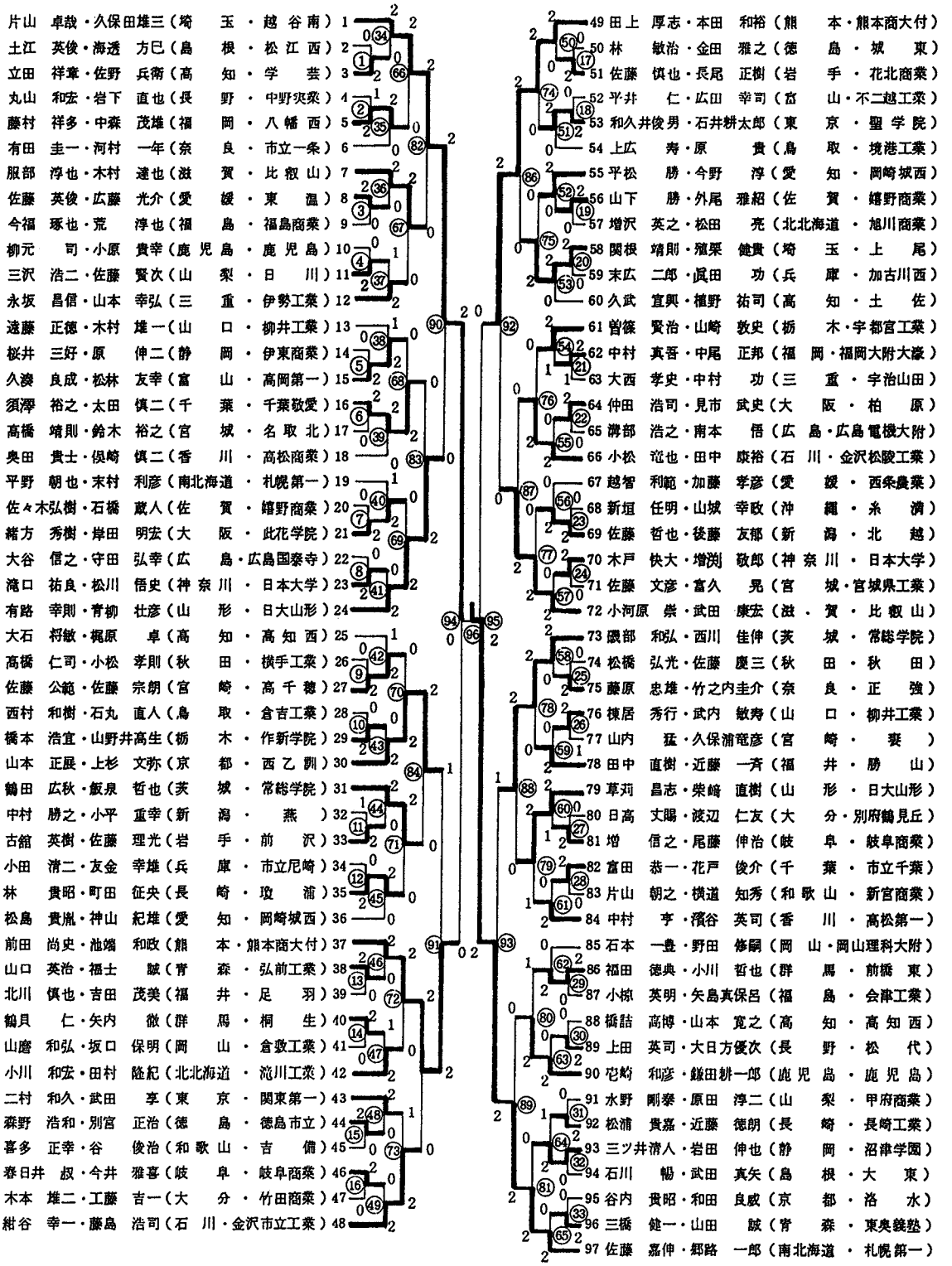
男子団体　(49校)



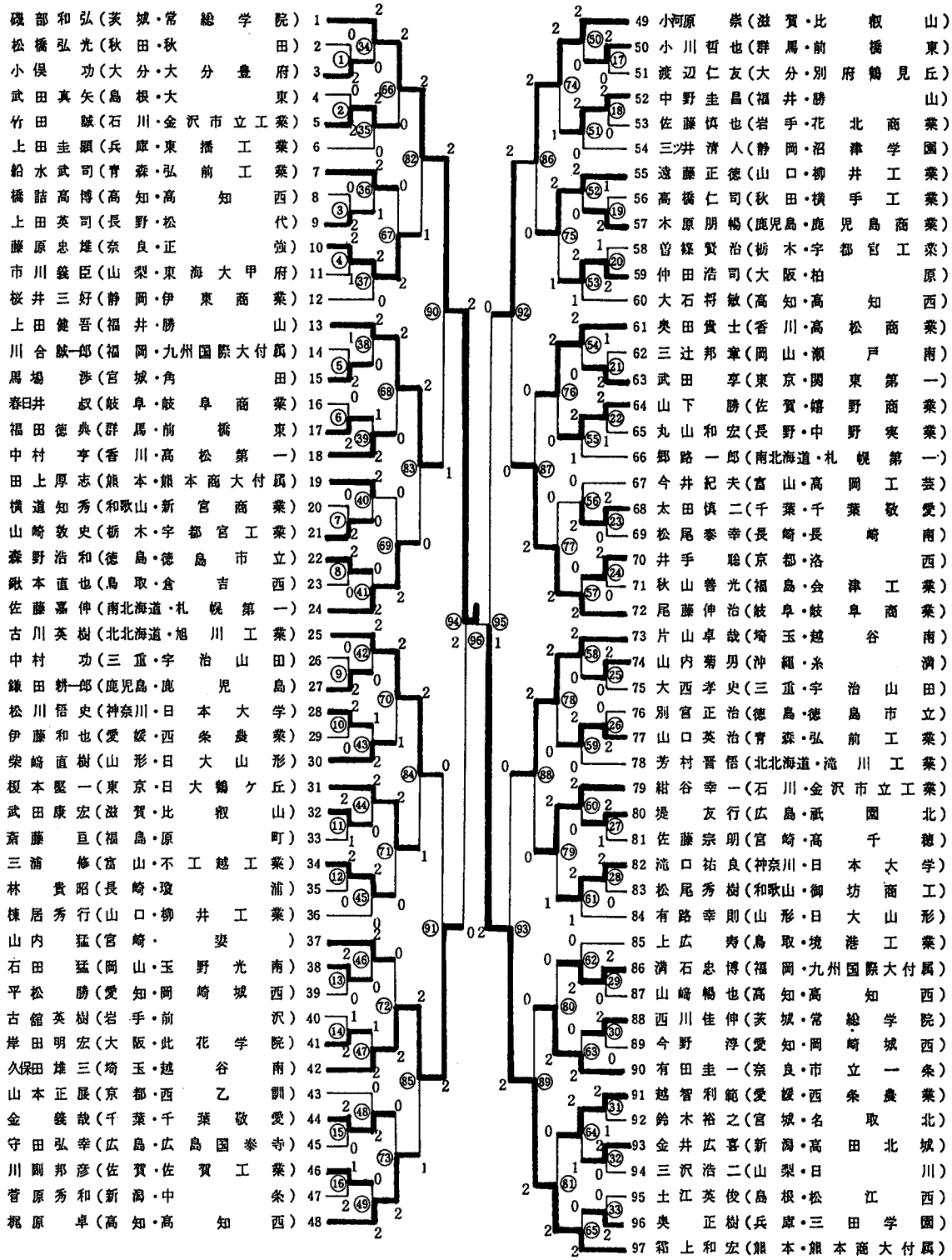
女子団体 (49校)


四條畷学園(大阪)1
船橋学園女子(千葉)2
那覇商業(沖縄)3
松江商業(島根)4
山形城北女子(山形)5
岐阜商業(岐阜)6
新潟青陵(新潟)7
釧路星園(北北海道)8
昭和女子(大分)9
新宮商業(和歌山)10
川俣(福島)11
淑徳巣鴨(東京)12
土佐女子(高知)13
金沢向陽(石川)14
松阪(三重)15
鶴鳴女子(長崎)16
前沢(岩手)17
成安女子(京都)18
埼玉栄(埼玉)19
聖ウルスラ学院(宮城)20
宮崎女子(宮崎)21
延暦寺学園比叡山(滋賀)22
日和佐(徳島)23
高森(山口)24
常総学院(茨城)25
26佐賀女子(佐賀)
27弘前学院聖愛(青森)
28登別南(南北海道)
29奈良市立一条(奈良)
30前橋東(群馬)
31香川中央(香川)
32倉敷翠松(岡山)
33小山城南(栃木)
34富士見(静岡)
35鹿児島女子(鹿児島)
36清和女子(高知)
37高岡女子(富山)
38園田学園(兵庫)
39足羽(福井)
40九州国際大学付属(福岡)
41山梨(山梨)
42鈴峯女子(広島)
43愛知淑徳(愛知)
44西条(愛媛)
45境(鳥取)
46横手城南(秋田)
47松代(長野)
48富士見丘(神奈川)
49熊本中央女子(熊本)

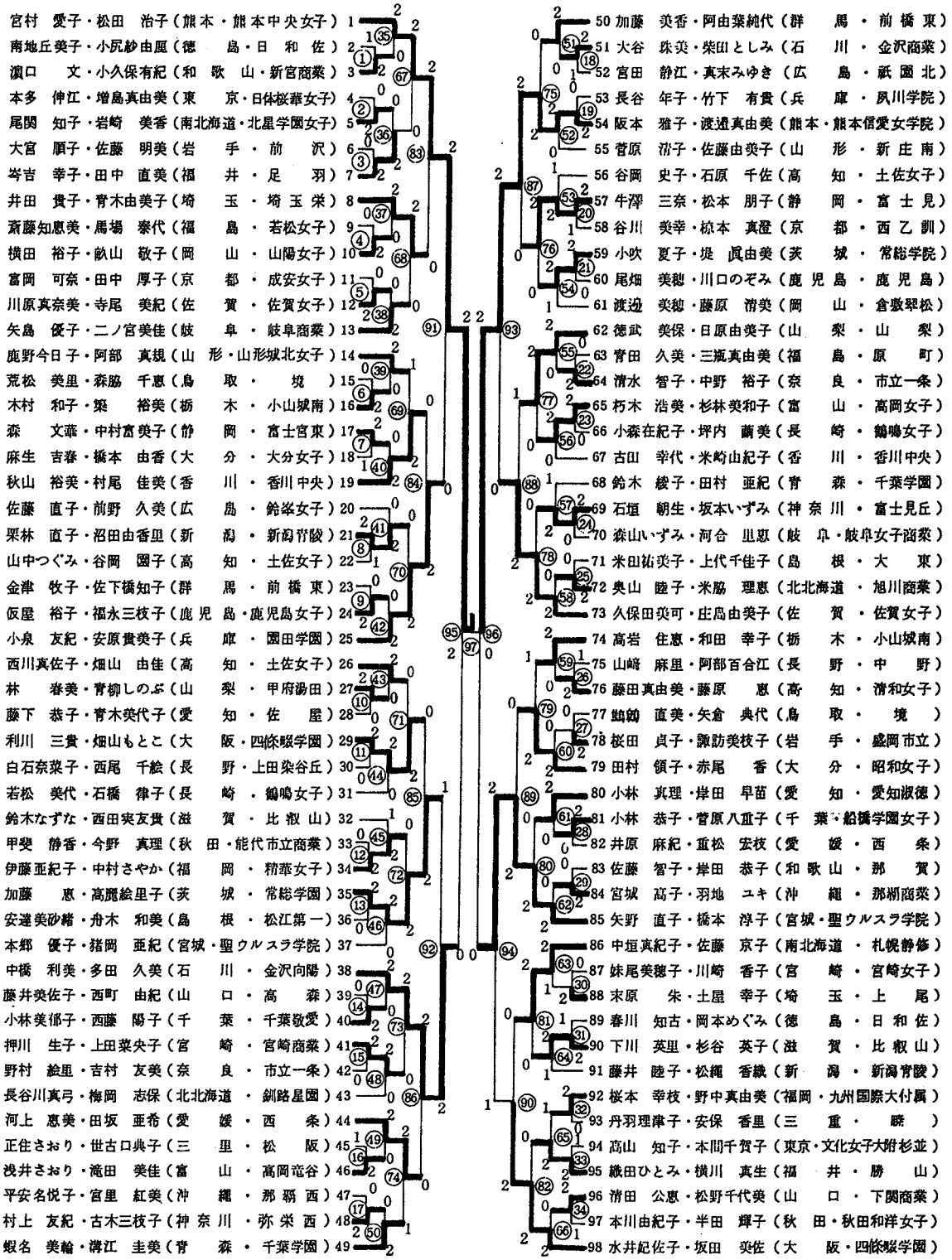
男子ダブルス　(97組)


片山　卓哉・久保田雄三（埼　玉・越谷南）1
土江　英俊・海透　方巳（島　根・松江西）2
立田　祥章・佐野　兵衛（高　知・学　芸）3
丸山　和宏・岩下　直也（長　野・中野実業）4
藤村　祥多・中森　茂雄（福　岡・八幡西）5
有田　圭一・河村　一年（奈　良・市立一条）6
服部　淳也・木村　達也（滋　賀・比叡山）7
佐藤　英俊・広藤　光介（愛　媛・東　温）8
今福　琢也・荒　淳也（福　島・福島商業）9
柳元　司・小原　貴幸（鹿児島・鹿児島）10
三沢　浩二・佐藤　賢次（山　梨・日　川）11
永坂　昌信・山本　幸弘（三　重・伊勢工業）12
遠藤　正徳・木村　雄一（山　口・柳井工業）13
桜井　三好・原　伸二（静　岡・伊東商業）14
久湊　良成・松林　友幸（富　山・高岡第一）15
須澤　裕之・太田　慎二（千　葉・千葉敬愛）16
高橋　靖則・鈴木　裕之（宮　城・名取北）17
奥田　貴士・俣崎　慎二（香　川・高松商業）18
平野　朝也・末村　利彦（南北海道・札幌第一）19
佐々木弘樹・石橋　威人（佐　賀・鳴野商業）20
緒方　秀樹・岸田　明宏（大　阪・此花学院）21
大谷　信之・守田　弘幸（広　島・広島国泰寺）22
滝口　祐良・松川　悟史（神奈川・日本大学）23
有路　幸則・青柳　壮彦（山　形・日大山形）24
大石　将敏・梶原　卓（高　知・高知西）25
高橋　仁司・小松　孝則（秋　田・横手工業）26
佐藤　公範・佐藤　宗朗（宮　崎・高千穂）27
西村　和樹・石丸　直人（鳥　取・倉吉工業）28
橋本　浩宜・山野井高生（栃　木・作新学院）29
山本　正展・上杉　文弥（京　都・西乙訓）30
鶴田　広秋・飯泉　哲也（茨　城・常総学院）31
中村　勝之・小平　重幸（新　潟・　燕　）32
古舘　英樹・佐藤　理光（岩　手・前　沢）33
小田　清二・友金　幸雄（兵　庫・市立尼崎）34
林　貴昭・町田　征央（長　崎・瑕　浦）35
松島　貴胤・神山　紀雄（愛　知・岡崎城西）36
前田　尚史・池端　和政（熊　本・熊本商大付）37
山口　英治・福士　誠（青　森・弘前工業）38
北川　慎也・吉田　茂美（福　井・足　羽）39
鶴貝　仁・矢内　徹（群　馬・桐　生）40
山磨　和弘・坂口　保明（岡　山・倉敷工業）41
小川　和宏・田村　隆紀（北北海道・滝川工業）42
二村　和久・武田　享（東　京・関東第一）43
森野　浩和・別宮　正治（徳　島・徳島市立）44
喜多　正幸・谷　俊治（和歌山・吉　備）45
春日井　叔・今井　雅喜（岐　阜・岐阜商業）46
木本　雄二・工藤　吉一（大　分・竹田商業）47
紺谷　幸一・藤島　浩司（石　川・金沢市立工業）48
田上　厚志・本田　和裕（熊　本・熊本商大付）49
林　敏治・金田　雅之（徳　島・城　東）50
佐藤　慎也・長尾　正樹（岩　手・花北商業）51
平井　仁・広田　幸司（富　山・不二越工業）52
和久井俊男・石井耕太郎（東　京・聖学院）53
上広　寿・原　貴（鳥　取・境港工業）54
平松　勝・今野　淳（愛　知・岡崎城西）55
山下　勝・外尾　雅紹（佐　賀・鳴野商業）56
増沢　英之・松田　亮（北北海道・旭川商業）57
関根　靖則・殖栗　健貴（埼　玉・上　尾）58
末広　二郎・眞田　功（兵　庫・加古川西）59
久武　宣興・植野　祐司（高　知・土　佐）60
曽篠　賢治・山崎　敦史（栃　木・宇都宮工業）61
中村　真吾・中尾　正邦（福　岡・福岡大附大濠）62
大西　孝史・中村　功（三　重・宇治山田）63
仲田　浩司・見市　武史（大　阪・柏　原）64
溝部　浩之・南本　悟（広　島・広島電機大附）65
小松　竜也・田中　康裕（石　川・金沢松陵工業）66
越智　利範・加藤　孝彦（愛　媛・西条農業）67
新垣　任明・山城　幸政（沖　縄・糸　満）68
佐藤　哲也・後藤　友郁（新　潟・北　越）69
木戸　快大・増渕　敬郎（神奈川・日本大学）70
佐藤　文彦・富久　晃（宮　城・宮城県工業）71
小河原　崇・武田　康宏（滋　賀・比叡山）72
濃部　和弘・西川　佳伸（茨　城・常総学院）73
松橋　弘光・佐藤　慶三（秋　田・秋　田）74
藤原　忠雄・竹之内圭介（奈　良・正　強）75
棟居　秀行・武内　敏寿（山　口・柳井工業）76
山内　猛・久保浦竜彦（宮　崎・　妻　）77
田中　直樹・近藤　一斉（福　井・勝　山）78
草苅　昌志・柴崎　直樹（山　形・日大山形）79
日高　丈陽・渡辺　仁友（大　分・別府鶴見丘）80
増　信之・尾藤　伸治（岐　阜・岐阜商業）81
富田　恭一・花戸　俊介（千　葉・市立千葉）82
片山　朝之・横道　知秀（和歌山・新宮商業）83
中村　亨・濱谷　英司（香　川・高松第一）84
石本　一豊・野田　修嗣（岡　山・岡山理科大附）85
福田　徳典・小川　哲也（群　馬・前橋　東）86
小椋　英明・矢島真保呂（福　島・会津工業）87
橋詰　高博・山本　寛之（高　知・高知西）88
上田　英司・大日方優次（長　野・松　代）89
宅崎　和彦・鎌田耕一郎（鹿児島・鹿児島）90
水野　剛泰・原田　淳二（山　梨・甲府商業）91
松浦　貴嘉・近藤　徳朗（長　崎・長崎工業）92
三ツ井清人・岩田　伸也（静　岡・沼津学園）93
石川　暢・武田　真矢（島　根・大　東）94
谷内　貴昭・和田　良威（京　都・洛　水）95
三橋　健一・山田　誠（青　森・東奥義塾）96
佐藤　嘉伸・郷路　一郎（南北海道・札幌第一）97

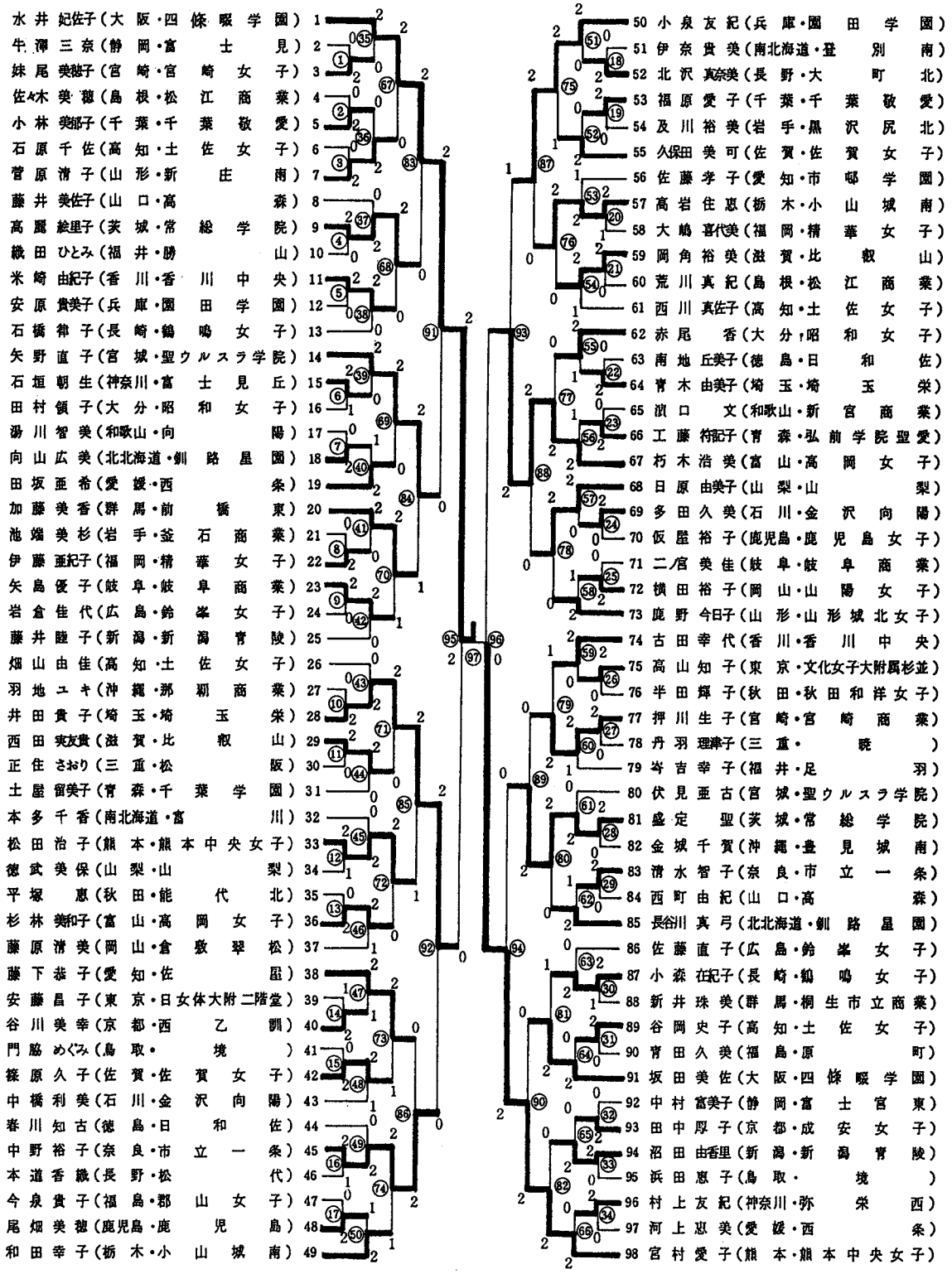
男子シングルス　(97名)


磯部和弘（茨城・常総学院）1
松橋弘光（秋田・秋田）2
小俣功（大分・大分豊府）3
武田真矢（島根・大東）4
竹田誠（石川・金沢市立工業）5
上田圭顕（兵庫・東播工業）6
船水武司（青森・弘前工業）7
橘詰高博（高知・高知西）8
上田英司（長野・松代）9
藤原忠雄（奈良・正強）10
市川義臣（山梨・東海大甲府）11
桜井三好（静岡・伊東商業）12
上田健吾（福井・勝山）13
川合誠一郎（福岡・九州国際大付属）14
馬場渉（宮城・角田）15
春日井叡（岐阜・岐阜商業）16
福田徳典（群馬・前橋東）17
中村亨（香川・高松第一）18
田上厚志（熊本・熊本商大付属）19
横道知秀（和歌山・新宮商業）20
山崎敦史（栃木・宇都宮工業）21
森野浩和（徳島・徳島市立）22
鍬本直也（鳥取・倉吉西）23
佐藤嘉伸（南北海道・札幌第一）24
古川英樹（北北海道・旭川工業）25
中村功（三重・宇治山田）26
鎌田耕一郎（鹿児島・鹿児島）27
松川悟史（神奈川・日本大学）28
伊藤和也（愛媛・西条農業）29
柴崎直樹（山形・日大山形）30
榎本堅一（東京・日大鶴ケ丘）31
武田康宏（滋賀・比叡山）32
斎藤亘（福島・原町）33
三浦修（富山・不工越工業）34
林貴昭（長崎・瓊浦）35
棟居秀行（山口・柳井工業）36
山内猛（宮崎・　婁　）37
石田猛（岡山・玉野光南）38
平松勝（愛知・岡崎城西）39
古舘英樹（岩手・前沢）40
岸田明宏（大阪・此花学院）41
久保田雄三（埼玉・越谷南）42
山本正展（京都・西乙訓）43
金義哉（千葉・千葉敬愛）44
守田弘幸（広島・広島国泰寺）45
川副邦彦（佐賀・佐賀工業）46
菅原秀和（新潟・中条）47
梶原卓（高知・高知西）48
小河原崇（滋賀・比叡山）49
小川哲也（群馬・前橋東）50
渡辺仁友（大分・別府鶴見丘）51
中野圭昌（福井・勝山）52
佐藤慎也（岩手・花北商業）53
三ツ井清人（静岡・沼津学園）54
遠藤正徳（山口・柳井工業）55
高橋仁司（秋田・横手工業）56
木原朋暢（鹿児島・鹿児島商業）57
曽祢賢治（栃木・宇都宮工業）58
仲田浩司（大阪・柏原）59
大石将敏（高知・高知西）60
奥田貴士（香川・高松商業）61
三辻邦章（岡山・瀬戸南）62
武田享（東京・関東第一）63
山下勝（佐賀・嬉野商業）64
丸山和宏（長野・中野実業）65
郷路一郎（南北海道・札幌第一）66
今井紀夫（富山・高岡工芸）67
太田慎二（千葉・千葉敬愛）68
松尾泰幸（長崎・長崎南）69
井手聡（京都・洛西）70
秋山善光（福島・会津工業）71
尾藤伸治（岐阜・岐阜商業）72
片山卓哉（埼玉・越谷南）73
山内菊男（沖縄・糸満）74
大西孝史（三重・宇治山田）75
別宮正治（徳島・徳島市立）76
山口英治（青森・弘前工業）77
芳村晋悟（北北海道・滝川工業）78
紺谷幸一（石川・金沢市立工業）79
堤友行（広島・祇園北）80
佐藤宗明（宮崎・高千穂）81
滝口祐良（神奈川・日本大学）82
松尾秀樹（和歌山・御坊商工）83
有路幸則（山形・日大山形）84
上広寿（鳥取・境港工業）85
溝石忠博（福岡・九州国際大付属）86
山崎暢也（高知・高知西）87
西川佳伸（茨城・常総学院）88
今野淳（愛知・岡崎城西）89
有田圭一（奈良・市立一条）90
越智利範（愛媛・西条農業）91
鈴木裕之（宮城・名取北）92
金井広喜（新潟・高田北城）93
三沢浩二（山梨・日川）94
土江英俊（島根・松江西）95
奥正樹（兵庫・三田学園）96
霜上和宏（熊本・熊本商大付属）97

女子ダブルス　(98組)


宮村　愛子・松田　治子（熊本・熊本中央女子）1
南地丘美子・小尻紗由厘（徳　島・日　和　佐）2
濵口　文・小久保有紀（和　歌　山・新宮商業）3
本多　伸江・増島真由美（東　京・日体桜華女子）4
尾関　知子・岩崎　美香（南北海道・北星学園女子）5
大宮　順子・佐藤　明美（岩　手・前　沢）6
岑吉　幸子・田中　直美（福　井・足　羽）7
井田　貴子・育木由美子（埼　玉・埼玉栄）8
斎藤知恵美・馬場　泰代（福　島・若松女子）9
横田　裕子・畝山　敬子（岡　山・山陽女子）10
富岡　可奈・田中　厚子（京　都・成安女子）11
川原真奈美・寺尾　美紀（佐　賀・佐賀女子）12
矢島　優子・二ノ宮美佳（岐　阜・岐阜商業）13
鹿野今日子・阿部　真規（山　形・山形城北女子）14
荒松　美里・森脇　千恵（鳥　取・　境　）15
木村　和子・築　　裕美（栃　木・小山城南）16
森　　文華・中村富美子（静　岡・富士宮東）17
麻生　吉春・橋本　由香（大　分・大分女子）18
秋山　裕美・村尾　佳美（香　川・香川中央）19
佐藤　直子・前野　久美（広　島・鈴峯女子）20
栗林　直子・沼田由香里（新　潟・新潟青陵）21
山中つぐみ・谷岡　園子（高　知・土佐女子）22
金津　牧子・佐下橋知子（群　馬・前　橋　東）23
仮屋　裕子・福永三枝子（鹿児島・鹿児島女子）24
小泉　友紀・安原貴美子（兵　庫・園田学園）25
西川真佐子・畑山　由佳（高　知・土佐女子）26
林　　春美・育柳しのぶ（山　梨・甲府湯田）27
藤下　恭子・育木美代子（愛　知・佐　屋）28
利川　三貴・畑山もとこ（大　阪・四條畷学園）29
白石奈菜子・西尾　千絵（長　野・上田染谷丘）30
若松　美代・石橋　律子（長　崎・鶴鳴女子）31
鈴木なずな・西田実友貴（滋　賀・比　叡　山）32
甲斐　静香・今野　真理（秋　田・能代市立商業）33
伊藤亜紀子・中村さやか（福　岡・精華女子）34
加藤　　恵・高麗絵里子（茨　城・常総学園）35
安達美沙緒・舟木　和美（島　根・松江第一）36
本郷　優子・猪岡　亜紀（宮城・聖ウルスラ学院）37
中橋　利美・多田　久美（石　川・金沢向陽）38
藤井美佐子・西町　由紀（山　口・高　森）39
小林美徳子・西藤　陽子（千　葉・千葉敬愛）40
押川　生子・上田菜央子（宮　崎・宮崎商業）41
野村　絵里・吉村　友美（奈　良・市立一条）42
長谷川真弓・梅岡　志保（北北海道・釧路星園）43
河上　恵美・田坂　亜希（愛　媛・西　条）44
正住さおり・世古口典子（三　重・松　阪）45
浅井さおり・滝田　美佳（富　山・高岡竜谷）46
平安名悦子・宮里　紅美（沖　縄・那覇西）47
村上　友紀・古木三枝子（神奈川・弥栄西）48
蝦名　美輪・溝江　圭美（青　森・千葉学園）49
50 加藤　美香・阿由葉純代（群　馬・前橋東）
51 大谷　珠美・柴田としみ（石　川・金沢商業）
52 宮田　静江・真末みゆき（広　島・祇園北）
53 長谷　年子・竹下　有貴（兵　庫・夙川学院）
54 阪本　雅子・渡邉真由美（熊本・熊本信愛女学院）
55 菅原　浩子・佐藤由美子（山　形・新庄南）
56 谷岡　史子・石原　千佐（高　知・土佐女子）
57 牛澤　三奈・松本　朋子（静　岡・富士見）
58 谷川　美幸・椋本　真澄（京　都・西乙訓）
59 小吹　夏子・堤　眞由美（茨　城・常総学院）
60 尾畑　美穂・川口のぞみ（鹿児島・鹿児島）
61 渡辺　美穂・藤原　浩美（岡　山・倉敷翠松）
62 徳武　美保・日原由美子（山　梨・山　梨）
63 育田　久美・三瓶真由美（福　島・原　町）
64 清水　智子・中野　裕子（奈　良・市立一条）
65 朽木　浩美・杉林美和子（富　山・高岡女子）
66 小森在紀子・坪内　薗美（長　崎・鶴鳴女子）
67 古田　幸代・米崎山紀子（香　川・香川中央）
68 鈴木　綾子・田村　亜紀（育　森・千葉学園）
69 石垣　朝生・坂本いずみ（神奈川・富士見丘）
70 森山いずみ・河合　里恵（岐　阜・岐阜女子商業）
71 米田祐美子・上代千佳子（島　根・大　東）
72 奥山　睦子・米脇　理恵（北北海道・旭川商業）
73 久保田美可・庄島由美子（佐　賀・佐賀女子）
74 高岩　住恵・和田　幸子（栃　木・小山城南）
75 山崎　麻里・阿部百合江（長　野・中　野）
76 藤田真由美・藤原　恵（高　知・清和女子）
77 鶴鋤　直美・矢倉　典代（鳥　取・　境　）
78 桜田　貞子・諏訪美枝子（岩　手・盛岡市立）
79 田村　領子・赤尾　香（大　分・昭和女子）
80 小林　真理・岸田　早苗（愛　知・愛知淑徳）
81 小林　恭子・菅原八重子（千　葉・船橋学園女子）
82 井原　麻紀・重松　宏枝（愛　媛・西　条）
83 佐藤　智子・岸田　恭子（和歌山・那　賀）
84 宮城　高子・羽地　ユキ（沖　縄・那覇商業）
85 矢野　直子・橋本　淳子（宮城・聖ウルスラ学院）
86 中垣真紀子・佐藤　京子（南北海道・札幌静修）
87 妹尾美穂子・川崎　香子（宮　崎・宮崎女子）
88 末原　朱・土屋　幸子（埼　玉・上　尾）
89 春川　知古・岡本めぐみ（徳　島・日和佐）
90 下川　英里・杉谷　英子（滋　賀・比叡山）
91 藤井　睦子・松縄　香織（新　潟・新潟青陵）
92 桜本　幸枝・野中真由美（福岡・九州国際大付属）
93 丹羽理津子・安保　香里（三　重・　睦　）
94 髙山　知子・本間千賀子（東京・文化女子大附杉並）
95 織田ひとみ・横川　真生（福　井・勝　山）
96 清田　公恵・松野千代美（山　口・下関商業）
97 本川由紀子・半田　輝子（秋　田・秋田和洋女子）
98 水井紀佐子・坂田　美佐（大　阪・四條畷学園）

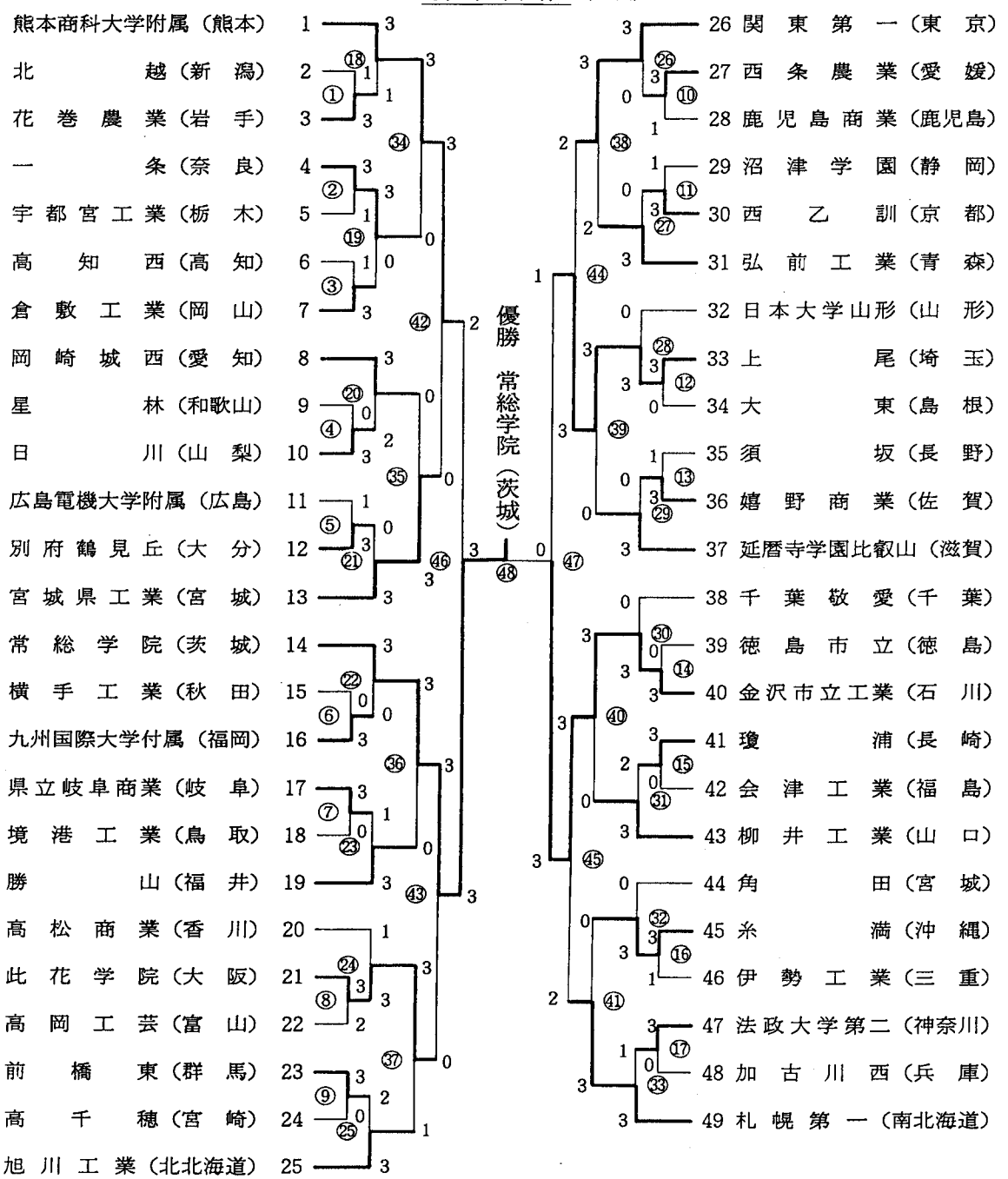
女子シングルス (98名)


1 水井妃佐子（大阪・四條畷学園）
2 牛澤三奈（静岡・富士見）
3 妹尾美穂子（宮崎・宮崎女子）
4 佐々木美穂（島根・松江商業）
5 小林美都子（千葉・千葉敬愛）
6 石原千佐（高知・土佐女子）
7 菅原清子（山形・新庄南）
8 藤井美佐子（山口・高森）
9 高麗絵里子（茨城・常総学院）
10 織田ひとみ（福井・勝山）
11 米崎由紀子（香川・香川中央）
12 安原貴美子（兵庫・園田学園）
13 石橋律子（長崎・鶴鳴女子）
14 矢野直子（宮城・聖ウルスラ学院）
15 石垣朝生（神奈川・富士見丘）
16 田村領子（大分・昭和女子）
17 湯川智美（和歌山・向陽）
18 向山広美（北北海道・釧路星園）
19 田坂亜希（愛媛・西条）
20 加藤美香（群馬・前橋東）
21 池端美杉（岩手・釜石商業）
22 伊藤亜紀子（福岡・精華女子）
23 矢島優子（岐阜・岐阜商業）
24 岩倉佳代（広島・鈴峯女子）
25 藤井睦子（新潟・新潟青陵）
26 畑山由佳（高知・土佐女子）
27 羽地ユキ（沖縄・那覇商業）
28 井田貴子（埼玉・埼玉栄）
29 西田実友貴（滋賀・比叡山）
30 正住さおり（三重・松阪）
31 土屋留美子（青森・千葉学園）
32 本多千香（南北海道・富川）
33 松田治子（熊本・熊本中央女子）
34 徳武美保（山梨・山梨）
35 平塚恵（秋田・能代北）
36 杉林美和子（富山・高岡女子）
37 藤原清美（岡山・倉敷翠松）
38 藤下恭子（愛知・佐屋）
39 安藤昌子（東京・日女体大附二階堂）
40 谷川美幸（京都・西乙訓）
41 門脇めぐみ（鳥取・境）
42 篠原久子（佐賀・佐賀女子）
43 中橋利美（石川・金沢向陽）
44 峯川知古（徳島・日和佐）
45 中野裕子（奈良・市立一条）
46 本道香織（長野・松代）
47 今泉貴子（福島・郡山女子）
48 尾畑美穂（鹿児島・鹿児島）
49 和田幸子（栃木・小山城南）
50 小泉友紀（兵庫・園田学園）
51 伊奈貴美（南北海道・登別南）
52 北沢真奈美（長野・大町北）
53 福原愛子（千葉・千葉敬愛）
54 及川裕美（岩手・黒沢尻北）
55 久保田美可（佐賀・佐賀女子）
56 佐藤孝子（愛知・市邨学園）
57 高岩住恵（栃木・小山城南）
58 大嶋喜代美（福岡・精華女子）
59 岡角裕美（滋賀・比叡山）
60 荒川真紀（島根・松江商業）
61 西川真佐子（高知・土佐女子）
62 赤尾香（大分・昭和女子）
63 南地丘美子（徳島・日和佐）
64 青木由美子（埼玉・埼玉栄）
65 浜口文（和歌山・新宮商業）
66 工藤符記子（青森・弘前学院聖愛）
67 朽木浩美（富山・高岡女子）
68 日原由美子（山梨・山梨）
69 多田久美（石川・金沢向陽）
70 仮屋裕子（鹿児島・鹿児島女子）
71 二ノ宮美佳（岐阜・岐阜商業）
72 横田裕子（岡山・山陽女子）
73 鹿野今日子（山形・山形城北女子）
74 古田幸代（香川・香川中央）
75 高山知子（東京・文化女子大附属杉並）
76 半田輝子（秋田・秋田和洋女子）
77 押川生子（宮崎・宮崎商業）
78 丹羽理津子（三重・暁）
79 岑吉幸子（福井・足羽）
80 伏見亜古（宮城・聖ウルスラ学院）
81 盛定聖（茨城・常総学院）
82 金城千賀（沖縄・豊見城南）
83 清水智子（奈良・市立一条）
84 西町由紀（山口・高森）
85 長谷川真弓（北北海道・釧路星園）
86 佐藤直子（広島・鈴峯女子）
87 小森在紀子（長崎・鶴鳴女子）
88 新井珠美（群馬・桐生市立商業）
89 谷岡史子（高知・土佐女子）
90 青田久美（福島・原町）
91 坂田美佐（大阪・四條畷学園）
92 中村富美子（静岡・富士宮東）
93 田中厚子（京都・成安女子）
94 沼田由香里（新潟・新潟青陵）
95 浜田恵子（鳥取・境）
96 村上友紀（神奈川・弥栄西）
97 河上恵美（愛媛・西条）
98 宮村愛子（熊本・熊本中央女子）

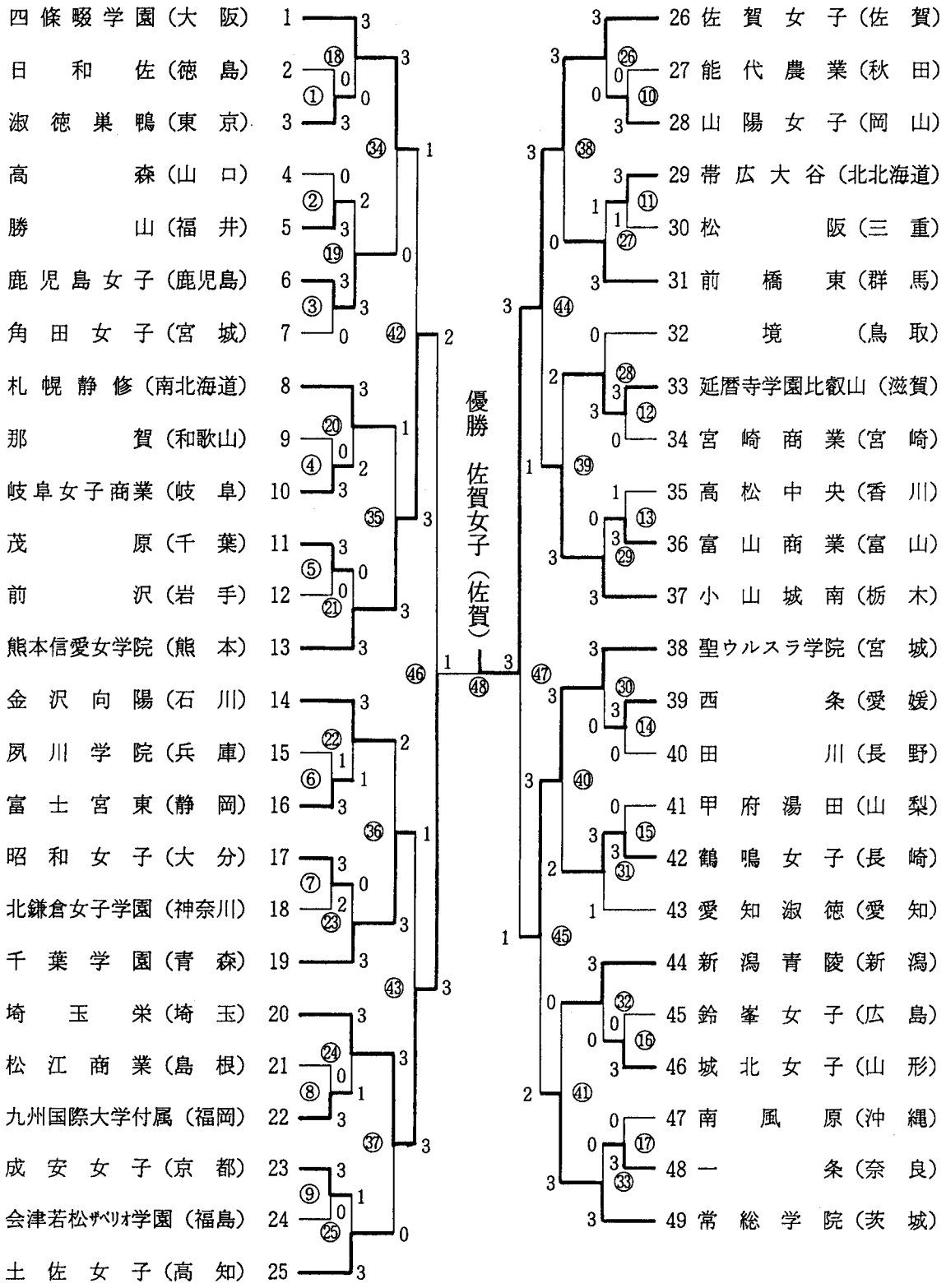
第41回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1990年度)

期日　平成２年７月31日～８月５日
会場　塩竈市体育館　塩竈市立月見ヶ丘小学校体育館
　　宮城県塩釜高等学校体育館　松島第二町民体育館
　　塩竈市立第三中学校体育館　宮城県松島高等学校体育館

男子団体　(49校)



女子団体 (49校)


四條畷学園（大阪） 1
日和佐（徳島） 2
淑徳巣鴨（東京） 3
高森（山口） 4
勝山（福井） 5
鹿児島女子（鹿児島） 6
角田女子（宮城） 7
札幌静修（南北海道） 8
那賀（和歌山） 9
岐阜女子商業（岐阜） 10
茂原（千葉） 11
前沢（岩手） 12
熊本信愛女学院（熊本） 13
金沢向陽（石川） 14
夙川学院（兵庫） 15
富士宮東（静岡） 16
昭和女子（大分） 17
北鎌倉女子学園（神奈川） 18
千葉学園（青森） 19
埼玉栄（埼玉） 20
松江商業（島根） 21
九州国際大学付属（福岡） 22
成安女子（京都） 23
会津若松ザベリオ学園（福島） 24
土佐女子（高知） 25
優勝 佐賀女子（佐賀）
26 佐賀女子（佐賀）
27 能代農業（秋田）
28 山陽女子（岡山）
29 帯広大谷（北北海道）
30 松阪（三重）
31 前橋東（群馬）
32 境（鳥取）
33 延暦寺学園比叡山（滋賀）
34 宮崎商業（宮崎）
35 高松中央（香川）
36 富山商業（富山）
37 小山城南（栃木）
38 聖ウルスラ学院（宮城）
39 西条（愛媛）
40 田川（長野）
41 甲府湯田（山梨）
42 鶴鳴女子（長崎）
43 愛知淑徳（愛知）
44 新潟青陵（新潟）
45 鈴峯女子（広島）
46 城北女子（山形）
47 南風原（沖縄）
48 一条（奈良）
49 常総学院（茨城）

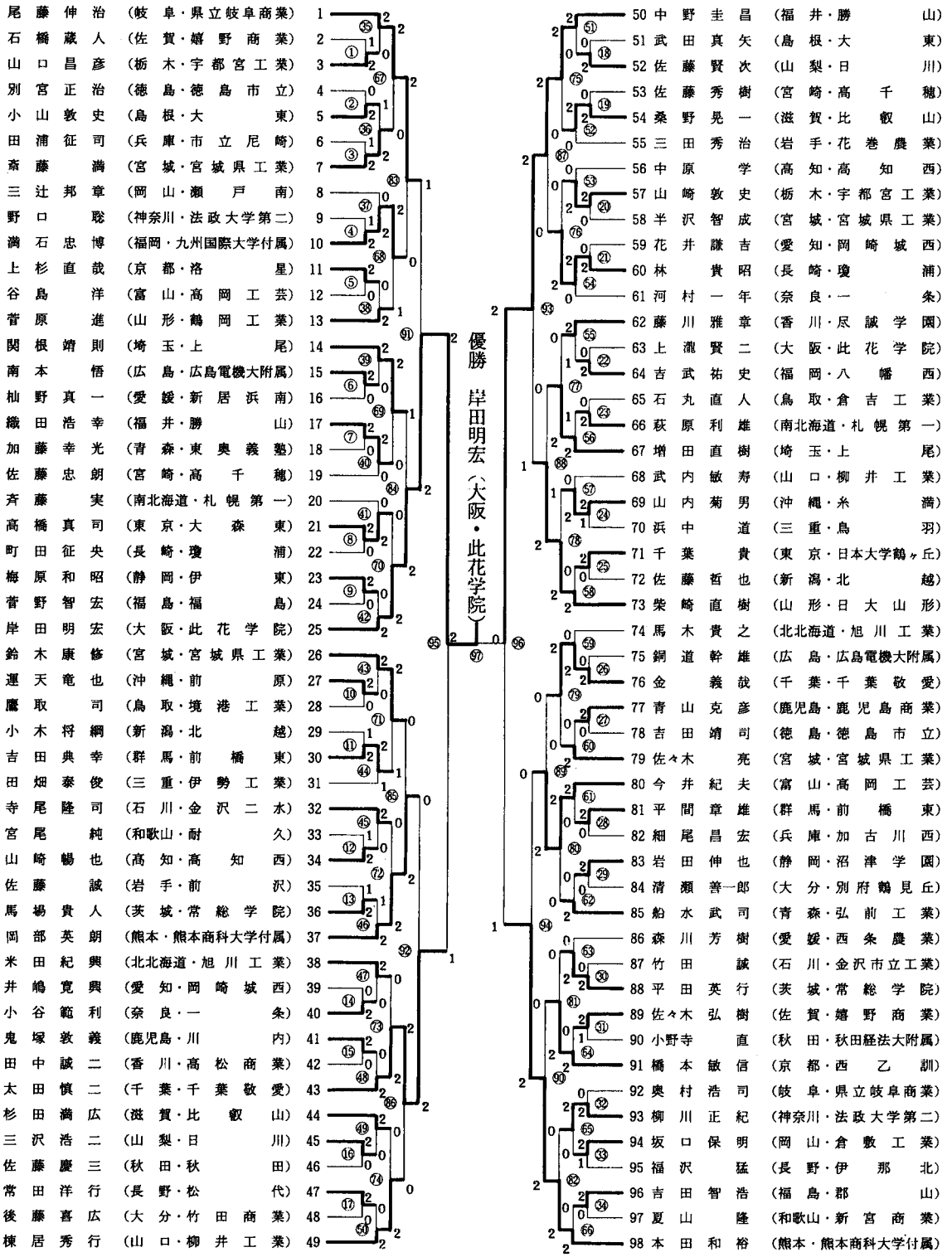
男子ダブルス　(98組)

1 前田　尚史・池端　和政（熊本・熊本商科大学付属）
2 濱口　剛・田浦　征司（兵　庫・市　立　尼　崎）
3 雨宮　勧・三森　文宏（山　梨・東海大甲府）
4 小原　正弘・畠山　和也（岩　手・花　北　商　業）
5 常田　洋行・小林　功一（長　野・松　　代）
6 小山　敦史・浜田　有史（島　根・大　　東）
7 溝口　明・福岡　和成（静　岡・伊　　東）
8 山崎　暢也・中原　学（高　知・高　知　西）
9 吉田　典幸・菅野　浩行（群　馬・前　橋　東）
10 坂本　正憲・上杉　直哉（京　都・洛　　星）
11 新垣　直樹・山城　幸政（沖　縄・糸　　満）
12 佐藤　貴紀・岡田　典久（宮　城・宮城県工業）
13 秋元　直幸・生島　英治（山　口・徳　山　工　業）
14 山口　英治・福土　誠（青　森・弘　前　工　業）
15 大山　貴弘・高橋　真（埼　玉・上　　尾）
16 奥村　浩司・上嶋　直也（岐　阜・県立岐阜商業）
17 佐藤　哲也・後藤　友都（新　潟・北　　越）
18 佐々木弘樹・石橋　蔵人（佐　賀・嬉　野　商　業）
19 河村　一年・小谷　範利（奈　良・一　　条）
20 小川　和宏・田村　隆紀（北北海道・滝　川　工　業）
21 溝部　浩之・南本　悟（広　島・広島電機大附属）
22 青木　康・竹鼻　拓也（石　川・金　沢　二　水）
23 吉野　文章・後藤　喜広（大　分・竹　田　商　業）
24 津田　篤志・中田　昌章（徳　島・城　　東）
25 蓑　浩之・山形　誠（東　京・関　東　第　一）
26 鈴木　康修・半沢　智成（宮　城・宮城県工業）
27 甲斐　敏正・甲斐　和志（宮　崎・高　千　穂）
28 杣野　真一・渡部　智之（愛　媛・新　居　浜　南）
29 南木　克彦・大山　功治（栃　木・宇都宮工業）
30 立野　隆行・久山　信行（岡　山・水　島　工　業）
31 小久保昌和・松井　宏樹（三　重・伊　勢　工　業）
32 水沢　直哉・福田　光伸（南北海道・札　幌　第　一）
33 半沢　薫・渡辺　勝美（福　島・郡　山　北　工　業）
34 中野　圭昌・谷口　澄夫（福　井・勝　　山）
35 岸田　明宏・上瀧　賢二（大　阪・此　花　学　院）
36 江口　俊広・城戸　孝夫（福　岡・大　牟　田）
37 太田　慎二・小川　健樹（千　葉・千　葉　敬　愛）
38 野田　雅雄・田中　誠二（香　川・高　松　商　業）
39 石沢　英紀・小林　裕悦（山　形・日　大　山　形）
40 山浦　元樹・沼尻　裕昭（茨　城・常　総　学　院）
41 塚本　和広・河村　剛（滋　賀・比　叡　山）
42 内木場　裕・青山　克彦（鹿児島・鹿　児　島　商　業）
43 今井　紀夫・谷島　洋（富　山・高　岡　工　芸）
44 鷹取　司・安田　志信（鳥　取・境　港　工　業）
45 柳川　正紀・野口　聡（神奈川・法政大学第二）
46 谷口　泰生・前田　健吾（和歌山・星　　林）
47 山崎　広史・藤田　悟（秋　田・秋田経法大附属）
48 森下　貴人・花井　謙吉（愛　知・岡　崎　城　西）
49 林　貴昭・町田　征央（長　崎・瓊　　浦）

優勝　斉藤・大山（茨城・常総学院）

50 本田　和裕・岡部　英明（熊本・熊本商科大学附属）
51 寺田　健一・佐々木貴吉（福　島・帝　京　安　積）
52 田中　治・豊口　祥司（香　川・高　松　商　業）
53 武田　真矢・岩田　庸嗣（島　根・大　　東）
54 宇都宮龍二・斉藤　範行（静　岡・伊　東　商　業）
55 山口　昌彦・山崎　教史（栃　木・宇都宮工業）
56 斎藤　満・佐々木　亮（宮　城・宮城県工業）
57 森木　永宗・橋本　龍児（群　馬・桐　生　商　業）
58 馬場　英明・山下新一郎（佐　賀・嬉　野　商　業）
59 細尾　昌宏・永田　康之（兵　庫・加　古　川　西）
60 吉田　茂美・鶴峰　真（福　井・足　　羽）
61 米田　紀興・馬木　貴之（北北海道・旭　川　工　業）
62 柴崎　直樹・川合　秀幸（山　形・日　大　山　形）
63 星野　信人・渡辺　淳（愛　知・岡　崎　城　西）
64 宮尾　純・畠中　卓也（和歌山・耐　　久）
65 三沢　浩二・佐藤　賢次（山　梨・日　　川）
66 山内　菊男・新垣　義樹（沖　縄・糸　　満）
67 三辻　邦章・西方　和夫（岡　山・瀬　戸　南）
68 藤井　茂雄・山崎　雅也（大　阪・柏　　原）
69 久代　恵介・金子　武志（新　潟・新　　潟）
70 森山　良一・高月　俊光（長　崎・瓊　　浦）
71 唐川　博光・木村　真悟（広　島・府　　中）
72 久武　宣興・植野　祐司（高　知・土　　佐）
73 関根　靖則・殖栗　健貴（埼　玉・上　　尾）
74 平野　耕司・桑野　晃一（滋　賀・比　叡　山）
75 矢沢　哲也・中島　陵（長　野・飯　　田）
76 浜中　道・仙田　肇（三　重・鳥　　羽）
77 清瀬善一郎・久保田高史（大　分・別府鶴見丘）
78 宮田　敬・濱崎　豊和（千　葉・千葉商大付属）
79 佐藤　忠伸・馬場　潤（宮　城・角　　田）
80 斉藤　一裕・大山　宏司（茨　城・常　総　学　院）
81 松沢　計二・桑野　篤史（福　岡・福岡大学附属大）
82 三田　秀治・安藤　修樹（岩　手・花　巻　農　業）
83 別宮　正治・永野　晃章（徳　島・徳　島　市　立）
84 萩原　利雄・斉藤　実（南北海道・札　幌　第　一）
85 棟居　秀行・武内　敏寿（山　口・柳　井　工　業）
86 尾藤　伸治・苅谷　富嗣（岐　阜・県立岐阜商業）
87 岩井　完・石渡　裕俊（京　都・洛　　星）
88 高橋　英二・永島　治（東　京・関　東　第　一）
89 高橋　猛・朝日奈利幸（富　山・富　山　商　業）
90 小野寺　直・岡崎　保（秋　田・秋田経法大附属）
91 佐藤　宗朗・佐藤　秀樹（宮　崎・高　千　穂）
92 船水　武司・小山　和幸（青　森・弘　前　工　業）
93 石丸　直人・西村　政人（鳥　取・倉　吉　工　業）
94 加藤　哲郎・森川　芳樹（愛　媛・西　条　農　業）
95 小水流哲朗・窪田　龍博（鹿児島・鹿　児　島）
96 及川　利行・柏木　衛（神奈川・川崎市立工業）
97 高木真一郎・上村　賢司（奈　良・郡　　山）
98 大多　晴久・石本　明男（石　川・金沢市立工業）

男子シングルス (98名)


優勝 岸田明宏（大阪・此花学院）
1 尾藤伸治（岐阜・県立岐阜商業）
2 石橋蔵人（佐賀・嬉野商業）
3 山口昌彦（栃木・宇都宮工業）
4 別宮正治（徳島・徳島市立）
5 小山敦史（島根・大東）
6 田浦征司（兵庫・市立尼崎）
7 斎藤満（宮城・宮城県工業）
8 三辻邦章（岡山・瀬戸南）
9 野口聡（神奈川・法政大学第二）
10 満石忠博（福岡・九州国際大学付属）
11 上杉直哉（京都・洛星）
12 谷島洋（富山・高岡工芸）
13 菅原進（山形・鶴岡工業）
14 関根靖則（埼玉・上尾）
15 南本悟（広島・広島電機大附属）
16 杣野真一（愛媛・新居浜南）
17 織田浩幸（福井・勝山）
18 加藤幸光（青森・東奥義塾）
19 佐藤忠朗（宮崎・高千穂）
20 斉藤実（南北海道・札幌第一）
21 高橋真司（東京・大森東）
22 町田征央（長崎・瓊浦）
23 梅原和昭（静岡・伊東）
24 菅野智宏（福島・福島）
25 岸田明宏（大阪・此花学院）
26 鈴木康修（宮城・宮城県工業）
27 運天竜也（沖縄・前原）
28 鷹取司（鳥取・境港工業）
29 小木将綱（新潟・北越）
30 吉田典幸（群馬・前橋東）
31 田畑泰俊（三重・伊勢工業）
32 寺尾隆司（石川・金沢二水）
33 宮尾純（和歌山・耐久）
34 山崎暢也（高知・高知西）
35 佐藤誠（岩手・前沢）
36 馬場貴人（茨城・常総学院）
37 岡部英朗（熊本・熊本商科大学付属）
38 米田紀興（北北海道・旭川工業）
39 井嶋寛興（愛知・岡崎城西）
40 小谷範利（奈良・一条）
41 鬼塚敦義（鹿児島・川内）
42 田中誠二（香川・高松商業）
43 太田慎二（千葉・千葉敬愛）
44 杉田満広（滋賀・比叡山）
45 三沢浩二（山梨・日川）
46 佐藤慶三（秋田・秋田）
47 常田洋行（長野・松代）
48 後藤喜広（大分・竹田商業）
49 棟居秀行（山口・柳井工業）
50 中野圭昌（福井・勝山）
51 武田真矢（島根・大東）
52 佐藤賢次（山梨・日川）
53 佐藤秀樹（宮崎・高千穂）
54 桑野晃一（滋賀・比叡山）
55 三田秀治（岩手・花巻農業）
56 中原学（高知・高知西）
57 山崎敦史（栃木・宇都宮工業）
58 半沢智成（宮城・宮城県工業）
59 花井謙吉（愛知・岡崎城西）
60 林貴昭（長崎・瓊浦）
61 河村一年（奈良・一条）
62 藤川雅章（香川・尽誠学園）
63 上瀧賢二（大阪・此花学院）
64 吉武祐史（福岡・八幡西）
65 石丸直人（鳥取・倉吉工業）
66 萩原利雄（南北海道・札幌第一）
67 増田直樹（埼玉・上尾）
68 武内敏寿（山口・柳井工業）
69 山内菊男（沖縄・糸満）
70 浜中道（三重・鳥羽）
71 千葉貴（東京・日本大学鶴ヶ丘）
72 佐藤哲也（新潟・北越）
73 柴崎直樹（山形・日大山形）
74 馬木貴之（北北海道・旭川工業）
75 銅道幹雄（広島・広島電機大附属）
76 金義哉（千葉・千葉敬愛）
77 青山克彦（鹿児島・鹿児島商業）
78 吉田靖司（徳島・徳島市立）
79 佐々木亮（宮城・宮城県工業）
80 今井紀夫（富山・高岡工芸）
81 平間章雄（群馬・前橋東）
82 細尾昌宏（兵庫・加古川西）
83 岩田伸也（静岡・沼津学園）
84 清瀬善一郎（大分・別府鶴見丘）
85 船水武司（青森・弘前工業）
86 森川芳樹（愛媛・西条農業）
87 竹田誠（石川・金沢市立工業）
88 平田英行（茨城・常総学院）
89 佐々木弘樹（佐賀・嬉野商業）
90 小野寺直（秋田・秋田経法大附属）
91 橋本敏信（京都・西乙訓）
92 奥村浩司（岐阜・県立岐阜商業）
93 柳川正紀（神奈川・法政大学第二）
94 坂口保明（岡山・倉敷工業）
95 福沢猛（長野・伊那北）
96 吉田智浩（福島・郡山）
97 夏山隆（和歌山・新宮商業）
98 本田和裕（熊本・熊本商科大学付属）

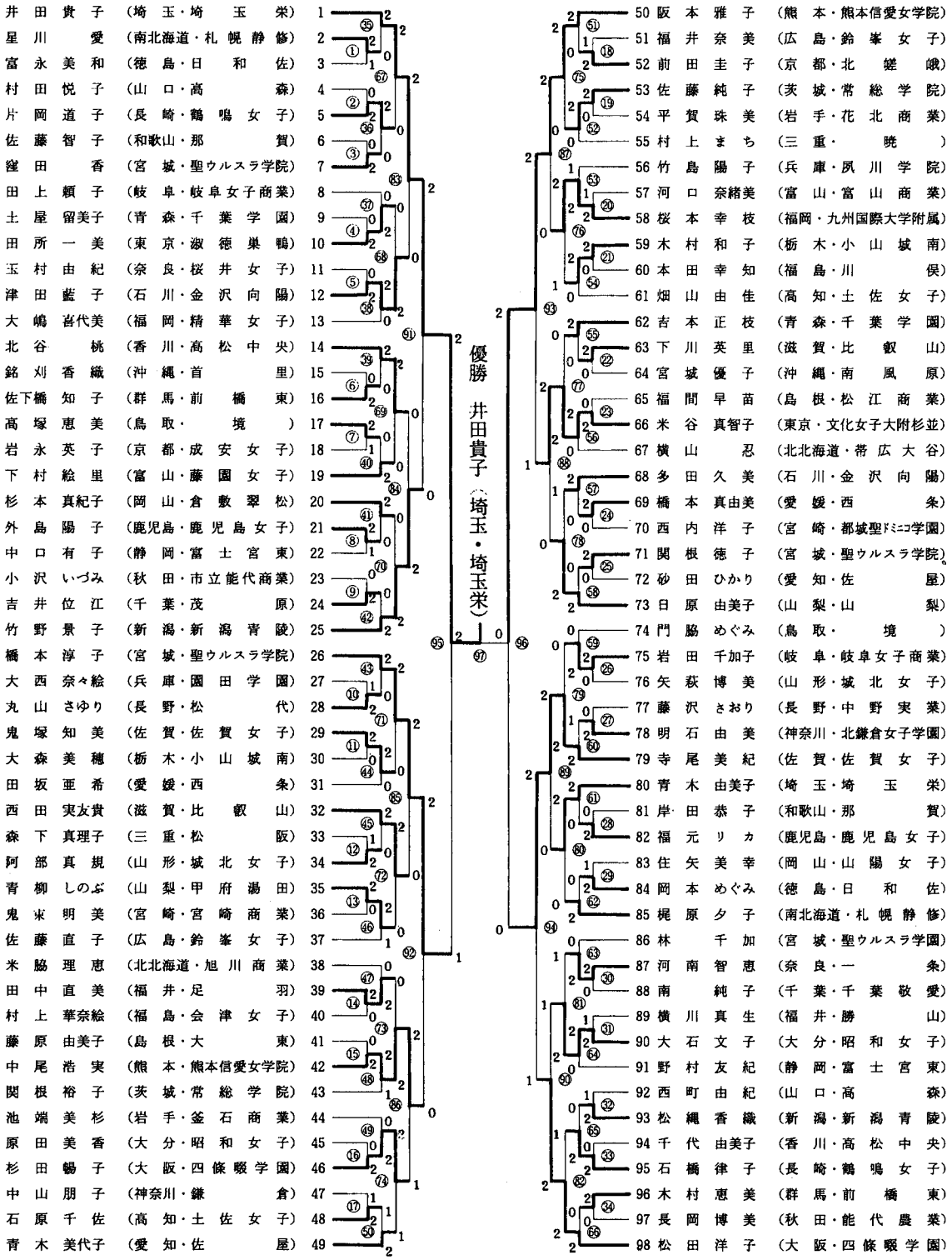
女子ダブルス　(98組)

1 阪本　雅子・渡邉真由美（熊　本・熊本信愛女学院）
2 白石あかね・山西　陽子（千　葉・千　葉　敬　愛）
3 佐藤真由美・近藤美由紀（広　島・鈴　峯　女　子）
4 望月　映美・望月さおり（静　岡・吉　　原）
5 橋本真由美・重松　宏枝（愛　媛・西　　条）
6 古賀　聖子・村上　直美（兵　庫・加　古　川　南）
7 関根　徳子・林　千加（宮　城・聖ウルスラ学院）
8 青谷　香奈・湯浅　真代（京　都・成　安　女　子）
9 犠野　京子・山崎由美子（新　潟・新　潟　青　陵）
10 林田いづみ・高塚　恵美（鳥　取・　境　）
11 野沢　亜希・阿部　真規（山　形・城　北　女　子）
12 大石　文子・橋本　明子（大　分・昭　和　女　子）
13 金津　牧子・木村　恵美（群　馬・前　橋　東）
14 多田　久美・安田　香奈（石　川・金　沢　向　陽）
15 高橋　美和・藤原由美子（島　根・大　　東）
16 石井安規子・宮崎　久美（奈　良・一　　条）
17 銘刈　香織・宮城　由布（沖　縄・首　　里）
18 長岡　博美・高田裕美子（秋　田・能　代　農　業）
19 塚原　貴子・江連　映子（栃　木・小　山　城　南）
20 青木美代子・砂田ひかり（愛　知・佐　　屋）
21 伊藤　香・高橋智香子（岩　手・盛　岡　市　立）
22 海野かおり・浜崎　忍（埼　玉・埼　玉　栄）
23 小野　初美・甲斐　雅代（宮　崎・延　岡　商　業）
24 千葉　広美・中田みゆき（北北海道・帯　広　大　谷）
25 北谷　桃・村瀬　香（香　川・高　松　中　央）
26 橋本　淳子・山田　裕美（宮　城・聖ウルスラ学院）
27 安留　有紀・吉沢　章子（大　阪・八　尾　東）
28 石原　千佐・谷岡　園子（高　知・土　佐　女　子）
29 大嶋喜代美・蓮尾　英美（福　岡・精　華　女　子）
30 境　亜紀子・明石　由美（神奈川・北鎌倉女子学園）
31 牛田　美希・下村　絵里（富　山・藤　園　女　子）
32 佳矢　美幸・佐藤　由紀（岡　山・山　陽　女　子）
33 田中　恵・浦田　望（三　重・松　　阪）
34 福元　リカ・外島　陽子（鹿児島・鹿　児　島　女　子）
35 林　春美・青柳しのぶ（山　梨・甲　府　湯　田）
36 藤村　明美・北澤　美佳（長　野・田　　川）
37 梶原　夕子・佐藤　京子（南北海道・札　幌　静　修）
38 吉本　正枝・土屋留美子（青　森・千　葉　学　園）
39 野田　千鶴・薫田　聡子（岐　阜・岐　阜　女　子　商　業）
40 谷口真季子・非窪理浦子（和歌山・向　　陽）
41 長谷川貴子・橋本ゆかり（茨　城・常　総　学　院）
42 田中　直美・堀田　美香（福　井・足　　羽）
43 松隈　敦子・生田富千子（佐　賀・佐　賀　女　子）
44 岡本めぐみ・小尻沙山厘（徳　島・日　和　佐）
45 二階堂純子・本田　幸知（福　島・川　　俣）
46 村田　悦子・増田　由加（山　口・高　　森）
47 片岡　道子・中尾布由子（長　崎・鶴　鳴　女　子）
48 本間千賀子・米谷真智子（東京・文化女子大附杉並）
49 下川　英里・西田実友貴（滋　賀・比　叡　山）

優勝　阪本・渡辺（熊本・熊本信愛女学院）

50 小吹　夏子・堤　眞由美（茨　城・常　総　学　院）
51 田中　暁・阿部　雅代（山　形・城　北　女　子）
52 伊藤　勅子・唐木　智子（長　野・長　　野）
53 川村　成美・植木祐美恵（大　分・昭　和　女　子）
54 村上　まち・東海小百合（三　重・　暁　）
55 岩崎　美香・黒崎由紀子（南北海道・北星学園女子）
56 畑山　由佳・西川真佐子（高　知・土　佐　女　子）
57 相山　恵美・松島　友子（富　山・高　岡　女　子）
58 古谷　操・富田　純子（神奈川・北鎌倉女子学園）
59 河南　智恵・吉村　育美（奈　良・一　　条）
60 坂本佳寿子・濱治　玲子（熊　本・熊本中央女子）
61 門脇めぐみ・門脇あゆみ（鳥　取・　境　）
62 日原由美子・野沢　真弓（山　梨・山　　梨）
63 富永　美和・坂本　香（徳　島・日　和　佐）
64 今井　友紀・岩永　英子（京　都・成　安　女　子）
65 佐藤　直子・前野　久美（広　島・鈴　峯　女　子）
66 野中真由美・桜本　幸枝（福岡・九州国際大学付属）
67 林　夕起子・武田　明美（青　森・千　葉　学　園）
68 松田　洋子・杉田　暢子（大　阪・四　條　畷　学　園）
69 岡　加代子・佐竹　朋子（宮　城・聖ウルスラ学院）
70 横川　真生・深井紀久子（福　井・勝　　山）
71 長嶺　朋子・高嶺あゆみ（沖　縄・糸　　満）
72 大森　美穂・渡辺むつみ（栃　木・小　山　城　南）
73 岩田由紀子・岩田千加子（岐　阜・岐　阜　女　子　商　業）
74 井田　貴子・青木由美子（埼　玉・埼　玉　栄）
75 中園　恵子・椎原　美幸（鹿児島・鹿　児　島　南）
76 池端　美杉・佐藤のぞみ（岩　手・釜　石　商　業）
77 西町　由紀・村田みつえ（山　口・高　　森）
78 藤原　望美・栗栖　真弓（兵　庫・夙　川　学　院）
79 大鋸　里美・山下　新（愛　知・市　邨　学　園）
80 竹野　景子・松縄　香織（新　潟・新　潟　青　陵）
81 佐藤　直子・原田　理香（秋　田・秋田和洋女子）
82 石橋　律子・山下　美香（長　崎・鶴　鳴　女　子）
83 田所　宏美・田所　一美（東　京・淑　徳　巣　鴨）
84 杉谷　英子・北村　章子（滋　賀・比　叡　山）
85 田坂　亜希・田坂あゆみ（愛　媛・西　　条）
86 猪岡　亜紀・窪田　香（宮　城・聖ウルスラ学院）
87 福間　早苗・日野　智子（島　根・松　江　商　業）
88 上田菜央子・川崎　朋子（宮　崎・宮　崎　商　業）
89 岸田　恭子・佐藤　智子（和歌山・那　　賀）
90 佐下橋知子・田部井美奈（群　馬・前　橋　東）
91 横山　忍・鳥本　知美（北北海道・帯　広　大　谷）
92 佐藤　純子・高岡　ゆり（岡　山・山　陽　女　子）
93 佐久間美喜・吉井　位江（千　葉・茂　　原）
94 野村　友紀・中口　有子（静　岡・富　士　宮　東）
95 棚澤　ゆみ・飯間　容子（香　川・香　川　中　央）
96 柴田としみ・鶴来　悦子（石　川・金　沢　商　業）
97 穴沢亜矢子・沢井　千恵（福島・会津若松ザベリオ学園）
98 篠原　久子・寺尾　美紀（佐　賀・佐　賀　女　子）

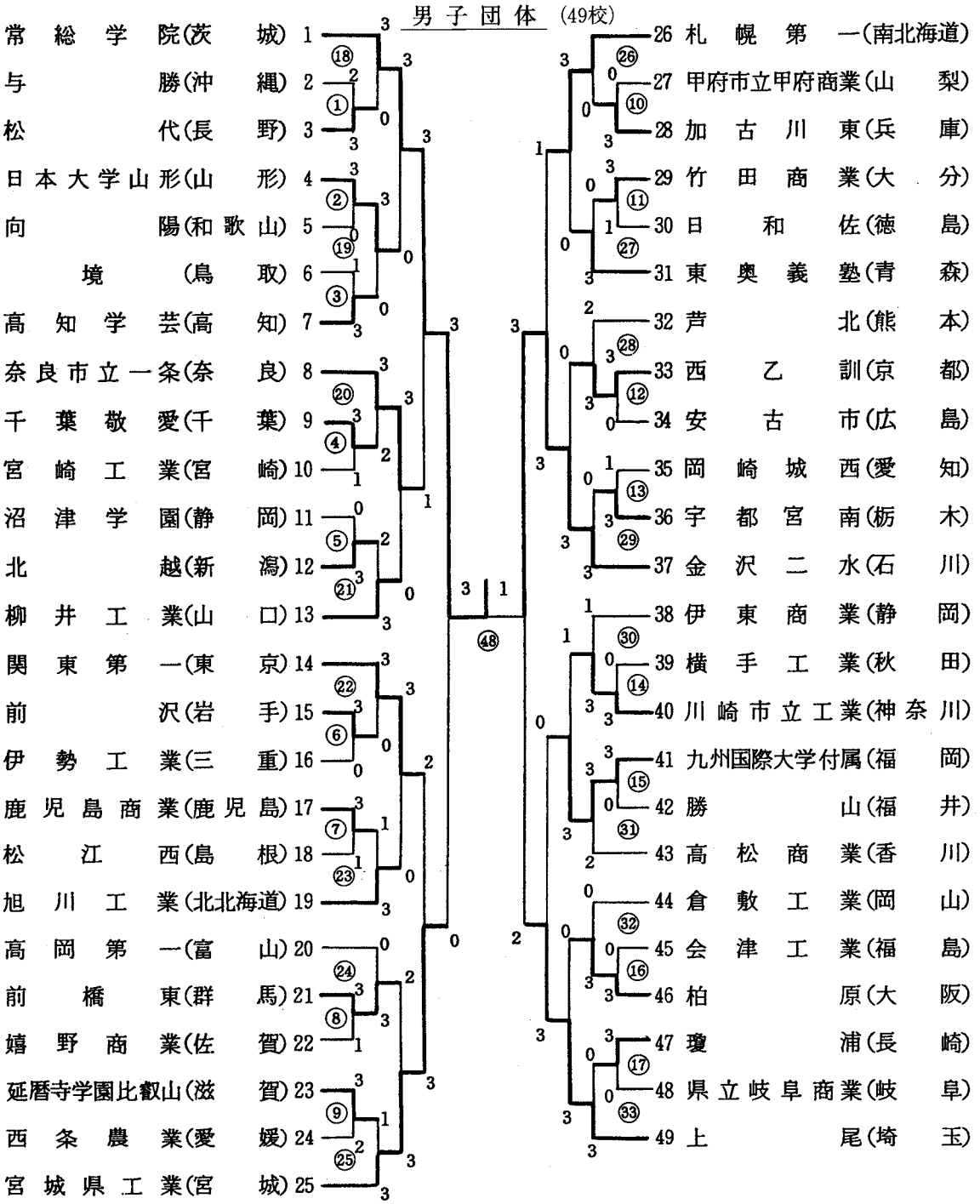
女子シングルス (98名)


井田貴子 (埼玉・埼玉栄) 1
星川愛 (南北海道・札幌静修) 2
富永美和 (徳島・日和佐) 3
村田悦子 (山口・高森) 4
片岡道子 (長崎・鶴鳴女子) 5
佐藤智子 (和歌山・那賀) 6
窪田香 (宮城・聖ウルスラ学院) 7
田上頼子 (岐阜・岐阜女子商業) 8
土屋留美子 (青森・千葉学園) 9
田所一美 (東京・淑徳巣鴨) 10
玉村由紀 (奈良・桜井女子) 11
津田藍子 (石川・金沢向陽) 12
大嶋喜代美 (福岡・精華女子) 13
北谷桃 (香川・高松中央) 14
銘刈香織 (沖縄・首里) 15
佐下橋知子 (群馬・前橋東) 16
高塚恵美 (鳥取・境) 17
岩永英子 (京都・成安女子) 18
下村絵里 (富山・藤園女子) 19
杉本真紀子 (岡山・倉敷翠松) 20
外島陽子 (鹿児島・鹿児島女子) 21
中口有子 (静岡・富士宮東) 22
小沢いづみ (秋田・市立能代商業) 23
吉井位江 (千葉・茂原) 24
竹野景子 (新潟・新潟青陵) 25
橋本淳子 (宮城・聖ウルスラ学院) 26
大西奈々絵 (兵庫・園田学園) 27
丸山さゆり (長野・松代) 28
鬼塚知美 (佐賀・佐賀女子) 29
大森美穂 (栃木・小山城南) 30
田坂亜希 (愛媛・西条) 31
西田実友貴 (滋賀・比叡山) 32
森下真理子 (三重・松阪) 33
阿部真規 (山形・城北女子) 34
青柳しのぶ (山梨・甲府湯田) 35
鬼束明美 (宮崎・宮崎商業) 36
佐藤直子 (広島・鈴峯女子) 37
米脇理恵 (北北海道・旭川商業) 38
田中直美 (福井・足羽) 39
村上華奈絵 (福島・会津女子) 40
藤原由美子 (島根・大東) 41
中尾浩実 (熊本・熊本信愛女学院) 42
関根裕子 (茨城・常総学院) 43
池端美杉 (岩手・釜石商業) 44
原田美香 (大分・昭和女子) 45
杉田暢子 (大阪・四條畷学園) 46
中山朋子 (神奈川・鎌倉) 47
石原千佐 (高知・土佐女子) 48
青木美代子 (愛知・佐屋) 49
優勝 井田貴子 (埼玉・埼玉栄)
50 阪本雅子 (熊本・熊本信愛女学院)
51 福井奈美 (広島・鈴峯女子)
52 前田圭子 (京都・北嵯峨)
53 佐藤純子 (茨城・常総学院)
54 平賀珠美 (岩手・花北商業)
55 村上まち (三重・暁)
56 竹島陽子 (兵庫・夙川学院)
57 河口奈緒美 (富山・富山商業)
58 桜本幸枝 (福岡・九州国際大学附属)
59 木村和子 (栃木・小山城南)
60 本田幸知 (福島・川俣)
61 畑山由佳 (高知・土佐女子)
62 吉本正枝 (青森・千葉学園)
63 下川英里 (滋賀・比叡山)
64 宮城優子 (沖縄・南風原)
65 福間早苗 (島根・松江商業)
66 米谷真智子 (東京・文化女子大附杉並)
67 横山忍 (北北海道・帯広大谷)
68 多田久美 (石川・金沢向陽)
69 橋本真由美 (愛媛・西条)
70 西内洋子 (宮崎・都城聖ドミニコ学園)
71 関根徳子 (宮城・聖ウルスラ学院)
72 砂田ひかり (愛知・佐屋)
73 日原由美子 (山梨・山梨)
74 門脇めぐみ (鳥取・境)
75 岩田千加子 (岐阜・岐阜女子商業)
76 矢萩博美 (山形・城北女子)
77 藤沢さおり (長野・中野実業)
78 明石由美 (神奈川・北鎌倉女子学園)
79 寺尾美紀 (佐賀・佐賀女子)
80 青木由美子 (埼玉・埼玉栄)
81 岸田恭子 (和歌山・那賀)
82 福元リカ (鹿児島・鹿児島女子)
83 住矢美幸 (岡山・山陽女子)
84 岡本めぐみ (徳島・日和佐)
85 梶原夕子 (南北海道・札幌静修)
86 林千加 (宮城・聖ウルスラ学園)
87 河南智恵 (奈良・一条)
88 南純子 (千葉・千葉敬愛)
89 横川真生 (福井・勝山)
90 大石文子 (大分・昭和女子)
91 野村友紀 (静岡・富士宮東)
92 西町由紀 (山口・高森)
93 松縄香織 (新潟・新潟青陵)
94 千代由美子 (香川・高松中央)
95 石橋律子 (長崎・鶴鳴女子)
96 木村恵美 (群馬・前橋東)
97 長岡博美 (秋田・能代農業)
98 松田洋子 (大阪・四條畷学園)

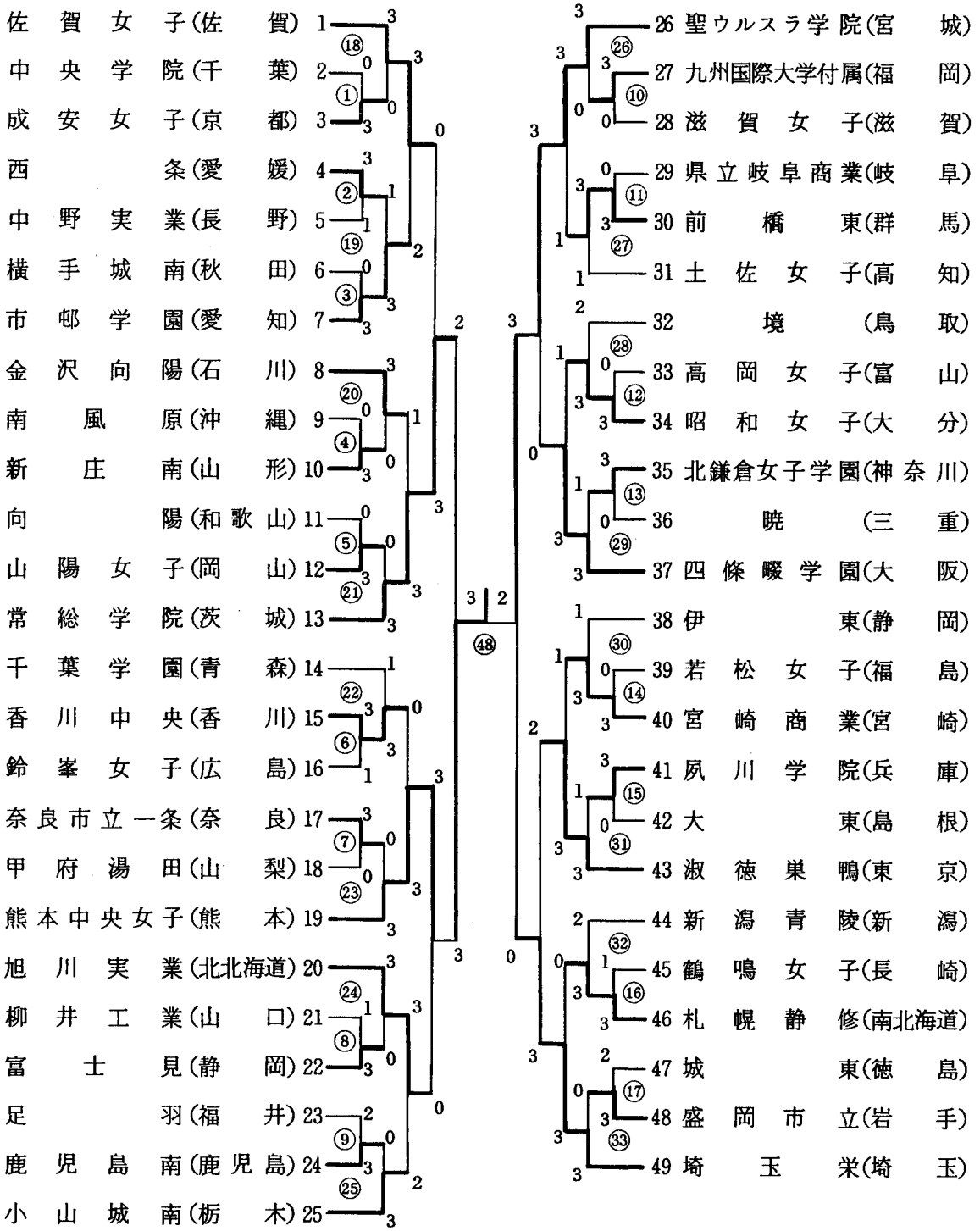
第42回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1991年度)

期日　平成３年８月１日～６日
会場　富士市立富士体育館　　静岡県富士見高等学校体育館
大昭和製紙㈱吉永工場体育館　　富士勤労者体育センター
静岡県立吉原工業高等学校第１・第２体育館

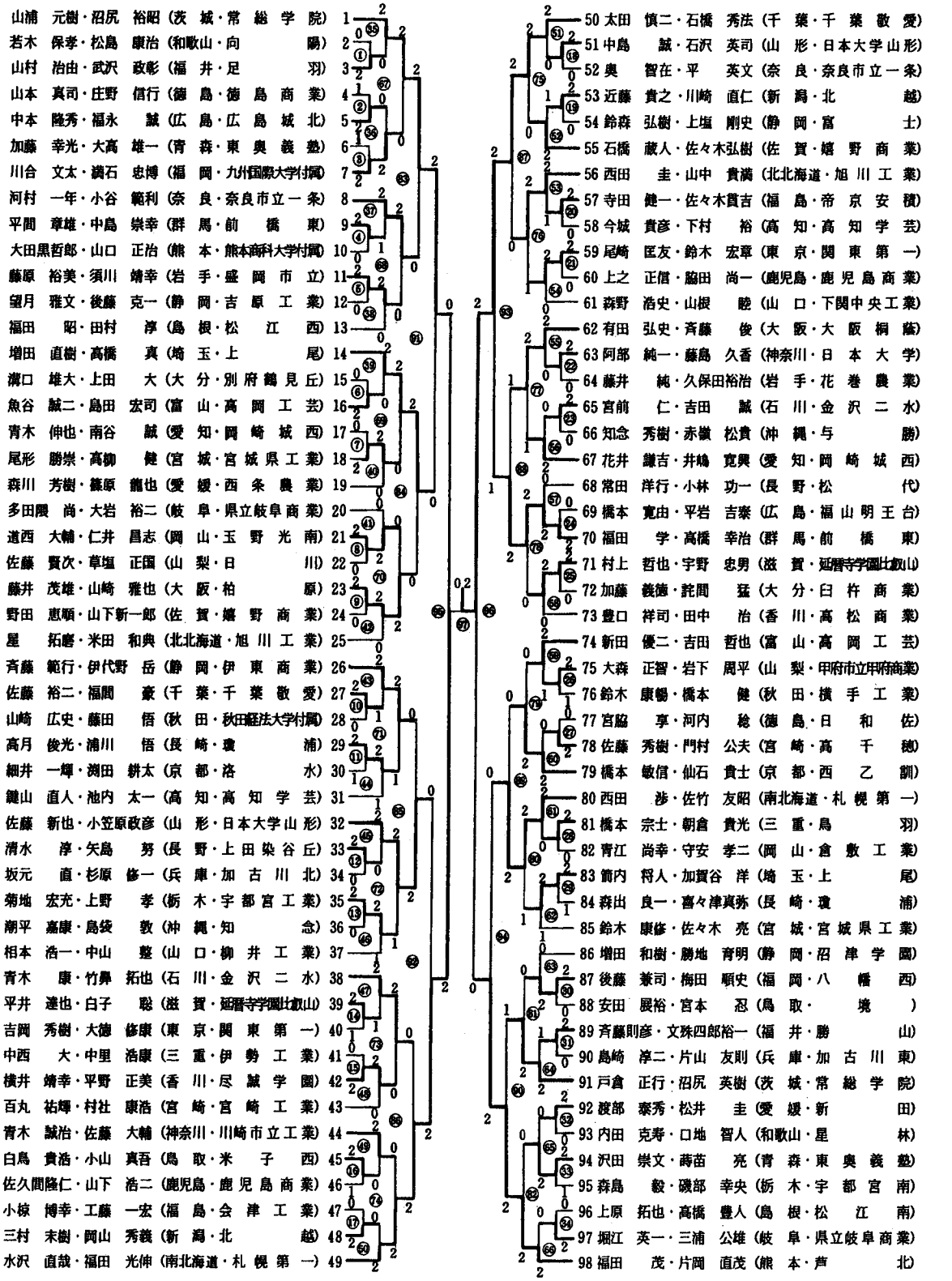
男子団体　(49校)



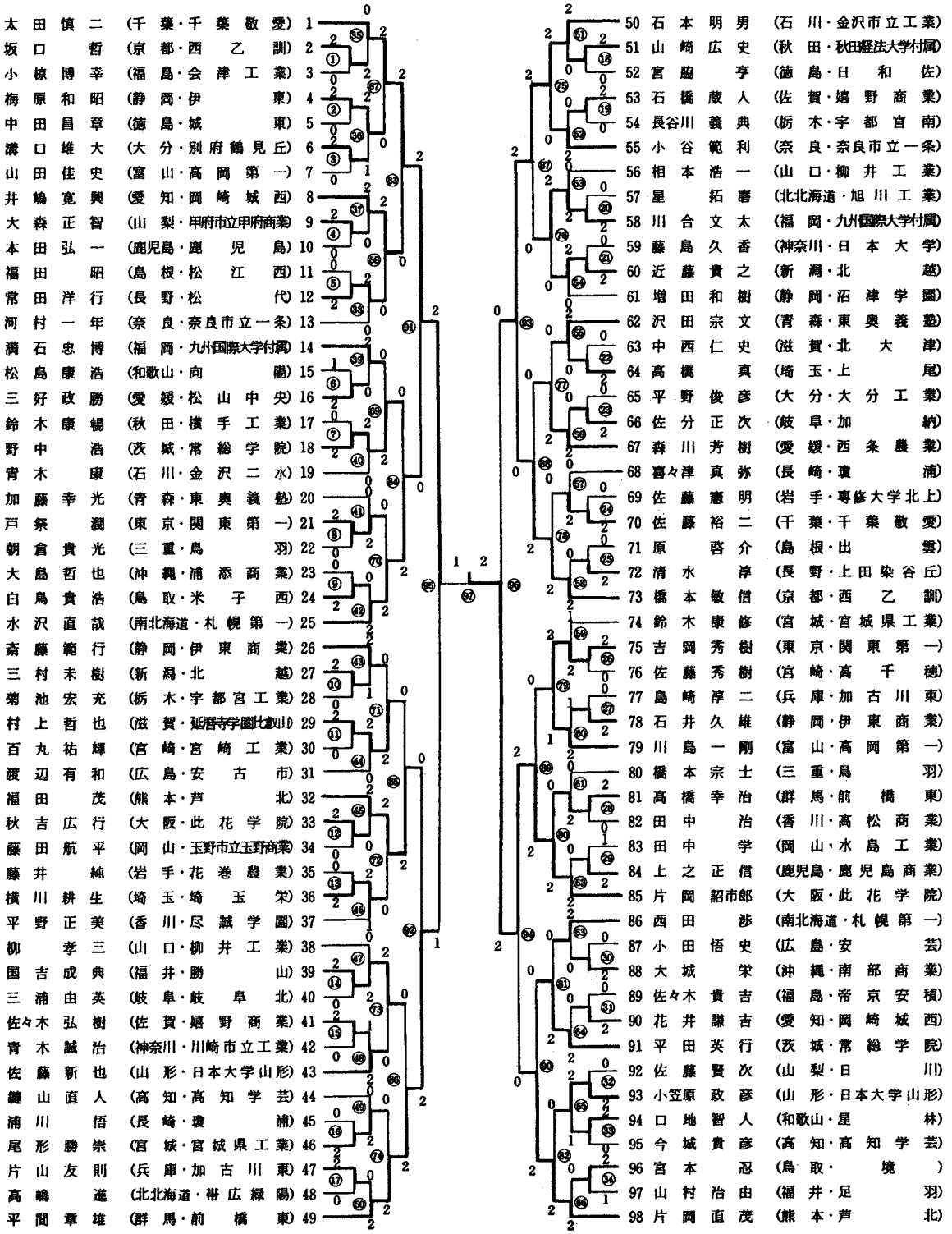
女子団体 (49校)


佐賀女子(佐賀) 1
中央学院(千葉) 2
成安女子(京都) 3
西条(愛媛) 4
中野実業(長野) 5
横手城南(秋田) 6
市邨学園(愛知) 7
金沢向陽(石川) 8
南風原(沖縄) 9
新庄南(山形) 10
向陽(和歌山) 11
山陽女子(岡山) 12
常総学院(茨城) 13
千葉学園(青森) 14
香川中央(香川) 15
鈴峯女子(広島) 16
奈良市立一条(奈良) 17
甲府湯田(山梨) 18
熊本中央女子(熊本) 19
旭川実業(北北海道) 20
柳井工業(山口) 21
富士見(静岡) 22
足羽(福井) 23
鹿児島南(鹿児島) 24
小山城南(栃木) 25
26 聖ウルスラ学院(宮城)
27 九州国際大学付属(福岡)
28 滋賀女子(滋賀)
29 県立岐阜商業(岐阜)
30 前橋東(群馬)
31 土佐女子(高知)
32 境(鳥取)
33 高岡女子(富山)
34 昭和女子(大分)
35 北鎌倉女子学園(神奈川)
36 暁(三重)
37 四條畷学園(大阪)
38 伊東(静岡)
39 若松女子(福島)
40 宮崎商業(宮崎)
41 夙川学院(兵庫)
42 大東(島根)
43 淑徳巣鴨(東京)
44 新潟青陵(新潟)
45 鶴鳴女子(長崎)
46 札幌静修(南北海道)
47 城東(徳島)
48 盛岡市立(岩手)
49 埼玉栄(埼玉)

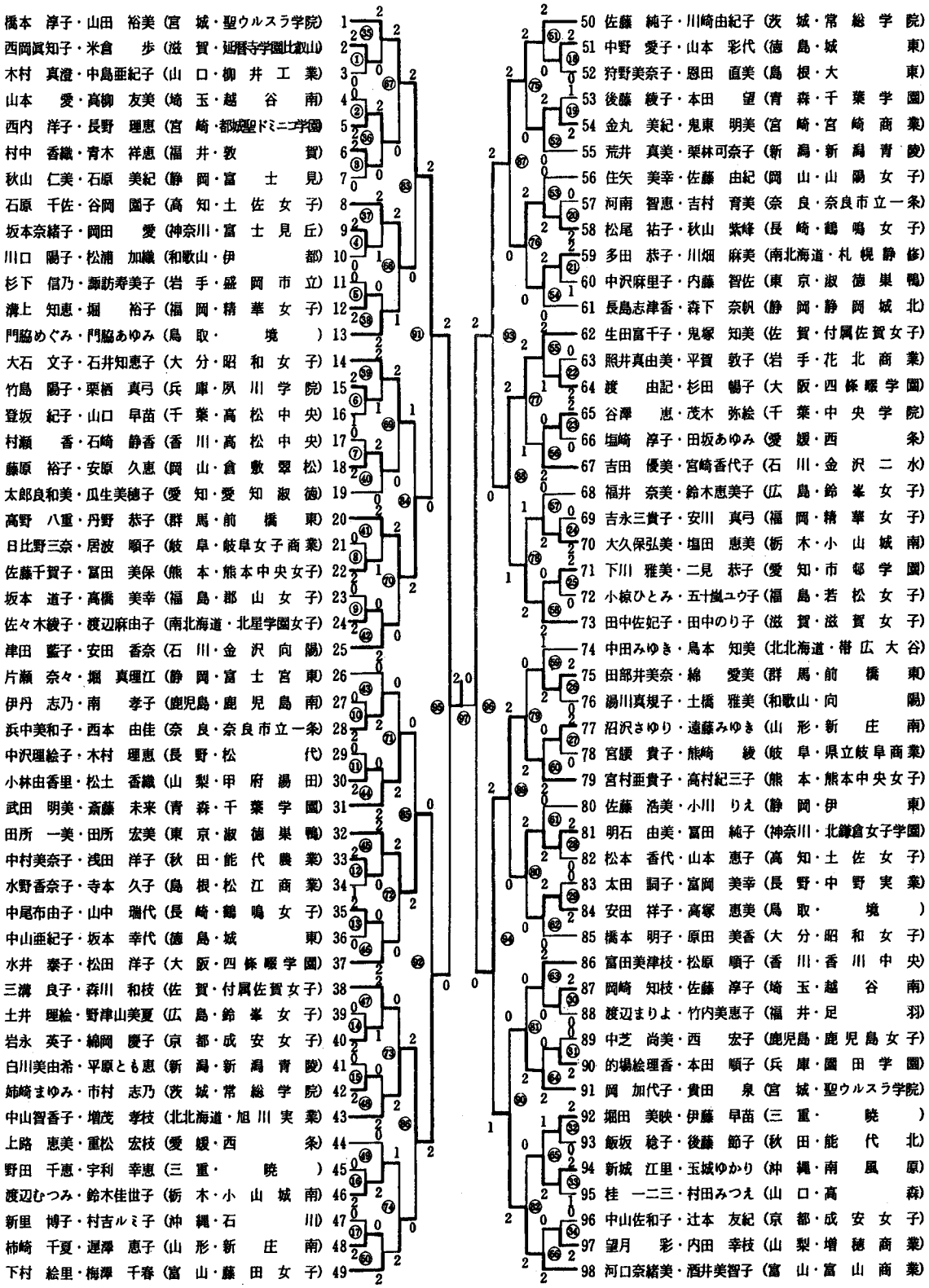
男子ダブルス　(98組)


1 山浦 元樹・沼尻 裕昭 (茨 城・常 総 学 院)
2 若木 保孝・松島 康治 (和歌山・向 陽)
3 山村 治由・武沢 政彰 (福 井・足 羽)
4 山本 真司・庄野 信行 (徳 島・徳 島 商 業)
5 中本 隆秀・福永 誠 (広 島・広 島 城 北)
6 加藤 幸光・大髙 雄一 (青 森・東 奥 義 塾)
7 川合 文太・満石 忠博 (福 岡・九州国際大学付属)
8 河村 一年・小谷 範利 (奈 良・奈良市立一 条)
9 平間 章雄・中島 崇幸 (群 馬・前 橋 東)
10 大田黒哲郎・山口 正治 (熊 本・熊本商科大学付属)
11 藤原 裕美・須川 靖幸 (岩 手・盛 岡 市 立)
12 望月 雅文・後藤 克一 (静 岡・吉 原 工 業)
13 福田 昭・田村 淳 (島 根・松 江 西)
14 増田 直樹・髙橋 真 (埼 玉・上 尾)
15 溝口 雄大・上田 大 (大 分・別 府 鶴 見 丘)
16 魚谷 誠二・島田 宏司 (富 山・高 岡 工 芸)
17 青木 伸也・南谷 誠 (愛 知・岡 崎 城 西)
18 尾形 勝崇・高柳 健 (宮 城・宮 城 県 工 業)
19 森川 芳樹・篠原 龍也 (愛 媛・西 条 農 業)
20 多田隈 尚・大岩 裕二 (岐 阜・県立岐阜商業)
21 道西 大輔・仁井 昌志 (岡 山・玉 野 光 南)
22 佐藤 賢次・草塩 正国 (山 梨・日 川)
23 藤井 茂雄・山崎 雅也 (大 阪・柏 原)
24 野田 恵順・山下新一郎 (佐 賀・嬉 野 商 業)
25 星 拓磨・米田 和典 (北北海道・旭 川 工 業)
26 斉藤 範行・伊代野 岳 (静 岡・伊 東 商 業)
27 佐藤 裕二・福間 豪 (千 葉・千 葉 敬 愛)
28 山崎 広史・藤田 悟 (秋 田・秋田経法大学付属)
29 高月 俊光・浦川 悟 (長 崎・瓊 浦)
30 細井 一輝・湖田 耕太 (京 都・洛 水)
31 鍬山 直人・池内 太一 (高 知・高 知 学 芸)
32 佐藤 新也・小笠原政彦 (山 形・日本大学山 形)
33 清水 淳・矢島 努 (長 野・上 田 染 谷 丘)
34 坂元 直・杉原 修一 (兵 庫・加 古 川 北)
35 菊地 宏充・上野 孝 (栃 木・宇 都 宮 工 業)
36 潮平 嘉康・島袋 敦 (沖 縄・知 念)
37 相本 浩一・中山 整 (山 口・柳 井 工 業)
38 青木 康・竹鼻 拓也 (石 川・金 沢 二 水)
39 平井 達也・白子 聡 (滋 賀・延暦寺学園比叡山)
40 吉岡 秀樹・大徳 修康 (東 京・関 東 第 一)
41 中西 大・中里 浩康 (三 重・伊 勢 工 業)
42 横井 靖幸・平野 正美 (香 川・尽 誠 学 園)
43 百丸 祐輝・村社 康浩 (宮 崎・宮 崎 工 業)
44 青木 誠治・佐藤 大輔 (神奈川・川崎市立工 業)
45 白鳥 貴浩・小山 真吾 (鳥 取・米 子 西)
46 佐久間隆仁・山下 浩二 (鹿児島・鹿 児 島 商 業)
47 小椋 博幸・工藤 一宏 (福 島・会 津 工 業)
48 三村 末樹・岡山 秀義 (新 潟・北 越)
49 水沢 直哉・福田 光伸 (南北海道・札 幌 第 一)
50 太田 慎二・石橋 秀法 (千 葉・千 葉 敬 愛)
51 中島 誠・石沢 英司 (山 形・日本大学山形)
52 奥 智在・平 英文 (奈 良・奈良市立一 条)
53 近藤 貴之・川崎 直仁 (新 潟・北 越)
54 鈴森 弘樹・上塩 剛史 (静 岡・富 士)
55 石橋 蔵人・佐々木弘樹 (佐 賀・嬉 野 商 業)
56 西田 圭・山中 貴満 (北北海道・旭 川 工 業)
57 寺田 健一・佐々木賢吉 (福 島・帝 京 安 積)
58 今城 貴彦・下村 裕 (高 知・高 知 学 芸)
59 尾崎 匡友・鈴木 宏章 (東 京・関 東 第 一)
60 上之 正信・脇田 尚一 (鹿児島・鹿 児 島 商 業)
61 森野 浩史・山根 睦 (山 口・下関中央工業)
62 有田 弘史・斉藤 俊 (大 阪・大 阪 桐 蔭)
63 阿部 純一・藤島 久香 (神奈川・日 本 大 学)
64 藤井 純・久保田裕治 (岩 手・花 巻 農 業)
65 宮前 仁・吉田 誠 (石 川・金 沢 二 水)
66 知念 秀樹・赤嶺 松貴 (沖 縄・与 勝)
67 花井 謙吉・井嶋 寛興 (愛 知・岡 崎 城 西)
68 常田 洋行・小林 功一 (長 野・松 代)
69 橋本 寛由・平岩 吉泰 (広 島・福山明王台)
70 福田 学・髙橋 幸治 (群 馬・前 橋 東)
71 村上 哲也・宇野 忠男 (滋 賀・延暦寺学園比叡山)
72 加藤 義徳・詫間 猛 (大 分・臼 杵 商 業)
73 豊口 祥司・田中 治 (香 川・高 松 商 業)
74 新田 優二・吉田 哲也 (富 山・高 岡 工 芸)
75 大森 正智・岩下 周平 (山 梨・甲府市立甲府商業)
76 鈴木 康暢・橋本 健 (秋 田・横 手 工 業)
77 宮脇 享・河内 稔 (徳 島・日 和 佐)
78 佐藤 秀樹・門村 公夫 (宮 崎・高 千 穂)
79 橋本 敏信・仙石 貴士 (京 都・西 乙 訓)
80 西田 渉・佐竹 友昭 (南北海道・札 幌 第 一)
81 橋本 宗士・朝倉 貴光 (三 重・鳥 羽)
82 青江 尚幸・守安 孝二 (岡 山・倉 敷 工 業)
83 箭内 将人・加賀谷 洋 (埼 玉・上 尾)
84 森出 良一・喜々津真弥 (長 崎・瓊 浦)
85 鈴木 康修・佐々木 亮 (宮 城・宮 城 県 工 業)
86 増田 和樹・勝地 育明 (静 岡・沼 津 学 園)
87 後藤 兼司・梅田 順史 (福 岡・八 幡 西)
88 安田 展裕・宮本 忍 (鳥 取・境)
89 斉藤則彦・文珠四郎裕一 (福 井・勝 山)
90 島崎 淳二・片山 友則 (兵 庫・加 古 川 東)
91 戸倉 正行・沼尻 英樹 (茨 城・常 総 学 院)
92 渡部 泰秀・松井 圭 (愛 媛・新 田)
93 内田 克寿・口地 智人 (和歌山・星 林)
94 沢田 崇文・蒔苗 亮 (青 森・東 奥 義 塾)
95 森島 毅・磯部 幸央 (栃 木・宇 都 宮 南)
96 上原 拓也・髙橋 豊人 (島 根・松 江 南)
97 堀江 英一・三浦 公雄 (岐 阜・県立岐阜商業)
98 福田 茂・片岡 直茂 (熊 本・芦 北)

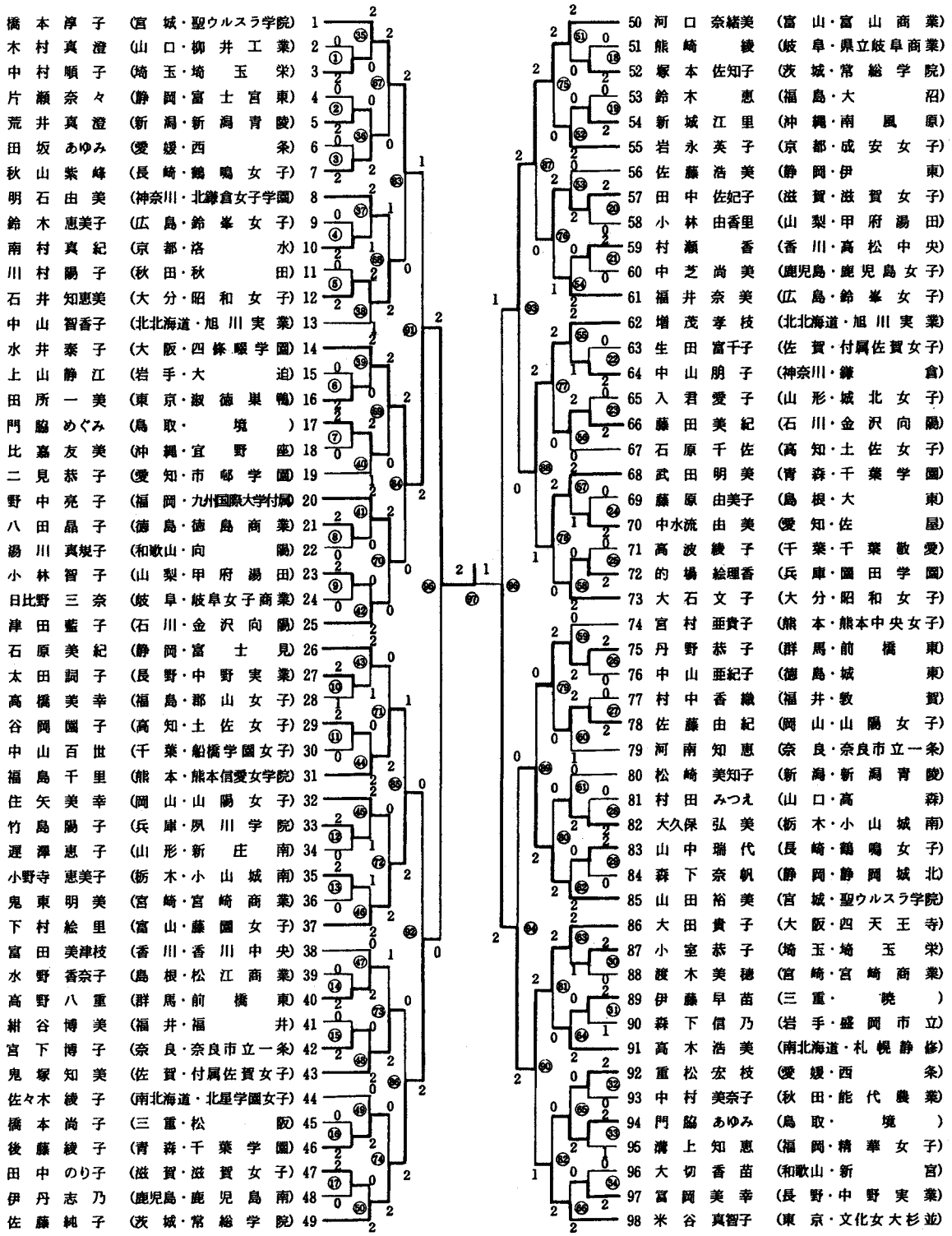
男子シングルス (98名)


太田慎二 (千葉・千葉敬愛) 1
坂口哲 (京都・西乙訓) 2
小椋博幸 (福島・会津工業) 3
梅原和昭 (静岡・伊東) 4
中田昌章 (徳島・城東) 5
溝口雄大 (大分・別府鶴見丘) 6
山田佳史 (富山・高岡第一) 7
井嶋寛興 (愛知・岡崎城西) 8
大森正智 (山梨・甲府市立甲府商業) 9
本田弘一 (鹿児島・鹿児島) 10
福田昭 (島根・松江西) 11
常田洋行 (長野・松代) 12
河村一年 (奈良・奈良市立一条) 13
満石忠博 (福岡・九州国際大学付属) 14
松島康浩 (和歌山・向陽) 15
三好政勝 (愛媛・松山中央) 16
鈴木康暢 (秋田・横手工業) 17
野中浩 (茨城・常総学院) 18
青木康 (石川・金沢二水) 19
加藤幸光 (青森・東奥義塾) 20
戸祭潤 (東京・関東第一) 21
朝倉貴光 (三重・鳥羽) 22
大島哲也 (沖縄・浦添商業) 23
白鳥貴浩 (鳥取・米子西) 24
水沢直哉 (南北海道・札幌第一) 25
斎藤範行 (静岡・伊東商業) 26
三村未樹 (新潟・北越) 27
菊池宏充 (栃木・宇都宮工業) 28
村上哲也 (滋賀・延暦寺学園比叡山) 29
百丸祐輝 (宮崎・宮崎工業) 30
渡辺有和 (広島・安古市) 31
福田茂 (熊本・芦北) 32
秋吉広行 (大阪・此花学院) 33
藤田航平 (岡山・玉野市立玉野商業) 34
藤井純 (岩手・花巻農業) 35
横川耕生 (埼玉・埼玉栄) 36
平野正美 (香川・尽誠学園) 37
柳孝三 (山口・柳井工業) 38
国吉成典 (福井・勝山) 39
三浦由英 (岐阜・岐阜北) 40
佐々木弘樹 (佐賀・嬉野商業) 41
青木誠治 (神奈川・川崎市立工業) 42
佐藤新也 (山形・日本大学山形) 43
鍵山直人 (高知・高知学芸) 44
浦川悟 (長崎・鹿浦) 45
尾形勝崇 (宮城・宮城県工業) 46
片山友則 (兵庫・加古川東) 47
高嶋進 (北北海道・帯広緑陽) 48
平間章雄 (群馬・前橋東) 49
石本明男 (石川・金沢市立工業) 50
山崎広史 (秋田・秋田経法大学付属) 51
宮脇亨 (徳島・日和佐) 52
石橋蔵人 (佐賀・嬉野商業) 53
長谷川義典 (栃木・宇都宮南) 54
小谷範利 (奈良・奈良市立一条) 55
相本浩一 (山口・柳井工業) 56
星拓磨 (北北海道・旭川工業) 57
川合文太 (福岡・九州国際大学付属) 58
藤島久香 (神奈川・日本大学) 59
近藤貴之 (新潟・北越) 60
増田和樹 (静岡・沼津学園) 61
沢田宗文 (青森・東奥義塾) 62
中西仁史 (滋賀・北大津) 63
高橋真 (埼玉・上尾) 64
平野俊彦 (大分・大分工業) 65
佐分正次 (岐阜・加納) 66
森川芳樹 (愛媛・西条農業) 67
喜々津真弥 (長崎・壇浦) 68
佐藤憲明 (岩手・専修大学北上) 69
佐藤裕二 (千葉・千葉敬愛) 70
原啓介 (島根・出雲) 71
清水淳 (長野・上田染谷丘) 72
橋本敏信 (京都・西乙訓) 73
鈴木康修 (宮城・宮城県工業) 74
吉岡秀樹 (東京・関東第一) 75
佐藤秀樹 (宮崎・高千穂) 76
島崎淳二 (兵庫・加古川東) 77
石井久雄 (静岡・伊東商業) 78
川島一剛 (富山・高岡第一) 79
橋本宗士 (三重・鳥羽) 80
高橋幸治 (群馬・前橋東) 81
田中治 (香川・高松商業) 82
田中学 (岡山・水島工業) 83
上之正信 (鹿児島・鹿児島商業) 84
片岡紹市郎 (大阪・此花学院) 85
西田渉 (南北海道・札幌第一) 86
小田悟史 (広島・安芸) 87
大城栄 (沖縄・南部商業) 88
佐々木貴吉 (福島・帝京安積) 89
花井謙吉 (愛知・岡崎城西) 90
平田英行 (茨城・常総学院) 91
佐藤賢次 (山梨・日川) 92
小笠原政彦 (山形・日本大学山形) 93
口地智人 (和歌山・星林) 94
今城貴彦 (高知・高知学芸) 95
宮本忍 (鳥取・境) 96
山村治由 (福井・足羽) 97
片岡直茂 (熊本・芦北) 98

女子ダブルス （98組）


1 橋本 淳子・山田 裕美（宮 城・聖ウルスラ学院）
2 西岡眞知子・米倉 歩（滋 賀・延暦寺学園比叡山）
3 木村 真澄・中島亜紀子（山 口・柳 井 工 業）
4 山本 愛・真柳 友美（埼 玉・越 谷 南）
5 西内 洋子・長野 理恵（宮 崎・都城聖ドミニコ学園）
6 村中 香織・青木 祥恵（福 井・敦 賀）
7 秋山 仁美・石原 美紀（静 岡・富 士 見）
8 石原 千佐・谷岡 園子（高 知・土 佐 女 子）
9 坂本奈緒子・岡田 愛（神奈川・富 士 見 丘）
10 川口 陽子・松浦 加織（和歌山・伊 都）
11 杉下 信乃・諏訪寿美子（岩 手・盛 岡 市 立）
12 溝上 知恵・堀 裕子（福 岡・精 華 女 子）
13 門脇めぐみ・門脇あゆみ（鳥 取・ 境 ）
14 大石 文子・石井知恵子（大 分・昭 和 女 子）
15 竹島 陽子・栗栖 真弓（兵 庫・夙 川 学 院）
16 登坂 紀子・山口 早苗（千 葉・高 松 中 央）
17 村瀬 香・石崎 静香（香 川・高 松 中 央）
18 藤原 裕子・安原 久恵（岡 山・倉 敷 翠 松）
19 太郎良和美・瓜生美穂子（愛 知・愛 知 淑 徳）
20 高野 八重・丹野 恭子（群 馬・前 橋 東）
21 日比野三奈・居波 順子（岐 阜・岐阜女子商業）
22 佐藤千賀子・冨田 美保（熊 本・熊本中央女子）
23 坂本 道子・高橋 美幸（福 島・郡 山 女 子）
24 佐々木綾子・渡辺麻由子（南北海道・北星学園女子）
25 津田 藍子・安田 香奈（石 川・金 沢 向 陽）
26 片瀬 奈々・堀 真理江（静 岡・富 士 宮 東）
27 伊丹 志乃・南 孝子（鹿児島・鹿 児 島 南）
28 浜中美和子・西本 由佳（奈 良・奈良市立一条）
29 中沢理絵子・木村 理恵（長 野・松 代）
30 小林由香里・松土 香織（山 梨・甲 府 湯 田）
31 武田 明美・斎藤 未来（青 森・千 葉 学 園）
32 田所 一美・田所 宏美（東 京・淑 徳 巣 鴨）
33 中村美奈子・浅田 洋子（秋 田・能 代 農 業）
34 水野香奈子・寺本 久子（島 根・松 江 商 業）
35 中尾布由子・山中 瑞代（長 崎・鶴 鳴 女 子）
36 中山亜紀子・坂本 幸代（徳 島・城 東）
37 水井 泰子・松田 洋子（大 阪・四 條 畷 学 園）
38 三溝 良子・森川 和枝（佐 賀・付属佐賀女子）
39 土井 理絵・野津山美夏（広 島・鈴 峯 女 子）
40 岩永 英子・綿岡 慶子（京 都・成 安 女 子）
41 白川美由希・平原とも恵（新 潟・新 潟 青 陵）
42 姉崎まゆみ・市村 志乃（茨 城・常 総 学 院）
43 中山智香子・増茂 孝枝（北北海道・旭 川 実 業）
44 上路 恵美・重松 宏枝（愛 媛・西 条）
45 野田 千恵・宇利 幸恵（三 重・ 暁 ）
46 渡辺むつみ・鈴木佳世子（栃 木・小 山 城 南）
47 新里 博子・村吉ルミ子（沖 縄・石 川）
48 柿崎 千夏・遅澤 恵子（山 形・新 庄 南）
49 下村 絵里・梅澤 千春（富 山・藤 田 女 子）
50 佐藤 純子・川崎由紀子（茨 城・常 総 学 院）
51 中野 愛子・山本 彩代（徳 島・城 東）
52 狩野美奈子・恩田 直美（島 根・大 東）
53 後藤 綾子・本田 望（青 森・千 葉 学 園）
54 金丸 美紀・鬼東 明美（宮 崎・宮 崎 商 業）
55 荒井 真美・栗林可奈子（新 潟・新 潟 青 陵）
56 住矢 美幸・佐藤 由紀（岡 山・山 陽 女 子）
57 河南 智恵・吉村 育美（奈 良・奈良市立一条）
58 松尾 祐子・秋山 紫峰（長 崎・鶴 鳴 女 子）
59 多田 恭子・川畑 麻美（南北海道・札 幌 静 修）
60 中沢麻里子・内藤 智佐（東 京・淑 徳 巣 鴨）
61 長島志津香・森下 奈帆（静 岡・静 岡 城 北）
62 生田富千子・鬼塚 知美（佐 賀・付属佐賀女子）
63 照井真由美・平賀 敦子（岩 手・花 北 商 業）
64 渡 由記・杉田 暢子（大 阪・四 條 畷 学 園）
65 谷澤 恵・茂木 弥絵（千 葉・中 央 学 院）
66 塩崎 淳子・田坂あゆみ（愛 媛・西 条）
67 吉田 優美・宮崎香代子（石 川・金 沢 二 水）
68 福井 奈美・鈴木恵美子（広 島・鈴 峯 女 子）
69 吉永三貴子・安川 真弓（福 岡・精 華 女 子）
70 大久保弘美・塩田 恵美（栃 木・小 山 城 南）
71 下川 雅美・二見 恭子（愛 知・市 邨 学 園）
72 小椋ひとみ・五十嵐ユウ子（福 島・若 松 女 子）
73 田中佐妃子・田中のり子（滋 賀・滋 賀 女 子）
74 中田みゆき・鳥本 知美（北北海道・帯 広 大 谷）
75 田部井美奈・綿 愛美（群 馬・前 橋 東）
76 湯川真規子・土橋 雅美（和歌山・向 陽）
77 沼沢さゆり・遠藤みゆき（山 形・新 庄 南）
78 宮腰 貴子・熊崎 綾（岐 阜・県立岐阜商業）
79 宮村亜貴子・高村紀三子（熊 本・熊本中央女子）
80 佐藤 浩美・小川 りえ（静 岡・伊 東）
81 明石 由美・冨田 純子（神奈川・北鎌倉女子学園）
82 松本 香代・山本 恵子（高 知・土 佐 女 子）
83 太田 詞子・富岡 美幸（長 野・中 野 実 業）
84 安田 祥子・高塚 恵美（鳥 取・ 境 ）
85 橋本 明子・原田 美香（大 分・昭 和 女 子）
86 富田美津枝・松原 順子（香 川・香 川 中 央）
87 岡崎 知枝・佐藤 淳子（埼 玉・越 谷 南）
88 渡辺まりよ・竹内美恵子（福 井・足 羽）
89 中芝 尚美・西 宏子（鹿児島・鹿 児 島 女 子）
90 的場絵理香・本田 順子（兵 庫・園 田 学 園）
91 岡 加代子・貴田 泉（宮 城・聖ウルスラ学院）
92 堀田 美映・伊藤 早苗（三 重・ 暁 ）
93 飯坂 稔子・後藤 節子（秋 田・能 代 北）
94 新城 江里・玉城ゆかり（沖 縄・南 風 原）
95 桂 一二三・村田みつえ（山 口・高 森）
96 中山佐和子・辻本 友紀（京 都・成 安 女 子）
97 望月 彩・内田 幸枝（山 梨・増 穂 商 業）
98 河口奈緒美・酒井美智子（富 山・富 山 商 業）

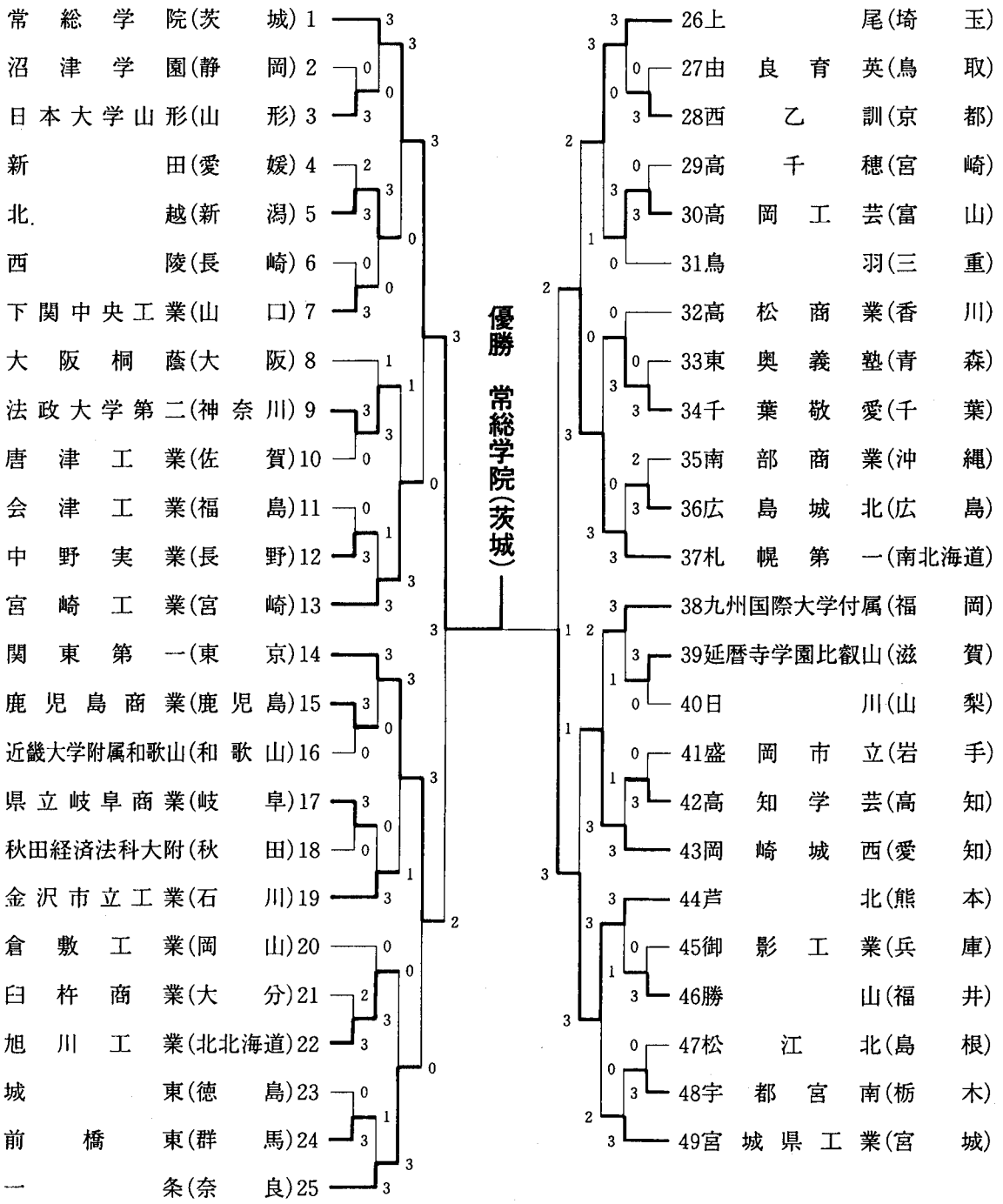
女子シングルス (98名)


橋本淳子 (宮城・聖ウルスラ学院) 1
木村真澄 (山口・柳井工業) 2
中村順子 (埼玉・埼玉栄) 3
片瀬奈々 (静岡・富士宮東) 4
荒井真澄 (新潟・新潟青陵) 5
田坂あゆみ (愛媛・西条) 6
秋山紫峰 (長崎・鶴鳴女子) 7
明石由美 (神奈川・北鎌倉女子学園) 8
鈴木恵美子 (広島・鈴峯女子) 9
南村真紀 (京都・洛水) 10
川村陽子 (秋田・秋田) 11
石井知恵美 (大分・昭和女子) 12
中山智香子 (北北海道・旭川実業) 13
水井泰子 (大阪・四條畷学園) 14
上山静江 (岩手・大迫) 15
田所一美 (東京・淑徳巣鴨) 16
門脇めぐみ (鳥取・境) 17
比嘉友美 (沖縄・宜野座) 18
二見恭子 (愛知・市邨学園) 19
野中亮子 (福岡・九州国際大学付属) 20
八田晶子 (徳島・徳島商業) 21
湯川真規子 (和歌山・向陽) 22
小林智子 (山梨・甲府湯田) 23
日比野三奈 (岐阜・岐阜女子商業) 24
津田藍子 (石川・金沢向陽) 25
石原美紀 (静岡・富士見) 26
太田詞子 (長野・中野実業) 27
高橋美幸 (福島・郡山女子) 28
谷岡園子 (高知・土佐女子) 29
中山百世 (千葉・船橋学園女子) 30
福島千里 (熊本・熊本信愛女学院) 31
住矢美幸 (岡山・山陽女子) 32
竹島陽子 (兵庫・夙川学院) 33
遅澤恵子 (山形・新庄南) 34
小野寺恵美子 (栃木・小山城南) 35
鬼東明美 (宮崎・宮崎商業) 36
下村絵里 (富山・藤園女子) 37
富田美津枝 (香川・香川中央) 38
水野香奈子 (島根・松江商業) 39
高野八重 (群馬・前橋東) 40
紺谷博美 (福井・福井) 41
宮下博子 (奈良・奈良市立一条) 42
鬼塚知美 (佐賀・付属佐賀女子) 43
佐々木綾子 (南北海道・北星学園女子) 44
橋本尚子 (三重・松阪) 45
後藤綾子 (青森・千葉学園) 46
田中のり子 (滋賀・滋賀女子) 47
伊丹志乃 (鹿児島・鹿児島南) 48
佐藤純子 (茨城・常総学院) 49
河口奈緒美 (富山・富山商業) 50
熊崎綾 (岐阜・県立岐阜商業) 51
塚本佐知子 (茨城・常総学院) 52
鈴木恵 (福島・大沼) 53
新城江里 (沖縄・南風原) 54
岩永英子 (京都・成安女子) 55
佐藤浩美 (静岡・伊東) 56
田中佐妃子 (滋賀・滋賀女子) 57
小林由香里 (山梨・甲府湯田) 58
村瀬香 (香川・高松中央) 59
中芝尚美 (鹿児島・鹿児島女子) 60
福井奈美 (広島・鈴峯女子) 61
増茂孝枝 (北北海道・旭川実業) 62
生田富千子 (佐賀・付属佐賀女子) 63
中山朋子 (神奈川・鎌倉) 64
入君愛子 (山形・城北女子) 65
藤田美紀 (石川・金沢向陽) 66
石原千佐 (高知・土佐女子) 67
武田明美 (青森・千葉学園) 68
藤原由美子 (島根・大東) 69
中水流由美 (愛知・佐屋) 70
高波綾子 (千葉・千葉敬愛) 71
的場絵理香 (兵庫・園田学園) 72
大石文子 (大分・昭和女子) 73
宮村亜貴子 (熊本・熊本中央女子) 74
丹野恭子 (群馬・前橋東) 75
中山亜紀子 (徳島・城東) 76
村中香織 (福井・敦賀) 77
佐藤由紀 (岡山・山陽女子) 78
河南知恵 (奈良・奈良市立一条) 79
松崎美知子 (新潟・新潟青陵) 80
村田みつえ (山口・高森) 81
大久保弘美 (栃木・小山城南) 82
山中瑞代 (長崎・鶴鳴女子) 83
森下奈帆 (静岡・静岡城北) 84
山田裕美 (宮城・聖ウルスラ学院) 85
大田貴子 (大阪・四天王寺) 86
小室恭子 (埼玉・埼玉栄) 87
渡木美穂 (宮崎・宮崎商業) 88
伊藤早苗 (三重・暁) 89
森下信乃 (岩手・盛岡市立) 90
高木浩美 (南北海道・札幌静修) 91
重松宏枝 (愛媛・西条) 92
中村美奈子 (秋田・能代農業) 93
門脇あゆみ (鳥取・境) 95
溝上知恵 (福岡・精華女子) 96
大切香苗 (和歌山・新宮) 97
富岡美幸 (長野・中野実業) 98
米谷真智子 (東京・文化女大杉並)

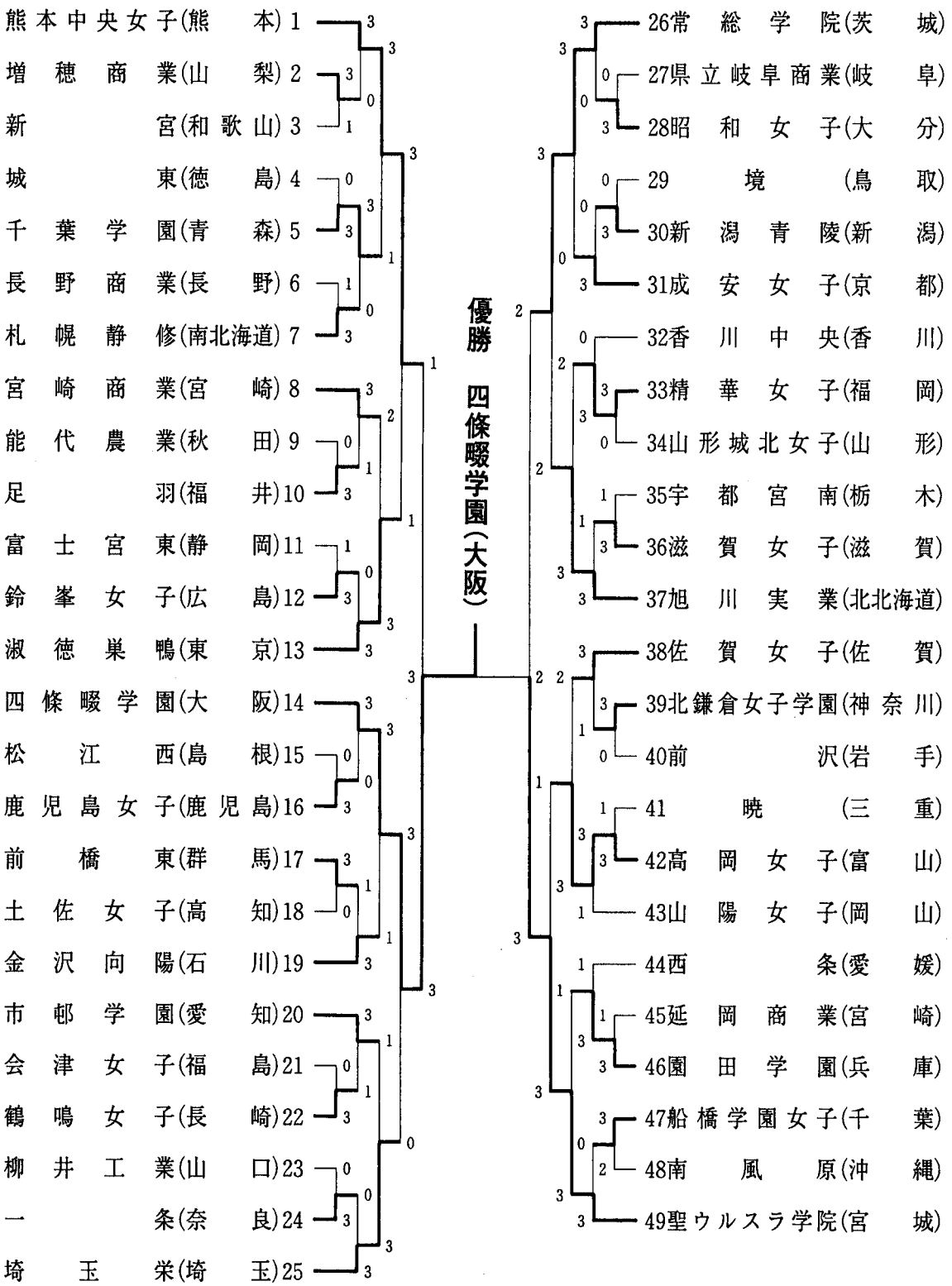
第43回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1992年度)

期日　平成４年８月１日～６日
会場　高鍋町総合体育館　　宮崎県立高鍋高等学校体育館
　　西都市民体育館　　宮崎県立妻高等学校体育館

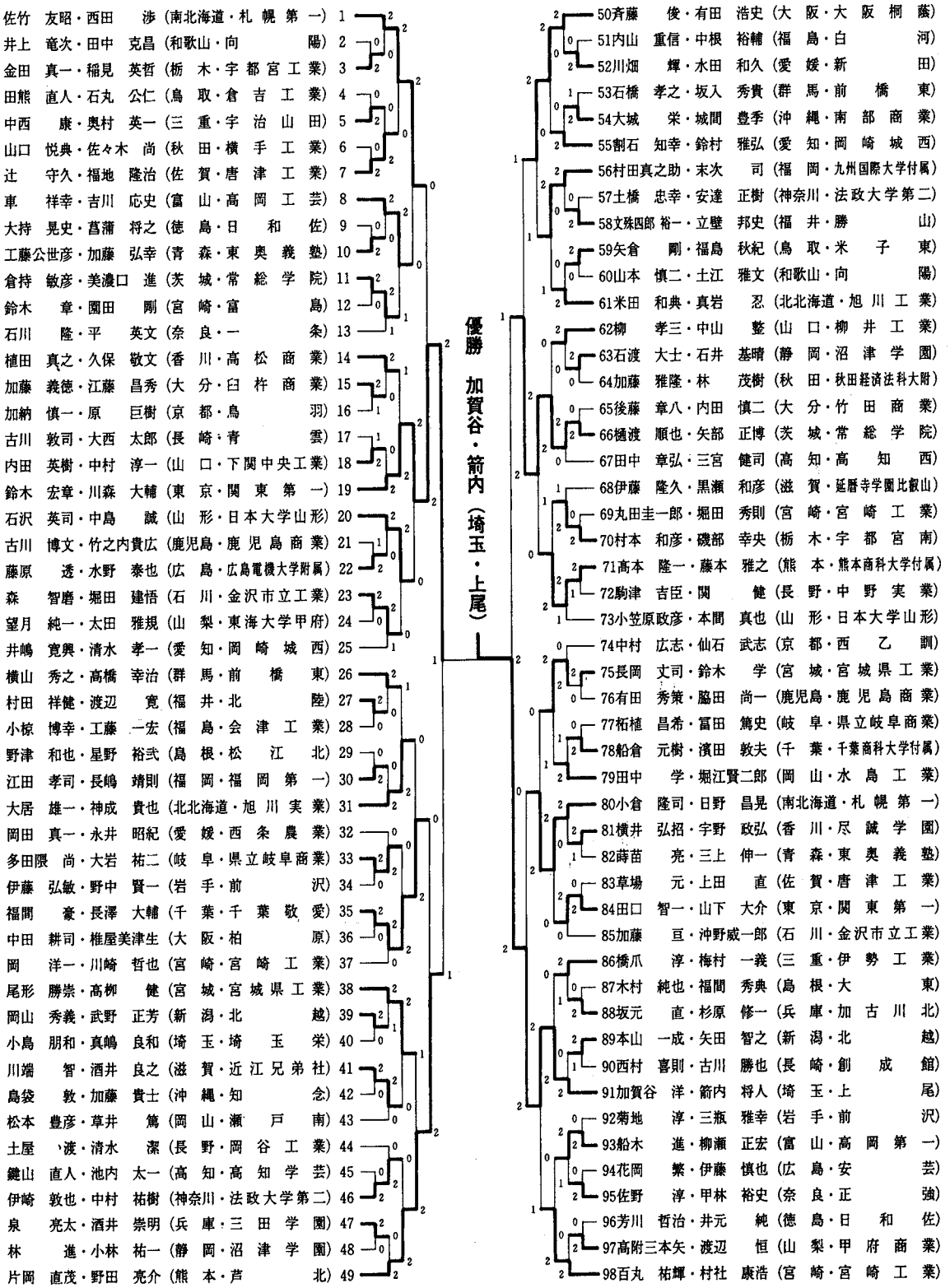
男子団体　(49校)



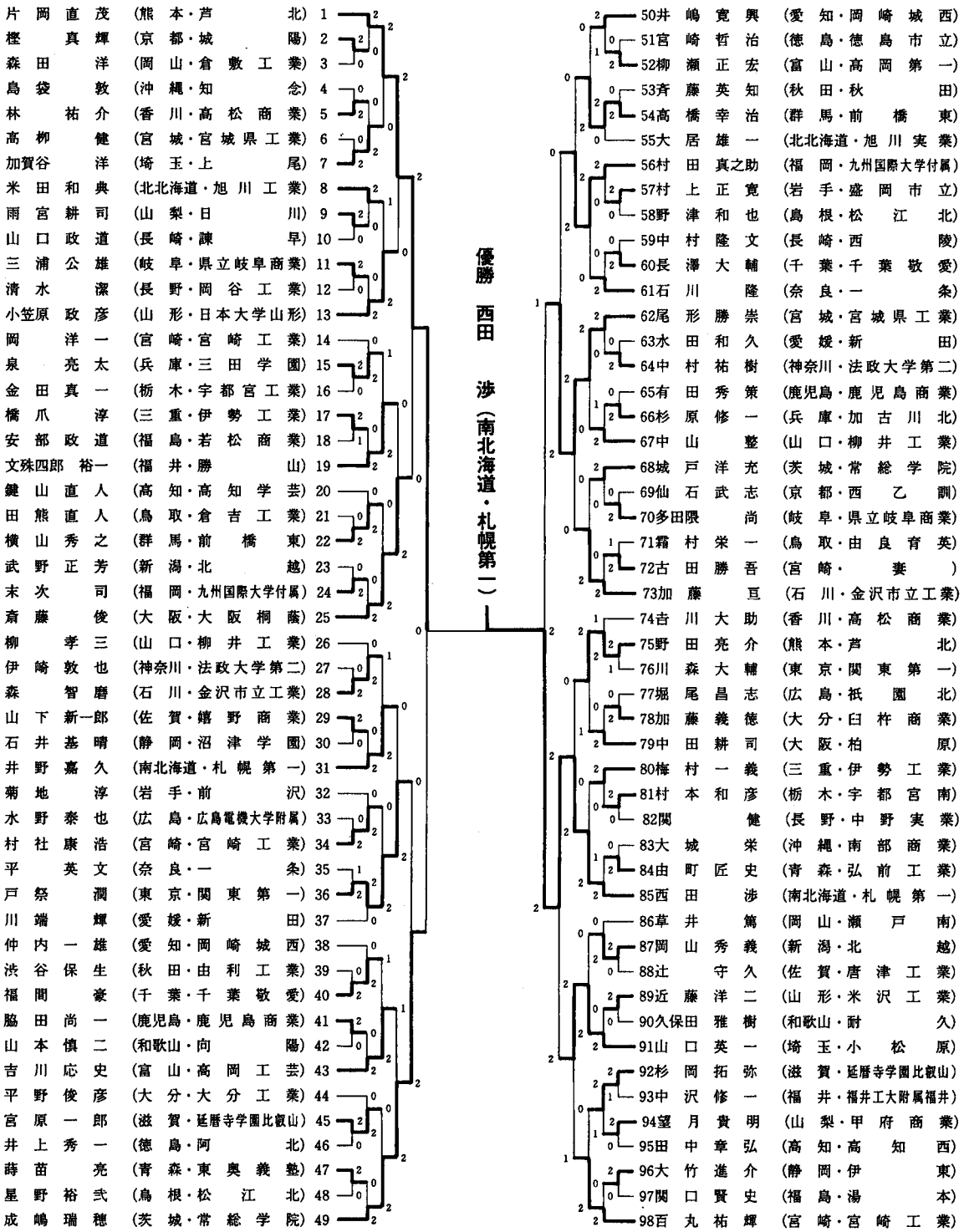
女子団体 (49校)


熊本中央女子(熊　本) 1
増穂商業(山　梨) 2
新宮(和歌山) 3
城東(徳　島) 4
千葉学園(青　森) 5
長野商業(長　野) 6
札幌静修(南北海道) 7
宮崎商業(宮　崎) 8
能代農業(秋　田) 9
足羽(福　井)10
富士宮東(静　岡)11
鈴峯女子(広　島)12
淑徳巣鴨(東　京)13
四條畷学園(大　阪)14
松江西(島　根)15
鹿児島女子(鹿児島)16
前橋東(群　馬)17
土佐女子(高　知)18
金沢向陽(石　川)19
市邨学園(愛　知)20
会津女子(福　島)21
鶴鳴女子(長　崎)22
柳井工業(山　口)23
一条(奈　良)24
埼玉栄(埼　玉)25
優勝 四條畷学園(大阪)
26常総学院(茨　城)
27県立岐阜商業(岐　阜)
28昭和女子(大　分)
29境(鳥　取)
30新潟青陵(新　潟)
31成安女子(京　都)
32香川中央(香　川)
33精華女子(福　岡)
34山形城北女子(山　形)
35宇都宮南(栃　木)
36滋賀女子(滋　賀)
37旭川実業(北北海道)
38佐賀女子(佐　賀)
39北鎌倉女子学園(神奈川)
40前沢(岩　手)
41暁(三　重)
42高岡女子(富　山)
43山陽女子(岡　山)
44西条(愛　媛)
45延岡商業(宮　崎)
46園田学園(兵　庫)
47船橋学園女子(千　葉)
48南風原(沖　縄)
49聖ウルスラ学院(宮　城)

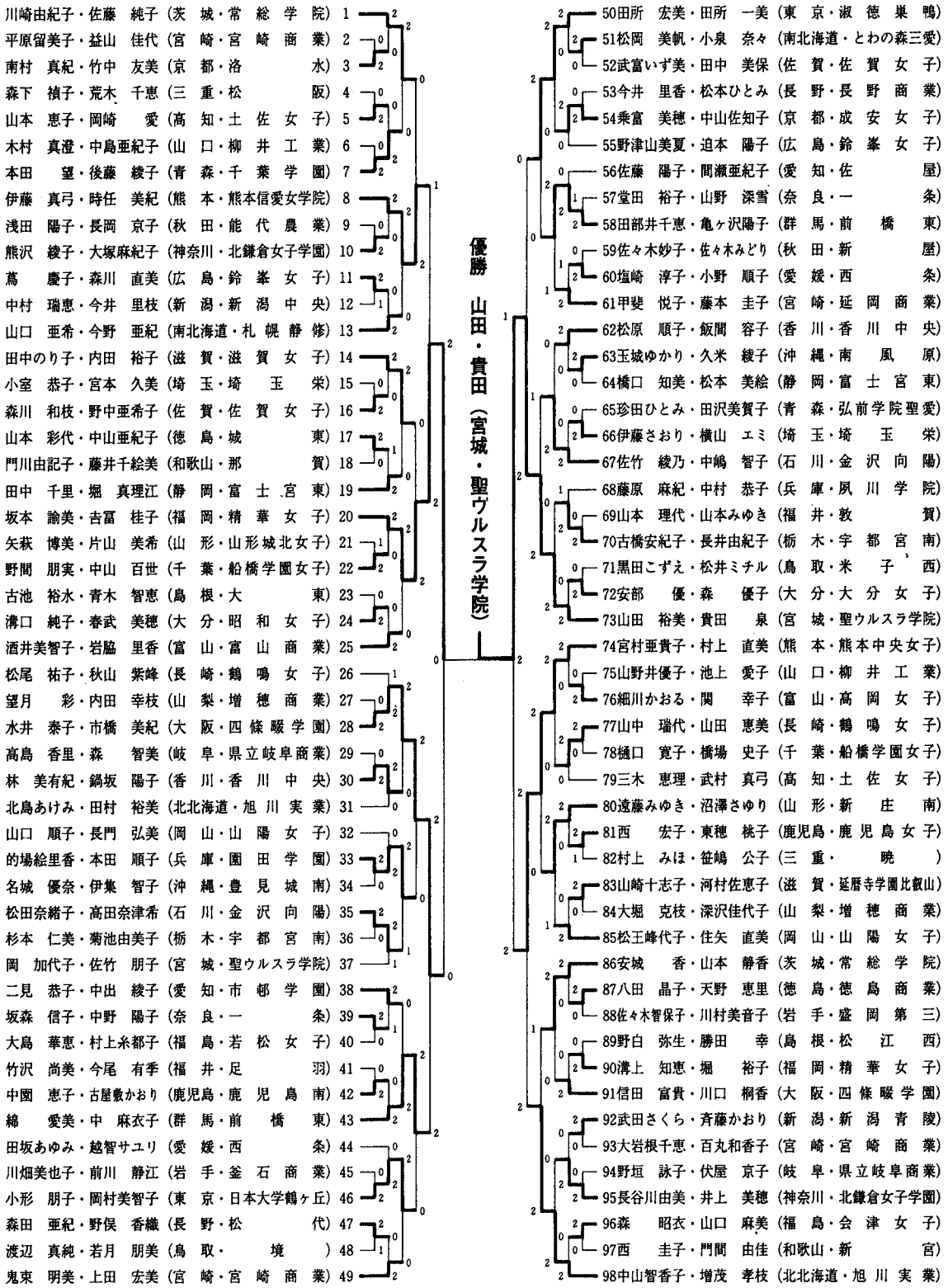
男子ダブルス　(98組)


優勝　加賀谷・箭内（埼玉・上尾）
1 佐竹 友昭・西田 渉（南北海道・札幌第一）
2 井上 竜次・田中 克昌（和歌山・向陽）
3 金田 真一・稲見 英哲（栃木・宇都宮工業）
4 田熊 直人・石丸 公仁（鳥取・倉吉工業）
5 中西 康・奥村 英一（三重・宇治山田）
6 山口 悦典・佐々木 尚（秋田・横手工業）
7 辻 守久・福地 隆治（佐賀・唐津工業）
8 車 祥幸・吉川 応史（富山・高岡工芸）
9 大持 晃史・菖蒲 将之（徳島・日和佐）
10 工藤公世彦・加藤 弘幸（青森・東奥義塾）
11 倉持 敏彦・美濃口 進（茨城・常総学院）
12 鈴木 章・園田 剛（宮崎・富島）
13 石川 隆・平 英文（奈良・一条）
14 植田 真之・久保 敬文（香川・高松商業）
15 加藤 義徳・江藤 昌秀（大分・臼杵商業）
16 加納 慎一・原 巨樹（京都・鳥羽）
17 古川 敦司・大西 太郎（長崎・青雲）
18 内田 英樹・中村 淳一（山口・下関中央工業）
19 鈴木 宏章・川森 大輔（東京・関東第一）
20 石沢 英司・中島 誠（山形・日本大学山形）
21 古川 博文・竹之内貴広（鹿児島・鹿児島商業）
22 藤原 透・水野 泰也（広島・広島電機大学附属）
23 森 智磨・堀田 建悟（石川・金沢市立工業）
24 望月 純一・太田 雅規（山梨・東海大学甲府）
25 井嶋 寛興・清水 孝一（愛知・岡崎城西）
26 横山 秀之・高橋 幸治（群馬・前橋東）
27 村田 祥健・渡辺 寛（福井・北陸）
28 小椋 博幸・工藤 一宏（福島・会津工業）
29 野津 和也・星野 裕弐（島根・松江北）
30 江田 孝司・長嶋 靖則（福岡・福岡第一）
31 大居 雄一・神成 貴也（北北海道・旭川実業）
32 岡田 真一・永井 昭紀（愛媛・西条農業）
33 多田隈 尚・大岩 祐二（岐阜・県立岐阜商業）
34 伊藤 弘敏・野中 賢一（岩手・前沢）
35 福間 豪・長澤 大輔（千葉・千葉敬愛）
36 中田 耕司・椎屋美津生（大阪・柏原）
37 岡 洋一・川崎 哲也（宮崎・宮崎工業）
38 尾形 勝崇・高柳 健（宮城・宮城県工業）
39 岡山 秀義・武野 正芳（新潟・北越）
40 小島 朋和・真嶋 良和（埼玉・埼玉栄）
41 川端 智・酒井 良之（滋賀・近江兄弟社）
42 島袋 敦・加藤 貴士（沖縄・知念）
43 松本 豊彦・草井 篤（岡山・瀬戸南）
44 土屋 渡・清水 潔（長野・岡谷工業）
45 鍵山 直人・池内 太一（高知・高知学芸）
46 伊崎 敦也・中村 祐樹（神奈川・法政大学第二）
47 泉 亮太・酒井 崇明（兵庫・三田学園）
48 林 進・小林 祐一（静岡・沼津学園）
49 片岡 直茂・野田 亮介（熊本・芦北）
50 斉藤 俊・有田 浩史（大阪・大阪桐蔭）
51 内山 重信・中根 裕輔（福島・白河）
52 川畑 輝・水田 和久（愛媛・新田）
53 石橋 孝之・坂入 秀貴（群馬・前橋東）
54 大城 栄・城間 豊季（沖縄・南部商業）
55 割石 知幸・鈴村 雅弘（愛知・岡崎城西）
56 村田真之助・末次 司（福岡・九州国際大学付属）
57 土橋 忠幸・安達 正樹（神奈川・法政大学第二）
58 文殊四郎 裕一・立壁 邦史（福井・勝山）
59 矢倉 剛・福島 秋紀（鳥取・米子東）
60 山本 慎二・土江 雅文（和歌山・向陽）
61 米田 和典・真岩 忍（北北海道・旭川工業）
62 柳 孝三・中山 整（山口・柳井工業）
63 石渡 大士・石井 基晴（静岡・沼津学園）
64 加藤 雅隆・林 茂樹（秋田・秋田経済法科大附）
65 後藤 章八・内田 慎二（大分・竹田商業）
66 樋渡 順也・矢部 正博（茨城・常総学院）
67 田中 章弘・三宮 健司（高知・高知西）
68 伊藤 隆久・黒瀬 和彦（滋賀・延暦寺学園比叡山）
69 丸田圭一郎・堀田 秀則（宮崎・宮崎工業）
70 村本 和彦・磯部 幸央（栃木・宇都宮南）
71 高本 隆一・藤本 雅之（熊本・熊本商科大学付属）
72 駒津 吉臣・関 健（長野・中野実業）
73 小笠原政彦・本間 真也（山形・日本大学山形）
74 中村 広志・仙石 武志（京都・西乙訓）
75 長岡 丈司・鈴木 学（宮城・宮城県工業）
76 有田 秀策・脇田 尚一（鹿児島・鹿児島商業）
77 柘植 昌希・冨田 篤史（岐阜・県立岐阜商業）
78 船倉 元樹・濱田 敦夫（千葉・千葉商科大学付属）
79 田中 学・堀江賢二郎（岡山・水島工業）
80 小倉 隆司・日野 昌晃（南北海道・札幌第一）
81 横井 弘招・宇野 政弘（香川・尽誠学園）
82 蒔苗 亮・三上 伸一（青森・東奥義塾）
83 草場 元・上田 直（佐賀・唐津工業）
84 田口 智一・山下 大介（東京・関東第一）
85 加藤 亘・沖野威一郎（石川・金沢市立工業）
86 橋爪 淳・梅村 一義（三重・伊勢工業）
87 木村 純也・福間 秀典（島根・大東）
88 坂元 直・杉原 修一（兵庫・加古川北）
89 本山 一成・矢田 智之（新潟・北越）
90 西村 喜則・古川 勝也（長崎・創成館）
91 加賀谷 洋・箭内 将人（埼玉・上尾）
92 菊地 淳・三瓶 雅幸（岩手・前沢）
93 船木 進・柳瀬 正宏（富山・高岡第一）
94 花岡 繁・伊藤 慎也（広島・安芸）
95 佐野 淳・甲林 裕史（奈良・正強）
96 芳川 哲治・井元 純（徳島・日和佐）
97 高附三本矢・渡辺 恒（山梨・甲府商業）
98 百丸 祐輝・村社 康浩（宮崎・宮崎工業）

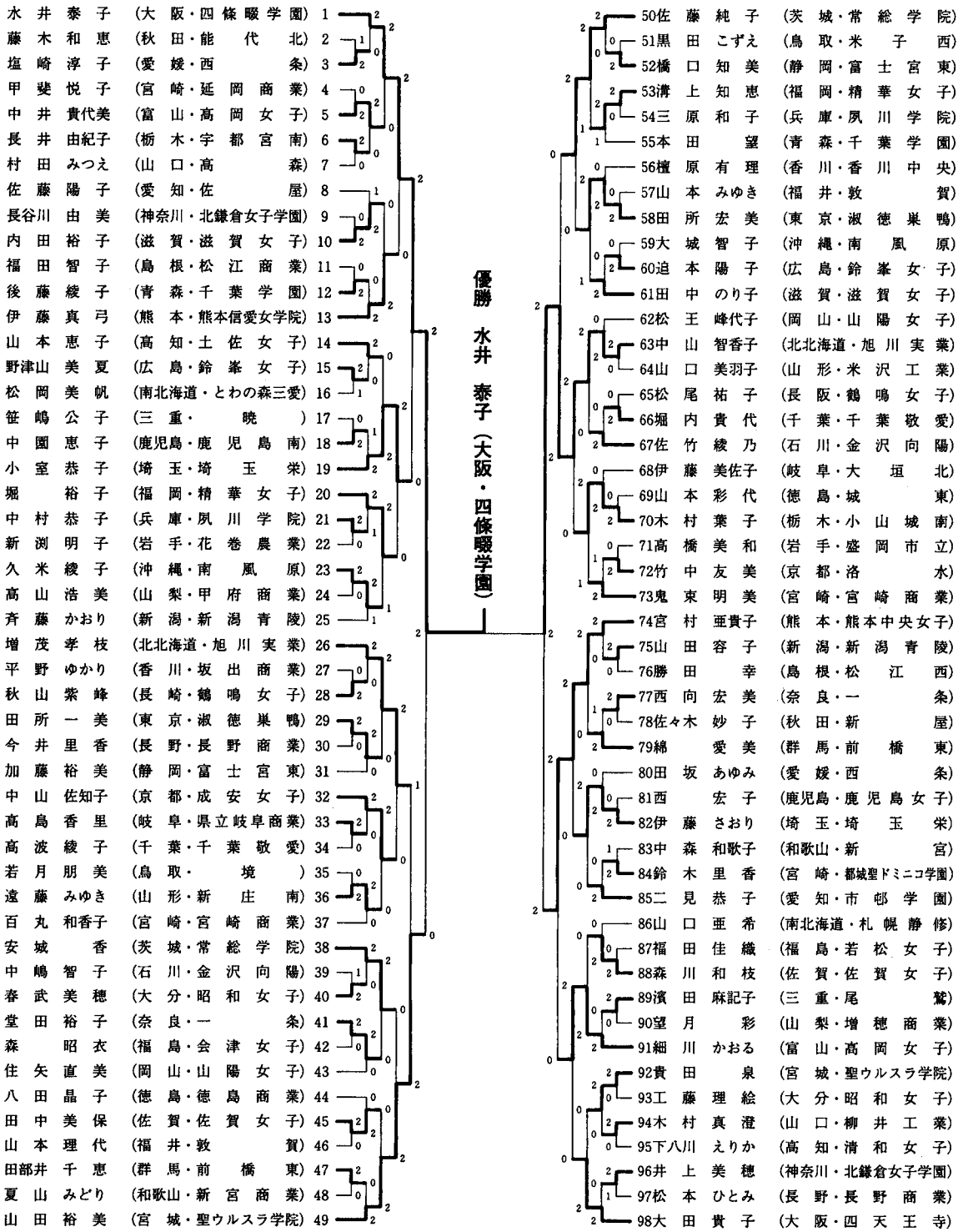
男子シングルス　(98名)


優勝　西田　渉（南北海道・札幌第一）
1 片岡直茂（熊本・芦北）
2 樫真輝（京都・城陽）
3 森田洋（岡山・倉敷工業）
4 島袋敦（沖縄・知念）
5 林祐介（香川・高松商業）
6 高柳健（宮城・宮城県工業）
7 加賀谷洋（埼玉・上尾）
8 米田和典（北北海道・旭川工業）
9 雨宮耕司（山梨・日川）
10 山口政道（長崎・諫早）
11 三浦公雄（岐阜・県立岐阜商業）
12 清水潔（長野・岡谷工業）
13 小笠原政彦（山形・日本大学山形）
14 岡洋一（宮崎・宮崎工業）
15 泉亮太（兵庫・三田学園）
16 金田真一（栃木・宇都宮工業）
17 橋爪淳（三重・伊勢工業）
18 安部政道（福島・若松商業）
19 文殊四郎裕一（福井・勝山）
20 鍵山直人（高知・高知学芸）
21 田熊直人（鳥取・倉吉工業）
22 横山秀之（群馬・前橋東）
23 武野正芳（新潟・北越）
24 末次司（福岡・九州国際大学付属）
25 斎藤俊（大阪・大阪桐蔭）
26 柳孝三（山口・柳井工業）
27 伊崎敦也（神奈川・法政大学第二）
28 森智磨（石川・金沢市立工業）
29 山下新一郎（佐賀・嬉野商業）
30 石井基晴（静岡・沼津学園）
31 井野嘉久（南北海道・札幌第一）
32 菊地淳（岩手・前沢）
33 水野泰也（広島・広島電機大学附属）
34 村社康浩（宮崎・宮崎工業）
35 平英文（奈良・一条）
36 戸祭潤（東京・関東第一）
37 川端輝（愛媛・新田）
38 仲内一雄（愛知・岡崎城西）
39 渋谷保生（秋田・由利工業）
40 福間豪（千葉・千葉敬愛）
41 脇田尚一（鹿児島・鹿児島商業）
42 山本慎二（和歌山・向陽）
43 吉川応史（富山・高岡工芸）
44 平野俊彦（大分・大分工業）
45 宮原一郎（滋賀・延暦寺学園比叡山）
46 井上秀一（徳島・阿北）
47 蒔苗亮（青森・東奥義塾）
48 星野裕弐（鳥根・松江北）
49 成嶋瑞穂（茨城・常総学院）
50井嶋寛興（愛知・岡崎城西）
51宮崎哲治（徳島・徳島市立）
52柳瀬正宏（富山・高岡第一）
53斉藤英知（秋田・秋田）
54高橋幸治（群馬・前橋東）
55大居雄一（北北海道・旭川実業）
56村田真之助（福岡・九州国際大学付属）
57村上正寛（岩手・盛岡市立）
58野津和也（島根・松江北）
59中村隆文（長崎・西陵）
60長澤大輔（千葉・千葉敬愛）
61石川隆（奈良・一条）
62尾形勝崇（宮城・宮城県工業）
63水田和久（愛媛・新田）
64中村祐樹（神奈川・法政大学第二）
65有田秀策（鹿児島・鹿児島商業）
66杉原修一（兵庫・加古川北）
67中山整（山口・柳井工業）
68城戸洋充（茨城・常総学院）
69仙石武志（京都・西乙訓）
70多田隈尚（岐阜・県立岐阜商業）
71霜村栄一（鳥取・由良育英）
72古田勝吾（宮崎・妻）
73加藤亘（石川・金沢市立工業）
74吉川大助（香川・高松商業）
75野田亮介（熊本・芦北）
76川森大輔（東京・関東第一）
77堀尾昌志（広島・祇園北）
78加藤義徳（大分・臼杵商業）
79中田耕司（大阪・柏原）
80梅村一義（三重・伊勢工業）
81村本和彦（栃木・宇都宮南）
82関健（長野・中野実業）
83大城栄（沖縄・南部商業）
84由町匠史（青森・弘前工業）
85西田渉（南北海道・札幌第一）
86草井篤（岡山・瀬戸南）
87岡山秀義（新潟・北越）
88辻守久（佐賀・唐津工業）
89近藤洋二（山形・米沢工業）
90久保田雅樹（和歌山・耐久）
91山口英一（埼玉・小松原）
92杉岡拓弥（滋賀・延暦寺学園比叡山）
93中沢修一（福井・福井工大附属福井）
94望月貴明（山梨・甲府商業）
95田中章弘（高知・高知西）
96大竹進介（静岡・伊東）
97関口賢史（福島・湯本）
98百丸祐輝（宮崎・宮崎工業）

女子ダブルス （98組）


優勝 山田・貴田（宮城・聖ヴルスラ学院）
川崎由紀子・佐藤 純子（茨 城・常 総 学 院） 1
平原留美子・益山 佳代（宮 崎・宮 崎 商 業） 2
南村 真紀・竹中 友美（京 都・洛 水） 3
森下 禎子・荒木 千恵（三 重・松 阪） 4
山本 恵子・岡崎 愛（高 知・土 佐 女 子） 5
木村 真澄・中島亜紀子（山 口・柳 井 工 業） 6
本田 望・後藤 綾子（青 森・千 葉 学 園） 7
伊藤 真弓・時任 美紀（熊 本・熊本信愛女学院） 8
浅田 陽子・長岡 京子（秋 田・能 代 農 業） 9
熊沢 綾子・大塚麻紀子（神奈川・北鎌倉女子学園） 10
蔦 慶子・森川 直美（広 島・鈴 峯 女 子） 11
中村 瑞恵・今井 里枝（新 潟・新 潟 中 央） 12
山口 亜希・今野 亜紀（南北海道・札 幌 静 修） 13
田中のり子・内田 裕子（滋 賀・滋 賀 女 子） 14
小室 恭子・宮本 久美（埼 玉・埼 玉 栄） 15
森川 和枝・野中亜希子（佐 賀・佐 賀 女 子） 16
山本 彩代・中山亜紀子（徳 島・城 東） 17
門川由記子・藤井千絵美（和歌山・那 賀） 18
田中 千里・堀 真理江（静 岡・富 士 宮 東） 19
坂本 諭美・吉冨 桂子（福 岡・精 華 女 子） 20
矢萩 博美・片山 美希（山 形・山形城北女子） 21
野間 朋実・中山 百世（千 葉・船橋学園女子） 22
古池 裕水・青木 智恵（島 根・大 東） 23
溝口 純子・春武 美穂（大 分・昭 和 女 子） 24
酒井美智子・岩脇 里香（富 山・富 山 商 業） 25
松尾 祐子・秋山 紫峰（長 崎・鶴 鳴 女 子） 26
望月 彩・内田 幸枝（山 梨・増 穂 商 業） 27
水井 泰子・市橋 美紀（大 阪・四 條 畷 学 園） 28
高島 香里・森 智美（岐 阜・県立岐阜商業） 29
林 美有紀・鍋坂 陽子（香 川・香 川 中 央） 30
北島あけみ・田村 裕美（北北海道・旭 川 実 業） 31
山口 順子・長門 弘美（岡 山・山 陽 女 子） 32
的場絵里香・本田 順子（兵 庫・園 田 学 園） 33
名城 優奈・伊集 智子（沖 縄・豊 見 城 南） 34
松田奈緒子・高田奈津希（石 川・金 沢 向 陽） 35
杉本 仁美・菊池由美子（栃 木・宇 都 宮 南） 36
岡 加代子・佐竹 朋子（宮 城・聖ウルスラ学院） 37
二見 恭子・中出 綾子（愛 知・市 邨 学 園） 38
坂森 信子・中野 陽子（奈 良・一 条） 39
大島 華恵・村上糸都子（福 島・若 松 女 子） 40
竹沢 尚美・今尾 有季（福 井・足 羽） 41
中園 恵子・古屋敷かおり（鹿児島・鹿 児 島 南） 42
綿 愛美・中 麻衣子（群 馬・前 橋 東） 43
田坂あゆみ・越智サユリ（愛 媛・西 条） 44
川畑美也子・前川 静江（岩 手・釜 石 商 業） 45
小形 朋子・岡村美智子（東 京・日本大学鶴ヶ丘） 46
森田 亜紀・野俣 香織（長 野・松 代） 47
渡辺 真純・若月 朋美（鳥 取・ 境 ） 48
鬼束 明美・上田 宏美（宮 崎・宮 崎 商 業） 49
50田所 宏美・田所 一美（東 京・淑 徳 巣 鴨）
51松岡 美帆・小泉 奈々（南北海道・とわの森三愛）
52武富いず美・田中 美保（佐 賀・佐 賀 女 子）
53今井 里香・松本ひとみ（長 野・長 野 商 業）
54乗富 美穂・中山佐知子（京 都・成 安 女 子）
55野津山美夏・迫本 陽子（広 島・鈴 峯 女 子）
56佐藤 陽子・間瀬亜紀子（愛 知・佐 屋）
57堂田 裕子・山野 深雪（奈 良・一 条）
58田部井千恵・亀ヶ沢陽子（群 馬・前 橋 東）
59佐々木妙子・佐々木みどり（秋 田・新 屋）
60塩崎 淳子・小野 順子（愛 媛・西 条）
61甲斐 悦子・藤本 圭子（宮 崎・延 岡 商 業）
62松原 順子・飯間 容子（香 川・香 川 中 央）
63玉城ゆかり・久米 綾子（沖 縄・南 風 原）
64橋口 知美・松本 美絵（静 岡・富 士 宮 東）
65珍田ひとみ・田沢美賀子（青 森・弘前学院聖愛）
66伊藤さおり・横山 エミ（埼 玉・埼 玉 栄）
67佐竹 綾乃・中嶋 智子（石 川・金 沢 向 陽）
68藤原 麻紀・中村 恭子（兵 庫・夙 川 学 院）
69山本 理代・山本みゆき（福 井・敦 賀）
70古橋安紀子・長井由紀子（栃 木・宇 都 宮 南）
71黒田こずえ・松井ミチル（鳥 取・米 子 西）
72安部 優・森 優子（大 分・大 分 女 子）
73山田 裕美・貴田 泉（宮 城・聖ウルスラ学院）
74宮村亜貴子・村上 直美（熊 本・熊本中央女子）
75山野井優子・池上 愛子（山 口・柳 井 工 業）
76細川かおる・関 幸子（富 山・高 岡 女 子）
77山中 瑞代・山田 恵美（長 崎・鶴 鳴 女 子）
78樋口 寛子・橋場 史子（千 葉・船橋学園女子）
79三木 恵理・武村 真弓（高 知・土 佐 女 子）
80遠藤みゆき・沼澤さゆり（山 形・新 庄 南）
81西 宏子・東穂 桃子（鹿児島・鹿 児 島 女 子）
82村上 みほ・笹嶋 公子（三 重・ 暁 ）
83山崎十志子・河村佐恵子（滋 賀・延暦寺学園比叡山）
84大堀 克枝・深沢佳代子（山 梨・増 穂 商 業）
85松王峰代子・住矢 直美（岡 山・山 陽 女 子）
86安城 香・山本 静香（茨 城・常 総 学 院）
87八田 晶子・天野 恵里（徳 島・徳 島 商 業）
88佐々木智保子・川村美音子（岩 手・盛 岡 第 三）
89野白 弥生・勝田 幸（島 根・松 江 西）
90溝上 知恵・堀 裕子（福 岡・精 華 女 子）
91信田 富貴・川口 桐香（大 阪・四 條 畷 学 園）
92武田さくら・斉藤かおり（新 潟・新 潟 青 陵）
93大岩根千恵・百丸和香子（宮 崎・宮 崎 商 業）
94野垣 詠子・伏屋 京子（岐 阜・県立岐阜商業）
95長谷川由美・井上 美穂（神奈川・北鎌倉女子学園）
96森 昭衣・山口 麻美（福 島・会 津 女 子）
97西 圭子・門間 由佳（和歌山・新 宮）
98中山智香子・増茂 孝枝（北北海道・旭 川 実 業）

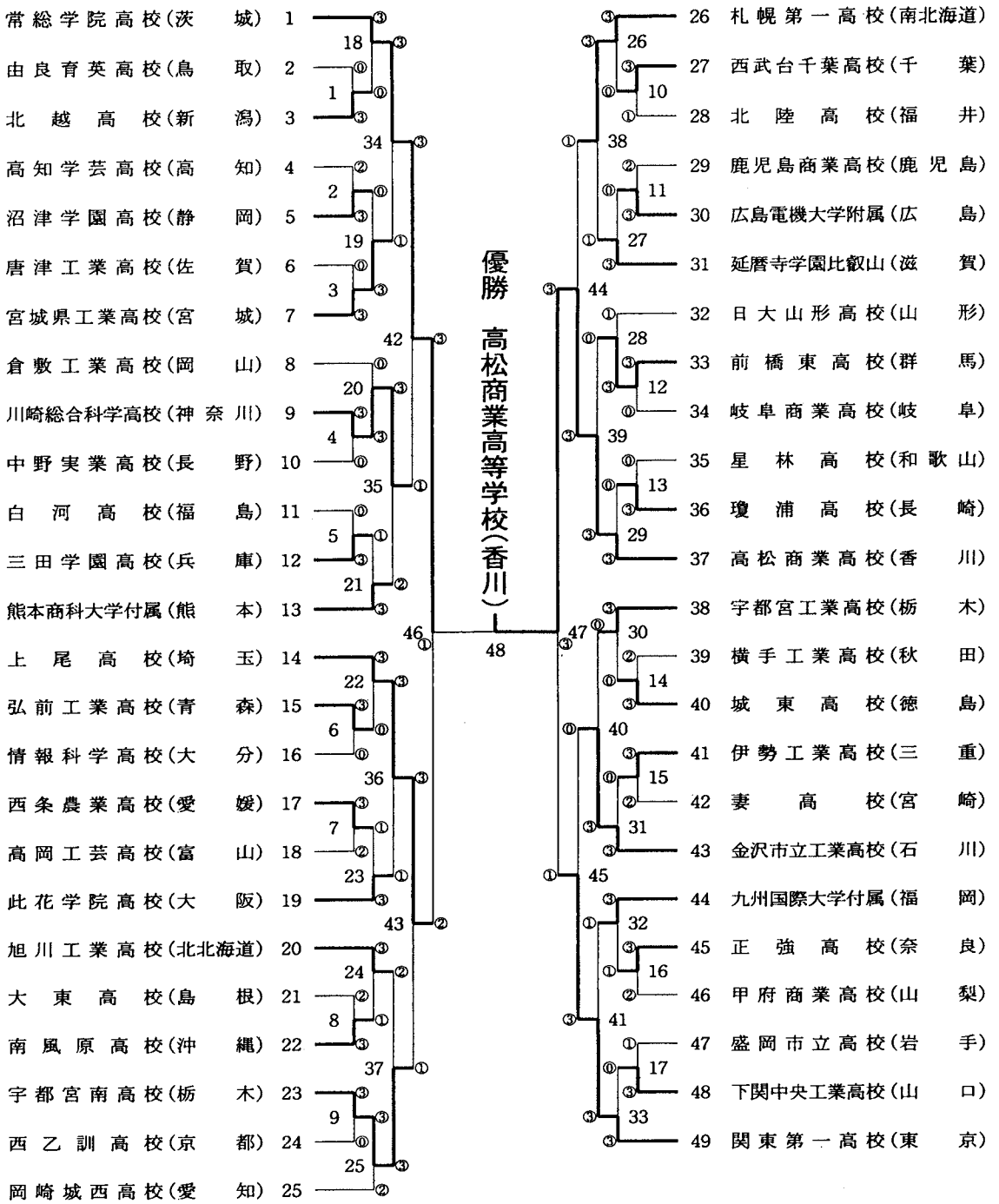
女子シングルス　(98名)


優勝　水井　泰子（大阪・四條畷学園）
水井泰子（大阪・四條畷学園）1
藤木和恵（秋田・能代北）2
塩崎淳子（愛媛・西条）3
甲斐悦子（宮崎・延岡商業）4
中井貴代美（富山・高岡女子）5
長井由紀子（栃木・宇都宮南）6
村田みつえ（山口・高森）7
佐藤陽子（愛知・佐屋）8
長谷川由美（神奈川・北鎌倉女子学園）9
内田裕子（滋賀・滋賀女子）10
福田智子（島根・松江商業）11
後藤綾子（青森・千葉学園）12
伊藤真弓（熊本・熊本信愛女学院）13
山本恵子（高知・土佐女子）14
野津山美夏（広島・鈴峯女子）15
松岡美帆（南北海道・とわの森三愛）16
笹嶋公子（三重・暁）17
中園恵子（鹿児島・鹿児島南）18
小室恭子（埼玉・埼玉栄）19
堀裕子（福岡・精華女子）20
中村恭子（兵庫・夙川学院）21
新渕明子（岩手・花巻農業）22
久米綾子（沖縄・南風原）23
高山浩美（山梨・甲府商業）24
斉藤かおり（新潟・新潟青陵）25
増茂孝枝（北北海道・旭川実業）26
平野ゆかり（香川・坂出商業）27
秋山紫峰（長崎・鶴鳴女子）28
田所一美（東京・淑徳巣鴨）29
今井里香（長野・長野商業）30
加藤裕美（静岡・富士宮東）31
中山佐知子（京都・成安女子）32
高島香里（岐阜・県立岐阜商業）33
高波綾子（千葉・千葉敬愛）34
若月朋美（鳥取・境）35
遠藤みゆき（山形・新庄南）36
百丸和香子（宮崎・宮崎商業）37
安城香（茨城・常総学院）38
中嶋智子（石川・金沢向陽）39
春武美穂（大分・昭和女子）40
堂田裕子（奈良・一条）41
森昭衣（福島・会津女子）42
住矢直美（岡山・山陽女子）43
八田晶子（徳島・徳島商業）44
田中美保（佐賀・佐賀女子）45
山本理代（福井・敦賀）46
田部井千恵（群馬・前橋東）47
夏山みどり（和歌山・新宮商業）48
山田裕美（宮城・聖ウルスラ学院）49
50佐藤純子（茨城・常総学院）
51黒田こずえ（鳥取・米子西）
52橋口知美（静岡・富士宮東）
53溝上知恵（福岡・精華女子）
54三原和子（兵庫・夙川学院）
55本田望（青森・千葉学園）
56檀原有理（香川・香川中央）
57山本みゆき（福井・敦賀）
58田所宏美（東京・淑徳巣鴨）
59大城智子（沖縄・南風原）
60迫本陽子（広島・鈴峯女子）
61田中のり子（滋賀・滋賀女子）
62松王峰代子（岡山・山陽女子）
63中山智香子（北北海道・旭川実業）
64山口美羽子（山形・米沢工業）
65松尾祐子（長阪・鶴鳴女子）
66堀内貴代（千葉・千葉敬愛）
67佐竹綾乃（石川・金沢向陽）
68伊藤美佐子（岐阜・大垣北）
69山本彩代（徳島・城東）
70木村葉子（栃木・小山城南）
71高橋美和（岩手・盛岡市立）
72竹中友美（京都・洛水）
73鬼束明美（宮崎・宮崎商業）
74宮村亜貴子（熊本・熊本中央女子）
75山田容子（新潟・新潟青陵）
76勝田幸（島根・松江西）
77西向宏美（奈良・一条）
78佐々木妙子（秋田・新屋）
79綿愛美（群馬・前橋東）
80田坂あゆみ（愛媛・西条）
81西宏子（鹿児島・鹿児島女子）
82伊藤さおり（埼玉・埼玉栄）
83中森和歌子（和歌山・新宮）
84鈴木里香（宮崎・都城聖ドミニコ学園）
85二見恭子（愛知・市邨学園）
86山口亜希（南北海道・札幌静修）
87福田佳織（福島・若松女子）
88森川和枝（佐賀・佐賀女子）
89濱田麻記子（三重・尾鷲）
90望月彩（山梨・増穂商業）
91細川かおる（富山・高岡女子）
92貴田泉（宮城・聖ウルスラ学院）
93工藤理絵（大分・昭和女子）
94木村真澄（山口・柳井工業）
95下八川えりか（高知・清和女子）
96井上美穂（神奈川・北鎌倉女子学園）
97松本ひとみ（長野・長野商業）
98大田貴子（大阪・四天王寺）

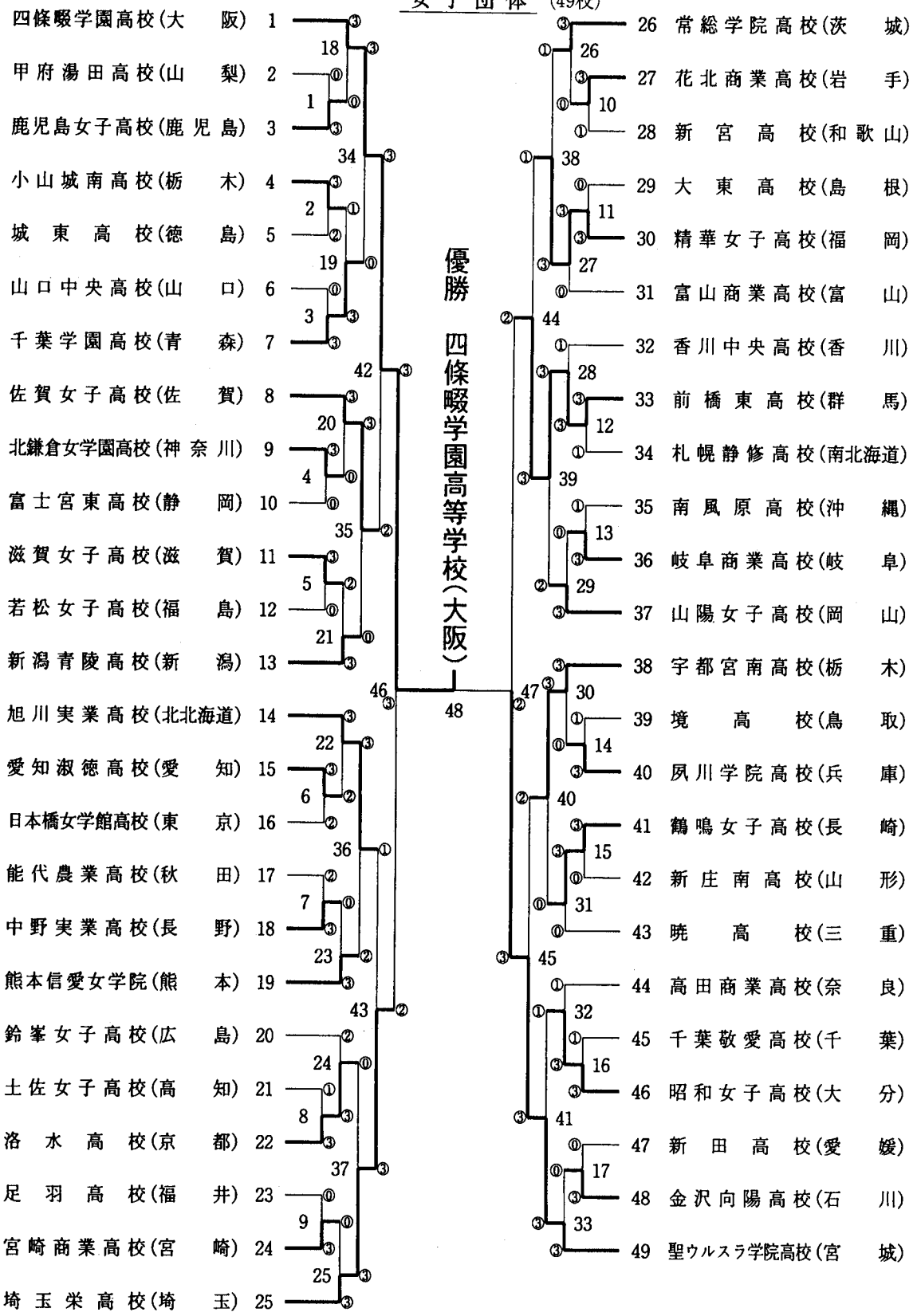
第44回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1993年度)

期日　平成５年８月１日～６日
会場　宇都宮市清原中央公園体育館　　栃木県体育館
　　宇都宮市体育館

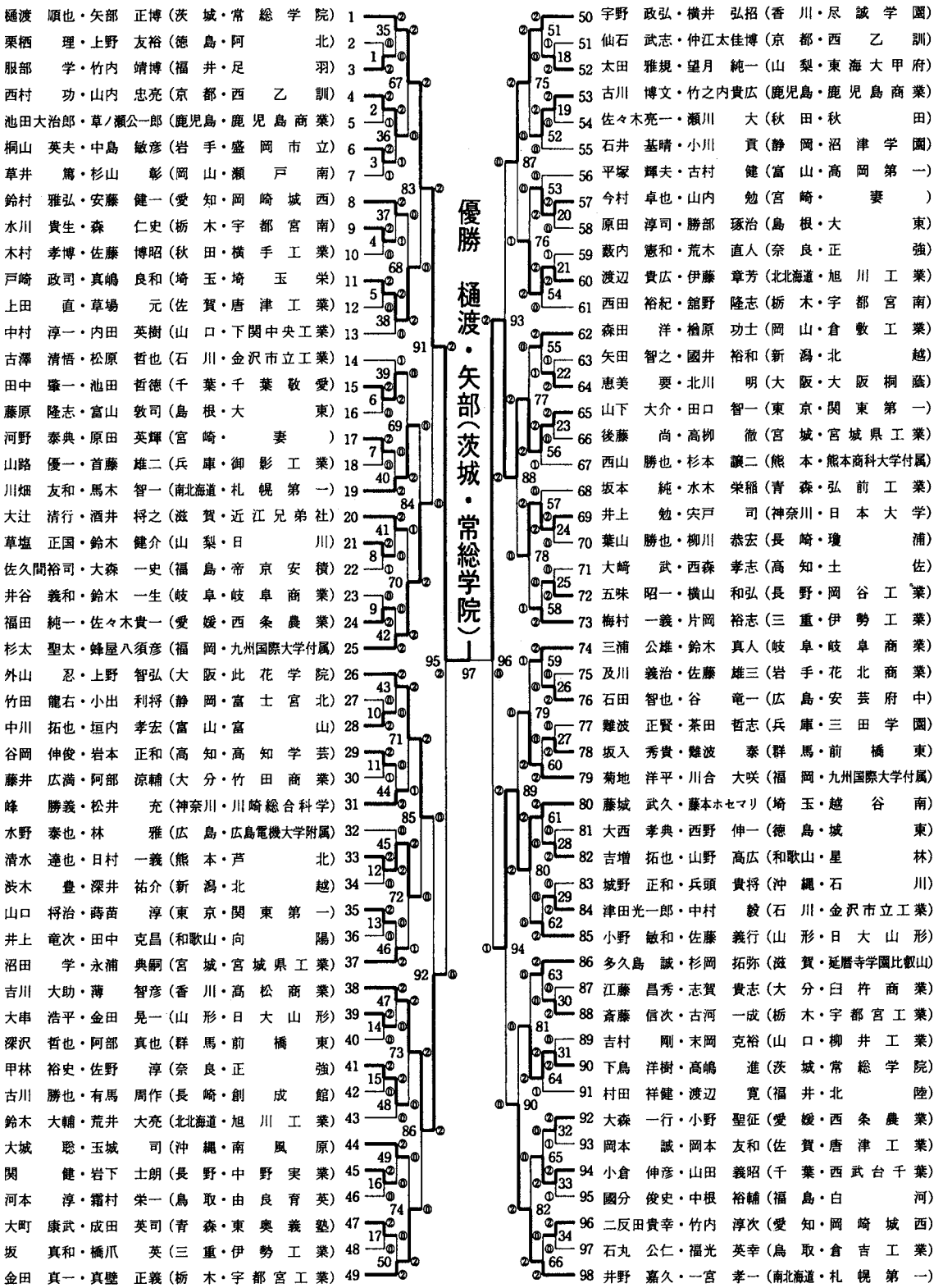
男子団体　(49校)



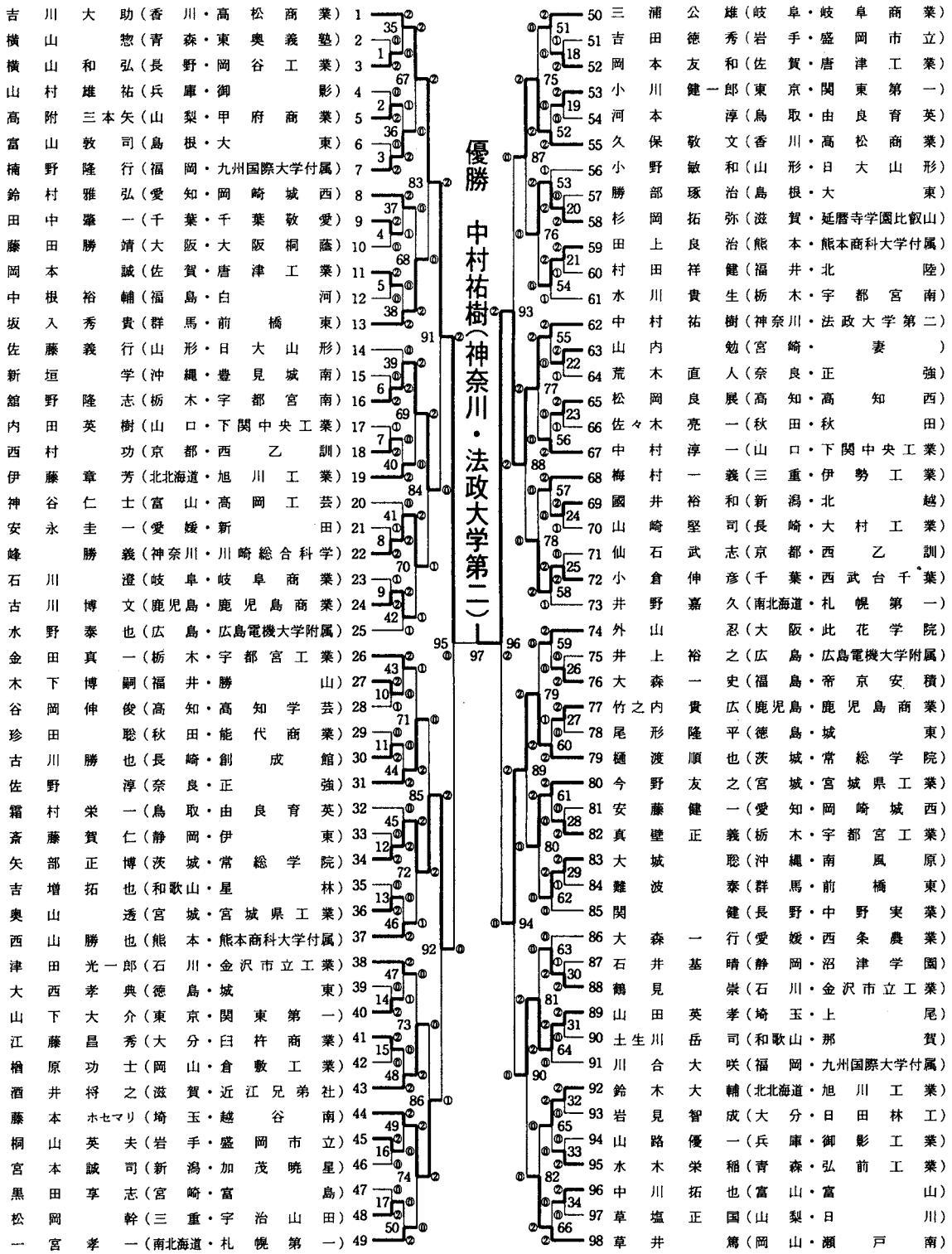
女子団体 (49校)


四條畷学園高校(大　阪) 1
甲府湯田高校(山　梨) 2
鹿児島女子高校(鹿児島) 3
小山城南高校(栃　木) 4
城東高校(徳　島) 5
山口中央高校(山　口) 6
千葉学園高校(青　森) 7
佐賀女子高校(佐　賀) 8
北鎌倉女学園高校(神奈川) 9
富士宮東高校(静　岡) 10
滋賀女子高校(滋　賀) 11
若松女子高校(福　島) 12
新潟青陵高校(新　潟) 13
旭川実業高校(北北海道) 14
愛知淑徳高校(愛　知) 15
日本橋女学館高校(東　京) 16
能代農業高校(秋　田) 17
中野実業高校(長　野) 18
熊本信愛女学院(熊　本) 19
鈴峯女子高校(広　島) 20
土佐女子高校(高　知) 21
洛水高校(京　都) 22
足羽高校(福　井) 23
宮崎商業高校(宮　崎) 24
埼玉栄高校(埼　玉) 25
優勝 四條畷学園高等学校(大阪)
26 常総学院高校(茨　城)
27 花北商業高校(岩　手)
28 新宮高校(和歌山)
29 大東高校(島　根)
30 精華女子高校(福　岡)
31 富山商業高校(富　山)
32 香川中央高校(香　川)
33 前橋東高校(群　馬)
34 札幌静修高校(南北海道)
35 南風原高校(沖　縄)
36 岐阜商業高校(岐　阜)
37 山陽女子高校(岡　山)
38 宇都宮南高校(栃　木)
39 境高校(鳥　取)
40 夙川学院高校(兵　庫)
41 鶴鳴女子高校(長　崎)
42 新庄南高校(山　形)
43 暁高校(三　重)
44 高田商業高校(奈　良)
45 千葉敬愛高校(千　葉)
46 昭和女子高校(大　分)
47 新田高校(愛　媛)
48 金沢向陽高校(石　川)
49 聖ウルスラ学院高校(宮　城)

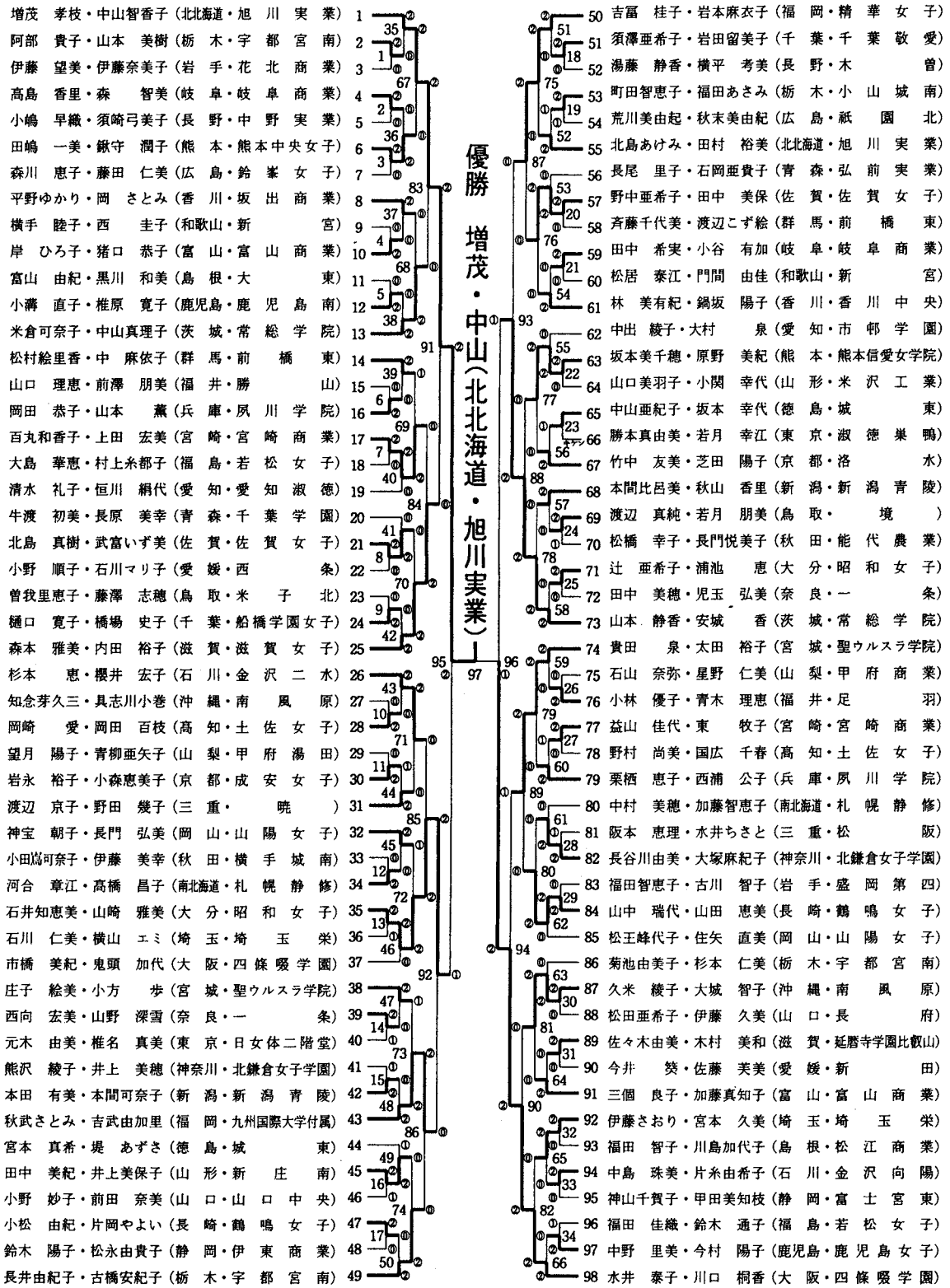
男子ダブルス　(98組)


優勝　樋渡・矢部（茨城・常総学院）
樋渡　順也・矢部　正博（茨　城・常　総　学　院）1
栗栖　　理・上野　友裕（徳　島・阿　　北）2
服部　　学・竹内　靖博（福　井・足　　羽）3
西村　　功・山内　忠亮（京　都・西　乙　訓）4
池田大治郎・草ノ瀬公一郎（鹿児島・鹿　児　島　商　業）5
桐山　英夫・中島　敏彦（岩　手・盛　岡　市　立）6
草井　　篤・杉山　　彰（岡　山・瀬　戸　　南）7
鈴村　雅弘・安藤　健一（愛　知・岡　崎　城　西）8
水川　貴生・森　　仁史（栃　木・宇　都　宮　南）9
木村　孝博・佐藤　博昭（秋　田・横　手　工　業）10
戸崎　政司・真嶋　良和（埼　玉・埼　　玉　　栄）11
上田　　直・草場　　元（佐　賀・唐　津　工　業）12
中村　淳一・内田　英樹（山　口・下関中央工業）13
古澤　清悟・松原　哲也（石　川・金沢市立工業）14
田中　肇一・池田　哲徳（千　葉・千　葉　敬　愛）15
藤原　隆志・富山　敦司（島　根・大　　東）16
河野　泰典・原田　英輝（宮　崎・　　妻　　）17
山路　優一・首藤　雄二（兵　庫・御　影　工　業）18
川畑　友和・馬木　智一（南北海道・札　幌　第　一）19
大辻　清行・酒井　将之（滋　賀・近江兄弟社）20
草塩　正国・鈴木　健介（山　梨・日　　川）21
佐久間裕司・大森　一史（福　島・帝　京　安　積）22
井谷　義和・鈴木　一生（岐　阜・岐　阜　商　業）23
福田　純一・佐々木貴一（愛　媛・西　条　農　業）24
杉太　聖太・蜂屋八須彦（福　岡・九州国際大学付属）25
外山　　忍・上野　智弘（大　阪・此　花　学　院）26
竹田　龍右・小出　利将（静　岡・富　士　宮　北）27
中川　拓也・垣内　孝宏（富　山・富　　山）28
谷岡　伸俊・岩本　正和（高　知・高　知　学　芸）29
藤井　広満・阿部　涼輔（大　分・竹　田　商　業）30
峰　　勝義・松井　　充（神奈川・川崎総合科学）31
水野　泰也・林　　雅（広　島・広島電機大学附属）32
清水　達也・日村　一義（熊　本・芦　　北）33
渋木　　豊・深井　祐介（新　潟・北　　越）34
山口　将治・蒔苗　　淳（東　京・関　東　第　一）35
井上　竜次・田中　克昌（和歌山・向　　陽）36
沼田　　学・永浦　典嗣（宮　城・宮　城　県　工　業）37
吉川　大助・薄　　智彦（香　川・高　松　商　業）38
大串　浩平・金田　晃一（山　形・日　大　山　形）39
深沢　哲也・阿部　真也（群　馬・前　　橋　　東）40
甲林　裕史・佐野　　淳（奈　良・正　　強）41
古川　勝也・有馬　周作（長　崎・創　成　館）42
鈴木　大輔・荒井　大亮（北北海道・旭　川　工　業）43
大城　　聡・玉城　　司（沖　縄・南　風　原）44
関　　健・岩下　士朗（長　野・中　野　実　業）45
河本　　淳・霜村　栄一（鳥　取・由　良　育　英）46
大町　康武・成田　英司（青　森・東　奥　義　塾）47
坂　　真和・橋爪　　英（三　重・伊　勢　工　業）48
金田　真一・真壁　正義（栃　木・宇　都　宮　工　業）49
宇野　政弘・横井　弘招（香　川・尽　誠　学　園）50
仙石　武志・仲江太佳博（京　都・西　乙　訓）51
太田　雅規・望月　純一（山　梨・東海大甲府）52
古川　博文・竹之内貴広（鹿児島・鹿　児　島　商　業）53
佐々木亮一・瀬川　　大（秋　田・秋　　田）54
石井　基晴・小川　　貢（静　岡・沼　津　学　園）55
平塚　輝夫・古村　　健（富　山・高　岡　第　一）56
今村　卓也・山内　　勉（宮　崎・　　妻　　）57
原田　淳司・勝部　琢治（島　根・大　　東）58
藪内　憲和・荒木　直人（奈　良・正　　強）59
渡辺　貴広・伊藤　章芳（北北海道・旭　川　工　業）60
西田　裕紀・舘野　隆志（栃　木・宇　都　宮　南）61
森田　　洋・楢原　功士（岡　山・倉　敷　工　業）62
矢田　智之・國井　裕和（新　潟・北　　越）63
惠美　　要・北川　　明（大　阪・大　阪　桐　蔭）64
山下　大介・田口　智一（東　京・関　東　第　一）65
後藤　　尚・高柳　　徹（宮　城・宮　城　県　工　業）66
西山　勝也・杉本　譲二（熊　本・熊本商科大学付属）67
坂本　　純・水木　栄稲（青　森・弘　前　工　業）68
井上　　勉・宍戸　　司（神奈川・日　本　大　学）69
葉山　勝也・柳川　恭宏（長　崎・壜　　浦）70
大崎　　武・西森　孝志（高　知・土　　佐）71
五味　昭一・横山　和弘（長　野・岡　谷　工　業）72
梅村　一義・片岡　裕志（三　重・伊　勢　工　業）73
三浦　公雄・鈴木　真人（岐　阜・岐　阜　商　業）74
及川　義治・佐藤　雄三（岩　手・花　北　商　業）75
石田　智也・谷　　竜一（広　島・安　芸　府　中）76
難波　正賢・茶田　哲志（兵　庫・三　田　学　園）77
坂入　秀貴・難波　　泰（群　馬・前　　橋　　東）78
菊地　洋平・川合　大咲（福　岡・九州国際大学付属）79
藤城　武久・藤本ホセマリ（埼　玉・越　　谷　　南）80
大西　孝典・西野　伸一（徳　島・城　　東）81
吉増　拓也・山野　高広（和歌山・星　　林）82
城野　正和・兵頭　貴将（沖　縄・石　　川）83
津田光一郎・中村　　毅（石　川・金沢市立工業）84
小野　敏和・佐藤　義行（山　形・日　大　山　形）85
多久島　誠・杉岡　拓弥（滋　賀・延暦寺学園比叡山）86
江藤　昌秀・志賀　貴志（大　分・臼　杵　商　業）87
斎藤　信次・古河　一成（栃　木・宇　都　宮　工　業）88
吉村　　剛・末岡　克裕（山　口・柳　井　工　業）89
下鳥　洋樹・高嶋　　進（茨　城・常　総　学　院）90
村田　祥健・渡辺　　寛（福　井・北　　陸）91
大森　一行・小野　聖征（愛　媛・西　条　農　業）92
岡本　　誠・岡本　友和（佐　賀・唐　津　工　業）93
小倉　伸彦・山田　義昭（千　葉・西武台千葉）94
國分　俊史・中根　裕輔（福　島・白　　河）95
二反田貴幸・竹内　淳次（愛　知・岡　崎　城　西）96
石丸　公仁・福光　英幸（鳥　取・倉　吉　工　業）97
井野　嘉久・一宮　孝一（南北海道・札　幌　第　一）98

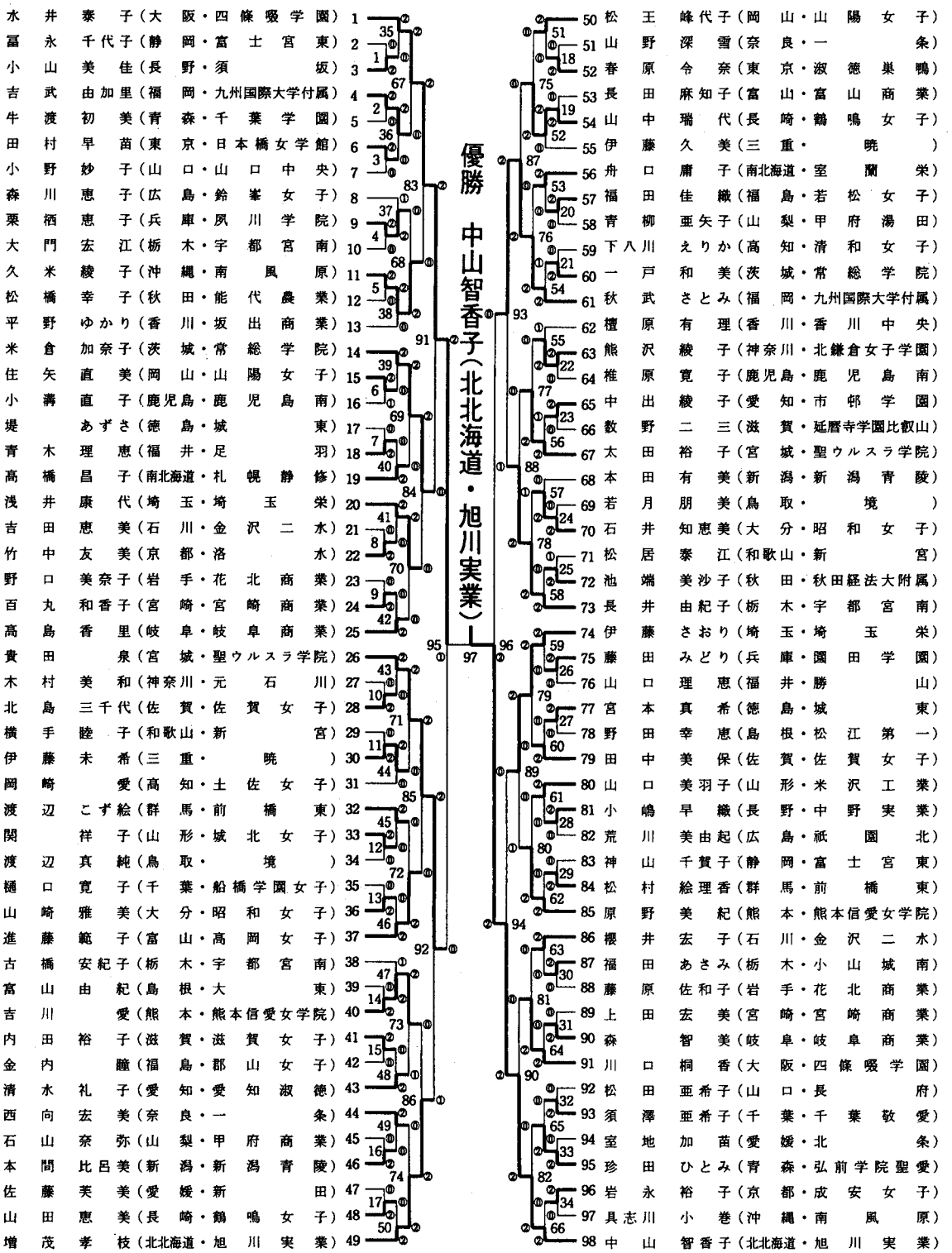
男子シングルス（98名）


優勝　中村祐樹（神奈川・法政大学第二）
1 吉川大助（香川・高松商業）
2 横山惣（青森・東奥義塾）
3 横山和弘（長野・岡谷工業）
4 山村雄祐（兵庫・御影）
5 高附三本矢（山梨・甲府商業）
6 富山敦司（島根・大東）
7 楠野隆行（福岡・九州国際大学付属）
8 鈴村雅弘（愛知・岡崎城西）
9 田中肇一（千葉・千葉敬愛）
10 藤田勝靖（大阪・大阪桐蔭）
11 岡本誠（佐賀・唐津工業）
12 中根裕輔（福島・白河）
13 坂入秀貴（群馬・前橋東）
14 佐藤義行（山形・日大山形）
15 新垣学（沖縄・豊見城南）
16 舘野隆志（栃木・宇都宮南）
17 内田英樹（山口・下関中央工業）
18 西村功（京都・西乙訓）
19 伊藤章芳（北北海道・旭川工業）
20 神谷仁士（富山・高岡工芸）
21 安永圭一（愛媛・新田）
22 峰勝義（神奈川・川崎総合科学）
23 石川澄（岐阜・岐阜商業）
24 古川博文（鹿児島・鹿児島商業）
25 水野泰也（広島・広島電機大学附属）
26 金田真一（栃木・宇都宮工業）
27 木下博嗣（福井・勝山）
28 谷岡伸俊（高知・高知学芸）
29 珍田聡（秋田・能代商業）
30 古川勝也（長崎・創成館）
31 佐野淳（奈良・正強）
32 霜村栄一（鳥取・由良育英）
33 斎藤賀仁（静岡・伊東）
34 矢部正博（茨城・常総学院）
35 吉増拓也（和歌山・星林）
36 奥山透（宮城・宮城県工業）
37 西山勝也（熊本・熊本商科大学付属）
38 津田光一郎（石川・金沢市立工業）
39 大西孝典（徳島・城東）
40 山下大介（東京・関東第一）
41 江藤昌秀（大分・臼杵商業）
42 楢原功士（岡山・倉敷工業）
43 酒井将之（滋賀・近江兄弟社）
44 藤本ホセマリ（埼玉・越谷南）
45 桐山英夫（岩手・盛岡市立）
46 宮本誠司（新潟・加茂暁星）
47 黒田享志（宮崎・富島）
48 松岡幹（三重・宇治山田）
49 一宮孝一（南北海道・札幌第一）
50 三浦公雄（岐阜・岐阜商業）
51 吉田徳秀（岩手・盛岡市立）
52 岡本友和（佐賀・唐津工業）
53 小川健一郎（東京・関東第一）
54 河本淳（鳥取・由良育英）
55 久保敦文（香川・高松商業）
56 小野敏和（山形・日大山形）
57 勝部琢治（島根・大東）
58 杉岡拓弥（滋賀・延暦寺学園比叡山）
59 田上良治（熊本・熊本商科大学付属）
60 村田祥健（福井・北陸）
61 水川貴生（栃木・宇都宮南）
62 中村祐樹（神奈川・法政大学第二）
63 山内勉（宮崎・妻）
64 荒木直人（奈良・正強）
65 松岡良展（高知・高知西）
66 佐々木亮一（秋田・秋田）
67 中村淳一（山口・下関中央工業）
68 梅村一義（三重・伊勢工業）
69 國井裕和（新潟・北越）
70 山崎堅司（長崎・大村工業）
71 仙石武志（京都・西乙訓）
72 小倉伸彦（千葉・西武台千葉）
73 井野嘉久（南北海道・札幌第一）
74 外山忍（大阪・此花学院）
75 井上裕之（広島・広島電機大学附属）
76 大森一史（福島・帝京安積）
77 竹之内貴広（鹿児島・鹿児島商業）
78 尾形隆平（徳島・城東）
79 樋渡順也（茨城・常総学院）
80 今野友之（宮城・宮城県工業）
81 安藤健一（愛知・岡崎城西）
82 真壁正義（栃木・宇都宮工業）
83 大城聡（沖縄・南風原）
84 難波泰（群馬・前橋東）
85 関健（長野・中野実業）
86 大森一行（愛媛・西条農業）
87 石井基晴（静岡・沼津学園）
88 鶴見崇（石川・金沢市立工業）
89 山田英孝（埼玉・上尾）
90 土生川岳司（和歌山・那賀）
91 川合大咲（福岡・九州国際大学付属）
92 鈴木大輔（北北海道・旭川工業）
93 岩見智成（大分・日田林工）
94 山路優一（兵庫・御影工業）
95 水木栄稲（青森・弘前工業）
96 中川拓也（富山・富山）
97 草塩正国（山梨・日川）
98 草井篤（岡山・瀬戸南）

女子ダブルス　(98組)


優勝　増茂・中山（北北海道・旭川実業）
増茂　孝枝・中山智香子（北北海道・旭　川　実　業）　1
阿部　貴子・山本　美樹（栃　木・宇　都　宮　南）　2
伊藤　望美・伊藤奈美子（岩　手・花　北　商　業）　3
高島　香里・森　　智美（岐　阜・岐　阜　商　業）　4
小嶋　早織・須崎弓美子（長　野・中　野　実　業）　5
田嶋　一美・鍬守　潤子（熊　本・熊本中央女子）　6
森川　恵子・藤田　仁美（広　島・鈴　峯　女　子）　7
平野ゆかり・岡　さとみ（香　川・坂　出　商　業）　8
横手　睦子・西　　圭子（和歌山・新　　宮）　9
岸　ひろ子・猪口　恭子（富　山・富　山　商　業）　10
富山　由紀・黒川　和美（島　根・大　　東）　11
小溝　直子・椎原　寛子（鹿児島・鹿　児　島　南）　12
米倉可奈子・中山真理子（茨　城・常　総　学　院）　13
松村絵里香・中　麻依子（群　馬・前　　橋　東）　14
山口　理恵・前澤　朋美（福　井・勝　　山）　15
岡田　恭子・山本　　薫（兵　庫・夙　川　学　院）　16
百丸和香子・上田　宏美（宮　崎・宮　崎　商　業）　17
大島　華恵・村上糸都子（福　島・若　松　女　子）　18
清水　礼子・恒川　絹代（愛　知・愛　知　淑　徳）　19
牛渡　初美・長原　美幸（青　森・千　葉　学　園）　20
北島　真樹・武富いず美（佐　賀・佐　賀　女　子）　21
小野　順子・石川マリ子（愛　媛・西　　条）　22
曽我里恵子・藤澤　志穂（鳥　取・米　子　北）　23
樋口　寛子・橋場　史子（千　葉・船橋学園女子）　24
森本　雅美・内田　裕子（滋　賀・滋　賀　女　子）　25
杉本　　恵・櫻井　宏子（石　川・金　沢　二　水）　26
知念芽久三・具志川小巻（沖　縄・南　風　原）　27
岡崎　　愛・岡田　百枝（高　知・土　佐　女　子）　28
望月　陽子・青柳亜矢子（山　梨・甲　府　湯　田）　29
岩永　裕子・小森恵美子（京　都・成　安　女　子）　30
渡辺　京子・野田　幾子（三　重・　　暁　）　31
神宝　朝子・長門　弘美（岡　山・山　陽　女　子）　32
小田嶌可奈子・伊藤　美幸（秋　田・横　手　城　南）　33
河合　章江・高橋　昌子（南北海道・札　幌　静　修）　34
石井知恵美・山崎　雅美（大　分・昭　和　女　子）　35
石川　仁美・横山　エミ（埼　玉・埼　玉　栄）　36
市橋　美紀・鬼頭　加代（大　阪・四　條　畷　学　園）　37
庄子　絵美・小方　　歩（宮　城・聖ウルスラ学院）　38
西向　宏美・山野　深雪（奈　良・一　　条）　39
元木　由美・椎名　真美（東　京・日女体二階堂）　40
熊沢　綾子・井上　美穂（神奈川・北鎌倉女子学園）　41
本田　有美・本間可奈子（新　潟・新　潟　青　陵）　42
秋武さとみ・吉武由加里（福　岡・九州国際大学付属）　43
宮本　真希・堤　あずさ（徳　島・城　　東）　44
田中　美紀・井上美保子（山　形・新　　庄　南）　45
小野　妙子・前田　奈美（山　口・山　口　中　央）　46
小松　由紀・片岡やよい（長　崎・鶴　鳴　女　子）　47
鈴木　陽子・松永由貴子（静　岡・伊　東　商　業）　48
長井由紀子・古橋安紀子（栃　木・宇　都　宮　南）　49
吉冨　桂子・岩本麻衣子（福　岡・精　華　女　子）　50
須澤亜希子・岩田留美子（千　葉・千　葉　敬　愛）　51
湯藤　静香・横平　考美（長　野・木　　曽）　52
町田智恵子・福田あさみ（栃　木・小　山　城　南）　53
荒川美由起・秋末美由紀（広　島・祇　　園　北）　54
北島あけみ・田村　裕美（北北海道・旭　川　実　業）　55
長尾　里子・石岡亜貴子（青　森・弘　前　実　業）　56
野中亜希子・田中　美保（佐　賀・佐　賀　女　子）　57
斉藤千代美・渡辺こず絵（群　馬・前　　橋　東）　58
田中　希実・小谷　有加（岐　阜・岐　阜　商　業）　59
松居　泰江・門間　由佳（和歌山・新　　宮）　60
林　美有紀・鍋坂　陽子（香　川・香　川　中　央）　61
中出　綾子・大村　　泉（愛　知・市　邨　学　園）　62
坂本美千穂・原野　美紀（熊　本・熊本信愛女学院）　63
山口美羽子・小関　幸代（山　形・米　沢　工　業）　64
中山亜紀子・坂本　幸代（徳　島・城　　東）　65
勝本真由美・若月　幸江（東　京・淑　徳　巣　鴨）　66
竹中　友美・芝田　陽子（京　都・洛　　水）　67
本間比呂美・秋山　香里（新　潟・新　潟　青　陵）　68
渡辺　真純・若月　朋美（鳥　取・　　境　）　69
松橋　幸子・長門悦美子（秋　田・能　代　農　業）　70
辻　亜希子・浦池　　恵（大　分・昭　和　女　子）　71
田中　美穂・児玉　弘美（奈　良・一　　条）　72
山本　静香・安城　　香（茨　城・常　総　学　院）　73
貴田　　泉・太田　裕子（宮　城・聖ウルスラ学院）　74
石山　奈弥・星野　仁美（山　梨・甲　府　商　業）　75
小林　優子・青木　理恵（福　井・足　　羽）　76
益山　佳代・東　　牧子（宮　崎・宮　崎　商　業）　77
野村　尚美・国広　千春（高　知・土　佐　女　子）　78
栗栖　恵子・西浦　公子（兵　庫・夙　川　学　院）　79
中村　美穂・加藤智恵子（南北海道・札　幌　静　修）　80
阪本　恵理・水井ちさと（三　重・松　　阪）　81
長谷川由美・大塚麻紀子（神奈川・北鎌倉女子学園）　82
福田智恵子・古川　智子（岩　手・盛　岡　第　四）　83
山中　瑞代・山田　恵美（長　崎・鶴　鳴　女　子）　84
松王峰代子・住矢　直美（岡　山・山　陽　女　子）　85
菊池由美子・杉本　仁美（栃　木・宇　都　宮　南）　86
久米　綾子・大城　智子（沖　縄・南　風　原）　87
松田亜希子・伊藤　久美（山　口・長　　府）　88
佐々木由美・木村　美和（滋　賀・延暦寺学園比叡山）　89
今井　　笈・佐藤　美美（愛　媛・新　　田）　90
三個　良子・加藤真知子（富　山・富　山　商　業）　91
伊藤さおり・宮本　久美（埼　玉・埼　玉　栄）　92
福田　智子・川島加代子（島　根・松　江　商　業）　93
中島　珠美・片糸由希子（石　川・金　沢　向　陽）　94
神山千賀子・甲田美知枝（静　岡・富　士　宮　東）　96
福田　佳織・鈴木　通子（福　島・若　松　女　子）　97
伊藤　泰子・川口　桐香（大　阪・四　條　畷　学　園）　98
中野　里美・今村　陽子（鹿児島・鹿　児　島　女　子）

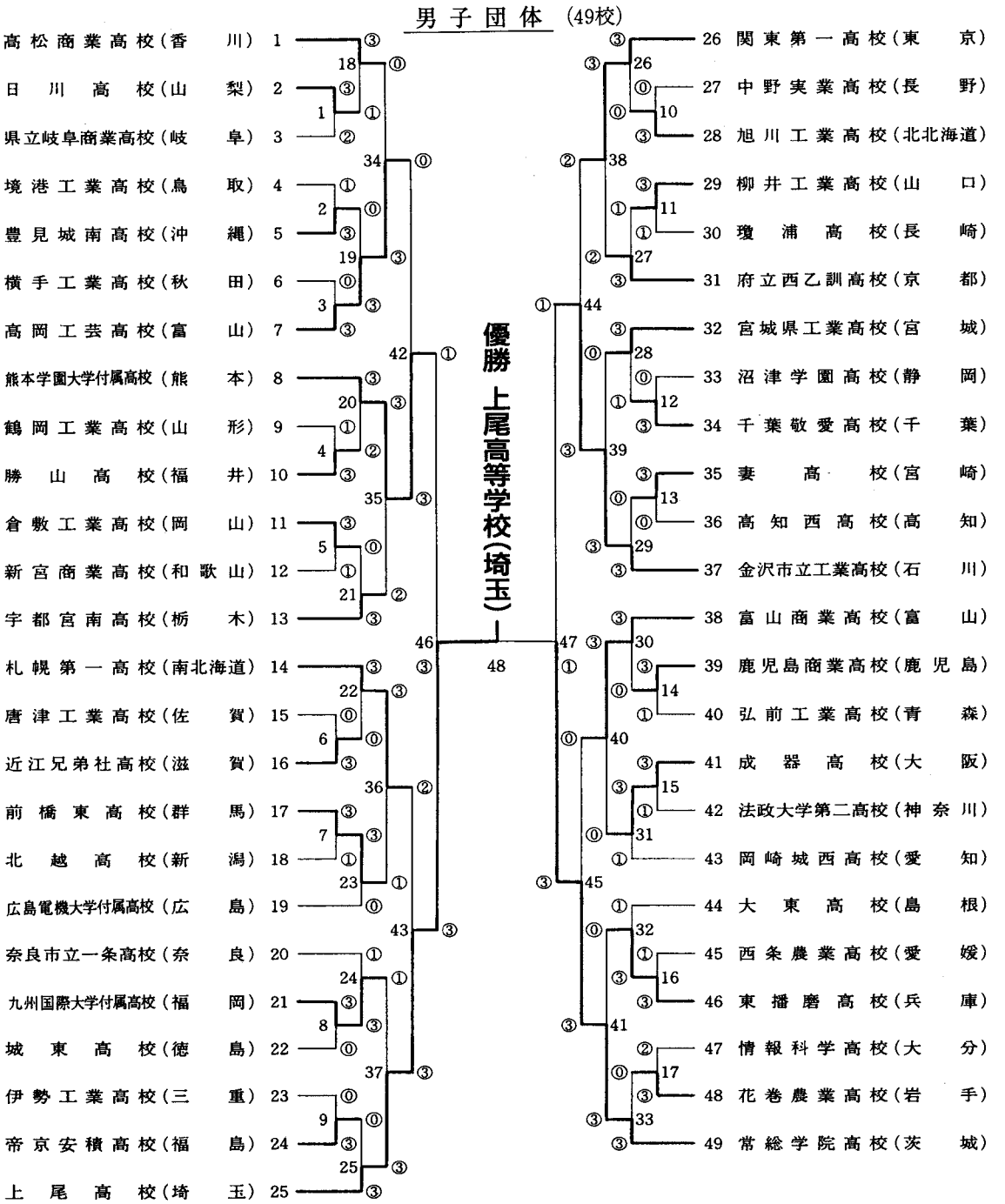
女子シングルス (98名)


優勝 中山智香子(北北海道・旭川実業)
1 水井泰子(大阪・四條畷学園)
2 冨永千代子(静岡・富士宮東)
3 小山美佳(長野・須坂)
4 吉武由加里(福岡・九州国際大学付属)
5 牛渡初美(青森・千葉学園)
6 田村早苗(東京・日本橋女学館)
7 小野妙子(山口・山口中央)
8 森川恵子(広島・鈴峯女子)
9 栗栖恵子(兵庫・夙川学院)
10 大門宏江(栃木・宇都宮南)
11 久米綾子(沖縄・南風原)
12 松橋幸子(秋田・能代農業)
13 平野ゆかり(香川・坂出商業)
14 米倉加奈子(茨城・常総学院)
15 住矢直美(岡山・山陽女子)
16 小溝直子(鹿児島・鹿児島南)
17 堤あずさ(徳島・城東)
18 青木理恵(福井・足羽)
19 高橋昌子(南北海道・札幌静修)
20 浅井康代(埼玉・埼玉栄)
21 吉田恵美(石川・金沢二水)
22 竹中友美(京都・洛水)
23 野口美奈子(岩手・花北商業)
24 百丸和香子(宮崎・宮崎商業)
25 高島香里(岐阜・岐阜商業)
26 貴田泉(宮城・聖ウルスラ学院)
27 木村美和(神奈川・元石川)
28 北島三千代(佐賀・佐賀女子)
29 横手睦子(和歌山・新宮)
30 伊藤未希(三重・暁)
31 岡崎愛(高知・土佐女子)
32 渡辺こず絵(群馬・前橋東)
33 関祥子(山形・城北女子)
34 渡辺真純(鳥取・境)
35 樋口寛子(千葉・船橋学園女子)
36 山崎雅美(大分・昭和女子)
37 進藤範子(富山・高岡女子)
38 古橋安紀子(栃木・宇都宮南)
39 富山由紀(島根・大東)
40 吉川愛(熊本・熊本信愛女学院)
41 内田裕子(滋賀・滋賀女子)
42 金内瞳(福島・郡山女子)
43 清水礼子(愛知・愛知淑徳)
44 西向宏美(奈良・一条)
45 石山奈弥(山梨・甲府商業)
46 本間比呂美(新潟・新潟青陵)
47 佐藤芙美(愛媛・新田)
48 山田恵美(長崎・鶴鳴女子)
49 増茂孝枝(北北海道・旭川実業)
50 松王峰代子(岡山・山陽女子)
51 山野深雪(奈良・一条)
52 春原令奈(東京・淑徳巣鴨)
53 長田麻知子(富山・富山商業)
54 山中瑞代(長崎・鶴鳴女子)
55 伊藤久美(三重・暁)
56 舟口庸子(南北海道・室蘭栄)
57 福田佳織(福島・若松女子)
58 青柳亜矢子(山梨・甲府湯田)
59 下八川えりか(高知・清和女子)
60 一戸和美(茨城・常総学院)
61 秋武さとみ(福岡・九州国際大学付属)
62 檀原有理(香川・香川中央)
63 熊沢綾子(神奈川・北鎌倉女子学園)
64 椎原寛子(鹿児島・鹿児島南)
65 中出綾子(愛知・市邨学園)
66 数野二三(滋賀・延暦寺学園比叡山)
67 太田裕子(宮城・聖ウルスラ学院)
68 本田有美(新潟・新潟青陵)
69 若月朋美(鳥取・境)
70 石井知恵美(大分・昭和女子)
71 松居泰江(和歌山・新宮)
72 池端美沙子(秋田・秋田経法大附属)
73 長井由紀子(栃木・宇都宮南)
74 伊藤さおり(埼玉・埼玉栄)
75 藤田みどり(兵庫・園田学園)
76 山口理恵(福井・勝山)
77 宮本真希(徳島・城東)
78 野田幸恵(島根・松江第一)
79 田中美保(佐賀・佐賀女子)
80 山口美羽子(山形・米沢工業)
81 小嶋早織(長野・中野実業)
82 荒川美由起(広島・祇園北)
83 神山千賀子(静岡・富士宮東)
84 松村絵理香(群馬・前橋東)
85 原野美紀(熊本・熊本信愛女学院)
86 櫻井宏子(石川・金沢二水)
87 福田あさみ(栃木・小山城南)
88 藤原佐和子(岩手・花北商業)
89 上田宏美(宮崎・宮崎商業)
90 森智美(岐阜・岐阜商業)
91 川口桐香(大阪・四條畷学園)
92 松田亜希子(山口・長府)
93 須澤亜希子(千葉・千葉敬愛)
94 室地加苗(愛媛・北条)
95 珍田ひとみ(青森・弘前学院聖愛)
96 岩永裕子(京都・成安女子)
97 具志川小巻(沖縄・南風原)
98 中山智香子(北北海道・旭川実業)

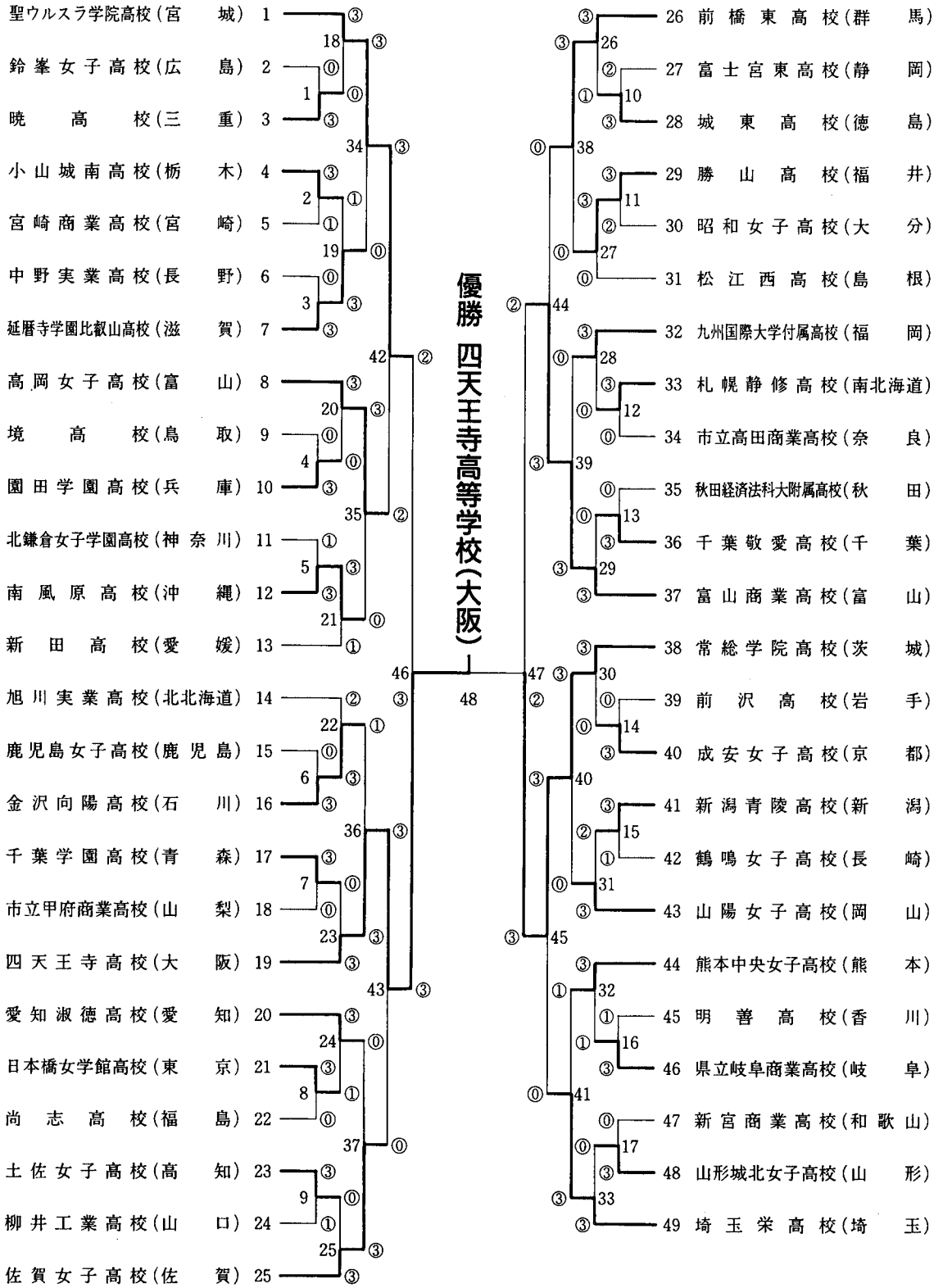
第45回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1994年度)

期日　平成6年8月1日～6日
会場　高岡市民会館　高岡市民体育館　富山県立高岡高等学校体育館
富山県立高岡工芸高等学校体育館　富山県立高岡商業高等学校体育館
富山県立高岡女子高等学校体育館　高岡第一高等学校体育館

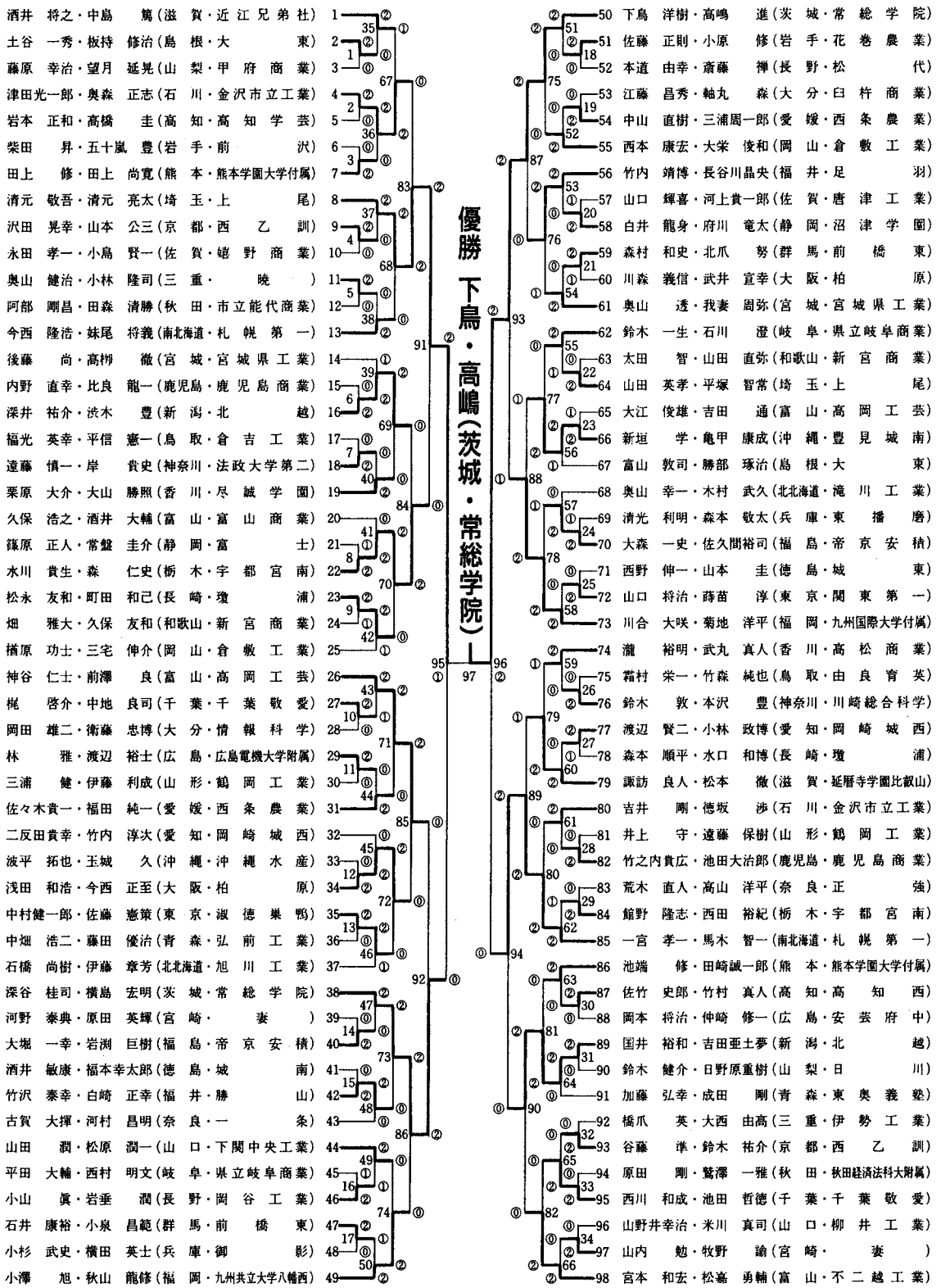
男子団体　(49校)



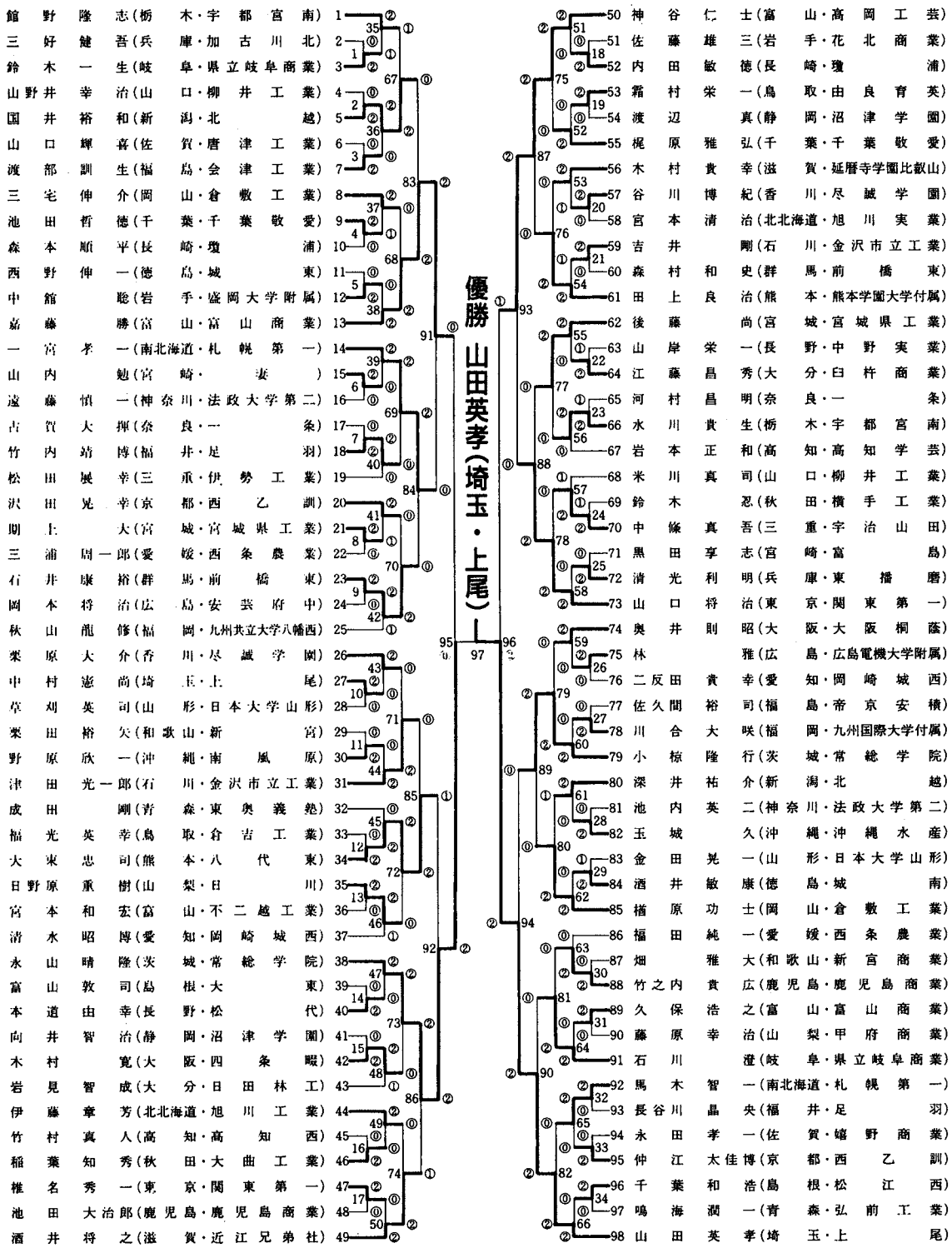
女子団体 (49校)


聖ウルスラ学院高校(宮　城) 1
鈴峯女子高校(広　島) 2
暁　高　校(三　重) 3
小山城南高校(栃　木) 4
宮崎商業高校(宮　崎) 5
中野実業高校(長　野) 6
延暦寺学園比叡山高校(滋　賀) 7
高岡女子高校(富　山) 8
境　高　校(鳥　取) 9
園田学園高校(兵　庫) 10
北鎌倉女子学園高校(神奈川) 11
南風原高校(沖　縄) 12
新田高校(愛　媛) 13
旭川実業高校(北北海道) 14
鹿児島女子高校(鹿児島) 15
金沢向陽高校(石　川) 16
千葉学園高校(青　森) 17
市立甲府商業高校(山　梨) 18
四天王寺高校(大　阪) 19
愛知淑徳高校(愛　知) 20
日本橋女学館高校(東　京) 21
尚志高校(福　島) 22
土佐女子高校(高　知) 23
柳井工業高校(山　口) 24
佐賀女子高校(佐　賀) 25
優勝 四天王寺高等学校(大阪)
26 前橋東高校(群　馬)
27 富士宮東高校(静　岡)
28 城東高校(徳　島)
29 勝山高校(福　井)
30 昭和女子高校(大　分)
31 松江西高校(島　根)
32 九州国際大学付属高校(福　岡)
33 札幌静修高校(南北海道)
34 市立高田商業高校(奈　良)
35 秋田経済法科大附属高校(秋　田)
36 千葉敬愛高校(千　葉)
37 富山商業高校(富　山)
38 常総学院高校(茨　城)
39 前沢高校(岩　手)
40 成安女子高校(京　都)
41 新潟青陵高校(新　潟)
42 鶴鳴女子高校(長　崎)
43 山陽女子高校(岡　山)
44 熊本中央女子高校(熊　本)
45 明善高校(香　川)
46 県立岐阜商業高校(岐　阜)
47 新宮商業高校(和歌山)
48 山形城北女子高校(山　形)
49 埼玉栄高校(埼　玉)

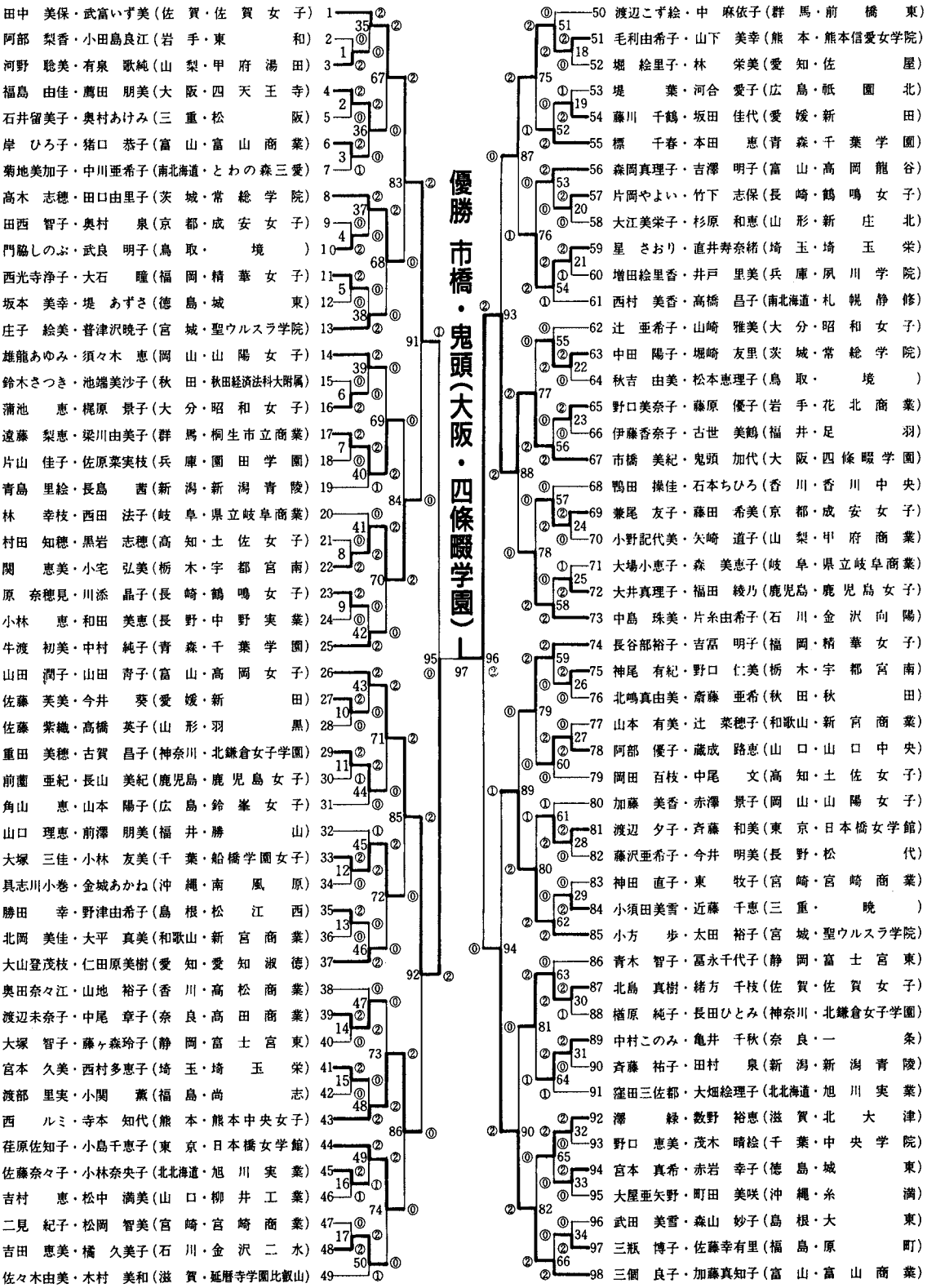
男子ダブルス　(98組)


優勝　下鳥・高嶋（茨城・常総学院）
酒井　将之・中島　篤（滋賀・近江兄弟社）
土谷　一秀・板持　修治（島根・大東）
藤原　幸治・望月　延晃（山梨・甲府商業）
津田光一郎・奥森　正志（石川・金沢市立工業）
岩本　正和・高橋　圭（高知・高知学芸）
柴田　昇・五十嵐　豊（岩手・前沢）
田上　修・田上　尚寛（熊本・熊本学園大学付属）
清元　敬吾・清元　亮太（埼玉・上尾）
沢田　晃幸・山本　公三（京都・西乙訓）
永田　孝一・小島　賢一（佐賀・嬉野商業）
奥山　健治・小林　隆司（三重・暁）
阿部　剛昌・田森　清勝（秋田・市立能代商業）
今西　隆浩・妹尾　将義（南北海道・札幌第一）
後藤　尚・高柳　徹（宮城・宮城県工業）
内野　直幸・比良　龍一（鹿児島・鹿児島商業）
深井　祐介・渋木　豊（新潟・北越）
福光　英幸・平信　憲一（鳥取・倉吉工業）
遠藤　慎一・岸　貴史（神奈川・法政大学第二）
栗原　大介・大山　勝照（香川・尽誠学園）
久保　浩之・酒井　大輔（富山・富山商業）
篠原　正人・常盤　圭介（静岡・富士）
水川　貴生・森　仁史（栃木・宇都宮南）
松永　友和・町田　和己（長崎・瓊浦）
畑　雅大・久保　友和（和歌山・新宮商業）
橋原　功士・三宅　伸介（岡山・倉敷工業）
神谷　仁士・前澤　良（富山・高岡工芸）
梶　啓介・中地　良司（千葉・千葉敬愛）
岡田　雄二・衛藤　忠博（大分・情報科学）
林　雅・渡辺　裕士（広島・広島電機大学附属）
三浦　健・伊藤　利成（山形・鶴岡工業）
佐々木貴一・福田　純一（愛媛・西条農業）
二反田貴幸・竹内　淳次（愛知・岡崎城西）
波平　拓也・玉城　久（沖縄・沖縄水産）
浅田　和浩・今西　正至（大阪・柏原）
中村健一郎・佐藤　憲策（東京・淑徳巣鴨）
中畑　浩二・藤田　優治（青森・弘前工業）
石橋　尚樹・伊藤　章芳（北北海道・旭川工業）
深谷　桂司・横島　宏明（茨城・常総学院）
河野　泰典・原田　英輝（宮崎・妻）
大堀　一幸・岩渕　巨樹（福島・帝京安積）
酒井　敏康・福本幸太郎（徳島・城南）
竹沢　泰幸・白崎　正幸（福井・勝山）
古賀　大輝・河村　昌明（奈良・一条）
山田　潤・松原　潤一（山口・下関中央工業）
平田　大輔・西村　明文（岐阜・県立岐阜商業）
小山　眞・岩垂　潤（長野・岡谷工業）
石井　康裕・小泉　昌範（群馬・前橋東）
小杉　武史・横田　英士（兵庫・御影）
小澤　旭・秋山　龍修（福岡・九州共立大学八幡西）
下鳥　洋樹・高嶋　進（茨城・常総学院）
佐藤　正則・小原　修（岩手・花巻農業）
本道　由幸・斎藤　禅（長野・松代）
江藤　昌秀・軸丸　森（大分・臼杵商業）
中山　直樹・三浦周一郎（愛媛・西条農業）
西本　康宏・大栄　俊和（岡山・倉敷工業）
竹内　靖博・長谷川晶央（福井・足羽）
山口　輝喜・河上貴一郎（佐賀・唐津工業）
白井　龍身・府川　竜太（静岡・沼津学園）
森村　和史・北爪　努（群馬・前橋東）
川森　義信・武井　宣幸（大阪・柏原）
奥山　透・我妻　周弥（宮城・宮城県工業）
鈴木　一生・石川　澄（岐阜・県立岐阜商業）
太田　智・山田　直弥（和歌山・新宮商業）
山田　英孝・平塚　智常（埼玉・上尾）
大江　俊雄・吉田　通（富山・高岡工芸）
新垣　学・亀甲　康成（沖縄・豊見城南）
富山　敦司・勝部　琢治（島根・大東）
奥山　幸一・木村　武久（北北海道・滝川工業）
清光　利明・森本　敬太（兵庫・東播磨）
大森　一史・佐久間裕司（福島・帝京安積）
西野　伸一・山本　圭（徳島・城東）
山口　将治・蒔苗　淳（東京・関東第一）
川合　大咲・菊地　洋平（福岡・九州国際大学付属）
瀧　裕明・武丸　真人（香川・高松商業）
霜村　栄一・竹森　純也（鳥取・由良育英）
鈴木　敦・本沢　豊（神奈川・川崎総合科学）
渡辺　賢二・小林　政博（愛知・岡崎城西）
森本　順平・水口　和博（長崎・瓊浦）
諏訪　良人・松本　徹（滋賀・延暦寺学園比叡山）
吉井　剛・徳坂　渉（石川・金沢市立工業）
井上　守・遠藤　保樹（山形・鶴岡工業）
竹之内貴広・池田大治郎（鹿児島・鹿児島商業）
荒木　直人・高山　洋平（奈良・正強）
館野　隆志・西田　裕紀（栃木・宇都宮南）
一宮　孝一・馬木　智一（南北海道・札幌第一）
池端　修・田崎誠一郎（熊本・熊本学園大学付属）
佐竹　史郎・竹村　真人（高知・高知西）
岡本　将治・仲崎　修一（広島・安芸府中）
国井　裕和・吉田亜土夢（新潟・北越）
鈴木　健介・日野原重樹（山梨・日川）
加藤　弘幸・成田　剛（青森・東奥義塾）
橋爪　英・大西　由高（三重・伊勢工業）
谷藤　準・鈴木　祐介（京都・西乙訓）
原田　剛・鷲澤　一雅（秋田・秋田経済法科大附属）
西川　和成・池田　哲徳（千葉・千葉敬愛）
山野井幸治・米川　真司（山口・柳井工業）
山内　勉・牧野　諭（宮崎・妻）
宮本　和宏・松嘉　勇輔（富山・不二越工業）

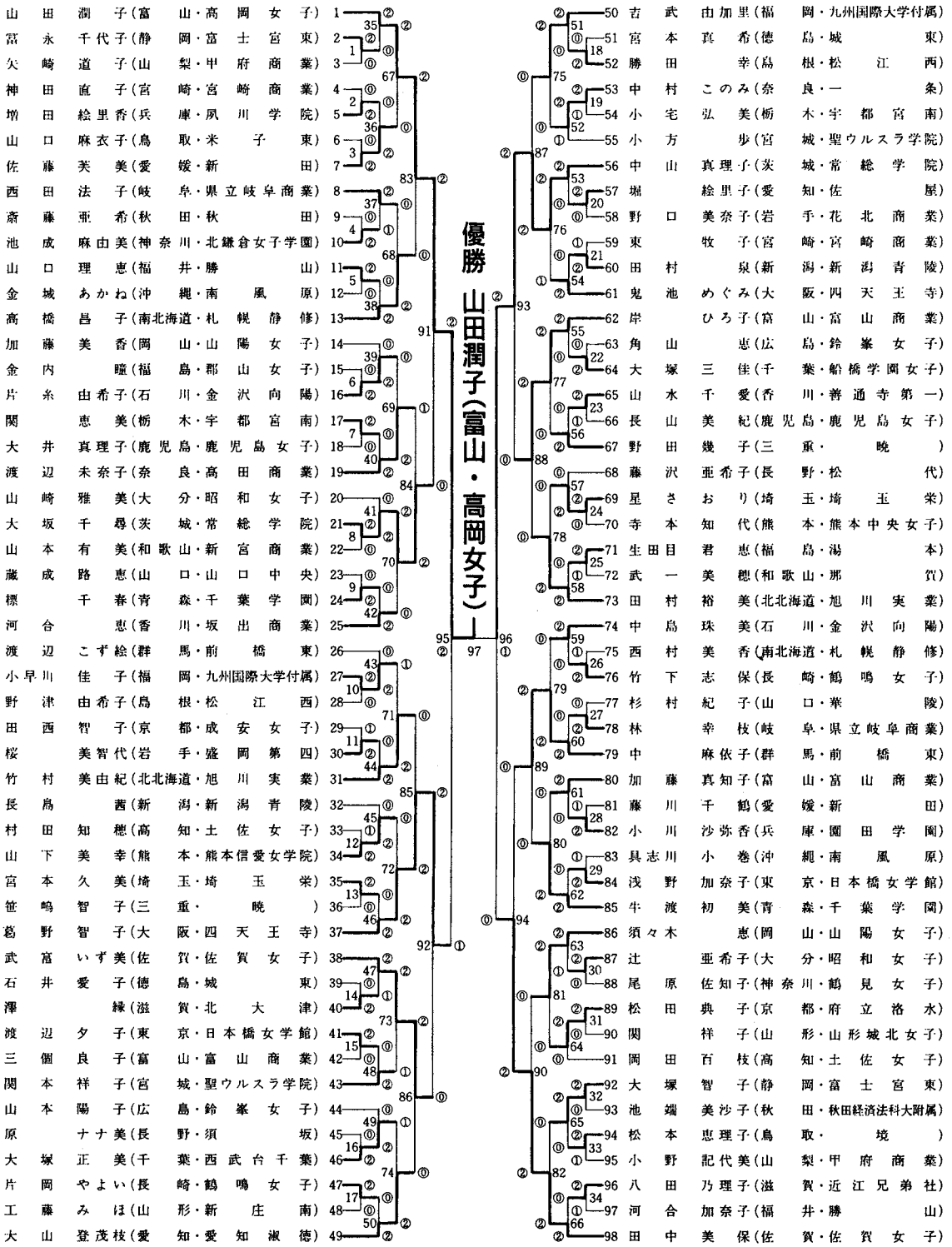
男子シングルス　(98名)


優勝
山田英孝(埼玉・上尾)
1 館野隆志(栃木・宇都宮南)
2 三好健吾(兵庫・加古川北)
3 鈴木一生(岐阜・県立岐阜商業)
4 山野井幸治(山口・柳井工業)
5 国井裕和(新潟・北越)
6 山口輝喜(佐賀・唐津工業)
7 渡部訓生(福島・会津工業)
8 三宅伸介(岡山・倉敷工業)
9 池田哲徳(千葉・千葉敬愛)
10 森本順平(長崎・瓊浦)
11 西野伸一(徳島・城東)
12 中舘聡(岩手・盛岡大学附属)
13 嘉藤勝(富山・富山商業)
14 一宮孝一(南北海道・札幌第一)
15 山内勉(宮崎・妻)
16 遠藤慎一(神奈川・法政大学第二)
17 吉賀大揮(奈良・一条)
18 竹内靖博(福井・足羽)
19 松田展幸(三重・伊勢工業)
20 沢田晃幸(京都・西乙訓)
21 則上大(宮城・宮城県工業)
22 三浦周一郎(愛媛・西条農業)
23 石井康裕(群馬・前橋東)
24 岡本将治(広島・安芸府中)
25 秋山龍修(福岡・九州共立大学八幡西)
26 栗原大介(香川・尽誠学園)
27 中村憲尚(埼玉・上尾)
28 草刈英司(山形・日本大学山形)
29 栗田裕矢(和歌山・新宮)
30 野原欣一(沖縄・南風原)
31 津田光一郎(石川・金沢市立工業)
32 成田剛(青森・東奥義塾)
33 福光英幸(鳥取・倉吉工業)
34 大東忠司(熊本・八代東)
35 日野原重樹(山梨・日川)
36 宮本和宏(富山・不二越工業)
37 清水昭博(愛知・岡崎城西)
38 永山晴隆(茨城・常総学院)
39 富山敦司(島根・大東)
40 本道由幸(長野・松代)
41 向井智治(静岡・沼津学園)
42 木村寛(大阪・四条畷)
43 岩見智成(大分・日田林工)
44 伊藤章芳(北北海道・旭川工業)
45 竹村真人(高知・高知西)
46 稲葉知秀(秋田・大曲工業)
47 椎名秀一(東京・関東第一)
48 池田大治郎(鹿児島・鹿児島商業)
49 酒井将之(滋賀・近江兄弟社)
50 神谷仁士(富山・高岡工芸)
51 佐藤雄三(岩手・花北商業)
52 内田敏徳(長崎・瓊浦)
53 霜村栄一(鳥取・由良育英)
54 渡辺真(静岡・沼津学園)
55 梶原雅弘(千葉・千葉敬愛)
56 木村貴幸(滋賀・延暦寺学園比叡山)
57 谷川博紀(香川・尽誠学園)
58 宮本清治(北北海道・旭川実業)
59 吉井剛(石川・金沢市立工業)
60 森村和史(群馬・前橋東)
61 田上良治(熊本・熊本学園大学付属)
62 後藤尚(宮城・宮城県工業)
63 山岸栄一(長野・中野実業)
64 江藤昌秀(大分・臼杵商業)
65 河村昌明(奈良・一条)
66 水川貴生(栃木・宇都宮南)
67 岩本正和(高知・高知学芸)
68 米川真司(山口・柳井工業)
69 鈴木忍(秋田・横手工業)
70 中條真吾(三重・宇治山田)
71 黒田享志(宮崎・富島)
72 清光利明(兵庫・東播磨)
73 山口将治(東京・関東第一)
74 奥井則昭(大阪・大阪桐蔭)
75 林雅(広島・広島電機大学附属)
76 二反田貴幸(愛知・岡崎城西)
77 佐久間裕司(福島・帝京安積)
78 川合大咲(福岡・九州国際大学付属)
79 小椋隆行(茨城・常総学院)
80 深井祐介(新潟・北越)
81 池内英二(神奈川・法政大学第二)
82 玉城久(沖縄・沖縄水産)
83 金田晃一(山形・日本大学山形)
84 酒井敏康(徳島・城南)
85 楢原功士(岡山・倉敷工業)
86 福田純一(愛媛・西条農業)
87 畑雅大(和歌山・新宮商業)
88 竹之内貴広(鹿児島・鹿児島商業)
89 久保浩之(富山・富山商業)
90 藤原幸治(山梨・甲府商業)
91 石川澄(岐阜・県立岐阜商業)
92 馬木智一(南北海道・札幌第一)
93 長谷川晶央(福井・足羽)
94 永田孝一(佐賀・嬉野商業)
95 仲江太佳博(京都・西乙訓)
96 千葉和浩(島根・松江西)
97 鳴海潤一(青森・弘前工業)
98 山田英孝(埼玉・上尾)

女子ダブルス　(98組)


優勝 市橋・鬼頭(大阪・四條畷学園)
1 田中 美保・武富いず美(佐 賀・佐 賀 女 子)
2 阿部 梨香・小田島良江(岩 手・東 和)
3 河野 聡美・有泉 歌純(山 梨・甲 府 湯 田)
4 福島 由佳・鷹田 朋美(大 阪・四 天 王 寺)
5 石井留美子・奥村あけみ(三 重・松 阪)
6 岸 ひろ子・猪口 恭子(富 山・富 山 商 業)
7 菊地美加子・中川亜希子(南北海道・とわの森三 愛)
8 高木 志穂・田口由里子(茨 城・常 総 学 院)
9 田西 智子・奥村 泉(京 都・成 安 女 子)
10 門脇しのぶ・武良 明子(鳥 取・ 境)
11 西光寺浄子・大石 瞳(福 岡・精 華 女 子)
12 坂本 美幸・堤 あずさ(徳 島・城 東)
13 庄子 絵美・普津沢暁子(宮 城・聖ウルスラ学院)
14 雄龍あゆみ・須々木 恵(岡 山・山 陽 女 子)
15 鈴木さつき・池端美沙子(秋 田・秋田経済法科大附属)
16 蒲池 恵・梶原 景子(大 分・昭 和 女 子)
17 遠藤 梨恵・梁川由美子(群 馬・桐 生 市 立 商 業)
18 片山 佳子・佐原菜実枝(兵 庫・園 田 学 園)
19 青島 里絵・長島 茜(新 潟・新 潟 青 陵)
20 林 幸枝・西田 法子(岐 阜・県 立 岐 阜 商 業)
21 村田 知穂・黒岩 志穂(高 知・土 佐 女 子)
22 関 恵美・小宅 弘美(栃 木・宇 都 宮 南)
23 原 奈穂見・川添 晶子(長 崎・鶴 鳴 女 子)
24 小林 恵・和田 美恵(長 野・中 野 実 業)
25 牛渡 初美・中村 純子(青 森・千 葉 学 園)
26 山田 潤子・山田 青子(富 山・高 岡 女 子)
27 佐藤 美美・今井 葵(愛 媛・新 田)
28 佐藤 紫織・高橋 英子(山 形・羽 黒)
29 重田 美穂・古賀 昌子(神奈川・北鎌倉女子学園)
30 前薗 亜紀・長山 美紀(鹿児島・鹿 児 島 女 子)
31 角山 恵・山本 陽子(広 島・鈴 峯 女 子)
32 山口 理恵・前澤 朋美(福 井・勝 山)
33 大塚 三佳・小林 友美(千 葉・船 橋 学 園 女 子)
34 具志川小巻・金城あかね(沖 縄・南 風 原)
35 勝田 幸・野津由希子(島 根・松 江 西)
36 北岡 美佳・大平 真美(和歌山・新 宮 商 業)
37 大山登茂枝・仁田原美樹(愛 知・愛 知 淑 徳)
38 奥田奈々江・山地 裕子(香 川・高 松 商 業)
39 渡辺未奈子・中尾 章子(奈 良・高 田 商 業)
40 大塚 智子・藤ヶ森玲子(静 岡・富 士 宮 東)
41 宮本 久美・西村多恵子(埼 玉・埼 玉 栄)
42 渡部 里実・小関 薫(福 島・尚 志)
43 西 ルミ・寺本 知代(熊 本・熊本中央女子)
44 荏原佐知子・小島千恵子(東 京・日本橋女学館)
45 佐藤奈々子・小林奈央子(北北海道・旭 川 実 業)
46 吉村 恵・松中 満美(山 口・柳 井 工 業)
47 二見 紀子・松岡 智美(宮 崎・宮 崎 商 業)
48 吉田 恵美・橘 久美子(石 川・金 沢 二 水)
49 佐々木由美・木村 美和(滋 賀・延暦寺学園比叡山)
50 渡辺こず絵・中 麻依子(群 馬・前 橋 東)
51 毛利由希子・山下 美幸(熊 本・熊本信愛女学院)
52 堀 絵里子・林 栄美(愛 知・佐 屋)
53 堤 葉・河合 愛子(広 島・祇 園 北)
54 藤川 千鶴・坂田 佳代(愛 媛・新 田)
55 標 千春・本田 恵(青 森・千 葉 学 園)
56 森岡真理子・吉澤 明子(富 山・高 岡 龍 谷)
57 片岡やよい・竹下 志保(長 崎・鶴 鳴 女 子)
58 大江美栄子・杉原 和恵(山 形・新 庄 北)
59 星 さおり・直井寿奈緒(埼 玉・埼 玉 栄)
60 増田絵里香・井戸 里美(兵 庫・夙 川 学 院)
61 西村 美香・高橋 昌子(南北海道・札 幌 静 修)
62 辻 亜希子・山崎 雅美(大 分・昭 和 女 子)
63 中田 陽子・堀崎 友里(茨 城・常 総 学 院)
64 秋吉 由美・松本恵理子(鳥 取・ 境)
65 野口美奈子・藤原 優子(岩 手・花 北 商 業)
66 伊藤香奈子・古世 美鶴(福 井・足 羽)
67 市橋 美紀・鬼頭 加代(大 阪・四 條 畷 学 園)
68 鴨田 操佳・石本ちひろ(香 川・香 川 中 央)
69 兼尾 友子・藤田 希美(京 都・成 安 女 子)
70 小野記代美・矢崎 道子(山 梨・甲 府 商 業)
71 大場小恵子・森 美恵子(岐 阜・県立岐阜商業)
72 大井真理子・福田 綾乃(鹿児島・鹿 児 島 女 子)
73 中島 珠美・片糸由希子(石 川・金 沢 向 陽)
74 長谷部裕子・吉冨 明子(福 岡・精 華 女 子)
75 神尾 有紀・野口 仁美(栃 木・宇 都 宮 南)
76 北嶋真由美・斎藤 亜希(秋 田・秋 田)
77 山本 有美・辻 菜穂子(和歌山・新 宮 商 業)
78 阿部 優子・蔵成 路恵(山 口・山 口 中 央)
79 岡田 百枝・中尾 文(高 知・土 佐 女 子)
80 加藤 美香・赤澤 景子(岡 山・山 陽 女 子)
81 渡辺 夕子・斉藤 和美(東 京・日本橋女学館)
82 藤沢亜希子・今井 明美(長 野・松 代)
83 神田 直子・東 牧子(宮 崎・宮 崎 商 業)
84 小須田美雪・近藤 千恵(三 重・ 暁)
85 小方 歩・太田 裕子(宮 城・聖ウルスラ学院)
86 青木 智子・冨永千代子(静 岡・富 士 宮 東)
87 北島 真樹・緒方 千枝(佐 賀・佐 賀 女 子)
88 橋原 純子・長田ひとみ(神奈川・北鎌倉女子学園)
89 中村このみ・亀井 千秋(奈 良・一 条)
90 斉藤 祐子・田村 泉(新 潟・新 潟 青 陵)
91 窪田三佐都・大畑絵理子(北北海道・旭 川 実 業)
92 澤 緑・数野 裕恵(滋 賀・北 大 津)
93 野口 恵美・茂木 晴絵(千 葉・中 央 学 院)
94 宮本 真希・赤岩 幸子(徳 島・城 東)
95 大屋亜矢野・町田 美咲(沖 縄・糸 満)
96 武田 美雪・森山 妙子(島 根・大 東)
97 三瓶 博子・佐藤幸有里(福 島・原 町)
98 三個 良子・加藤真知子(富 山・富 山 商 業)

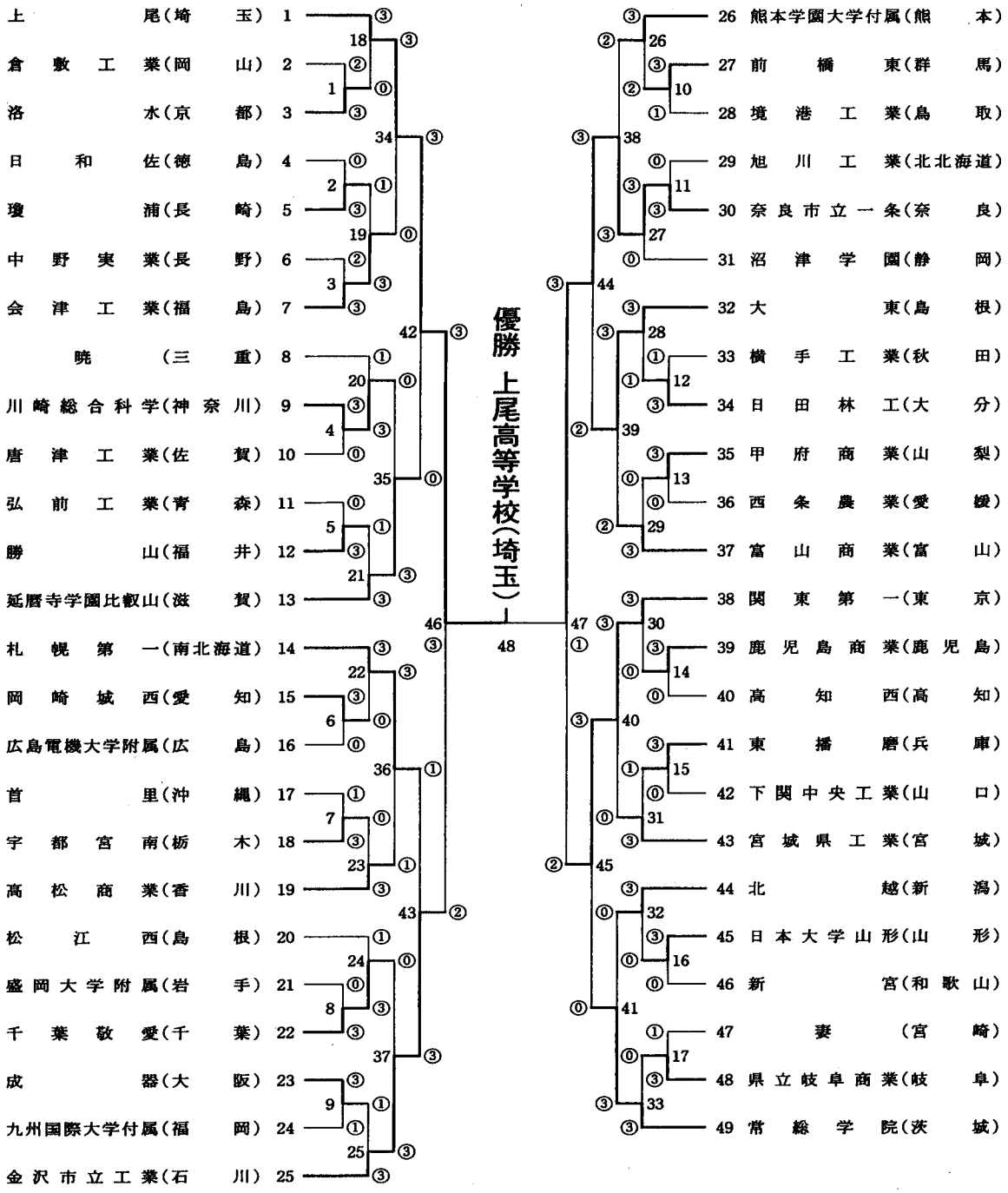
女子シングルス　(98名)


優勝　山田潤子(富山・高岡女子)
山田潤子(富山・高岡女子)
冨永千代子(静岡・富士宮東)
矢崎道子(山梨・甲府商業)
神田直子(宮崎・宮崎商業)
増田絵里香(兵庫・夙川学院)
山口麻衣子(鳥取・米子東)
佐藤芙美(愛媛・新田)
西田法子(岐阜・県立岐阜商業)
斎藤亜希(秋田・秋田)
池成麻由美(神奈川・北鎌倉女子学園)
山口理恵(福井・勝山)
金城あかね(沖縄・南風原)
高橋昌子(南北海道・札幌静修)
加藤美香(岡山・山陽女子)
金内瞳(福島・郡山女子)
片糸由希子(石川・金沢向陽)
関恵美(栃木・宇都宮南)
大井真理子(鹿児島・鹿児島女子)
渡辺未奈子(奈良・高田商業)
山崎雅美(大分・昭和女子)
大坂千尋(茨城・常総学院)
山本有美(和歌山・新宮商業)
蔵成路恵(山口・山口中央)
標千春(青森・千葉学園)
河合恵(香川・坂出商業)
渡辺こず絵(群馬・前橋東)
小早川佳子(福岡・九州国際大学付属)
野津由希子(島根・松江西)
田西智子(京都・成安女子)
桜美智代(岩手・盛岡第四)
竹村美由紀(北北海道・旭川実業)
長島茜(新潟・新潟青陵)
村田知穂(高知・土佐女子)
山下美幸(熊本・熊本信愛女学院)
宮本久美(埼玉・埼玉栄)
笹嶋智子(三重・暁)
葛野智子(大阪・四天王寺)
武富いず美(佐賀・佐賀女子)
石井愛子(徳島・城東)
澤縁(滋賀・北大津)
渡辺夕子(東京・日本橋女学館)
三個良子(富山・富山商業)
関本祥子(宮城・聖ウルスラ学院)
山本陽子(広島・鈴峯女子)
原ナナ美(長野・須坂)
大塚正美(千葉・西武台千葉)
片岡やよい(長崎・鶴鳴女子)
工藤みほ(山形・新庄南)
大山登茂枝(愛知・愛知淑徳)
吉武由加里(福岡・九州国際大学付属)
宮本真希(徳島・城東)
勝田幸(島根・松江西)
中村このみ(奈良・一条)
小宅弘美(栃木・宇都宮南)
小方歩(宮城・聖ウルスラ学院)
中山真理子(茨城・常総学院)
堀絵里子(愛知・佐屋)
野口美奈子(岩手・花北商業)
東牧子(宮崎・宮崎商業)
田村泉(新潟・新潟青陵)
鬼池めぐみ(大阪・四天王寺)
岸ひろ子(富山・富山商業)
角山恵(広島・鈴峯女子)
大塚三佳(千葉・船橋学園女子)
山水千愛(香川・善通寺第一)
長山美紀(鹿児島・鹿児島女子)
野田幾子(三重・暁)
藤沢亜希子(長野・松代)
星さおり(埼玉・埼玉栄)
寺本知代(熊本・熊本中央女子)
生田目君恵(福島・湯本)
武一美穂(和歌山・那賀)
田村裕美(北北海道・旭川実業)
中島珠美(石川・金沢向陽)
西村美香(南北海道・札幌静修)
竹下志保(長崎・鶴鳴女子)
杉村紀子(山口・華陵)
林幸枝(岐阜・県立岐阜商業)
中麻依子(群馬・前橋東)
加藤真知子(富山・富山商業)
藤川千鶴(愛媛・新田)
小川沙弥香(兵庫・園田学園)
具志川小巻(沖縄・南風原)
浅野加奈子(東京・日本橋女学館)
牛渡初美(青森・千葉学園)
須々木恵(岡山・山陽女子)
辻亜希子(大分・昭和女子)
尾原佐知子(神奈川・鶴見女子)
松田典子(京都・府立洛水)
関祥子(山形・山形城北女子)
岡田百枝(高知・土佐女子)
大塚智子(静岡・富士宮東)
池端美沙子(秋田・秋田経済法科大附属)
松本恵理子(鳥取・境)
小野記代美(山梨・甲府商業)
八田乃理子(滋賀・近江兄弟社)
河合加奈子(福井・勝山)
田中美保(佐賀・佐賀女子)

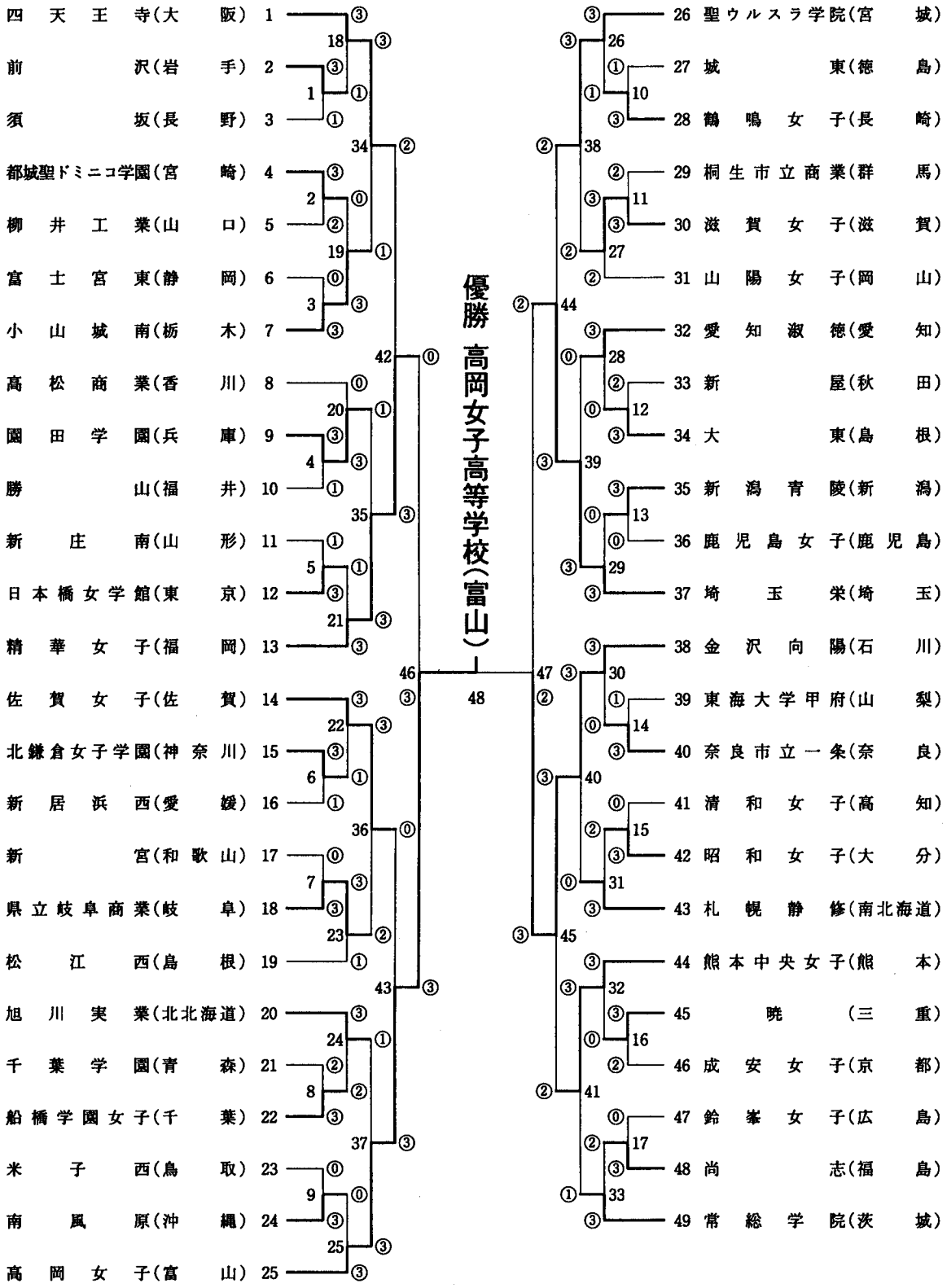
第46回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1995年度)

期日　平成7年8月1日～6日
会場　島根県民会館　　島根県立松江商業高等学校体育館
　　島根県立産業交流会館　　島根県立松江東高等学校体育館

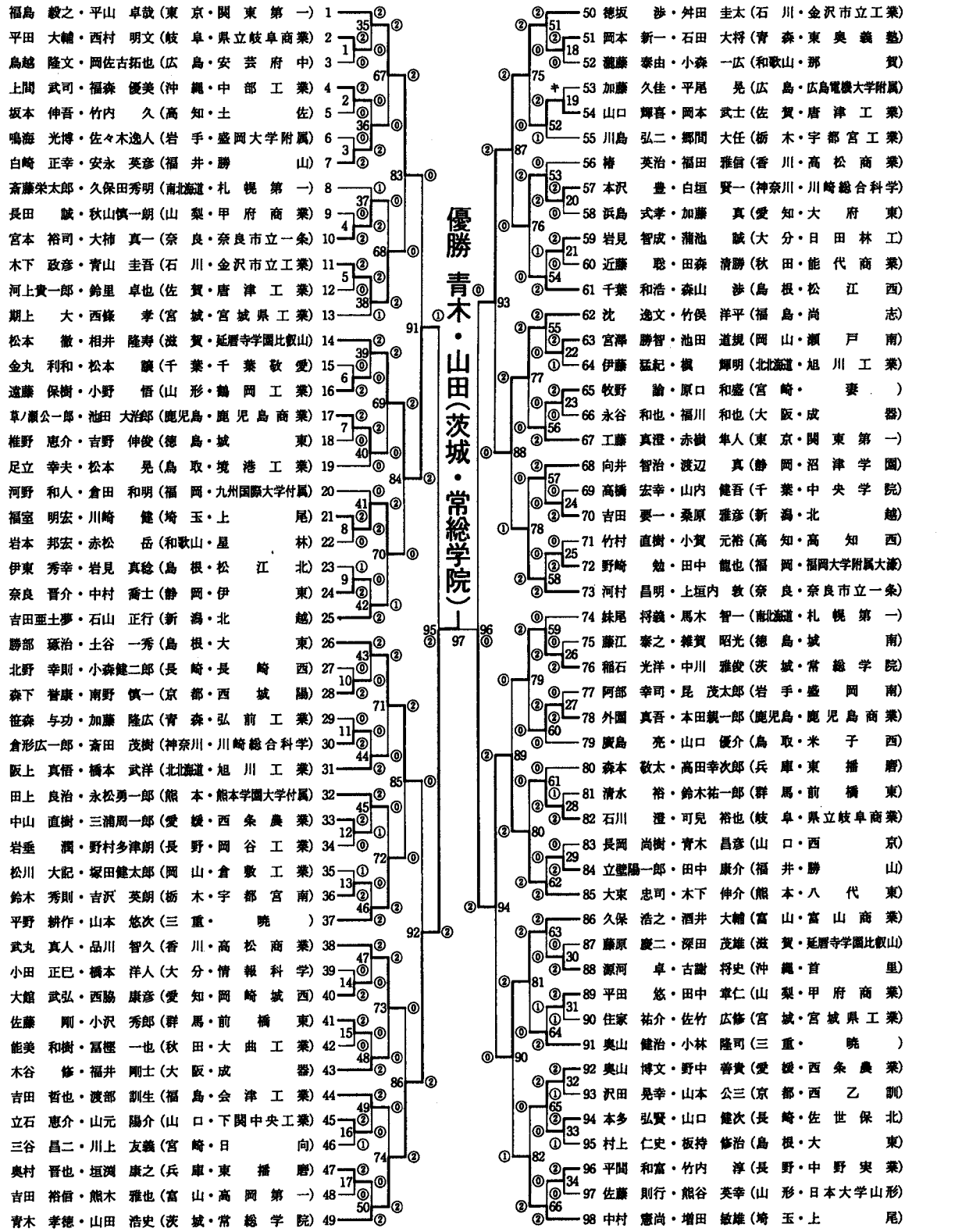
男子団体　(49校)



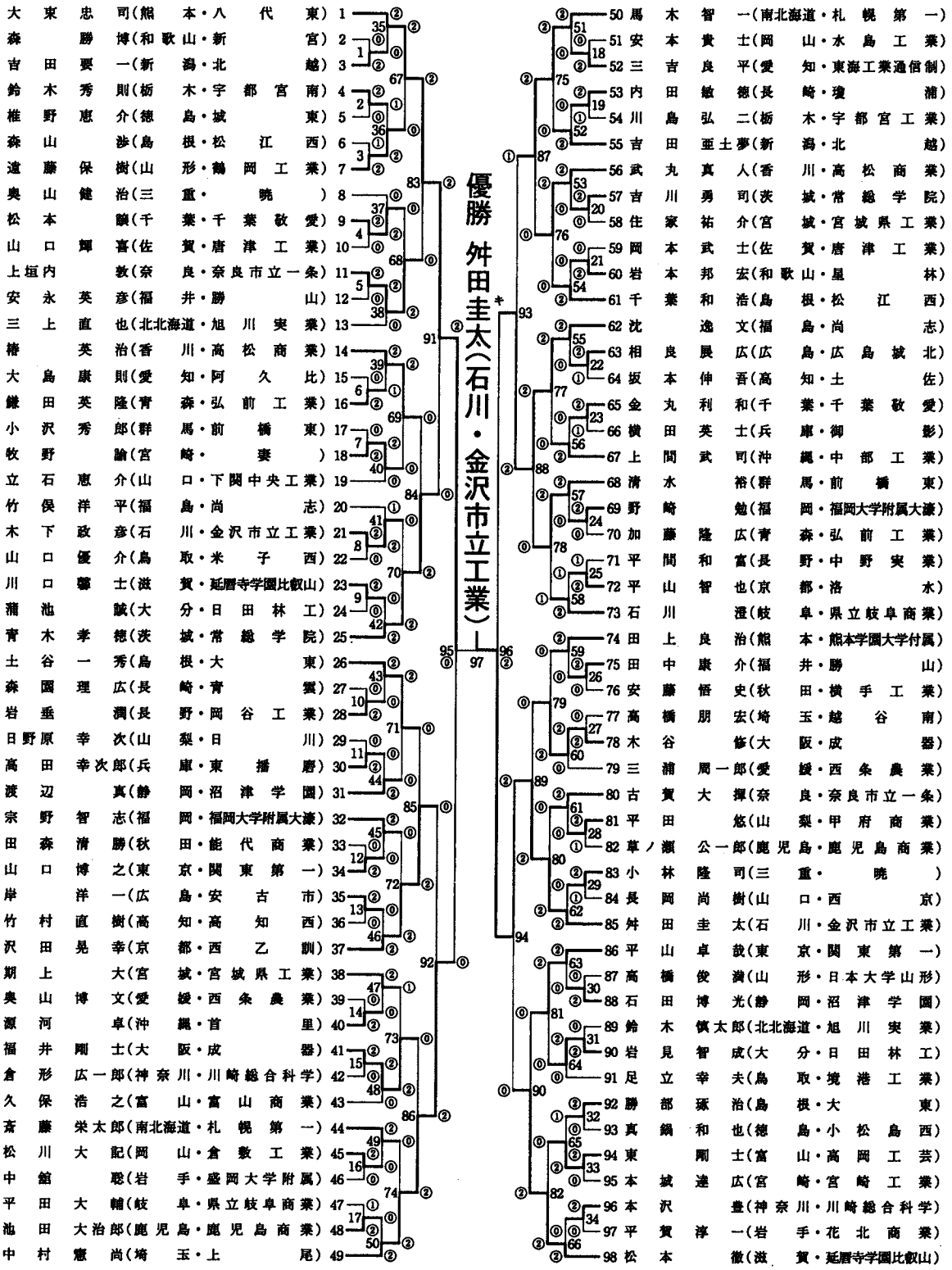
女子団体（49校）


四天王寺(大阪) 1
前沢(岩手) 2
須坂(長野) 3
都城聖ドミニコ学園(宮崎) 4
柳井工業(山口) 5
富士宮東(静岡) 6
小山城南(栃木) 7
高松商業(香川) 8
園田学園(兵庫) 9
勝山(福井) 10
新庄南(山形) 11
日本橋女学館(東京) 12
精華女子(福岡) 13
佐賀女子(佐賀) 14
北鎌倉女子学園(神奈川) 15
新居浜西(愛媛) 16
新宮(和歌山) 17
県立岐阜商業(岐阜) 18
松江西(島根) 19
旭川実業(北北海道) 20
千葉学園(青森) 21
船橋学園女子(千葉) 22
米子西(鳥取) 23
南風原(沖縄) 24
高岡女子(富山) 25
優勝 高岡女子高等学校(富山)
48
26 聖ウルスラ学院(宮城)
27 城東(徳島)
28 鶴鳴女子(長崎)
29 桐生市立商業(群馬)
30 滋賀女子(滋賀)
31 山陽女子(岡山)
32 愛知淑徳(愛知)
33 新屋(秋田)
34 大東(島根)
35 新潟青陵(新潟)
36 鹿児島女子(鹿児島)
37 埼玉栄(埼玉)
38 金沢向陽(石川)
39 東海大学甲府(山梨)
40 奈良市立一条(奈良)
41 清和女子(高知)
42 昭和女子(大分)
43 札幌静修(南北海道)
44 熊本中央女子(熊本)
45 暁(三重)
46 成安女子(京都)
47 鈴峯女子(広島)
48 尚志(福島)
49 常総学院(茨城)

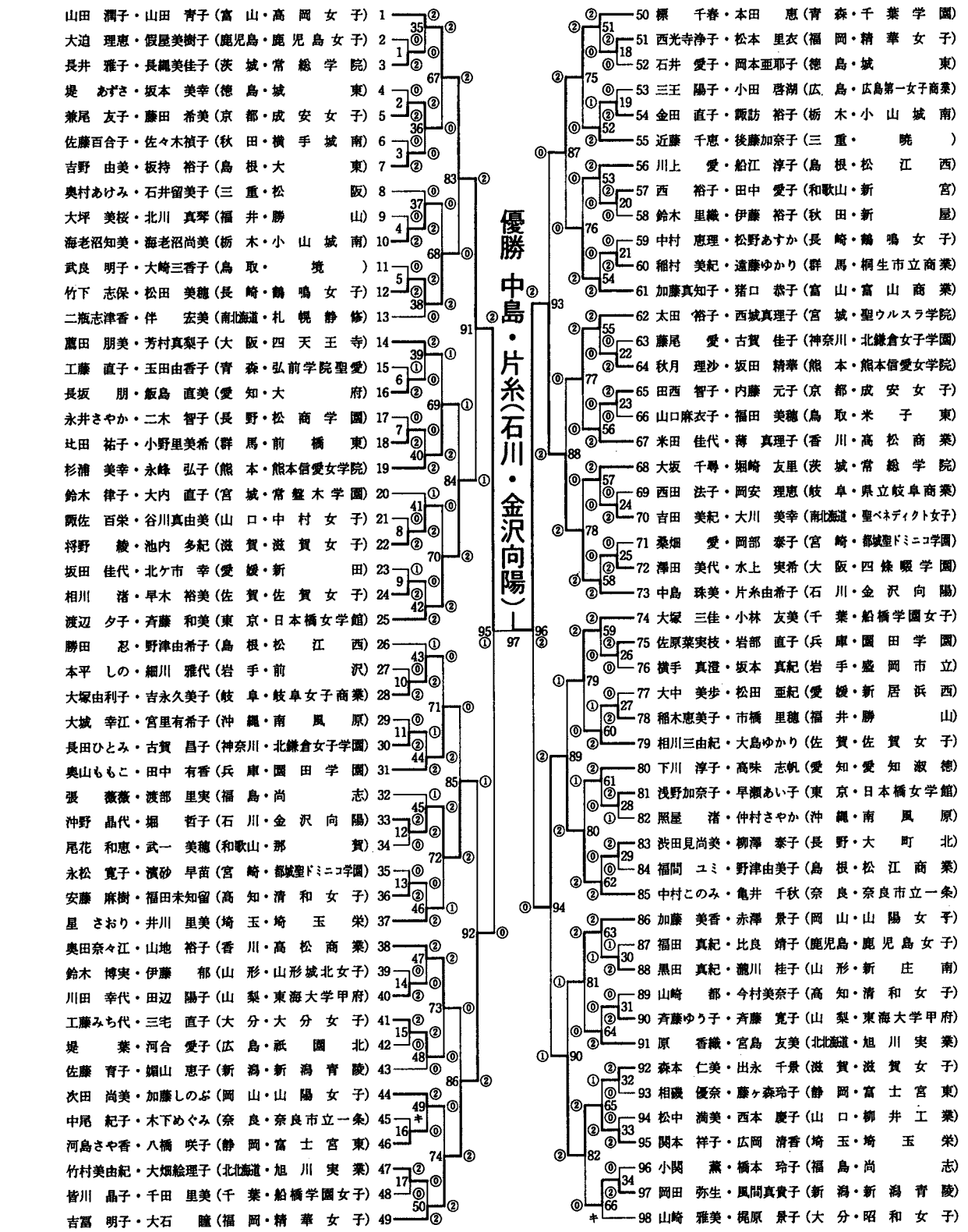
男子ダブルス　(98組)


優勝 青木・山田(茨城・常総学院)
1 福島 毅之・平山 卓哉(東京・関東第一)
2 平田 大輔・西村 明文(岐阜・県立岐阜商業)
3 鳥越 隆文・岡佐古拓也(広島・安芸府中)
4 上間 武司・福森 優美(沖縄・中部工業)
5 坂本 伸吾・竹内 久(高知・土佐)
6 鳴海 光博・佐々木逸人(岩手・盛岡大学附属)
7 白崎 正幸・安永 英彦(福井・勝山)
8 斎藤栄太郎・久保田秀明(南北海道・札幌第一)
9 長田 誠・秋山慎一朗(山梨・甲府商業)
10 宮本 裕司・大柿 真一(奈良・奈良市立一条)
11 木下 政彦・青山 圭吾(石川・金沢市立工業)
12 河上貴一郎・鈴里 卓也(佐賀・唐津工業)
13 期上 大・西條 孝(宮城・宮城県工業)
14 松本 徹・相井 隆寿(滋賀・延暦寺学園比叡山)
15 金丸 利和・松本 譲(千葉・千葉敬愛)
16 遠藤 保樹・小野 悟(山形・鶴岡工業)
17 草ノ瀬公一郎・池田 大治郎(鹿児島・鹿児島商業)
18 椎野 恵介・吉野 伸俊(徳島・城東)
19 足立 幸夫・松本 晃(鳥取・境港工業)
20 河野 和人・倉田 和明(福岡・九州国際大学付属)
21 福室 明宏・川崎 健(埼玉・上尾)
22 岩本 邦宏・赤松 岳(和歌山・星林)
23 伊東 秀幸・岩見 真稔(島根・松江北)
24 奈良 晋介・中村 喬士(静岡・伊東)
25 吉田亜土夢・石山 正行(新潟・北越)
26 勝部 琢治・土谷 一秀(島根・大東)
27 北野 幸則・小森健二郎(長崎・長崎西)
28 森下 誉康・南野 慎一(京都・西城陽)
29 笹森 与功・加藤 隆広(青森・弘前工業)
30 倉形広一郎・斎田 茂樹(神奈川・川崎総合科学)
31 阪上 真悟・橋本 武洋(北北海道・旭川工業)
32 田上 良治・永松勇一郎(熊本・熊本学園大学付属)
33 中山 直樹・三浦周一郎(愛媛・西条農業)
34 岩垂 潤・野村多津朗(長野・岡谷工業)
35 松川 大記・塚田健太郎(岡山・倉敷工業)
36 鈴木 秀則・吉沢 英朗(栃木・宇都宮南)
37 平野 耕作・山本 悠次(三重・暁)
38 武丸 真人・品川 智久(香川・高松商業)
39 小田 正巳・橋本 洋人(大分・情報科学)
40 大館 武弘・西脇 康彦(愛知・岡崎城西)
41 佐藤 剛・小沢 秀郎(群馬・前橋東)
42 能美 和樹・冨樫 一也(秋田・大曲工業)
43 木谷 修・福井 剛士(大阪・成器)
44 吉田 哲也・渡部 訓生(福島・会津工業)
45 立石 恵介・山元 陽介(山口・下関中央工業)
46 三谷 昌二・川上 友義(宮崎・日向)
47 奥村 晋也・垣渕 康之(兵庫・東播磨)
48 吉田 裕信・熊木 雅也(富山・高岡第一)
49 青木 孝徳・山田 浩史(茨城・常総学院)
50 徳坂 渉・舛田 圭太(石川・金沢市立工業)
51 岡本 新一・石田 大将(青森・東奥義塾)
52 瀧藤 泰由・小森 一広(和歌山・那賀)
53 加藤 久佳・平尾 晃(広島・広島電機大学附属)
54 山口 輝喜・岡本 武士(佐賀・唐津工業)
55 川島 弘二・郷間 大任(栃木・宇都宮工業)
56 椿 英治・福田 雅信(香川・高松商業)
57 本沢 豊・白垣 賢一(神奈川・川崎総合科学)
58 浜島 式孝・加藤 真(愛知・大府東)
59 岩見 智成・蒲池 誠(大分・日田林工)
60 近藤 聡・田森 清勝(秋田・能代商業)
61 千葉 和浩・森山 渉(島根・松江西)
62 沈 逸文・竹俣 洋平(福島・尚志)
63 宮澤 勝智・池田 道規(岡山・瀬戸南)
64 伊藤 猛紀・槻 輝明(北北海道・旭川工業)
65 牧野 諭・原口 和盛(宮崎・妻)
66 永谷 和也・福川 和也(大阪・成器)
67 工藤 真澄・赤嶺 隼人(東京・関東第一)
68 向井 智治・渡辺 真(静岡・沼津学園)
69 高橋 宏幸・山内 健吾(千葉・中央学院)
70 吉田 要一・桑原 雅彦(新潟・北越)
71 竹村 直樹・小賀 元裕(高知・高知西)
72 野崎 勉・田中 龍也(福岡・福岡大学附属大濠)
73 河村 昌明・上垣内 敦(奈良・奈良市立一条)
74 妹尾 将義・馬木 智一(南北海道・札幌第一)
75 藤江 泰之・雑賀 昭光(徳島・城南)
76 稲石 光洋・中川 雅俊(茨城・常総学院)
77 阿部 幸司・昆 茂太郎(岩手・盛岡南)
78 外園 真吾・本田親一郎(鹿児島・鹿児島商業)
79 廣島 亮・山口 優介(鳥取・米子西)
80 森本 敬太・高田幸次郎(兵庫・東播磨)
81 清水 裕・鈴木祐一郎(群馬・前橋東)
82 石川 澄・可兒 裕也(岐阜・県立岐阜商業)
83 長岡 尚樹・青木 昌彦(山口・西京)
84 立壁陽一郎・田中 康介(福井・勝山)
85 大東 忠司・木下 伸介(熊本・八代東)
86 久保 浩之・酒井 大輔(富山・富山商業)
87 藤原 慶二・深田 茂雄(滋賀・延暦寺学園比叡山)
88 源河 卓・古謝 将史(沖縄・首里)
89 平田 悠・田中 章仁(山梨・甲府商業)
90 住家 祐介・佐竹 広修(宮城・宮城県工業)
91 奥山 健治・小林 隆司(三重・暁)
92 奥山 博文・野中 善貴(愛媛・西条農業)
93 沢田 晃幸・山本 公三(京都・西乙訓)
94 本多 弘賢・山口 健次(長崎・佐世保北)
95 村上 仁史・板持 修治(島根・大東)
96 平間 和富・竹内 淳(長野・中野実業)
97 佐藤 則行・熊谷 英幸(山形・日本大学山形)
98 中村 憲尚・増田 敏雄(埼玉・上尾)

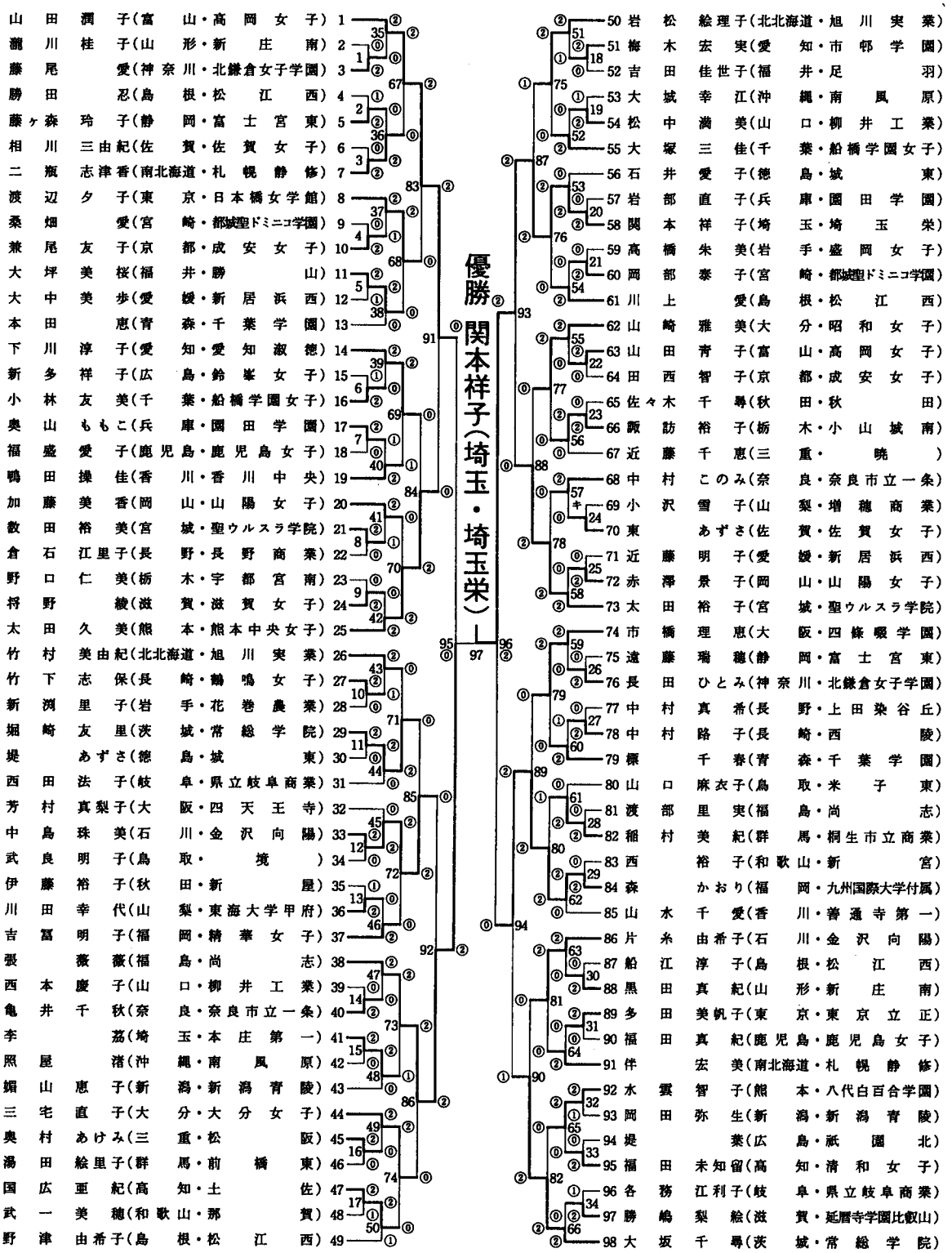
男子シングルス（98名）


優勝 舛田圭太（石川・金沢市立工業）
大東忠司（熊本・八代東）1
森勝博（和歌山・新宮）2
吉田要一（新潟・北越）3
鈴木秀則（栃木・宇都宮南）4
椎野恵介（徳島・城東）5
森山渉（島根・松江西）6
遠藤保樹（山形・鶴岡工業）7
奥山健治（三重・暁 ）8
松本譲（千葉・千葉敬愛）9
山口輝喜（佐賀・唐津工業）10
上垣内教（奈良・奈良市立一条）11
安永英彦（福井・勝山）12
三上直也（北北海道・旭川実業）13
椿英治（香川・高松商業）14
大島康則（愛知・阿久比）15
鎌田英隆（青森・弘前工業）16
小沢秀郎（群馬・前橋東）17
牧野論（宮崎・妻 ）18
立石恵介（山口・下関中央工業）19
竹俣洋平（福島・尚志）20
木下政彦（石川・金沢市立工業）21
山口優介（鳥取・米子西）22
川口馨士（滋賀・延暦寺学園比叡山）23
蒲池誠（大分・日田林工）24
青木孝徳（茨城・常総学院）25
土谷一秀（島根・大東）26
森園理広（長崎・育雲）27
岩垂潤（長野・岡谷工業）28
日野原幸次（山梨・日川）29
高田幸次郎（兵庫・東播磨）30
渡辺真（静岡・沼津学園）31
宗野智志（福岡・福岡大学附属大濠）32
田森清勝（秋田・能代商業）33
山口博之（東京・関東第一）34
岸洋一（広島・安古市）35
竹村直樹（高知・高知西）36
沢田晃幸（京都・西乙訓）37
期上大（宮城・宮城県工業）38
奥山博文（愛媛・西条農業）39
源河卓（沖縄・首里）40
福井剛士（大阪・成器）41
倉形広一郎（神奈川・川崎総合科学）42
久保浩之（富山・富山商業）43
斎藤栄太郎（南北海道・札幌第一）44
松川大配（岡山・倉敷工業）45
中舘聡（岩手・盛岡大学附属）46
平田大輔（岐阜・県立岐阜商業）47
池田大治郎（鹿児島・鹿児島商業）48
中村憲尚（埼玉・上尾）49
馬木智一（南北海道・札幌第一）50
安本貴士（岡山・水島工業）51
三吉良平（愛知・東海工業通信制）52
内田敏徳（長崎・瓊浦）53
川島弘二（栃木・宇都宮工業）54
吉田亜土夢（新潟・北越）55
武丸真人（香川・高松商業）56
吉川勇司（茨城・常総学院）57
住家祐介（宮城・宮城県工業）58
岡本武士（佐賀・唐津工業）59
岩本邦宏（和歌山・星林）60
千葉和浩（島根・松江西）61
沈逸文（福島・尚志）62
相良展広（広島・広島城北）63
坂本伸吾（高知・土佐）64
金丸利和（千葉・千葉敬愛）65
横田英士（兵庫・御影）66
上間武司（沖縄・中部工業）67
清水裕（群馬・前橋東）68
野崎勉（福岡・福岡大学附属大濠）69
加藤隆広（青森・弘前工業）70
平間和富（長野・中野実業）71
平山智也（京都・洛水）72
石川澄（岐阜・県立岐阜商業）73
田上良治（熊本・熊本学園大学付属）74
田中康介（福井・勝山）75
安藤悟史（秋田・横手工業）76
高橋朋宏（埼玉・越谷南）77
木谷修（大阪・成器）78
三浦周一郎（愛媛・西条農業）79
古賀大揮（奈良・奈良市立一条）80
平田悠（山梨・甲府商業）81
草ノ瀬公一郎（鹿児島・鹿児島商業）82
小林隆司（三重・暁 ）83
長岡尚樹（山口・西京）84
舛田圭太（石川・金沢市立工業）85
平山卓哉（東京・関東第一）86
高橋俊満（山形・日本大学山形）87
石田博光（静岡・沼津学園）88
鈴木慎太郎（北北海道・旭川実業）89
岩見智成（大分・日田林工）90
足立幸夫（鳥取・境港工業）91
勝部琢治（島根・大東）92
真鍋和也（徳島・小松島西）93
東剛士（富山・高岡工芸）94
本城達広（宮崎・宮崎工業）95
本沢豊（神奈川・川崎総合科学）96
平賀淳一（岩手・花北商業）97
松本徹（滋賀・延暦寺学園比叡山）98

女子ダブルス　(98組)


優勝　中島・片糸(石川・金沢向陽)
山田　潤子・山田　育子(富　山・高　岡　女　子) 1
大迫　理恵・假屋美樹子(鹿児島・鹿　児　島　女　子) 2
長井　雅子・長縄美佳子(茨　城・常　総　学　院) 3
堤　あずさ・坂本　美幸(徳　島・城　　東) 4
兼尾　友子・藤田　希美(京　都・成　安　女　子) 5
佐藤百合子・佐々木禎子(秋　田・横　手　城　南) 6
吉野　由美・板持　裕子(島　根・大　　東) 7
奥村あけみ・石井留美子(三　重・松　　阪) 8
大坪　美桜・北川　真琴(福　井・勝　　山) 9
海老沼知美・海老沼尚美(栃　木・小　山　城　南) 10
武良　明子・大崎三香子(鳥　取・　　境　) 11
竹下　志保・松田　美穂(長　崎・鶴　鳴　女　子) 12
二瓶志津香・伴　　宏美(南北海道・札　幌　静　修) 13
鷹田　朋美・芳村真梨子(大　阪・四　天　王　寺) 14
工藤　直子・玉田由香子(青　森・弘前学院聖愛) 15
長坂　朋・飯島　直美(愛　知・大　　府) 16
永井さやか・二木　智子(長　野・松　商　学　園) 17
辻田　祐子・小野里美希(群　馬・前　橋　東) 18
杉浦　美幸・永峰　弘子(熊　本・熊本信愛女学院) 19
鈴木　律子・大内　直子(宮　城・常　盤　木　学　園) 20
諏佐　百栄・谷川真由美(山　口・中　村　女　子) 21
将野　綾・池内　多紀(滋　賀・滋　賀　女　子) 22
坂田　佳代・北ケ市　幸(愛　媛・新　　田) 23
相川　洸・早木　裕美(佐　賀・佐　賀　女　子) 24
渡辺　夕子・斉藤　和美(東　京・日本橋女学館) 25
勝田　忍・野津由希子(島　根・松　江　西) 26
本平　しの・細川　雅代(岩　手・前　　沢) 27
大塚由利子・吉永久美子(岐　阜・岐阜女子商業) 28
大城　幸江・宮里有希子(沖　縄・南　風　原) 29
長田ひとみ・古賀　昌子(神奈川・北鎌倉女子学園) 30
奥山ももこ・田中　有香(兵　庫・園　田　学　園) 31
張　薇薇・渡部　里実(福　島・尚　　志) 32
沖野　晶代・堀　　哲子(石　川・金　沢　向　陽) 33
尾花　和恵・武一　美穂(和歌山・那　　賀) 34
永松　寛子・濱砂　早苗(宮　崎・都城聖ドミニコ学園) 35
安藤　麻樹・福田未知留(高　知・清　和　女　子) 36
星　さおり・井川　里美(埼　玉・埼　　玉　栄) 37
奥田奈々江・山地　裕子(香　川・高　松　商　業) 38
鈴木　博実・伊藤　　郁(山　形・山形城北女子) 39
川田　幸代・田辺　陽子(山　梨・東海大学甲府) 40
工藤みち代・三宅　直子(大　分・大　分　女　子) 41
堤　　葉・河合　愛子(広　島・祇　園　北) 42
佐藤　育子・媚山　恵子(新　潟・新　潟　青　陵) 43
次田　尚美・加藤しのぶ(岡　山・山　陽　女　子) 44
中尾　紀子・木下めぐみ(奈　良・奈良市立一条) 45
河島さや香・八橋　咲子(静　岡・富　士　宮　東) 46
竹村美由紀・大畑絵理子(北北海道・旭　川　実　業) 47
皆川　晶子・千田　里美(千　葉・船橋学園女子) 48
吉冨　明子・大石　　瞳(福　岡・精　華　女　子) 49
標　千春・本田　恵(青　森・千　葉　学　園) 50
西光寺浄子・松本　里衣(福　岡・精　華　女　子) 51
石井　愛子・岡本亜耶子(徳　島・城　　東) 52
三王　陽子・小田　啓湖(広　島・広島第一女子商業) 53
金田　直子・諏訪　裕子(栃　木・小　山　城　南) 54
近藤　千恵・後藤加奈子(三　重・　　暁　) 55
川上　愛・船江　淳子(島　根・松　江　西) 56
西　裕子・田中　愛子(和歌山・新　　宮) 57
鈴木　里織・伊藤　裕子(秋　田・新　　屋) 58
中村　恵理・松野あすか(長　崎・鶴　鳴　女　子) 59
稲村　美紀・遠藤ゆかり(群　馬・桐生市立商業) 60
加藤真知子・猪口　恭子(富　山・富　山　商　業) 61
太田　裕子・西城真理子(宮　城・聖ウルスラ学院) 62
藤尾　愛・古賀　佳子(神奈川・北鎌倉女子学園) 63
秋月　理沙・坂田　精華(熊　本・熊本信愛女学院) 64
田西　智子・内藤　元子(京　都・成　安　女　子) 65
山口麻衣子・福田　美穂(鳥　取・米　　子) 66
米田　佳代・薄　真理子(香　川・高　松　商　業) 67
大坂　千尋・堀崎　友里(茨　城・常　総　学　院) 68
西田　法子・岡安　理恵(岐　阜・県立岐阜商業) 69
吉田　美紀・大川　美幸(南北海道・聖ベネディクト女子) 70
桑畑　愛・岡部　泰子(宮　崎・都城聖ドミニコ学園) 71
澤田　美代・水上　実希(大　阪・四　條　畷　学　園) 72
中島　珠美・片糸由希子(石　川・金　沢　向　陽) 73
大塚　三佳・小林　友美(千　葉・船橋学園女子) 74
佐原菜実枝・岩部　直子(兵　庫・園　田　学　園) 75
横手　真澄・坂本　真紀(岩　手・盛　岡　市　立) 76
大中　美歩・松田　亜紀(愛　媛・新　居　浜　西) 77
稲木恵美子・市橋　里穂(福　井・勝　　山) 78
相川三由紀・大島ゆかり(佐　賀・佐　賀　女　子) 79
下川　淳子・高味　志帆(愛　知・愛　知　淑　徳) 80
浅野加奈子・早瀬あい子(東　京・日本橋女学館) 81
照屋　洸・仲村さやか(沖　縄・南　風　原) 82
渋田見尚美・柳澤　泰子(長　野・大　町　北) 83
福間　ユミ・野津由美子(島　根・松　江　商　業) 84
中村このみ・亀井　千秋(奈　良・奈良市立一条) 85
加藤　美香・赤澤　景子(岡　山・山　陽　女　子) 86
福田　真紀・比良　靖子(鹿児島・鹿　児　島　女　子) 87
黒田　真紀・瀧川　桂子(山　形・新　　庄) 88
山崎　　都・今村美奈子(高　知・清　和　女　子) 89
斉藤ゆう子・斉藤　寛子(山　梨・東海大学甲府) 90
原　　香織・宮島　友美(北北海道・旭　川　実　業) 91
森本　仁美・出永　千景(滋　賀・滋　賀　女　子) 92
相磯　優奈・藤ヶ森玲子(静　岡・富　士　宮　東) 93
松中　満美・西本　慶子(山　口・柳　井　工　業) 94
関本　祥子・広岡　清香(埼　玉・埼　　玉　栄) 95
小関　　薫・橋本　玲子(福　島・尚　　志) 96
岡田　弥生・風間真貴子(新　潟・新　潟　青　陵) 97
山崎　雅美・梶原　景子(大　分・昭　和　女　子) 98

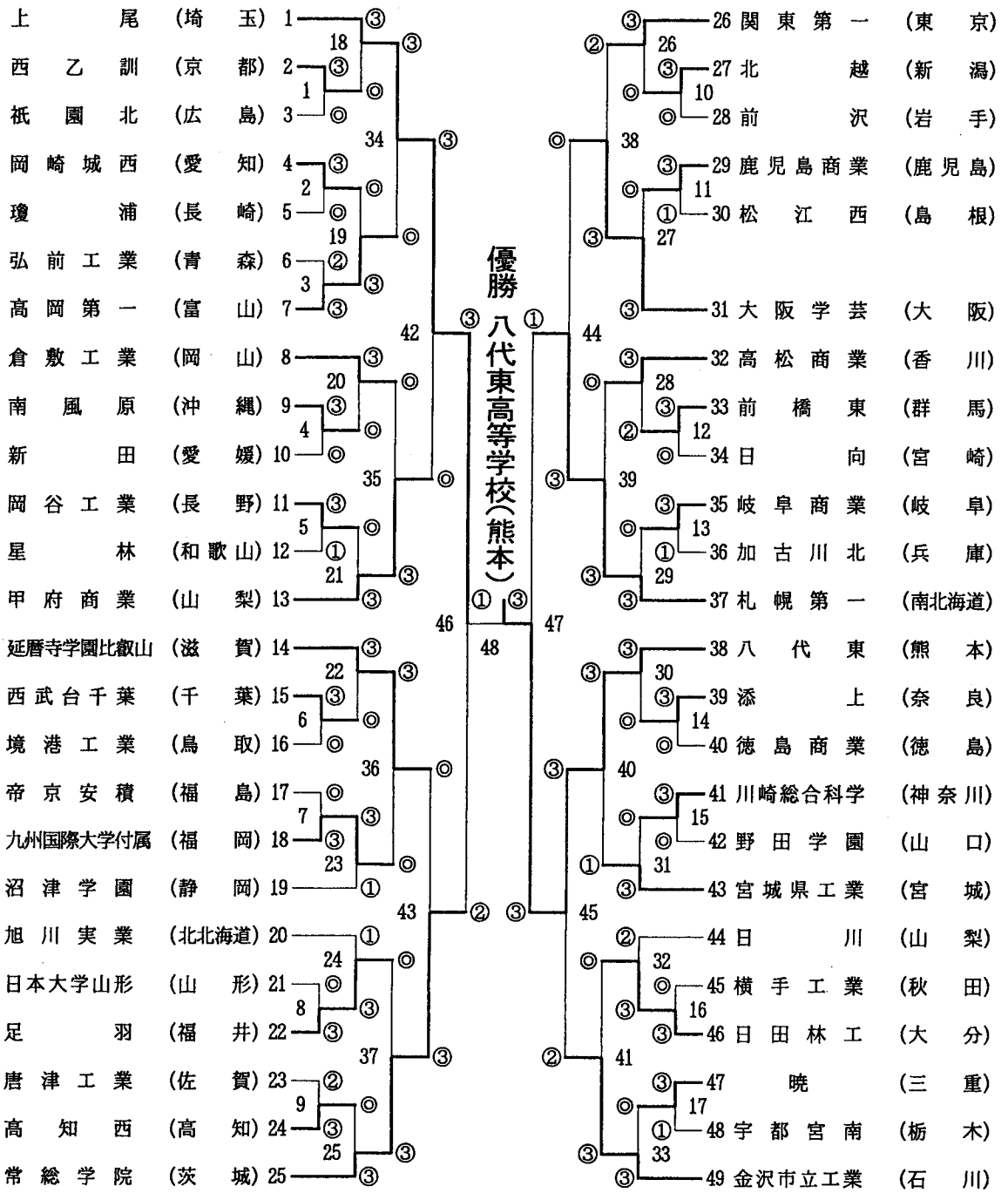
女子シングルス （98名）


山田潤子(富山・高岡女子) 1
瀧川桂子(山形・新庄南) 2
藤尾愛(神奈川・北鎌倉女子学園) 3
勝田忍(島根・松江西) 4
藤ヶ森玲子(静岡・富士宮東) 5
相川三由紀(佐賀・佐賀女子) 6
二瓶志津香(南北海道・札幌静修) 7
渡辺夕子(東京・日本橋女学館) 8
桑畑愛(宮崎・都城聖ドミニコ学園) 9
兼尾友子(京都・成安女子) 10
大坪美桜(福井・勝山) 11
大中美歩(愛媛・新居浜西) 12
本田恵(青森・千葉学園) 13
下川淳子(愛知・愛知淑徳) 14
新多祥子(広島・鈴峯女子) 15
小林友美(千葉・船橋学園女子) 16
奥山ももこ(兵庫・園田学園) 17
福盛愛子(鹿児島・鹿児島女子) 18
鴨田操佳(香川・香川中央) 19
加藤美香(岡山・山陽女子) 20
数田裕美(宮城・聖ウルスラ学院) 21
倉石江里子(長野・長野商業) 22
野口仁美(栃木・宇都宮南) 23
将野綾(滋賀・滋賀女子) 24
太田久美(熊本・熊本中央女子) 25
竹村美由紀(北北海道・旭川実業) 26
竹下志保(長崎・鶴鳴女子) 27
新渕里子(岩手・花巻農業) 28
堀崎友里(茨城・常総学院) 29
堤あずさ(徳島・城東) 30
西田法子(岐阜・県立岐阜商業) 31
芳村真梨子(大阪・四天王寺) 32
中島珠美(石川・金沢向陽) 33
武良明子(鳥取・境) 34
伊藤裕子(秋田・新屋) 35
川田幸代(山梨・東海大学甲府) 36
吉冨明子(福岡・精華女子) 37
張薇薇(福島・尚志) 38
西本慶子(山口・柳井工業) 39
亀井千秋(奈良・奈良市立一条) 40
李荔(埼玉・本庄第一) 41
照屋潜(沖縄・南風原) 42
娟山恵子(新潟・新潟青陵) 43
三宅直子(大分・大分女子) 44
奥村あけみ(三重・松阪) 45
湯田絵里子(群馬・前橋東) 46
国広亜紀(高知・土佐) 47
武一美穂(和歌山・那賀) 48
野津由希子(島根・松江西) 49
優勝 関本祥子(埼玉・埼玉栄)
岩松絵理子(北北海道・旭川実業) 50
梅木宏実(愛知・市邨学園) 51
吉田佳世子(福井・足羽) 52
大城幸江(沖縄・南風原) 53
松中満美(山口・柳井工業) 54
大塚三佳(千葉・船橋学園女子) 55
石井愛子(徳島・城東) 56
岩部直子(兵庫・園田学園) 57
関本祥子(埼玉・埼玉栄) 58
高橋朱美(岩手・盛岡女子) 59
岡部泰子(宮崎・都城聖ドミニコ学園) 60
川上愛(島根・松江西) 61
山崎雅美(大分・昭和女子) 62
山田青子(富山・高岡女子) 63
田西智子(京都・成安女子) 64
佐々木千尋(秋田・秋田) 65
諏訪裕子(栃木・小山城南) 66
近藤千恵(三重・暁) 67
中村このみ(奈良・奈良市立一条) 68
小沢雪子(山梨・増穂商業) 69
東あずさ(佐賀・佐賀女子) 70
近藤明子(愛媛・新居浜西) 71
赤澤景子(岡山・山陽女子) 72
太田裕子(宮城・聖ウルスラ学院) 73
市橋理恵(大阪・四條畷学園) 74
遠藤瑞穂(静岡・富士宮東) 75
長田ひとみ(神奈川・北鎌倉女子学園) 76
中村真希(長野・上田染谷丘) 77
中村路子(長崎・西陵) 78
標千春(青森・千葉学園) 79
山口麻衣子(鳥取・米子東) 80
渡部里実(福島・尚志) 81
稲村美紀(群馬・桐生市立商業) 82
西裕子(和歌山・新宮) 83
森かおり(福岡・九州国際大学付属) 84
山水千愛(香川・善通寺第一) 85
片糸由希子(石川・金沢向陽) 86
船江淳子(島根・松江西) 87
黒田真紀(山形・新庄南) 88
多田美帆子(東京・東京立正) 89
福田真紀(鹿児島・鹿児島女子) 90
伴宏美(南北海道・札幌静修) 91
水雲智子(熊本・八代白百合学園) 92
岡田弥生(新潟・新潟青陵) 93
堤葉(広島・祇園北) 94
福田未知留(高知・清和女子) 95
各務江利子(岐阜・県立岐阜商業) 96
勝嶋梨絵(滋賀・延暦寺学園比叡山) 97
大坂千尋(茨城・常総学院) 98

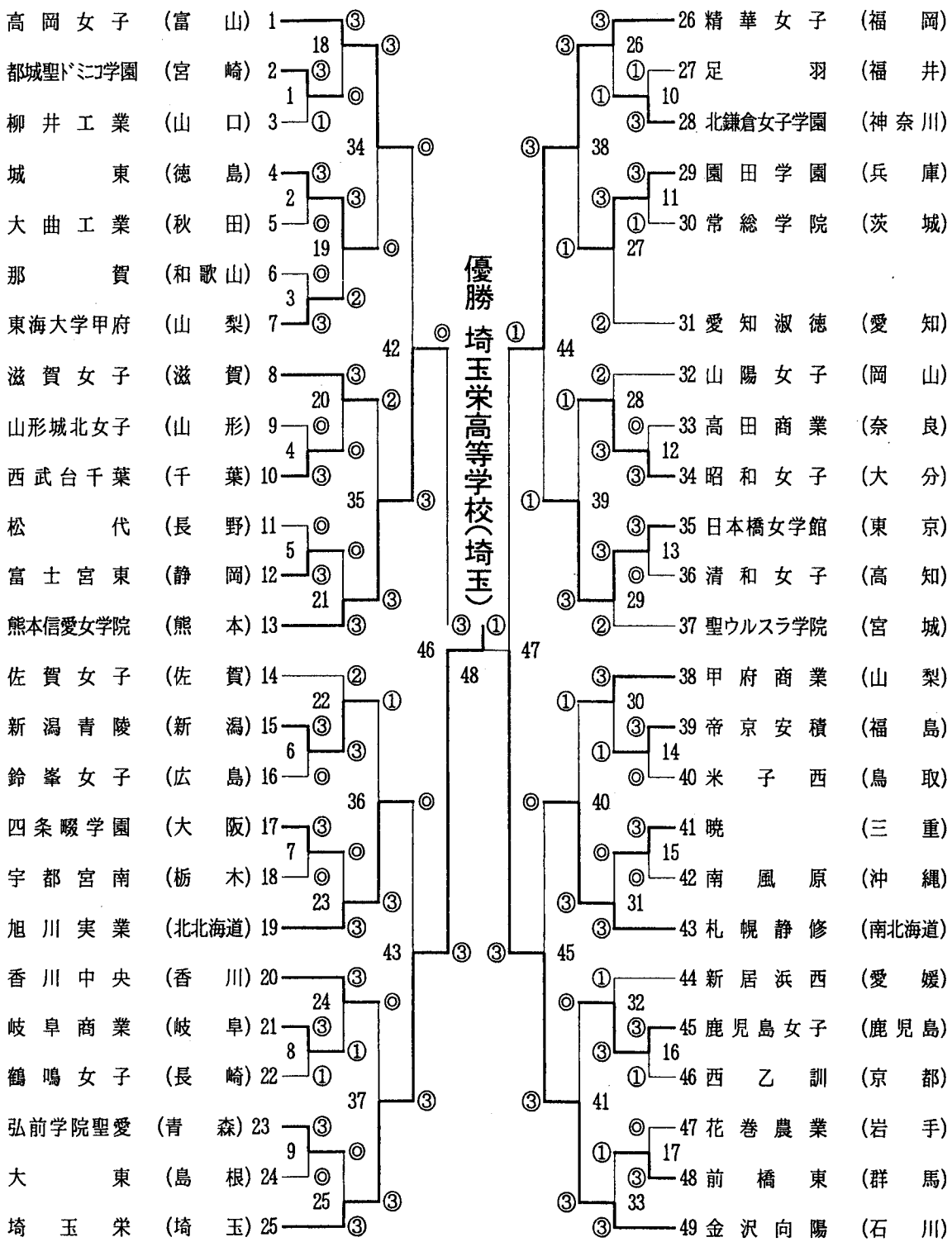
第47回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1996年度)

期日　平成８年８月１日～６日
会場　甲府市総合市民会館　　山梨県小瀬スポーツ公園体育館
　　甲府市立甲府商業高等学校体育館　　竜王町北部町民体育館

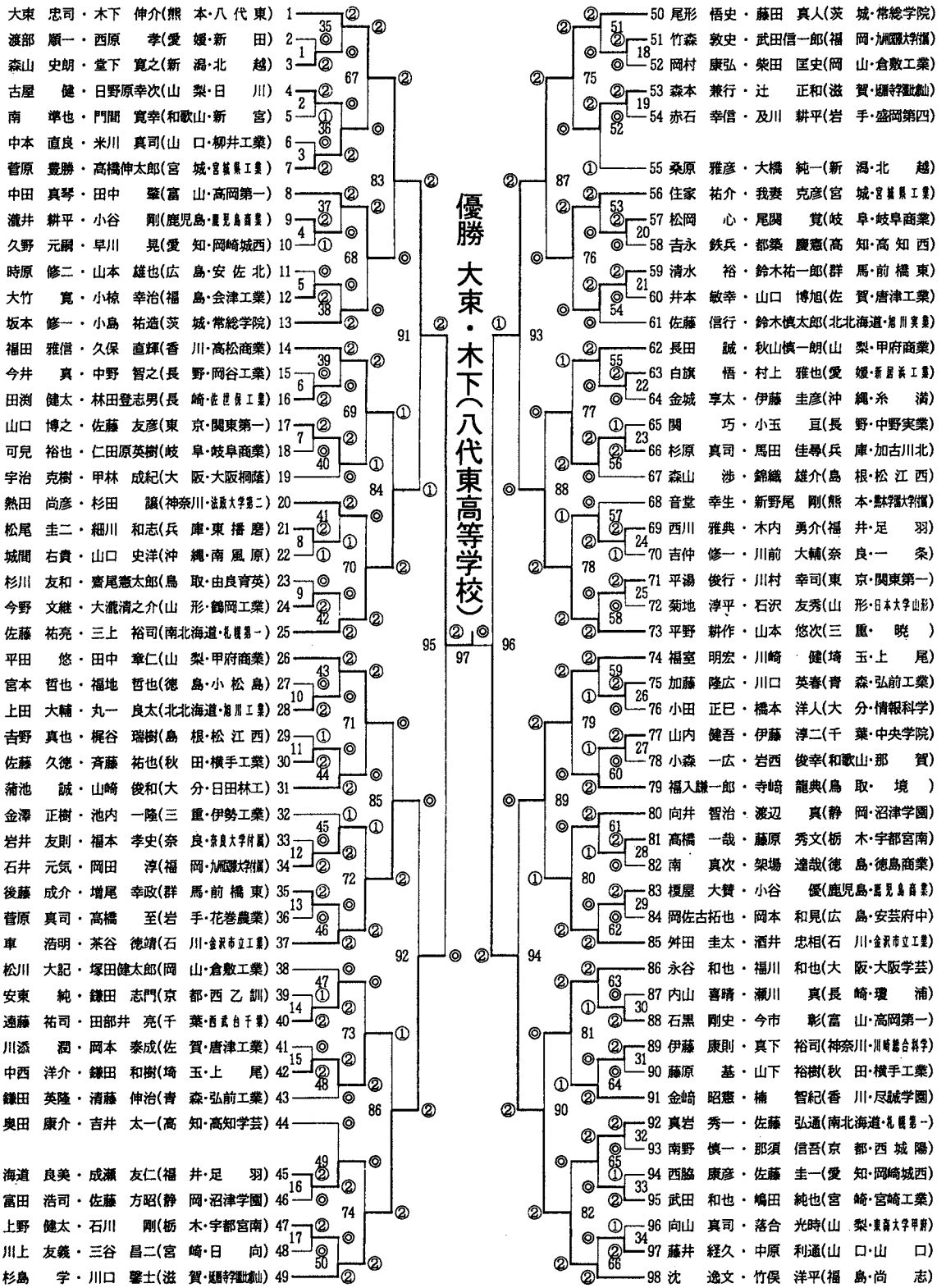
男子団体　(49校)



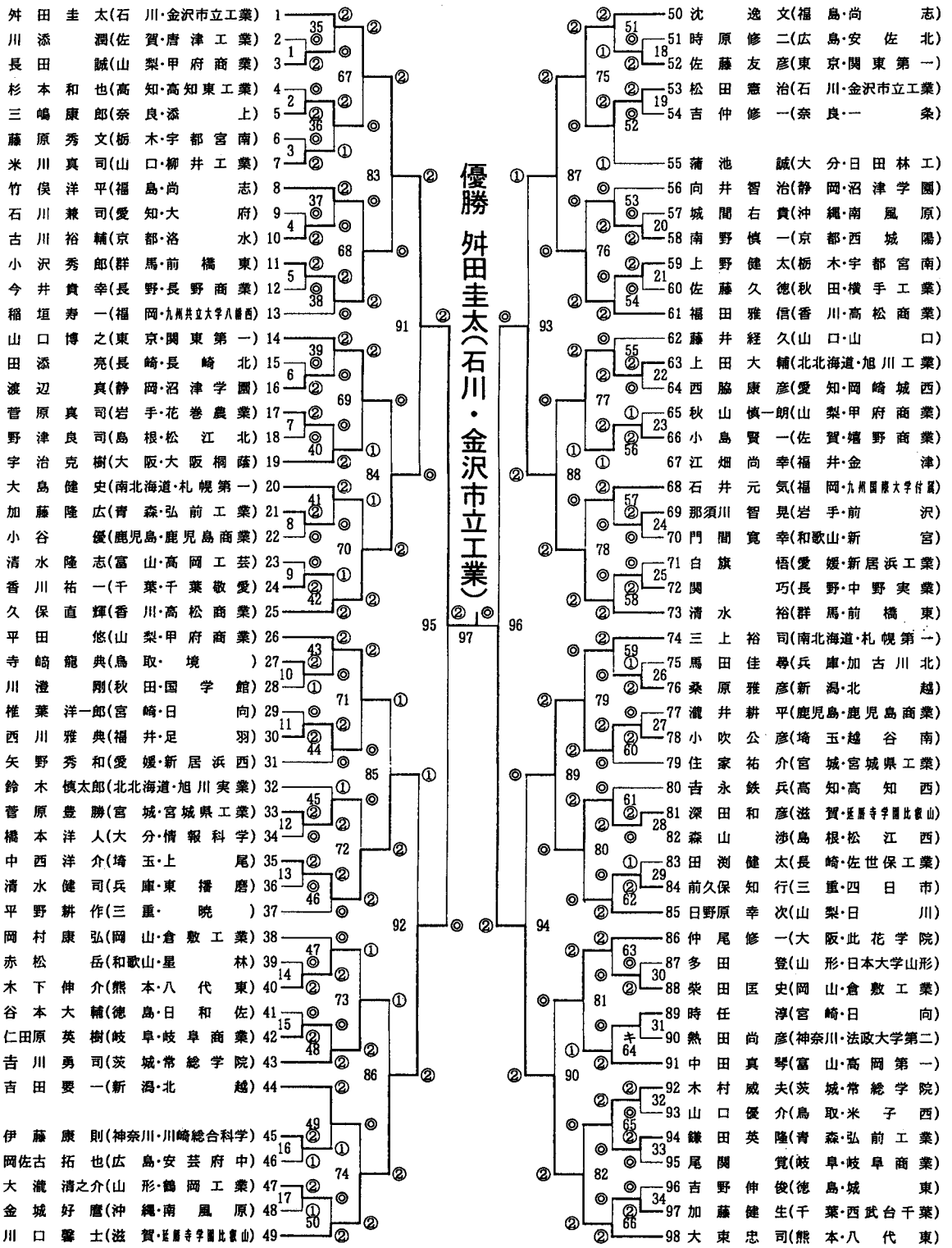
女子団体 (49校)


高岡女子 (富山) 1
都城聖ドミニコ学園 (宮崎) 2
柳井工業 (山口) 3
城東 (徳島) 4
大曲工業 (秋田) 5
那賀 (和歌山) 6
東海大学甲府 (山梨) 7
滋賀女子 (滋賀) 8
山形城北女子 (山形) 9
西武台千葉 (千葉) 10
松代 (長野) 11
富士宮東 (静岡) 12
熊本信愛女学院 (熊本) 13
佐賀女子 (佐賀) 14
新潟青陵 (新潟) 15
鈴峯女子 (広島) 16
四条畷学園 (大阪) 17
宇都宮南 (栃木) 18
旭川実業 (北北海道) 19
香川中央 (香川) 20
岐阜商業 (岐阜) 21
鶴鳴女子 (長崎) 22
弘前学院聖愛 (青森) 23
大東 (島根) 24
埼玉栄 (埼玉) 25
優勝 埼玉栄高等学校(埼玉)
26 精華女子 (福岡)
27 足羽 (福井)
28 北鎌倉女子学園 (神奈川)
29 園田学園 (兵庫)
30 常総学院 (茨城)
31 愛知淑徳 (愛知)
32 山陽女子 (岡山)
33 高田商業 (奈良)
34 昭和女子 (大分)
35 日本橋女学館 (東京)
36 清和女子 (高知)
37 聖ウルスラ学院 (宮城)
38 甲府商業 (山梨)
39 帝京安積 (福島)
40 米子西 (鳥取)
41 暁 (三重)
42 南風原 (沖縄)
43 札幌静修 (南北海道)
44 新居浜西 (愛媛)
45 鹿児島女子 (鹿児島)
46 西乙訓 (京都)
47 花巻農業 (岩手)
48 前橋東 (群馬)
49 金沢向陽 (石川)

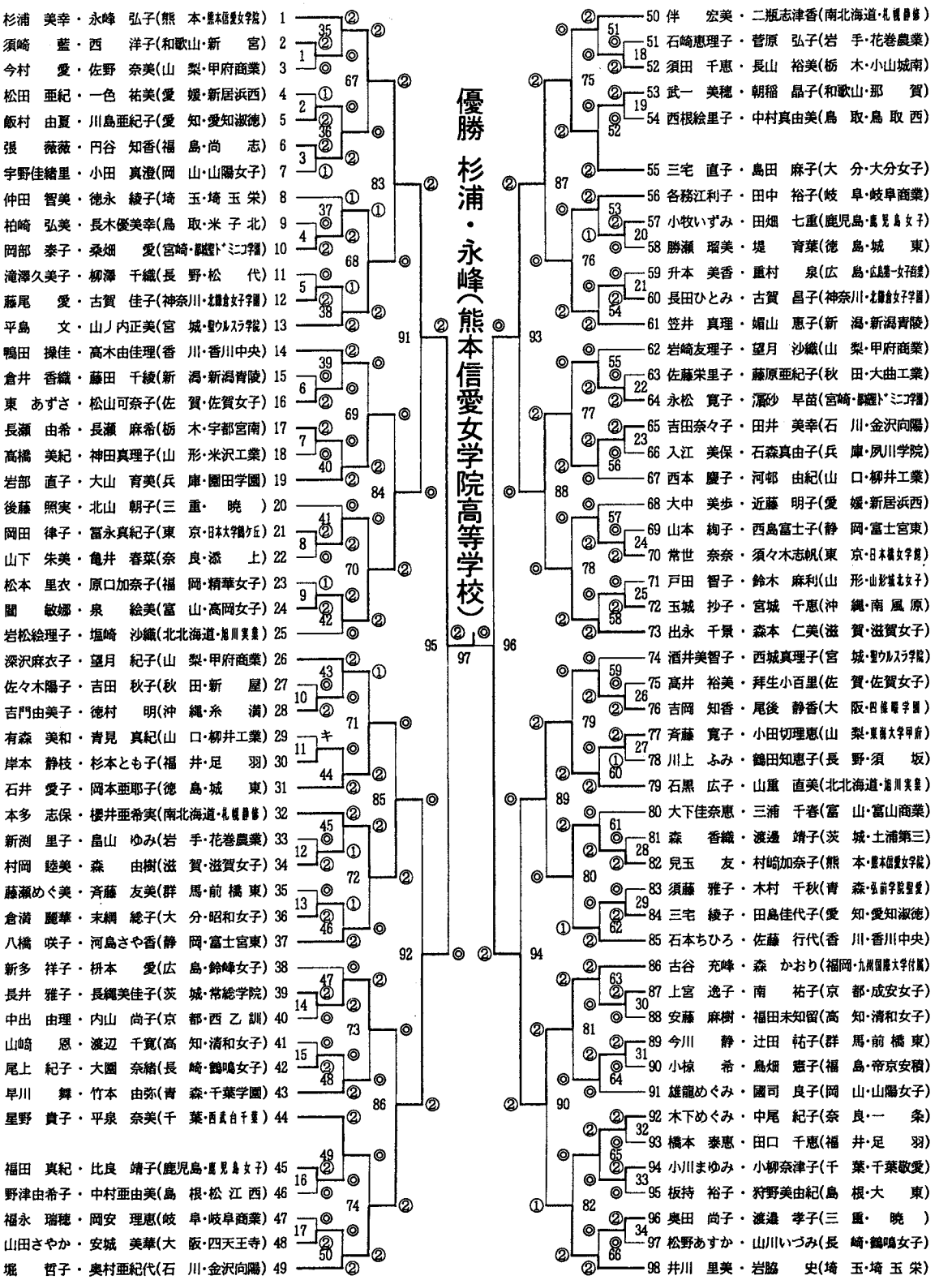
男子ダブルス　(98組)


優勝 大東・木下(八代東高等学校)
大東 忠司・木下 伸介(熊 本・八 代 東) 1
渡部 順一・西原 孝(愛 媛・新 田) 2
森山 史朗・堂下 寛之(新 潟・北 越) 3
古屋 健・日野原幸次(山 梨・日 川) 4
南 準也・門間 寛幸(和歌山・新 宮) 5
中本 直良・米川 真司(山 口・柳井工業) 6
菅原 豊勝・高橋伸太郎(宮 城・宮城第一工業) 7
中田 真琴・田中 肇(富 山・高岡第一) 8
瀧井 耕平・小谷 剛(鹿児島・鹿児島商業) 9
久野 元嗣・早川 晃(愛 知・岡崎城西) 10
時原 修二・山本 雄也(広 島・安佐北) 11
大竹 寛・小椋 幸治(福 島・会津工業) 12
坂本 修一・小島 祐造(茨 城・常総学院) 13
福田 雅信・久保 直輝(香 川・高松商業) 14
今井 真・中野 智之(長 野・岡谷工業) 15
田渕 健太・林田登志男(長 崎・佐世保工業) 16
山口 博之・佐藤 友彦(東 京・関東第一) 17
可兒 裕也・仁田原英樹(岐 阜・岐阜商業) 18
宇治 克樹・甲林 成紀(大 阪・大阪桐蔭) 19
熱田 尚彦・杉田 譲(神奈川・法政大学第二) 20
松尾 圭二・細川 和志(兵 庫・東 播 磨) 21
城間 右貴・山口 史洋(沖 縄・南 風 原) 22
杉川 友和・齋尾憲太郎(鳥 取・由良育英) 23
今野 文継・大瀧清之介(山 形・鶴岡工業) 24
佐藤 祐亮・三上 裕司(南北海道・札幌第一) 25
平田 悠・田中 章仁(山 梨・甲府商業) 26
宮本 哲也・福地 哲也(徳 島・小 松 島) 27
上田 大輔・丸一 良太(北北海道・旭川工業) 28
吉野 真也・梶谷 瑞樹(島 根・松 江 西) 29
佐藤 久徳・斉藤 祐也(秋 田・横手工業) 30
蒲池 誠・山崎 俊和(大 分・日田林工) 31
金澤 正樹・池内 一隆(三 重・伊勢工業) 32
岩井 友則・福本 孝史(奈 良・奈良大学附属) 33
石井 元気・岡田 淳(福 岡・九州国際大学附属) 34
後藤 成介・増尾 幸政(群 馬・前 橋 東) 35
菅原 真司・高橋 至(岩 手・花巻農業) 36
車 浩明・茶谷 徳靖(石 川・金沢市立工業) 37
松川 大記・塚田健太郎(岡 山・倉敷工業) 38
安東 純・鎌田 志門(京 都・西 乙 訓) 39
遠藤 祐司・田部井 亮(千 葉・西武台千葉) 40
川添 潤・岡本 泰成(佐 賀・唐津工業) 41
中西 洋介・鎌田 和樹(埼 玉・上 尾) 42
鎌田 英隆・清藤 伸治(青 森・弘前工業) 43
奥田 康介・吉井 太一(高 知・高知学芸) 44
海道 良美・成瀬 友仁(福 井・足 羽) 45
富田 浩司・佐藤 方昭(静 岡・沼津学園) 46
上野 健太・石川 剛(栃 木・宇都宮南) 47
川上 友義・三谷 昌二(宮 崎・日 向) 48
杉島 学・川口 肇士(滋 賀・聖泉大学附属) 49
尾形 悟史・藤田 真人(茨 城・常総学院) 50
竹森 敦史・武田信一郎(福 岡・九州国際大学附属) 51
岡村 康弘・柴田 匡史(岡 山・倉敷工業) 52
森本 兼行・辻 正和(滋 賀・聖泉大学附属) 53
赤石 幸信・及川 耕平(岩 手・盛岡第四) 54
桑原 雅彦・大橋 純一(新 潟・北 越) 55
住家 祐介・我妻 克彦(宮 城・宮城第一工業) 56
松岡 心・尾関 覚(岐 阜・岐阜商業) 57
吉永 鉄兵・都築 慶憲(高 知・高 知 西) 58
清水 裕・鈴木祐一郎(群 馬・前 橋 東) 59
井本 敏幸・山口 博旭(佐 賀・唐津工業) 60
佐藤 信行・鈴木慎太郎(北北海道・旭川実業) 61
長田 誠・秋山慎一朗(山 梨・甲府商業) 62
白旗 悟・村上 雅也(愛 媛・新居浜工業) 63
金城 享太・伊藤 圭彦(沖 縄・糸 満) 64
関 巧・小玉 亘(長 野・中野実業) 65
杉原 真司・馬田 佳尋(兵 庫・加古川北) 66
森山 渉・錦織 雄介(島 根・松 江 西) 67
音堂 幸生・新野尾 剛(熊 本・熊本学園大学附属) 68
西川 雅典・木内 勇介(福 井・足 羽) 69
金仲 修一・川前 大輔(奈 良・一 条) 70
平湯 俊行・川村 幸司(東 京・関東第一) 71
菊地 淳平・石沢 友秀(山 形・日本大学山形) 72
平野 耕作・山本 悠次(三 重・ 暁) 73
福室 明宏・川崎 健(埼 玉・上 尾) 74
加藤 隆広・川口 英春(青 森・弘前工業) 75
小田 正巳・橋本 洋人(大 分・情報科学) 76
山内 健吾・伊藤 淳二(千 葉・中央学院) 77
小森 一広・岩西 俊幸(和歌山・那 賀) 78
福入謙一郎・寺崎 龍典(鳥 取・ 境) 79
向井 智治・渡辺 真(静 岡・沼津学園) 80
高橋 一哉・藤原 秀文(栃 木・宇都宮南) 81
南 真次・架場 達哉(徳 島・徳島商業) 82
榎屋 大賛・小谷 優(鹿児島・鹿児島商業) 83
岡佐古拓也・岡本 和見(広 島・安芸府中) 84
舛田 圭太・酒井 忠相(石 川・金沢市立工業) 85
永谷 和也・福川 和也(大 阪・大阪学芸) 86
内山 喜晴・瀬川 真(長 崎・瓊 浦) 87
石黒 剛史・今市 彰(富 山・高岡第一) 88
伊藤 康則・真下 裕司(神奈川・川崎総合科学) 89
藤原 基・山下 裕樹(秋 田・横手工業) 90
金崎 昭憲・楠 智紀(香 川・尽誠学園) 91
真岩 秀一・佐藤 弘通(南北海道・札幌第一) 92
南野 慎一・那須 信吾(京 都・西 城 陽) 93
西脇 康彦・佐藤 圭一(愛 知・岡崎城西) 94
武田 和也・嶋田 純也(宮 崎・宮崎工業) 95
向山 真司・落合 光時(山 梨・東海大学甲府) 96
藤井 経久・中原 利通(山 口・山 口) 97
沈 逸文・竹俣 洋平(福 島・尚 志) 98

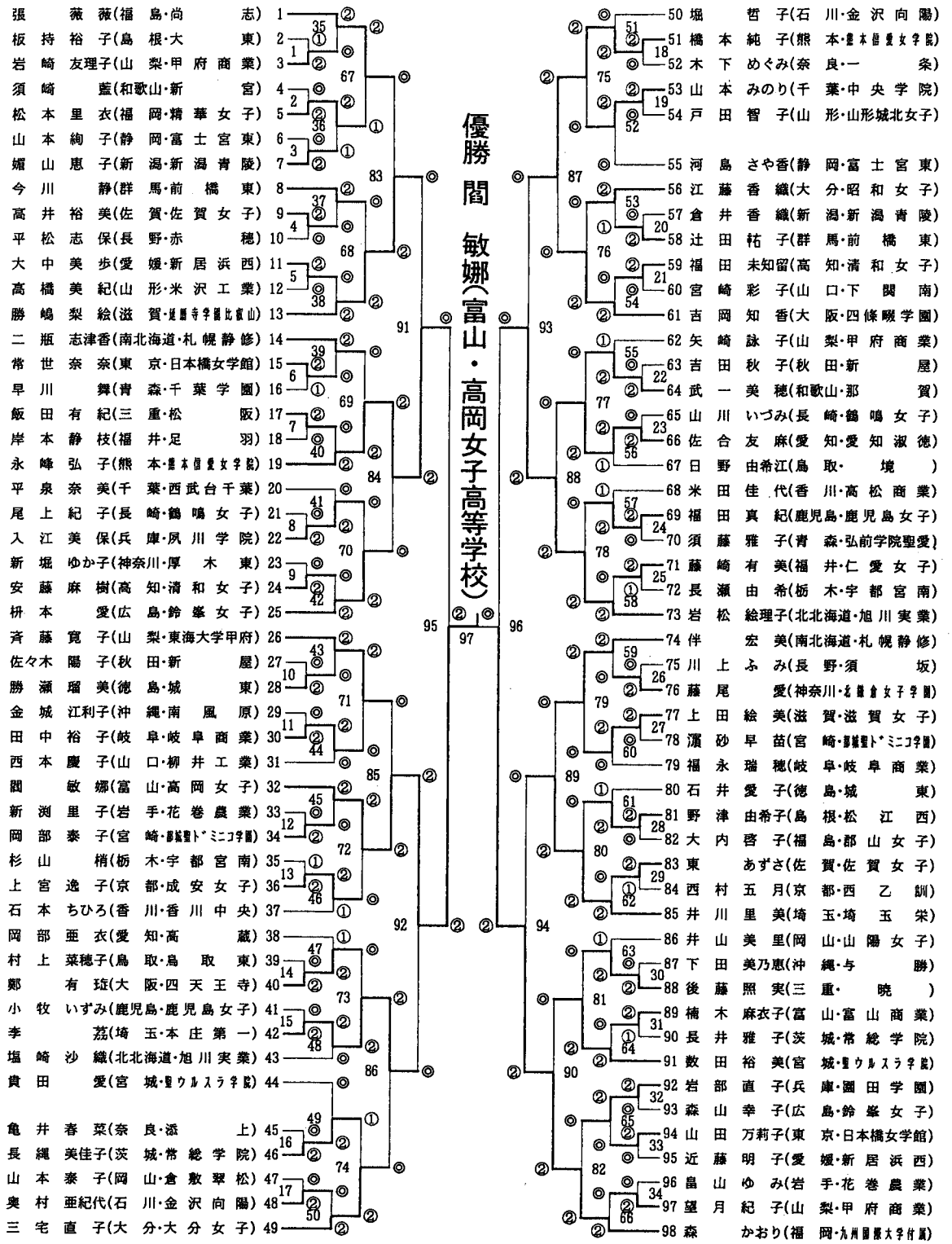
男子シングルス (98名)


優勝 舛田圭太(石川・金沢市立工業)
1 舛田 圭太(石川・金沢市立工業)
2 川添 潤(佐賀・唐津工業)
3 長田 誠(山梨・甲府商業)
4 杉本和也(高知・高知東工業)
5 三嶋康郎(奈良・添上)
6 藤原秀文(栃木・宇都宮南)
7 米川真司(山口・柳井工業)
8 竹俣洋平(福島・尚志)
9 石川兼司(愛知・大府)
10 古川裕輔(京都・洛水)
11 小沢秀郎(群馬・前橋東)
12 今井貴幸(長野・長野商業)
13 稲垣寿一(福岡・九州共立大学八幡西)
14 山口博之(東京・関東第一)
15 田添亮(長崎・長崎北)
16 渡辺真(静岡・沼津学園)
17 菅原真司(岩手・花巻農業)
18 野津良司(島根・松江北)
19 宇治克樹(大阪・大阪桐蔭)
20 大島健史(南北海道・札幌第一)
21 加藤隆広(青森・弘前工業)
22 小谷優(鹿児島・鹿児島商業)
23 清水隆志(富山・高岡工芸)
24 香川祐一(千葉・千葉敬愛)
25 久保直輝(香川・高松商業)
26 平田悠(山梨・甲府商業)
27 寺崎龍典(鳥取・境)
28 川澄剛(秋田・国学館)
29 椎葉洋一郎(宮崎・日向)
30 西川雅典(福井・足羽)
31 矢野秀和(愛媛・新居浜西)
32 鈴木慎太郎(北北海道・旭川実業)
33 菅原豊勝(宮城・宮城県工業)
34 橋本洋人(大分・情報科学)
35 中西洋介(埼玉・上尾)
36 清水健司(兵庫・東播磨)
37 平野耕作(三重・暁)
38 岡村康弘(岡山・倉敷工業)
39 赤松岳(和歌山・星林)
40 木下伸介(熊本・八代東)
41 谷本大輔(徳島・日和佐)
42 仁田原英樹(岐阜・岐阜商業)
43 吉川勇司(茨城・常総学院)
44 吉田要一(新潟・北越)
45 伊藤康則(神奈川・川崎総合科学)
46 岡佐古拓也(広島・安芸府中)
47 大瀧清之介(山形・鶴岡工業)
48 金城好廣(沖縄・南風原)
49 川口馨士(滋賀・近畿大学附属比叡山)
50 沈逸文(福島・尚志)
51 時原修二(広島・安佐北)
52 佐藤友彦(東京・関東第一)
53 松田憲治(石川・金沢市立工業)
54 吉仲修一(奈良・一条)
55 蒲池誠(大分・日田林工)
56 向井智治(静岡・沼津学園)
57 城間右貴(沖縄・南風原)
58 南野慎一(京都・西城陽)
59 上野健太(栃木・宇都宮南)
60 佐藤久徳(秋田・横手工業)
61 福田雅信(香川・高松商業)
62 藤井経久(山口・山口)
63 上田大輔(北北海道・旭川工業)
64 西脇康彦(愛知・岡崎城西)
65 秋山慎一朗(山梨・甲府商業)
66 小島賢一(佐賀・嬉野商業)
67 江畑尚幸(福井・金津)
68 石井元気(福岡・九州国際大学付属)
69 那須川智晃(岩手・前沢)
70 門間寛幸(和歌山・新宮)
71 白旗悟(愛媛・新居浜工業)
72 関巧(長野・中野実業)
73 清水裕(群馬・前橋東)
74 三上裕司(南北海道・札幌第一)
75 馬田佳尋(兵庫・加古川北)
76 桑原雅彦(新潟・北越)
77 瀧井耕平(鹿児島・鹿児島商業)
78 小吹公彦(埼玉・越谷南)
79 住家祐介(宮城・宮城県工業)
80 吉永鉄兵(高知・高知西)
81 深田和彦(滋賀・近畿大学附属比叡山)
82 森山渉(島根・松江西)
83 田渕健太(長崎・佐世保工業)
84 前久保知行(三重・四日市)
85 日野原幸次(山梨・日川)
86 仲尾修一(大阪・此花学院)
87 多田登(山形・日本大学山形)
88 柴田匡史(岡山・倉敷工業)
89 時任淳(宮崎・日向)
90 熱田尚彦(神奈川・法政大学第二)
91 中田真琴(富山・高岡第一)
92 木村威夫(茨城・常総学院)
93 山口優介(鳥取・米子西)
94 鎌田英隆(青森・弘前工業)
95 尾関覚(岐阜・岐阜商業)
96 吉野伸俊(徳島・城東)
97 加藤健生(千葉・西武台千葉)
98 大東忠司(熊本・八代東)

女子ダブルス　(98組)


優勝　杉浦・永峰(熊本信愛女学院高等学校)
杉浦　美幸・永峰　弘子(熊　本・熊本信愛女学院) 1
須崎　藍・西　洋子(和歌山・新　宮) 2
今村　愛・佐野　奈美(山　梨・甲府商業) 3
松田　亜紀・一色　祐美(愛　媛・新居浜西) 4
飯村　由夏・川島亜紀子(愛　知・愛知淑徳) 5
張　薇薇・円谷　知香(福　島・尚　志) 6
宇野佳緒里・小田　真澄(岡　山・山陽女子) 7
仲田　智美・徳永　綾子(埼　玉・埼玉栄) 8
柏崎　弘美・長木優美幸(鳥　取・米子北) 9
岡部　泰子・桑畑　愛(宮崎・都城ドミニコ学園) 10
滝澤久美子・柳澤　千織(長　野・松　代) 11
藤尾　愛・古賀　佳子(神奈川・北鎌倉女子学園) 12
平島　文・山ノ内正美(宮　城・聖ウルスラ学院) 13
鴨田　操佳・高木由佳理(香　川・香川中央) 14
倉井　香織・藤田　千綾(新　潟・新潟青陵) 15
東　あずさ・松山可奈子(佐　賀・佐賀女子) 16
長瀬　由希・長瀬　麻希(栃　木・宇都宮南) 17
高橋　美紀・神田真理子(山　形・米沢工業) 18
岩部　直子・大山　育美(兵　庫・園田学園) 19
後藤　照実・北山　朝子(三　重・　暁　) 20
岡田　律子・冨永真紀子(東　京・日本大学鶴ヶ丘) 21
山下　朱美・亀井　春菜(奈　良・添　上) 22
松本　里衣・原口加奈子(福　岡・精華女子) 23
闇　敏娜・泉　絵美(富　山・高岡女子) 24
岩松絵理子・塩崎　沙織(北北海道・旭川実業) 25
深沢麻衣子・望月　紀子(山　梨・甲府商業) 26
佐々木陽子・吉田　秋子(秋　田・新　屋) 27
吉門由美子・徳村　明(沖　縄・糸　満) 28
有森　美和・青見　真紀(山　口・柳井工業) 29
岸本　静枝・杉本とも子(福　井・足　羽) 30
石井　愛子・岡本亜耶子(徳　島・城　東) 31
本多　志保・櫻井亜希実(南北海道・札幌静修) 32
新渕　里子・畠山　ゆみ(岩　手・花巻農業) 33
村岡　睦美・森　由樹(滋　賀・滋賀女子) 34
藤瀬めぐ美・斉藤　友美(群　馬・前　橋　東) 35
倉満　麗華・末綱　綾子(大　分・昭和女子) 36
八橋　咲子・河島さや香(静　岡・富士宮東) 37
新多　祥子・枡本　愛(広　島・鈴峰女子) 38
長井　雅子・長縄美佳子(茨　城・常総学院) 39
中出　由理・内山　尚子(京　都・西　乙　訓) 40
山崎　恩・渡辺　千寛(高　知・清和女子) 41
尾上　紀子・大園　奈緒(長　崎・鶴鳴女子) 42
早川　舞・竹本　由弥(青　森・千葉学園) 43
星野　貴子・平泉　奈美(千　葉・西武台千葉) 44
福田　真紀・比良　靖子(鹿児島・鹿児島女子) 45
野津由希子・中村亜由美(島　根・松　江　西) 46
福永　瑞穂・岡安　理恵(岐　阜・岐阜商業) 47
山田さやか・安城　美華(大　阪・四天王寺) 48
堀　哲子・奥村亜紀代(石　川・金沢向陽) 49
伴　宏美・二瓶志津香(南北海道・札幌静修) 50
石崎恵理子・菅原　弘子(岩　手・花巻農業) 51
須田　千恵・長山　裕美(栃　木・小山城南) 52
武一　美穂・朝稲　晶子(和歌山・那　賀) 53
西根絵里子・中村真由美(鳥　取・鳥　取　西) 54
三宅　直子・島田　麻子(大　分・大分女子) 55
各務江利子・田中　裕子(岐　阜・岐阜商業) 56
小牧いずみ・田畑　七重(鹿児島・鹿児島女子) 57
勝瀬　瑠美・堤　育葉(徳　島・城　東) 58
升本　美香・重村　泉(広　島・広島第一女子高) 59
長田ひとみ・古賀　昌子(神奈川・北鎌倉女子学園) 60
笠井　真理・媚山　恵子(新　潟・新潟青陵) 61
岩崎友理子・望月　沙織(山　梨・甲府商業) 62
佐藤栄里子・藤原亜紀子(秋　田・大曲工業) 63
永松　寛子・濵砂　早苗(宮崎・都城ドミニコ学園) 64
吉田奈々子・田井　美幸(石　川・金沢向陽) 65
入江　美保・石森真由子(兵　庫・夙川学院) 66
西本　慶子・河邨　由紀(山　口・柳井工業) 67
大中　美歩・近藤　明子(愛　媛・新居浜西) 68
山本　絢子・西島富士子(静　岡・富士宮東) 69
常世　奈奈・須々木志帆(東　京・日本橋女学館) 70
戸田　智子・鈴木　麻利(山　形・山形県立北女子) 71
玉城　抄子・宮城　千恵(沖　縄・南　風　原) 72
出永　千景・森本　仁美(滋　賀・滋賀女子) 73
酒井美智子・西城真理子(宮　城・聖ウルスラ学院) 74
高井　裕美・拝生小百里(佐　賀・佐賀女子) 75
吉岡　知香・尾後　静香(大　阪・四條畷学園) 76
斉藤　寛子・小田切理恵(山　梨・東海大学甲府) 77
川上　ふみ・鶴田知恵子(長　野・須　坂) 78
石黒　広子・山重　直美(北北海道・旭川実業) 79
大下佳奈恵・三浦　千春(富　山・富山商業) 80
森　香織・渡邊　靖子(茨　城・土浦第三) 81
兒玉　友・村崎加奈子(熊　本・熊本信愛女学院) 82
須藤　雅子・木村　千秋(青　森・弘前学院聖愛) 83
三宅　綾子・田島佳代子(愛　知・愛知淑徳) 84
石本ちひろ・佐藤　行代(香　川・香川中央) 85
古谷　充峰・森　かおり(福岡・九州国際大学付属) 86
上宮　逸子・南　祐子(京　都・成安女子) 87
安藤　麻樹・福田未知留(高　知・清和女子) 88
今川　静・辻田　祐子(群　馬・前　橋　東) 89
小椋　希・島畑　恵子(福　島・帝京安積) 90
雄龍めぐみ・國司　良子(岡　山・山陽女子) 91
木下めぐみ・中尾　紀子(奈　良・一　条) 92
橋本　泰恵・田口　千恵(福　井・足　羽) 93
小川まゆみ・小柳奈津子(千　葉・千葉敬愛) 94
板持　裕子・狩野美由紀(島　根・大　東) 95
奥田　尚子・渡邉　孝子(三　重・　暁　) 96
松野あすか・山川いづみ(長　崎・鶴鳴女子) 97
井川　里美・岩脇　史(埼　玉・埼玉栄) 98

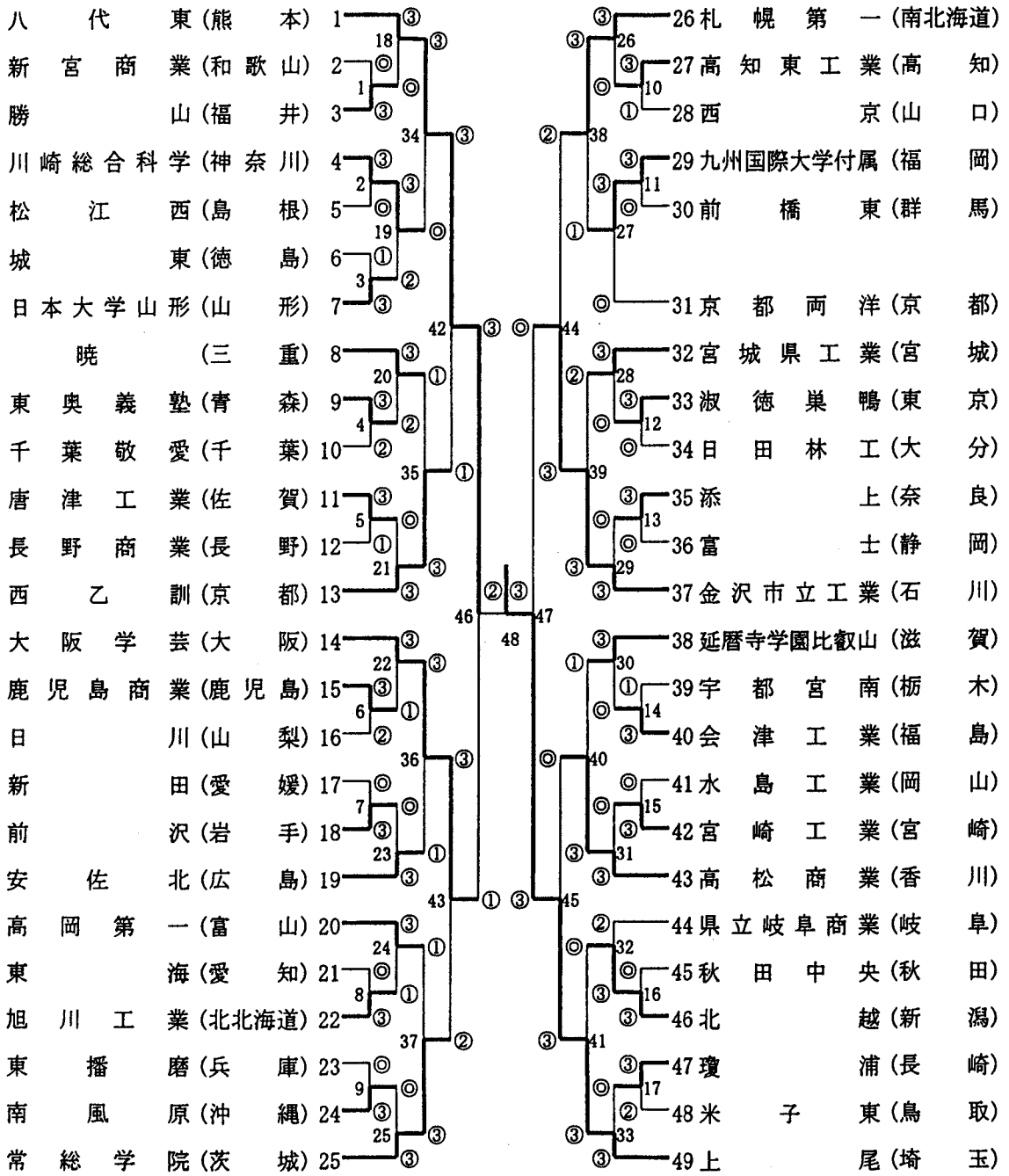
女子シングルス　(98名)


優勝 閻 敏娜(富山・高岡女子高等学校)
1 張 薇 薇(福 島・尚 志)
2 板 持 裕 子(島 根・大 東)
3 岩 崎 友理子(山 梨・甲 府 商 業)
4 須 崎 藍(和歌山・新 宮)
5 松 本 里 衣(福 岡・精 華 女 子)
6 山 本 絢 子(静 岡・富 士 宮 東)
7 嬉 山 恵 子(新 潟・新 潟 青 陵)
8 今 川 静(群 馬・前 橋 東)
9 高 井 裕 美(佐 賀・佐 賀 女 子)
10 平 松 志 保(長 野・赤 穂)
11 大 中 美 歩(愛 媛・新 居 浜 西)
12 高 橋 美 紀(山 形・米 沢 工 業)
13 勝 嶋 梨 絵(滋 賀・近畿大学附属比叡山)
14 二 瓶 志津香(南北海道・札 幌 静 修)
15 常 世 奈 奈(東 京・日本橋女学館)
16 早 川 舞(青 森・千 葉 学 園)
17 飯 田 有 紀(三 重・松 阪)
18 岸 本 静 枝(福 井・足 羽)
19 永 峰 弘 子(熊 本・信愛女学院)
20 平 泉 奈 美(千 葉・西武台千葉)
21 尾 上 紀 子(長 崎・鶴 鳴 女 子)
22 入 江 美 保(兵 庫・夙 川 学 院)
23 新 堀 ゆか子(神奈川・厚 木 東)
24 安 藤 麻 樹(高 知・清 和 女 子)
25 枡 本 愛(広 島・鈴 峯 女 子)
26 斉 藤 寛 子(山 梨・東海大学甲府)
27 佐々木 陽 子(秋 田・新 屋)
28 勝 瀬 瑠 美(徳 島・城 東)
29 金 城 江利子(沖 縄・南 風 原)
30 田 中 裕 子(岐 阜・岐 阜 商 業)
31 西 本 慶 子(山 口・柳 井 工 業)
32 閻 敏 娜(富 山・高 岡 女 子)
33 新 渕 里 子(岩 手・花 巻 農 業)
34 岡 部 泰 子(宮 崎・都城聖ドミニコ学園)
35 杉 山 梢(栃 木・宇 都 宮 南)
36 上 宮 逸 子(京 都・成 安 女 子)
37 石 本 ちひろ(香 川・香 川 中 央)
38 岡 部 亜 衣(愛 知・高 蔵)
39 村 上 菜穂子(鳥 取・鳥 取 東)
40 鄭 有 琁(大 阪・四 天 王 寺)
41 小 牧 いずみ(鹿児島・鹿児島女子)
42 李 荔(埼 玉・本 庄 第 一)
43 塩 崎 沙 織(北北海道・旭 川 実 業)
44 貴 田 愛(宮 城・聖ウルスラ学院)
45 亀 井 春 菜(奈 良・添 上)
46 長 縄 美佳子(茨 城・常 総 学 院)
47 山 本 泰 子(岡 山・倉 敷 翠 松)
48 奥 村 亜紀代(石 川・金 沢 向 陽)
49 三 宅 直 子(大 分・大 分 女 子)
50 堀 哲 子(石 川・金 沢 向 陽)
51 橋 本 純 子(熊 本・信愛女学院)
52 木 下 めぐみ(奈 良・一 条)
53 山 本 みのり(千 葉・中 央 学 院)
54 戸 田 智 子(山 形・山形城北女子)
55 河 島 さや香(静 岡・富 士 宮 東)
56 江 藤 香 織(大 分・昭 和 女 子)
57 倉 井 香 織(新 潟・新 潟 青 陵)
58 辻 田 祐 子(群 馬・前 橋 東)
59 福 田 未知留(高 知・清 和 女 子)
60 宮 崎 彩 子(山 口・下 関 南)
61 吉 岡 知 香(大 阪・四 條 畷 学 園)
62 矢 崎 詠 子(山 梨・甲 府 商 業)
63 吉 田 秋 子(秋 田・新 屋)
64 武 一 美 穂(和歌山・那 賀)
65 山 川 いづみ(長 崎・鶴 鳴 女 子)
66 佐 合 友 麻(愛 知・愛 知 淑 徳)
67 日 野 由希江(鳥 取・ 境)
68 米 田 佳 代(香 川・高 松 商 業)
69 福 田 真 紀(鹿児島・鹿 児 島 女 子)
70 須 藤 雅 子(青 森・弘前学院聖愛)
71 藤 崎 有 美(福 井・仁 愛 女 子)
72 長 瀬 由 希(栃 木・宇 都 宮 南)
73 岩 松 絵理子(北北海道・旭 川 実 業)
74 伴 宏 美(南北海道・札 幌 静 修)
75 川 上 ふ み(長 野・須 坂)
76 藤 尾 愛(神奈川・名 徳 倉 女 子 学 園)
77 上 田 絵 美(滋 賀・滋 賀 女 子)
78 濵 砂 早 苗(宮 崎・都城聖ドミニコ学園)
79 福 永 瑞 穂(岐 阜・岐 阜 商 業)
80 石 井 愛 子(徳 島・城 東)
81 野 津 由希子(島 根・松 江 西)
82 大 内 啓 子(福 島・郡 山 女 子)
83 東 あずさ(佐 賀・佐 賀 女 子)
84 西 村 五 月(京 都・西 乙 訓)
85 井 川 里 美(埼 玉・埼 玉 栄)
86 井 山 美 里(岡 山・山 陽 女 子)
87 下 田 美乃恵(沖 縄・与 勝)
88 後 藤 照 実(三 重・ 暁)
89 楠 木 麻衣子(富 山・富 山 商 業)
90 長 井 雅 子(茨 城・常 総 学 院)
91 數 田 裕 美(宮 城・聖ウルスラ学院)
92 岩 部 直 子(兵 庫・園 田 学 園)
93 森 山 幸 子(広 島・鈴 峯 女 子)
94 山 田 万莉子(東 京・日本橋女学館)
95 近 藤 明 子(愛 媛・新 居 浜 西)
96 畠 山 ゆ み(岩 手・花 巻 農 業)
97 望 月 紀 子(山 梨・甲 府 商 業)
98 森 かおり(福 岡・九州国際大学付属)

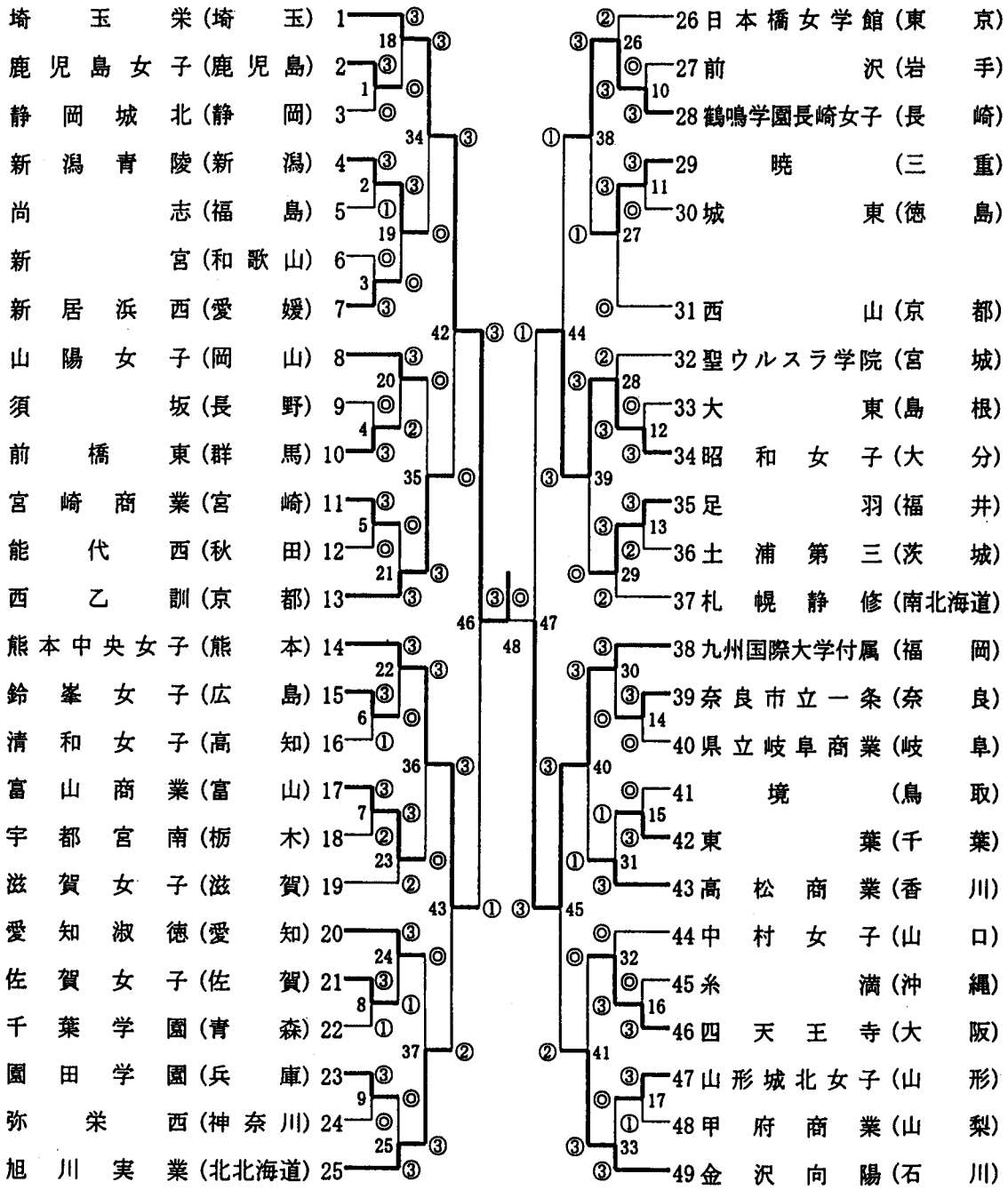
第48回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1997年度)

期日　平成９年８月１日～６日
会場　西山公園体育館　京都府立乙訓高等学校体育館　京都府立西乙訓高等学校体育館
長岡京市立長岡中学校体育館　長岡京市立長岡第三中学校体育館
長岡京市立長岡第四中学校体育館

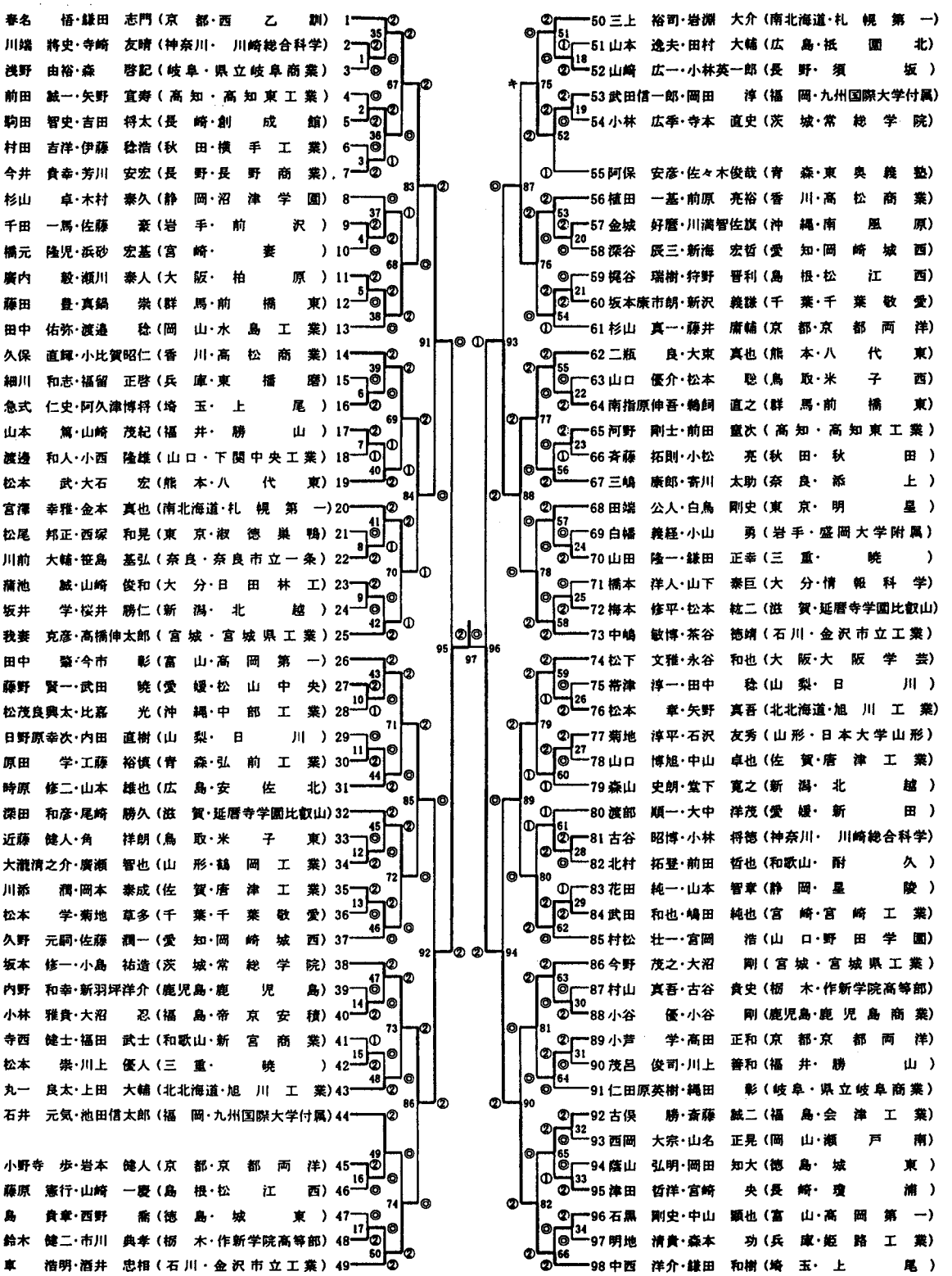
男子団体　(49校)



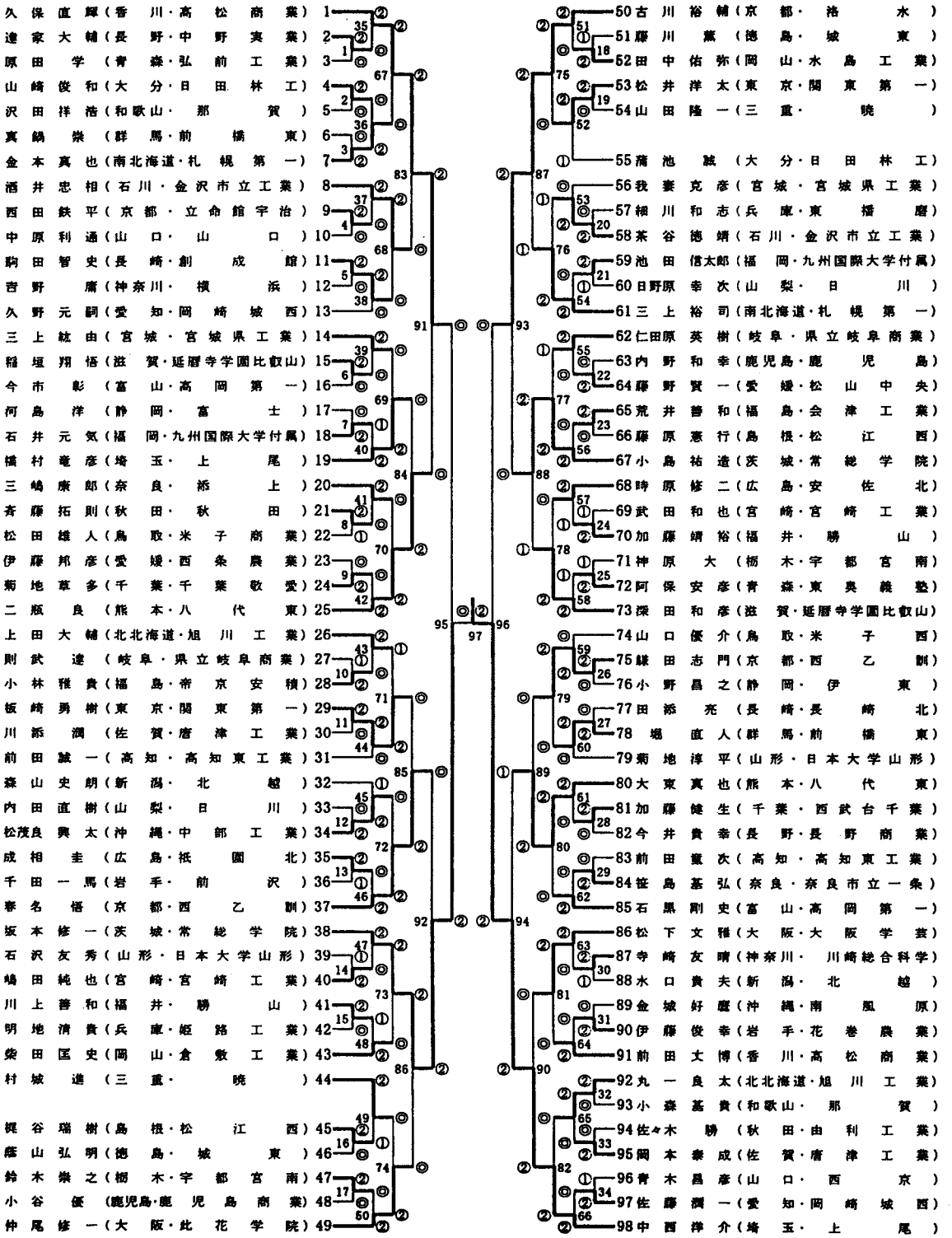
女子団体 (49校)


埼玉栄(埼玉) 1
鹿児島女子(鹿児島) 2
静岡城北(静岡) 3
新潟青陵(新潟) 4
尚志(福島) 5
新宮(和歌山) 6
新居浜西(愛媛) 7
山陽女子(岡山) 8
須坂(長野) 9
前橋東(群馬) 10
宮崎商業(宮崎) 11
能代西(秋田) 12
西乙訓(京都) 13
熊本中央女子(熊本) 14
鈴峯女子(広島) 15
清和女子(高知) 16
富山商業(富山) 17
宇都宮南(栃木) 18
滋賀女子(滋賀) 19
愛知淑徳(愛知) 20
佐賀女子(佐賀) 21
千葉学園(青森) 22
園田学園(兵庫) 23
弥栄西(神奈川) 24
旭川実業(北北海道) 25
26 日本橋女学館(東京)
27 前沢(岩手)
28 鶴鳴学園長崎女子(長崎)
29 暁(三重)
30 城東(徳島)
31 西山(京都)
32 聖ウルスラ学院(宮城)
33 大東(島根)
34 昭和女子(大分)
35 足羽(福井)
36 土浦第三(茨城)
37 札幌静修(南北海道)
38 九州国際大学付属(福岡)
39 奈良市立一条(奈良)
40 県立岐阜商業(岐阜)
41 境(鳥取)
42 東葉(千葉)
43 高松商業(香川)
44 中村女子(山口)
45 糸満(沖縄)
46 四天王寺(大阪)
47 山形城北女子(山形)
48 甲府商業(山梨)
49 金沢向陽(石川)

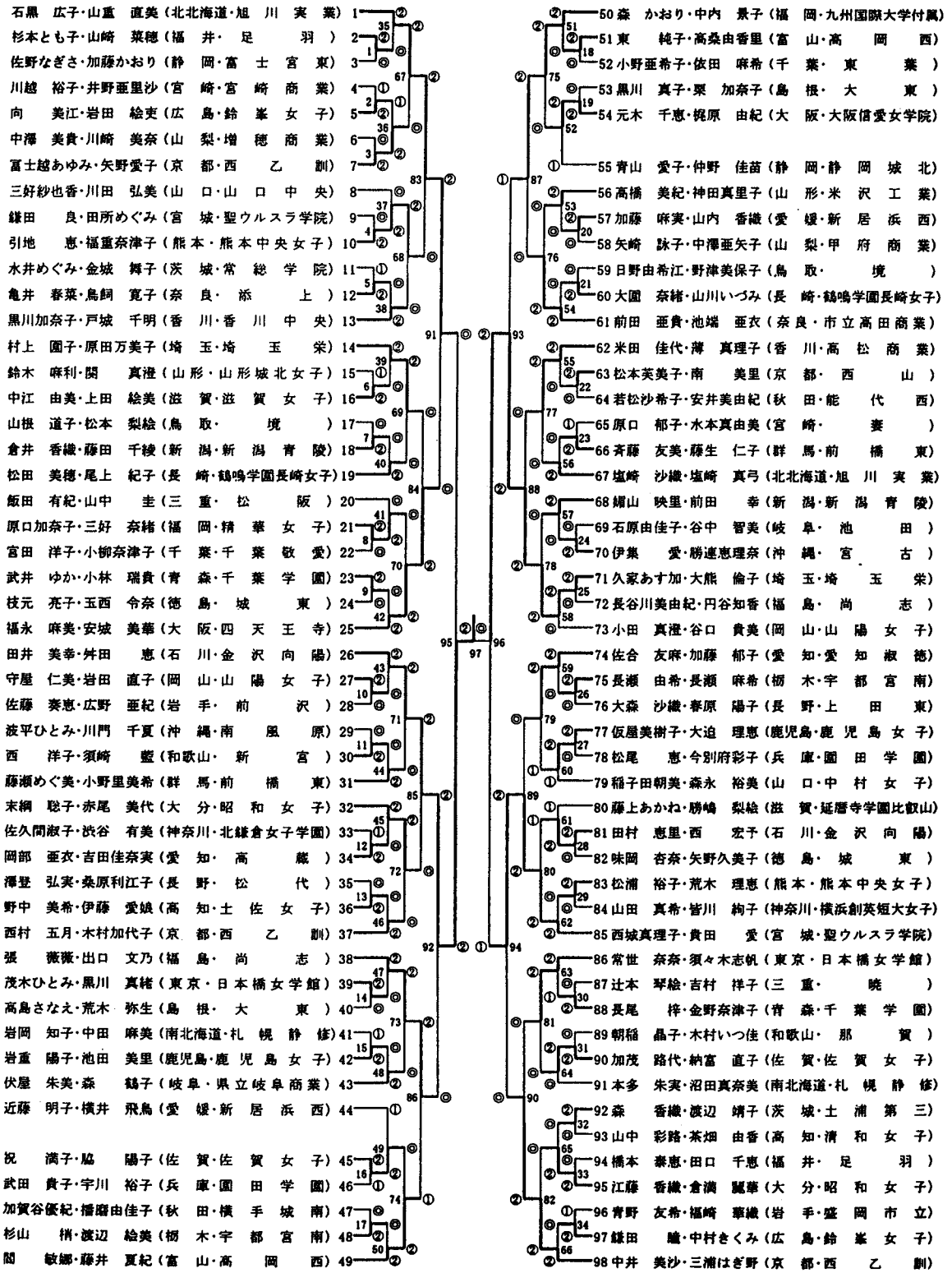
男子ダブルス　(98組)


春名　悟・緑田　志門（京　都・西　乙　訓）
川端　将史・寺崎　友晴（神奈川・　川崎総合科学）
浅野　由裕・森　啓記（岐　阜・県立岐阜商業）
前田　誠一・矢野　宣寿（高　知・高知東工業）
駒田　智史・吉田　将太（長　崎・創　成　館）
村田　吉洋・伊藤　稔浩（秋　田・横　手　工　業）
今井　貴幸・芳川　安宏（長　野・長　野　商　業）
杉山　卓・木村　泰久（静　岡・沼　津　学　園）
千田　一馬・佐藤　豪（岩　手・　前　　沢）
橋元　隆児・浜砂　宏基（宮　崎・　妻　　）
廣内　毅・瀬川　泰人（大　阪・　柏　　原）
藤田　豊・真鍋　崇（群　馬・前　橋　東）
田中　佑弥・渡邉　稔（岡　山・水　島　工　業）
久保　直輝・小比賀昭仁（香　川・高　松　商　業）
細川　和志・福留　正啓（兵　庫・東　播　磨）
急式　仁史・阿久津博将（埼　玉・　上　　尾）
山本　篤・山崎　茂紀（福　井・　勝　　山）
渡邊　和人・小西　隆雄（山　口・下関中央工業）
松本　武・大石　宏（熊　本・八　代　東）
宮澤　幸雅・金本　真也（南北海道・札　幌　第　一）
松尾　邦正・西塚　和晃（東　京・淑　徳　巣　鴨）
川前　大輔・笹島　基弘（奈　良・奈良市立一条）
蒲池　誠・山崎　俊和（大　分・日　田　林　工）
坂井　学・桜井　勝仁（新　潟・　北　　越）
我妻　克彦・高橋伸太郎（宮　城・宮城県工業）
田中　豊・今市　彰（富　山・高　岡　第　一）
藤野　賢一・武田　暁（愛　媛・松　山　中　央）
松茂良興太・比嘉　光（沖　縄・中　部　工　業）
日野原幸次・内田　直樹（山　梨・　日　　川）
原田　学・工藤　裕慎（青　森・弘　前　工　業）
時原　修二・山本　雄也（広　島・安　佐　北）
深田　和彦・尾崎　勝久（滋　賀・延暦寺学園比叡山）
近藤　健人・角　洋朗（鳥　取・米　子　東）
大瀧清之介・廣瀬　智也（山　形・鶴　岡　工　業）
川添　潤・岡本　泰成（佐　賀・唐　津　工　業）
松本　学・菊地　草多（千　葉・千　葉　敬　愛）
久野　元嗣・佐藤　潤一（愛　知・岡　崎　城　西）
坂本　修一・小島　祐造（茨　城・常　総　学　院）
内野　和幸・新羽坪洋介（鹿児島・鹿　児　島）
小林　雅貴・大沼　忍（福　島・帝　京　安　積）
寺西　健士・福田　武士（和歌山・新　宮　商　業）
松本　崇・川上　優人（三　重・　暁　　）
丸一　良太・上田　大輔（北北海道・旭　川　工　業）
石井　元気・池田信太郎（福　岡・九州国際大学付属）
小野寺　歩・岩本　健人（京　都・京　都　両　洋）
藤原　憲行・山崎　一慶（島　根・松　江　西）
島　貴章・西野　喬（徳　島・城　　東）
鈴木　健二・市川　典孝（栃　木・作新学院高等部）
車　浩明・酒井　忠相（石川・金沢市立工業）
三上　裕司・岩淵　大介（南北海道・札　幌　第　一）
山本　逸夫・田村　大輔（広　島・祇　園　北）
山崎　広一・小林英一郎（長　野・須　　坂）
武田信一郎・岡田　淳（福　岡・九州国際大学付属）
小林　広季・寺本　直史（茨　城・常　総　学　院）
阿保　安彦・佐々木俊哉（青　森・東　奥　義　塾）
植田　一基・前原　亮裕（香　川・高　松　商　業）
金城　好暦・川満智佐旗（沖　縄・南　風　原）
深谷　辰三・新海　宏哲（愛　知・岡　崎　城　西）
梶谷　瑞樹・狩野　晋利（島　根・松　江　西）
坂本康市朗・新沢　義謙（千　葉・千　葉　敬　愛）
杉山　真一・藤井　庸輔（京　都・京　都　両　洋）
二瓶　良・大東　真也（熊　本・八　代　東）
山口　優介・松本　聡（鳥　取・米　子　西）
南指原伸吾・鵜飼　直之（群　馬・前　橋　東）
河野　剛士・前田　直次（高　知・高知東工業）
斉藤　拓則・小松　亮（秋　田・秋　　田）
三嶋　康郎・斎川　太助（奈　良・添　　上）
田端　公人・白鳥　剛史（東　京・明　　星）
白幡　義経・小山　勇（岩　手・盛岡大学附属）
山田　隆一・緑田　正幸（三　重・　暁　　）
橋本　洋人・山下　泰巨（大　分・情　報　科　学）
梅本　修平・松本　紘二（滋　賀・延暦寺学園比叡山）
中嶋　敏博・茶谷　徳靖（石　川・金沢市立工業）
松下　文雅・永谷　和也（大　阪・大　阪　学　芸）
蒋津　淳一・田中　稔（山　梨・　日　　川）
松本　章・矢野　真吾（北北海道・旭　川　工　業）
菊地　淳平・石沢　友秀（山　形・日本大学山形）
山口　博旭・中山　卓也（佐　賀・唐　津　工　業）
森山　史朗・堂下　寛之（新　潟・　北　　越）
渡部　順一・大中　洋茂（愛　媛・　新　　田）
古谷　昭博・小林　将徳（神奈川・　川崎総合科学）
北村　拓登・前田　哲也（和歌山・　耐　　久）
花田　純一・山本　智章（静　岡・　星　　陵）
武田　和也・嶋田　純也（宮　崎・宮　崎　工　業）
村松　壮一・宮岡　浩（山　口・野　田　学　園）
今野　茂之・大沼　剛（宮　城・宮城県工業）
村山　真吾・古谷　貴史（栃　木・作新学院高等部）
小谷　優・小谷　剛（鹿児島・鹿　児　島　商　業）
小芦　学・高田　正和（京　都・京　都　両　洋）
茂呂　俊司・川上　善和（福　井・　勝　　山）
仁田原英樹・縄田　彰（岐　阜・県立岐阜商業）
古俣　勝・斎藤　誠二（福　島・会　津　工　業）
西岡　大宗・山名　正晃（岡　山・瀬　戸　南）
薩山　弘明・岡田　知大（徳　島・城　　東）
津田　哲洋・宮崎　央（長　崎・瓊　　浦）
石黒　剛史・中山　顕也（富　山・高　岡　第　一）
明地　清貴・森本　功（兵　庫・姫　路　工　業）
中西　洋介・緑田　和樹（埼　玉・　上　　尾）

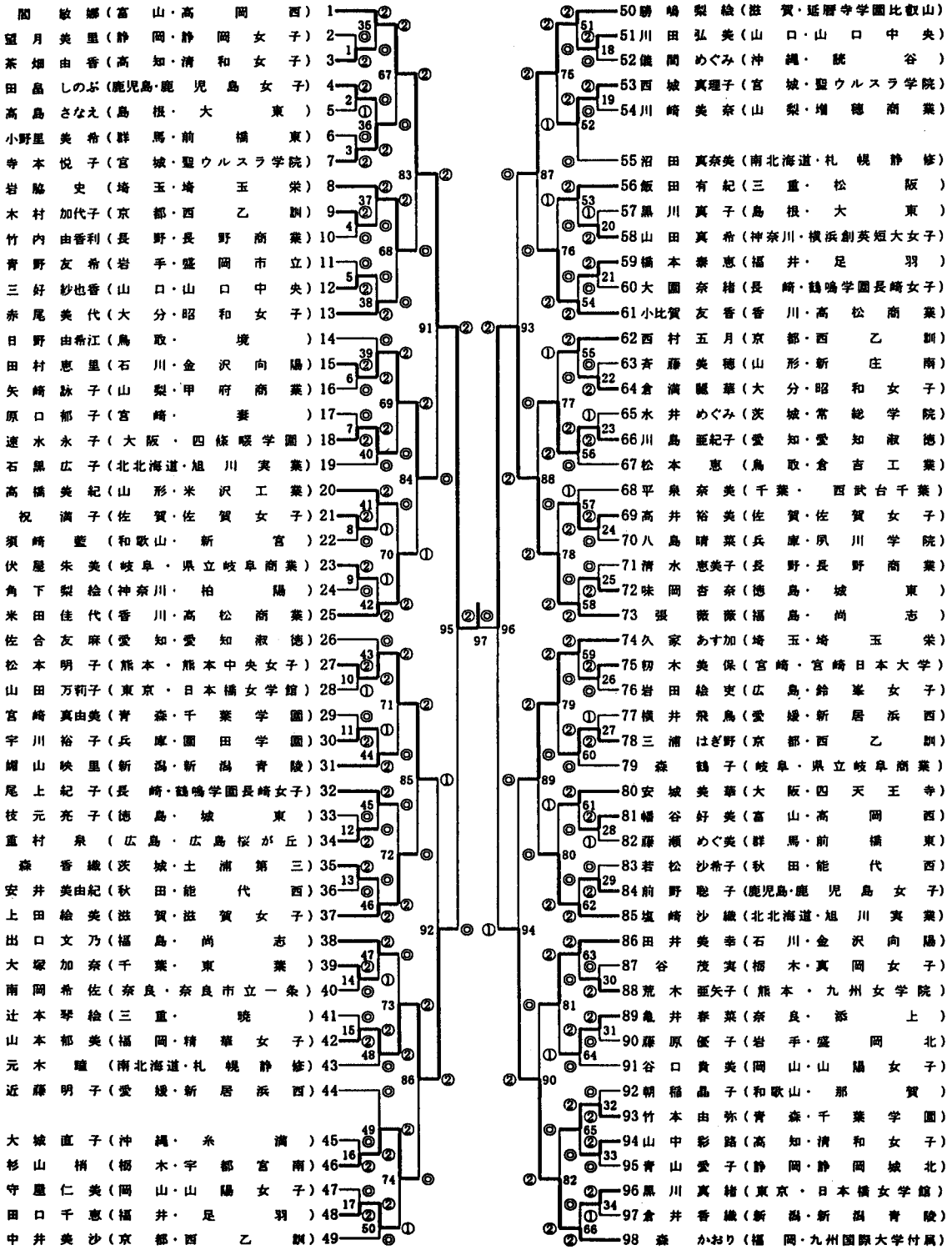
男子シングルス (98名)


1 久保直輝（香川・高松商業）
2 連家大輔（長野・中野実業）
3 原田学（青森・弘前工業）
4 山崎俊和（大分・日田林工）
5 沢田洋浩（和歌山・那賀）
6 真鍋崇（群馬・前橋東）
7 金本真也（南北海道・札幌第一）
8 酒井忠相（石川・金沢市立工業）
9 西田鉄平（京都・立命館宇治）
10 中原利通（山口・山口）
11 駒田智史（長崎・創成館）
12 吉野庸（神奈川・横浜）
13 久野元嗣（愛知・岡崎城西）
14 三上紘由（宮城・宮城県工業）
15 稲垣翔悟（滋賀・延暦寺学園比叡山）
16 今市彰（富山・高岡第一）
17 何島洋（静岡・富士）
18 石井元気（福岡・九州国際大学付属）
19 橘村竜彦（埼玉・上尾）
20 三嶋康郎（奈良・添上）
21 斉藤拓則（秋田・秋田）
22 松田雄人（鳥取・米子商業）
23 伊藤邦彦（愛媛・西条農業）
24 菊地草多（千葉・千葉敬愛）
25 二瓶良（熊本・八代東）
26 上田大輔（北北海道・旭川工業）
27 則武連（岐阜・県立岐阜商業）
28 小林雅貴（福島・帝京安積）
29 坂崎勇樹（東京・関東第一）
30 川添潤（佐賀・唐津工業）
31 前田誠一（高知・高知東工業）
32 森山史朗（新潟・北越）
33 内田直樹（山梨・日川）
34 松茂良興太（沖縄・中部工業）
35 成相圭（広島・祇園北）
36 千田一馬（岩手・前沢）
37 春名悟（京都・西乙訓）
38 坂本修一（茨城・常総学院）
39 石沢友秀（山形・日本大学山形）
40 鳴田純也（宮崎・宮崎工業）
41 川上善和（福井・勝山）
42 明地清貴（兵庫・姫路工業）
43 柴田匡史（岡山・倉敷工業）
44 村城進（三重・暁）
45 梶谷瑞樹（島根・松江西）
46 藤山弘明（徳島・城東）
47 鈴木崇之（栃木・宇都宮南）
48 小谷優（鹿児島・鹿児島商業）
49 仲尾修一（大阪・此花学院）
50 古川裕輔（京都・洛水）
51 藤川薫（徳島・城東）
52 田中佑弥（岡山・水島工業）
53 松井洋太（東京・関東第一）
54 山田隆一（三重・暁）
55 蒲池誠（大分・日田林工）
56 我妻克彦（宮城・宮城県工業）
57 細川和志（兵庫・東播磨）
58 茶谷徳靖（石川・金沢市立工業）
59 池田信太郎（福岡・九州国際大学付属）
60 日野原幸次（山梨・日川）
61 三上裕司（南北海道・札幌第一）
62 仁田原英樹（岐阜・県立岐阜商業）
63 内野和幸（鹿児島・鹿児島）
64 藤野賢一（愛媛・松山中央）
65 荒井善和（福島・会津工業）
66 藤原憲行（島根・松江西）
67 小島祐造（茨城・常総学院）
68 時原修二（広島・安佐北）
69 武田和也（宮崎・宮崎工業）
70 加藤靖裕（福井・勝山）
71 神原大（栃木・宇都宮南）
72 阿保安彦（青森・東奥義塾）
73 深田和彦（滋賀・延暦寺学園比叡山）
74 山口優介（鳥取・米子西）
75 藤田志門（京都・西乙訓）
76 小野昌之（静岡・伊東）
77 田添充（長崎・長崎北）
78 堀直人（群馬・前橋東）
79 菊地淳平（山形・日本大学山形）
80 大東真也（熊本・八代東）
81 加藤健生（千葉・西武台千葉）
82 今井貴幸（長野・長野商業）
83 前田重次（高知・高知東工業）
84 笹島基弘（奈良・奈良市立一条）
85 石黒剛史（富山・高岡第一）
86 松下文雅（大阪・大阪学芸）
87 寺崎友晴（神奈川・川崎総合科学）
88 水口貴夫（新潟・北越）
89 金城好庭（沖縄・南風原）
90 伊藤俊幸（岩手・花巻農業）
91 前田丈博（香川・高松商業）
92 丸一良太（北北海道・旭川工業）
93 小森基貴（和歌山・那賀）
94 佐々木勝（秋田・由利工業）
95 岡本泰成（佐賀・唐津工業）
96 青木昌彦（山口・西京）
97 佐藤潤一（愛知・岡崎城西）
98 中西洋介（埼玉・上尾）

女子ダブルス　(98組)


石黒　広子・山重　直美（北北海道・旭　川　実　業）1
杉本とも子・山崎　菜穂（福　井・　足　　羽）2
佐野なぎさ・加藤かおり（静　岡・富　士　宮　東）3
川越　裕子・井野亜里沙（宮　崎・宮　崎　商　業）4
向　美江・岩田　絵吏（広　島・鈴　峯　女　子）5
中澤　美貴・川崎　美奈（山　梨・増　穂　商　業）6
富士越あゆみ・矢野愛子（京　都・西　乙　訓）7
三好紗也香・川田　弘美（山　口・山　口　中　央）8
鎌田　良・田所めぐみ（宮　城・聖ウルスラ学院）9
引地　恵・福重奈津子（熊　本・熊本中央女子）10
水井めぐみ・金城　舞子（茨　城・常　総　学　院）11
亀井　春菜・鳥飼　寛子（奈　良・　添　　上）12
黒川加奈子・戸城　千明（香　川・香　川　中　央）13
村上　圓子・原田万美子（埼　玉・埼　玉　栄）14
鈴木　麻利・関　　真澄（山　形・山形城北女子）15
中江　由美・上田　絵美（滋　賀・滋　賀　女　子）16
山根　道子・松本　梨絵（鳥　取・　境　　）17
倉井　香織・藤田　千綾（新　潟・新　潟　青　陵）18
松田　美穂・尾上　紀子（長　崎・鶴鳴学園長崎女子）19
飯田　有紀・山中　　圭（三　重・　松　　阪）20
原口加奈子・三好　奈緒（福　岡・精　華　女　子）21
宮田　洋子・小柳奈津子（千　葉・千　葉　敬　愛）22
武井　ゆか・小林　瑞貴（青　森・千　葉　学　園）23
枝元　亮子・玉西　令奈（徳　島・　城　　東）24
福永　麻美・安城　美華（大　阪・四　天　王　寺）25
田井　美幸・舛田　　恵（石　川・金　沢　向　陽）26
守屋　仁美・岩田　直子（岡　山・山　陽　女　子）27
佐藤　奏恵・広野　亜紀（岩　手・　前　　沢）28
波平ひとみ・川門　千夏（沖　縄・南　風　原）29
西　洋子・須崎　　藍（和歌山・　新　　宮）30
藤瀬めぐ美・小野里美希（群　馬・前　　橋　東）31
末綱　聡子・赤尾　美代（大　分・昭　和　女　子）32
佐久間淑子・渋谷　有美（神奈川・北鎌倉女子学園）33
岡部　亜衣・吉田佳奈実（愛　知・　高　　蔵）34
澤登　弘実・桑原利江子（長　野・　松　　代）35
野中　美希・伊藤　愛娘（高　知・土　佐　女　子）36
西村　五月・木村加代子（京　都・西　乙　訓）37
張　　薇薇・出口　文乃（福　島・　尚　　志）38
茂木ひとみ・黒川　真緒（東京・日本橋女学館）39
高島さなえ・荒木　弥生（島　根・　大　　東）40
岩岡　知子・中田　麻美（南北海道・札　幌　静　修）41
岩重　陽子・池田　美里（鹿児島・鹿　児　島　女　子）42
伏屋　朱美・森　　鶴子（岐　阜・県立岐阜商業）43
近藤　明子・横井　飛鳥（愛　媛・新　居　浜　西）44
祝　　満子・脇　　陽子（佐　賀・佐　賀　女　子）45
武田　貴子・宇川　裕子（兵　庫・園　田　学　園）46
加賀谷優紀・播磨由佳子（秋　田・横　手　城　南）47
杉山　　梢・渡辺　絵美（栃　木・宇　都　宮　南）48
間　　敏娜・藤井　夏紀（富　山・高　岡　西）49
50 森　かおり・中内　景子（福　岡・九州国際大学付属）
51 東　　純子・高桑由香里（富　山・高　岡　西）
52 小野亜希子・依田　麻希（千　葉・　東　　葉）
53 黒川　真子・栗　加奈子（島　根・　大　　東）
54 元木　千恵・梶原　由紀（大　阪・大阪信愛女学院）
55 青山　愛子・仲野　佳苗（静　岡・静　岡　城　北）
56 高橋　美紀・神田真里子（山　形・米　沢　工　業）
57 加藤　麻実・山内　香織（愛　媛・新　居　浜　西）
58 矢崎　詠子・中澤亜矢子（山　梨・甲　府　商　業）
59 日野由希江・野津美保子（鳥　取・　境　　）
60 大園　奈緒・山川いづみ（長　崎・鶴鳴学園長崎女子）
61 前田　亜貴・池端　亜衣（奈　良・市立高田商業）
62 米田　佳代・薄　真理子（香　川・高　松　商　業）
63 松本芙美子・南　美里（京　都・　西　　山）
64 若松沙希子・安井美由紀（秋　田・能　代　西）
65 原口　郁子・水本真由美（宮　崎・　妻　　）
66 斉藤　友美・藤生　仁子（群　馬・前　　橋　東）
67 塩崎　沙織・塩崎　真弓（北北海道・旭　川　実　業）
68 嬉山　映里・前田　　幸（新　潟・新　潟　青　陵）
69 石原由佳子・谷中　智美（岐　阜・　池　　田）
70 伊集　　愛・勝連恵理奈（沖　縄・　宮　　古）
71 久家あす加・大熊　倫子（埼　玉・埼　玉　栄）
72 長谷川美由紀・円谷知香（福　島・　尚　　志）
73 小田　真澄・谷口　貴美（岡　山・山　陽　女　子）
74 佐合　友麻・加藤　郁子（愛　知・愛　知　淑　徳）
75 長瀬　由希・長瀬　麻希（栃　木・宇　都　宮　南）
76 大森　沙織・春原　陽子（長　野・上　　田　東）
77 仮屋美樹子・大迫　理恵（鹿児島・鹿　児　島　女　子）
78 松尾　　恵・今別府彩子（兵　庫・園　田　学　園）
79 稲子田朝美・森永　裕美（山　口・中　村　女　子）
80 藤上あかね・勝嶋　梨絵（滋　賀・延暦寺学園比叡山）
81 田村　恵里・西　　宏子（石　川・金　沢　向　陽）
82 味岡　杏奈・矢野久美子（徳　島・　城　　東）
83 松浦　裕子・荒木　理恵（熊　本・熊本中央女子）
84 山田　真希・皆川　絢子（神奈川・横浜創英短大女子）
85 西城真理子・貴田　　愛（宮　城・聖ウルスラ学院）
86 常世　奈奈・須々木志帆（東京・日本橋女学館）
87 辻本　琴絵・吉村　祥子（三　重・　暁　　）
88 長尾　　梓・金野奈津子（青　森・千　葉　学　園）
89 朝稲　晶子・木村いつ佳（和歌山・　那　　賀）
90 加茂　路代・納富　直子（佐　賀・佐　賀　女　子）
91 本多　朱実・沼田真奈美（南北海道・札　幌　静　修）
92 森　　香織・渡辺　靖子（茨　城・土　浦　第　三）
93 山中　彩路・茶畑　由香（高　知・清　和　女　子）
94 橋本　泰恵・田口　千恵（福　井・　足　　羽）
95 江藤　香織・倉満　麗華（大　分・昭　和　女　子）
96 青野　友希・福崎　華織（岩　手・盛　岡　市　立）
97 鎌田　　瞳・中村きくみ（広　島・鈴　峯　女　子）
98 中井　美沙・三浦はぎ野（京　都・西　乙　訓）

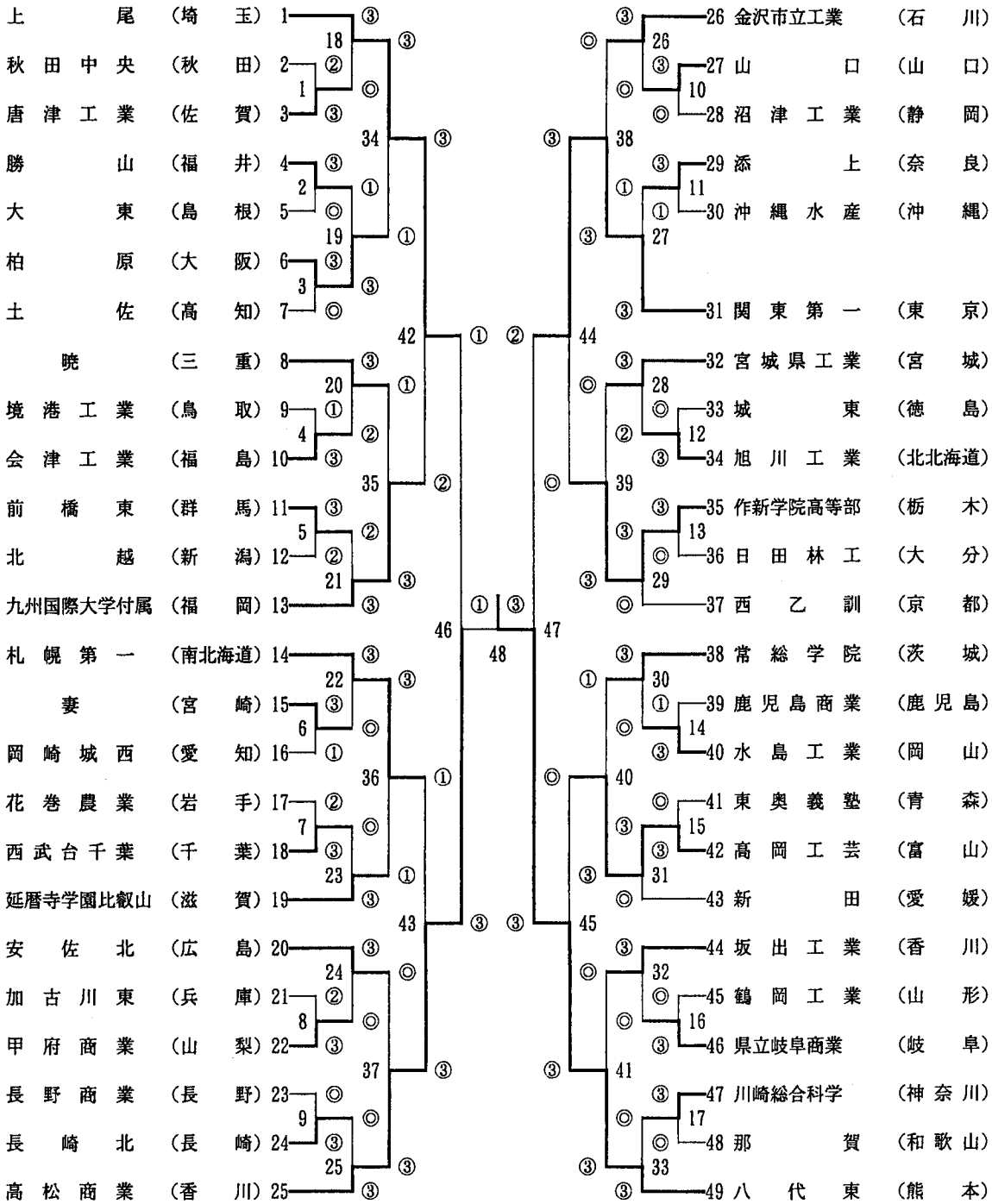
女子シングルス（98名）


1 関 敏郷（富山・高岡西）
2 望月美里（静岡・静岡女子）
3 茶畑由香（高知・清和女子）
4 田畠しのぶ（鹿児島・鹿児島女子）
5 高島さなえ（島根・大東）
6 小野里美希（群馬・前橋東）
7 寺本悦子（宮城・聖ウルスラ学院）
8 岩脇史（埼玉・埼玉栄）
9 木村加代子（京都・西乙訓）
10 竹内由香利（長野・長野商業）
11 青野友希（岩手・盛岡市立）
12 三好紗也香（山口・山口中央）
13 赤尾美代（大分・昭和女子）
14 日野由希江（鳥取・境）
15 田村恵里（石川・金沢向陽）
16 矢崎詠子（山梨・甲府商業）
17 原口郁子（宮崎・妻）
18 速水永子（大阪・四條畷学園）
19 石黒広子（北北海道・旭川実業）
20 高橋美紀（山形・米沢工業）
21 祝満子（佐賀・佐賀女子）
22 須崎藍（和歌山・新宮）
23 伏屋朱美（岐阜・県立岐阜商業）
24 角下梨絵（神奈川・柏陽）
25 米田佳代（香川・高松商業）
26 佐合友麻（愛知・愛知淑徳）
27 松本明子（熊本・熊本中央女子）
28 山田万莉子（東京・日本橋女学館）
29 宮崎真由美（青森・千葉学園）
30 宇川裕子（兵庫・園田学園）
31 細山映里（新潟・新潟青陵）
32 尾上紀子（長崎・鶴鳴学園長崎女子）
33 枝元亮子（徳島・城東）
34 重村泉（広島・広島桜が丘）
35 森香織（茨城・土浦第三）
36 安井美由紀（秋田・能代西）
37 上田絵美（滋賀・滋賀女子）
38 出口文乃（福島・尚志）
39 大塚加奈（千葉・東葉）
40 南岡希佐（奈良・奈良市立一条）
41 辻本琴絵（三重・暁）
42 山本郁美（福岡・精華女子）
43 元木瞳（南北海道・札幌静修）
44 近藤明子（愛媛・新居浜西）
45 大城直子（沖縄・糸満）
46 杉山楠（栃木・宇都宮南）
47 守屋仁美（岡山・山陽女子）
48 田口千恵（福井・足羽）
49 中井美沙（京都・西乙訓）
50 勝嶋梨絵（滋賀・延暦寺学園比叡山）
51 川田弘美（山口・山口中央）
52 儀間めぐみ（沖縄・読谷）
53 西城真理子（宮城・聖ウルスラ学院）
54 川崎美奈（山梨・増穂商業）
55 沼田真奈美（南北海道・札幌静修）
56 飯田有紀（三重・松阪）
57 黒川真子（島根・大東）
58 山田真希（神奈川・横浜創英短大女子）
59 橋本恭恵（福井・足羽）
60 大園奈緒（長崎・鶴鳴学園長崎女子）
61 小比賀友香（香川・高松商業）
62 西村五月（京都・西乙訓）
63 斉藤美穂（山形・新庄南）
64 倉満麗華（大分・昭和女子）
65 水井めぐみ（茨城・常総学院）
66 川島亜紀子（愛知・愛知淑徳）
67 松本恵（鳥取・倉吉工業）
68 平泉奈美（千葉・西武台千葉）
69 高井裕美（佐賀・佐賀女子）
70 八島晴菜（兵庫・夙川学院）
71 清水恵美子（長野・長野商業）
72 味岡杏奈（徳島・城東）
73 張薇薇（福島・尚志）
74 久家あす加（埼玉・埼玉栄）
75 切木美保（宮崎・宮崎日本大学）
76 岩田絵吏（広島・鈴峯女子）
77 横井飛鳥（愛媛・新居浜西）
78 三浦はぎ野（京都・西乙訓）
79 森鶴子（岐阜・県立岐阜商業）
80 安城美華（大阪・四天王寺）
81 幡谷好美（富山・高岡西）
82 藤瀬めぐ美（群馬・前橋東）
83 若松沙希子（秋田・能代西）
84 前野聡子（鹿児島・鹿児島女子）
85 塩崎沙織（北北海道・旭川実業）
86 田井美幸（石川・金沢向陽）
87 谷茂実（栃木・真岡女子）
88 荒木亜矢子（熊本・九州女学院）
89 亀井春菜（奈良・添上）
90 藤原優子（岩手・盛岡北）
91 谷口貴美（岡山・山陽女子）
92 朝稲晶子（和歌山・那賀）
93 竹本由弥（青森・千葉学園）
94 山中彩路（高知・清和女子）
95 青山愛子（静岡・静岡城北）
96 黒川真緒（東京・日本橋女学館）
97 倉井香織（新潟・新潟青陵）
98 森かおり（福岡・九州国際大学付属）

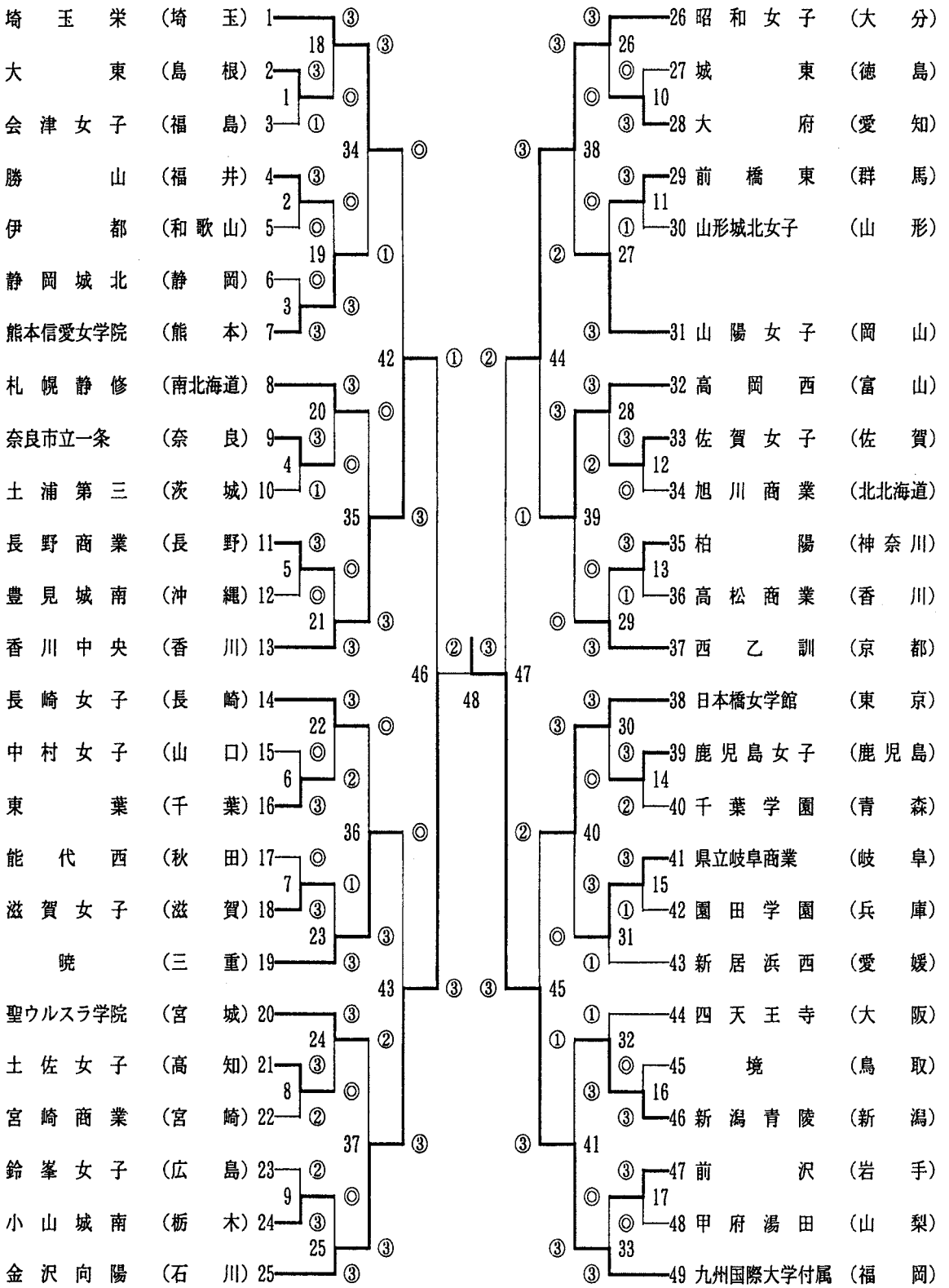
第49回　全国高等学校バドミントン選手権大会　(1998年度)

期日　平成10年８月１日～６日
会場　高松市市民文化センター(別館)　　香川県立高松商業高等学校体育館
　　香川県立高松工芸高等学校体育館　　サンメッセ香川

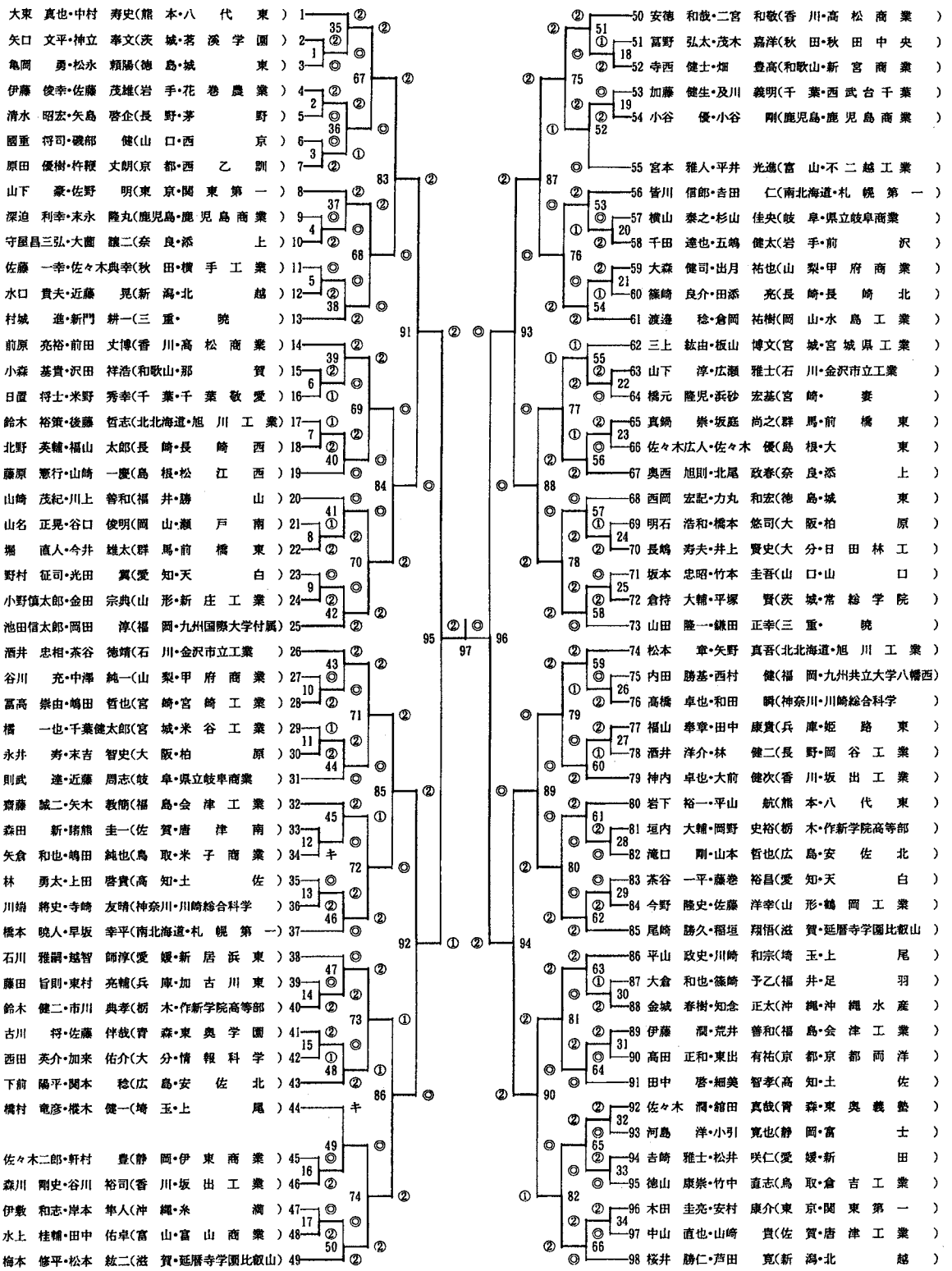
男子団体　(49校)



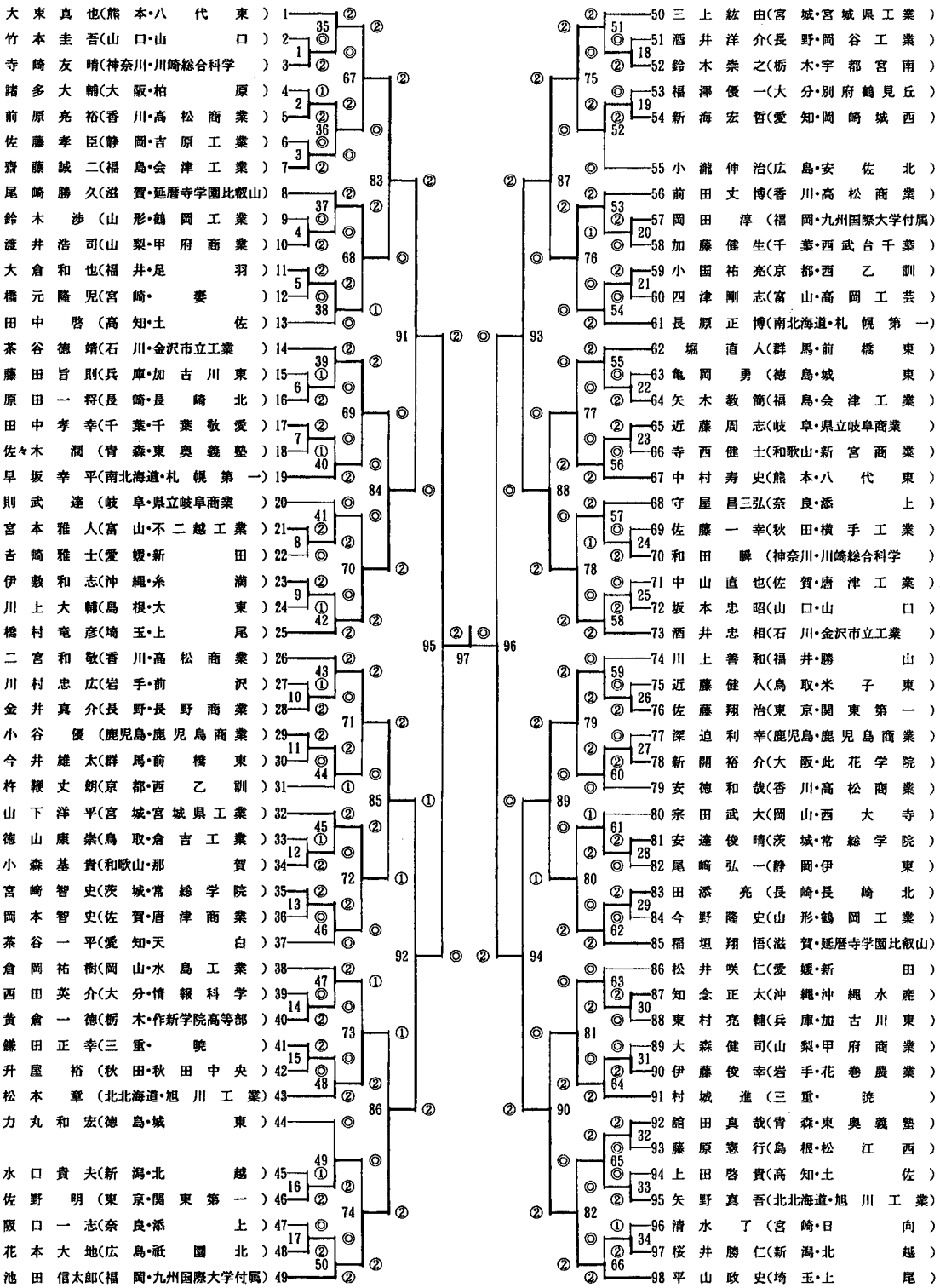
女子団体 (49校)


埼玉栄 (埼玉) 1
大東 (島根) 2
会津女子 (福島) 3
勝山 (福井) 4
伊都 (和歌山) 5
静岡城北 (静岡) 6
熊本信愛女学院 (熊本) 7
札幌静修 (南北海道) 8
奈良市立一条 (奈良) 9
土浦第三 (茨城) 10
長野商業 (長野) 11
豊見城南 (沖縄) 12
香川中央 (香川) 13
長崎女子 (長崎) 14
中村女子 (山口) 15
東葉 (千葉) 16
能代西 (秋田) 17
滋賀女子 (滋賀) 18
暁 (三重) 19
聖ウルスラ学院 (宮城) 20
土佐女子 (高知) 21
宮崎商業 (宮崎) 22
鈴峯女子 (広島) 23
小山城南 (栃木) 24
金沢向陽 (石川) 25
昭和女子 (大分) 26
城東 (徳島) 27
大府 (愛知) 28
前橋東 (群馬) 29
山形城北女子 (山形) 30
山陽女子 (岡山) 31
高岡西 (富山) 32
佐賀女子 (佐賀) 33
旭川商業 (北北海道) 34
柏陽 (神奈川) 35
高松商業 (香川) 36
西乙訓 (京都) 37
日本橋女学館 (東京) 38
鹿児島女子 (鹿児島) 39
千葉学園 (青森) 40
県立岐阜商業 (岐阜) 41
園田学園 (兵庫) 42
新居浜西 (愛媛) 43
四天王寺 (大阪) 44
境 (鳥取) 45
新潟青陵 (新潟) 46
前沢 (岩手) 47
甲府湯田 (山梨) 48
九州国際大学付属 (福岡) 49

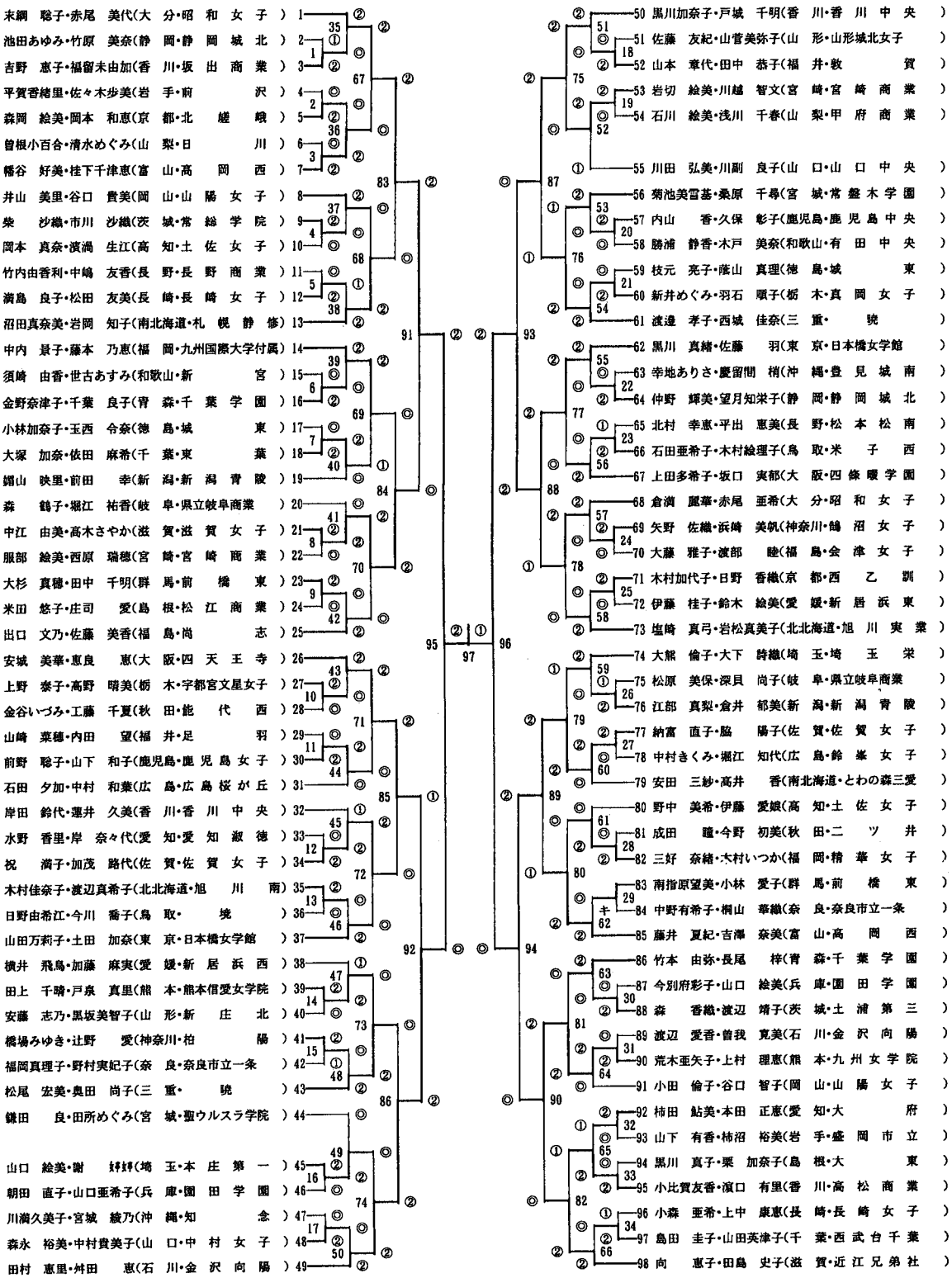
男子ダブルス （98組）


大東 真也・中村 寿史（熊 本・八 代 東）1
矢口 文平・神立 奉文（茨 城・茗 渓 学 園）2
亀岡 勇・松永 頼陽（徳 島・城 東）3
伊藤 俊幸・佐藤 茂雄（岩 手・花 巻 農 業）4
清水 昭宏・矢島 啓企（長 野・茅 野）5
國重 将司・磯部 健（山 口・西 京）6
原田 優樹・杵鞭 丈朗（京 都・西 乙 訓）7
山下 豪・佐野 明（東 京・関 東 第 一）8
深迫 利幸・末永 隆丸（鹿児島・鹿 児 島 商 業）9
守屋昌三弘・大薗 譲二（奈 良・添 上）10
佐藤 一幸・佐々木典幸（秋 田・横 手 工 業）11
水口 貴夫・近藤 晃（新 潟・北 越）12
村城 進・新門 耕一（三 重・ 暁）13
前原 亮裕・前田 丈博（香 川・高 松 商 業）14
小森 基貴・沢田 祥浩（和歌山・那 賀）15
日置 将士・米野 秀幸（千 葉・千 葉 敬 愛）16
鈴木 裕策・後藤 哲志（北北海道・旭 川 工 業）17
北野 英輔・福山 太郎（長 崎・長 崎 西）18
藤原 憲行・山崎 一慶（島 根・松 江 西）19
山崎 茂紀・川上 善和（福 井・勝 山）20
山名 正晃・谷口 俊明（岡 山・瀬 戸 南）21
堀 直人・今井 雄太（群 馬・前 橋 東）22
野村 征司・光田 翼（愛 知・天 白）23
小野慎太郎・金田 宗典（山 形・新 庄 工 業）24
池田信太郎・岡田 淳（福 岡・九州国際大学付属）25
酒井 忠相・茶谷 徳靖（石 川・金沢市立工業）26
谷川 充・中澤 純一（山 梨・甲 府 商 業）27
冨高 崇由・鳩田 哲也（宮 崎・宮 崎 工 業）28
橋 一也・千葉健太郎（宮 城・米 谷 工 業）29
永井 寿・末吉 智史（大 阪・柏 原）30
則武 達・近藤 周志（岐 阜・県立岐阜商業）31
齋藤 誠二・矢木 教簡（福 島・会 津 工 業）32
森田 新・緒熊 圭一（佐 賀・唐 津 南）33
矢倉 和也・鳩田 純也（鳥 取・米 子 商 業）34
林 勇太・上田 啓貴（高 知・土 佐）35
川端 將史・寺崎 友晴（神奈川・川崎総合科学）36
橋本 暁人・早坂 幸平（南北海道・札 幌 第 一）37
石川 雅嗣・越智 師淳（愛 媛・新 居 浜 東）38
藤田 旨則・東村 亮輔（兵 庫・加 古 川 東）39
鈴木 健二・市川 典孝（栃 木・作新学院高等部）40
古川 将・佐藤 伴哉（青 森・東 奥 学 園）41
西田 英介・加来 佑介（大 分・情 報 科 学）42
下前 陽平・関本 稔（広 島・安 佐 北）43
橋村 竜彦・樫木 健一（埼 玉・上 尾）44
佐々木二郎・軒村 豊（静 岡・伊 東 商 業）45
森川 剛史・谷川 裕司（香 川・坂 出 工 業）46
伊敷 和志・岸本 準人（沖 縄・糸 満）47
水上 桂輔・田中 佑卓（富 山・富 山 商 業）48
梅本 修平・松本 紘二（滋 賀・延暦寺学園比叡山）49
安徳 和哉・二宮 和敬（香 川・高 松 商 業）50
冨野 弘太・茂木 嘉洋（秋 田・秋 田 中 央）51
寺西 健士・畑 豊高（和歌山・新 宮 商 業）52
加藤 健生・及川 義明（千 葉・西 武 台 千 葉）53
小谷 優・小谷 剛（鹿児島・鹿 児 島 商 業）54
宮本 雅人・平井 光進（富 山・不 二 越 工 業）55
皆川 信郎・吉田 仁（南北海道・札 幌 第 一）56
横山 泰之・杉山 佳央（岐 阜・県立岐阜商業）57
千田 達也・五嶋 健太（岩 手・前 沢）58
大森 健司・出月 祐也（山 梨・甲 府 商 業）59
篠崎 良介・田添 亮（長 崎・長 崎 北）60
渡邊 稔・倉岡 祐樹（岡 山・水 島 工 業）61
三上 紘由・板山 博文（宮 城・宮 城 県 工 業）62
山下 淳・広瀬 雅士（石 川・金沢市立工業）63
橋元 隆児・浜砂 宏基（宮 崎・ 妻）64
真鍋 崇・坂庭 尚之（群 馬・前 橋 東）65
佐々木広人・佐々木 優（島 根・大 東）66
奥西 旭則・北尾 政春（奈 良・添 上）67
西岡 宏記・力丸 和宏（徳 島・城 東）68
明石 浩和・橋本 悠司（大 阪・柏 原）69
長嶋 寿夫・井上 賢史（大 分・日 田 林 工）70
坂本 忠昭・竹本 圭吾（山 口・山 口）71
倉持 大輔・平塚 賢（茨 城・常 総 学 院）72
山田 隆一・鎌田 正幸（三 重・ 暁）73
松本 章・矢野 真吾（北北海道・旭 川 工 業）74
内田 勝基・西村 健（福 岡・九州共立大学八幡西）75
高橋 卓也・和田 瞬（神奈川・川崎総合科学）76
福山 奉章・田中 康貴（兵 庫・姫 路 東）77
酒井 洋介・林 健二（長 野・岡 谷 工 業）78
神内 卓也・大前 健次（香 川・坂 出 工 業）79
岩下 裕一・平山 航（熊 本・八 代 東）80
垣内 大輔・岡野 史裕（栃 木・作新学院高等部）81
滝口 剛・山本 哲也（広 島・安 佐 北）82
茶谷 一平・藤巻 裕昌（愛 知・天 白）83
今野 隆史・佐藤 洋幸（山 形・鶴 岡 工 業）84
尾崎 勝久・稲垣 翔悟（滋 賀・延暦寺学園比叡山）85
平山 政史・川崎 和宗（埼 玉・上 尾）86
大倉 和也・篠崎 予乙（福 井・足 羽）87
金城 春樹・知念 正太（沖 縄・沖 縄 水 産）88
伊藤 潤・荒井 善和（福 島・会 津 工 業）89
高田 正和・東出 有祐（京 都・京 都 両 洋）90
田中 啓・細美 智孝（高 知・土 佐）91
佐々木 潤・舘田 真哉（青 森・東 奥 義 塾）92
河島 洋・小引 寛也（静 岡・富 士）93
吉崎 雅士・松井 咲仁（愛 媛・新 田）94
徳山 康崇・竹中 直志（鳥 取・倉 吉 工 業）95
木田 圭亮・安村 康介（東 京・関 東 第 一）96
中山 直也・山崎 貴（佐 賀・唐 津 工 業）97
桜井 勝仁・芦田 寛（新 潟・北 越）98

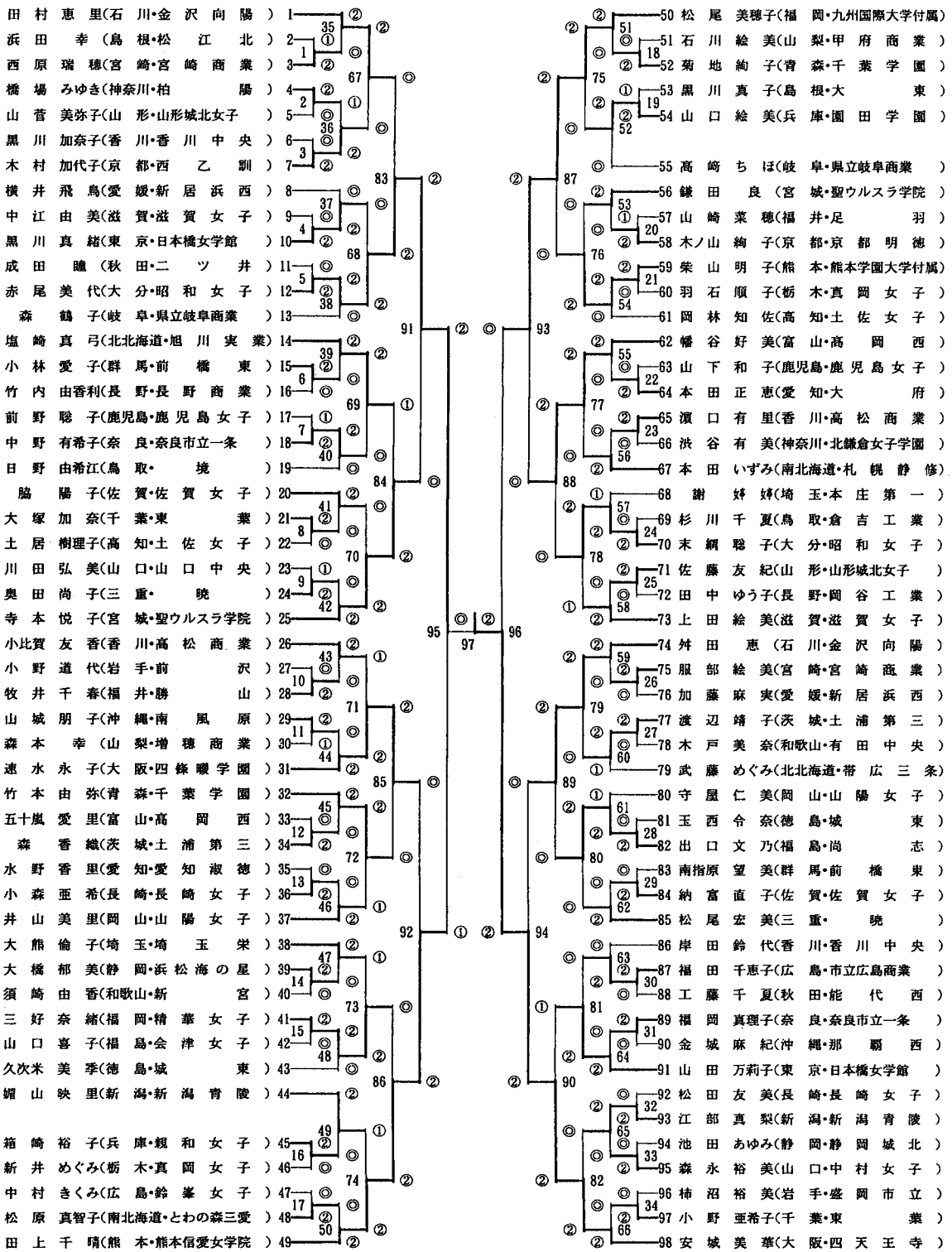
男子シングルス (98名)


1 大東真也(熊本・八代東)
2 竹本圭吾(山口・山口)
3 寺崎友晴(神奈川・川崎総合科学)
4 諸多大輔(大阪・柏原)
5 前原亮裕(香川・高松商業)
6 佐藤孝臣(静岡・吉原工業)
7 齋藤誠二(福島・会津工業)
8 尾崎勝久(滋賀・延暦寺学園比叡山)
9 鈴木渉(山形・鶴岡工業)
10 渡井浩司(山梨・甲府商業)
11 大倉和也(福井・足羽)
12 橋元隆児(宮崎・妻)
13 田中啓(高知・土佐)
14 茶谷徳靖(石川・金沢市立工業)
15 藤田旨則(兵庫・加古川東)
16 原田一将(長崎・長崎北)
17 田中孝幸(千葉・千葉敬愛)
18 佐々木潤(青森・東奥義塾)
19 早坂幸平(南北海道・札幌第一)
20 則武達(岐阜・県立岐阜商業)
21 宮本雅人(富山・不二越工業)
22 吉崎雅士(愛媛・新田)
23 伊敷和志(沖縄・糸満)
24 川上大輔(島根・大東)
25 橋村竜彦(埼玉・上尾)
26 二宮和敬(香川・高松商業)
27 川村忠広(岩手・前沢)
28 金井真介(長野・長野商業)
29 小谷優(鹿児島・鹿児島商業)
30 今井雄太(群馬・前橋東)
31 杵鞭丈朗(京都・西乙訓)
32 山下洋平(宮城・宮城県工業)
33 徳山康崇(鳥取・倉吉工業)
34 小森基貴(和歌山・那賀)
35 宮崎智史(茨城・常総学院)
36 岡本智史(佐賀・唐津商業)
37 茶谷一平(愛知・天白)
38 倉岡祐樹(岡山・水島工業)
39 西田英介(大分・情報科学)
40 黄倉一徳(栃木・作新学院高等部)
41 鎌田正幸(三重・暁)
42 升屋裕(秋田・秋田中央)
43 松本章(北北海道・旭川工業)
44 力丸和宏(徳島・城東)
45 水口貴夫(新潟・北越)
46 佐野明(東京・関東第一)
47 阪口一志(奈良・添上)
48 花本大地(広島・祇園北)
49 池田信太郎(福岡・九州国際大学付属)
50 三上紘由(宮城・宮城県工業)
51 酒井洋介(長野・岡谷工業)
52 鈴木崇之(栃木・宇都宮南)
53 福澤優一(大分・別府鶴見丘)
54 新海宏哲(愛知・岡崎城西)
55 小瀧伸治(広島・安佐北)
56 前田丈博(香川・高松商業)
57 岡田淳(福岡・九州国際大学付属)
58 加藤健生(千葉・西武台千葉)
59 小園祐亮(京都・西乙訓)
60 四津剛志(富山・高岡工芸)
61 長原正博(南北海道・札幌第一)
62 堀直人(群馬・前橋東)
63 亀岡勇(徳島・城東)
64 矢木教簡(福島・会津工業)
65 近藤周志(岐阜・県立岐阜商業)
66 寺西健士(和歌山・新宮商業)
67 中村寿史(熊本・八代東)
68 守屋昌三弘(奈良・添上)
69 佐藤一幸(秋田・横手工業)
70 和田瞬(神奈川・川崎総合科学)
71 中山直也(佐賀・唐津工業)
72 坂本忠昭(山口・山口)
73 酒井忠相(石川・金沢市立工業)
74 川上善和(福井・勝山)
75 近藤健人(鳥取・米子東)
76 佐藤翔治(東京・関東第一)
77 深迫利幸(鹿児島・鹿児島商業)
78 新開裕介(大阪・此花学院)
79 安徳和哉(香川・高松商業)
80 宗田武大(岡山・西大寺)
81 安達俊晴(茨城・常総学院)
82 尾崎弘一(静岡・伊東)
83 田添充(長崎・長崎北)
84 今野隆史(山形・鶴岡工業)
85 稲垣翔悟(滋賀・延暦寺学園比叡山)
86 松井咲仁(愛媛・新田)
87 知念正太(沖縄・沖縄水産)
88 東村亮輔(兵庫・加古川東)
89 大森健司(山梨・甲府商業)
90 伊藤俊幸(岩手・花巻農業)
91 村城進(三重・暁)
92 舘田真哉(青森・東奥義塾)
93 藤原憲行(島根・松江西)
94 上田啓貴(高知・土佐)
95 矢野真吾(北北海道・旭川工業)
96 清水了(宮崎・日向)
97 桜井勝仁(新潟・北越)
98 平山政史(埼玉・上尾)

女子ダブルス　(98組)


1 末綱 聡子・赤尾 美代(大 分・昭 和 女 子)
2 池田あゆみ・竹原 美奈(静 岡・静 岡 城 北)
3 吉野 恵子・福留未由加(香 川・坂 出 商 業)
4 平賀香緒里・佐々木歩美(岩 手・前 沢)
5 森岡 絵美・岡本 和恵(京 都・北 嵯 峨)
6 曽根小百合・清水めぐみ(山 梨・日 川)
7 幡谷 好美・桂下千津恵(富 山・高 岡 西)
8 井山 美里・谷口 貴美(岡 山・山 陽 女 子)
9 柴 沙織・市川 沙織(茨 城・常 総 学 院)
10 岡本 真奈・濱渦 生江(高 知・土 佐 女 子)
11 竹内由香利・中嶋 友香(長 野・長 野 商 業)
12 満島 良子・松田 友美(長 崎・長 崎 女 子)
13 沼田真奈美・岩岡 知子(南北海道・札 幌 静 修)
14 中内 景子・藤本 乃恵(福 岡・九州国際大学付属)
15 須崎 由香・世古あすみ(和歌山・新 宮)
16 金野奈津子・千葉 良子(青 森・千 葉 学 園)
17 小林加奈子・玉西 令奈(徳 島・城 東)
18 大塚 加奈・依田 麻希(千 葉・東 葉)
19 嶋山 映里・前田 幸(新 潟・新 潟 青 陵)
20 森 鶴子・堀江 祐香(岐 阜・県立岐阜商業)
21 中江 由美・高木さやか(滋 賀・滋 賀 女 子)
22 服部 絵美・西原 瑞穂(宮 崎・宮 崎 商 業)
23 大杉 真穂・田中 千明(群 馬・前 橋 東)
24 米田 悠子・庄司 愛(島 根・松 江 商 業)
25 出口 文乃・佐藤 美香(福 島・尚 志)
26 安城 美華・恵良 恵(大 阪・四 天 王 寺)
27 上野 泰子・高野 晴美(栃 木・宇都宮文星女子)
28 金谷いづみ・工藤 千夏(秋 田・能 代 西)
29 山崎 菜穂・内田 望(福 井・足 羽)
30 前野 聡子・山下 和子(鹿児島・鹿 児 島 女 子)
31 石田 夕加・中村 和葉(広 島・広 島 桜 が 丘)
32 岸田 鈴代・蓮井 久美(香 川・香 川 中 央)
33 水野 香里・岸 奈々代(愛 知・愛 知 淑 徳)
34 祝 満子・加茂 路代(佐 賀・佐 賀 女 子)
35 木村佳奈子・渡辺真希子(北北海道・旭 川 南)
36 日野由希江・今川 香子(鳥 取・境)
37 山田万莉子・土田 加奈(東 京・日本橋女学館)
38 横井 飛鳥・加藤 麻実(愛 媛・新 居 浜 西)
39 田上 千晴・戸泉 真里(熊 本・熊本信愛女学院)
40 安藤 志乃・黒坂美智子(山 形・新 庄 北)
41 橋場みゆき・辻野 愛(神奈川・柏 陽)
42 福岡真理子・野村実紀子(奈 良・奈良市立一条)
43 松尾 宏美・奥田 尚子(三 重・暁)
44 鎌田 良・田所めぐみ(宮 城・聖ウルスラ学院)
45 山口 絵美・謝 婷婷(埼 玉・本 庄 第 一)
46 朝田 直子・山口亜希子(兵 庫・園 田 学 園)
47 川満久美子・宮城 綾乃(沖 縄・知 念)
48 森永 裕美・中村貴美子(山 口・中 村 女 子)
49 田村 恵里・舛田 恵(石 川・金 沢 向 陽)
50 黒川加奈子・戸城 千明(香 川・香 川 中 央)
51 佐藤 友紀・山菅美弥子(山 形・山形城北女子)
52 山本 章代・田中 恭子(福 井・敦 賀)
53 岩切 絵美・川越 智文(宮 崎・宮 崎 商 業)
54 石川 絵美・浅川 千春(山 梨・甲 府 商 業)
55 川田 弘美・川副 良子(山 口・山 口 中 央)
56 菊池美雪基・桑原 千尋(宮 城・常 盤 木 学 園)
57 内山 香・久保 彰子(鹿児島・鹿 児 島 中 央)
58 勝浦 静香・木戸 美奈(和歌山・有 田 中 央)
59 枝元 亮子・陸山 真理(徳 島・城 東)
60 新井めぐみ・羽石 順子(栃 木・真 岡 女 子)
61 渡邊 孝子・西城 佳奈(三 重・暁)
62 黒川 真緒・佐藤 羽(東 京・日本橋女学館)
63 幸地ありさ・慶留間 梢(沖 縄・豊 見 城 南)
64 仲野 輝美・望月知栄子(静 岡・静 岡 城 北)
65 北村 幸恵・平出 恵美(長 野・松 本 松 南)
66 石田亜希子・木村絵理子(鳥 取・米 子 西)
67 上田多希子・坂口 寅都(大 阪・四 條 畷 学 園)
68 倉満 麗華・赤尾 亜希(大 分・昭 和 女 子)
69 矢野 佐織・浜崎 美帆(神奈川・鵠 沼 女 子)
70 大藤 雅子・渡部 睦(福 島・会 津 女 子)
71 木村加代子・日野 香織(京 都・西 乙 訓)
72 伊藤 桂子・鈴木 絵美(愛 媛・新 居 浜 東)
73 塩崎 真弓・岩松真美子(北北海道・旭 川 実 業)
74 大熊 倫子・大下 詩織(埼 玉・埼 玉 栄)
75 松原 美保・深見 尚子(岐 阜・県立岐阜商業)
76 江部 真梨・倉井 郁美(新 潟・新 潟 青 陵)
77 納富 直子・脇 陽子(佐 賀・佐 賀 女 子)
78 中村きくみ・堀江 知代(広 島・鈴 峯 女 子)
79 安田 三紗・高井 香(南北海道・とわの森三愛)
80 野中 美希・伊藤 愛娘(高 知・土 佐 女 子)
81 成田 瞳・今野 初美(秋 田・二 ツ 井)
82 三好 奈緒・大村いつか(福 岡・精 華 女 子)
83 南指原望美・小林 愛子(群 馬・前 橋 東)
84 中野有希子・桐山 華織(奈 良・奈良市立一条)
85 藤井 夏紀・吉澤 奈美(富 山・高 岡 西)
86 竹本 由弥・長尾 梓(青 森・千 葉 学 園)
87 今別府彩子・山口 絵美(兵 庫・園 田 学 園)
88 森 香織・渡辺 靖子(茨 城・土 浦 第 三)
89 渡辺 愛香・曽我 寛美(石 川・金 沢 向 陽)
90 荒木亜矢子・上村 理恵(熊 本・九 州 女 学 院)
91 小田 倫子・谷口 智子(岡 山・山 陽 女 子)
92 柿田 鮎美・本田 正恵(愛 知・大 府)
93 山下 有香・柿沼 裕美(岩 手・盛 岡 市 立)
94 黒川 真子・栗 加奈子(島 根・大 東)
95 小比賀友香・濵口 有里(香 川・高 松 商 業)
96 小森 亜希・上中 康恵(長 崎・長 崎 女 子)
97 島田 圭子・山田英津子(千 葉・西 武 台 千 葉)
98 向 恵子・田島 史子(滋 賀・近 江 兄 弟 社)

女子シングルス (98名)


1 田村恵里(石川・金沢向陽)
2 浜田幸(島根・松江北)
3 西原瑞穂(宮崎・宮崎商業)
4 橋場みゆき(神奈川・柏陽)
5 山菅美弥子(山形・山形城北女子)
6 黒川加奈子(香川・香川中央)
7 木村加代子(京都・西乙訓)
8 横井飛鳥(愛媛・新居浜西)
9 中江由美(滋賀・滋賀女子)
10 黒川真緒(東京・日本橋女学館)
11 成田瞳(秋田・二ツ井)
12 赤尾美代(大分・昭和女子)
13 森鶴子(岐阜・県立岐阜商業)
14 塩崎真弓(北北海道・旭川実業)
15 小林愛子(群馬・前橋東)
16 竹内由香利(長野・長野商業)
17 前野聡子(鹿児島・鹿児島女子)
18 中野有希子(奈良・奈良市立一条)
19 日野由希江(鳥取・境)
20 脇陽子(佐賀・佐賀女子)
21 大塚加奈(千葉・東葉)
22 土居樹理子(高知・土佐女子)
23 川田弘美(山口・山口中央)
24 奥田尚子(三重・暁)
25 寺本悦子(宮城・聖ウルスラ学院)
26 小比賀友香(香川・高松商業)
27 小野道代(岩手・前沢)
28 牧井千春(福井・勝山)
29 山城朋子(沖縄・南風原)
30 森本幸(山梨・増穂商業)
31 速水永子(大阪・四條畷学園)
32 竹本由弥(青森・千葉学園)
33 五十嵐愛里(富山・高岡西)
34 森香織(茨城・土浦第三)
35 水野香里(愛知・愛知淑徳)
36 小森亜希(長崎・長崎女子)
37 井山美里(岡山・山陽女子)
38 大熊倫子(埼玉・埼玉栄)
39 大橋郁美(静岡・浜松海の星)
40 須崎由香(和歌山・新宮)
41 三好奈緒(福岡・精華女子)
42 山口喜子(福島・会津女子)
43 久次米美季(徳島・城東)
44 嫺山映里(新潟・新潟青陵)
45 箱崎裕子(兵庫・親和女子)
46 新井めぐみ(栃木・真岡女子)
47 中村きくみ(広島・鈴峯女子)
48 松原真智子(南北海道・とわの森三愛)
49 田上千晴(熊本・熊本信愛女学院)
50 松尾美穂子(福岡・九州国際大学付属)
51 石川絵美(山梨・甲府商業)
52 菊地絢子(青森・千葉学園)
53 黒川真子(島根・大東)
54 山口絵美(兵庫・園田学園)
55 高崎ちぼ(岐阜・県立岐阜商業)
56 鎌田良(宮城・聖ウルスラ学院)
57 山崎菜穂(福井・足羽)
58 木ノ山絢子(京都・京都明徳)
59 柴山明子(熊本・熊本学園大学付属)
60 羽石順子(栃木・真岡女子)
61 岡林知佐(高知・土佐女子)
62 幡谷好美(富山・高岡西)
63 山下和子(鹿児島・鹿児島女子)
64 本田正恵(愛知・大府)
65 濵口有里(香川・高松商業)
66 渋谷有美(神奈川・北鎌倉女子学園)
67 本田いずみ(南北海道・札幌静修)
68 謝婷婷(埼玉・本庄第一)
69 杉川千夏(鳥取・倉吉工業)
70 末綱聡子(大分・昭和女子)
71 佐藤友紀(山形・山形城北女子)
72 田中ゆう子(長野・岡谷工業)
73 上田絵美(滋賀・滋賀女子)
74 舛田恵(石川・金沢向陽)
75 服部絵美(宮崎・宮崎商業)
76 加藤麻実(愛媛・新居浜西)
77 渡辺靖子(茨城・土浦第三)
78 木戸美奈(和歌山・有田中央)
79 武藤めぐみ(北北海道・帯広三条)
80 守屋仁美(岡山・山陽女子)
81 玉西令奈(徳島・城東)
82 出口文乃(福島・尚志)
83 南指原望美(群馬・前橋東)
84 納富直子(佐賀・佐賀女子)
85 松尾宏美(三重・暁)
86 岸田鈴代(香川・香川中央)
87 福田千恵子(広島・市立広島商業)
88 工藤千夏(秋田・能代西)
89 福岡真理子(奈良・奈良市立一条)
90 金城麻紀(沖縄・那覇西)
91 山田万莉子(東京・日本橋女学館)
92 松田友美(長崎・長崎女子)
93 江部真梨(新潟・新潟青陵)
94 池田あゆみ(静岡・静岡城北)
95 森永裕美(山口・中村女子)
96 柿沼裕美(岩手・盛岡市立)
97 小野亜希子(千葉・東葉)
98 安城美華(大阪・四天王寺)

全国高等学校総合体育大会 栄光のあと

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第1回 昭和25年度 (1950年度) 【神奈川県横浜市】 フライヤージム 関東学院大学 1951年 (昭和26年) 1月12日~1月14日	男子団体	42	関東学院(神奈川)	横浜緑ケ丘(神奈川)	金沢泉ケ丘(石川)	聖学院(東京)
	女子団体	30	札幌東(北海道)	津幡(石川)	新潟中央(新潟)	横須賀第二(神奈川)
	男子複		実施なし			
	女子複		実施なし			
	男子単		実施なし			
	女子単		実施なし			
第2回 昭和26年度 (1951年度) 【北海道札幌市】 北海道大學中央講堂 曙小學校 札幌東高等學校 豊水小學校 1951年 (昭和26年) 8月16日~8月19日	男子団体	42	関東学院(神奈川)	聖学院(東京)	金沢泉ケ丘(石川)	金沢二水(石川)
	女子団体	38	札幌南(北海道)	札幌星園(北海道)	安積女子(福島)	新潟中央(新潟)
	男子複		実施なし			
	女子複		実施なし			
	男子単		実施なし			
	女子単		実施なし			
第3回 昭和27年度 (1952年度) 【香川県善通寺市】 中學校 中央小學校 尽誠學園高等学校 東部小學校 1952年 (昭和27年) 8月7日~8月10日	男子団体	63	金沢二水(石川)	金沢泉ケ丘(石川)	北海(北海道)	関東学院(神奈川)
	女子団体	61	札幌南(北海道)	善通寺第一(香川)	札幌東(北海道)	済美女子(岐阜)
	男子複		実施なし			
	女子複		実施なし			
	男子単		実施なし			
	女子単		実施なし			

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第4回 昭和28年度 (1953年度) 【山形県山形市】 山形県営体育館 五中体育館 1953年 (昭和28年) 8月5日~8月9日	男子団体	65	北海(北海道)	関東学院(神奈川)	関東学院六浦(神奈川)	金沢二水(石川)
	女子団体	69	尚絅女学院(宮城)	黒石(青森)	若松女子(福島)	新潟中央(新潟)
	男子複		実施なし			
	女子複		実施なし			
	男子単		実施なし			
	女子単		実施なし			
第5回 昭和29年度 (1954年度) 【石川県金沢市】 スポーセンター 高岡町中学校 1954年 (昭和29年) 7月31日~8月4日	男子団体	69	金沢二水(石川)	松江商業(島根)	聖学院(東京)	新潟(新潟)
	女子団体	71	坂出(香川)	若松女子(福島)	善通寺第一(香川)	山陽女子(岡山)
	男子複		実施なし			
	女子複		実施なし			
	男子単		実施なし			
	女子単		実施なし			
第6回 昭和30年度 (1955年度) 【兵庫県神戸市】 神戸YMCA 神戸王寺公園体育館 1955年 (昭和30年) 8月2日~8月5日	男子団体	38	聖学院(東京)	金沢二水(石川)	山形市立商業(山形)	新潟(新潟)
	女子団体	39	山陽女子(岡山)	尚絅女学院(宮城)	善通寺第一(香川)	新潟中央(新潟)
	男子複	73	永井栄一 小野岡順一 (聖学院・東京)	北島克英 吉野嘉保 (聖学院・東京)	北方匡 関功 (金沢二水・石川)	小田宏 來海滋 (松江商業・島根)
	女子複	74	友野文子 権田節子 (山陽女子・岡山)	小林桂子 三宅基子 (山陽女子・岡山)	永田豊子 藤田純代 (善通寺第一・香川)	刈部英子 弦巻芽子 (新潟中央・新潟)
	男子単	74	永井栄一 (聖学院・東京)	北島克英 (聖学院・東京)	林七郎 (四日市農芸・三重)	佐藤敦 (新潟・新潟)
	女子単	74	渡辺公子 (函館東・北海道)	佐々木功子 (尚絅女学院・宮城)	永田豊子 (善通寺第一・香川)	篠原広子 (前橋市立女子・群馬)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第7回 昭和31年度 (1956年度) 【宮城県仙台市】 東北大学 宮城学院高校 尚絅女学院高校 宮城県第一女子高校 1956年 (昭和31年) 8月1日~8月5日	男子団体	40	松江商業(島根)	白石(宮城)	黒石(青森)	坂出(香川)
	女子団体	40	善通寺第一(香川)	山陽女子(岡山)	尚絅女学院(宮城)	新潟中央(新潟)
	男子複	78	吉野 嘉保 稲永 満 (聖学院・東京)	星野 忠男 小田 八束 (松江商業・島根)	板垣 隆房 山岸 重孝 (山形市立商・山形)	岡田 弘 小宮 好雄 (関東学院六浦・神奈川)
	女子複	78	横井キヌエ 井上 桂子 (善通寺第一・香川)	山下 衣子 大西 悦子 (善通寺第一・香川)	小林 桂子 戸田 寿子 (山陽女子・岡山)	佐藤 京子 長谷川邦子 (敬愛学園・秋田)
	男子単	79	板垣 隆房 (山形市立商・山形)	吉野 嘉保 (聖学院・東京)	小宮 好雄 (関東学院六浦・神奈川)	本田 晃啓 (北越商業・新潟)
	女子単	78	横井キヌエ (善通寺第一・香川)	戸田 寿子 (山陽女子・岡山)	小林 桂子 (山陽女子・岡山)	沼倉 英子 (尚絅女学院・宮城)
第8回 昭和32年度 (1957年度) 【島根県松江市】 松江市公会堂 松江湖中学校 玉湯中学校 八雲立高校 松江第三中学校 松江第一中学校 松生小学校 農大附属高校 1957年 (昭和32年) 8月20日~8月25日	男子団体	41	山形市立商業(山形)	松江商業(島根)	聖学院(東京)	桐生(群馬)
	女子団体	40	善通寺第一(香川)	敬愛学園(秋田)	前橋市立女子(群馬)	女子聖学院(東京)
	男子複	80	小宮 好雄 落合源一郎 (関東学院六浦・神奈川)	中村 智 時田 靖男 (関東学院・神奈川)	富田 豊 今村 里美 (松江商業・島根)	行形 和也 小木須一郎 (新潟・新潟)
	女子複	79	田島外茂子 山下 久子 (善通寺第一・香川)	宮川ツヤ子 野間アヤ子 (善通寺第一・香川)	北島由紀子 松田富美子 (金城・石川)	渡辺 チエ 福岡 則子 (敬愛学園・秋田)
	男子単	81	小宮 好雄 (関東学院六浦・神奈川)	中村 智 (関東学院・神奈川)	平野 隆 (松江商業・島根)	五十嵐良一 (山形市立商・山形)
	女子単	81	田島外茂子 (善通寺第一・香川)	長田悠喜子 (北陸学院・石川)	尾関 紀子 (函館東・北海道)	小宮山弓利子 (甲府第二・山梨)
第9回 昭和33年度 (1958年度) 【新潟県新潟市】 寄居浦中学校 鏡明小学校 新潟訓盲学校 1958年 (昭和33年) 8月5日~8月10日	男子団体	40	山形南(山形)	津幡(石川)	新潟(新潟)	関東学院六浦(神奈川)
	女子団体	40	善通寺第一(香川)	山陽女子(岡山)	尚絅女学院(宮城)	前橋市立女子(群馬)
	男子複	76	金森 義弘 板垣 善憲 (山形南・山形)	船山 幹広 永井 宏正 (山形南・山形)	五味川恭仁雄 掘田 修世 (札幌工業・北海道)	佐藤 次之 岡崎 恵二 (緑ケ丘・神奈川)
	女子複	77	川 節子 山崎紀久子 (金城・石川)	三森 淳子 木村 政子 (敬愛学園・秋田)	蔵本 文子 有本とみ子 (善通寺第一・香川)	米山 妙子 池田 直子 (尚絅女学院・宮城)
	男子単	76	板垣 善憲 (山形南・山形)	三浦 三作 (富士・静岡)	森 晃一 (奈良商工・奈良)	小松 貴 (西大寺・岡山)
	女子単	78	山崎紀久子 (金城・石川)	間宮美紀子 (芽室・北海道)	伊村 博子 (宇治山田・三重)	中島 玲子 (高岡女子・富山)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第10回 昭和34年度 (1959年度) 【福島県会津若松市】 会津工業高校 若松第二中学校 若松第一中学校 若松教小学校 若松第三四中学校 若松第四中学校 1959年 (昭和34年) 8月7日~8月12日	男子団体	44	山形市立商業(山形)	帯広三条(北海道)	茨木(大阪)	津幡(石川)
	女子団体	41	善通寺第一(香川)	坂出(香川)	敬愛学園(秋田)	金城(石川)
	男子複	84	永井 司 北村 任 (山形市立商業・山形)	山本 洋彦 岡崎 恵二 (横浜緑ケ丘・神奈川)	東条 美昭 井上 清次 (高松商業・香川)	山岡 計三 打田 博保 (神戸商業・兵庫)
	女子複	83	蔵本 文子 有本とみ子 (善通寺第一・香川)	横山 満子 高橋 奉子 (敬愛学園・秋田)	福本 和子 三原 弘美 (善通寺第一・香川)	伊沢 利子 志村セツ子 (富士見・静岡)
	男子単	84	岡崎 恵二 (横浜緑ケ丘・神奈川)	稲井 剛 (高松・香川)	玉井 治之 (茨木・大阪)	久保川正啓 (茨木・大阪)
	女子単	83	蔵本 文子 (善通寺第一・香川)	横山 満子 (敬愛学園・秋田)	福本 和子 (善通寺第一・香川)	関口 ミネ (桐生女子・群馬)
第11回 昭和35年度 (1960年度) 【福岡県久留米市】 B,S,記念ホール 石橋文化センター 久留米大学商学部 久留米市体育館 1960年 (昭和35年) 8月8日~8月13日	男子団体	43	山形市立商業(山形)	横浜緑ケ丘(神奈川)	神戸商業(兵庫)	西大寺(岡山)
	女子団体	43	善通寺第一(香川)	敬愛学園(秋田)	高岡女子(富山)	尚絅女学院(宮城)
	男子複	84	山本 洋彦 岡崎 恵二 (横浜緑ケ丘・神奈川)	阿部 孚 笠原 浮 (新潟商業・新潟)	福島 貞夫 高見 敏 (新潟・新潟)	小林純一郎 内村 隆之 (富士・静岡)
	女子複	81	橘 美智子 酒井美智子 (高岡女子・富山)	高橋 泰子 長崎 文子 (敬愛学園・秋田)	関 禎子 内藤 知子 (吉原・静岡)	影島 妙子 栗田 弘子 (吉原・静岡)
	男子単	84	岡崎 恵二 (横浜緑ケ丘・神奈川)	稲井 剛 (高松・香川)	近藤 利一 (神戸商業・兵庫)	鎌倉 保記 (高松第一・香川)
	女子単	83	横井 文子 (善通寺第一・香川)	橘 美智子 (高岡女子・富山)	高橋 泰子 (敬愛学園・秋田)	高木 紀子 (掛川西・静岡)
第12回 昭和36年度 (1961年度) 【青森県弘前市】 弘前高校 弘前工業高校 弘前市立第三中学校 弘前市立第四中学校 1961年 (昭和36年) 8月2日~8月7日	男子団体	42	新潟商業(新潟)	横浜緑ケ丘(神奈川)	松江商業(島根)	新庄北(山形)
	女子団体	42	敬愛学園(秋田)	新庄南(山形)	真岡女子(栃木)	山陽女子(岡山)
	男子複	83	大竹 紘一 安沢 武司 (新潟商業・新潟)	森谷喜久男 板垣 孝男 (山形市立商業・山形)	中村 富光 松浦 潔 (帯広三条・北海道)	加藤 弘道 小島 一平 (横浜緑ケ丘・神奈川)
	女子複	84	小笠原詔子 渡辺恵美子 (新庄南・山形)	大門モモ子 伊藤美津子 (敬愛学園・秋田)	高木 紀子 天野 博江 (掛川西・静岡)	土井三枝子 横田 洋子 (善通寺第一・香川)
	男子単	84	秋山 真男 (甲府商業・山梨)	大竹 紘一 (新潟商業・新潟)	伊村 隆 (宇治山田・三重)	中村 富光 (帯広三条・北海道)
	女子単	84	望野 政江 (富士見・静岡)	佐藤 弘子 (新庄南・山形)	小笠原詔子 (新庄南・山形)	平田 敦子 (高岡女子・富山)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第13回 昭和37年度 (1962年度) 【富山県高岡市】 高岡市公会堂 高岡市民体育館 高岡女子高校 高岡商業高校 1962年 (昭和37年) 8月3日~8月8日	男子団体	42	聖学院(東京)	山形市立商業(山形)	新潟商業(新潟)	新潟商業(新潟)
	女子団体	43	高岡女子(富山)	敬愛学園(秋田)	新潟中央女子(新潟)	善通寺第一(香川)
	男子複	82	西野 一征 須田 孝夫 (聖学院・東京)	本田 務 荒川 治男 (新潟商業・新形)	棚橋 勝美 小島 一平 (横浜緑ケ丘・神奈川)	佐々木俊則 池上 浩平 (麻生・東京)
	女子複	85	高塚 淳子 重政 百枝 (山陽女子・岡山)	村松 和美 多田みち子 (善通寺第一・香川)	室崎 光子 河村 和子 (高岡女子・富山)	高森 幸子 高田 裕子 (札幌北斗・北海道)
	男子単	82	西野 一征 (聖学院・東京)	小島 一平 (横浜緑ケ丘・神奈川)	斎藤 正勝 (富士・静岡)	斎藤 昭 (山形市立商業・山形)
	女子単	86	高塚 淳子 (山陽女子・岡山)	橘 妙子 (高岡女子・富山)	室崎 光子 (高岡女子・富山)	村松 和美 (善通寺第一・香川)
第14回 昭和38年度 (1963年度) 【山形県鶴岡市】 鶴岡市体育館 鶴岡南高校 鶴岡工業高校 鶴岡北高校 1963年 (昭和38年) 8月2日~8月7日	男子団体	44	新潟商業(新潟)	富山商業(富山)	帯広三条(北海道)	山形市立商業(山形)
	女子団体	45	新潟女子工芸(新潟)	新庄南(山形)	山形城北女子(山形)	敬愛学園(秋田)
	男子複	87	星野 義夫 裏田 光夫 (新潟商業・新形)	鈴木 正造 神田 和夫 (新潟商業・新形)	関 一誠 中村 宏 (聖学院・東京)	白岩 良治 丹野 敬雄 (宮城県工業・宮城)
	女子複	85	加藤 操 石崎 妙子 (新潟女子工芸・新潟)	高橋とも子 渡辺 庸子 (山形城北女子・山形)	後藤 和子 茂沢 純子 (新潟中央・新潟)	高森 幸子 高田 裕子 (札幌北斗・北海道)
	男子単	87	裏田 光夫 (新潟商業・新形)	関 一誠 (聖学院・東京)	中村 宏 (聖学院・東京)	荒岡 政義 (富士・静岡)
	女子単	86	高橋とも子 (山形城北女子・山形)	後藤 和子 (新潟中央・新潟)	高森 幸子 (札幌北斗・北海道)	井川ユキ子 (敬愛学園・秋田)
第15回 昭和39年度 (1964年度) 【京都府京都市】 京都市体育館 府立朱雀高校 平安高校 1964年 (昭和39年) 8月5日~8月10日	男子団体	45	富山商業(富山)	新潟商業(新潟)	秋田経済大付属(秋田)	奈良商工(奈良)
	女子団体	46	敬愛学園(秋田)	布施女子(大阪)	善通寺第一(香川)	高蔵女子商業(愛知)
	男子複	88	高林 弘則 池田 信孝 (富山商業・富山)	立野 政昭 盛野 博之 (高岡商業・富山)	森 芳夫 河村 憲一 (奈良商工・奈良)	佐藤 清志 七戸 邦厚 (弘前・青森)
	女子複	90	竹内 泰子 石本恵美子 (新潟女子工芸・新潟)	高野八重子 渡辺 要子 (新潟中央・新潟)	植木タカ子 大島 コヨ (真岡女子・栃木)	虫賀 雅子 高橋 葉子 (富田女子・岐阜)
	男子単	88	森 芳夫 (奈良商工・奈良)	盛野 博之 (高岡商業・富山)	堀 幸雄 (岐阜工業・岐阜)	佐藤 正俊 (香川・香川)
	女子単	90	佐々木フミ (敬愛学園・秋田)	竹内 泰子 (新潟女子工芸・新潟)	硲 恵美子 (高岡女子・富山)	植木タカ子 (真岡女子・栃木)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第16回 昭和40年度 (1965年度) 【熊本県熊本市】 水前寺陸上競技場 九州女学院高校 熊本女子大学 県立第一高校 尚絅学園 1965年 (昭和40年) 8月1日~8月7日	男子団体	47	富山商業(富山)	高岡商業(富山)	北越商業(新潟)	秋田経済大付属(秋田)
	女子団体	45	真岡女子(栃木)	成安女子(京都)	布施女子(大阪)	山陽女子(岡山)
	男子複	92	栂野尾昌一 寺前信之 (富山商業・富山)	沼沢利一 中村義一 (日本大学山形・山形)	堀幸矩 杉山修 (岐阜工業・岐阜)	児島昇 中島篤行 (北越商業・新潟)
	女子複	88	山本真江 細川泰子 (善通寺第一・香川)	上野明美 石崎喜代子 (真岡女子・栃木)	近藤光枝 才脇妙子 (布施女子・大阪)	佐伯まき子 松井治美 (高岡商業・富山)
	男子単	92	栂野尾昌一 (富山商業・富山)	寺前信之 (富山商業・富山)	沼沢利一 (日本大学山形・山形)	児島昇 (北越商業・新潟)
	女子単	89	近藤光枝 (布施女子・大阪)	山本真江 (善通寺第一・香川)	才脇妙子 (布施女子・大阪)	石崎喜代子 (真岡女子・栃木)
第17回 昭和41年度 (1966年度) 【青森県弘前市】 青森県スポーツセンター 東奥義塾高校 県立弘前南高校 県立弘前中央高校 県立弘前高校 1966年 (昭和41年) 7月31日~8月6日	男子団体	46	宮城県工業(宮城)	高岡商業(富山)	富山商業(富山)	名古屋電気工業(愛知)
	女子団体	47	敬愛学園(秋田)	山陽女子(岡山)	新潟青陵(新潟)	真岡女子(栃木)
	男子複	90	本間順次 高橋宣 (新潟商業・新潟)	市川清 我妻一郎 (宮城県工業・宮城)	牛島秀雄 藤永慎一郎 (富山商業・富山)	山口勇 植芳雄 (新宮・和歌山)
	女子複	92	本間恵美子 日下悦子 (新潟青陵・新潟)	浦口恵子 湯木博江 (山陽女子・岡山)	小山登茂子 遠藤幹子 (新庄南・山形)	土井治子 岡部フサ子 (善通寺第一・香川)
	男子単	91	本間順次 (新潟商業・新潟)	我妻一郎 (宮城県工業・宮城)	市川清 (宮城県工業・宮城)	高橋宣 (新潟商業・新潟)
	女子単	92	湯木博江 (山陽女子・岡山)	浦口恵子 (山陽女子・岡山)	遠藤幹子 (新庄南・山形)	小笠原悦子 (門司商業・福岡)
第18回 昭和42年度 (1967年度) 【石川県金沢市】 石川県体育館 金城高校 金沢女子短期大学 1967年 (昭和42年) 8月7日~8月13日	男子団体	46	金沢市立工業(石川)	奈良市立一条(奈良)	新潟商業(新潟)	高岡商業(富山)
	女子団体	48	新潟青陵(新潟)	東大阪(大阪)	富田女子(岐阜)	真岡女子(栃木)
	男子複	91	松島保 米田実 (富山商業・富山)	笠井好美 笠井教行 (富士・静岡)	山本秀夫 松本広行 (金沢市立工業・石川)	高来秀夫 流裕一 (金沢市立工業・石川)
	女子複	94	相沢マチ子 金子美和子 (新潟青陵・新潟)	田仲美津江 枝加代子 (真岡女子・栃木)	池田栄子 平山泰子 (東大阪・大阪)	岡崎繁子 湯浅智恵子 (成安女子・京都)
	男子単	92	米田実 (富山商業・富山)	黒田博 (金沢・石川)	植田寛 (正強・奈良)	牧野光男 (高岡商業・富山)
	女子単	94	高坂薫 (新潟中央・新潟)	相沢マチ子 (新潟青陵・新潟)	池田栄子 (東大阪・大阪)	奈良岡洋子 (弘前聖愛・青森)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第19回 昭和43年度 (1968年度) 【広島県福山市】 福山葦陽高校 城北中学校 城南中学校 鷹取中学校 福山商業高校 向ケ丘中学校 1968年 (昭和43年) 7月28日~8月3日	男子団体	47	高岡商業(富山)	金沢市立工業(石川)	三条商業(新潟) 日本大学山形(山形)
	女子団体	48	東大阪(大阪)	新潟青陵(新潟)	敬愛学園(秋田) 成安女子(京都)
	男子複	92	草島 正治 布目 茂 (富山商業・富山)	二上 敏博 宮林 照男 (高岡商業・富山)	松田 重喜 遠藤 好男 三野 修二 田所 光男 (高松商業・香川) (日本大学山形・山形)
	女子複	94	早坂 照代 柿崎きち子 (新庄南・山形)	清水シズエ 藤田千代子 (真岡女子・栃木)	高崎 弘子 陣内 裕子 大場 照美 村田 悦子 (東大阪・大阪) (成安女子・京都)
	男子単	92	二上 敏博 (高岡商業・富山)	足立 守男 (岐阜東・岐阜)	遠藤 好男 田所 光男 (日本大学山形・山形) (日本大学山形・山形)
	女子単	94	平山 泰子 (東大阪・大阪)	堀川栄美子 (新潟青陵・新潟)	豊田 敏子 橋本香代子 (真岡女子・栃木) (真岡女子・栃木)
第20回 昭和44年度 (1969年度) 【群馬県桐生市】 桐生市民体育館 県立桐生工業高校 県立桐生高校 1969年 (昭和44年) 8月1日~8月7日	男子団体	48	金沢市立工業(石川)	桐生市立商業(群馬)	高岡商業(富山) 富山商業(富山)
	女子団体	48	東大阪(大阪)	成安女子(京都)	真岡女子(栃木) 新潟青陵(新潟)
	男子複	92	尾崎 幹雄 中川 達次 (富山商業・富山)	内田 通夫 桐生台次郎 (桐生市立商業・群馬)	小林 一行 小中 雅樹 渡辺 稔 村谷 信之 (桐生市立商業・群馬) (金沢市立工業・石川)
	女子複	94	高崎 弘子 柴山きよ子 (東大阪・大阪)	及川 恵子 脇田 和子 (富田女子・岐阜)	坂本 恵子 陣内 裕子 大場 照美 岡崎 幸子 (東大阪・大阪) (成安女子・京都)
	男子単	92	尾崎 幹雄 (富山商業・富山)	舟山 敏彦 (秋田経済大付属・秋田)	内田 通夫 小中 雅樹 (桐生市立商業・群馬) (金沢市立工業・石川)
	女子単	94	柴山きよ子 (東大阪・大阪)	石崎 茂子 (真岡女子・栃木)	陣内 裕子 高崎 弘子 (成安女子・京都) (東大阪・大阪)
第21回 昭和45年度 (1970年度) 【愛知県名古屋市】 愛知県体育館 1970年 (昭和45年) 7月27日~8月2日	男子団体	47	富山商業(富山)	新潟商業(新潟)	伊勢工業(伊勢) 正強(奈良)
	女子団体	47	真岡女子(栃木)	成安女子(京都)	新庄南(山形) 四條畷学園(大阪)
	男子複	94	森田 勉 松島 信之 (富山商業・富山)	山田 秀雄 竹野 繁博 (新潟商業・新潟)	巽 康司 日下 昇 西川 繁美 曾根 辰也 (正強・奈良) (高松第一・香川)
	女子複	94	陣内 裕子 岡崎 幸子 (成安女子・京都)	西尾真理子 秋本八代美 (四條畷学園・大阪)	清水 良子 谷 美津代 矢口 節子 尼崎 初子 (新庄南・山形) (成安女子・京都)
	男子単	92	西村 美鶴 (富山商業・富山)	銭谷 欽治 (大聖寺・石川)	金田 竜造 市村 栄文 (天理・奈良) (日本大学鶴ケ丘・東京)
	女子単	92	陣内 裕子 (成安女子・京都)	秋本八代美 (四條畷学園・大阪)	西尾真理子 佐伯 智子 (四條畷学園・大阪) (奈良市立一条・奈良)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第22回 昭和46年度 (1971年度) 【香川県善通寺市】 善通寺市立東中学校 四国学院大学 善通寺市立西中学校 善通寺市立東部小学校 1971年 (昭和46年) 8月1日~8月7日	男子団体	47	正強(奈良)	日本大学山形(山形)	高松商業(香川) 高岡商業(富山)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	成安女子(京都)	鶴鳴女子(長崎) 奈良市立一条(奈良)
	男子複	92	米山 正和 中島 良治 (日本大学山形・山形)	中原 敏和 木下 元則 (高松商業・香川)	佐野 強 大場 和博 西川 繁美 秋葉 博 (正強・奈良) (山形工業・山形)
	女子複	95	西尾真理子 秋本八代美 (四條畷学園・大阪)	佐伯 智子 古谷 成代 (奈良市立一条・奈良)	本間 浩子 白玖 里子 矢口 節子 大矢根靖子 (新庄南・山形) (善通寺第一・香川)
	男子単	92	下田 春樹 (富山商業・富山)	米山 正和 (日本大学山形・山形)	西川 繁美 土田 証雄 (正強・奈良) (三条商業・新潟)
	女子単	96	秋本八代美 (四條畷学園・大阪)	佐伯 智子 (奈良市立一条・奈良)	西尾真理子 古谷 成代 (四條畷学園・大阪) (奈良市立一条・奈良)
第23回 昭和47年度 (1972年度) 【山形県新庄市】 新庄市体育館 新庄工業体育館 新庄農業体育館 新庄南高校 新庄中学校 1972年 (昭和47年) 8月1日~8月6日	男子団体	47	正強(奈良)	岐阜東(岐阜)	金沢市立工業(石川) 日本大学山形(山形)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	新庄南(山形)	安孫子二階堂(千葉) 奈良市立一条(奈良)
	男子複	92	中井 基夫 南田 義正 (正強・奈良)	秋葉 博 三井 幸嗣 (山形工業・山形)	渡辺 秀明 原 敏夫 菅野 隆 林 芳宏 (山形東・山形) (金沢市立工業・石川)
	女子複	96	徳田 敦子 秋本 幸子 (四條畷学園・大阪)	諸橋 典子 高田 幹子 (四條畷学園・大阪)	三田 明美 矢口 洋子 寺見みどり 今田真知子 (山陽女子・岡山) (新庄南・山形)
	男子単	92	中井 基夫 (正強・奈良)	辻 敏弘 (添上・奈良)	須藤 茂 原 敏夫 (東奥義塾・青森) (金沢市立工業・石川)
	女子単	96	秋本 幸子 (四條畷学園・大阪)	徳田 敦子 (四條畷学園・大阪)	沼能 久子 本田 励子 (真岡女子・栃木) (千葉学園・青森)
第24回 昭和48年度 (1973年度) 【三重県四日市市】 四日市市中央緑地体育館 三菱油化体育館 大協石油体育館 1973年 (昭和48年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	金沢市立工業(石川)	日本大学山形(山形)	正強(奈良) 勝山(福井)
	女子団体	50	四條畷学園(大阪)	安孫子二階堂(千葉)	成安女子(京都) 真岡女子(栃木)
	男子複	94	西村 正美 梶川 博之 (富山商業・富山)	池田 文昭 松重 恵三 (正強・奈良)	平野 慶一 榎 博久 長谷川博幸 中谷 明人 (勝山・福井) (日本大学鶴ケ丘・東京)
	女子複	98	徳田 敦子 高田 幹子 (四條畷学園・大阪)	井上 昌子 朝日 昌子 (成安女子・京都)	日向野藤枝 山田美根子 石田 尚子 野中ミチ子 (真岡女子・栃木) (長崎商業・長崎)
	男子単	95	西村 正美 (富山商業・富山)	池田 文昭 (正強・奈良)	工藤 吉彦 辰己 秀雄 (東奥義塾・青森) (奈良市立一条・奈良)
	女子単	98	徳田 敦子 (四條畷学園・大阪)	井上 昌子 (成安女子・京都)	朝日 昌子 桜井 誠子 (成安女子・京都) (市立尼崎・兵庫)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第25回 昭和49年度 (1974年度) 【佐賀県嬉野町・塩田町】 嬉野町社会体育館 県立嬉野商業高校 県立塩田工業高校 塩田町立塩田中学校 1974年 (昭和49年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	正強(奈良)	日本大学山形(山形)	金沢市立工業(石川) 勝山(福井)
	女子団体	50	新潟青陵(茨城)	四條畷学園(大阪)	藤園女子(富山) 善通寺第一(香川)
	男子複	95	諏訪 芳博 長谷川博幸 (勝山・福井)	滝川 修 船本 圭樹 (金沢市立工業・石川)	福本信太郎 塚本 良一 菅 敏明 小倉 久和 (慶浦・長崎) (奈良市立一条・奈良)
	女子複	98	関根 和子 大塚ソノエ (新潟青陵・新潟)	原田美智子 藤原 敦子 (山陽女子・岡山)	辻 かおる 海老恵美子 貝瀬かほり 平野 幸 (成安女子・京都) (新潟青陵・新潟)
	男子単	96	長谷川博幸 (勝山・福井)	滝川 修 (金沢市立工業・石川)	小林 康男 成田 勧次 (逗子開成・神奈川) (日本大学鶴ケ丘・東京)
	女子単	98	植野恵美子 (四條畷学園・大阪)	山本 邦子 (奈良市立一条・奈良)	大塚ソノエ 原田美智子 (新潟青陵・新潟) (山陽女子・岡山)
第26回 昭和50年度 (1975年度) 【茨城県水戸市】 水戸市民体育館 県立スポーツセンター 県立水戸第二高校 1975年 (昭和50年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	金沢市立工業(石川)	正強(奈良)	石岡第一(茨城) 仙台商業(宮城)
	女子団体	50	四條畷学園(大阪)	琴平(香川)	成安女子(京都) 藤花(石川)
	男子複	96	吉岡 信治 富田 章夫 (正強・奈良)	宮森 庄吉 酒井 直人 (金沢市立工業・石川)	峰 寛文 小浜 充弘 上原 明 小倉 久和 (高松商業・香川) (奈良市立一条・奈良)
	女子複	98	植野恵美子 石川 好子 (四條畷学園・大阪)	佐藤 真弓 雑賀富士子 (園田学園・兵庫)	米倉よし子 山本 邦子 山西 百恵 桐山 綾子 (藤園女子・富山) (奈良市立一条・奈良)
	男子単	96	林田 草樹 (九州学院・熊本)	菅原 敬二 (千厩・岩手)	宮森 庄吉 坂本 宏志 (金沢市立工業・石川) (七尾農業・石川)
	女子単	98	植野恵美子 (四條畷学園・大阪)	米倉よし子 (藤園女子・富山)	石田ひとみ 北村寿弥子 (藤花・石川) (四條畷学園・大阪)
第27回 昭和51年度 (1976年度) 【長野県中野市】 中野市民会館 中野市民体育館 中野高校 1976年 (昭和51年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	金沢市立工業(石川)	九州学院(熊本)	比叡山(滋賀) 奈良市立一条(奈良)
	女子団体	50	四條畷学園(大阪)	新潟青陵(新潟)	土佐女子(高知) 真岡女子(栃木)
	男子複	96	平野 勝彦 上原 明 (高松商業・香川)	山西 友行 森井 弘善 (伊勢工業・三重)	工藤 重信 小浜 充弘 伊藤 洋一 諸多 博之 (日本大学山形・山形) (奈良市立一条・奈良)
	女子複	98	平 久美子 石川 好子 (四條畷学園・大阪)	青木 恵子 藤井 良子 (新潟青陵・新潟)	徳永 順子 浜田 由理 喜多川昌子 田村 圭香 (巣鴨女子・東京) (土佐女子・高知)
	男子単	96	宍戸 隆夫 (塩釜・宮城)	諸多 博之 (奈良市立一条・奈良)	重山 成生 北橋 進 (金沢市立工業・石川) (比叡山・滋賀)
	女子単	98	石川 好子 (四條畷学園・大阪)	河村 茂美 (四條畷学園・大阪)	南雲 栄子 柴田 真弓 (渋川女子・群馬) (滋賀女子・滋賀)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第28回 昭和52年度 (1977年度) 【岡山県倉敷市】 倉敷市民会館 倉敷中央体育館 倉敷中学校 倉敷天城高校 倉敷南高校 1977年 (昭和52年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川)	高岡商業(富山) 琉浦(沖縄)
	女子団体	50	四条畷学園(大阪)	新潟青陵(新潟)	千葉学園(千葉) 奈良市立一条(奈良)
	男子複	96	矢部 忠司 西山 博司 (比叡山・滋賀)	樋岡 俊児 吉村 輝高 (奈良市立一条・奈良)	丹藤 勇一 玉村 琢二 楠美 誠悦 海道 昌孝 (東奥義塾・青森) (藤島・福井)
	女子複	98	平 久美子 河村 茂美 (四條畷学園・大阪)	末兼 真弓 北田スミ子 (四條畷学園・大阪)	阿部 俊子 山下奈々子 横田 悦代 葛西 明子 (奈良市立一条・奈良) (千葉学園・青森)
	男子単	96	西山 博司 (比叡山・滋賀)	漆原 享 (日本大学鶴ケ丘・東京)	宮本 幸弘 喜良 明文 (九州学院・熊本) (柳井工業・山口)
	女子単	98	原口 恵子 (四條畷学園・大阪)	高野 和代 (新潟青陵・新潟)	斎藤 桂子 星川喜恵子 (新潟青陵・新潟) (札幌静修・北海道)
第29回 昭和53年度 (1978年度) 【福島県会津若松市】 会津若松市民会館 会津体育館 会津工業高校 会津高校 会津女子高校 若松女子高校 若松第二中学校 富士通(株)会津工場 1978年 (昭和53年) 8月3日~8月8日	男子団体	48	九州学院(熊本)	日本大学山形(山形)	比叡山(滋賀) 会津工業(福島)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	熊本中央女子(熊本)	藤園女子(富山) 新潟青陵(新潟)
	男子複	96	本石 俊憲 権藤 浩二 (九州学院・熊本)	五十嵐正弘 須貝 英徳 (日本大学山形・山形)	白取 明人 富塚 充 高橋 政勝 高橋 直樹 (東奥義塾・青森) (日本大学山形・山形)
	女子複	98	合川 裕子 北田スミ子 (四條畷学園・大阪)	中沢 一枝 斎藤 優子 (新潟青陵・新潟)	三田知佳子 上野加代子 中田 朋子 高田 康子 (藤園女子・富山) (真岡女子・栃木)
	男子単	96	権藤 浩二 (九州学院・熊本)	吉村 輝高 (奈良市立一条・奈良)	桜井 雅人 須貝 英徳 (日本大学山形・山形) (日本大学山形・山形)
	女子単	98	北田スミ子 (四條畷学園・大阪)	中沢 一枝 (新潟青陵・新潟)	月岡 広美 原口 恵子 (新潟青陵・新潟) (四條畷学園・大阪)
第30回 昭和54年度 (1979年度) 【滋賀県大津市】 大津市民会館 皇子が丘公園体育館 大津商業高校 皇子山中学校 唐崎中学校 唐崎小学校 1979年 (昭和54年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	今市(栃木)	比叡山(滋賀)	九州学院(熊本) 石岡第一(茨城)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	新潟青陵(新潟)	比叡山(滋賀) 園田学園(兵庫)
	男子複	96	村上 英介 権藤 浩二 (九州学院・熊本)	岡野 佳浩 小西 太 (高松商業・香川)	伊藤 雅弘 桜場 光浩 峰 登志郎 井上 克己 (越ケ谷・埼玉) (大河原商業・宮城)
	女子複	98	富田美千代 北田スミ子 (四條畷学園・大阪)	高峯 和子 陣内貴美子 (熊本中央女子・熊本)	原田 純子 植田日出子 河原奈緒美 松田 全代 (園田学園・兵庫) (四條畷学園・大阪)
	男子単	96	権藤 浩二 (九州学院・熊本)	馬場 良浩 (今市・栃木)	坂井外喜男 村本 幹夫 (金沢市立工業・石川) (七尾工業・石川)
	女子単	98	北田スミ子 (四條畷学園・大阪)	原田 純子 (園田学園・兵庫)	西村美千代 青山 寿美 (比叡山・滋賀) (成安女子・京都)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第31回 昭和55年度 (1980年度) 【香川県善通寺市】 尽誠学園高校 四国学院大学 善通寺市立西中学校 善通寺市立東中学校 善通寺市立中央小学校 1980年 (昭和55年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	比叡山(滋賀)	今市(栃木)	九州学院(熊本) 正強(奈良)
	女子団体	49	熊本中央女子(熊本)	新潟青陵(新潟)	高岡女子(富山) 千葉学園(青森)
	男子複	96	山本 裕幸 馬杉 武司 (比叡山・滋賀)	大島 正志 大堀 円 (今市・栃木)	西本 幸夫 松野 修二 上田 哲夫 宮 健次 (高岡第一・富山) (日川・山梨)
	女子複	98	高峯 和子 陣内貴美子 (熊本中央女子・熊本)	野上 満子 山内 美子 (新潟青陵・新潟)	川口美由紀 高橋アキ子 佐野 静枝 湯沢 紀子 (川口女子・埼玉) (小山城南・栃木)
	男子単	96	井上 哲章 (熊本商大付属・熊本)	山本 裕幸 (比叡山・滋賀)	松野 修二 大島 正志 (日川・山梨) (今市・栃木)
	女子単	98	高峯 和子 (熊本中央女子・熊本)	陣内貴美子 (熊本中央女子・熊本)	野上 満子 山内 佳子 (新潟青陵・新潟) (高松中央・香川)
第32回 昭和56年度 (1981年度) 【神奈川県平塚市・藤沢市】 平塚市民センター 平塚市立見附台体育館 藤沢市秩父宮記念体育館 善通寺市立東中学校 県立藤沢工業高校 1981年 (昭和56年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	日川(山梨)	日本大学(神奈川)	比叡山(滋賀) 奈良市立一条(奈良)
	女子団体	49	熊本中央女子(熊本)	高岡女子(富山)	四條畷学園(大阪) 新潟青陵(新潟)
	男子複	96	松野 修二 宮 健次 (日川・山梨)	羽田 義仁 村松 博 (金沢市立工業・石川)	佐々木朝幸 片岡 泰 葛西 孝輝 辻田 泰昌 (東奥義塾・青森) (比叡山・滋賀)
	女子複	98	井村 由美 陣内貴美子 (熊本中央女子・熊本)	石崎咲知子 山内 美子 (新潟青陵・新潟)	森山 弘美 山内 佳子 三田 純子 佃 貴子 (熊本信愛女学院・熊本) (高松中央・香川)
	男子単	96	松浦 進二 (草津・滋賀)	松野 修二 (日川・山梨)	豊田 裕 村松 博 (日本大学・神奈川) (金沢市立工業・石川)
	女子単	98	陣内貴美子 (熊本中央女子・熊本)	山内 佳子 (高松中央・香川)	田向 和子 永井 明美 (高岡女子・富山) (高松中央・香川)
第33回 昭和57年度 (1982年度) 【鹿児島県枕崎市・加世田市】 枕崎市総合体育館 枕崎高校 枕崎小学校 加世田市体育館 加世田農業高校 1982年 (昭和57年) 8月1日~8月6日	男子団体	48	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川)	市立尼崎(兵庫) 桐生市立商業(群馬)
	女子団体	49	熊本信愛女学院(熊本)	小山城南(栃木)	滋賀女子(滋賀) 高松中央(香川)
	男子複	97	中谷 敏昭 見市 昌弘 (奈良市立一条・奈良)	辻田 泰昌 杉本 吉雄 (比叡山・滋賀)	西川 勉 山尾 克則 前川 正則 羽田 憲治 (比叡山・滋賀) (金沢市立工業・石川)
	女子複	98	高峯 尚子 青木きよみ (熊本中央女子・熊本)	森山 弘美 三田 純子 (熊本信愛女学院・熊本)	三沢真奈美 相馬由美子 岡崎 仁子 野村 裕子 (小山城南・栃木) (弘前学院聖愛・青森)
	男子単	98	柳谷 辰哉 (弘前南・青森)	辻田 泰昌 (比叡山・滋賀)	見市 昌弘 山尾 克則 (奈良市立一条・奈良) (金沢市立工業・石川)
	女子単	98	鴻原 春美 (四條畷学園・大阪)	松田太嘉子 (四條畷学園・大阪)	永井 明美 森山 弘美 (高松中央・香川) (熊本信愛女学院・熊本)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第34回 昭和58年度 (1983年度) 【愛知県豊橋市】 豊橋市公会堂 豊橋市体育館 豊橋市北部地区体育館 県立時習館高校 県立豊橋工業高校 1983年 (昭和58年) 8月2日~8月7日	男子団体	49	奈良市立一条(奈良)	比叡山(滋賀)	日川(山梨) 柳井工業(山口)
	女子団体	49	熊本中央女子(熊本)	千葉学園(青森)	小山城南(栃木) 四條畷学園(大阪)
	男子複	98	川本 英明 林 謙一 (九州学院・熊本)	勅使川原 尚 藤咲 勇一 (桐生市立商業・群馬)	宮 康二 志村 裕喜 (日川・山梨) 加藤 安史 長谷川典靖 (日本大学山形・山形)
	女子複	98	鴻原 春美 新木 貴子 (四條畷学園・大阪)	上村 美香 平野真由美 (熊本信愛女学院・熊本)	根本まゆみ 須藤千代子 (小山城南・栃木) 原田真理恵 本田みどり (新潟青陵・新潟)
	男子単	98	江藤 裕樹 (比叡山・滋賀)	見市 昌弘 (奈良市立一条・奈良)	福田 実 (小松原・埼玉) 佐藤 浩 (市立尼崎・兵庫)
	女子単	98	鴻原 春美 (四條畷学園・大阪)	小泉 陽子 (園田学園・兵庫)	青木きよみ (熊本中央女子・熊本) 上村 美香 (熊本信愛女学院・熊本)
第35回 昭和59年度 (1984年度) 【秋田県大曲市】 大曲仙北國民体育館 県立大曲工業高校 県立大曲農業高校 大曲市立大曲中学校 大曲市立大曲小学校 1984年 (昭和59年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	比叡山(滋賀)	上尾(埼玉)	金沢市立工業(石川) 日川(山梨)
	女子団体	49	上尾(埼玉)	熊本信愛女学院(熊本)	小山城南(栃木) 四條畷学園(大阪)
	男子複	98	中川 健 江藤 裕樹 (比叡山・滋賀)	畴津耕太郎 正田 章二 (日本大学鶴ケ丘・滋賀)	荒木 純 宇田 大介 (金沢市立工業・北海道) 中條 起希 石橋 隆 (小松原・埼玉)
	女子複	98	米津ゆかり 林 幸枝 (熊本信愛女学院・熊本)	高原 恵美 西田美和子 (千葉学園・青森)	若井 郁子 小池由扶子 (新潟青陵・新潟) 徳光由美子 谷地 春子 (千葉学園・青森)
	男子単	98	江藤 裕樹 (比叡山・滋賀)	濱北 和彦 (熊本商科大付属・熊本)	鶴田 直行 (九州学院・熊本) 生井沢勝美 (上尾・埼玉)
	女子単	98	新木 貴子 (四條畷学園・大阪)	今村 薫 (四條畷学園・大阪)	永須 実香 (名渓学園・茨城) 今野 裕子 (上尾・埼玉)
第36回 昭和60年度 (1985年度) 【石川県金沢市・高松町・七塚町・宇ノ気町】 文教会館 石川県体育館 小将町中学校 高松中学校 河北台健民体育館 宇ノ気小学校 1985年 (昭和60年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	上尾(埼玉)	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川) 熊本商科大付属(熊本)
	女子団体	49	新潟青陵(新潟)	比叡山(滋賀)	高岡女子(富山) 小山城南(栃木)
	男子複	98	生井沢勝美 菊地 修 (上尾・埼玉)	気谷 篤人 山本 明彦 (金沢市立工業・石川)	中川 守 西島 弘幸 (金沢市立工業・石川) 岩渕 公一 石橋 隆 (小松原・埼玉)
	女子複	98	田島 志乃 田代美智世 (熊本中央女子・熊本)	今村 薫 片岡 明子 (四條畷学園・大阪)	青戸 香織 小池由扶子 (新潟青陵・新潟) 北浦 道代 間芝 睦美 (比叡山・滋賀)
	男子単	98	生井沢勝美 (上尾・埼玉)	濱北 和彦 (熊本商科大付属・熊本)	佐藤 輝行 (足羽・福井) 山本 明彦 (金沢市立工業・石川)
	女子単	98	北浦 道代 (比叡山・滋賀)	田島 志乃 (熊本中央女子・熊本)	今村 薫 (四條畷学園・大阪) 横手智江美 (千葉学園・青森)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第37回 昭和61年度 (1986年度) 【山口県下関市】 下関市民会館 下関市体育館 下関商業高校 県立下関中央工業高校 県立下関南高校 梅光女学院大学短期大学部 1986年 (昭和61年) 8月1日～8月6日	男子団体	49	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川)	弘前工業(青森) 柏原(大阪)
	女子団体	49	千葉学園(青森)	常総学院(茨城)	高松中央(香川) 四條畷学園(大阪)
	男子複	98	中川 敏治 町田 文彦 (上尾・埼玉)	小本 義久 中村 伸哉 (九州学院・熊本)	伊藤 隆宏 岩佐 延寿 林 秀行 奥石 努 (札幌第一・北海道) (日川・山梨)
	女子複	98	安達 優子 渡辺喜美子 (熊本中央女子・熊本)	長井 麻紀 大村 和代 (夙川学院・兵庫)	道上 彰子 堀尾 真理 山白 麻紀 松長 美和 (高松中央・香川) (奈良市立一条・奈良)
	男子単	98	町田 文彦 (上尾・埼玉)	小本 義久 (九州学院・熊本)	諏訪 隆博 山口 哲浩 (勝山・福井) (比叡山・滋賀)
	女子単	98	乳井 智秋 (千葉学園・青森)	捧 匡子 (新潟青陵・新潟)	松尾 知美 道上 彰子 (熊本信愛女学院・熊本) (高松中央・香川)
第38回 昭和62年度 (1987年度) 【北海道登別市】 登別市民会館 日本工学院北海道専門学校 登別市立総合体育館 (学校法人)登別大谷高校 登別市立幌別小学校 登別市立幌別西小学校 1987年 (昭和62年) 8月1日～8月6日	男子団体	49	比叡山(滋賀)	熊本商科大付属(熊本)	常総学院(茨城) 弘前工業(青森)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	熊本中央女子(熊本)	千葉学園(青森) 常総学院(茨城)
	男子複	98	石井 隆 関根 英勝 (越谷南・埼玉)	鈴木 秀二 内村 剛 (上尾・埼玉)	藤本 謙治 岩佐 延寿 村井 秀樹 奥石 努 (札幌第一・北海道) (日川・山梨)
	女子複	98	中原 敬子 甲斐 美和 (熊本中央女子・熊本)	北川 実子 三ツ川貴子 (四條畷学園・大阪)	南里 高子 江良 智子 南里 泰子 田畑 美香 (四條畷学園・大阪) (熊本中央女子・熊本)
	男子単	98	渡辺 清一 (花北商業・岩手)	佐賀 史昭 (作新学院・栃木)	鈴木草麻生 奥石 努 (比叡山・滋賀) (日川・山梨)
	女子単	98	宮村 愛子 (熊本中央女子・熊本)	捧 匡子 (新潟青陵・新潟)	乳井 智秋 南里 高子 (千葉学園・青森) (四條畷学園・大阪)
第39回 昭和63年度 (1988年度) 【兵庫県宝塚市】 宝塚市立スポーツセンター 宝塚市立スポーツ センター総合体育館 県立宝塚北高校 三和銀行逆瀬川体育館 夙川学院高校増谷記念館 1988年 (昭和63年) 8月3日～8月8日	男子団体	49	上尾(埼玉)	常総学院(茨城)	金沢市立工業(石川) 札幌第一(北海道)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	熊本中央女子(熊本)	佐賀女子(佐賀) 常総学院(茨城)
	男子複	98	中橋 一晃 平井 肇 (比叡山・滋賀)	藤本 謙治 村井 秀樹 (札幌第一・北海道)	高村 誠也 渋谷 和裕 境 恵司 甲斐 誠 (熊本商科大付属・熊本) (小松原・埼玉)
	女子複	98	中原 敬子 甲斐 美和 (熊本中央女子・熊本)	藤本 暢子 佐々木 忍 (熊本中央女子・熊本)	近藤 洋子 吉田 悦子 原 佳子 小泉 友紀 (新潟青陵・新潟) (園田学園・兵庫)
	男子単	98	須賀 隆弘 (上尾・埼玉)	大谷 知昌 (上尾・埼玉)	伊藤 誠 手島 耕二 (八幡大学付属・福岡) (日本大学・神奈川)
	女子単	98	水井 妃佐子 (四條畷学園・大阪)	宮村 愛子 (熊本中央女子・熊本)	山崎 美紀 小泉 友紀 (高岡女子・富山) (園田学園・兵庫)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第40回 平成元年度 (1989年度) 【高知県高知市】 県民文化ホール 高知ぢばさんセンター 土佐女子高校 県立高知追手前高校 県立高知丸の内高校 1989年 (平成元年) 8月3日~8月8日	男子団体	49	熊本商科大付属(熊本)	越谷南(埼玉)	日本大学(神奈川)　札幌第一(北海道)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	熊本中央女子(新潟)	佐賀女子(佐賀)　常総学院(茨城)
	男子複	97	佐藤 嘉伸 郷路 一郎 (札幌第一・北海道)	片山 卓哉 久保田雄三 (越谷南・埼玉)	田上 厚志　前田 尚史 本田 和裕　池端 和政 (熊本商科大付属・熊本)　(熊本商科大付属・熊本)
	女子複	98	宮村 愛子 松田 治子 (熊本中央女子・熊本)	阪本 雅子 渡邉真由美 (熊本信愛女学院・熊本)	中橋 利美　矢野 直子 多田 久美　橋本 淳子 (金沢向陽・石川)　(聖ウルスラ学院・宮城)
	男子単	97	磯部 和弘 (常総学院・茨城)	霜上 和宏 (熊本商科大付属・熊本)	久保田雄三　小河原 崇 (越谷南・埼玉)　(比叡山・滋賀)
	女子単	98	水井 妃佐子 (四條畷学園・大阪)	宮村 愛子 (熊本中央女子・熊本)	朽木 浩美　井田 貴子 (高岡女子・富山)　(埼玉栄・埼玉)
第41回 平成2年度 (1990年度) 【宮城県塩竈市・松島町】 塩竈市体育館 宮城県塩竈高校 塩竈市立第三中学校 塩竈市立月見ケ丘小学校 松島第二町民体育館 宮城県松島高校 1990年 (平成2年) 7月31日~8月5日	男子団体	49	常総学院(茨城)	金沢市立工業(石川)	熊本商科大付属(熊本)　上尾(埼玉)
	女子団体	49	佐賀女子(佐賀)	埼玉栄(埼玉)	聖ウルスラ学院(熊本)　熊本信愛女学院(熊本)
	男子複	98	斎藤 嘉伸 大山 宏司 (常総学院・茨城)	山浦 元樹 沼尻 裕昭 (常総学院・茨城)	岡部 英明　蓑 浩之 本田 和裕　山形 誠 (熊本商科大付属・熊本)　(関東第一・東京)
	女子複	98	阪本 雅子 渡邉真由美 (熊本信愛女学院・熊本)	小吹 夏子 堤 眞由美 (常総学院・茨城)	篠原 久子　山田 裕美 寺尾 美紀　橋本 淳子 (佐賀女子・佐賀)　(聖ウルスラ学院・宮城)
	男子単	98	岸田 明宏 (此花学院・大阪)	中野 圭昌 (勝山・福井)	太田 慎二　本田 和裕 (千葉敬愛・千葉)　(熊本商科大付属・熊本)
	女子単	98	井田 貴子 (埼玉栄・埼玉)	阪本 雅子 (熊本信愛女学院・熊本)	橋本 淳子　寺尾 美紀 (聖ウルスラ学院・宮城)　(佐賀女子・佐賀)
第42回 平成3年度 (1991年度) 【静岡県富士市】 富士市立富士体育館 大昭和製紙(株)吉永工場 県立吉原工業高校 静岡県富士見高校 富士勤労者体育センター 1991年 (平成3年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	常総学院(茨城)	金沢二水(石川)	宮城県工業(宮城)　上尾(埼玉)
	女子団体	49	熊本中央女子(大阪)	聖ウルスラ学院(宮城)	常総学院(茨城)　埼玉栄(埼玉)
	男子複	98	石橋 秀法 太田 慎二 (千葉敬愛・千葉)	水沢 直哉 福田 光伸 (札幌第一・北海道)	山浦 元樹　福田 茂 沼尻 裕昭　片岡 直茂 (常総学院・茨城)　(芦北・熊本)
	女子複	98	山田 裕美 橋本 淳子 (聖ウルスラ学院・宮城)	佐藤 純子 川崎由紀子 (常総学院・茨城)	中山智香子　高村紀三子 増茂 孝枝　宮村亜貴子 (旭川実業・北海道)　(熊本中央女子・熊本)
	男子単	98	片岡詔市郎 (此花学院・大阪)	太田 慎二 (千葉敬愛・千葉)	平間 章雄　石本 明男 (前橋東・群馬)　(金沢市立工業・石川)
	女子単	98	水井 泰子 (四條畷学園・大阪)	大田 貴子 (四天王寺・大阪)	佐藤 純子　河口奈緒美 (常総学院・茨城)　(富山商業・福井)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第43回 平成4年度 (1992年度) 【宮崎県西都市・高鍋町】 高鍋町中央公民館ホール 高鍋町総合体育館 県立高鍋高校 西都市民体育館 県立妻高校 1992年 (平成4年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	常総学院(茨城)	芦北(熊本)	関東第一(東京)　札幌第一(北海道)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	聖ウルスラ学院(宮城)	熊本中央女子(熊本)　常総学院(茨城)
	男子複	98	加賀谷 洋 箭内 将人 (上尾・埼玉)	鈴木 宏章 川森 大輔 (関東第一・東京)	樋渡 順也　野田 亮介 矢部 正博　片岡 直茂 (常総学院・茨城)　(芦北・熊本)
	女子複	98	山田 裕美 貴田 泉 (聖ウルスラ学院・宮城)	坂本 諭美 吉富 桂子 (精華女子・福岡)	水井 泰子　村上 直美 市橋 美紀　宮村亜貴子 (旭川実業・北海道)　(熊本中央女子・熊本)
	男子単	98	西田 渉 (札幌第一・北海道)	片岡 直茂 (芦北・熊本)	尾形 勝崇　成嶋 瑞穂 (宮城県工業・宮城)　(常総学院・茨城)
	女子単	98	水井 泰子 (四條畷学園・大阪)	中山智香子 (旭川実業・北海道)	山田 裕美　宮村亜貴子 (聖ウルスラ学院・宮城)　(熊本中央女子・熊本)
第44回 平成5年度 "(1993年度) 【栃木県宇都宮市】 栃木県総合文化センター 宇都宮市清原 中央公園体育館 宇都宮市体育館 栃木県体育館 1993年 (平成5年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	高松商業(香川)	常総学院(茨城)	関東第一(東京)　上尾(埼玉)
	女子団体	49	四條畷学園(大阪)	聖ウルスラ学院(宮城)	埼玉栄(埼玉)　前橋東(群馬)
	男子複	98	樋渡 順也 矢部 正博 (常総学院・茨城)	山下 大介 田口 智一 (関東第一・東京)	吉川 大助　藤代 武久 薄 智彦　藤本ホセマリ (高松商業・香川)　(越谷南・埼玉)
	女子複	98	増茂 孝枝 中山智香子 (旭川実業・北海道)	水井 泰子 川口 桐香 (四條畷学園・大阪)	石井知恵美　山本 静香 山崎 雅美　安城 香 (昭和女子・大分)　(常総学院・茨城)
	男子単	98	中村 祐樹 (法政第二・神奈川)	吉川 大助 (高松商業・香川)	矢部 正博　樋渡 順也 (常総学院・茨城)　(常総学院・茨城)
	女子単	98	中山智香子 (旭川実業・北海道)	水井 泰子 (四條畷学園・大阪)	貴田 泉　秋武さとみ (聖ウルスラ学院・宮城)　(九州国際大付属・福岡)
第45回 平成6年度 (1994年度) 【富山県高岡市】 高岡市民会館 高岡市民体育館 県立高岡高校 県立高岡工芸高校 県立高岡商業高校 県立高岡女子高校 高岡第一高校 1994年 (平成6年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	上尾(埼玉)	常総学院(茨城)	熊本学園大付属(熊本)　金沢市立工業(石川)
	女子団体	49	四天王寺(大阪)	常総学院(茨城)	聖ウルスラ学院(宮城)　富山商業(富山)
	男子複	98	下鳥 洋樹 高嶋 進 (常総学院・茨城)	清元 敬吾 清元 亮太 (上尾・埼玉)	一宮 孝一　深谷 桂司 馬木 智一　横島 宏明 (札幌第一・北海道)　(常総学院・茨城)
	女子複	98	市橋 美紀 鬼頭 加代 (四條畷学園・大阪)	山田 潤子 山田 青子 (高岡女子・富山)	三個 良子　田中 美保 加藤真知子　武富いず美 (富山商業・富山)　(佐賀女子・佐賀)
	男子単	98	山田 英孝 (上尾・埼玉)	永山 晴隆 (常総学院・茨城)	神谷 仁士　嘉藤 勝 (高岡工芸・富山)　(富山商業・富山)
	女子単	98	山田 潤子 (高岡女子・富山)	中山真理子 (常総学院・茨城)	葛野 智子　田中 美保 (四天王寺・大阪)　(佐賀女子・佐賀)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第46回 平成7年度 (1995年度) 【島根県松江市】 島根県民会館 県立産業交流会館 (くにびきメッセ) 県立松江商業高校 県立松江東高校 1995年 (平成7年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	上尾(埼玉)	奈良市立一条(奈良)	関東第一(東京) 金沢市立工業(石川)
	女子団体	49	高岡女子(富山)	金沢向陽(石川)	精華女子(福岡) 埼玉栄(埼玉)
	男子複	98	青木 孝徳 山田 浩史 (常総学院・茨城)	大束 忠司 木下 伸介 (八代東・熊本)	松本 徹 徳坂 渉 相井 隆寿 舛田 圭太 (比叡山・滋賀) (金沢市立工業・石川)
	女子複	98	中島 珠美 片糸由希子 (金沢向陽・石川)	山田 潤子 山田 青子 (高岡女子・富山)	中村このみ 吉富 明子 亀井 千秋 大石 瞳 (奈良市立一条・奈良) (精華女子・福岡)
	男子単	98	舛田 圭太 (金沢市立工業・石川)	大束 忠司 (八代東・熊本)	沈 逸文 中村 憲尚 (尚志・福島) (上尾・埼玉)
	女子単	98	関本 祥子 (埼玉栄・埼玉)	張 薇薇 (尚志・福島)	森 かおり 山田 潤子 (九州国際大付属・福岡) (高岡女子・富山)
第47回 平成8年度 (1996年度) 【山梨県甲府市・竜王町】 甲府市総合市民会館 山梨県小瀬スポーツ公園 公園体育館 甲府市立甲府商業高校 竜王町北部町民体育館 1996年 (平成8年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	八代東(熊本)	上尾(埼玉)	札幌第一(北海道) 常総学院(茨城)
	女子団体	49	埼玉栄(埼玉)	金沢向陽(石川)	熊本信愛女学院(熊本) 精華女子(福島)
	男子複	98	大束 忠司 木下 伸介 (八代東・熊本)	竹俣 洋平 沈 逸文 (尚志・福島)	杉島 学 尾形 悟史 川口 馨士 藤田 真人 (比叡山・滋賀) (常総学院・茨城)
	女子複	98	杉浦 美幸 永峰 弘子 (熊本信愛女学院・熊本)	古谷 充峰 森 かおり (九州国際大付属・福岡)	堀 哲子 三宅 直子 奥村亜紀代 島田 麻子 (金沢向陽・石川) (大分女子・大分)
	男子単	98	舛田 圭太 (金沢市立工業・石川)	大束 忠司 (八代東・熊本)	川口 馨士 清水 裕 (比叡山・滋賀) (前橋東・群馬)
	女子単	98	闇 敏娜 (高岡女子・富山)	森 かおり (九州国際大付属・福岡)	永峰 弘子 岩松絵理子 (熊本信愛女学院・熊本) (旭川実業・北海道)
第48回 平成9年度 (1997年度) 【京都府長岡京市】 京都府長岡京市記念 文化会館 西山公園体育館 府立乙訓高校 府立西乙訓高校 長岡京市立長岡中学校 岡京市立長岡第三中学校 岡京市立長岡第四中学校 1997年 (平成9年) 8月1日~8月6日	男子団体	49	上尾(埼玉)	八代東(熊本)	金沢市立工業(石川) 大阪学芸(大阪)
	女子団体	49	埼玉栄(埼玉)	九州国際大付属(福岡)	熊本中央女子(熊本) 昭和女子(大分)
	男子複	98	坂本 修一 小島 祐造 (常総学院・茨城)	中西 洋介 鎌田 和樹 (上尾・埼玉)	大束 真也 春名 悟 二瓶 良 鎌田 志門 (八代東・熊本) (西乙訓・京都)
	女子複	98	田井 美幸 舛田 恵 (金沢向陽・石川)	久家あす加 大熊 倫子 (埼玉栄・埼玉)	石黒 広子 西城真理子 山重 直美 貴田 愛 (旭川実業・北海道) (聖ウルスラ学院・宮城)
	男子単	98	中西 洋介 (上尾・埼玉)	坂本 修一 (常総学院・茨城)	古川 裕輔 久保 直輝 (洛水・京都) (高松商業・香川)
	女子単	98	闇 敏娜 (高岡西・富山)	張 薇薇 (尚志・福島)	森 かおり 山本 郁美 (九州国際大付属・福岡) (精華女子・福岡)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第49回 平成10年度 (1998年度) 【香川県高松市】 香川県県民ホール 高松市市民文化センター 県立高松商業高校 県立高松工芸高校 サンメッセ香川 1998年 (平成10年度) 8月1日~8月6日	男子団体	49	八代東(熊本)	高松商業(香川)	関東第一(東京)　上尾(埼玉)
	女子団体	49	九州国際大付属(福岡)	金沢向陽(石川)	昭和女子(大分)　香川中央(香川)
	男子複	98	大東　真也 中村　寿史 (八代東・熊本)	平山　政史 川崎　和宗 (上尾・埼玉)	酒井　忠相　安徳　和哉 茶谷　徳靖　二宮　和敬 (金沢市立工業・石川)　(高松商業・香川)
	女子複	98	末綱　聡子 赤尾　美代 (昭和女子・大分)	黒川　真緒 佐藤　羽 (日本橋女学館・東京)	田村　恵里　納富　直子 舛田　恵　脇　陽子 (金沢向陽・石川)　(佐賀女子・佐賀)
	男子単	98	大東　真也 (八代東・熊本)	平山　政史 (上尾・埼玉)	池田信太郎　三上　紘由 (九州国際大付属・福岡)　(宮城県工業・宮城)
	女子単	98	安城　美華 (四天王寺・大阪)	赤尾　美代 (昭和女子・大分)	松尾美穂子　田上　千晴 (九州国際大付属・福岡)　(熊本信愛女学院・熊本)
第50回 平成11年度 (1999年度) 【岩手県滝沢村】 岩手産業文化センター 滝沢村総合公園体育館 滝沢村東部体育館 盛岡大学体育館 1999年 (平成11年度) 8月1日~8月6日	男子団体		(　)	(　)	(　)　(　)
	女子団体		(　)	(　)	(　)　(　)
	男子複		(　・　)	(　・　)	(　・　)　(　・　)
	女子複		(　・　)	(　・　)	(　・　)　(　・　)
	男子単		(　・　)	(　・　)	(　・　)　(　・　)
	女子単		(　・　)	(　・　)	(　・　)　(　・　)

全国高等学校総合体育大会 学校対抗出場校 一覧

昭和○○・平成○○は優勝年度

1．北北海道男子
【9回】 旭川工業(平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平9 平10)
帯広三条(昭25 昭26 昭29 昭30 昭33 昭34 昭35 昭36 昭38)
【8回】 帯広柏葉(昭25 昭49 昭50 昭52 昭53 昭57 昭59 昭60)
【6回】 帯広農業(昭41 昭42 昭44 昭46 昭48 昭55)
【4回】 滝川工業(昭56 昭61 昭62 昭63)
【2回】 旭川北 (昭37 昭40)釧路商業・定(昭47 昭51)
【1回】 釧路湖陵(昭29) 釧路江南(昭32)旭川商業(昭39)留萌(昭43)羽幌(昭45)滝川西(昭54)滝川(昭58)旭川実業(平8)

2．北北海道女子
【8回】 帯広大谷(昭34 昭35 昭36 昭47 昭48 昭49 昭60 平2)
【7回】 旭川実業(平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9)
【5回】 芽室(昭32 昭33 昭37 昭38 昭40)
砂川南(昭52 昭55 昭56 昭57 昭58)
【4回】 旭川商業(昭61 昭62 昭63 平10)
【3回】 帯広三条(昭25 昭26 昭27)
【2回】 釧路江南(昭26 昭27)帯広柏葉(昭27 昭59 昭50)名寄(昭39 昭41)新得(昭44 昭46)滝川西(昭53 昭54)
【1回】 釧路商業(昭50)釧路商業・定(昭51)釧路星園(平1)旭川西(昭42)旭川大学【北日本学院】(昭45)留萌(昭51)

3．南北海道男子
【16回】札幌第一(昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【13回】北海(昭25 昭26 昭27 昭28 昭31 昭32 昭33 昭35 昭46 昭47 昭48 昭51 昭55)
【5回】 札幌工業【札幌伏見】(昭26 昭27 昭29 昭36 昭38)
【3回】 札幌東(昭25 昭39 昭41)函館東(昭34 昭37 昭49)江別(昭42 昭43 昭45)
【2回】 札幌南(昭26 昭31)札幌商業(昭25 昭40)札幌清田(昭54 昭57)小樽商業【小樽緑陵】(26 昭27)
小樽潮陵(昭26 昭28)函館工業(昭25 昭26)
【1回】 小樽工業【小樽千秋】(昭26)札幌創成(昭52)札幌西(昭44)札幌北(昭25)夕張緑ケ丘【夕張北】(昭26)函館中部(昭50)
栗山(昭53)森(昭56)登別南(昭62)

4．南北海道女子
【21回】札幌静修(昭34 昭36 昭44 昭45 昭47 昭52 昭54 昭56 昭58 昭61 昭62 昭63 H2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【8回】 札幌北斗(昭33 昭35 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭46)
【5回】 函館東(昭26 昭30 昭31 昭32 昭42)
【4回】 札幌東(昭25 昭26 昭27 昭29)
【3回】 札幌南(昭26 昭27 昭31)啓北商業(昭50 昭53 昭55)
【2回】 室蘭栄(昭26 昭29)函館白百合(昭26 昭28)江別(昭43 昭48)北星学園女子(昭57 昭60)登別南(昭62 平1)
【1回】 札幌星園(昭26)札幌東商業(昭49)札幌開成(昭59)小樽桜陽(昭26)小樽工業【小樽千秋】(昭28)倶知安(昭26)長沼(昭51)

5．青森男子
【26回】東奥義塾(昭26 昭27 昭28 昭40 昭41 昭43 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭63 平3 平4 平9 平10)
【8回】 弘前工業(昭61 昭62 平1 平2 平5 平6 平7 平8)
【6回】 弘前実業【弘前商業】(昭27 昭30 昭33 昭34 昭37 昭41)
【5回】 黒石(昭28 昭29 昭31 昭32 昭42)
【4回】 青森商業(昭35昭36昭38昭39)
【3回】 青森(昭25 昭26 昭36)弘前(昭25 昭26 昭29)
【1回】 浪岡(昭44)弘前南(昭51)

6．青森女子
【１９回】千葉学園(昭47 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭58 昭60 **昭61** 昭62 昭63 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平9 平10)
【１１回】弘前学院聖愛(昭29 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭56 昭57 昭59 平1 平8)
【６回】 黒石(昭25 昭26 昭27 昭28 昭30 昭33)
青森中央(昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭49)
【４回】 柴田女子(昭25 昭27 昭28 昭29)
【３回】 浪岡(昭36 昭39 昭46)
【２回】 青森商業(昭31 昭40) 八戸東(昭32 昭41)
【１回】 東奥義塾(昭26) 木造(昭48) 白菊学園(昭50)

7．岩手男子
【８回】 前沢(昭32 昭52 昭57 昭58 昭59 平3 平8 平9)
【６回】 千厩(昭25 昭36 昭48 昭50 昭54 昭55)
専修大学北上(昭39 昭40 昭43 昭45 昭49 昭51)
【５回】 花巻農林(昭61 昭63 平2 平6 平10)
【４回】 盛岡第一(昭29 昭34 昭35 昭37) 岩屋堂(昭30 昭33 昭38 昭41)
【３回】 盛岡市立(昭62 平4 平5) 盛岡第二(昭28 昭29 昭31) 盛岡第四(昭44 昭46 昭47)
【２回】 花北商業(昭60 平1)
【１回】 一関【一ノ関】(昭25) 盛岡(昭25) 遠野(昭28) 東和(昭42) 岩屋堂農業(昭53) 水沢農業(昭56) 盛岡大学附属(平7)

8．岩手女子
【１０回】盛岡市立(昭26 昭27 昭31 昭35 昭37 昭42 昭56 昭58 昭63 平3)
【９回】 前沢(昭34 昭60 平1 平2 平4 平6 平7 平9 平10)
【５回】 盛岡第二(昭26 昭28 昭29 昭36 昭38)
【４回】 花巻農林(昭49 昭61 昭62 平8) 千厩(昭39 昭43 昭44 昭47)
【３回】 遠野(昭53 昭55 昭57)
【２回】 岩谷堂(昭30 昭33) 黒沢尻南(昭41 昭59) 花北商業(昭50 平5) 千厩農業(昭51 昭52)
【１回】 盛岡白梅(昭25) 盛岡(昭28) 釜石(昭32) 盛岡白百合学園(昭40) 釜石南(昭45) 盛岡第四(昭46) 黒沢尻北(昭48) 水沢商業(昭54)

9．宮城男子
【２８回】宮城県工業(昭32 昭34 昭35 昭37 昭38 昭40 **昭41** 昭42 昭43 昭44 昭45 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【７回】 白石(昭26 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭36)
【４回】 仙台第一(昭27 昭28 昭29 昭49) 仙台商業(昭42 昭50 昭52 昭56)
【３回】 仙台育英(昭31 昭33 昭48)
【２回】 大河原商業(昭53 昭54)
【１回】 仙台(昭39) 東北工大【東北工大電子工業】(昭46) 佐沼(昭47) 塩釜(昭51) 仙台第一(昭55) 角田(平2)

10．宮城女子
【２０回】聖ウルスラ学院(昭53 昭54 昭55 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【１７回】尚絅女学院(昭26 昭27 **昭28** 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭35 昭36 昭38 昭40 昭43 昭44 昭45 昭49 昭50)
【４回】 常盤木学園(昭26 昭29 昭31 昭37) 宮城第二女子(昭34 昭41 昭42 昭56) 塩釜女子(昭39 昭46 昭48 昭52)
【３回】 古川女子(昭27 昭28 昭29)
【１回】 聖和学園【聖和学園吉田】(昭47) 宮城第二女子(昭51) 角田女子(平2)

11．秋田男子
【１６回】横手工業(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭62 昭63 平1 平2 平3 平5 平6 平7 平8)
【１４回】秋田経法大附属【秋田短大付属・秋田経大付】(昭30 昭33 昭34 昭37 昭39 昭40 昭41 昭44 昭45 昭46 昭47 昭53 昭61 平4)
【１１回】秋田中央【秋田市立】(昭25 昭28 昭29 昭36 昭42 昭43 昭48 昭51 昭52 平9 平10)
【６回】 秋田(昭28 昭29 昭31 昭32 昭35 昭59)
【３回】 秋田工業(昭38 昭49 昭50)
【１回】 秋田中央・定【秋田市立・定】(昭26)

12．秋田女子
【25回】国学館【敬愛学園】(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 **昭36** 昭37 昭38 **昭39** 昭40 **昭41** 昭42 昭43 昭45 昭47 昭48 昭50 昭51 昭52 昭53 昭55)
【6回】 能代西【能代農業】(昭61 平2 平4 平5 平9 平10)
【4回】 能代北(昭29 昭54 昭62 昭63) 羽後(昭42 昭44 昭46 昭57)
【3回】 秋田経法大附属【秋田短大付属・秋田経大付】(昭56 昭58 平6)
【2回】 秋田和洋女子(昭37 昭49) 横手城南(平1 平3)
【1回】 秋田中央【秋田市立】(昭26) 秋田南(昭40) 米内沢(昭59) 大館桂(昭59) 秋田北(昭60) 新屋(平7) 大曲工業(平8)

13．山形男子
【31回】日大山形(昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭57 昭58 昭59 昭61 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平7 平8 平9)
【10回】山形市立商業(昭28 昭30 昭31 **昭32** 昭33 **昭34** **昭35** 昭36 昭37 昭38)
【6回】 山形南(昭26 昭28 昭29 **昭33** 昭34 昭35)
新庄北【新庄】(昭26 昭27 昭28 昭29 昭36 昭56)
【3回】 山形東(昭26 昭28 昭62)
【2回】 鶴岡南【鶴岡】(昭25 昭47) 鶴岡工業(平6 平10)
【1回】 山形工業(平6)

14．山形女子
【27回】新庄南(昭29 昭30 昭31 昭34 昭35 昭36 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭59 昭60 昭63 平3 平5 平7)
【15回】山形城北女子(昭28 昭37 昭38 昭48 昭54 昭55 昭56 昭62 平1 平2 平4 平6 平8 平9 平10)
【3回】 新庄北【新庄】(昭26 昭27 昭28) 鶴岡南【鶴岡】(昭25 昭26 昭28)
【2回】 山形北(昭28 昭57) 真室川(昭47 昭58)
【1回】 鶴岡北(昭29) 山形中央(昭32) 山形市立商業(昭33) 山形東(昭26) 鶴岡家政(昭61)

15．福島男子
【29回】会津工業(昭27 昭28 昭29 昭34 昭40 昭41 昭44 昭45 昭47 昭48 昭51 昭52 昭53 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平7 平9 平10)
【15回】若松商業(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭37 昭38 昭39 昭42 昭50 昭53)
【4回】 福島商業(昭25 昭43 昭46 昭49)
【2回】 帝京安積(平6 平8)
【1回】 会津(昭36) 郡山商業(昭54) 白河(平5)

16．福島女子
【20回】若松女子(昭28 昭29 昭32 昭33 昭34 昭35 昭37 昭38 昭41 昭43 昭49 昭51 昭53 昭54 昭57 昭58 昭59 昭60 平3 平5)
【7回】 磐城女子(昭29 昭39 昭40 昭52 昭55 昭56 昭63)
【6回】 安積女子(昭25 昭26 昭27 昭28 昭30 昭36)
平商業(昭42 昭44 昭45 昭46 昭48 昭50)
【5回】 会津女子(昭31 昭34 昭47 平4 平10)
【3回】 尚志(平6 平7 平9)
【2回】 郡山商業(昭53 昭61)
【1回】 郡山女子(昭62) 川俣(平1) 会津若松ザベリオ学園(平2) 帝京安積(平8)

17．茨城男子
【13回】石岡第一(昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60)
常総学院(昭61 昭62 昭63 平1 **平2** **平3** **平4** 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【2回】 土浦第一(昭39 昭40)
【1回】 高萩(昭34) 谷田部(昭44) 霞ケ浦(昭47) 江戸崎西(昭50)

18．茨城女子
【11回】常総学院(昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8)
【5回】 大成女子(昭34 昭35 昭36 昭37 昭42)
【4回】 太田第二(昭38 昭39 昭41 昭52) 石岡第二(昭40 昭45 昭46 昭51) 下館第二(昭43 昭49 昭50 昭55) 鉾田第二(昭48 昭54 昭56 昭57)
【3回】 明野(昭53 昭58 昭59)
【2回】 日立第二(昭47 昭50) 土浦第三(平9 平10)
【1回】 小瀬(昭44)

19．栃木男子
【13回】宇都宮工業(昭29 昭31 昭32 昭34 昭38 昭39 昭40 昭41 昭62 昭63 平1 平2 平5)
【11回】作新学院(昭33 昭37 昭42 昭46 昭48 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 平10)
【8回】 宇都宮南(昭56 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9)
【5回】 今市(昭50 昭51 昭52 **昭54** 昭55)
【3回】 真岡工業(昭44 昭45 昭47)
【2回】 宇都宮商業(昭28 昭29)石橋(昭36 昭43)真岡農業(昭49 昭53)
【1回】 宇都宮商業・定(昭30)宇都宮工業・定(昭35)

20．栃木女子
【20回】真岡女子(昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 **昭45** 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53)
【17回】小山城南(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平5 平6 平7 平10)
【4回】 宇都宮南(平4 平5 平8 平9)
【3回】 宇都宮女子商業(昭29 昭30 昭41)
【2回】 宇都宮松原(昭28 昭29)作新学院(昭31 昭33)
【1回】 宇都宮学園(昭28)宇都宮女子(昭32)真岡農業(昭46)

21．群馬男子
【19回】桐生市立商業(昭34 昭35 昭39 昭40 昭41 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭53 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭63)
【12回】桐生(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭32 昭36 昭37 昭50 昭54 昭55 平1)
【11回】前橋商業(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭33 昭38 昭42 昭49)
【10回】前橋東(昭62 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【1回】 前橋(昭26)東京農業大学第二(昭44)新島学園(昭51)太田市立商業(昭52)

22．群馬女子
【14回】渋川女子(昭25 昭26 昭28 昭29 昭44 昭46 昭47 昭48 昭50 昭51 昭53 昭54 昭55 昭60)
【10回】前橋東(昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平8 平9 平10)
【9回】 桐生女子(昭25 昭27 昭28 昭29 昭34 昭35 昭36 昭37 昭40)
【8回】 市立前橋【前橋市立女子】(昭25 昭26 昭30 昭31 昭32 昭33 昭38 昭44)
【5回】 前橋東商業(昭52 昭56 昭59 昭61 昭62)
【4回】 境(昭39 昭41 昭42 昭43)
【3回】 桐生市立商業(昭45 昭49 平7)
【2回】 新島学園(昭57 昭58)
【1回】 群馬桐ケ丘(昭25)

23．埼玉男子
【12回】上尾(昭59 **昭60** **昭63** 平2 平3 平4 平5 **平6** **平7** 平8 **平9** 平10)
【7回】 小松原(昭35 昭36 昭37 昭40 昭42 昭52 昭58)
【6回】 越谷南(昭55 昭56 昭57 昭61 昭62 平1)
【5回】 春日部(昭34 昭38 昭41 昭47 昭49)
【3回】 浦和・定(昭31 昭32 昭33)浦和西(昭39 昭44 昭45)大宮西(昭46 昭50 昭51)
【2回】 越ケ谷(昭53 昭54)
【1回】 川口工業・定(昭43)鴻巣(昭48)

24．埼玉女子
【10回】川口総合【川口女子】(昭39 昭40 昭41 昭42 昭44 昭45 昭46 昭54 昭55 昭56)
埼玉栄(平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 **平8** **平9** 平10)
【5回】 行田女子(昭29 昭31 昭32 昭35 昭36)
小松原女子(昭28 昭29 昭30 昭33 昭34)
上尾(昭57 昭58 **昭59** 昭60 昭63)
【4回】 熊谷女子(昭37 昭38 昭43 昭50)川越女子(昭47 昭48 昭49 昭52)
【2回】 越谷南(昭61 昭62)
【1回】 宮崎高等家政(昭28)鴻巣(昭51)越ケ谷(昭53)

25．千葉男子

【19回】木更津【木更津第一】(昭25 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭46)
【10回】千葉敬愛(昭60 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平6 平7 平9)
【4回】 千葉南 (昭57 昭58 昭59 昭61)
【3回】 千葉商業(昭27 昭29 昭37)西武台千葉 (平5 平8 平10)
【2回】 成田農業(昭45 昭47)京葉(昭48 昭49)印旛(昭51 昭53)中央学院(昭52 昭55)
【1回】 安孫子(昭50)君津商業(昭54)若松(昭56)

26．千葉女子

【16回】木更津東【木更津第二】(昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭44)
【10回】昭和学院(昭43 昭45 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭59 昭60)
【6回】 東葉【船橋学園女子】(昭62 平1 平4 平7 平9 平10)
【5回】 茂原(昭49 昭57 昭58 昭61 平2)
【4回】 安孫子二階堂(昭46 昭47 昭48 昭50)
【3回】 千葉女子【千葉第二】(昭25 昭28 昭29)
【2回】 千葉敬愛(平5 平6)
【1回】 木更津(昭27)渋谷教育学園幕張(昭63)中央学院(平3)西武台千葉(平8)

27．東京男子

【18回】聖学院(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 **昭30** 昭31 昭32 昭33 昭36 **昭37** 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭45)
日本大学鶴ケ丘(昭44 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62)
【10回】関東第一(昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平10)
【8回】 麻布(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭31 昭35 昭38)
【1回】 都立港(昭25)都立九段(昭25)都立第四商業(昭34)淑徳巣鴨【巣鴨女子】(平9)

28．東京女子

【14回】淑徳巣鴨【巣鴨女子】(昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭55 昭56 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4)
【7回】 女子聖学院(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭34)
【6回】 日本橋女学館(平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【4回】 八潮(昭25 昭26 昭28 昭29)
【3回】 十文字(昭36 昭37 昭38)淑徳学園(昭40 昭42 昭43)桐朋女子(昭44 昭45 昭46)日本大学鶴ケ丘(昭54 昭57 昭59)
桜華女学院【日体桜華女子】(昭58 昭60 昭61)
【2回】 都立九段(昭25 昭27)二階堂(昭41 昭47)
【1回】 白鴎(昭25)武蔵(昭26)千代田女学院(昭33)都立第三商業(昭35)南葛飾(昭39)

29．神奈川男子

【12回】関東学院六浦(昭26 昭27 昭28 昭30 昭31 昭33 昭38 昭39 昭40 昭42 昭43 昭44)
【7回】 横浜緑ケ丘(昭25 昭26 昭27 昭29 昭34 昭35 昭36)
日本大学(昭52 昭53 昭56 昭57 昭62 昭63 平1)
川崎総合科学【川崎市立工業】(昭60 平3 平5 平7 平8 平9 平10)
【6回】 関東学院(**昭25** **昭26** 昭27 昭28 昭29 昭32)
逗子開成(昭47 昭49 昭54 昭56 昭58 昭59)
【4回】 横浜立野(昭46 昭50 昭51 昭55)
【3回】 法政大学第二(平2 平4 平6)
【2回】 鶴見工業(昭25 昭26)
【1回】 翠嵐(昭25)関東学院商工(昭25)横須賀(昭25)希望ケ丘(昭25)慶応義塾(昭37)横浜商業(昭41)平塚商業(昭45)県立商工(昭48)
横浜商科大学 (昭61)

30．神奈川女子

【7回】 富士見丘(昭57 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1)
北鎌倉女子学園(平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8)
【5回】 横浜立野(昭52 昭53 昭54 昭55 昭56)
【4回】 横須賀第二(昭25 昭26 昭29 昭35)横浜緑ケ丘(昭27 昭28 昭32 昭33)伊勢原(昭36 昭37 昭39 昭40)平塚商業(昭43 昭44 昭45 昭47)
【3回】 横須賀第一(昭30 昭31 昭38)厚木東(昭34 昭41 昭46)横浜女子商業(昭42 昭48 昭56)川崎工業(昭49 昭50 昭51)
【2回】 関東学院(昭27 昭28)
【1回】 関東学院六浦(昭25)横浜国大神奈川師範分校(昭25)希望ケ丘(昭25)平沼(昭26)県立川崎(昭26)小田原城内(昭29)多摩(昭58)
県立弥栄西(平9)県立柏陽(平10)

31．山梨男子
【23回】市立甲府商業(昭26 昭30 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭43 昭44 昭46 昭47 昭48 昭52 平3 平5 平7 平8 平10)
【13回】日川(昭45 昭54 昭55 **昭56** 昭58 昭59 昭60 昭61 平2 平4 平6 平8 平9)
【10回】甲府工業(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭31 昭42 昭62 昭63 平1)
【3回】 巨摩(昭27 昭28 昭49)
【2回】 機山工業(昭50 昭53)東海大甲府(昭51 昭57)
【1回】 甲府第一(昭26)甲府西【甲府第二】(昭29)

32．山梨女子
【20回】甲府湯田【伊藤学園】(昭27 昭28 昭29 昭30 昭34 昭35 昭36 昭41 昭43 昭48 昭49 昭51 昭52 昭54 昭55 昭59 平2 平3 平5 平10)
【14回】甲府西【甲府第二】(昭26 昭27 昭29 昭31 昭32 昭33 昭38 昭39 昭42 昭44 昭45 昭46 昭47 昭50)
【5回】 増穂商業(昭56 昭57 昭58 昭61 平4)
市立甲府商業(昭60 平6 平8 平9 平10)
【4回】 山梨(昭37 昭62 昭63 平1)
【2回】 巨摩(昭28 昭53)東海大甲府(平7 平8)
【1回】 山梨英和(昭40)

33．新潟男子
【16回】北越【北越商業】(昭29 昭39 昭40 昭58 昭59 昭60 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【12回】新潟(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭37 昭48)
【10回】新潟商業(昭35 **昭36** 昭37 **昭38** 昭39 昭41 昭42 昭44 昭45 昭47)
【7回】 三条商業【北越実業】(昭33 昭43 昭49 昭50 昭52 昭56 昭57)
【4回】 新潟市立工業(昭25 昭26 昭27 昭28)
【3回】 吉田商業(昭46 昭53 昭54)
【2回】 中条工業(昭51 昭55)燕(昭61 昭63)
【1回】 村上(昭26)新潟東(昭62)

34．新潟女子
【40回】新潟青陵【新潟女子工芸】(昭25 昭26 昭33 昭35 昭36 **昭38** 昭39 昭40 昭41 **昭42** 昭43 昭44 昭46 昭47 昭48 **昭49** 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 **昭60** 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【14回】新潟中央(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭37 昭39 昭43 昭50)
【4回】 三条東(昭25 昭27 昭28 昭45)
【1回】 中越【長岡家政学園】(昭29)

35．富山男子
【15回】富山商業(昭34 昭36 昭37 昭38 **昭39** **昭40** 昭41 昭44 **昭45** 昭46 昭48 昭50 昭57 平6 平7)
【10回】高岡商業(昭40 昭41 昭42 **昭43** 昭44 昭46 昭47 昭51 昭52 昭53)
【9回】 高岡工芸(昭25 昭33 昭62 昭63 平2 平4 平5 平6 平10)
【8回】 高岡第一(昭55 昭56 昭58 昭59 昭60 平3 平8 平9)
【5回】 高岡(昭29 30 昭31 昭32 昭35)
【2回】 福野(昭25 昭54)不二越工業(昭61 平1)
【1回】 新湊(昭27)富山中部(昭28)高岡工業(昭29)富山工業(昭37)滑川(昭49)

36．富山女子
【23回】高岡西【高岡女子】(昭34 昭35 昭36 **昭37** 昭38 昭39 昭50 昭51 昭52 昭55 昭56 昭57 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平3 平4 平6 **平7** 平8 平10)
【9回】 高岡商業(昭32 昭38 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭48 昭54)
【4回】 上市(昭27 昭37 昭45 昭47)富山商業 (平2 平5 平6 平9)
【3回】 富山北部(昭25 昭28 昭29)富山中部(昭29 昭30 昭31)
【2回】 藤園女子(昭49 昭53)滑川(昭58 昭59)
【1回】 富山北(昭27)高岡(昭33)清光女子(昭46)

37．石川男子

【32回】金沢市立工業(昭41 **昭42** 昭43 **昭44** 昭45 昭46 昭47 **昭48** 昭49 **昭50** **昭51** 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)

【9回】 金沢二水(昭25 昭26 **昭27** 昭28 **昭29** 昭30 昭31 昭49 平3)

【6回】 金沢泉ケ丘(昭25 昭26 昭27 昭28 昭29 昭30)

【5回】 津幡(昭32 昭33 昭34 昭36 昭40)

【4回】 金沢(昭37 昭38 昭39 昭42)

【3回】 七尾工業(昭51 昭52 昭60)

【2回】 金沢桜ケ丘(昭25 昭26)大聖寺(昭43 昭45)

【1回】 金沢革台(昭25)羽咋(昭28)七尾(昭29)小松実業(昭29)小松(昭35)

38．石川女子

【15回】金沢向陽(昭54 昭55 昭56 昭61 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)

【10回】藤花(昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭49 昭50)

【9回】 金沢二水(昭25 昭27 昭28 昭30 昭31 昭52 昭57 昭58 昭59)
津幡(昭25 昭27 昭28 昭29 昭35 昭45 昭46 昭47 昭48)

【8回】 金城(昭32 昭33 昭34 昭36 昭51 昭53 昭60 昭62)

【2回】 金沢泉ケ丘(昭25 昭29)

【1回】 金沢桜ケ丘(昭26)七尾(昭26)金沢革台(昭29)小松(昭29)金沢商業(昭42)藤花学園尾山台(昭60)

39．福井男子

【14回】勝山(昭46 昭47 昭48 昭49 昭60 昭61 平1 平2 平3 平4 平6 平7 平9 平10)

【10回】足羽(昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭62 昭63 平8)

【6回】 武生(昭28 昭29 昭31 昭33 昭34 昭36)
大野(昭30 昭32 昭35 昭37 昭39 昭41)

【4回】 敦賀(昭38 昭40 昭43 昭44)

【3回】 勝山精華(昭28 昭29 昭42)

【2回】 福井商業(昭50 昭51)

【1回】 三国(昭27)鯖江(昭27)福井(昭45)藤島(昭52)北陸(平5)

40．福井女子

【9回】 足羽(昭58 昭59 昭62 平1 平3 平4 平5 平8 平9)

【8回】 勝山(昭42 昭50 昭61 昭63 平2 平6 平7 平10)

【7回】 武生(昭29 昭31 昭32 昭35 昭36 昭37 昭40)

【6回】 大野(昭27 昭28 昭29 昭30 昭33 昭34)

【5回】 福井商業(昭47 昭48 昭51 昭52 昭53)
福井工業大学附属福井【福井】(昭54 昭55 昭56 昭57 昭60)

【3回】 敦賀(昭41 昭43 昭44)

【2回】 藤島(昭38 昭39)高志 (昭45 昭46)

【1回】 乾徳(昭27)勝山精華(昭28)羽水(昭49)

41．長野男子

【8回】 松本深志(昭25 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭33 昭59)
中野実業(昭60 昭62 昭63 平1 平4 平5 平6 平7)

【7回】 伊那北(昭35 昭36 昭39 昭41 昭43 昭44 昭45)

【4回】 長野(昭32 昭34 昭38 昭51)

【3回】 諏訪清陵(昭40 昭42 昭47)須坂(昭46 昭48 平2)長野商業(昭58 平9 平10)

【2回】 上田(昭49 昭50)更科農業(昭53 昭61)中野(昭55 昭56)

【1回】 岡谷南(昭29)須坂西(昭37)長野東(昭51)大町北(昭52)長野中央(昭54)大曾(昭57)松代(平3)岡谷工業(平8)

42．長野女子
【9回】 長野西(昭28 昭33 昭35 昭36 昭37 昭39 昭41 昭44 昭63)
諏訪二葉(昭32 昭40 昭45 昭46 昭48 昭52 昭53 昭56 昭61)
【5回】 岡谷東(昭29 昭31 昭38 昭42 昭43)
須坂東(昭51 昭54 昭55 昭57 昭58)
【4回】 伊那弥生ケ丘(昭47 昭49 昭50 昭51)中野実業(昭62 平3 平5 平6)
【3回】 篠ノ井(昭29 昭30 昭34)
【2回】 松代(平1 平8)須坂(平7 平9)長野商業(平4 平10)
【1回】 伊那北(昭27)飯田(昭59)大町北(昭60)田川(平2)

43．岐阜男子
【17回】岐阜商業(昭31 昭32 昭33 昭34 昭50 昭52 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【14回】岐阜工業(昭26 昭27 昭28 昭29 昭35 昭39 昭41 昭53 昭54 昭57 昭59 昭60 昭61 昭62)
【11回】岐阜東(昭37 昭38 昭40 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49)
【4回】 本巣(昭28 昭29 昭30 昭36)
【2回】 岐阜(昭26 昭27)大垣工業(昭51 昭58)加納(昭55 昭56)

44．岐阜女子
【18回】富田【富田女子】(昭33 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52)
【11回】岐阜女子商業(昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭61 昭62 昭63 平2)
岐阜商業(昭35 昭60 平1 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【5回】 岐阜(昭27 昭28 昭29 昭31 昭32)
【2回】 本巣(昭28 昭34)高山(昭29 昭30)
【1回】 済美女子(昭27)

45．静岡男子
【13回】富士(昭27 昭28 昭29 昭31 昭32 昭34 昭35 昭36 昭37 昭42 昭43 昭54 平9)
【8回】 吉原工業(昭39 昭40 昭41 昭44 昭45 昭47 昭48 昭53)
沼津学園(平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8)
【7回】 沼津東(昭27 昭28 昭29 昭33 昭49 昭50 昭52)
【5回】 伊東商業(昭59 昭60 昭62 昭63 平3)
【3回】 富士宮北(昭46 昭55 昭57)伊東(昭56 昭58 昭61)
【2回】 沼津商業(昭30 昭38)沼津工業(昭51 平10)

46．静岡女子
【22回】吉原(昭27 昭28 昭29 昭35 昭39 昭40 昭41 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭61)
【13回】富士見(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭33 昭34 昭37 昭38 昭42 昭63 平1 平3)
【8回】 富士宮東(昭60 昭62 平2 平4 平5 平6 平7 平8)
【3回】 静岡城北(昭58 平9 平10)
【2回】 掛川西(昭32 昭36)
【1回】 藤枝西(昭52)伊東商業(昭59)伊東(平3)

47．愛知男子
【14回】愛知工大名電【名古屋電気工業】(昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭49 昭50 昭53 昭58 昭59 昭60)
【12回】岡崎城西(昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平10)
【9回】 東海(昭45 昭48 昭52 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 平9)
【8回】 松蔭(昭25 昭27 昭28 昭29 昭36 昭37 昭38 昭39)
瑞陵(昭27 昭28 昭29 昭30 昭32 昭33 昭34 昭35)
【1回】 名古屋西(昭31)時習館(昭51)

48．愛知女子
【17回】愛知淑徳(昭52 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 平1 平2 平5 平6 平7 平8 平9)
【10回】高蔵女子商業(昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46)
【9回】 瑞陵(昭27 昭28 昭29 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36)
【7回】 市邨学園【名古屋女子商業】(昭45 昭49 昭50 昭51 昭58 平3 平4)
【3回】 名古屋西(昭25 昭27 昭28)
【2回】 松蔭(昭29 昭30)守山女子商業(昭47 昭48)
【1回】 名古屋女子大学(昭53)佐屋(昭63)大府(平10)

49．三重男子

【24回】伊勢工業(昭38 昭39 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭51 昭52 昭53 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭61 昭62 昭63 平2 平3 平5 平6)
【9回】 宇治山田(昭27 昭30 昭31 昭32 昭37 昭40 昭49 昭54 平1)
【4回】 暁(平7 平8 平9 平10)
【3回】 宇治山田商業(昭34 昭35 昭36)
【2回】 四日市(昭27 昭28)河原田(昭28 昭29)四日市工業(昭41 昭48)鳥羽(昭60 平4)
【1回】 宇治山田商工(昭29)松阪工業(昭33)相可(昭50)

50．三重女子

【15回】宇治山田(昭27 昭28 昭29 昭31 昭32 昭33 昭34 昭37 昭38 昭41 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49)
【12回】松阪(昭35 昭36 昭48 昭50 昭51 昭56 昭57 昭58 昭60 昭61 平1 平2)
【9回】 暁(昭62 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【3回】 河原田(昭27 昭28 昭29)宇治山田商業 (昭42 昭52 昭54)
【2回】 四日市商業(昭39 昭63)
【1回】 四日市農芸(昭30)亀山(昭40)員弁(昭43)長島(昭44)四日市(昭53)松阪商業(昭55)鳥羽(昭59)

51．滋賀男子

【24回】比叡山(昭49 昭50 昭51 **昭52** 昭53 昭54 **昭55** 昭56 **昭57** 昭58 **昭59** 昭60 **昭61** **昭62** 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平7 平8 平9 平10)
【6回】 長浜商工(昭38 昭39 昭40 昭41 昭43 昭46)
【5回】 彦根西(昭31 昭32 昭34 昭35 昭36)
【3回】 長浜西(昭28 昭29 昭33)彦根工業(昭37 昭42 昭45)
【2回】 岐阜短大付属工業(昭29 昭30)草津(昭47 昭54)
【1回】 彦根(昭27)長浜中(昭27)能登川(昭44)石山(昭48)近江兄弟社(平6)

52．滋賀女子

【15回】彦根西(昭29 昭30 昭31 昭32 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭43 昭44 昭45 昭49)
【13回】滋賀女子(昭50 昭51 昭52 昭53 昭56 昭57 平3 平4 平5 平7 平8 平9 平10)
【11回】比叡山(昭54 昭55 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平6)
【4回】 大津(昭42 昭47 昭48 昭54)
【2回】 彦根東(昭28 昭29)伊香(昭33 昭34)
【1回】 草津(昭46)

53．京都男子

【10回】西乙訓(昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平8 平9 平10)
【9回】 洛星(昭44 昭45 昭52 昭54 昭55 昭56 昭57 昭59 昭60)
【7回】 鴨沂(昭31 昭33 昭35 昭36 昭37 昭38 昭43)
【5回】 平安(昭26 昭27 昭28 昭29 昭30)
東山(昭47 昭49 昭50 昭51 昭53)
【3回】 紫野(昭28 昭32 昭42)洛北(昭27 昭29 昭34)
【2回】 洛水(昭62 平7)
【1回】 伏見工業(昭39)朱雀(昭39)桂(昭40)東舞鶴(昭41)京都商業(昭46)嵯峨野(昭48)同志社(昭58)洛西(昭61)京都両洋(平3)

54．京都女子

【30回】成安女子(昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平6 平7)
【6回】 平安女学院(昭27 昭28 昭29 昭32 昭33 昭52)
【3回】 朱雀(昭27 昭28 昭31)鴨沂(昭34 昭35 昭36)桂(昭37 昭38 昭39)西乙訓(平8 平9 平10)
【2回】 同志社女子(昭29 昭30)
【1回】 洛水(平5)西山(平9)

55．大阪男子

【15回】茨木【三島野】(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭43 昭44 昭46)
【13回】柏原(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平3 平10)
【4回】 大阪学芸【成器】(平6 平7 平8 平9)
【2回】 生野(昭28 昭29)高津(昭40 昭41)茨木工業(昭45 昭48)交野(昭52 昭53)此花学院(平2 平5)
【1回】 西野田工業(昭27)近畿大付属(昭39)佐野工業(昭42)市岡(昭47)布施工業(昭49)大和川(昭50)枚方(昭51)大阪桐蔭(平4)

56．大阪女子
【26回】四條畷学園(昭44 昭45 **昭46 昭47 昭48** 昭49 **昭50 昭51 昭52 昭53 昭54** 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 **昭62 昭63 平1** 平2 平3 **平4 平5** 平8)
【10回】東大阪【布施女子】(昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 **昭43 昭44**)
【5回】 樟蔭東(昭27 昭28 昭30 昭33 昭34)
【4回】 四天王寺(**平6** 平7 平9 平10)
【2回】 大阪女子【大阪女子商業】(昭31 昭32)大谷(昭47 昭49)茨木【三島野】(昭28 昭29)
【1回】 扇町(昭27)梅花(昭29)精華女子(昭48)市岡商業(昭51)大阪薫英女学院【薫英】(昭52)

57．兵庫男子
【10回】三田学園(昭49 昭51 昭52 昭53 昭54 昭59 昭60 昭62 昭63 平5)
【8回】 神戸商業(昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭38 昭39 昭50)
【7回】 甲南(昭41 昭42 昭43 昭45 昭47 昭48 昭56)
【6回】 星陵(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭46)
神戸(昭28 昭29 昭30 昭37 昭40 昭44)
【3回】 市立尼崎(昭57 昭58 昭63)加古川西(昭61 平1 平2)東播磨(平6 平7 平9)
【2回】 加古川東(平3 平10)
【1回】 北須磨(昭55)御影工業(平4)加古川北(平8)

58．兵庫女子
【20回】園田学園(昭45 昭48 昭49 昭50 昭51 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭63 平1 平4 平6 平7 平8 平9 平10)
【14回】親和女子(昭25 昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭36 昭37 昭38 昭43 昭44)
【7回】 夙川学院(昭60 昭61 昭62 昭63 平2 平3 平5)
【3回】 加古川東(昭27 昭28 昭30)神戸野田(昭40 昭41 昭42)
【2回】 神戸商業(昭35 昭39)
【1回】 園田女子(昭25)加古川西(昭29)尼崎西(昭46)松蔭(昭47)尼崎(昭52)

59．奈良男子
【16回】奈良一条(昭31 昭42 昭47 昭50 昭51 昭52 昭56 昭57 **昭58** 昭61 昭62 平2 平3 平4 平6 平7)
【15回】奈良大学附属【正強】(昭40 昭45 **昭46 昭47** 昭48 **昭49** 昭50 昭53 昭54 昭55 昭59 昭60 昭63 平1 平5)
【12回】奈良商工(昭27 昭28 昭29 昭30 昭32 昭33 昭34 昭35 昭37 昭38 昭39 昭41)
【5回】 奈良(昭25 昭26 昭27 昭28 昭36)
添上(昭44 昭48 平8 平9 平10)
【1回】 奈良女子大学附属(昭29)天理(昭43)

60．奈良女子
【31回】奈良一条(昭28 昭29 昭33 昭34 昭37 昭42 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平7 平9 平10)
【4回】 郡山(昭29 昭30 昭31 昭32)
【3回】 奈良商工(昭35 昭36 昭38)帝塚山(昭40 昭54 昭55)高田商業(平5 平6 平8)
【2回】 奈良女子大学附属(昭26 昭27)奈良育英(昭27 昭28)天理(昭39 昭41)
【1回】 添上(昭43)

61．和歌山男子
【17回】新宮(昭31 昭32 昭33 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭46 昭47 昭49 昭50 昭56 昭59 昭61 平7)
【10回】新宮商業(昭45 昭54 昭57 昭58 昭60 昭62 昭63 平1 平6 平9)
【5回】 那賀(昭26 昭28 昭34 昭35 平10)
【4回】 向陽(昭27 昭29 昭36 平3)御坊商工(昭48 昭51 昭53 昭55)
【3回】 和歌山工業(昭28 昭29 昭37)星林(平2 平5 平8)
【1回】 光風工業(昭27)大成(昭38)耐久(昭52)近畿大学附属和歌山(平4)

62．和歌山女子
【14回】新宮(昭41 昭42 昭43 昭45 昭48 昭49 昭51 昭56 昭57 昭63 平4 平5 平7 平9)
【9回】 耐久(昭28 昭29 昭32 昭33 昭35 昭38 昭39 昭40 昭60)
【7回】 御坊商工(昭36 昭44 昭47 昭54 昭55 昭58 昭61)
新宮商業(昭46 昭50 昭52 昭53 昭59 平1 平6)
【5回】 那賀(昭28 昭34 昭37 平2 平8)
【4回】 向陽(昭27 昭29 昭62 平3)
【3回】 星林(昭27 昭31)
【1回】 伊都(平10)

63．鳥取男子
【23回】境港工業(昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭56 昭57 昭58 昭60 昭61 昭62 平1 平2 平6 平7 平8 平10)
【8回】 倉吉東(昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭37 昭38 昭39)
【5回】 鳥取西(昭35 昭36 昭40 昭41 昭42)
【2回】 倉吉工業(昭43 昭63)境(昭59 平3)由良育英(平4 平5)
【1回】 倉吉西(昭55)米子東(平9)

64．鳥取女子
【20回】倉吉西(昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭39 昭40 昭42 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭61)
【14回】境(昭51 昭57 昭58 昭59 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平9 平10)
【8回】 米子西(昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭60 平7 平8)
【1回】 倉吉東(昭38)鳥取西(昭41)鳥取東(昭43)

65．島根男子
【19回】松江商業(昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭41 昭42 昭43 昭46 昭47 昭49 昭55)
【10回】大東(昭58 昭59 昭60 昭63 平1 平2 平5 平6 平7 平10)
【8回】 松江北(昭40 昭44 昭45 昭48 昭53 昭57 昭62 平4)
【4回】 出雲農林(昭50 昭51 昭54 昭56)松江西 (平3 平7 平8 平9)
【3回】 松江(昭28 昭29 昭32)
【1回】 松江産(昭27)出雲(昭52)出雲商業(昭61)

66．島根女子
【25回】松江商業(昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭38 昭39 昭41 昭42 昭46 昭51 昭54 昭55 昭57 昭58 昭59 昭61 昭62 昭63 平1 平2)
【8回】 大東(昭53 昭60 平3 平5 平7 平8 平9 平10)
【5回】 松江家政(昭43 昭44 昭45 昭48 昭52)
【4回】 松江市立女子(昭37 昭40 昭49 昭50)
【3回】 松江(昭28 昭29 昭32)松江西(平4 平6 平7)
【2回】 隠岐(昭47 昭56)
【1回】 松江産(昭27)

67．岡山男子
【19回】倉敷工業【倉敷老松】(昭26 昭27 昭28 昭29 昭43 昭45 昭49 昭50 昭51 昭53 昭54 昭56 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8)
【12回】西大寺(昭27 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭52)
【9回】 水島工業(昭46 昭52 昭55 昭58 昭59 昭60 昭62 平9 平10)
【4回】 倉敷青陵(昭26 昭28 昭47 昭48)備南(昭39 昭40 昭41 昭42)
【2回】 玉野光南(昭63 平1)
【1回】 天城(昭44)東岡山工業(昭57)瀬戸南(昭61)

68．岡山女子
【44回】山陽女子(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【4回】 倉敷青陵(昭26 昭27 昭28 昭42)
【3回】 井原(昭26 昭29 昭31)
【2回】 倉敷中央(昭51 昭52)
【1回】 倉敷翠松(平1)

69．広島男子
【7回】 福山葦陽(昭32 昭43 昭48 昭49 昭50 昭51 昭53)
【6回】 広島国泰寺(昭56 昭58 昭60 昭61 昭63 平1)
【4回】 北川工業(昭40 昭41 昭45 昭46)広島電機大学附属(平2 平5 平6 平7)
【3回】 福山電波工業(昭42 昭43 昭44)福山(昭52 昭57 昭59)広島大学附属福山【広島大学附属】(昭27 昭30 昭34)
【2回】 府中(昭54 昭55)安佐北(平9 平10)
【1回】 近畿大学附属福山(昭47)福山南(昭25)呉港(昭27)安芸(昭62)安古市(平3)広島城北(平4)祇園北(平8)

70．広島女子
【18回】鈴峯女子(昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【12回】福山葦陽(昭30 昭31 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭54 昭55)
【4回】 広島第一女子商業(昭50 昭51 昭52 昭53)
【1回】 福山南(昭25)門田(昭27)清水ケ丘(昭43)

71．山口男子
【14回】柳井工業(昭51 昭52 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平6)
【11回】山口(昭27 昭30 昭32 昭33 昭35 昭36 昭37 昭39 昭53 昭55 平10)
【7回】 下関中央工業(昭48 昭50 昭54 昭61 平4 平5 平7)
【5回】 柳井商工(昭31 昭34 昭38 昭40 昭43)
下関商業(昭44 昭45 昭46 昭47 昭49)
【1回】 野田学園(平8)西京(平9)

72．山口女子
【13回】下関南(昭30 昭41 昭42 昭43 昭44 昭48 昭51 昭52 昭53 昭54 昭58 昭59 昭60)
【7回】 徳山(昭33 昭34 昭35 昭37 昭39 昭40 昭49)
【6回】 高森(昭45 昭61 昭62 昭63 平1 平2)
【5回】 柳井工業(平3 平4 平6 平7 平8)
【2回】 柳井商工(昭32 昭38)下関商業(昭47 昭50)岩陽(昭56 昭57)中村女子(平9 平10)
【1回】 山口(昭27)長府(昭46)早鞆(昭55)新南陽(昭61)山口中央(平5)

73．徳島男子
【17回】日和佐(昭32 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭50 昭52 昭57 昭62 平3 平7)
【6回】 城東(昭63 平4 平5 平6 平9 平10)
【5回】 徳島商業(昭51 昭59 昭60 昭61 平8)
徳島市立(昭55 昭56 昭58 平1 平2)
【1回】 小松島西(昭43)阿南工業(昭49)小松島(昭53)富岡西(昭54)

74．徳島女子
【20回】日和佐(昭38 昭39 昭41 昭42 昭43 昭45 昭46 昭47 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭55 昭56 昭59 昭60 昭63 平1 平2)
【8回】 城東(平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【3回】 徳島商業(昭54 昭61 昭62)
【2回】 小松島西(昭44 昭48)
【1回】 富岡東(昭57)富岡西(昭58)

75．香川男子
【34回】高松商業(昭27 昭29 昭32 昭33 昭34 昭37 昭38 昭40 昭41 昭42 昭43 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭53 昭54 昭55 昭56 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 **平5** 平6 平7 平8 平9 平10)
【5回】 高松(昭27 昭28 昭29 昭35 昭36)
【4回】 高松西(昭57 昭58 昭59 昭60)
【3回】 坂出(昭27 昭30 昭31)
【2回】 高松南【香川】(昭39 昭52)高松第一(昭45 昭55)坂出工業(昭46 平10)
【1回】 丸亀商業【丸亀第二】(昭27)高松・定(昭28)善通寺第一(昭44)

76．香川女子

【27回】善通寺第一(昭26 昭27 昭28 昭29 昭30 **昭31 昭32 昭33 昭34 昭35** 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭51 昭52 昭54)
【10回】坂出(昭26 昭27 昭28 **昭29** 昭30 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36)
【8回】 高松中央【高松女子商業】(昭46 昭55 昭56 昭57 昭59 昭60 昭61 平2)
【7回】 香川中央(昭63 平1 平3 平4 平5 平8 平10)
【5回】 高松商業(昭58 昭62 平7 平9 平10)
【4回】 坂出(昭27 昭30 昭31)
【1回】 高松南【香川】(昭27)高松(昭27)琴平(昭50)高松第一(昭53)高松西(昭55)明善(平6)

77．愛媛男子

【13回】西条農業(昭51 昭53 昭54 昭55 昭57 昭59 昭62 平1 平2 平3 平5 平6 平7)
【11回】松山商業(昭27 昭28 昭30 昭32 昭33 昭34 昭36 昭43 昭44 昭46 昭50)
【8回】 今治北(昭28 昭29 昭31 昭35 昭38 昭39 昭52 昭56)
【7回】 松山南(昭27 昭37 昭41 昭47 昭58 昭60 昭63)
【6回】 松山東(昭29 昭40 昭42 昭45 昭48 昭49)
【4回】 新田(平4 平8 平9 平10)
【1回】 西条(昭61)

78．愛媛女子

【11回】松山南(昭27 昭28 昭30 昭31 昭34 昭35 昭36 昭38 昭41 昭54 昭56)
【10回】今治北(昭28 昭29 昭43 昭45 昭46 昭47 昭50 昭53 昭57 昭60)
【8回】 西条(昭59 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4)
【7回】 松山商業(昭32 昭33 昭37 昭40 昭44 昭48 昭49)
【6回】 新居浜西(昭27 昭29 平7 平8 平9 平10)
【3回】 松山東(昭39 昭42 昭52)
【2回】 西条農業(昭51 昭55)新田(平5 平6)
【1回】 東温(昭58)

79．高知男子

【14回】高知商業(昭27 昭28 昭29 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭40 昭45 昭55 昭62)
土佐(昭43 昭47 昭48 昭49 昭50 昭53 昭54 昭56 昭58 昭59 昭60 昭61 平1 平10)
【6回】 須崎(昭27 昭28 昭30 昭31 昭39 昭41)
高知学芸(昭44 昭46 昭57 平3 平4 平5)
高知西(昭63 平1 平2 平6 平7 平8)
【2回】 高知追手前(昭51 昭52)
【1回】 高知(昭26)高知小津(昭42)高知東工業(平9)

80．高知女子

【34回】土佐女子(昭33 昭34 昭36 昭38 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平10)
【5回】 高知丸の内(昭32 昭35 昭37 昭39 昭40)
【4回】 清和女子(平1 平7 平8 平9)
【3回】 須崎(昭27 昭30 昭31)

81．福岡男子

【20回】明善(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭43 昭44 昭45 昭46 昭48 昭51)
【12回】九州国際大学付属【八幡大学付属】(昭61 昭62 昭63 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【4回】 明善・定(昭35 昭42 昭47 昭49)山門(昭50 昭52 昭55 昭56)
【2回】 城南(昭53 昭54)
【1回】 大牟田北(昭41)北九州(昭57)田川東(昭58)大川工業(昭59)春日(昭60)福岡大学付属大濠(平1)

82．福岡女子

【16回】明善(昭27 昭28 昭29 昭30 昭31 昭32 昭33 昭34 昭35 昭37 昭38 昭43 昭44 昭45 昭47 昭50)
【15回】九州国際大学付属【八幡大学付属】(昭52 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭63 平1 平2 平3 平6 平9 **平10**)
【5回】 精華女子(昭62 平4 平5 平7 平8)
【3回】 門司南(昭35 昭36 昭39)門司商業(昭40 昭41 昭42)九州女子(昭46 昭48 昭49)
【1回】 大牟田北(昭29)明善・定(昭51)福岡女子(昭53)大川(昭54)

83．佐賀男子
【8回】 唐津工業(昭48 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【6回】 塩田工業(昭49 昭50 昭51 昭60 昭61 昭62)佐賀工業(昭52 昭54 昭55 昭57 昭59 昭63)
【4回】 白石(昭49 昭53 昭56 昭58)
【3回】 嬉野商業(平1 平2 平3)

84．佐賀女子
【26回】佐賀女子(昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 **平2** 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【1回】 嬉野商業(昭49)

85．長崎男子
【26回】瓊浦(昭39 昭43 昭44 昭45 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭54 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭63 平1 平2 平3 平5 平6 平7 平8 平9)
【7回】 長崎東(昭35 昭37 昭38 昭40 昭41 昭42 昭46)
【1回】 長崎日大(昭53)佐世保南(昭55)大村(昭62)西陵(平4)長崎北(平10)

86．長崎女子
【25回】長崎女子【鶴鳴女子】(昭39 昭42 昭46 昭49 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【9回】 長崎商業(昭37 昭43 昭44 昭45 昭47 昭48 昭50 昭51 昭52)
【2回】 長崎東(昭36 昭41)活水(昭38 昭40)

87．大分男子
【11回】日田林工(昭40 昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 平7 平8 平9 平10)
【4回】 竹田商業(昭62 昭63 平1 平3)
【3回】 三重農業久住分校(昭54 昭55 昭56)
【2回】 日田三隅(昭58 昭59)別府鶴見丘(昭60 平2)情報科学(平5 平6)
【1回】 別府青山(昭61)臼杵商業(平4)

88．大分女子
【31回】昭和女子(昭40 昭41 昭42 昭43 昭45 昭47 昭48 昭49 昭50 昭51 昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【3回】 扇城(昭39 昭44 昭46)
【1回】 伊豊(昭27)大分女子(昭61)

89．熊本男子
【14回】九州学院(昭45 昭46 昭47 昭49 昭50 昭51 昭52 **昭53** 昭54 昭55 昭56 昭58 昭59 昭61)
【11回】熊本(昭34 昭35 昭36 昭37 昭38 昭39 昭40 昭41 昭42 昭44 昭48)
熊本学園大学付属【熊本商科大学附属】(昭40 昭43 昭57 昭60 昭62 昭63 **平1** 平2 平5 平6 平7)
【2回】 八代東(**昭48** 平9 **平10**)芦北(平3 平4)

90．熊本女子
【15回】熊本中央女子(昭52 昭53 昭54 **昭55 昭56 昭58** 昭61 昭62 昭63 平1 **平3** 平4 平6 平7 平9)
【14回】熊本信愛女学院(昭35 昭36 昭37 昭39 昭40 昭50 昭51 **昭57** 昭59 昭60 平2 平5 平8 平10)
【7回】 九州女学院(昭38 昭40 昭41 昭43 昭44 昭47 昭48)
【3回】 熊本市立(昭42 昭45 昭46)
【1回】 熊本国府【熊本女子商業】(昭49)

91．宮崎男子
【12回】宮崎工業(昭52 昭53 昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭60 昭62 平3 平4 平9)
【7回】 妻(昭59 昭61 平1 平5 平6 平7 平10)
【3回】 日向工業(昭48 昭49 昭51)
【2回】 富島(昭50 昭63)高千穂(平2 平4)
【1回】 日向(平8)
【1回】 別府青山(昭61)臼杵商業(平4)

９２．宮崎女子

【１７回】宮崎商業(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平2 平3 平4 平5 平6 平9 平10)
【５回】　都城商業(昭47 昭48 昭49 昭50 昭52)
【２回】　宮崎女子(昭46 平1)富島(昭51 昭53)都城聖ドミニコ学園(平4)
【１回】　延岡商業(平4)

９３．鹿児島男子

【２１回】鹿児島商業(昭44 昭48 昭49 昭53 昭54 昭55 昭57 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【１３回】鹿児島(昭35 昭36 昭38 昭39 昭41 昭42 昭43 昭45 昭46 昭47 昭50 昭56 平1)
【３回】　川内(昭34 昭51 昭57)
【１回】　串木野(昭40)川内商工(昭52)鹿児島中央(昭58)

９４．鹿児島女子

【１２回】鹿児島女子(昭61 昭62 昭63 平1 平2 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【７回】　川内(昭35 昭38 昭40 昭41 昭42 昭43 昭46)
【５回】　鹿児島(昭47 昭48 昭52 昭57 昭59)
【４回】　鹿児島南(昭50 昭58 昭60 平3)
【３回】　串木野(昭44 昭45 昭49)知覧(昭53 昭56 昭57)
【１回】　鹿児島純心女子(昭39)伊集院(昭51)川内商工(昭54)沖永良部(昭55)

９５．沖縄男子

【９回】　那覇商業(昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭49)
【５回】　糸満(昭53 昭57 昭60 平1 平2)
【４回】　豊見城(昭55 昭61 昭62 昭63)
【３回】　那覇(昭50 昭51 昭56)南風原(平5 平8 平9)
【２回】　与勝(昭58 平3)石川(昭52 昭54)
【１回】　那覇工業(昭59)南部商業(平4)豊見城南(平6)首里(平7)沖縄水産(平10)

９６．沖縄女子

【１１回】那覇商業(昭41 昭42 昭43 昭44 昭45 昭46 昭47 昭48 昭50 昭52 平1)
【９回】　南風原(昭57 昭58 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8)
【４回】　糸満(昭61 昭62 昭63 平9)
【３回】　石川(昭51 昭53 昭55)
【２回】　小禄(昭59 昭60)
【１回】　首里(昭49)那覇(昭54)南部商業(昭56)豊見城南(平10)

全国高等学校選抜バドミントン大会の記録

第１回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1973年（昭和48年）３月　日～　日
栃木県真岡市　県立真岡女子高等学校

男子ダブルス

優　勝　辰己　秀雄	準優勝　西村　正美	第３位　佐野　典昭
杉本　重幸	梶川　博之	奥野　　正
（奈良市立一条・奈良）	（富山商業・富山）	（伊勢工業・三重）

女子ダブルス

優　勝　平井佐代子	準優勝　山田美根子	第３位　平野美千代
詫間　洋子	野中ミチ子	瀬野　清美
（高瀬・香川）	（長崎商業・長崎）	（安孫子二階堂・千葉）

男子シングルス

優　勝　西村　正美	準優勝　梶川　博之	第３位　辰己　秀雄
（富山商業・富山）	（富山商業・富山）	（奈良市立一条・奈良）

女子シングルス

優　勝　渡辺多喜子	準優勝　石田　尚子	第３位　日向野藤江
（平商業・福島）	（真岡女子・栃木）	（真岡女子・栃木）

第２回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1974年（昭和49年）３月23日～24日
東京都豊島区　巣鴨女子高等学校

男子ダブルス

	選手名・学校名・地区名	A	B	C	D	E	勝－敗	順位
A	米山　孝二 柴田　正明 (日本大学山形・東北)	☆	2 | 15－ 3 15－ 6 | 0	2 | 15－11 15－13 | 0	2 | 15－10 15－10 | 0	0 | 10－15 7－15 | 2	３－１	２
B	熊谷　敏夫 木村　雅彦 (函館東・北海道)	0 | 3－15 6－15 | 2	☆	0 | 10－15 5－15 | 2	0 | 3－15 12－15 | 2	0 | 16－18 4－15 | 2	０－４	５
C	福本信太郎 管　敏明 (鷹　浦・九州)	0 | 11－15 13－15 | 2	2 | 15－10 15－ 5 | 0	☆	2 | 15－ 9 15－10 | 0	0 | 8－15 11－15 | 2	２－２	３
D	足立　天由 中川　徳人 (岐　阜　東・東海)	0 | 10－15 10－15 | 2	2 | 15－13 15－12 | 0	0 | 9－15 10－15 | 2	☆	0 | 9－15 3－15 | 2	１－３	４
E	伊東　勝之 佐々木靖雄 (日本大学鶴ケ丘・関東)	2 | 15－10 15－ 7 | 0	2 | 18－16 15－ 4 | 0	2 | 15－ 8 15－11 | 0	2 | 15－ 9 15－ 3 | 0	☆	４－０	１

	選手名・学校名・地区名	F	G	H	I	勝－敗	順位
F	成田　勧次 木村　弘 (日本大学鶴ケ丘・関東)	☆	2 | 7－15 15－ 5 | 1 15－12	0 | 11－15 7－15 | 2	0 | 9－15 5－15 | 2	１－２	３
G	橋本　敏邦 武者也寸志 (倉敷青陵・中国)	1 | 15－ 7 5－15 | 2 12－15	☆	0 | 3－15 8－15 | 2	1 | 17－16 4－15 | 2 8－15	０－３	４
H	黒沢　一夫 毛利　智成 (湯　川・北信越)	2 | 15－11 15－ 7 | 0	2 | 15－ 3 15－ 8 | 0	☆	1 | 4－15 15－ 1 | 2 5－15	２－１	２
I	塚本　良一 竹中　伸行 (奈良附一条・近畿)	2 | 15－ 9 15－ 5 | 0	2 | 16－17 15－ 4 | 1 15－ 8	2 | 15－ 4 1－15 | 1 15－ 5	☆	３－０	１

決勝　塚本　良一（奈良附一条・近畿） 1 \| 10－15
2 \| 15－ 3
2 \| 15－12 \| 0　伊東　勝之
佐々木靖雄（日本大学鶴ケ丘・関東）

３位決定戦　黒沢　一夫
毛利　智成（湯　川・北信越） 2 \| 15－ 8
2 \| 15－ 3 \| 0　米山　孝二
柴田　正明（日本大学山形・東北）

女子ダブルス

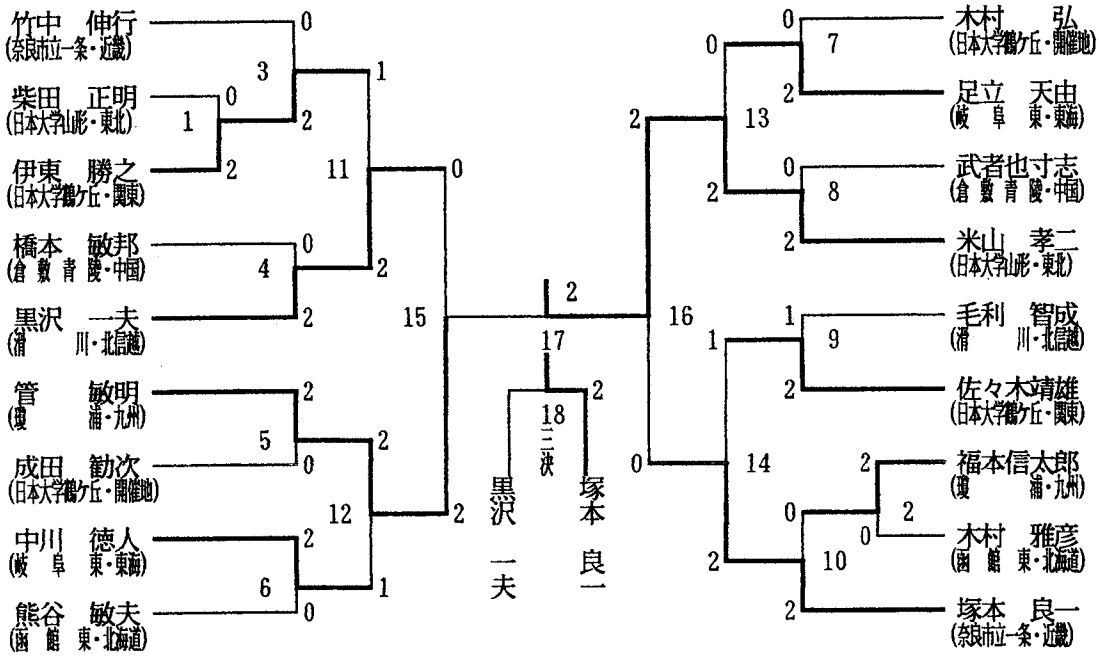
	選手名・学校名・地区名	A	B	C	D	E	勝－敗	順位
A	原田美智子 日原　禎子 (山陽女子・中国)	☆	2 | 15－ 3 15－ 9 | 0	2 | 15－ 2 15－ 2 | 0	0 | 9－15 9－15 | 2	2 | 7－15 18－17 | 1 15－10	3－1	2
B	沢内真由美 門脇ルリ子 (新庄南・東北)	0 | 9－15 3－15 | 2	☆	2 | 15－ 6 15－ 2 | 0	0 | 11－15 11－15 | 2	0 | 3－15 12－15 | 2	1－3	4
C	広瀬　純子 多賀　洋子 (福田女子・東海)	0 | 2－15 2－15 | 2	0 | 6－15 2－15 | 2	☆	0 | 4－15 3－15 | 2	0 | 5－15 12－15 | 2	0－4	5
D	関根ソノエ 大塚　和子 (新潟青陵・北信越)	2 | 15－ 9 15－ 9 | 0	2 | 15－11 15－11 | 0	2 | 15－ 4 15－ 3 | 0	☆	2 | 15－ 6 15－ 6 | 0	4－0	1
E	落合　光子 五味　勝美 (甲府湯田・関東)	1 | 15－ 7 17－18 | 2 10－15	2 | 15－ 3 15－12 | 0	2 | 15－ 5 15－12 | 0	0 | 6－15 6－15 | 2	☆	2－2	3

	選手名・学校名・地区名	F	G	H	I	勝－敗	順位
F	植野恵美子 秋本美津子 (四條畷学園・近畿)	☆	2 | 15－ 4 15－ 1 | 0	2 | 15－ 0 15－11 | 0	2 | 15－ 6 15－ 2 | 0	3－0	1
G	高谷　陽子 高橋　友江 (帯広大谷・北海道)	0 | 4－15 1－15 | 2	☆	0 | 5－15 10－15 | 2	0 | 7－15 2－15 | 2	0－3	4
H	黒岩　芳美 音　玲子 (鶴鳴女子・九州)	0 | 0－15 11－15 | 2	2 | 15－ 5 15－10 | 0	☆	0 | 4－15 15－18 | 2	1－2	3
I	徳久真理子 野口　泰枝 (巣鴨女子・関東)	0 | 6－15 2－15 | 2	2 | 15－ 7 15－ 2 | 0	2 | 15－ 4 18－15 | 0	☆	2－1	2

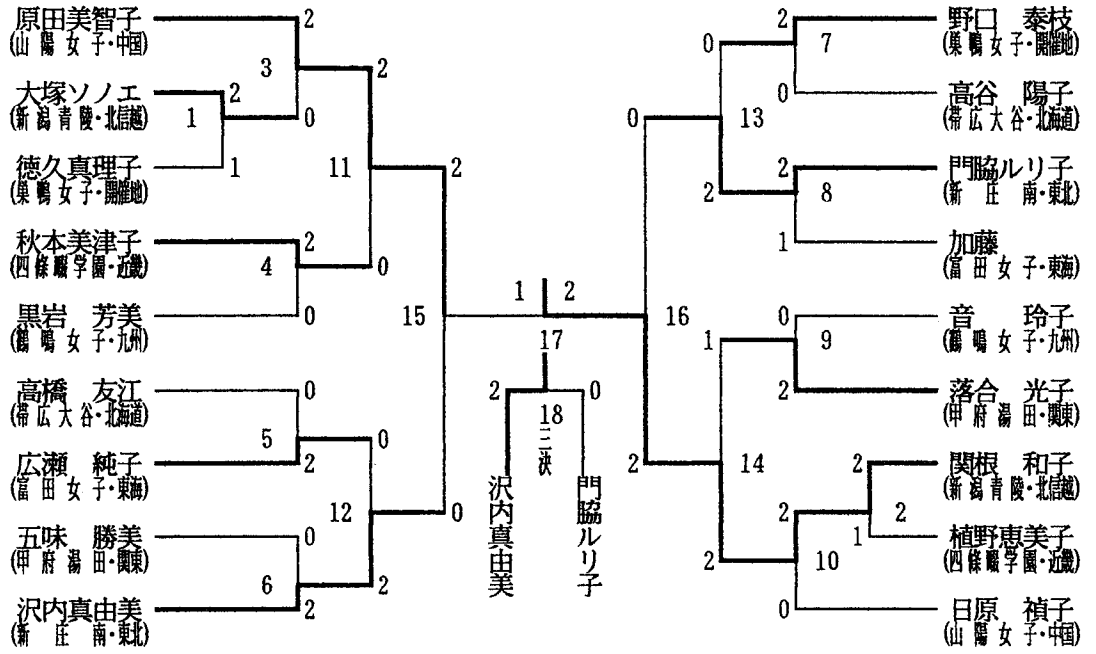
決勝　関根ソノエ　大塚　和子(新潟青陵・北信越)　2 \| 15－10 / 15－ 9 \| 0　植野恵美子　秋本美津子(四條畷学園・近畿)

3位決定戦　原田美智子　日原　禎子(山陽女子・中国)　2 \| 15－ 8 / 15－ 7 \| 0　徳久真理子　野口　泰枝(巣鴨女子・関東)

男子シングルス



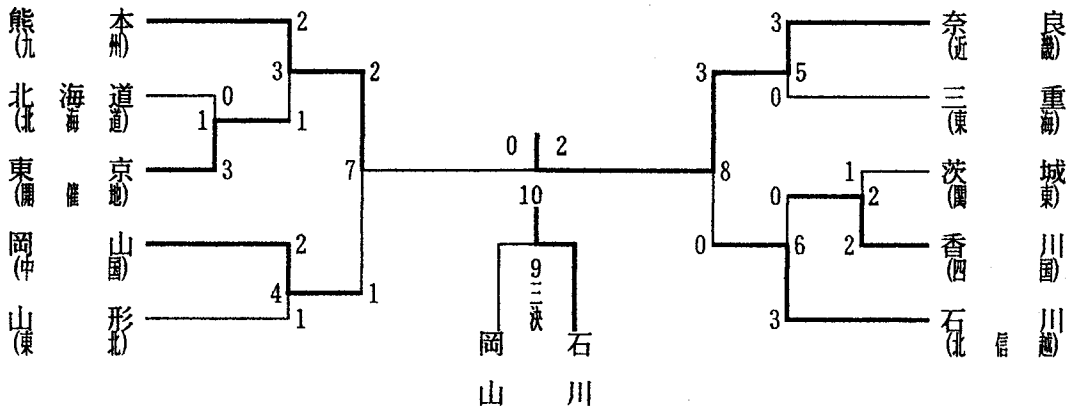
女子シングルス



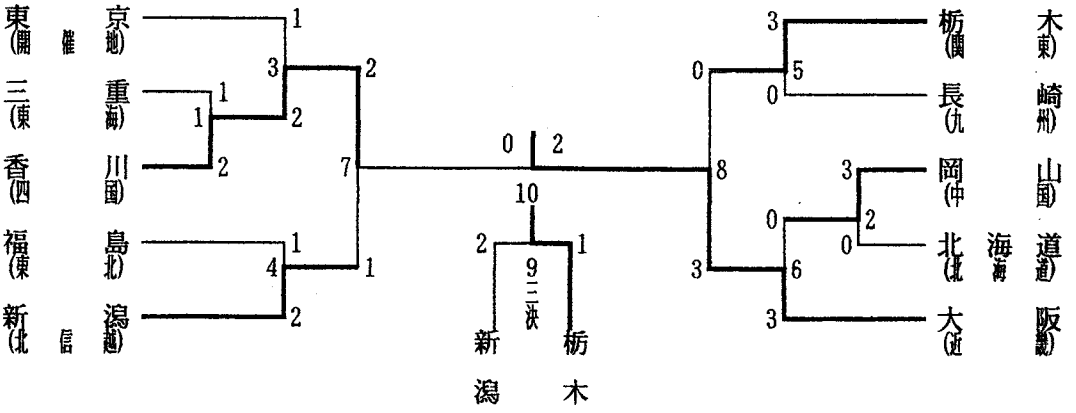
第３回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1975年（昭和50年）３月21日～22日
東京都世田谷区　駒沢オリンピック公園体育館

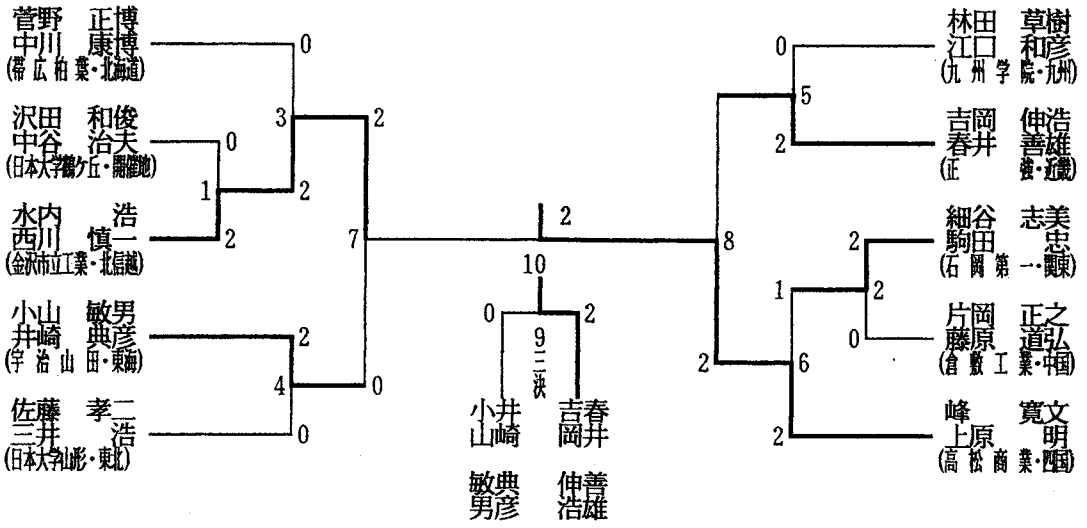
男子団体



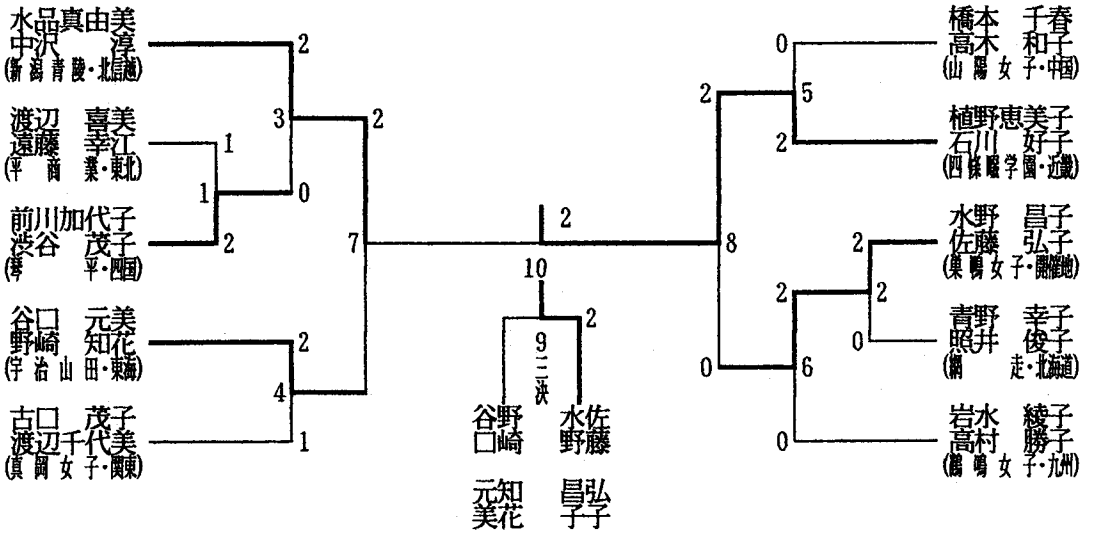
女子団体



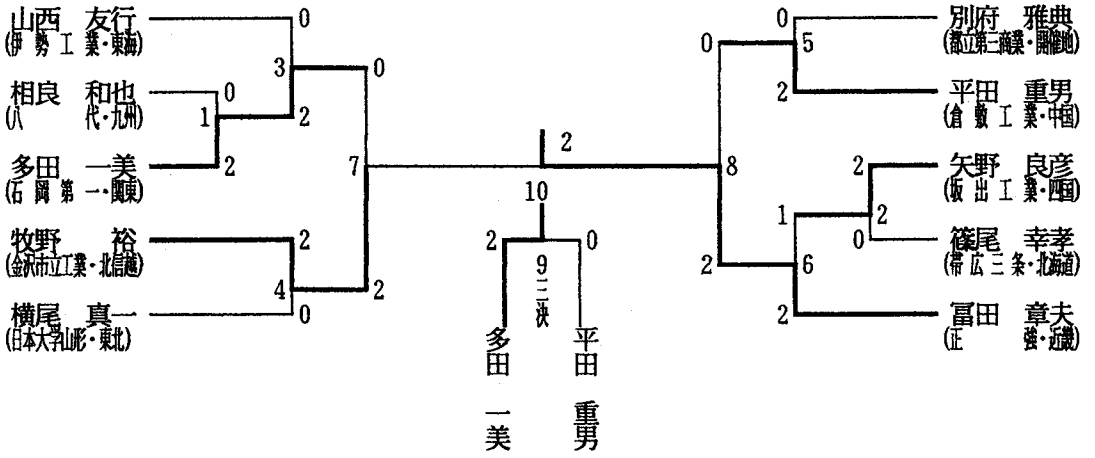
男子ダブルス



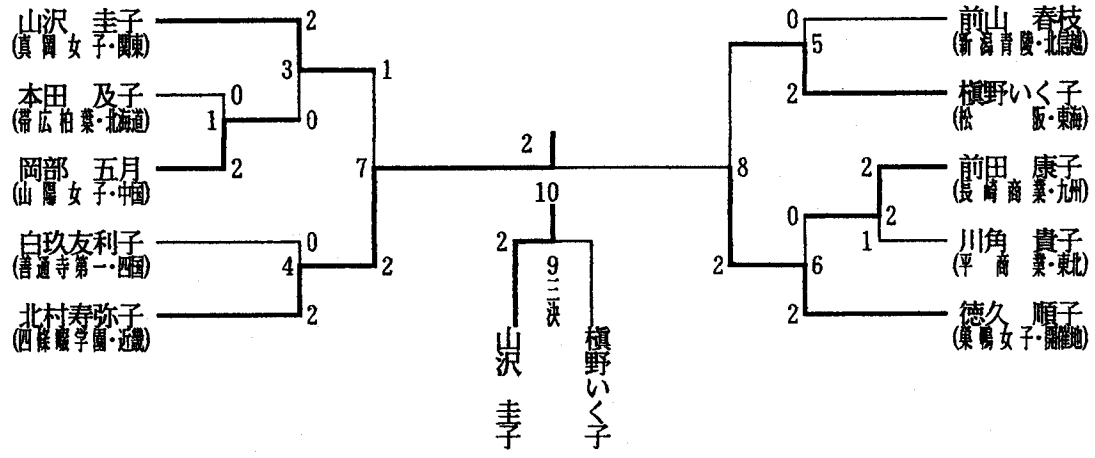
女子ダブルス



男子シングルス



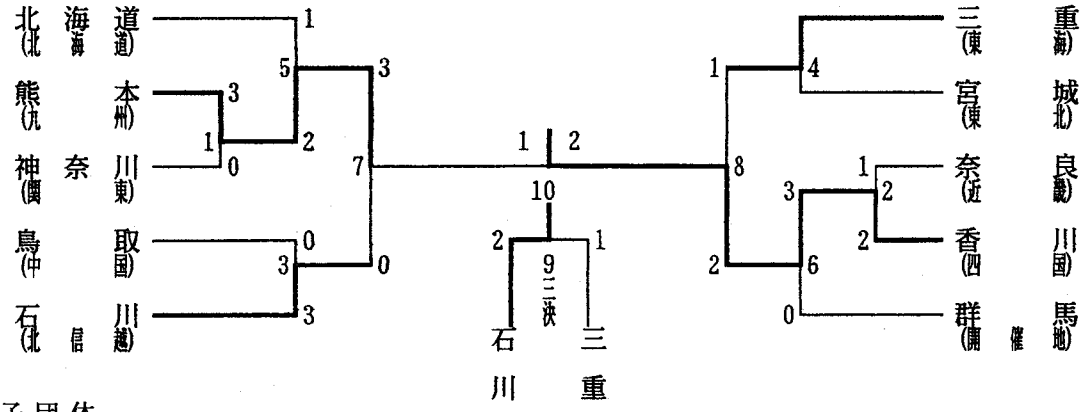
女子シングルス



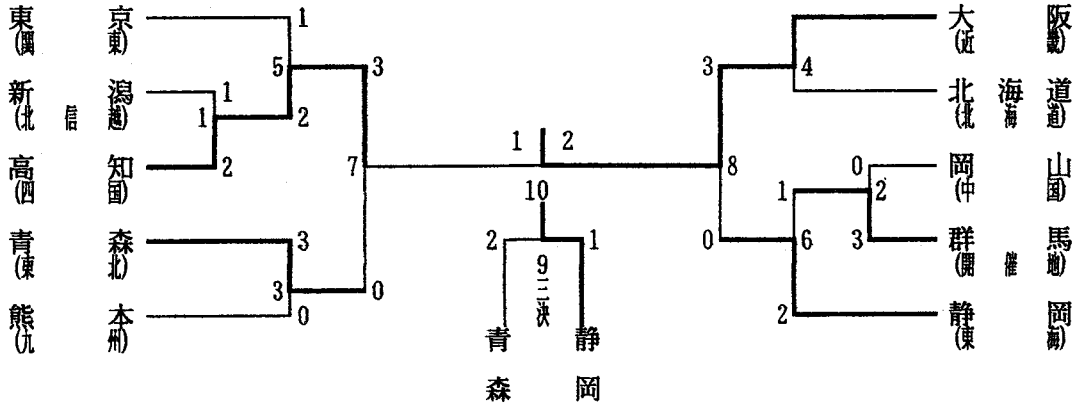
第４回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1976年（昭和51年）３月26日～27日
群馬県桐生市　桐生市民体育館

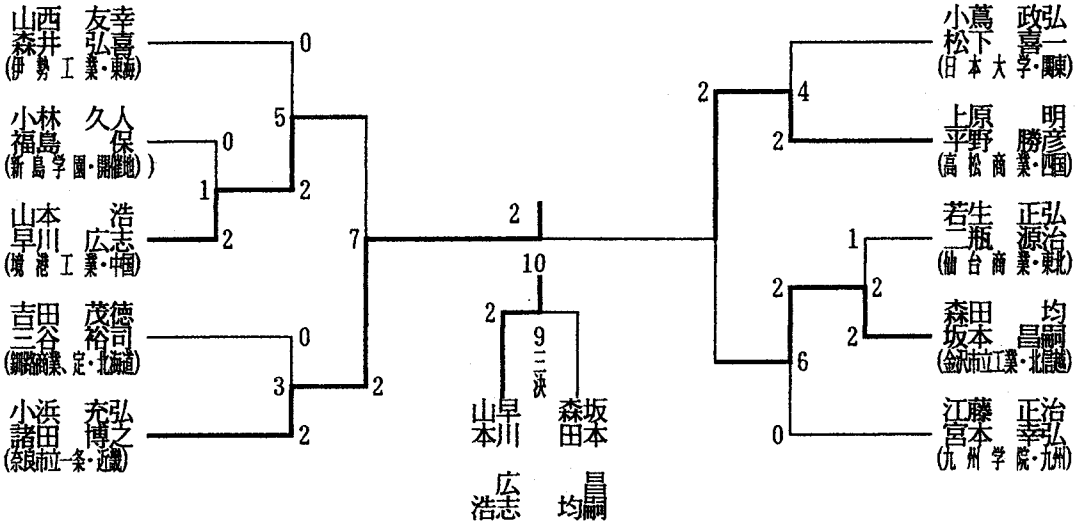
男子団体



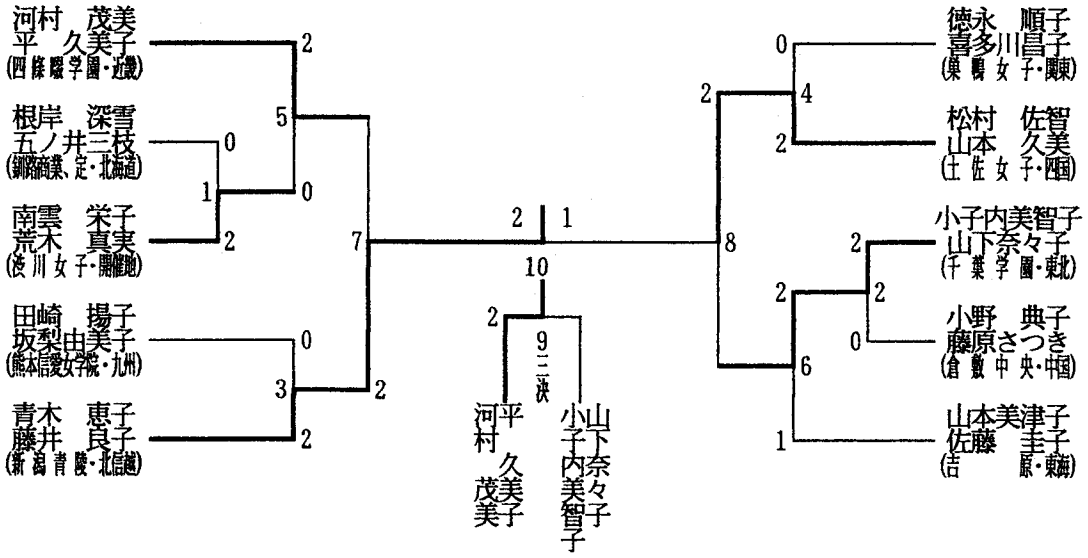
女子団体



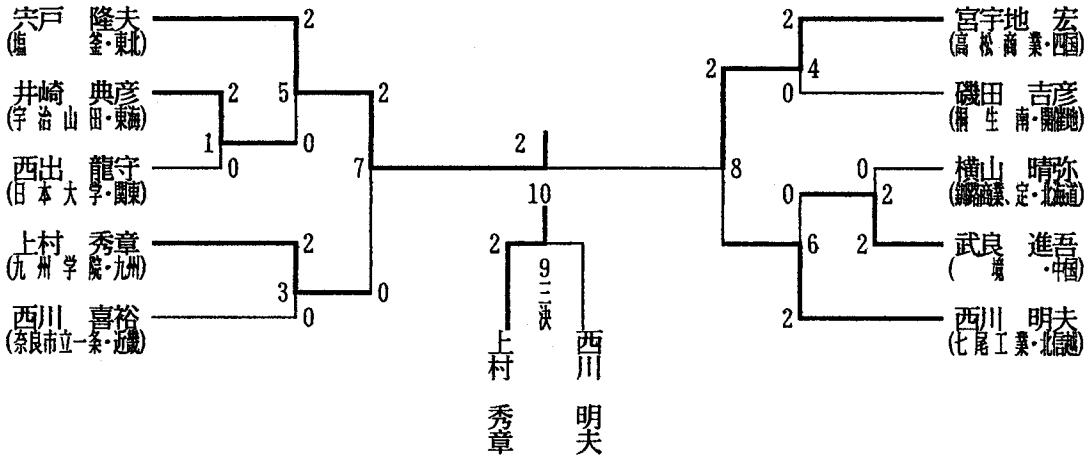
男子ダブルス



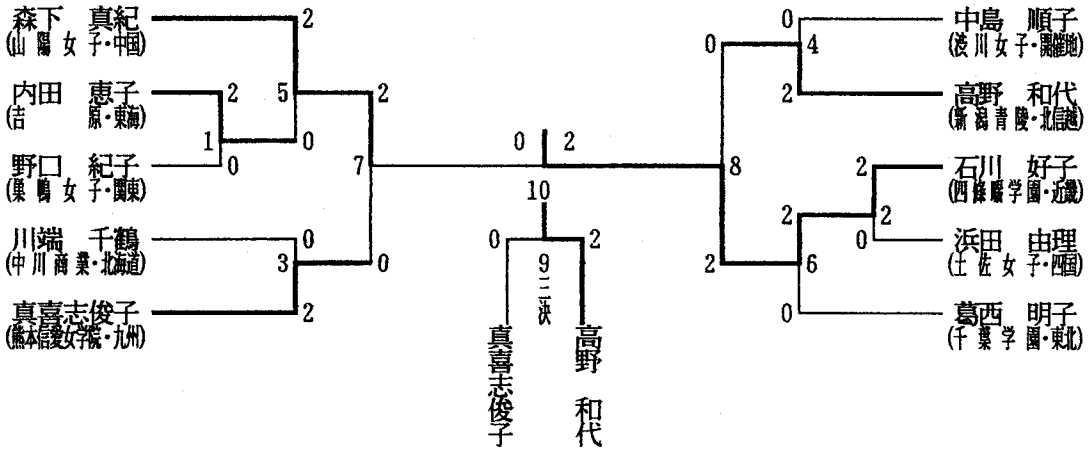
女子ダブルス



男子シングルス



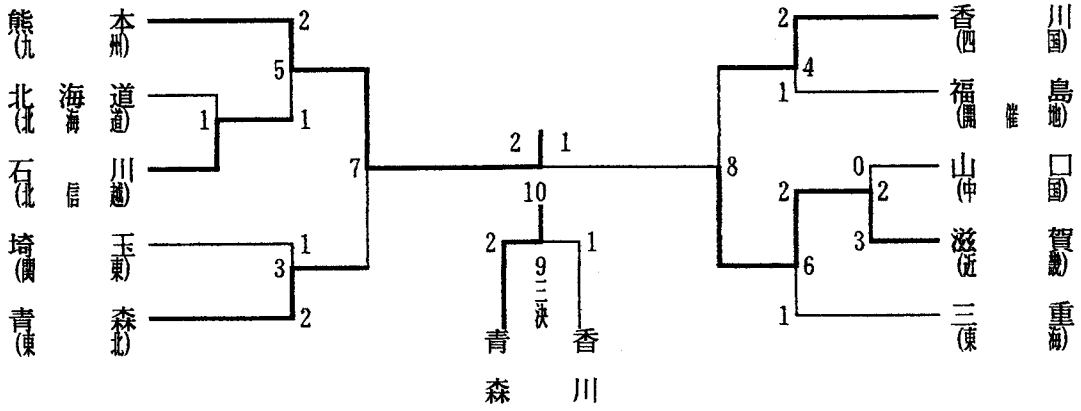
女子シングルス



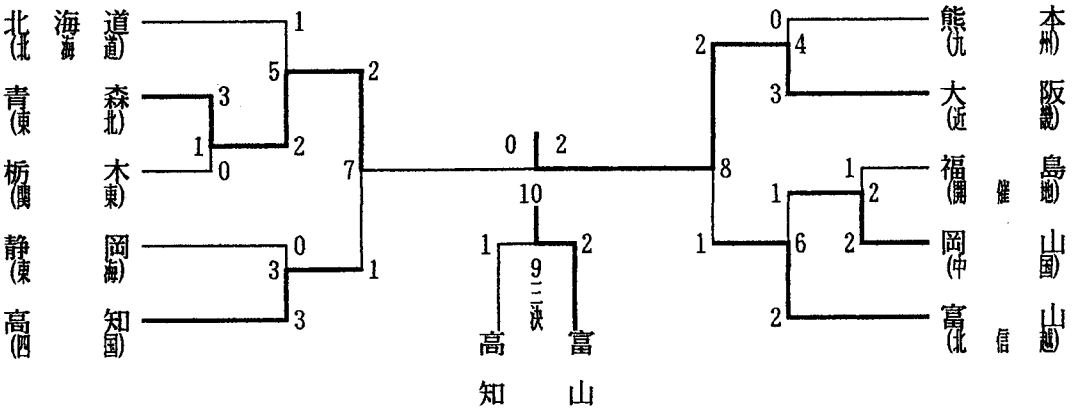
第５回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1977年（昭和52年）３月20日～21日
福島県郡山市　郡山市総合体育館

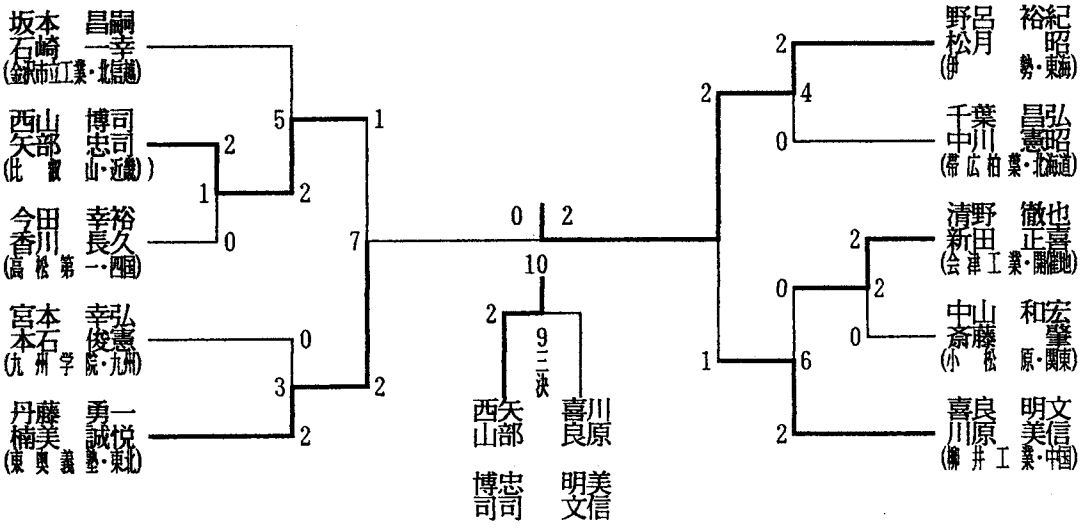
男子団体



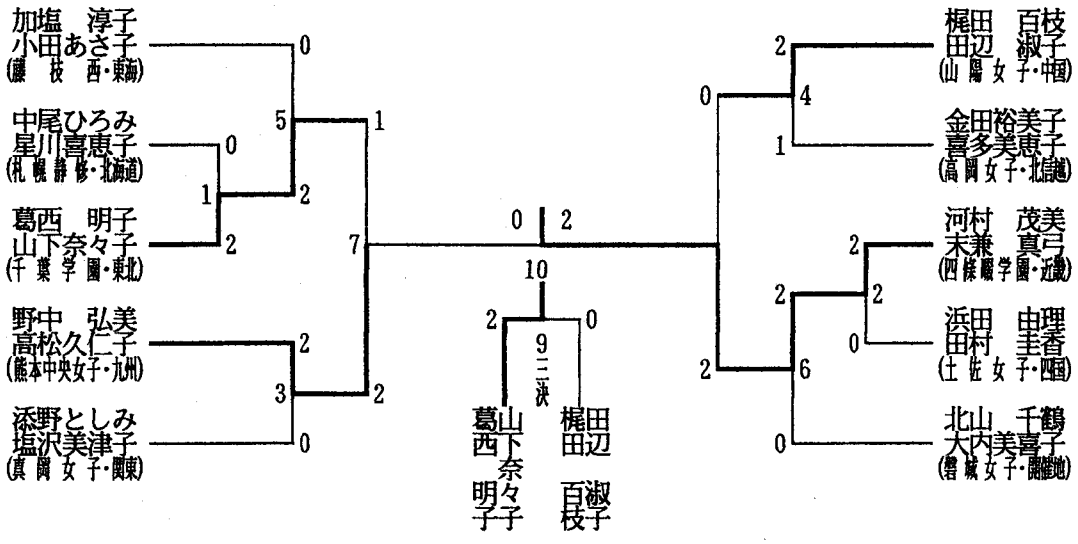
女子団体



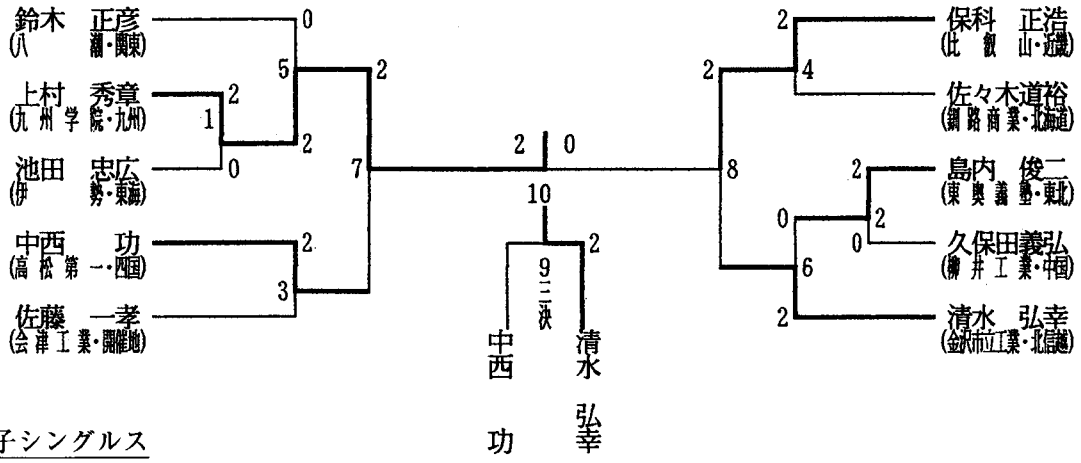
男子ダブルス



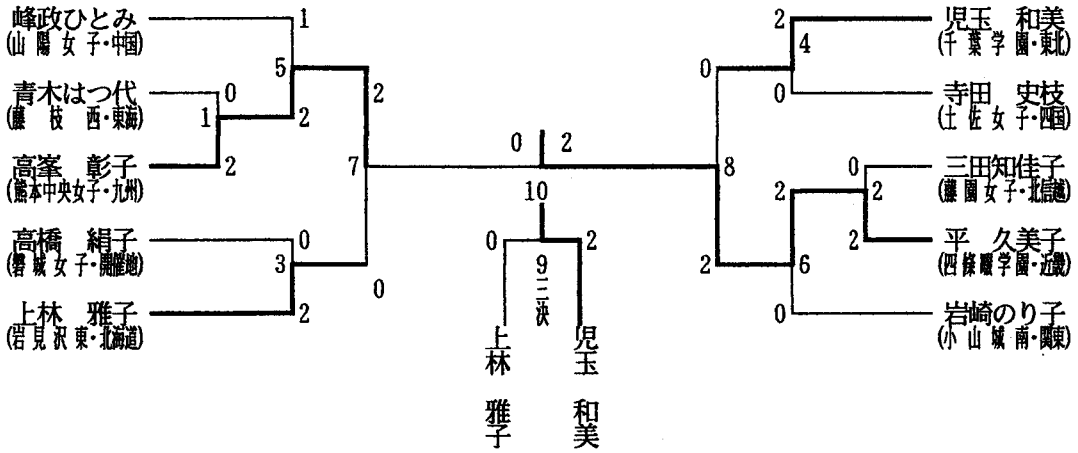
女子ダブルス



男子シングルス



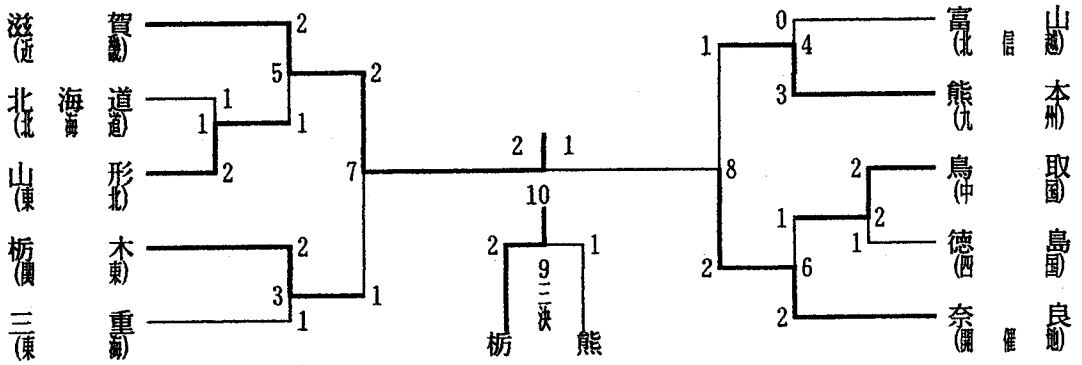
女子シングルス



第６回全国高等学校選抜バドミントン競技会

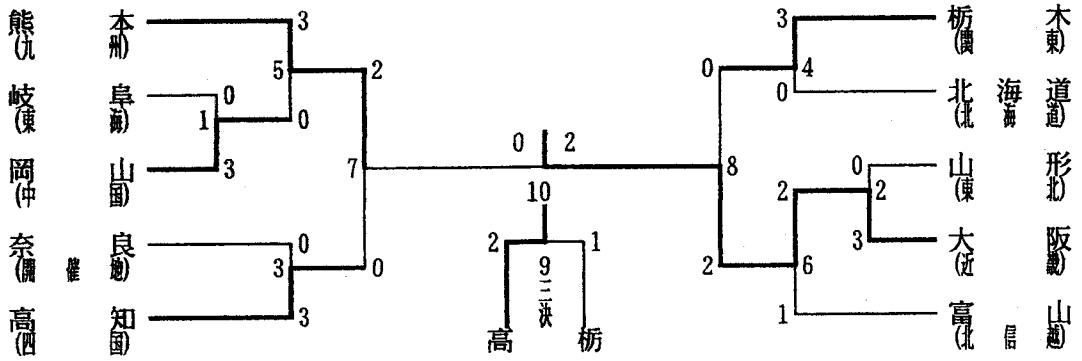
1978年（昭和53年）３月24日～25日
奈良県奈良市　奈良市中央体育館

男子団体



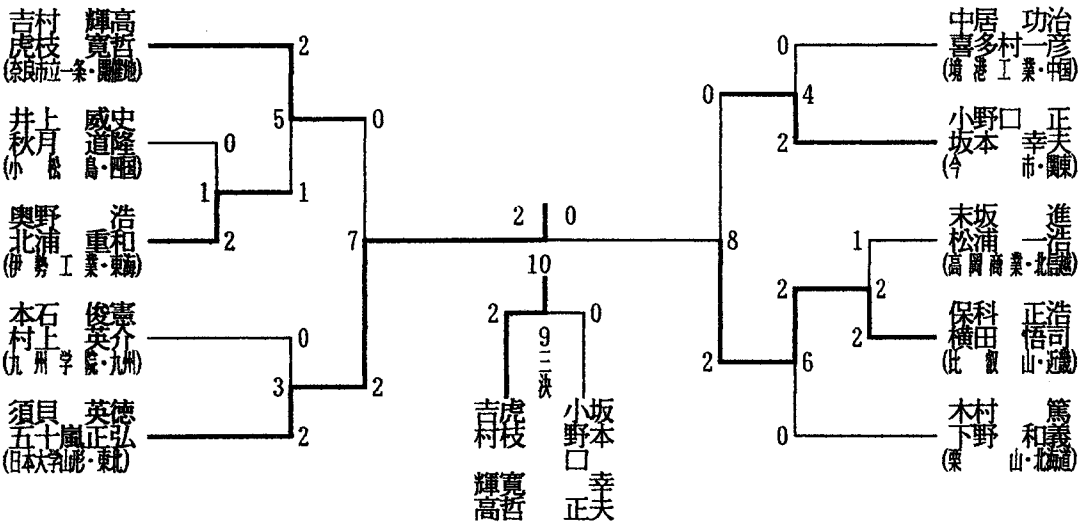
木　本

女子団体

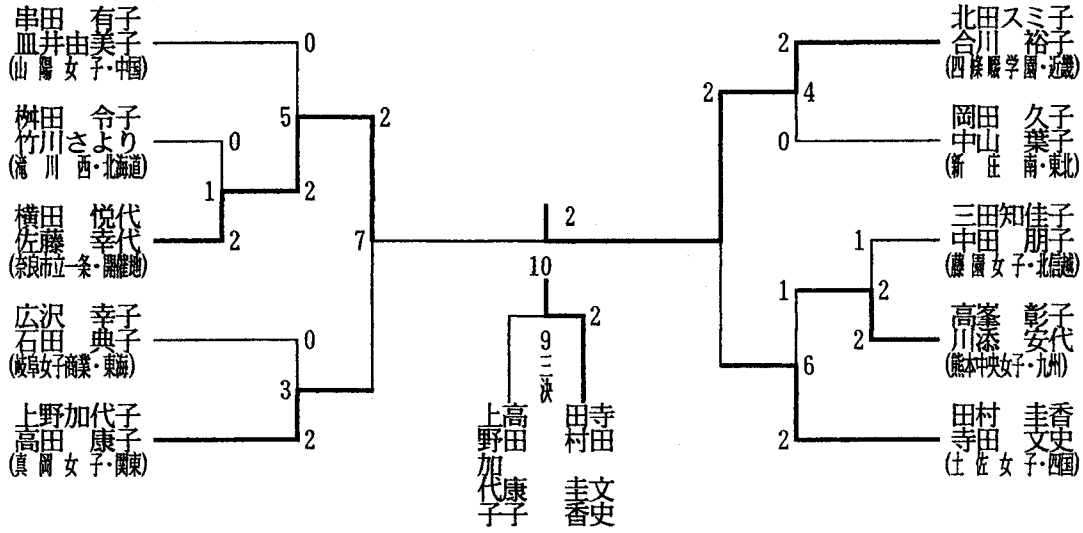


知　木

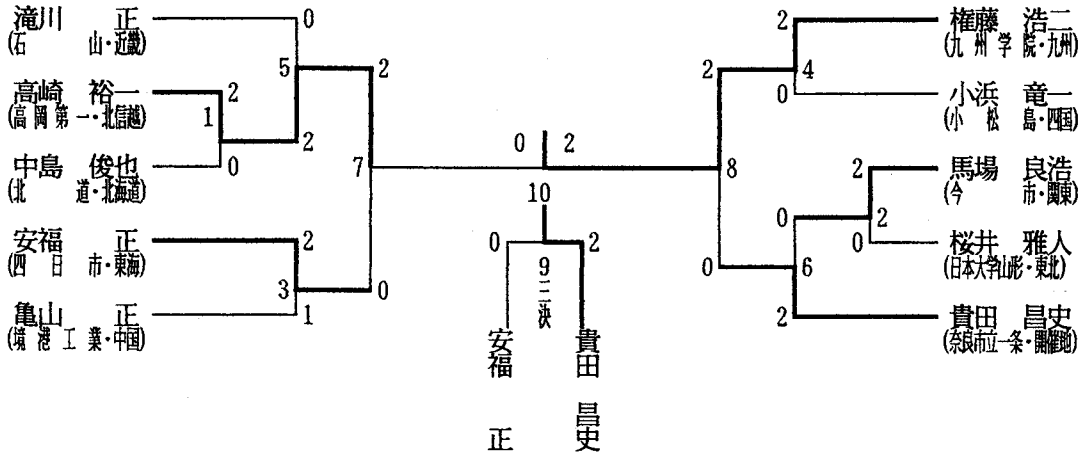
男子ダブルス



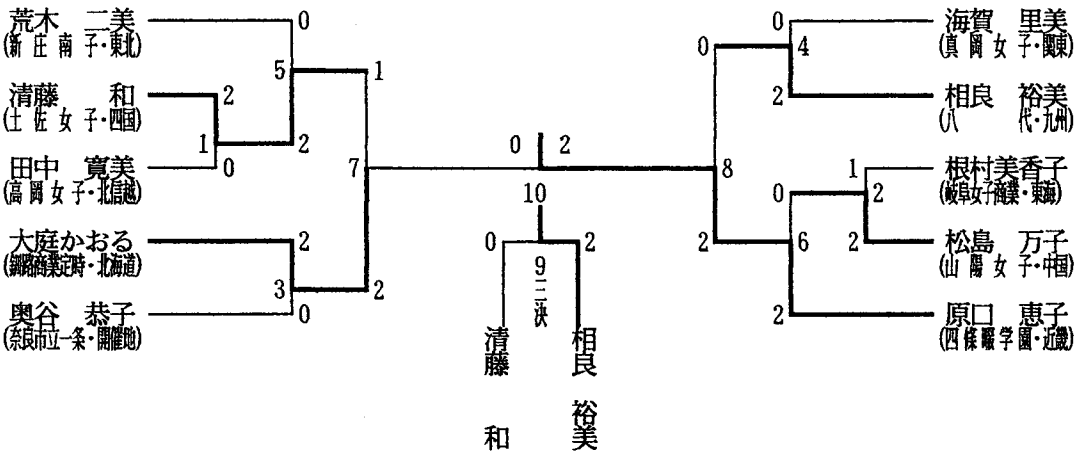
女子ダブルス



男子シングルス



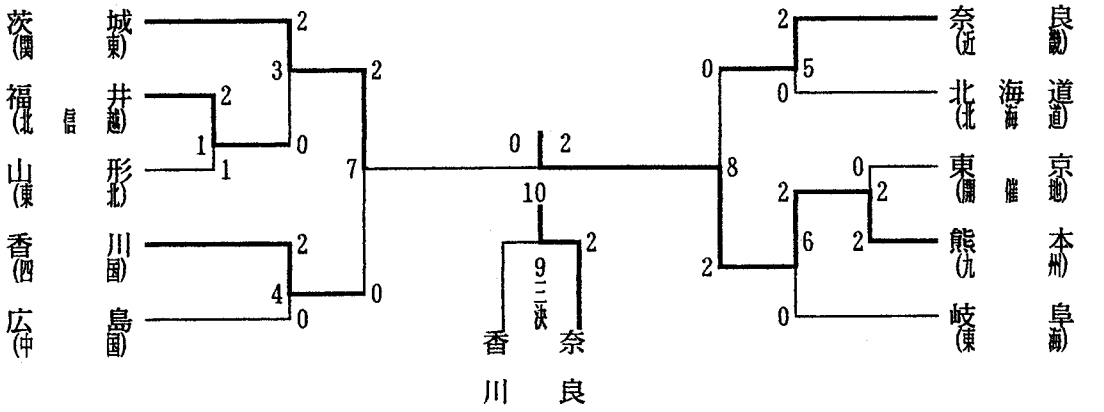
女子シングルス



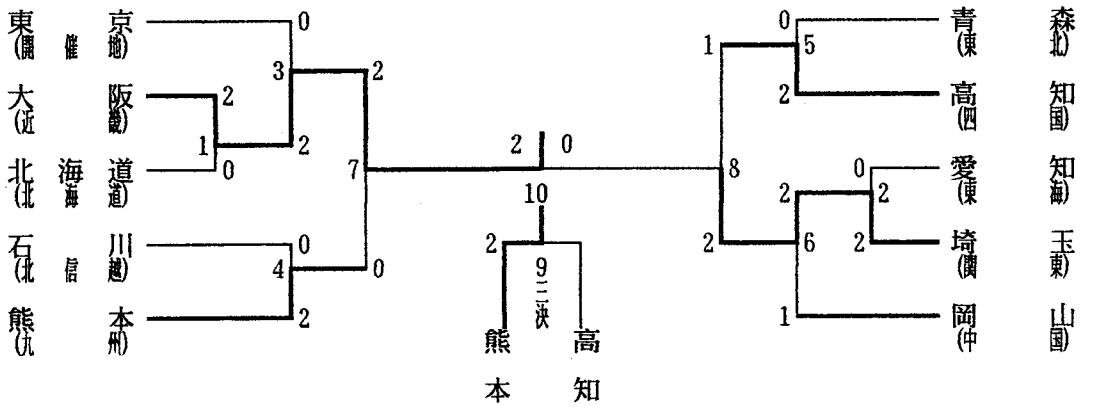
第７回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1979年（昭和54年）３月23日～24日
東京都世田谷区　駒沢オリンピック公園体育館

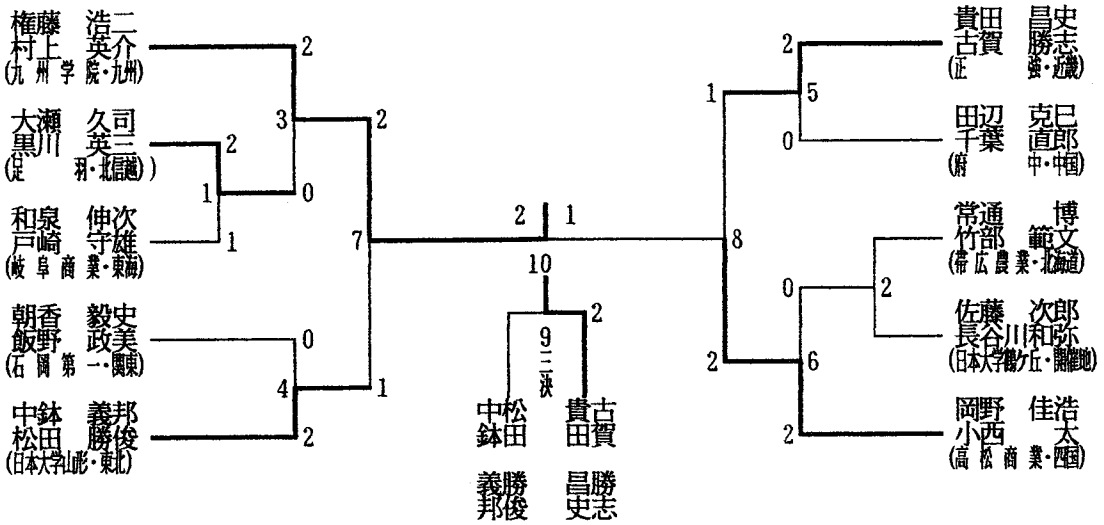
男子団体



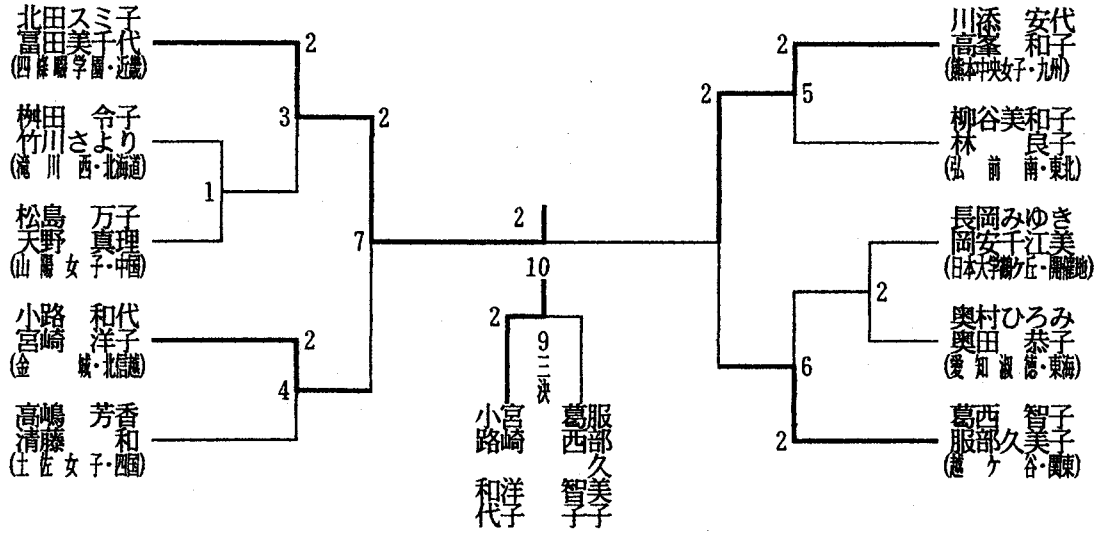
女子団体



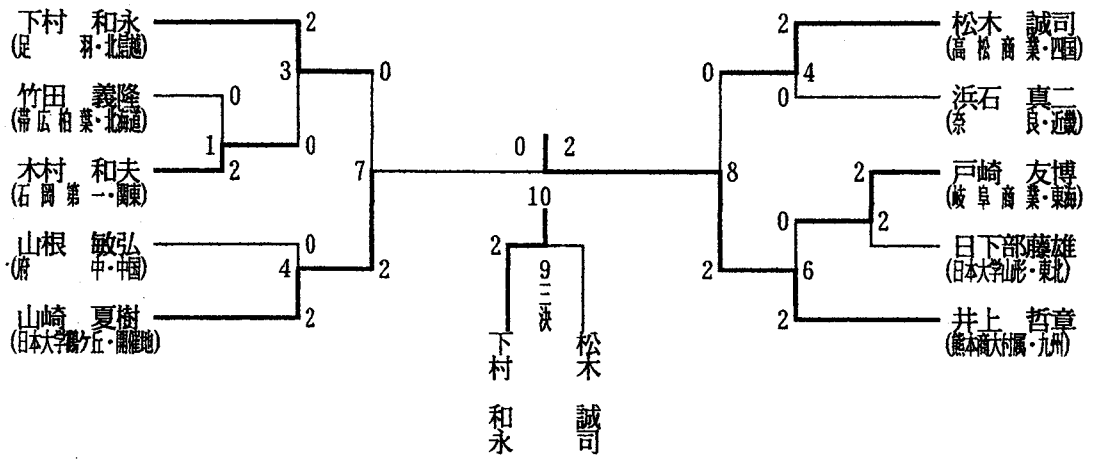
男子ダブルス



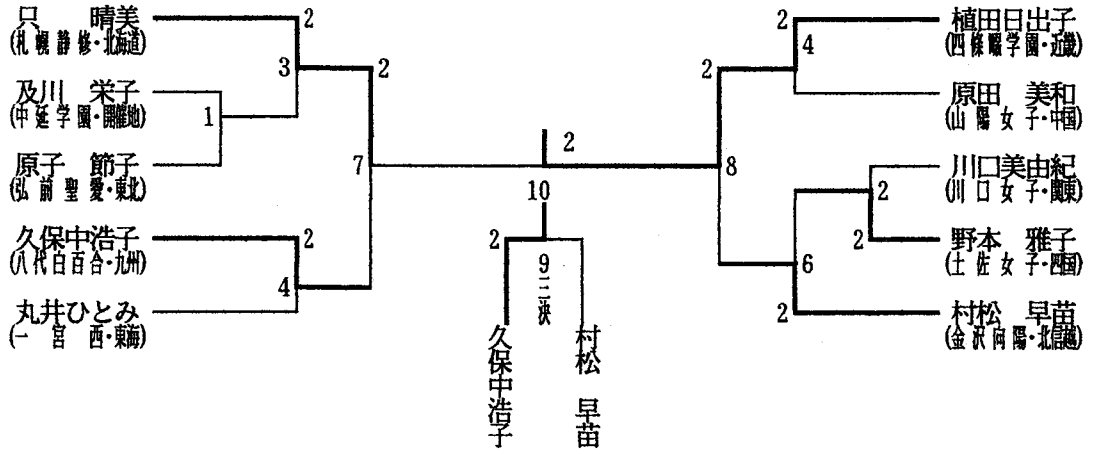
女子ダブルス



男子シングルス



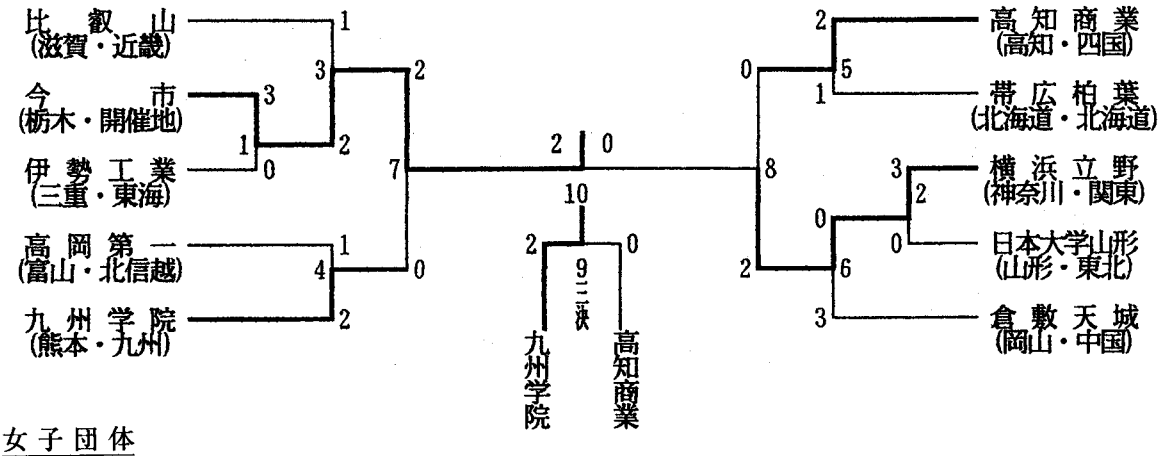
女子シングルス



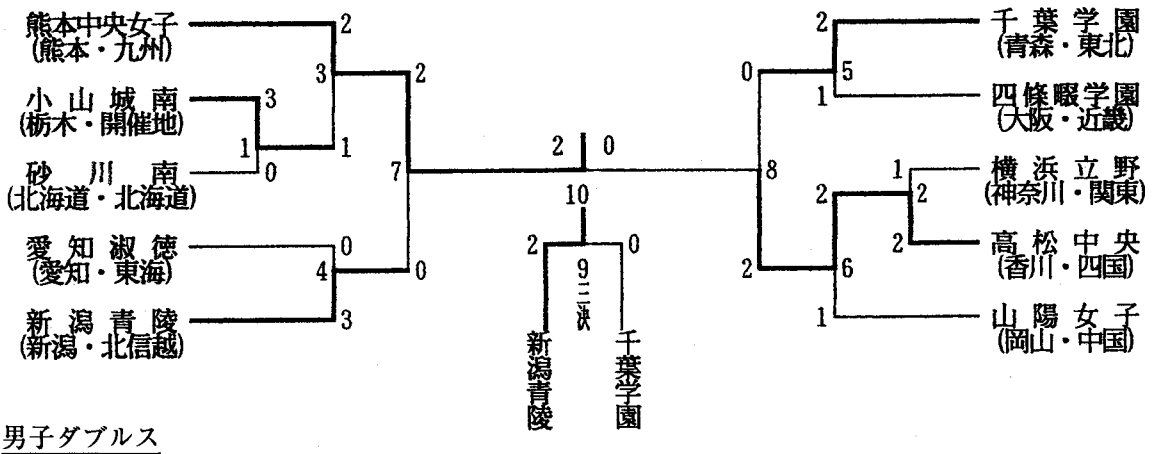
第８回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1980年（昭和55年）３月24日～25日
栃木県真岡市　真岡市総合体育館

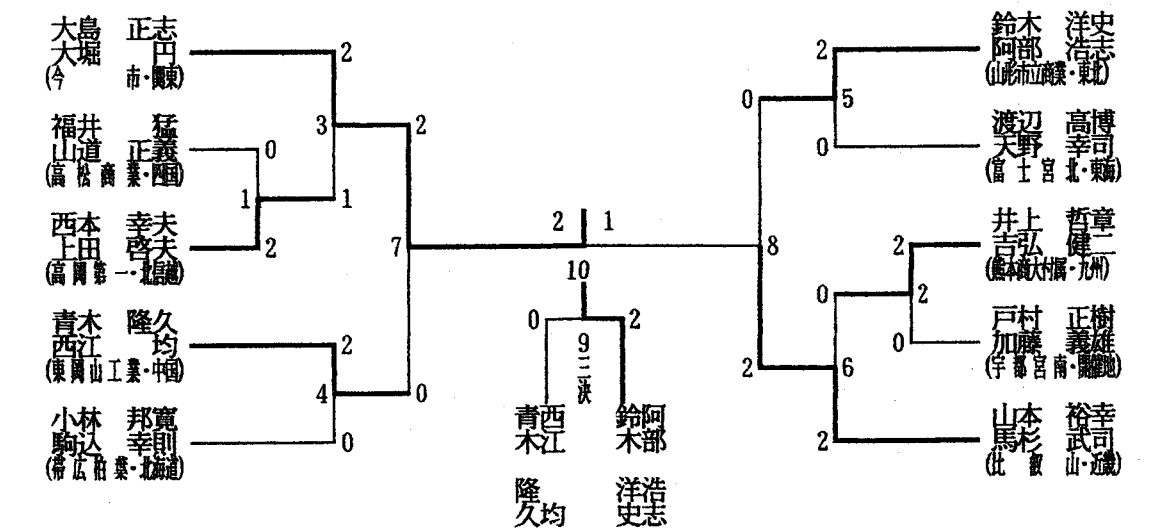
男子団体



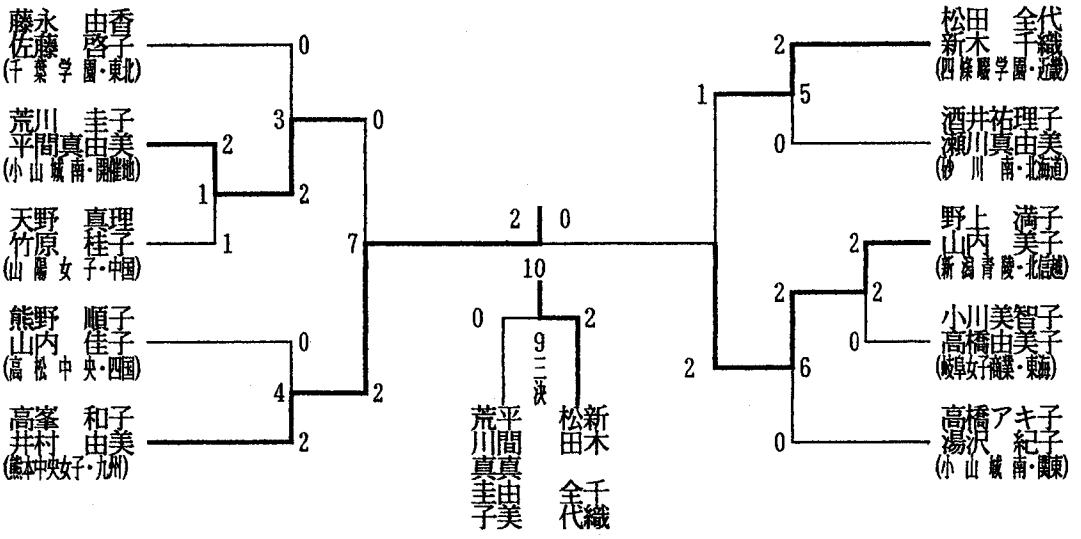
女子団体



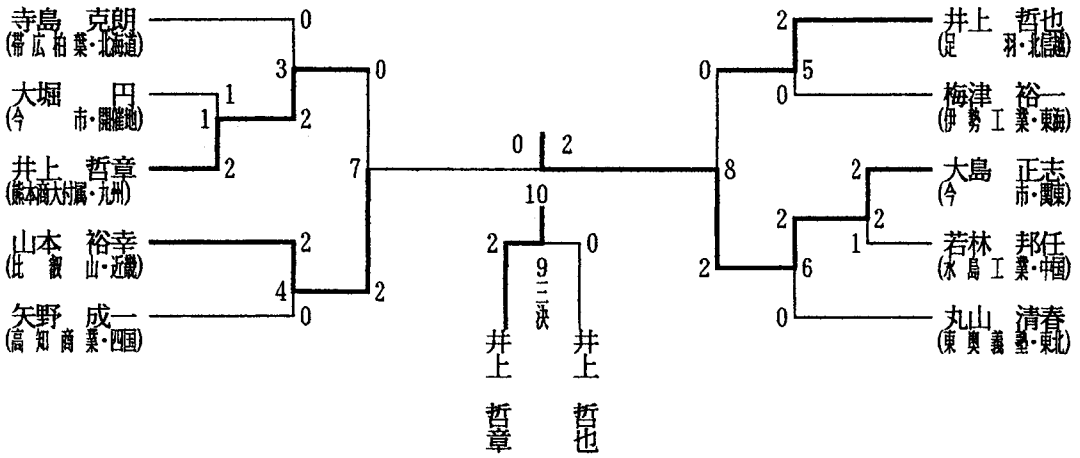
男子ダブルス



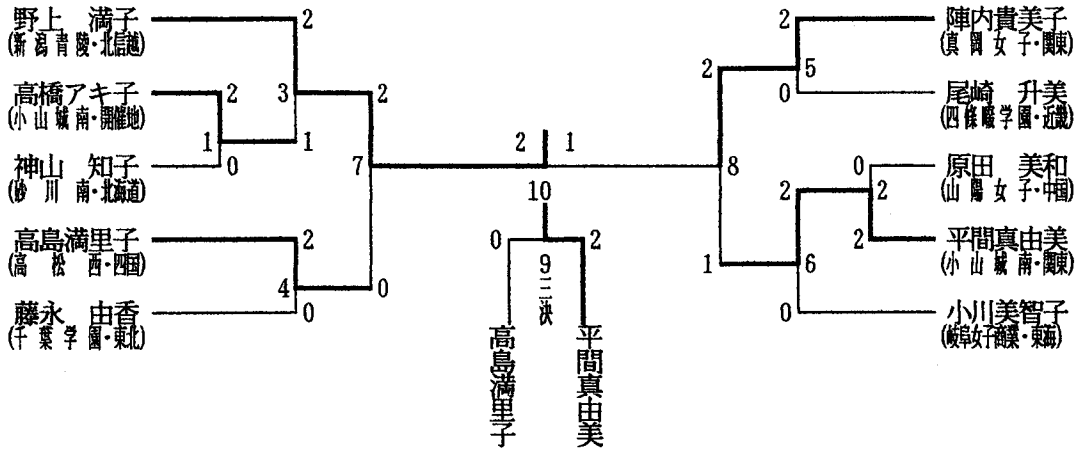
女子ダブルス



男子シングルス



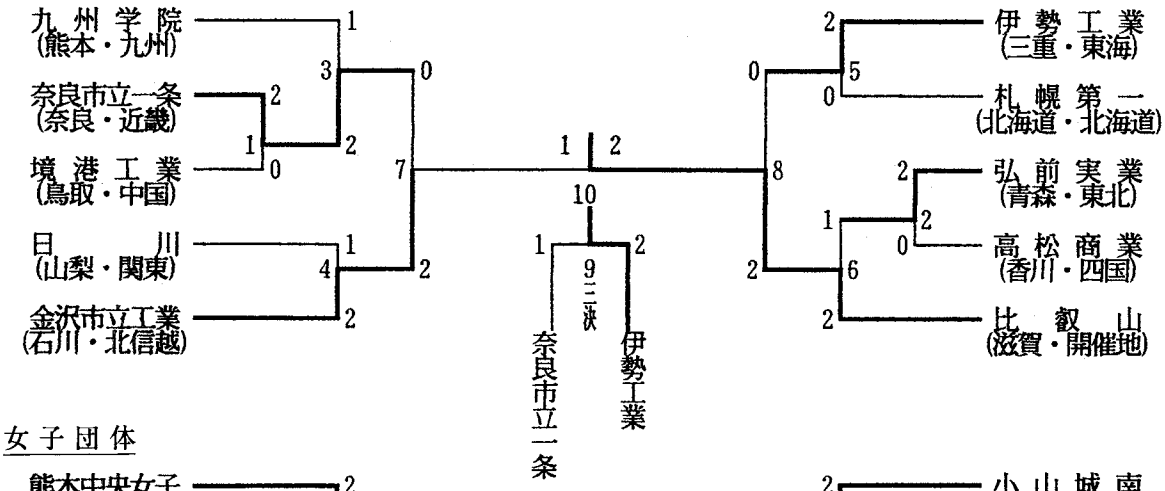
女子シングルス



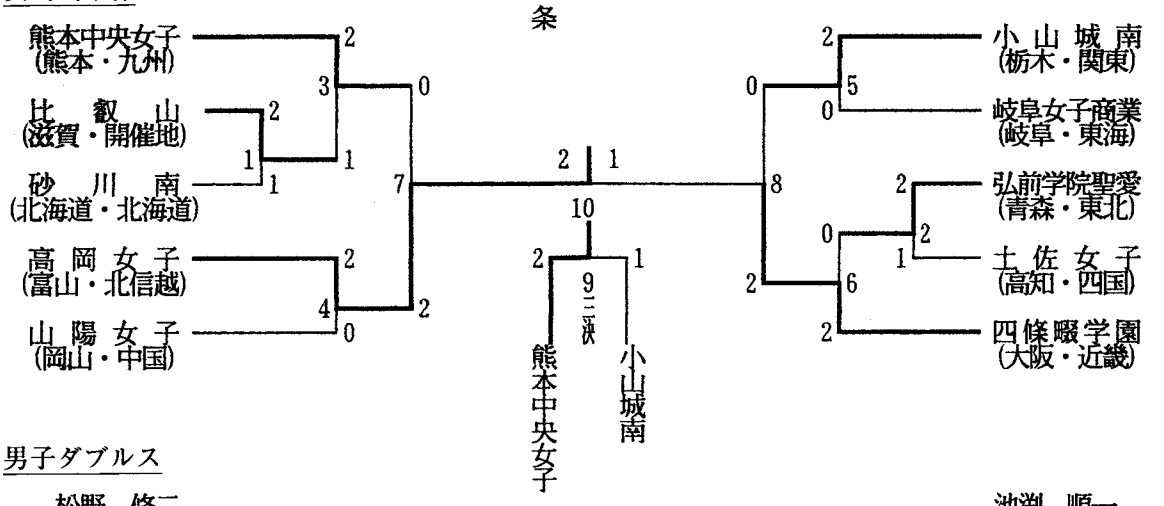
第９回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1981年（昭和56年）３月28日～29日
滋賀県大津市　皇子が丘公園体育館

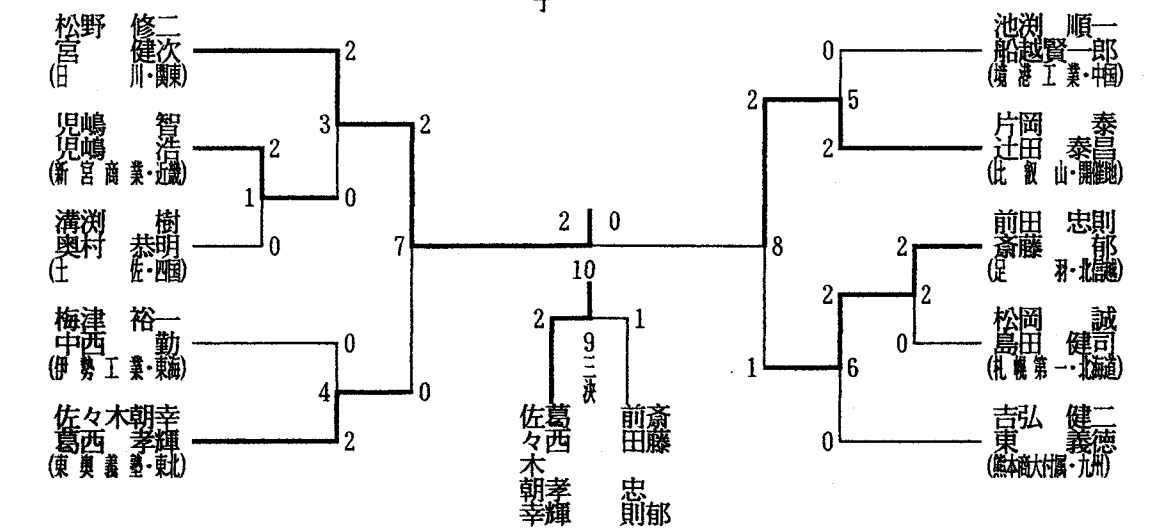
男子団体



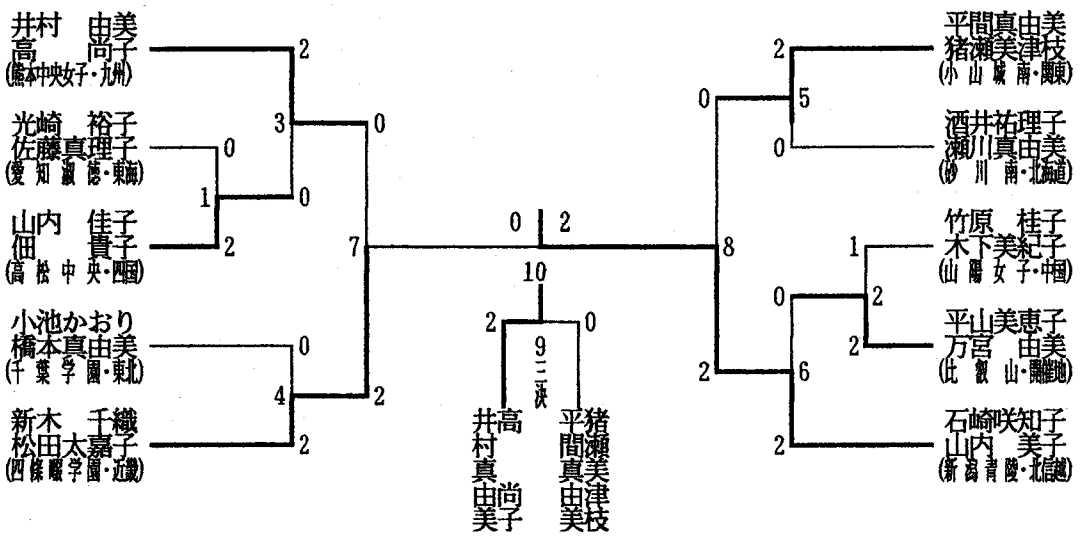
女子団体



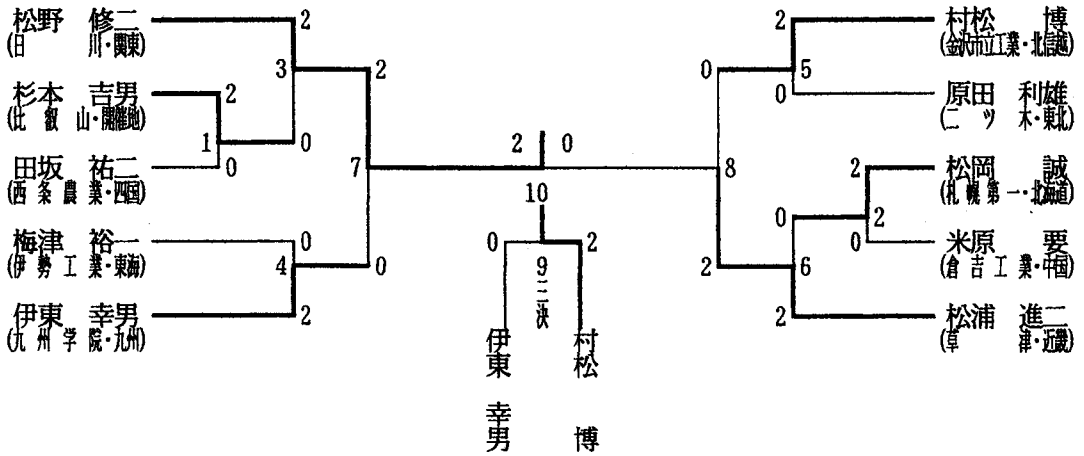
男子ダブルス



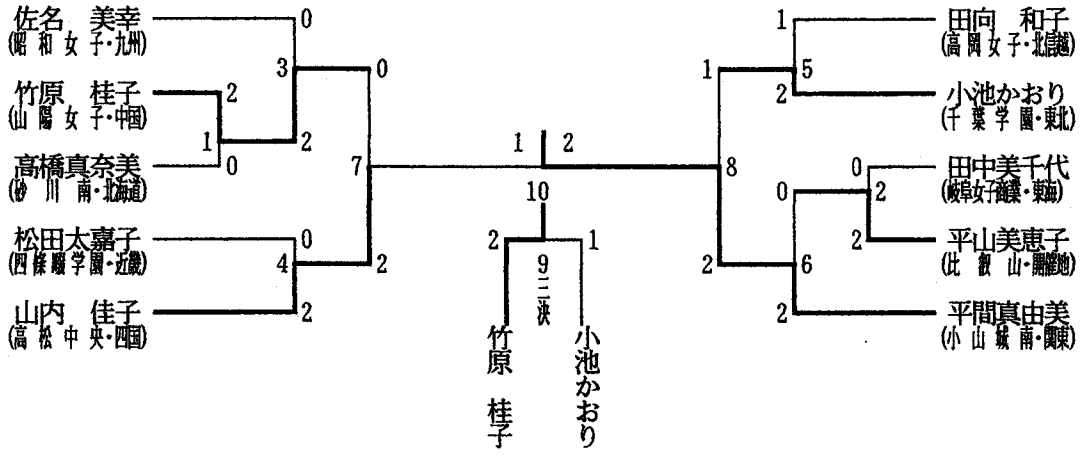
女子ダブルス



男子シングルス



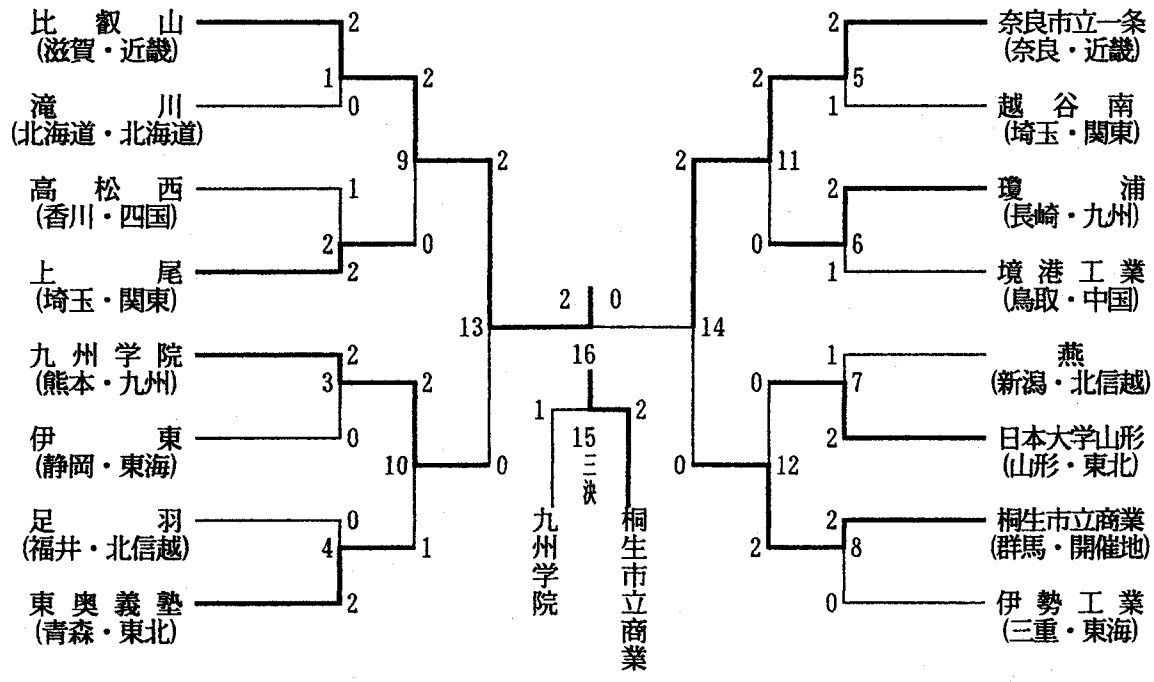
女子シングルス



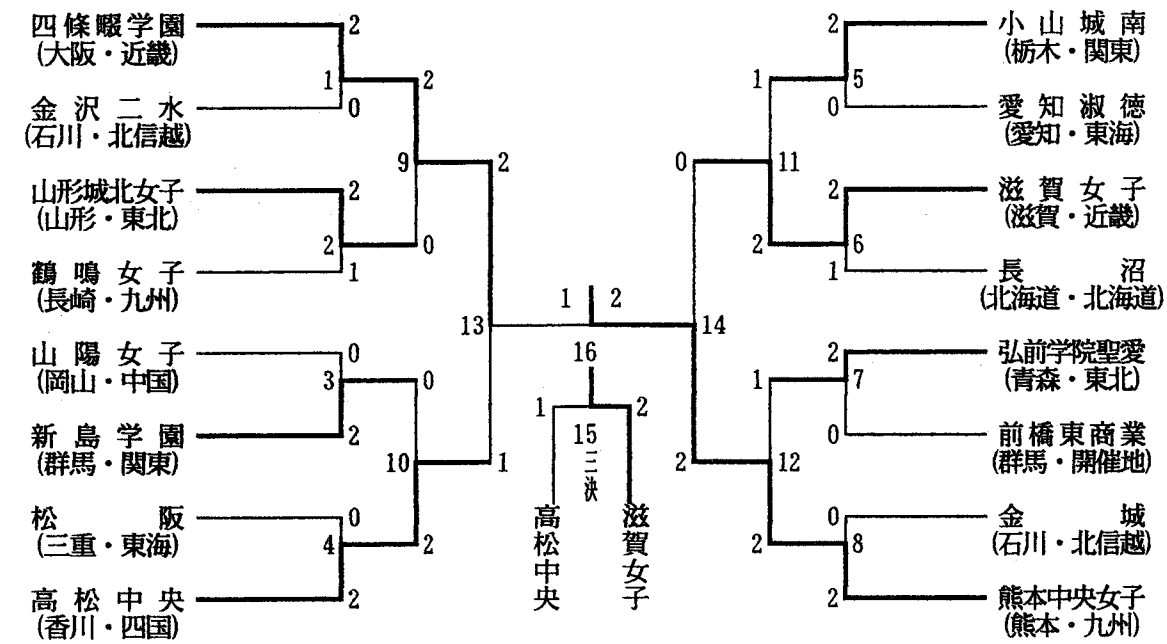
第10回全国高等学校選抜バドミントン競技会

1982年（昭和57年）３月27日～28日
群馬県桐生市　桐生市民体育館

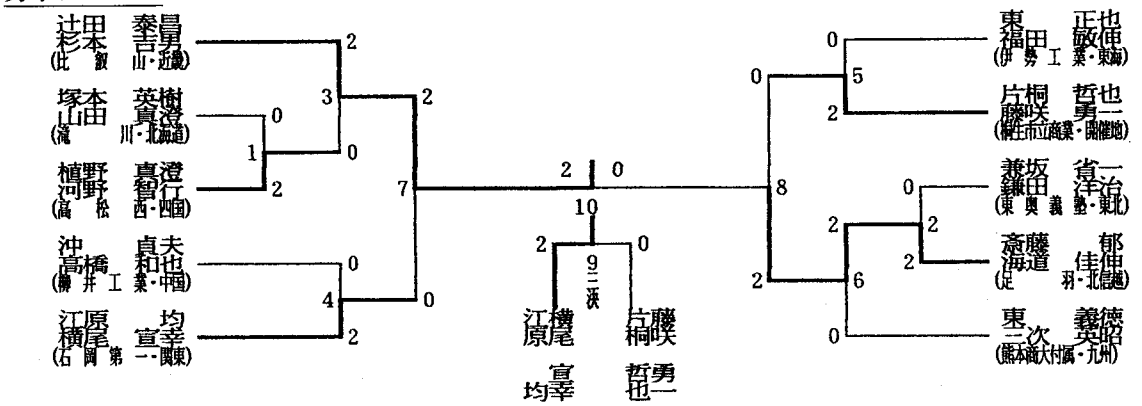
男子団体



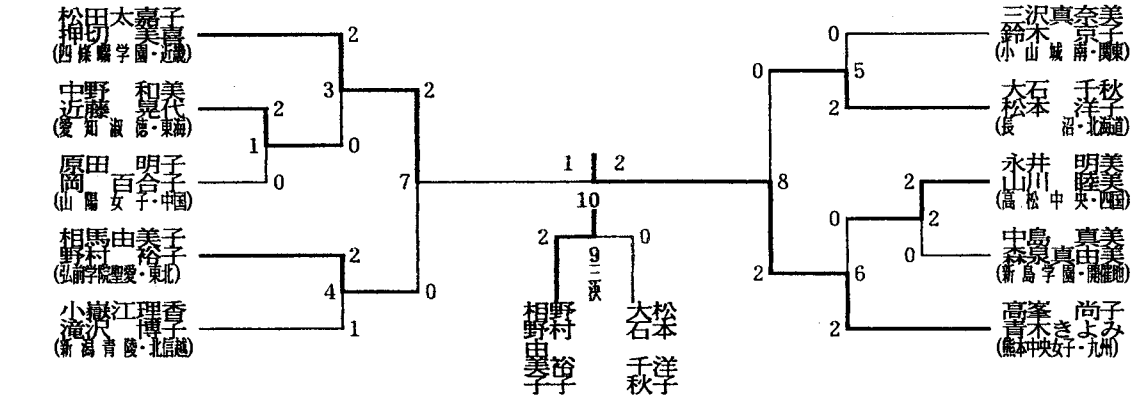
女子団体



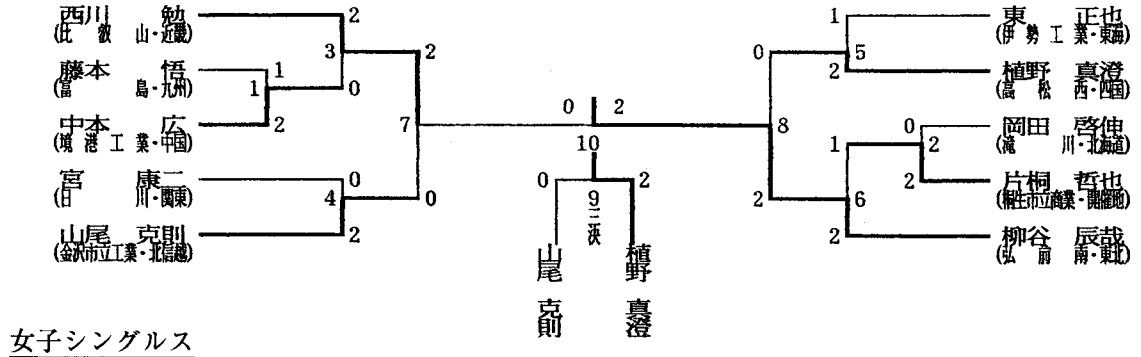
男子ダブルス



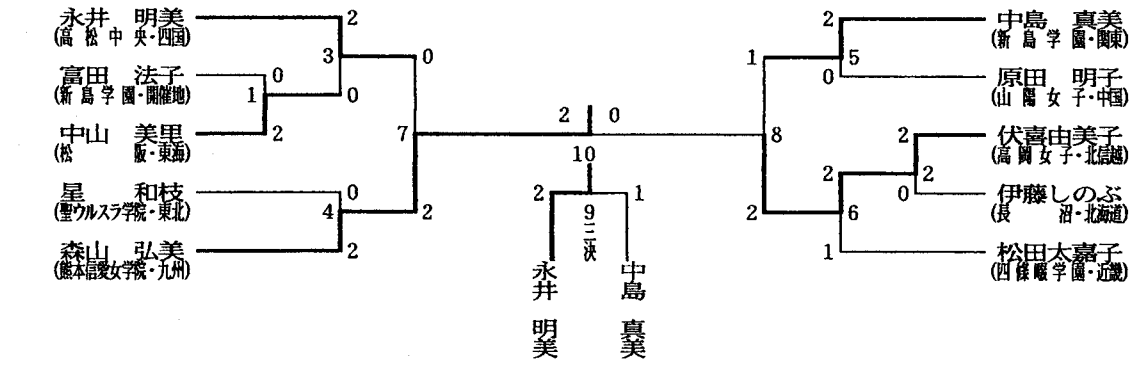
女子ダブルス



男子シングルス



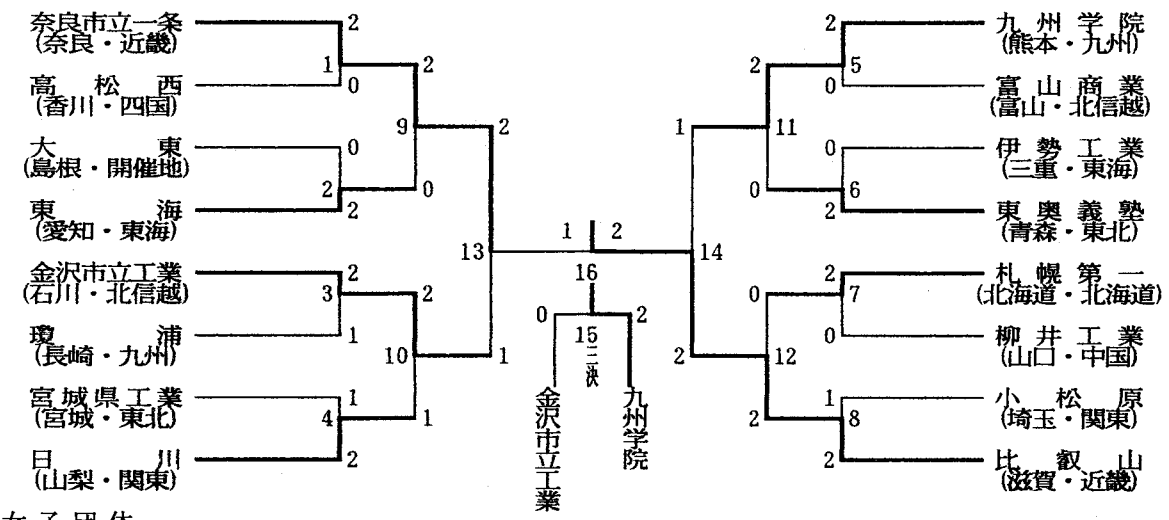
女子シングルス



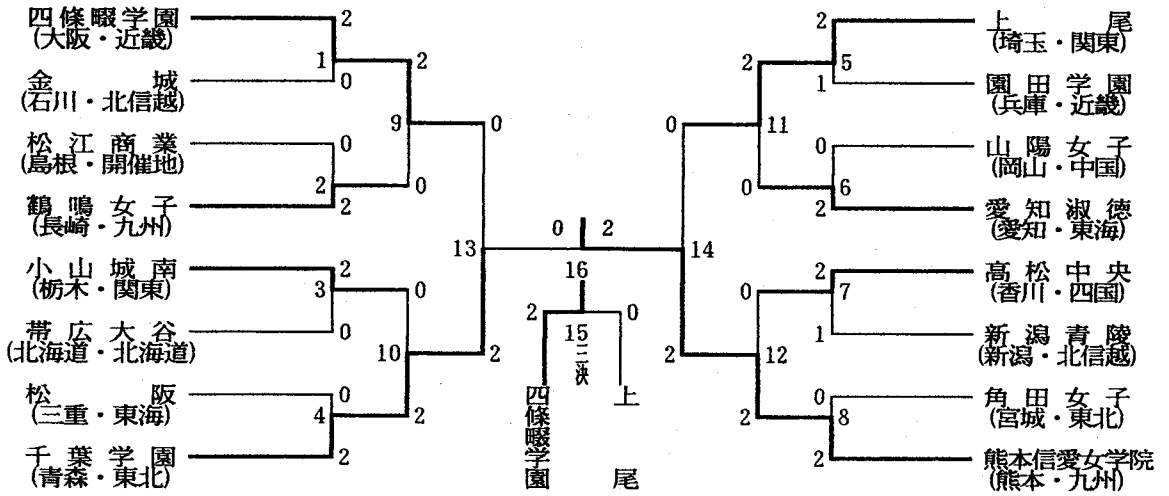
第11回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1983年（昭和58年）３月26日～27日
島根県松江市　松江市総合体育館

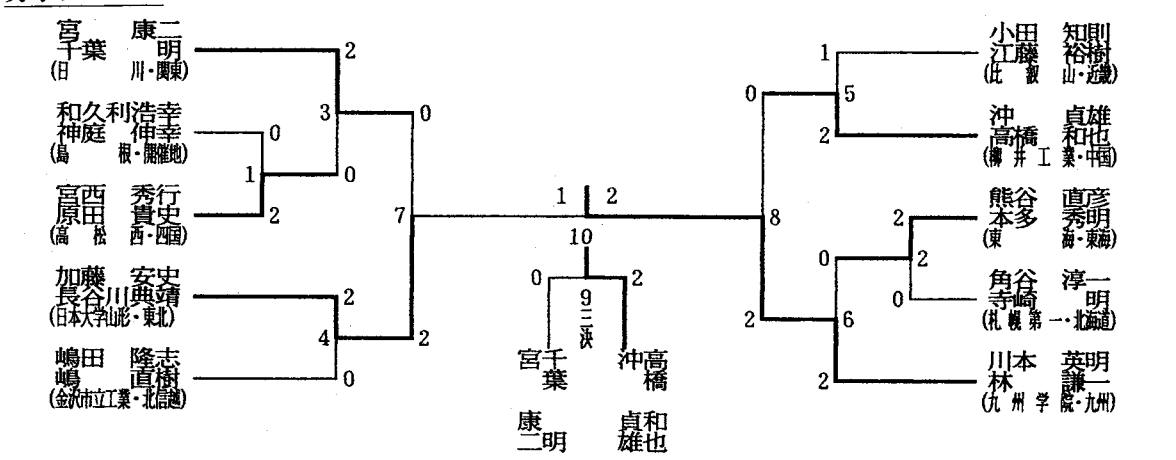
男子団体



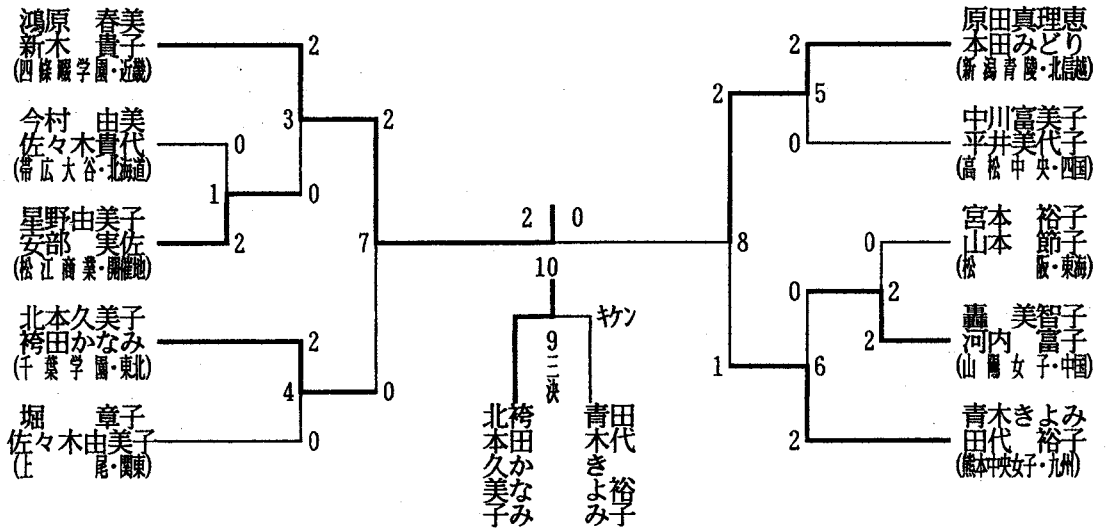
女子団体



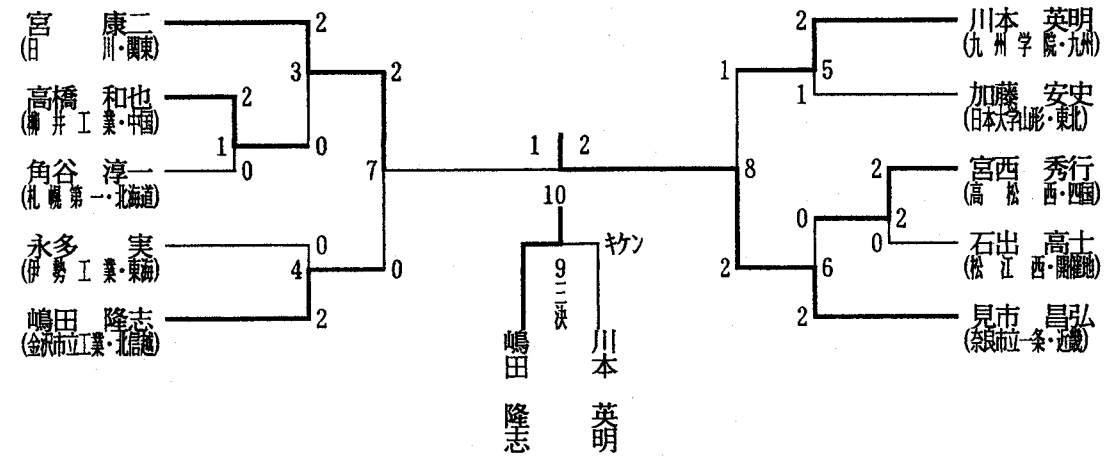
男子ダブルス



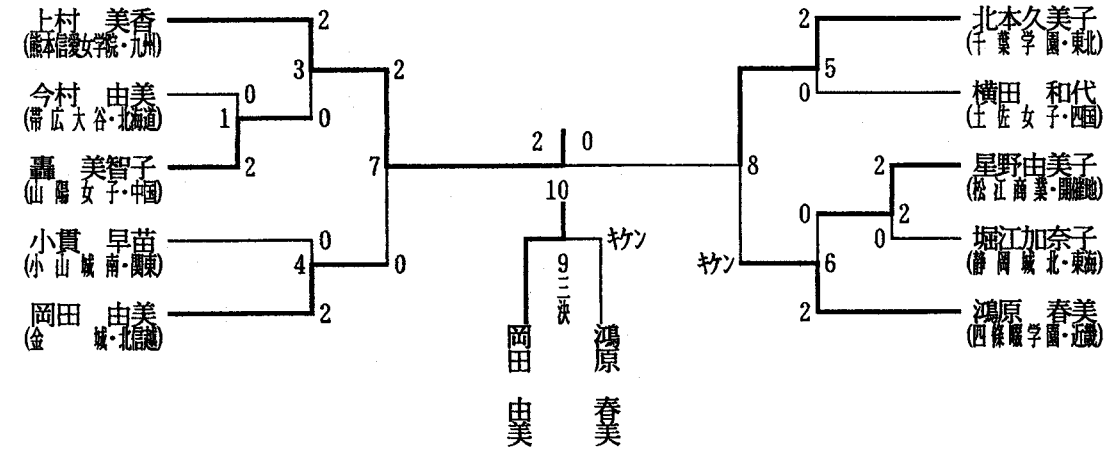
女子ダブルス



男子シングルス



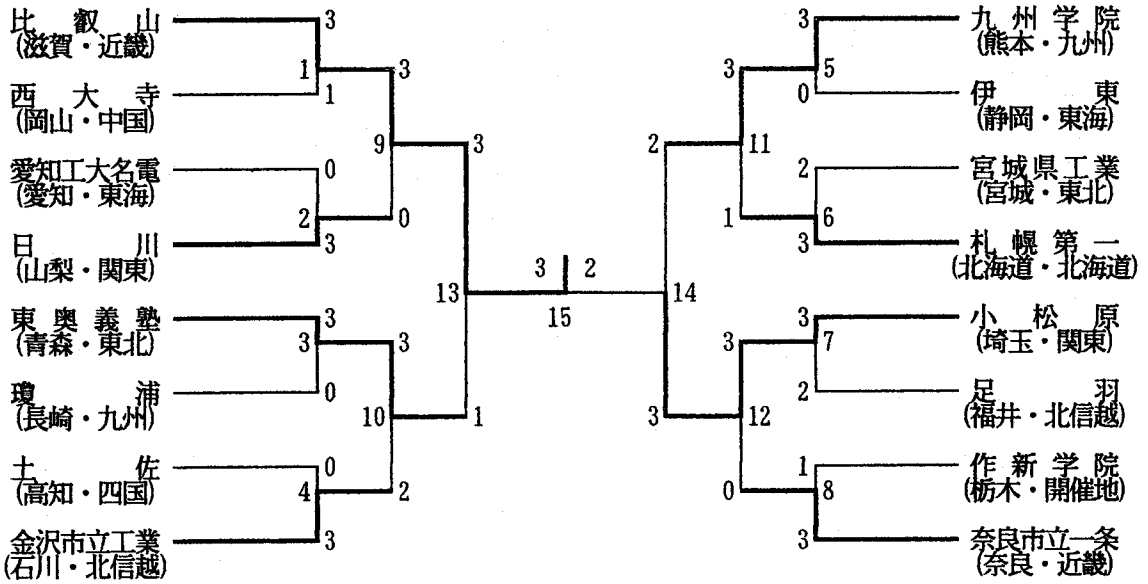
女子シングルス



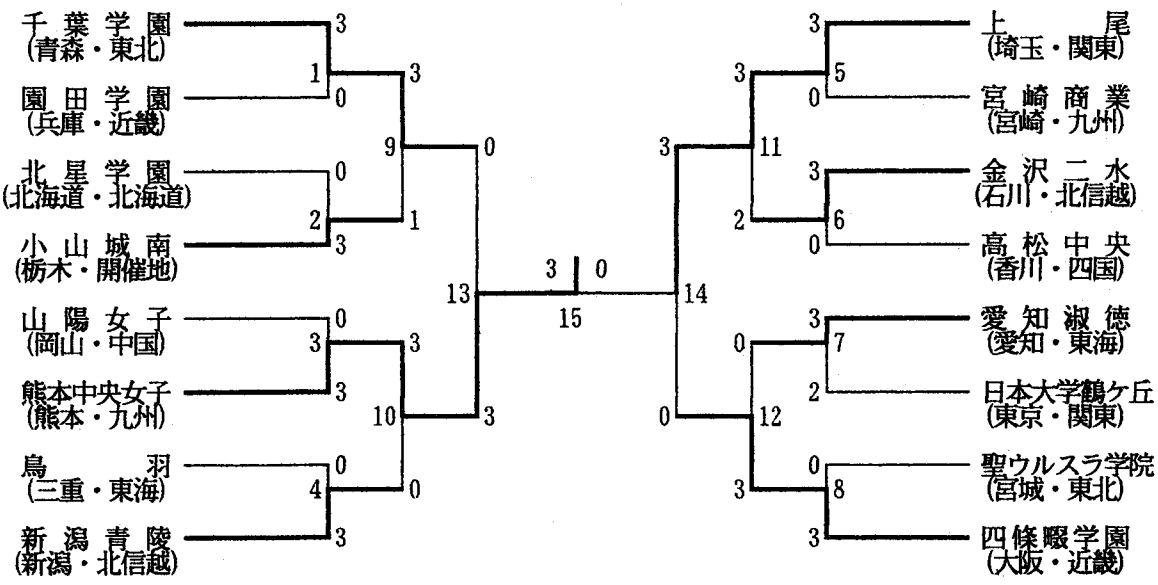
第12回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1984年（昭和59年）３月24日～26日
栃木県足利市　足利市民体育館

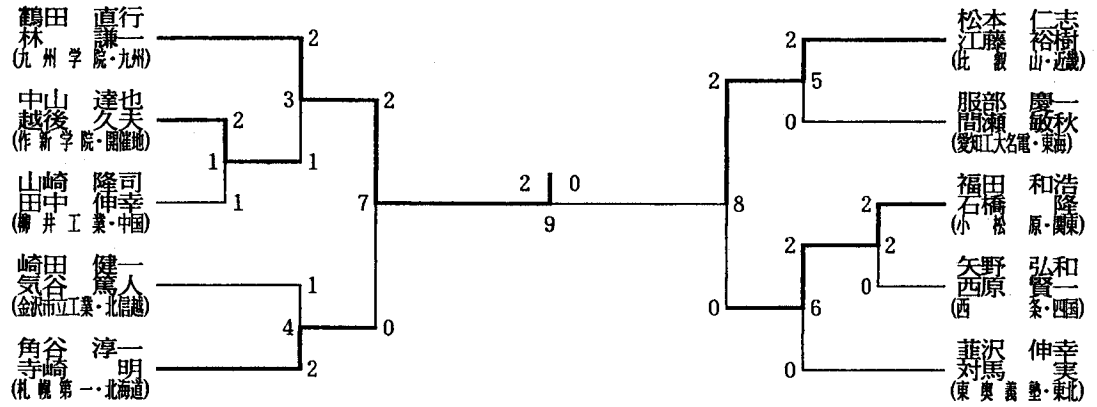
男子団体



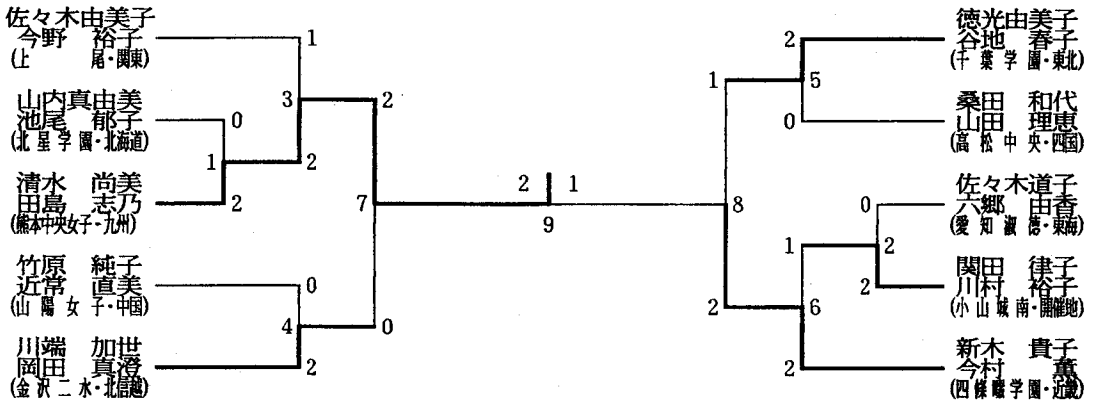
女子団体



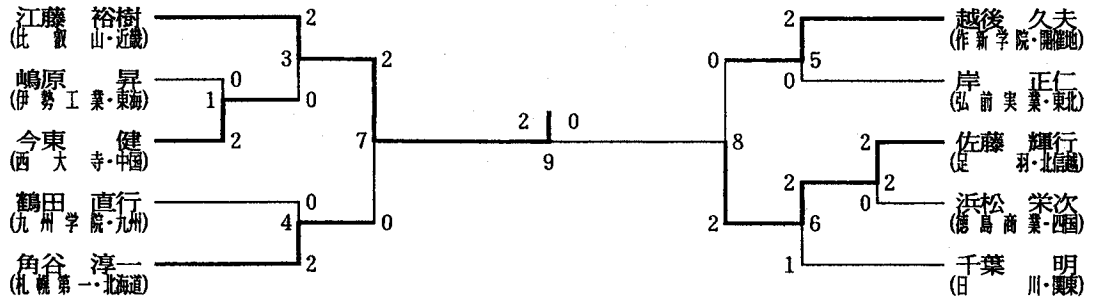
男子ダブルス



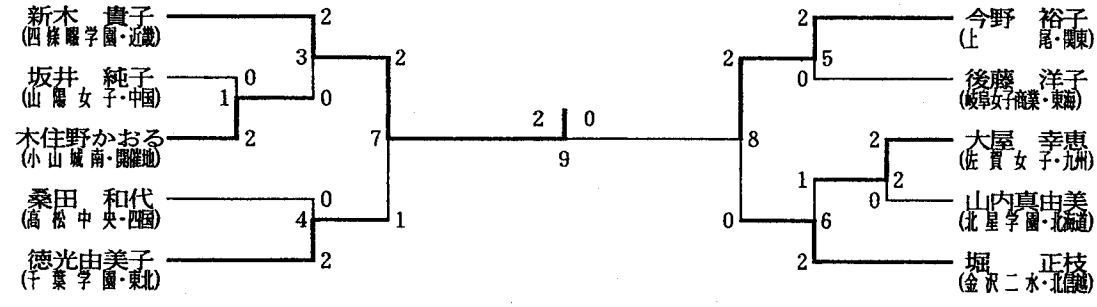
女子ダブルス



男子シングルス



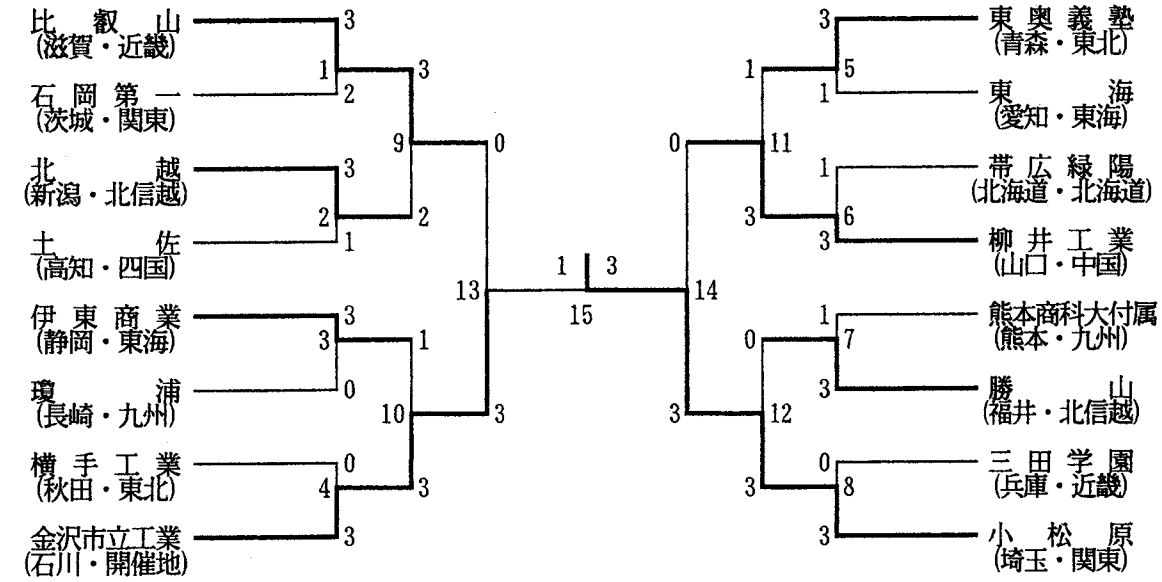
女子シングルス



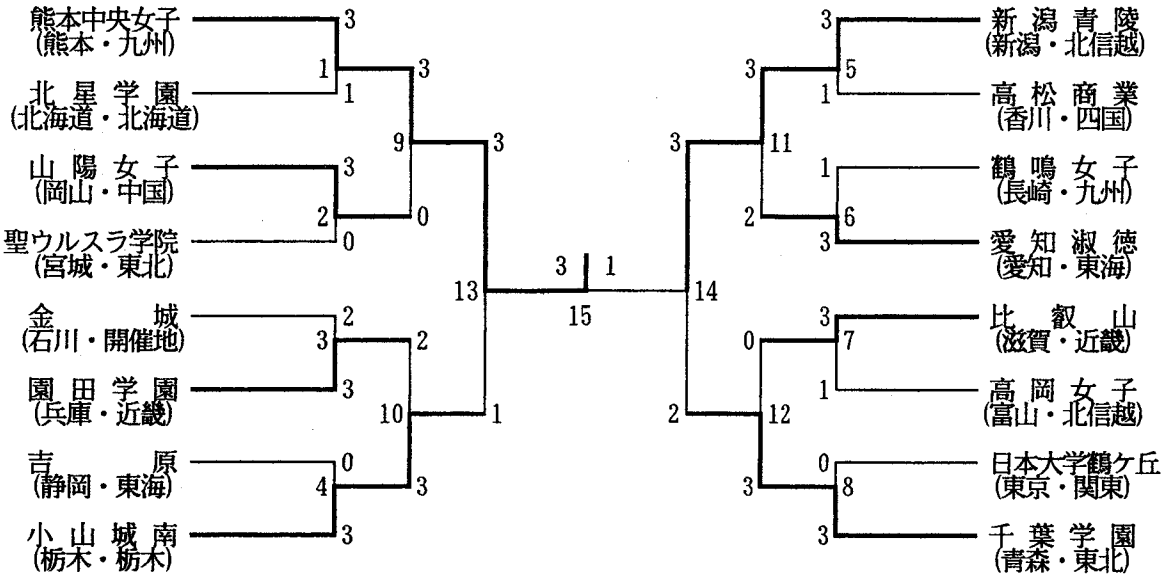
第13回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1985年（昭和60年）３月25日～31日
石川県金沢市　石川県体育館

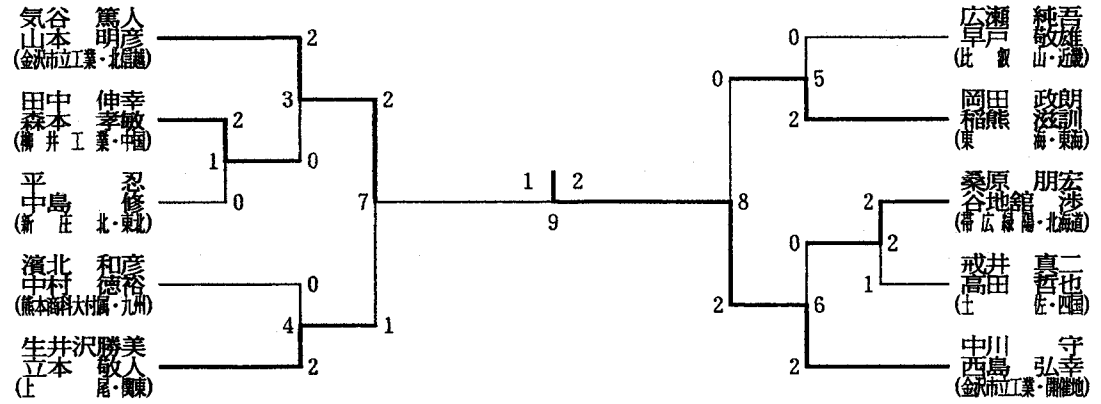
男子団体



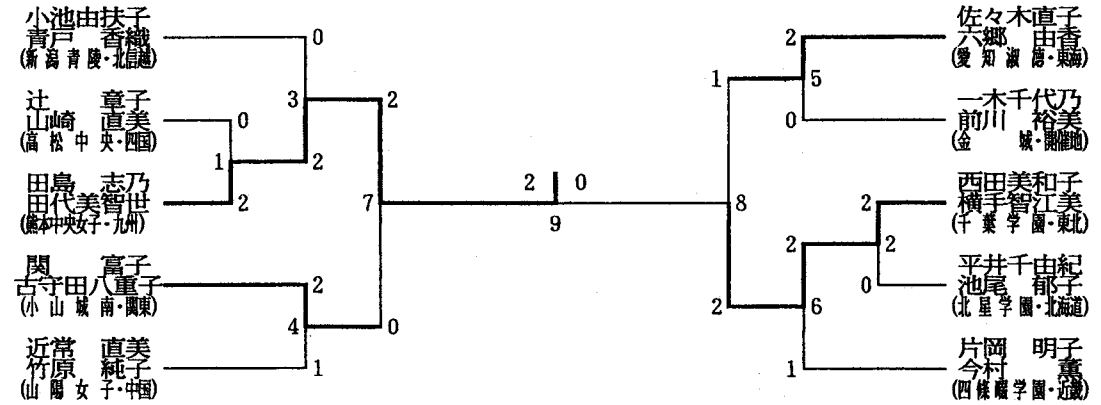
女子団体



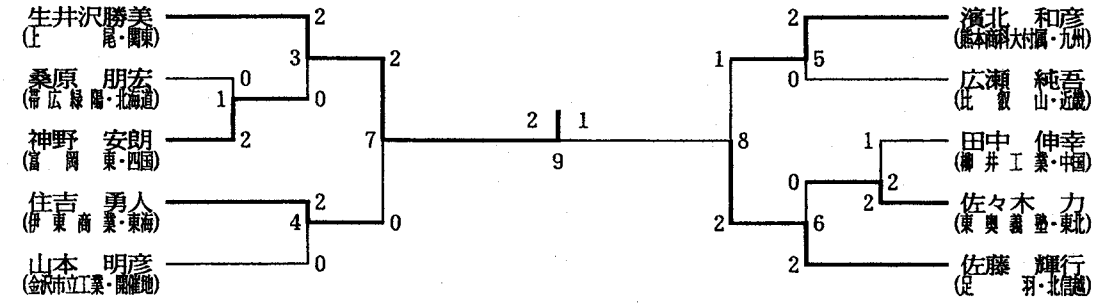
男子ダブルス



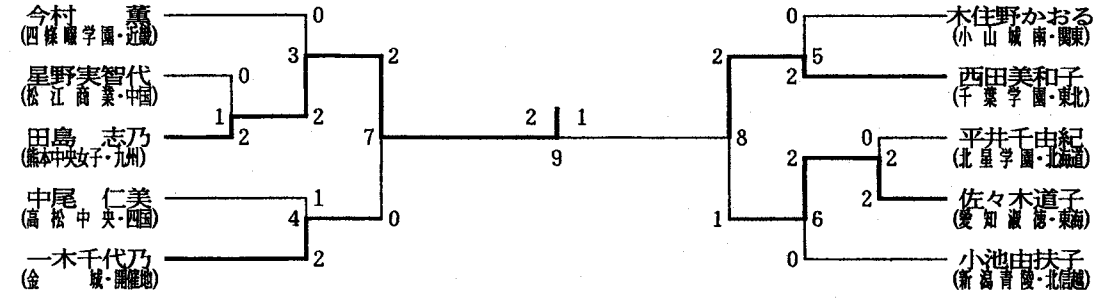
女子ダブルス



男子シングルス



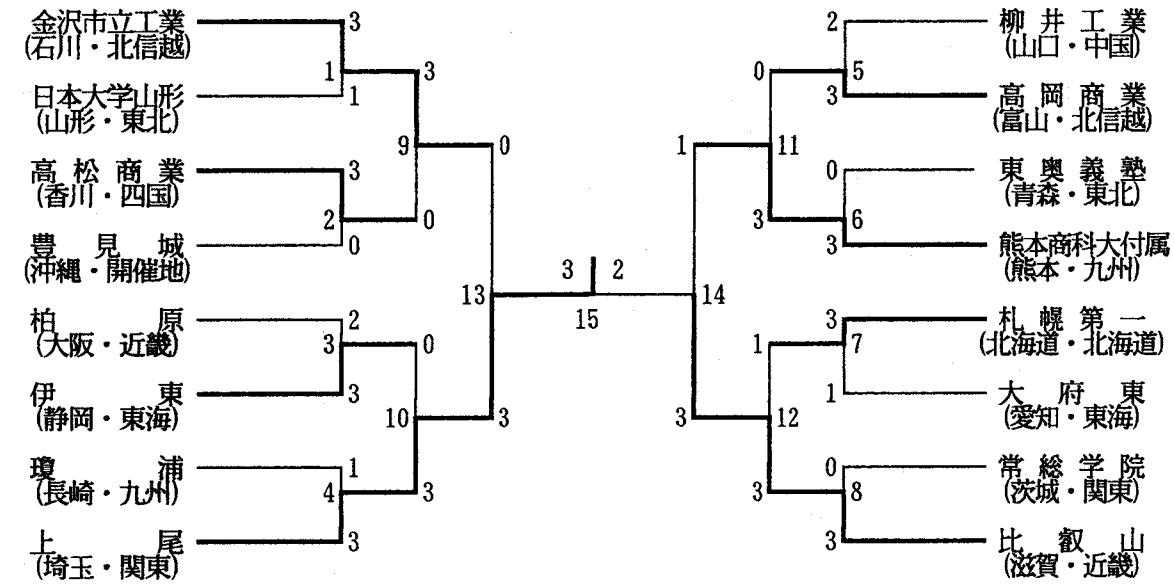
女子シングルス



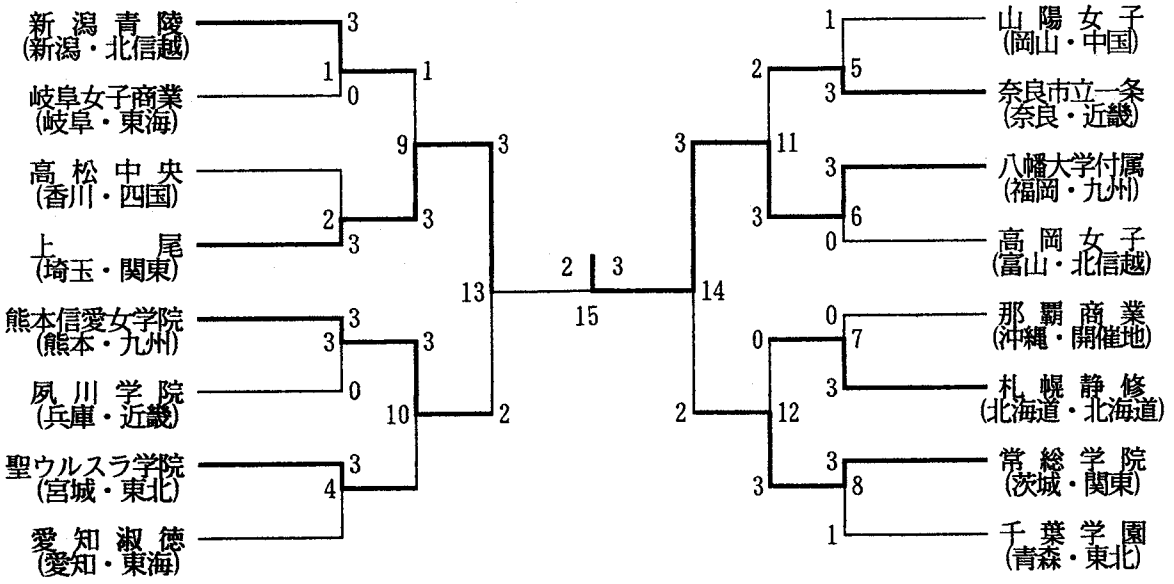
第14回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1986年（昭和61年）３月26日～28日
沖縄県那覇市　奥武山体育館

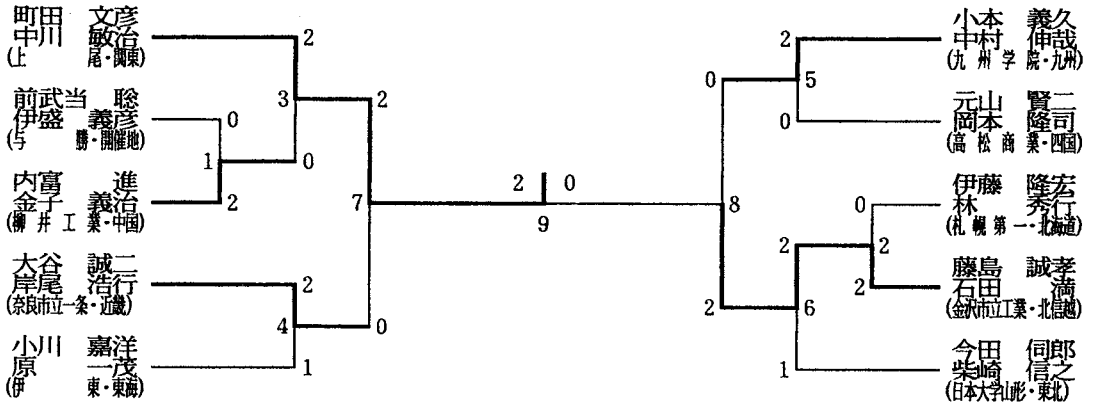
男子団体



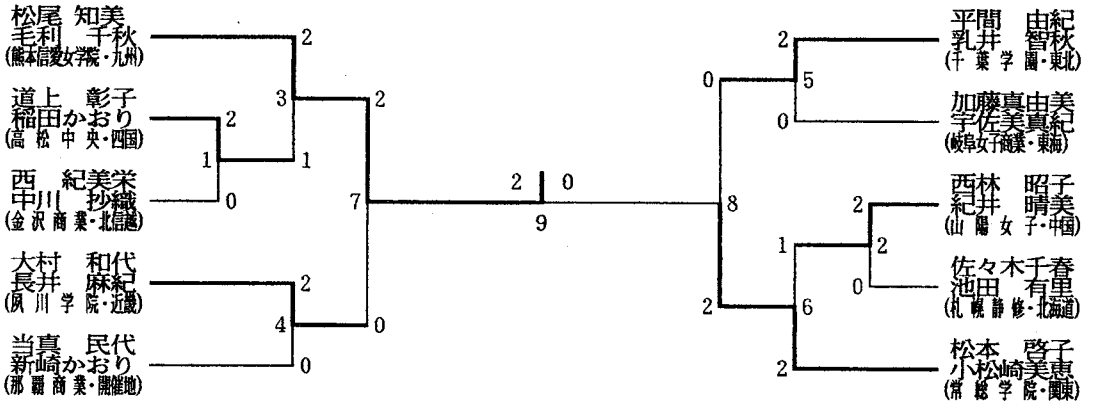
女子団体



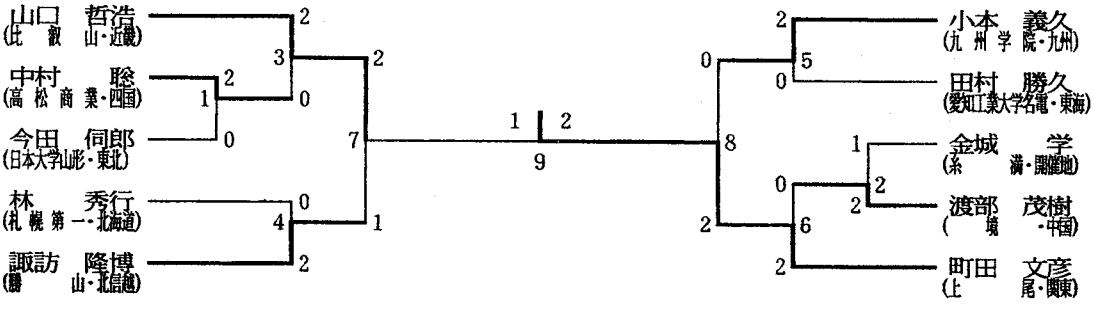
男子ダブルス



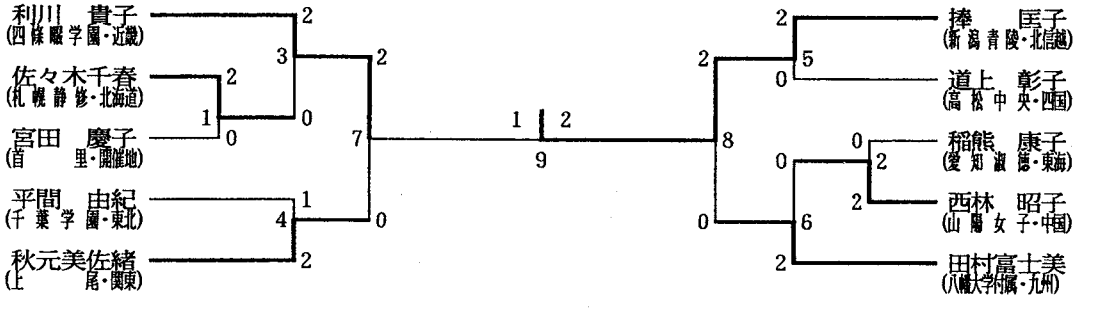
女子ダブルス



男子シングルス



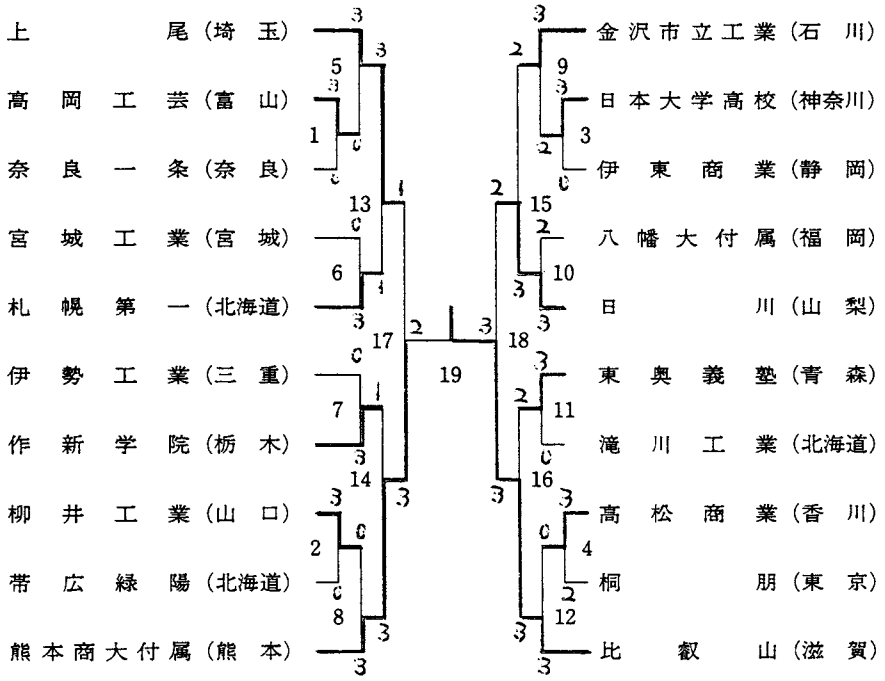
女子シングルス



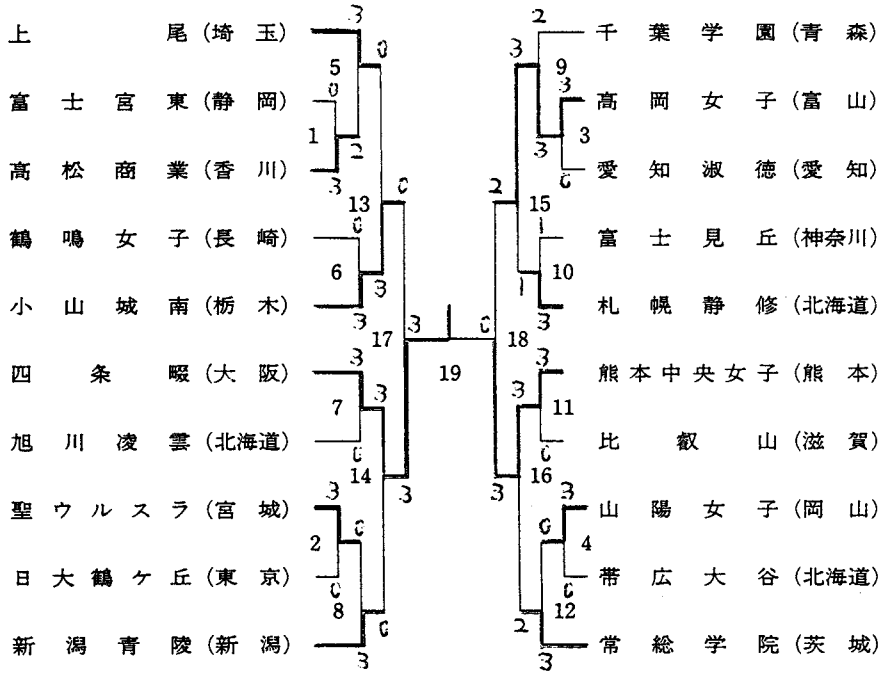
第15回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1987年（昭和62年）３月26日～28日
北海道帯広市　帯広市総合体育館
帯広の森体育館

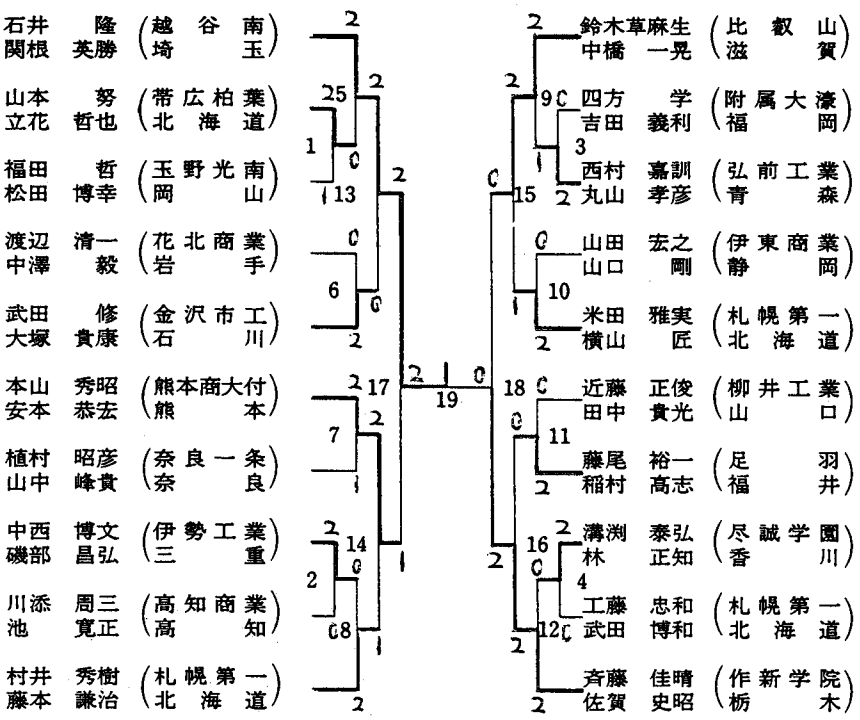
男子団体



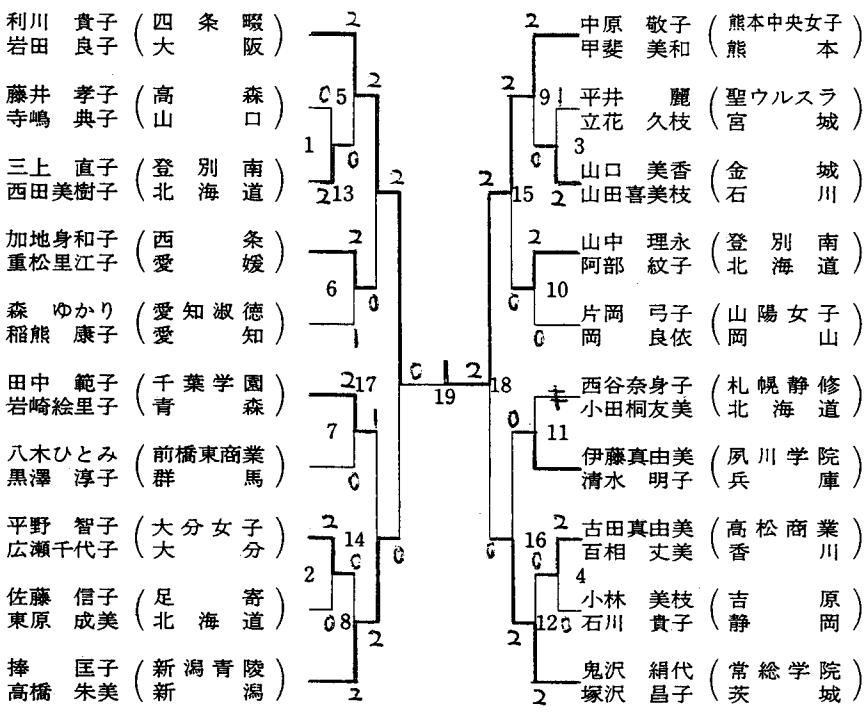
女子団体



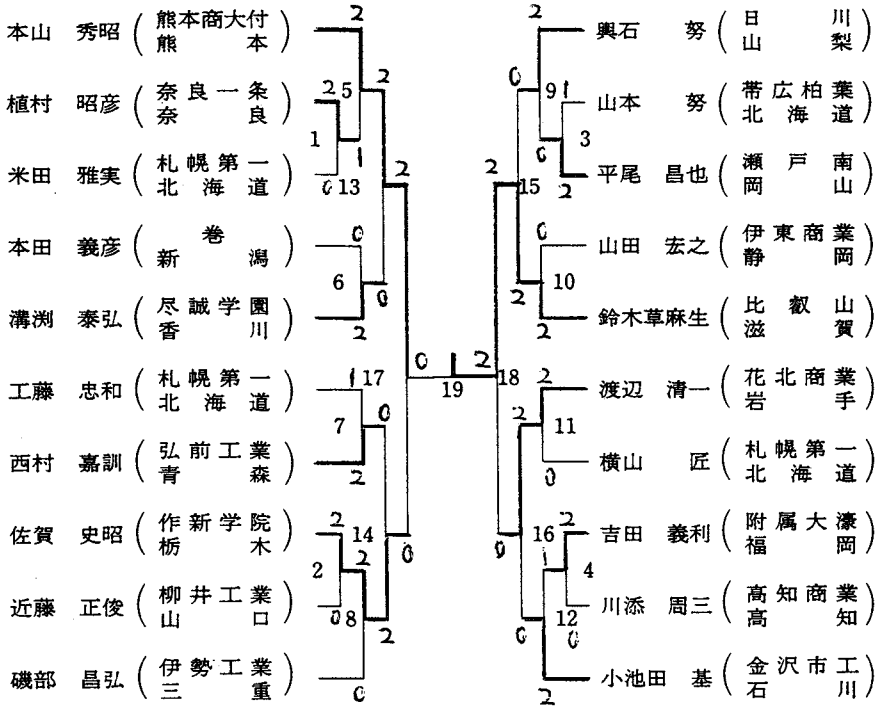
男子ダブルス



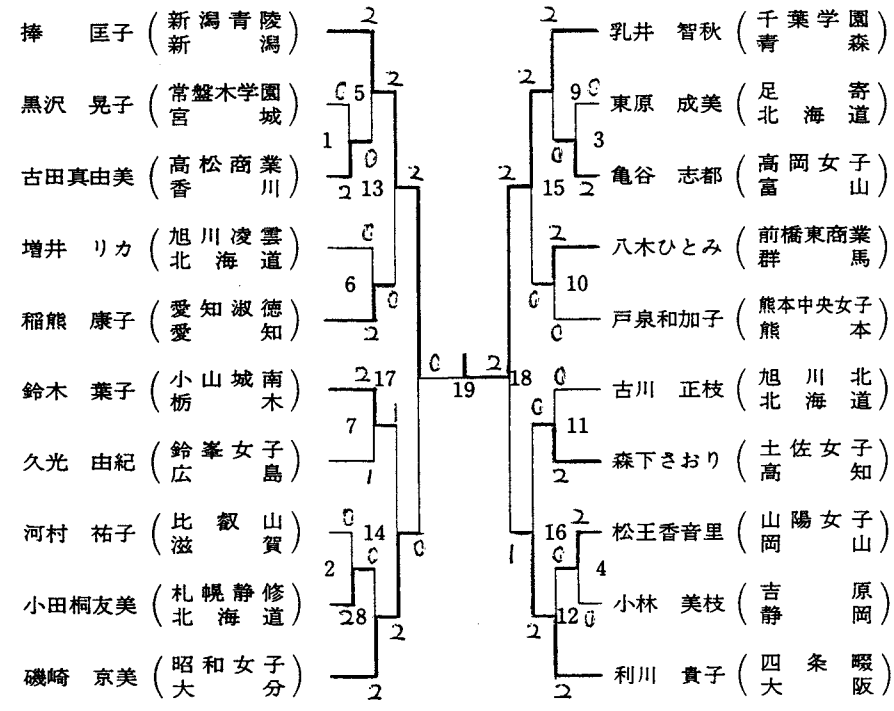
女子ダブルス



男子シングルス



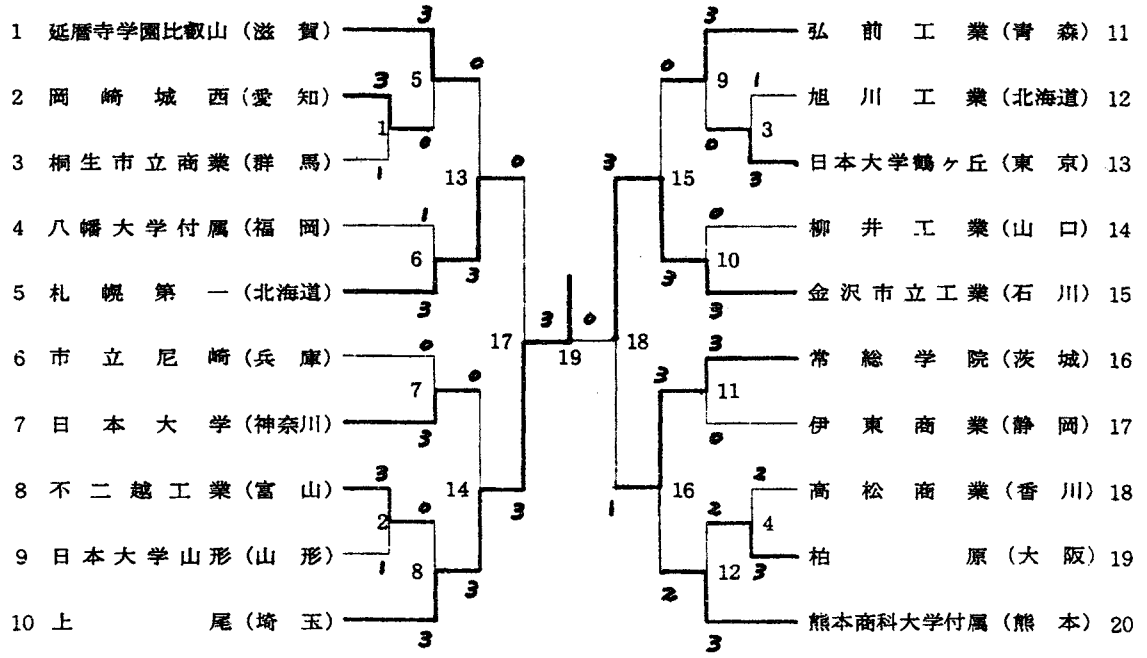
女子シングルス



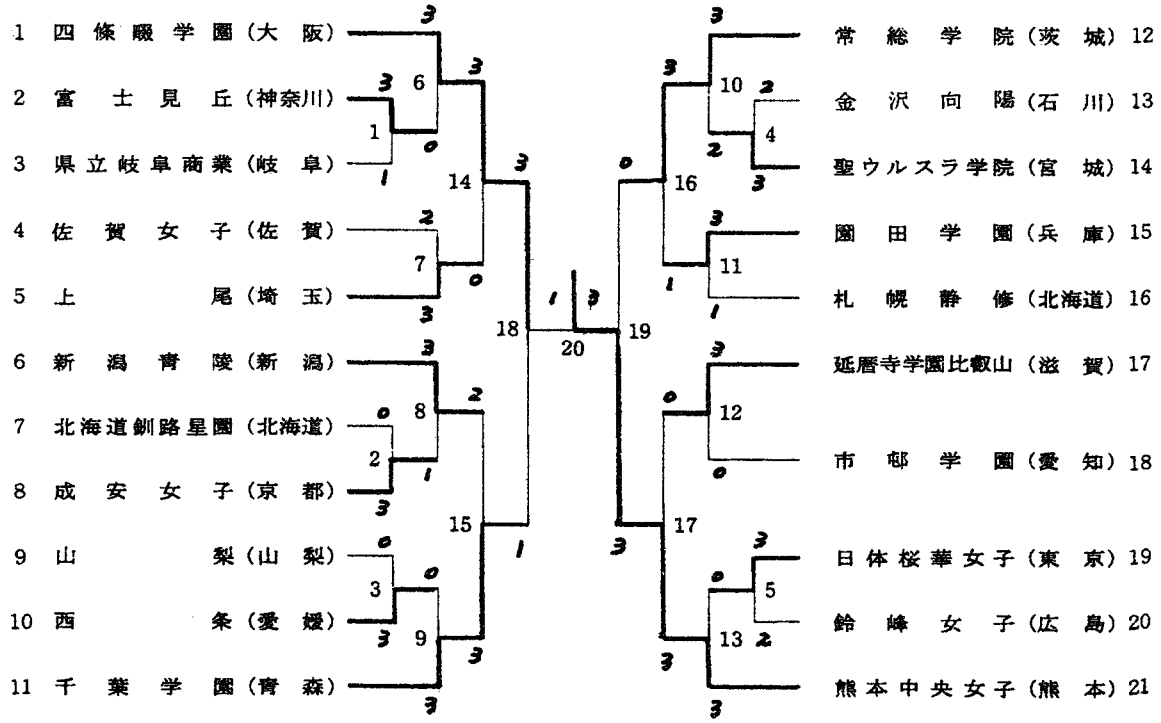
第16回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1988年（昭和63年）３月24日～27日
兵庫県宝塚市　宝塚市立スポーツセンター体育館
三和銀行　逆瀬川体育館

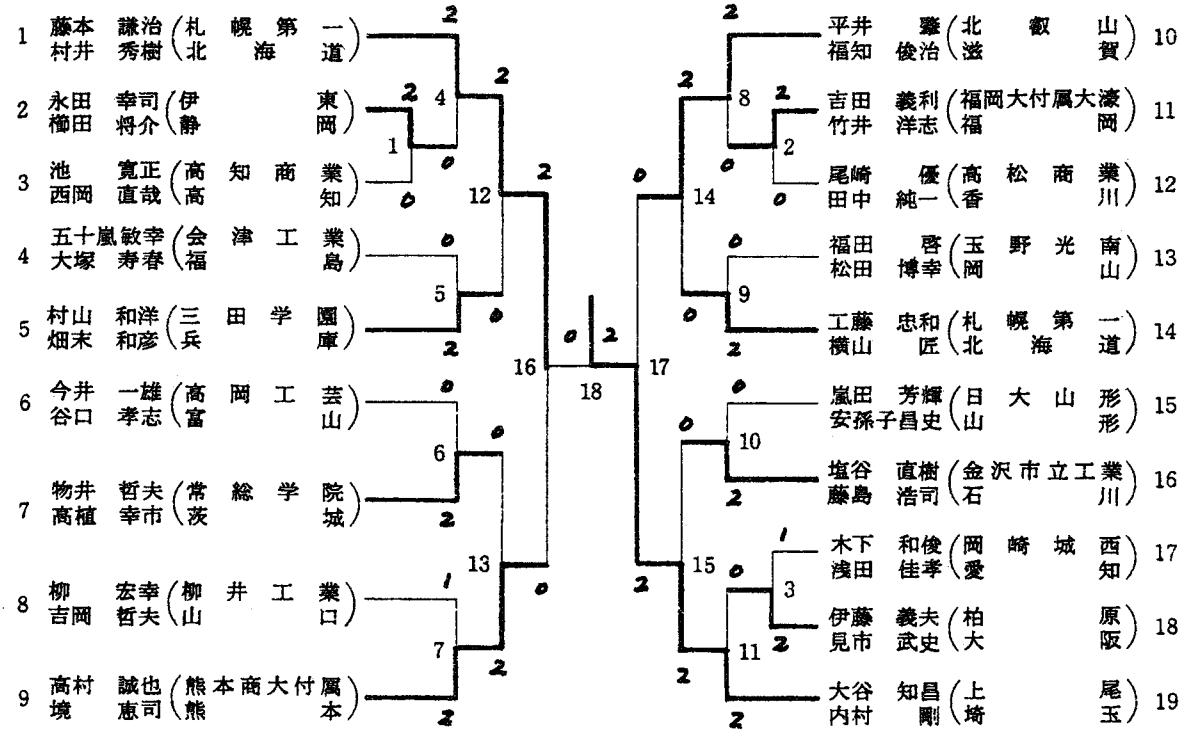
男子団体



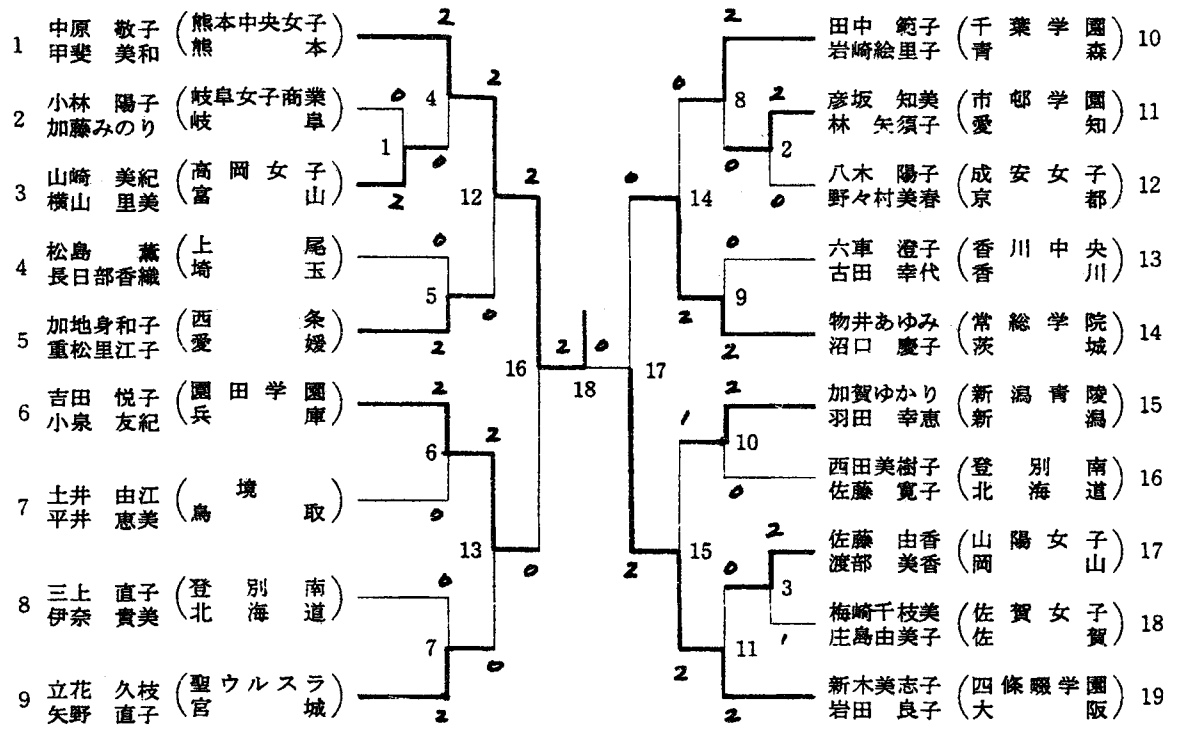
女子団体



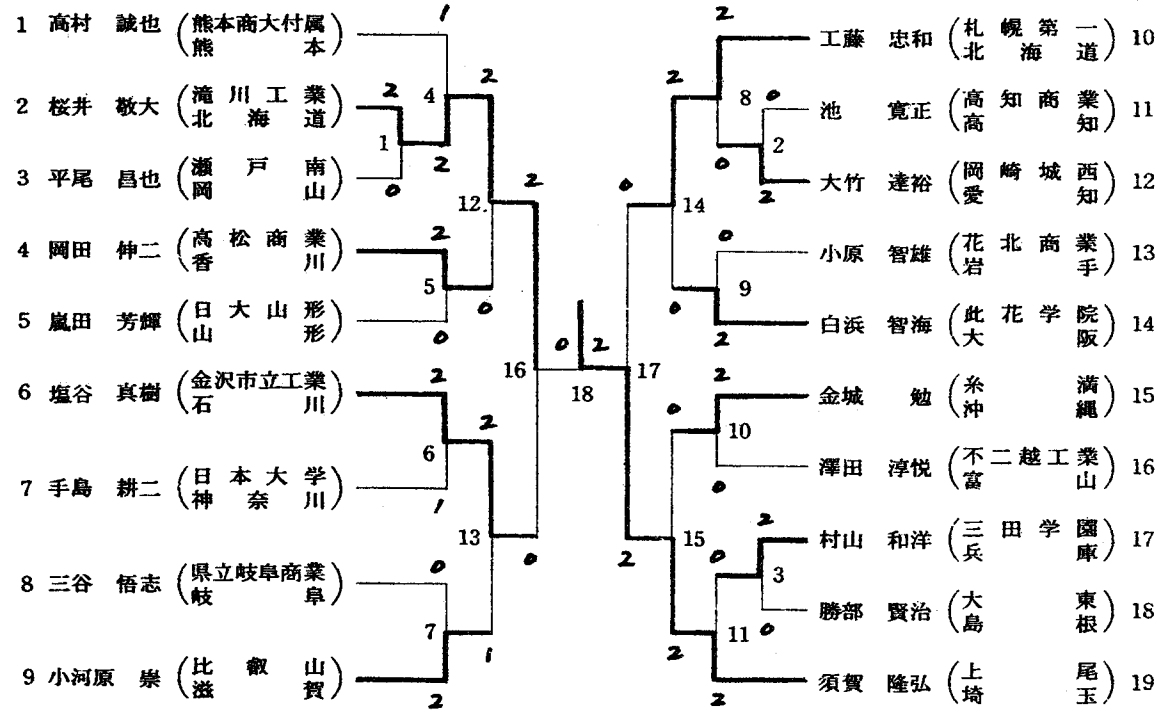
男子ダブルス



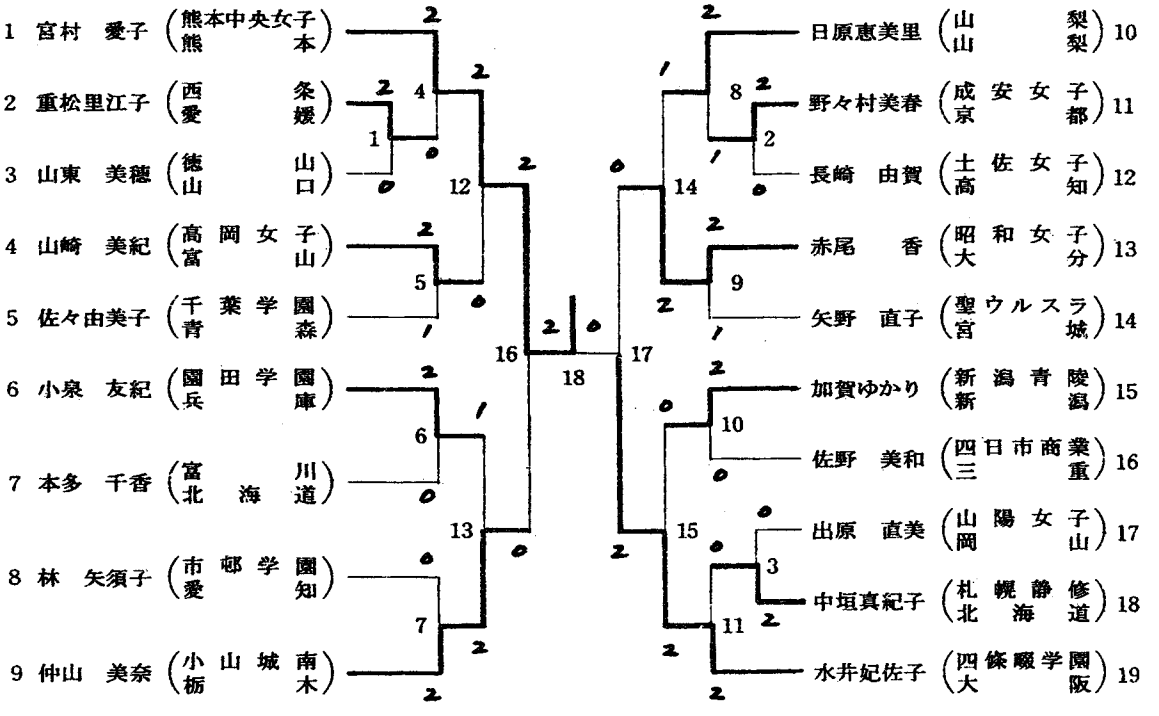
女子ダブルス



男子シングルス



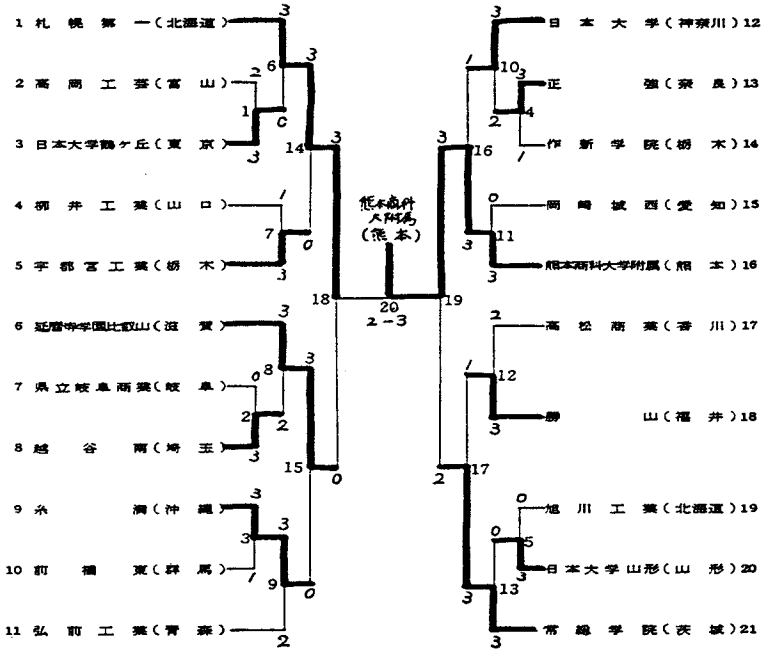
女子シングルス



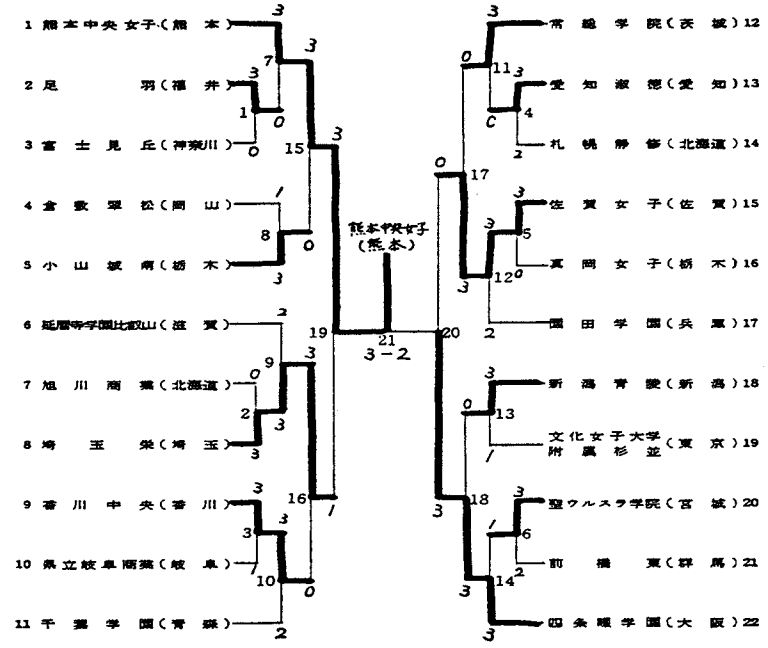
第17回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1989年（平成元年）３月25日～28日
栃木県宇都宮市　栃木県体育館

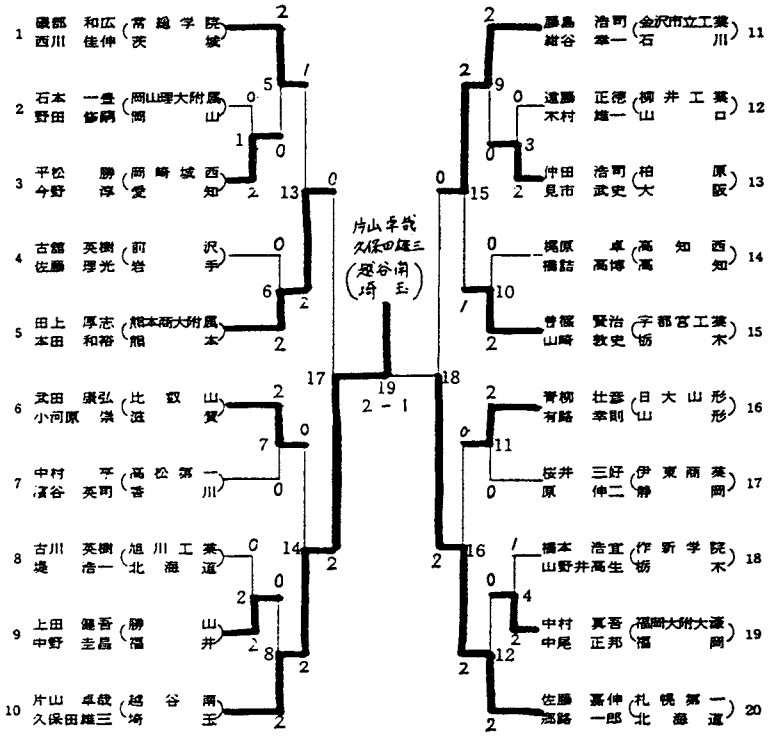
男子団体



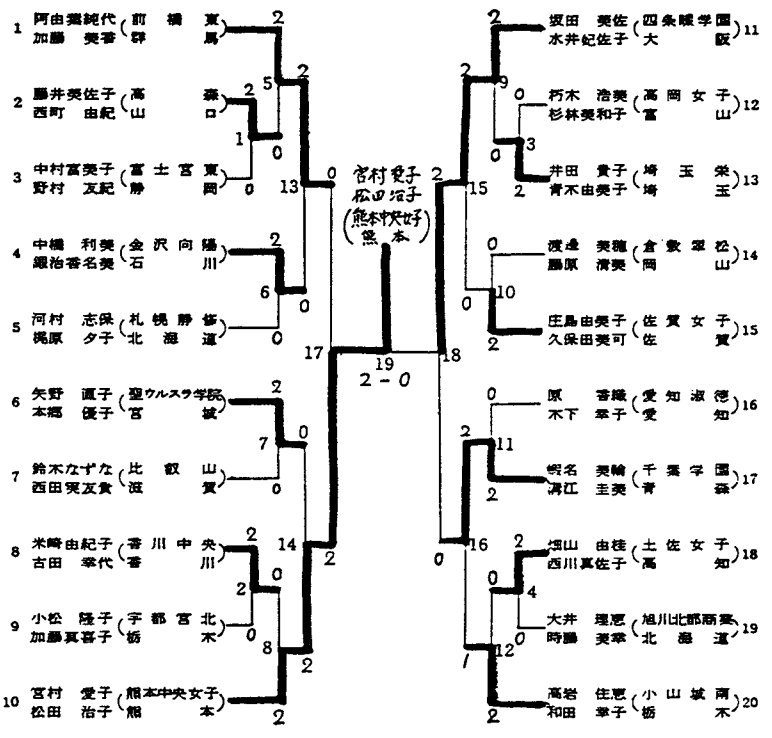
女子団体



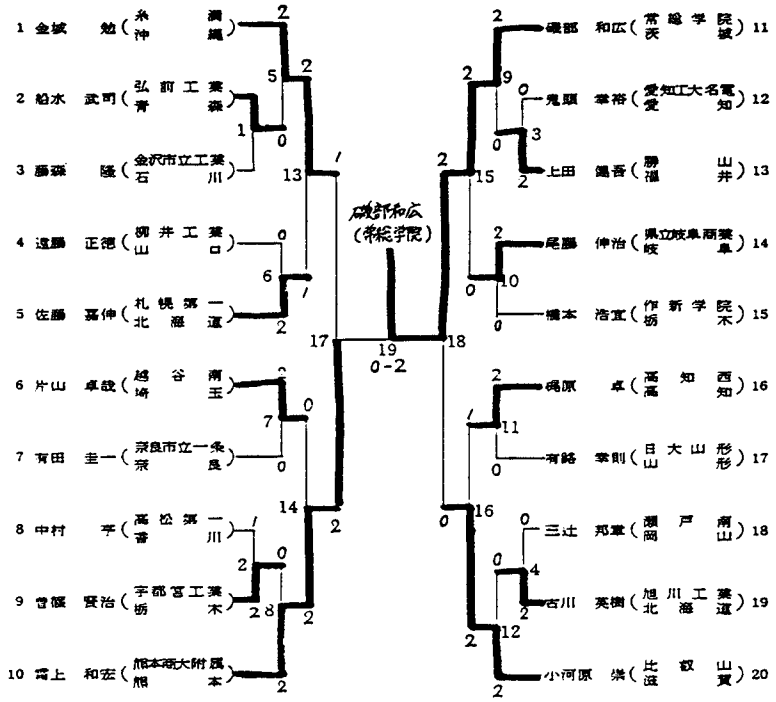
男子ダブルス



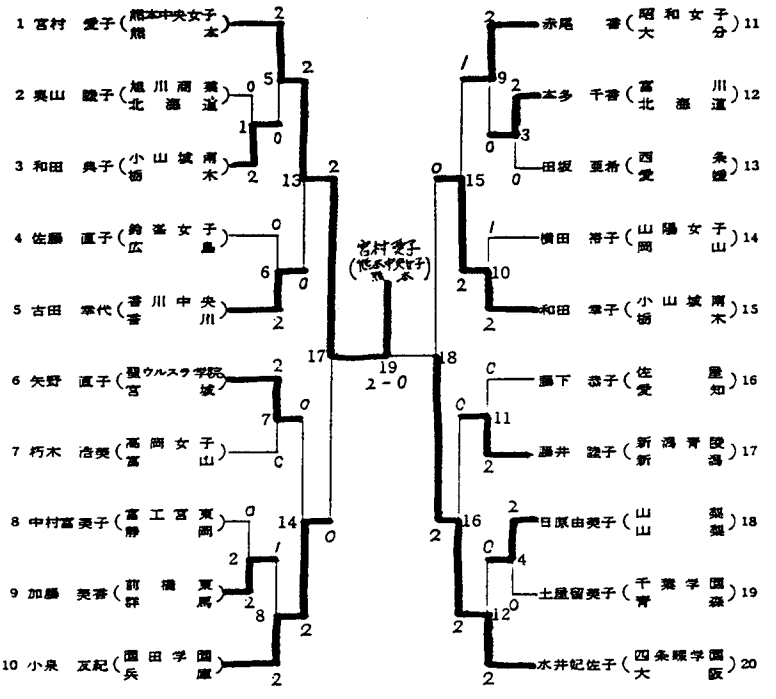
女子ダブルス



男子シングルス



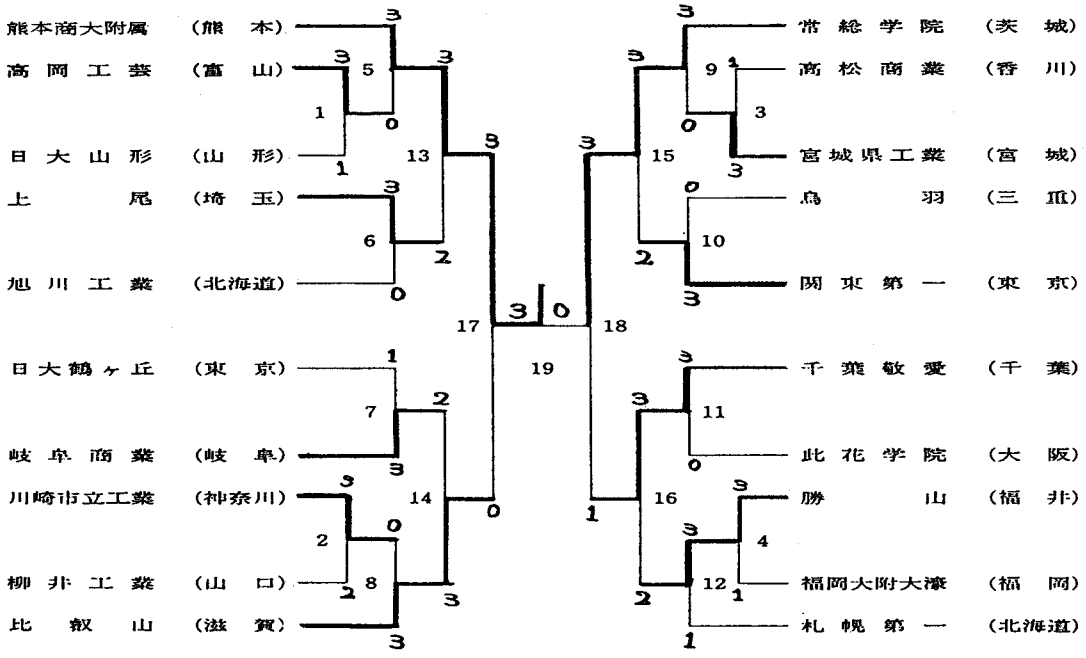
女子シングルス



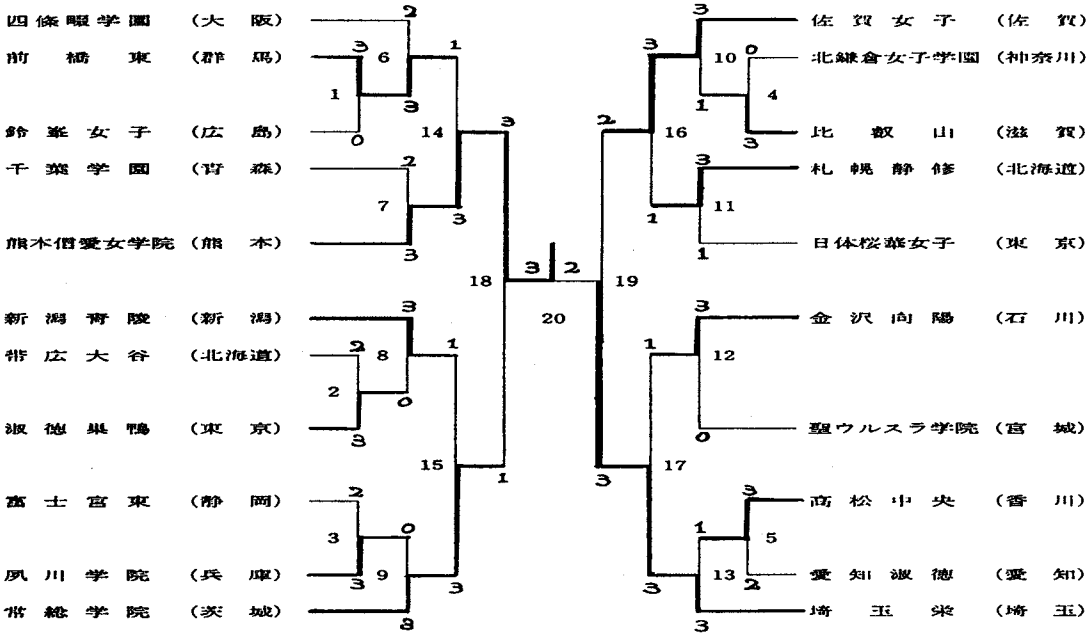
第18回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1990年（平成２年）３月26日～29日
東京都　葛飾区総合スポーツセンター

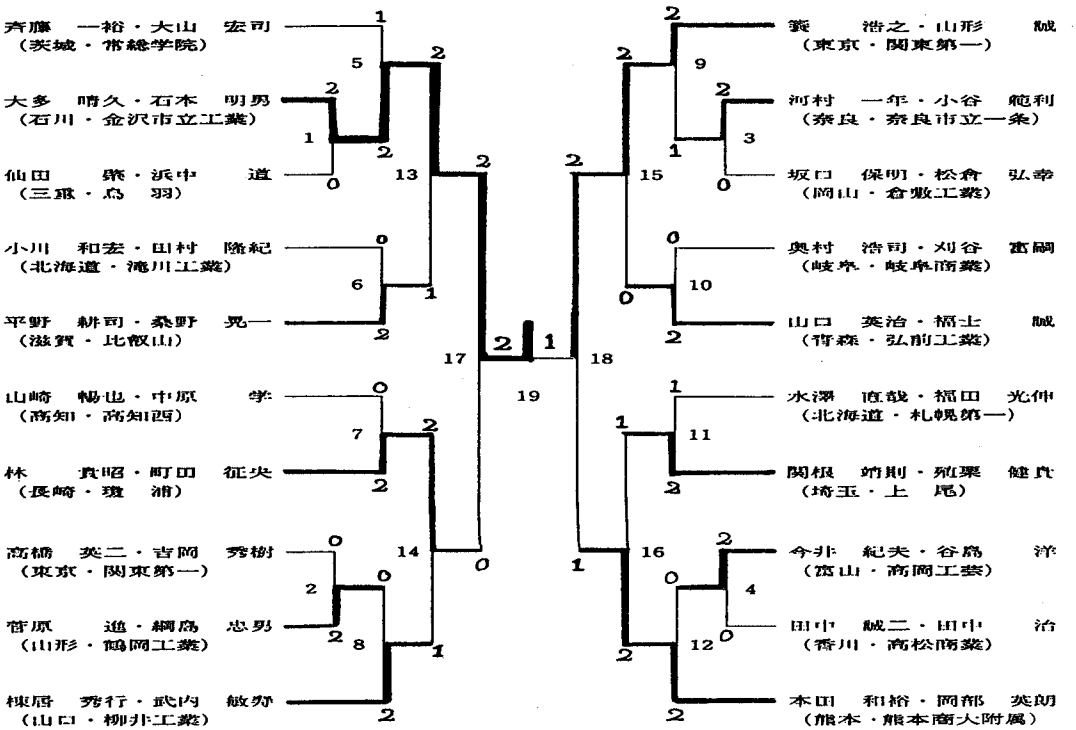
男子団体



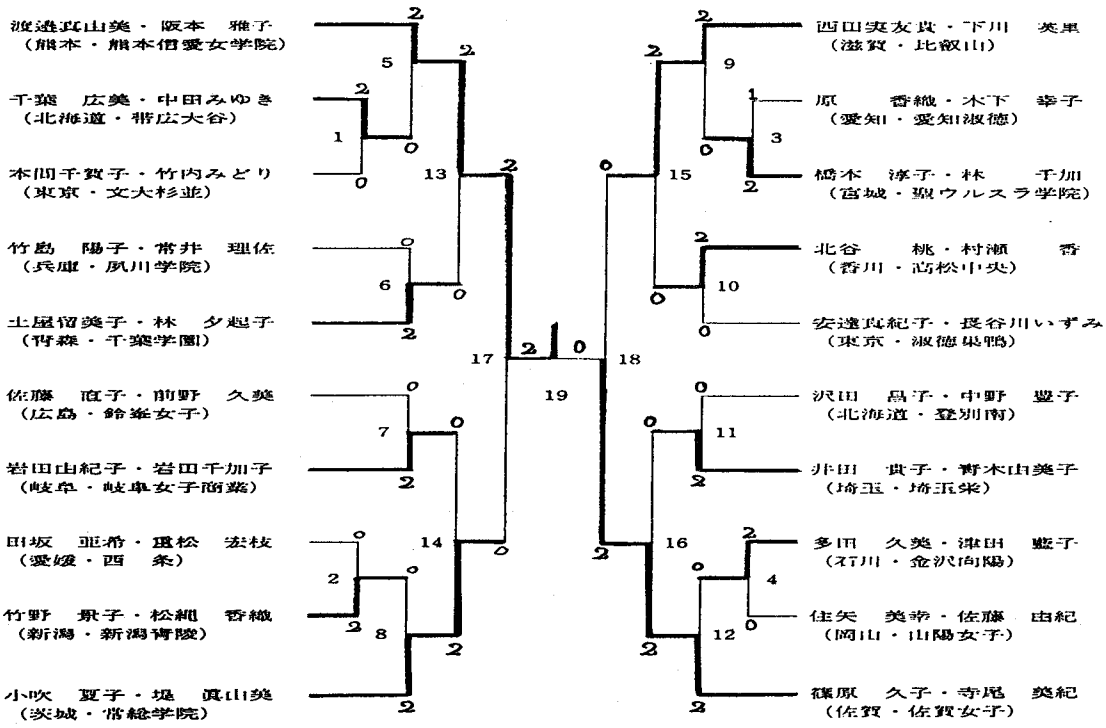
女子団体



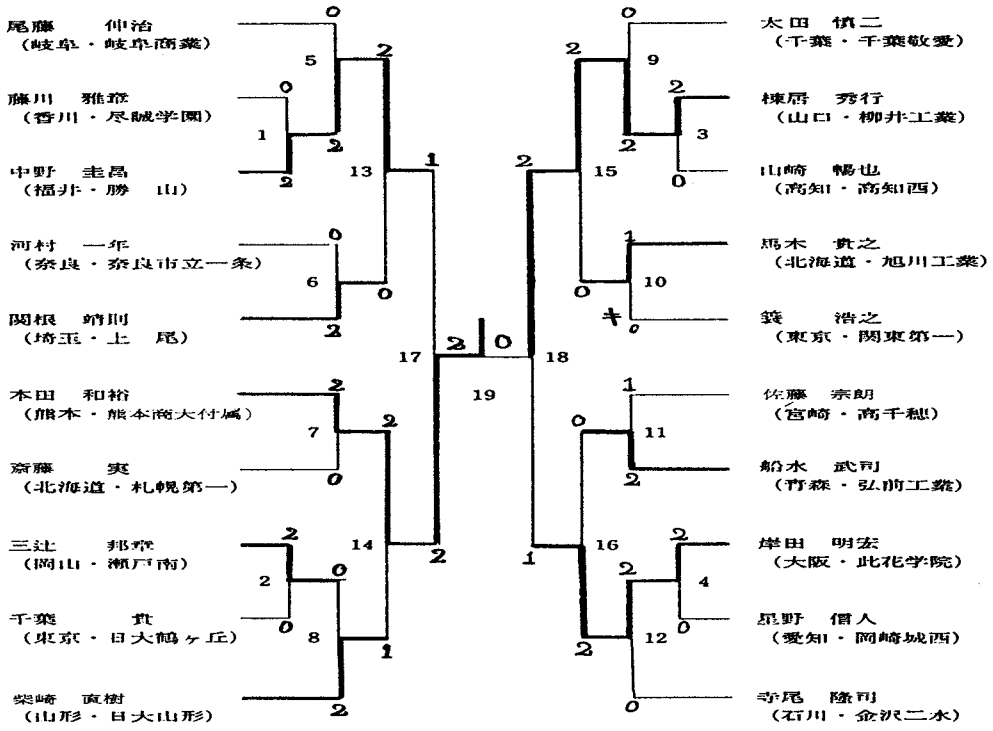
男子ダブルス



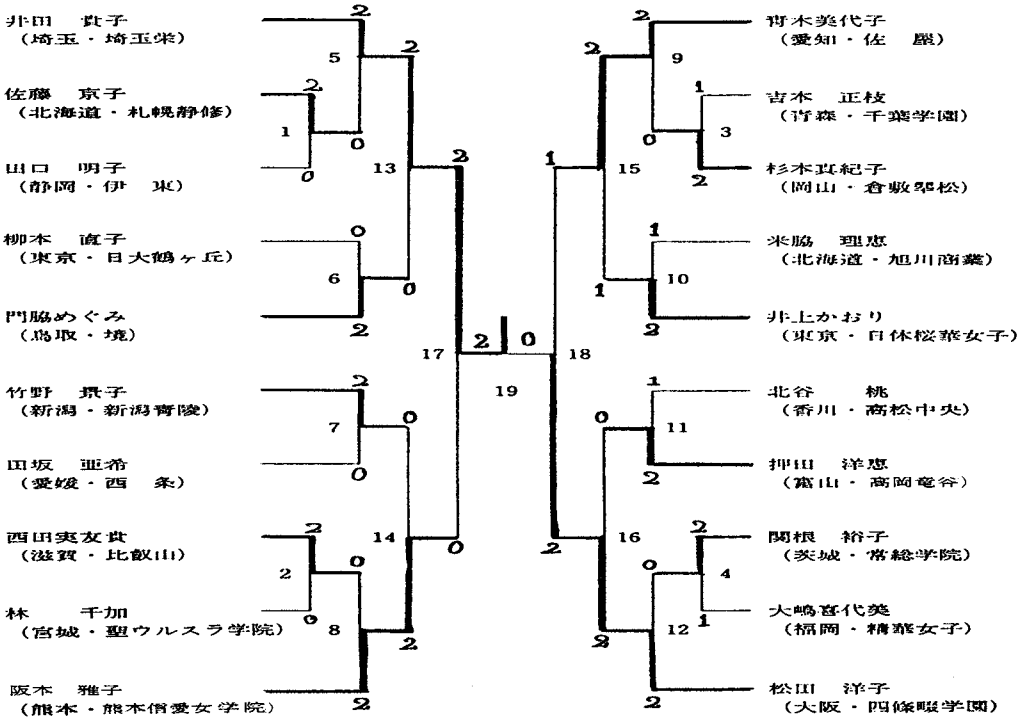
女子ダブルス



男子シングルス



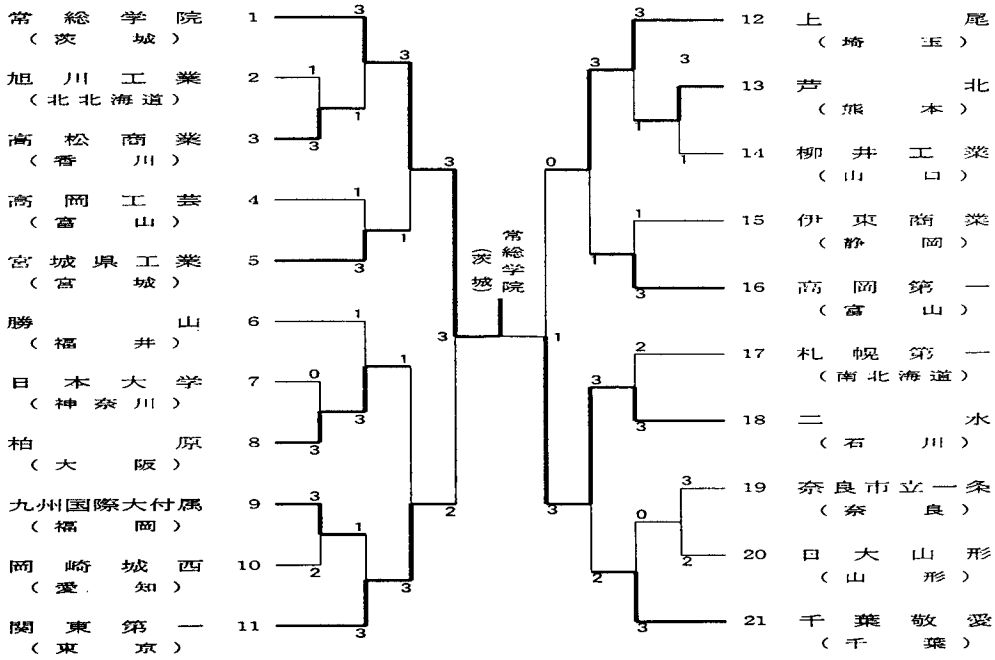
女子シングルス



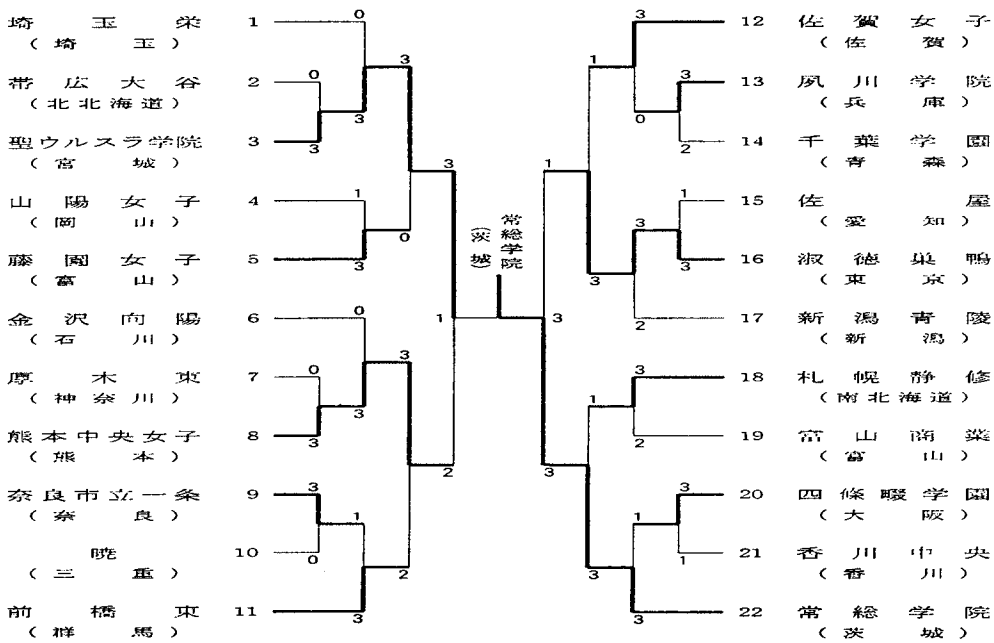
第19回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1991年（平成３年）３月24日～27日
富山県高岡市　高岡市民体育館
高岡商業高等学校

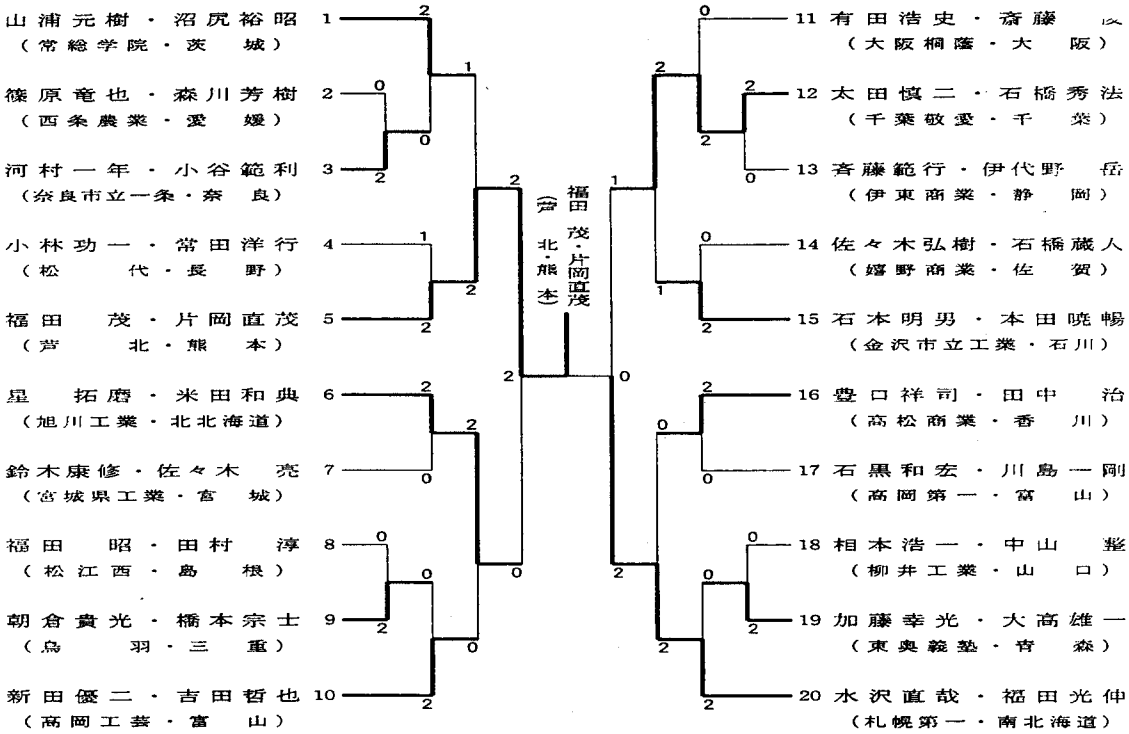
男子団体



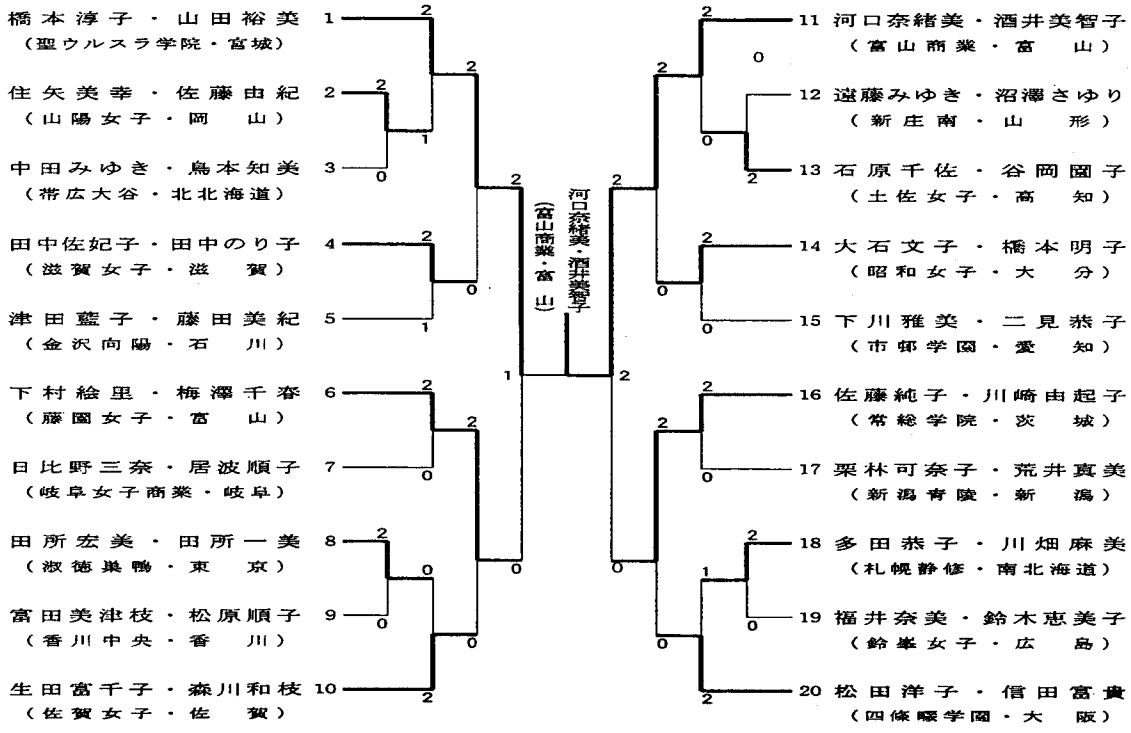
女子団体



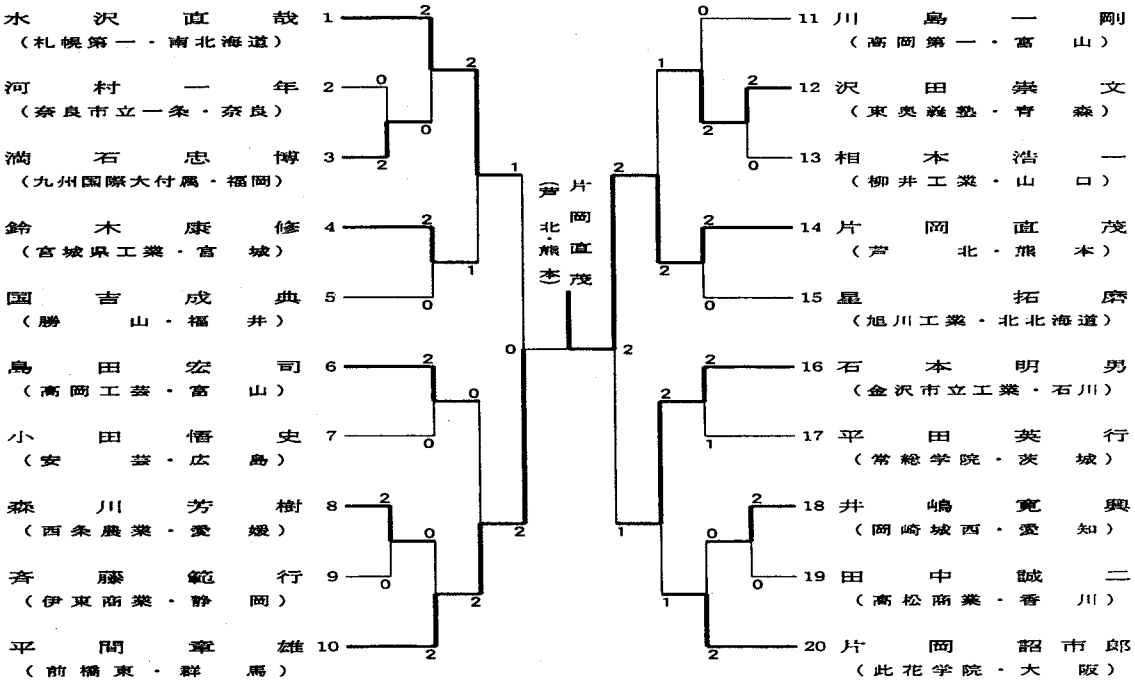
男子ダブルス



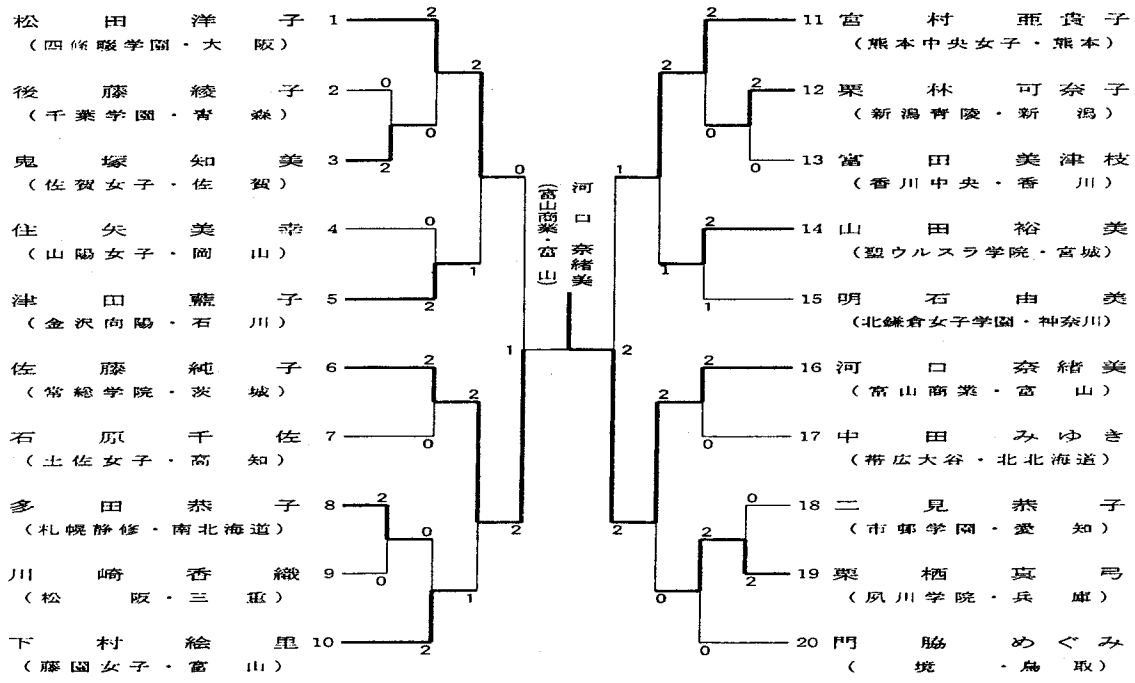
女子ダブルス



男子シングルス



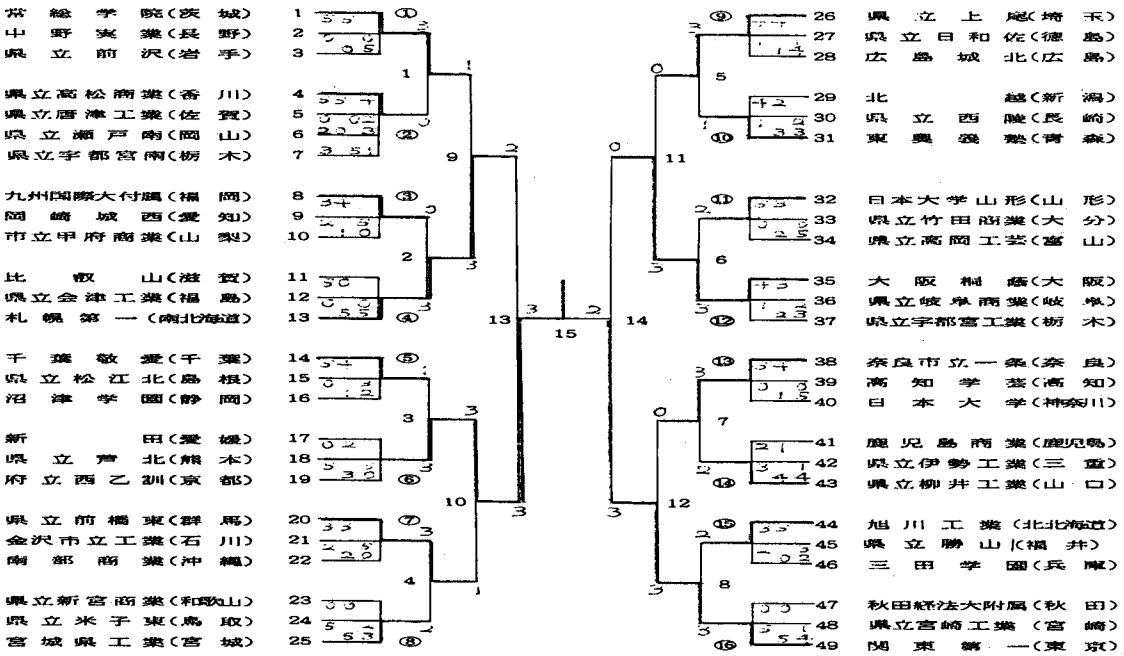
女子シングルス



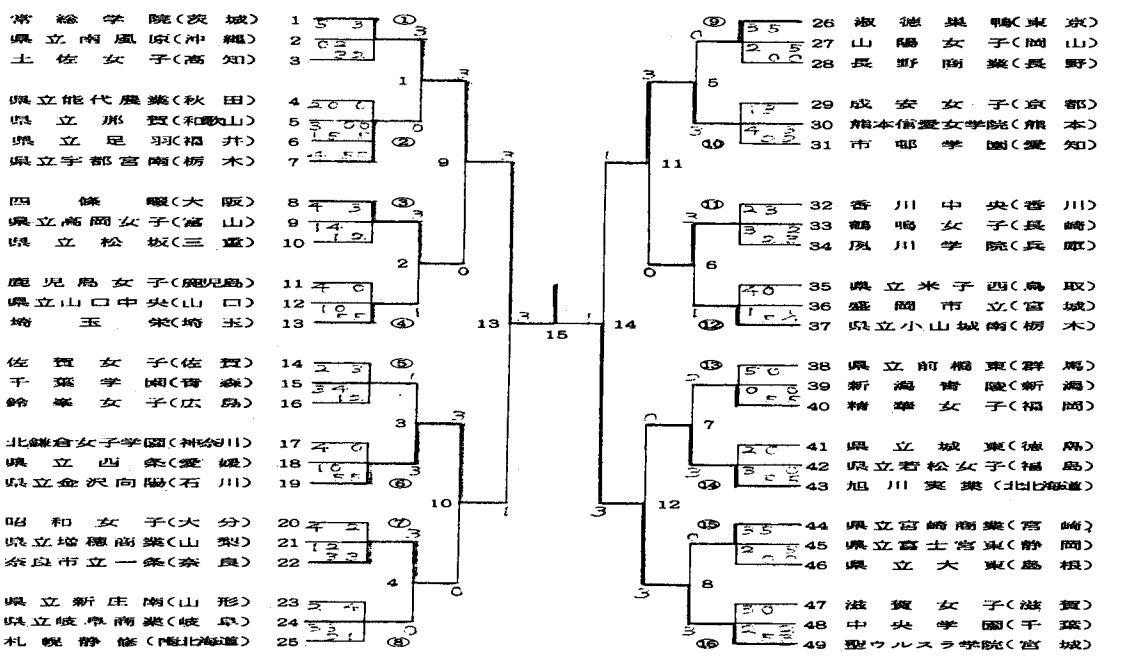
第20回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1992年（平成４年）３月25日～28日
栃木県宇都宮市　栃木県体育館
宇都宮市体育館
宇都宮市清原体育館

男子団体



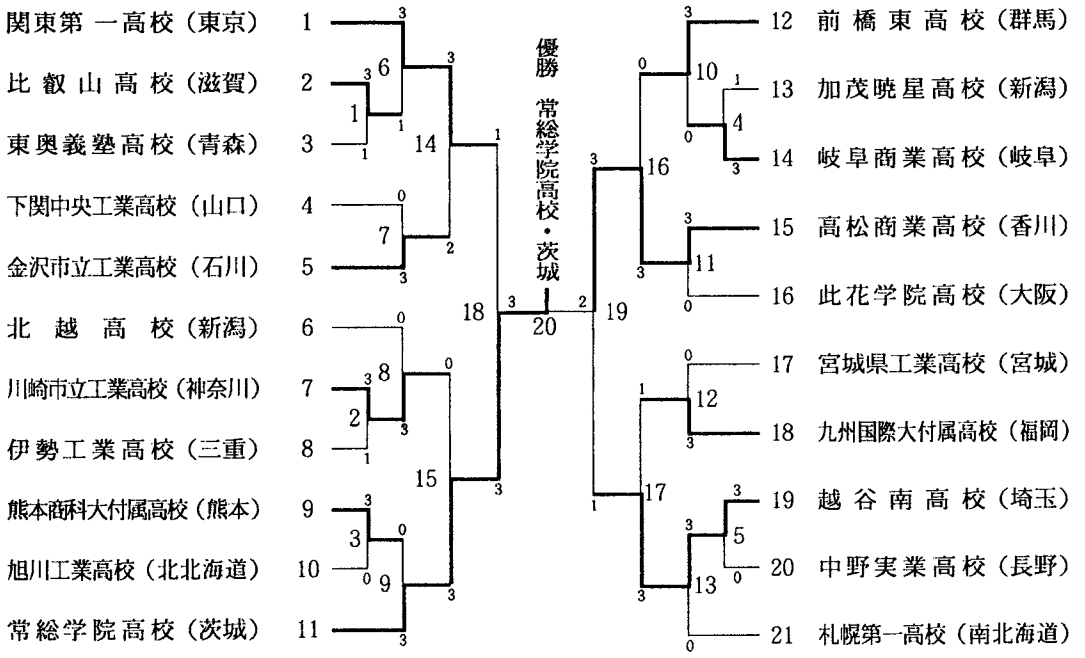
女子団体



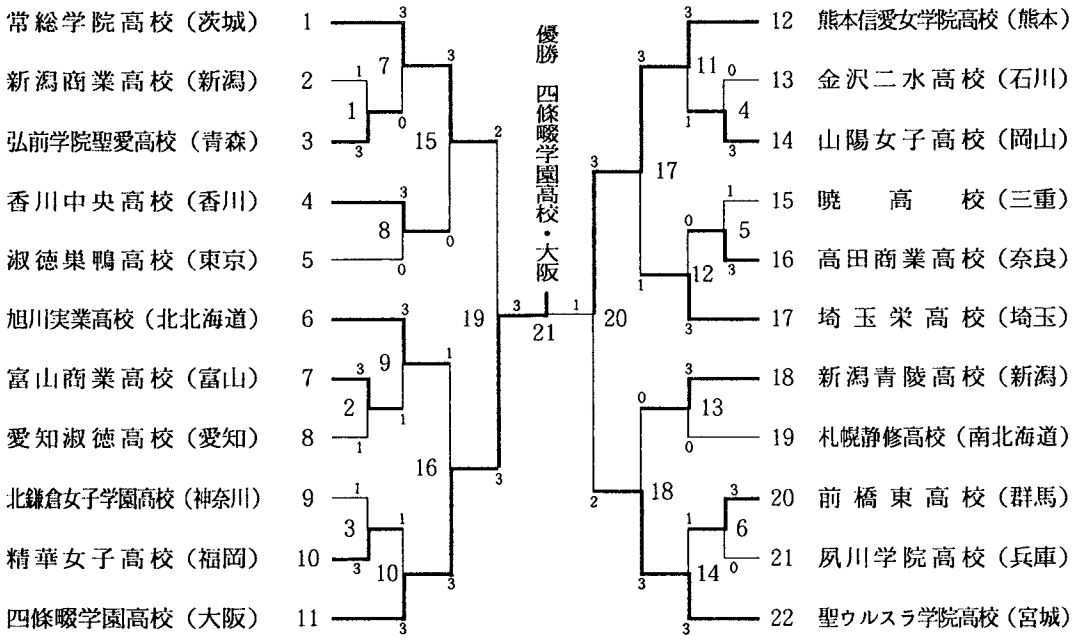
第21回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1993年（平成５年）３月24日～27日
新潟県新潟市　新潟市体育館
鳥屋野総合体育館

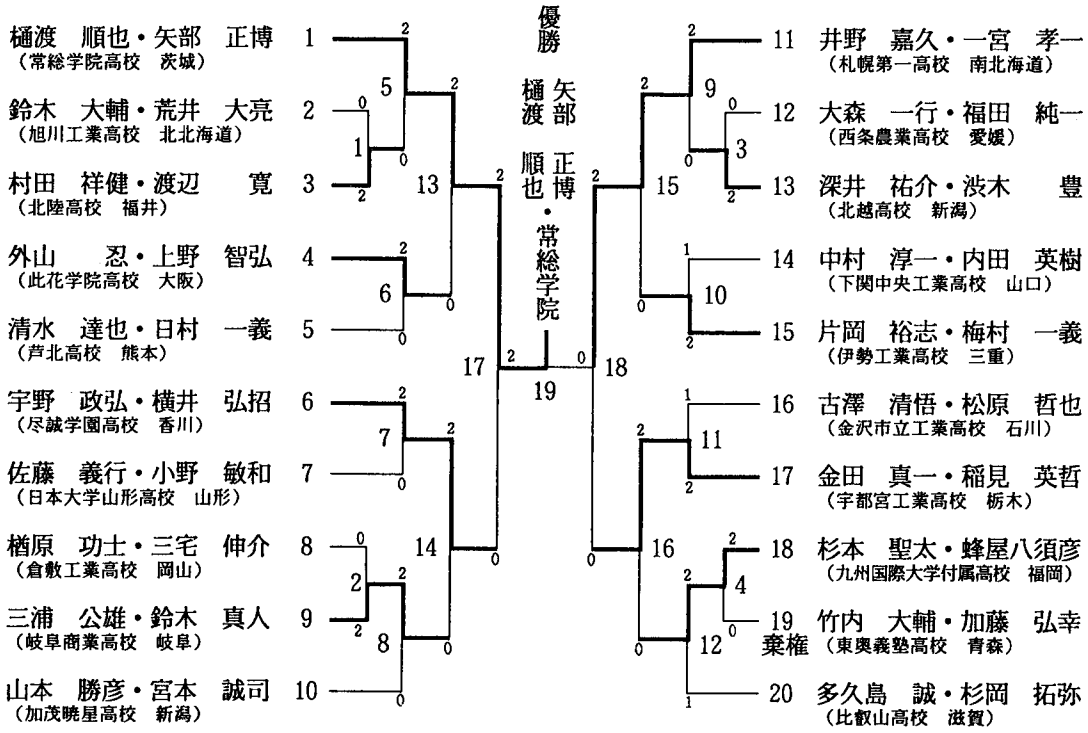
男子団体



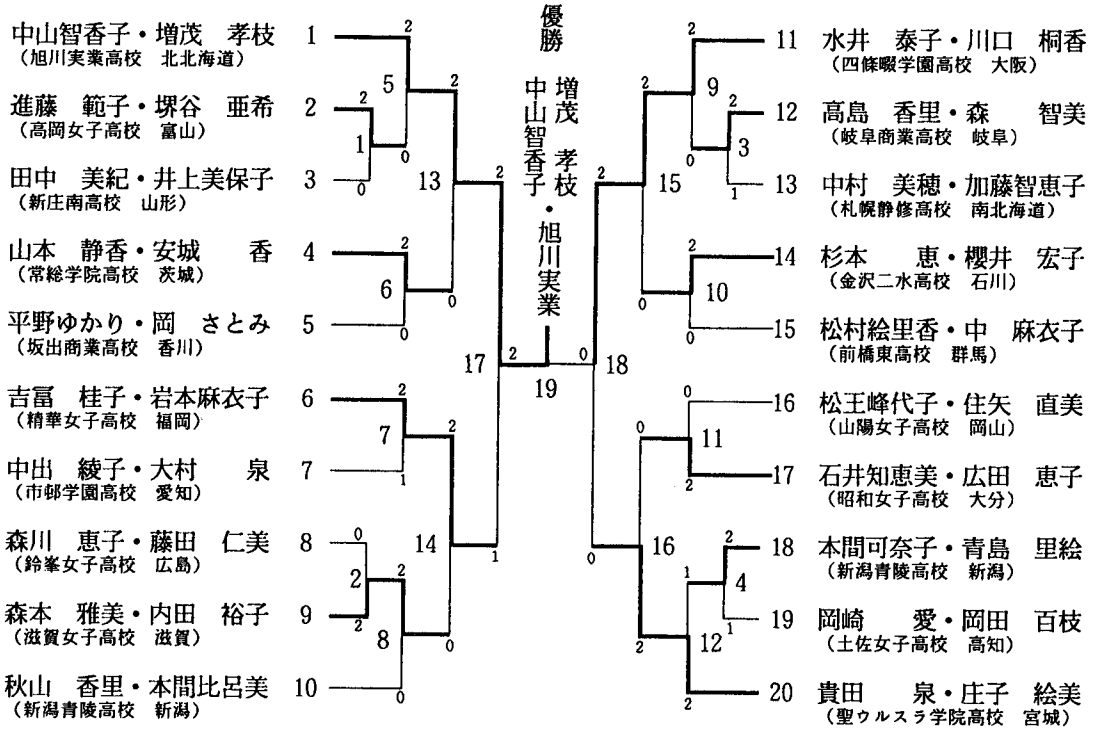
女子団体



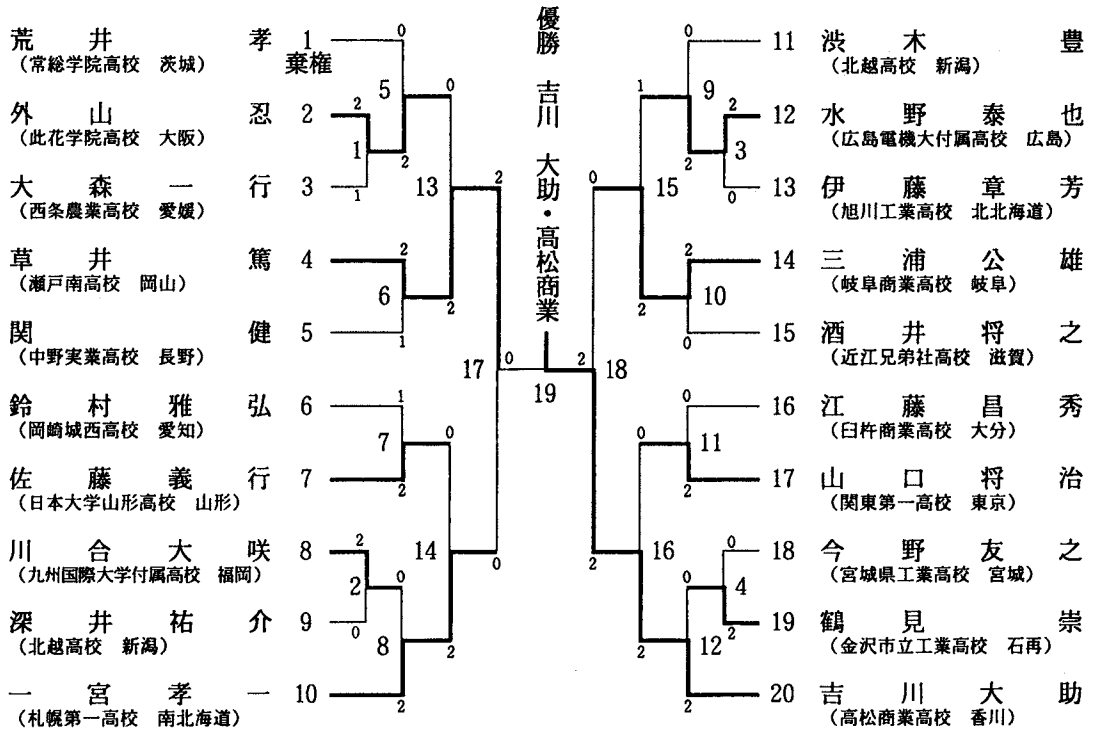
男子ダブルス



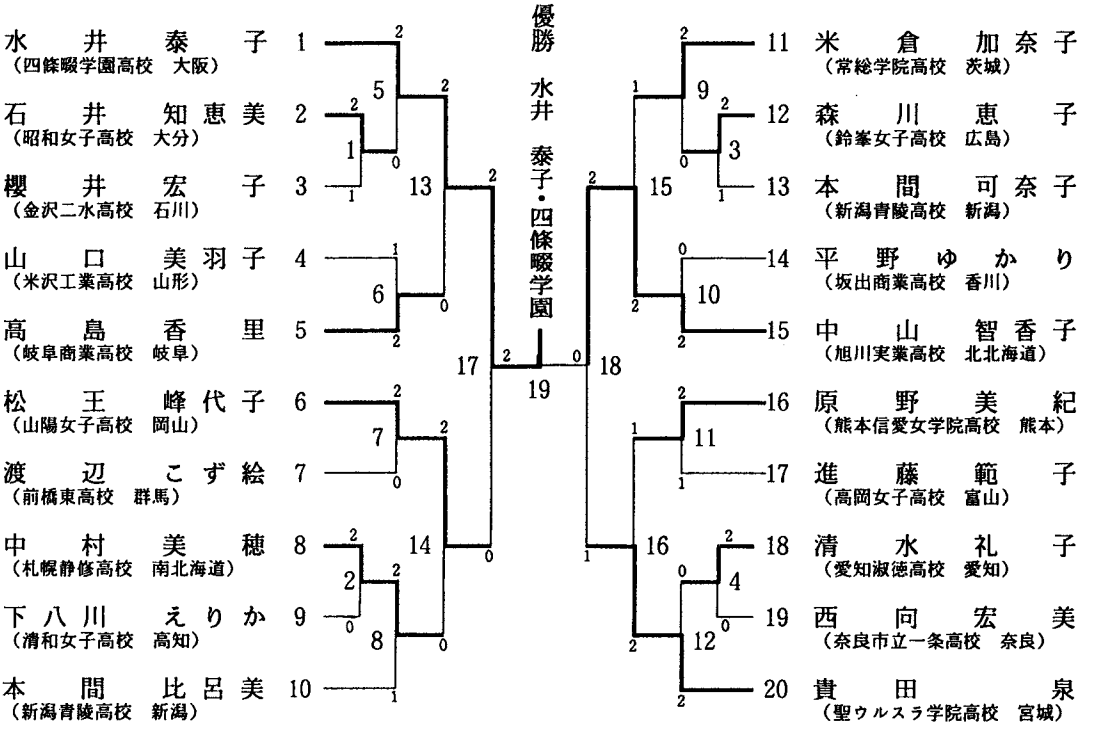
女子ダブルス



男子シングルス



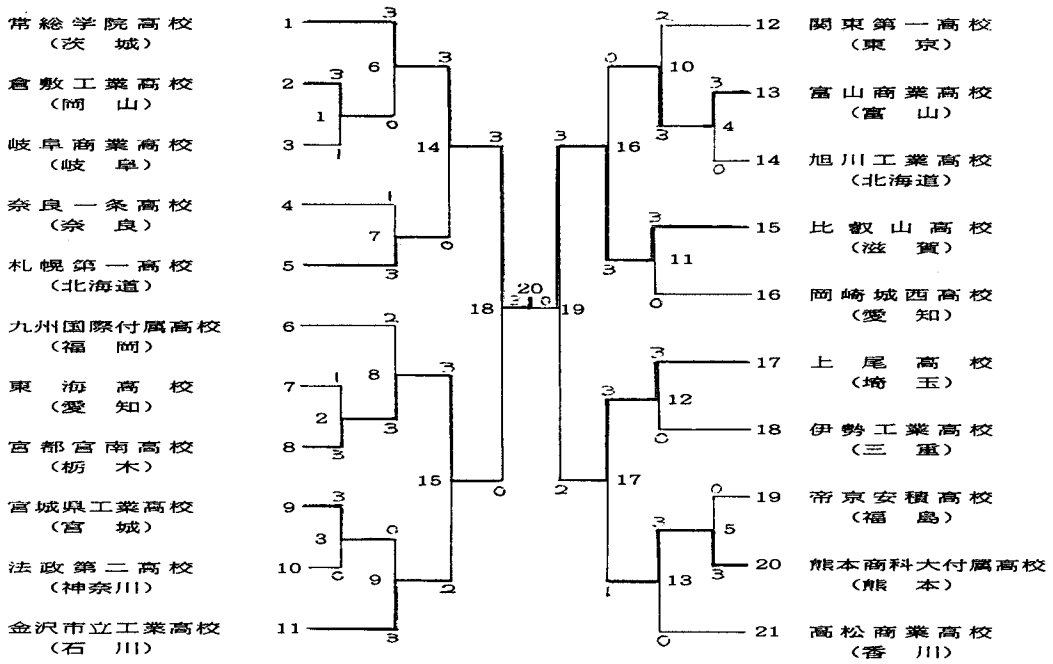
女子シングルス



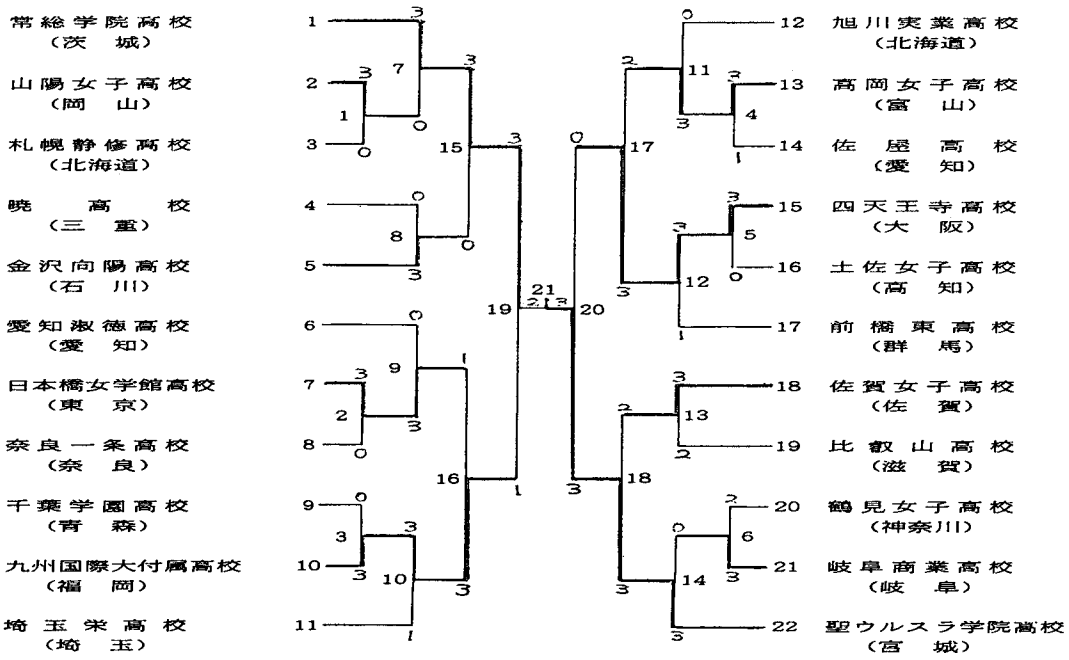
第22回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1994年（平成６年）３月24日～27日
愛知県大府市　大府市民体育館

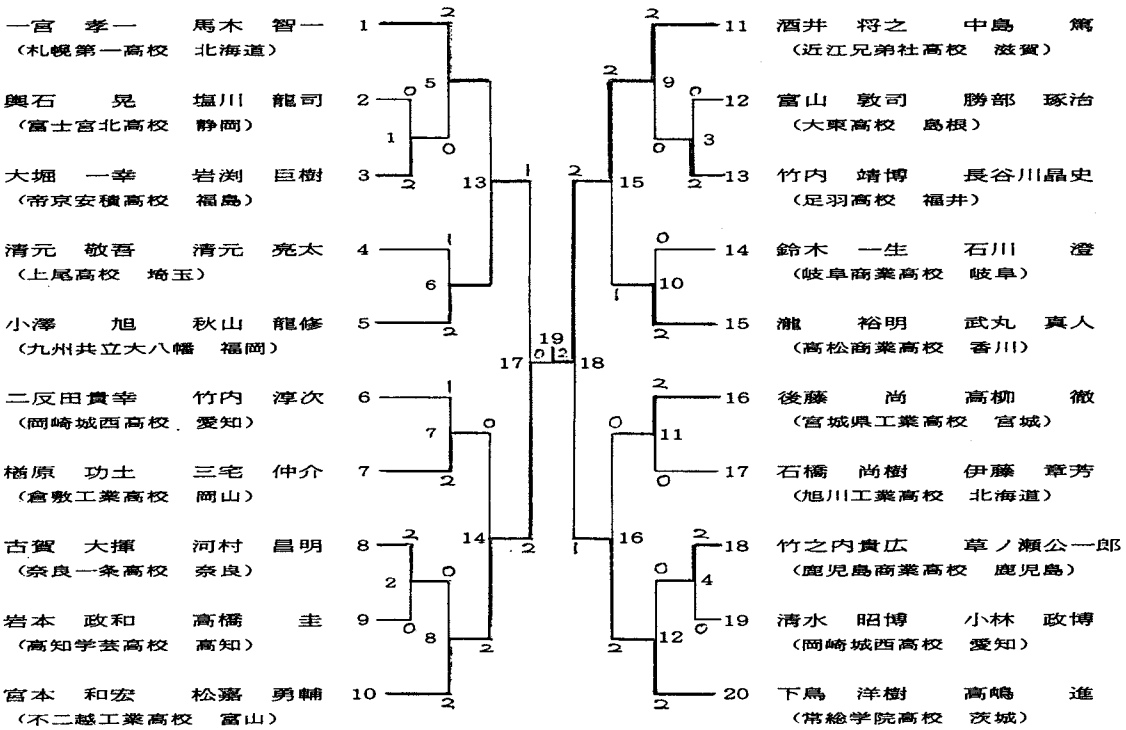
男子団体



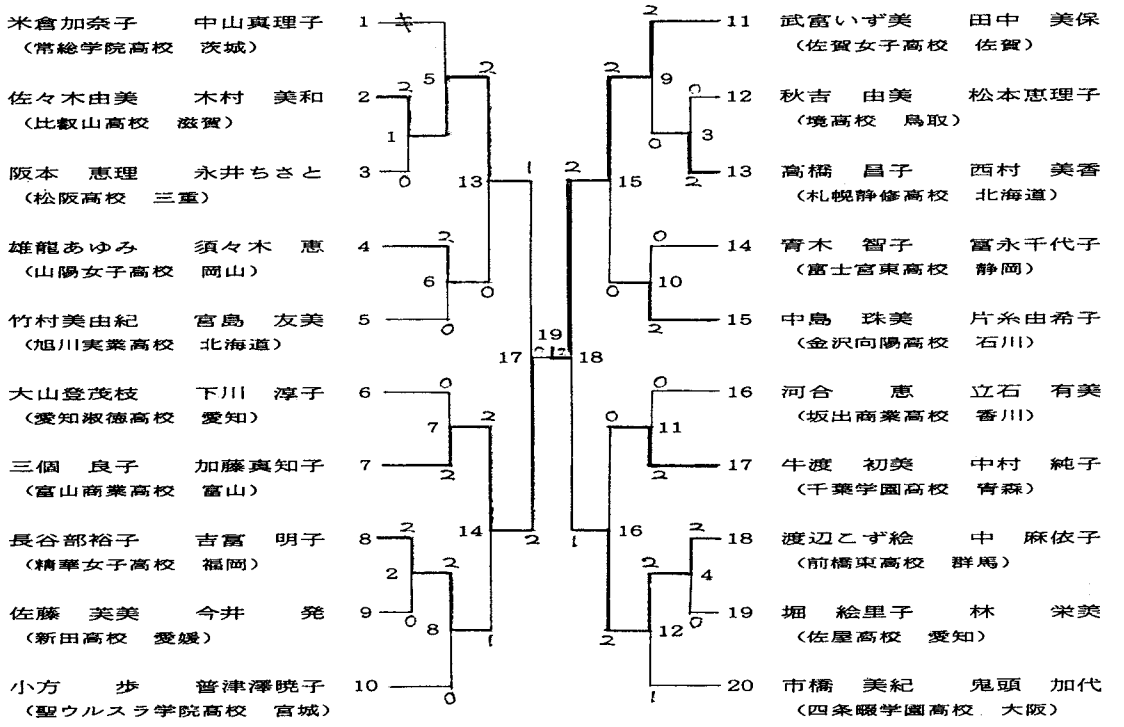
女子団体



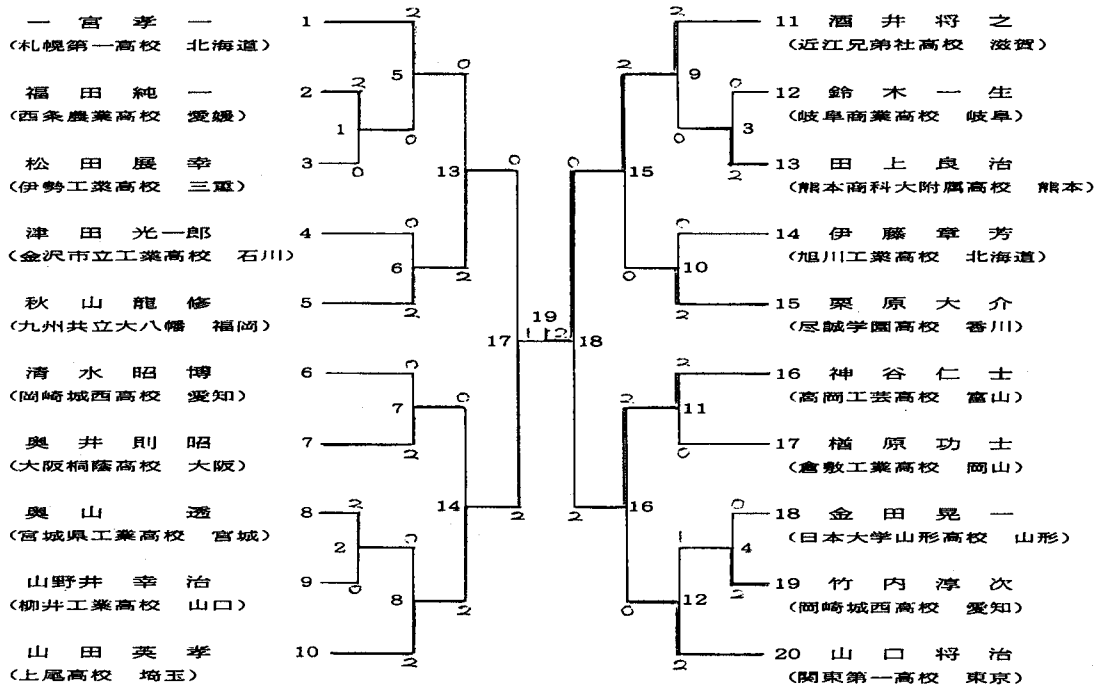
男子ダブルス



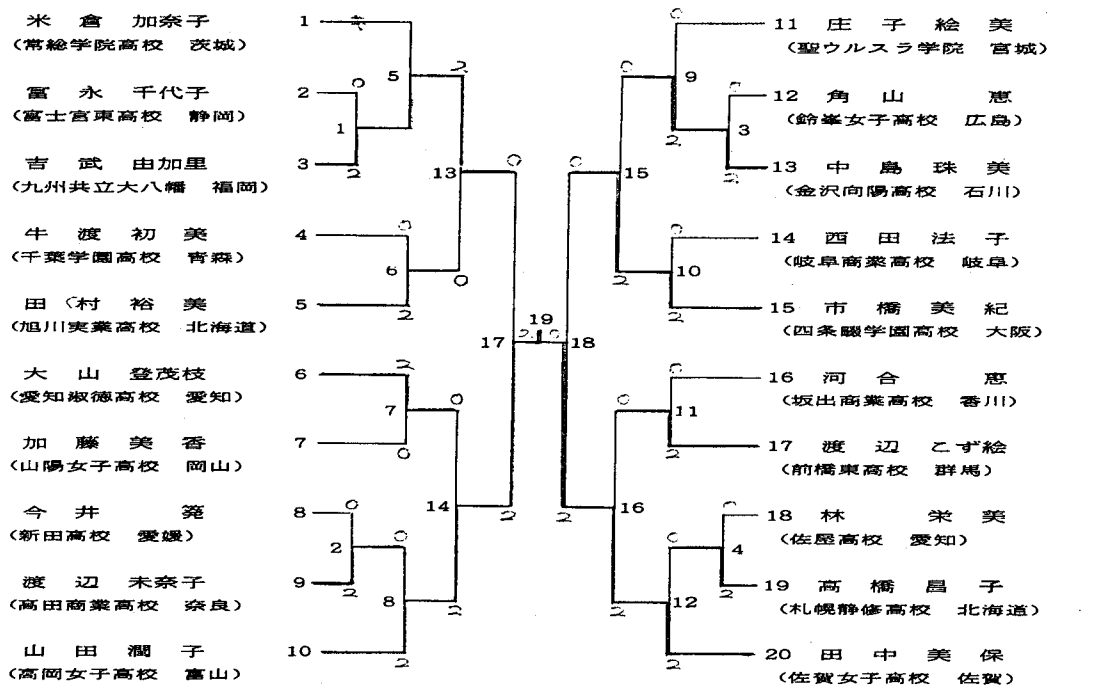
女子ダブルス



男子シングルス



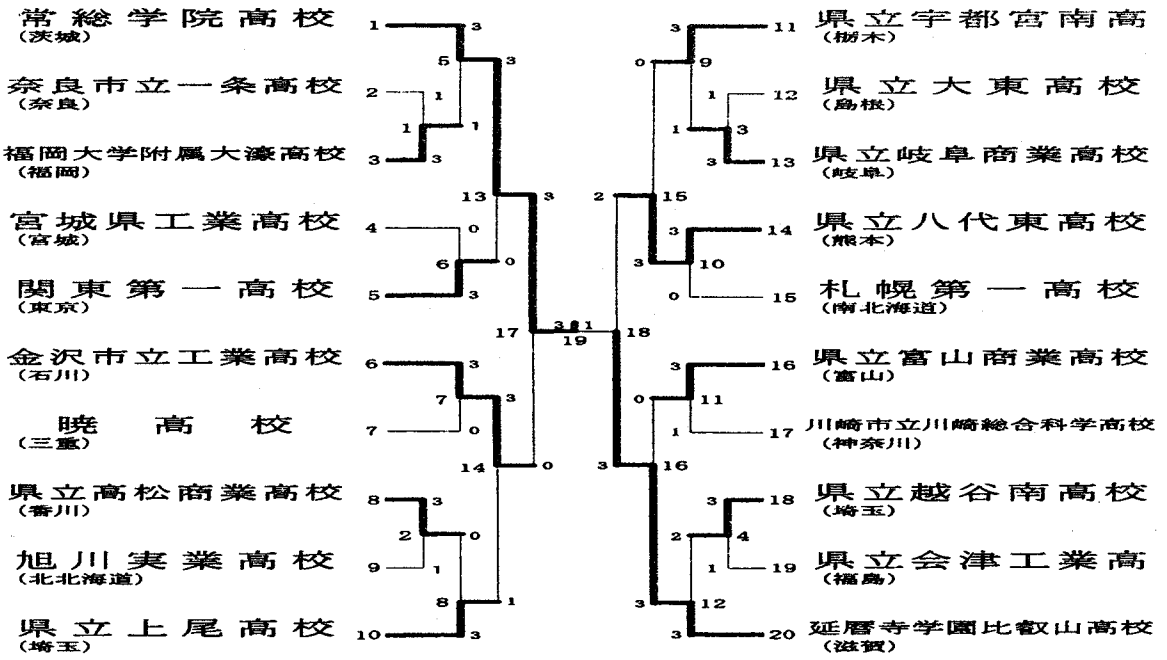
女子シングルス



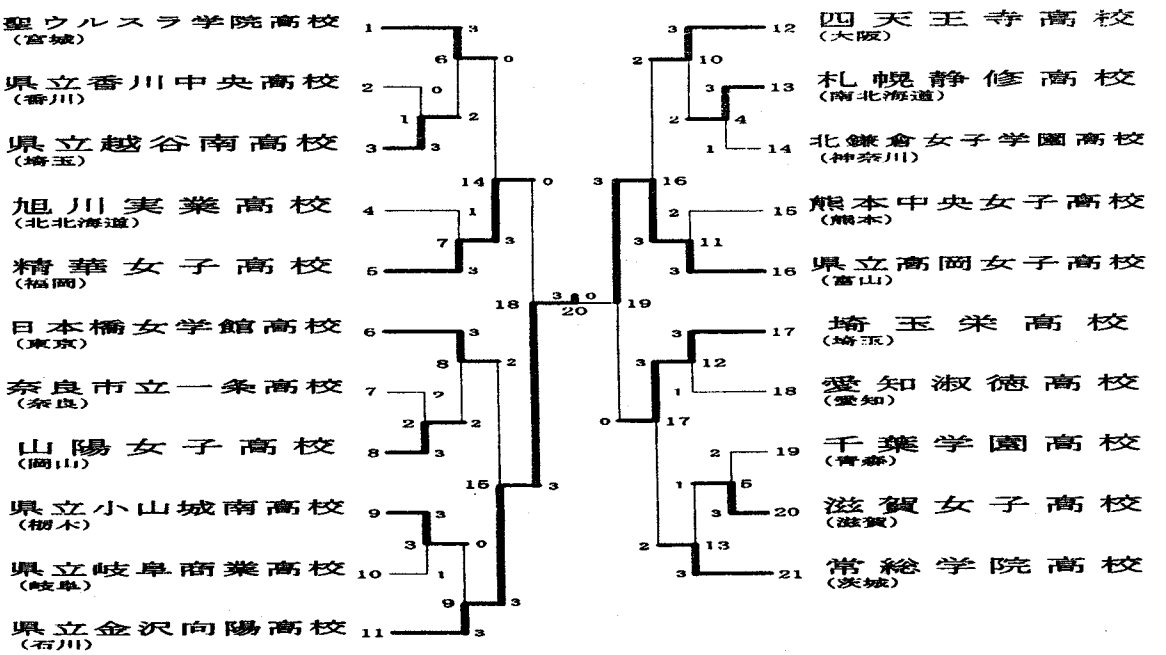
第23回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1995年（平成７年）３月25日～28日
埼玉県上尾市　上尾運動公園体育館

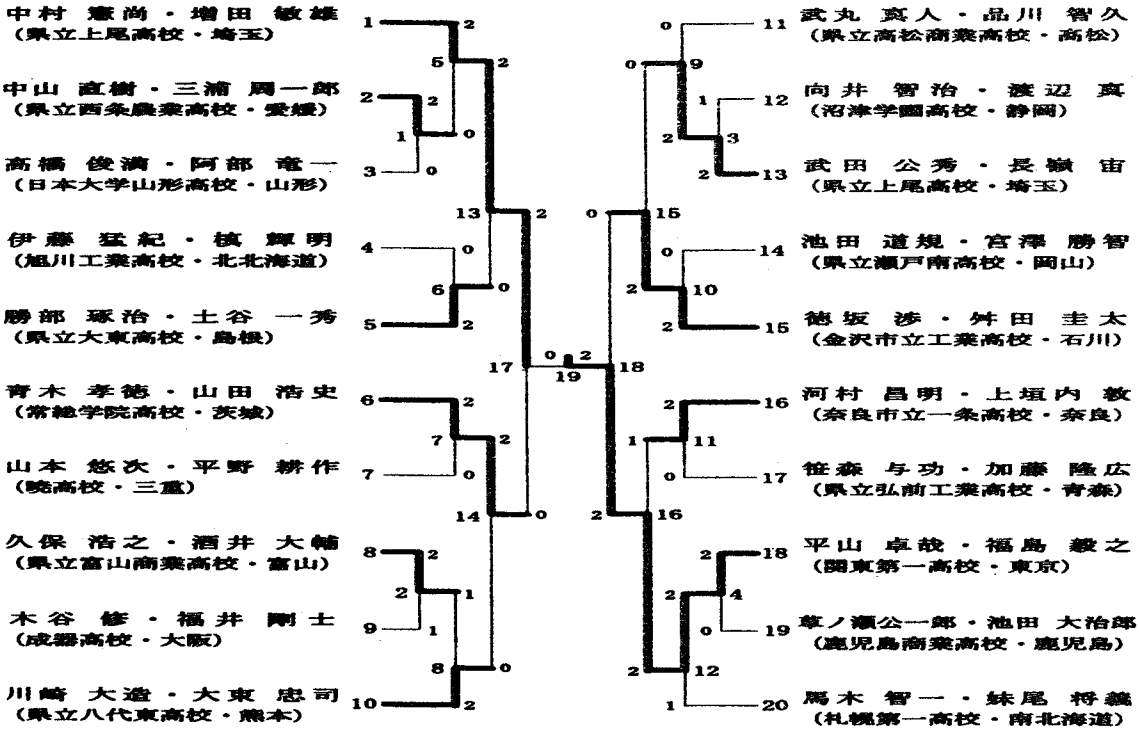
男子団体



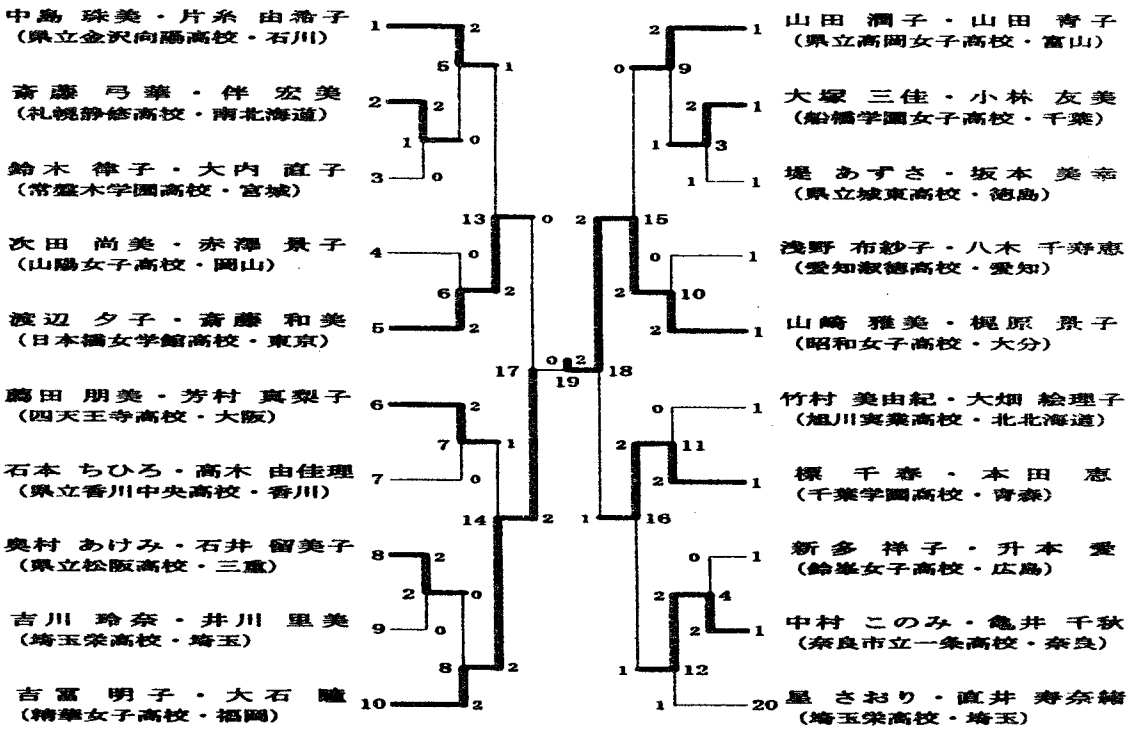
女子団体



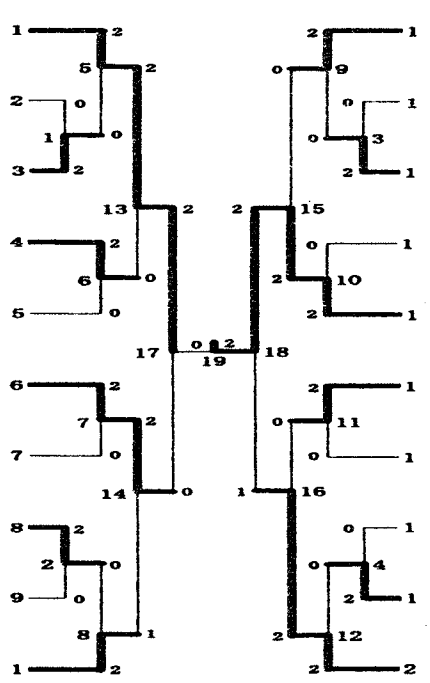
男子ダブルス



女子ダブルス



男子シングルス



中村　憲尚
（県立上尾高校・埼玉）

松川　大記
（県立倉敷工業高校・岡山）

久保　浩之
（県立富山商業高校・富山）

椿　英治
（県立高松商業高校・高松）

期上　大
（宮城県工業高校・宮城）

青木　孝徳
（常総学院高校・茨城）

三上　直也
（旭川実業高校・北北海道）

沢田　晃幸
（府立西乙訓高校・京都）

小林　圭介
（県立伊勢高校・三重）

大東　忠司
（県立八代東高校・熊本）

石川　澄
（県立岐阜商業高校・岐阜）

増田　敏雄
（県立上尾高校・埼玉）

中舘　聡
（盛岡大学附属高校・岩手）

宗野　智志
（福岡大学附属大濠高校・福岡）

松本　徹
（延暦寺学園比叡山高校・滋賀）

徳坂　渉
（金沢市立工業高校・石川）

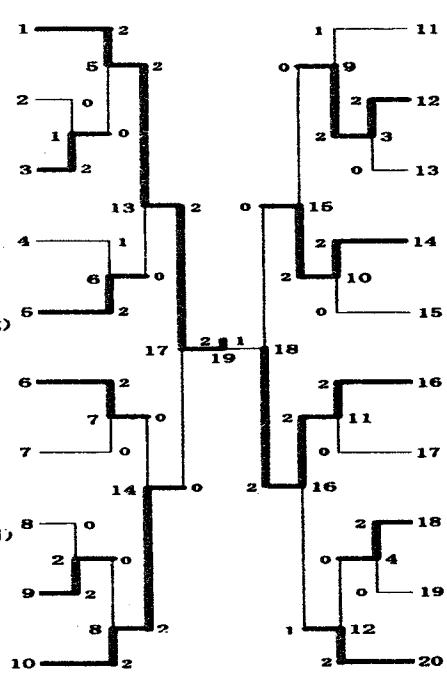
千葉　和浩
（松江西高校・島根）

平山　卓哉
（開東第一高校・東京）

三浦　周一郎
（県立西条農業高校・愛媛）

馬木　智一
（札幌第一高校・南北海道）

女子シングルス



山田　潤子
（県立高岡女子高校・富山）

近藤　千恵
（暁高校・三重）

渡辺　夕子
（日本橋女学館高校・東京）

伴　宏美
（札幌静修高校・南北海道）

太田　裕子
（聖ウルスラ学院高校・宮城）

太田　久美
（熊本中央女子高校・熊本）

加藤　美香
（山陽女子高校・岡山）

山水　千愛
（県立善通寺第一高校・香川）

中村　このみ
（奈良市立一条高校・奈良）

井川　里美
（埼玉栄高校・埼玉）

片糸　由希子
（県立金沢向陽高校・石川）

山崎　雅美
（昭和女子高校・大分）

新多　祥子
（鈴峯女子高校・広島）

岩松　絵理子
（旭川実業高校・北北海道）

星　さおり
（埼玉栄高校・埼玉）

大坂　千尋
（常総学院高校・茨城）

下川　淳子
（愛知淑徳高校・愛知）

金内　瞳
（県立郡山女子高校・福島）

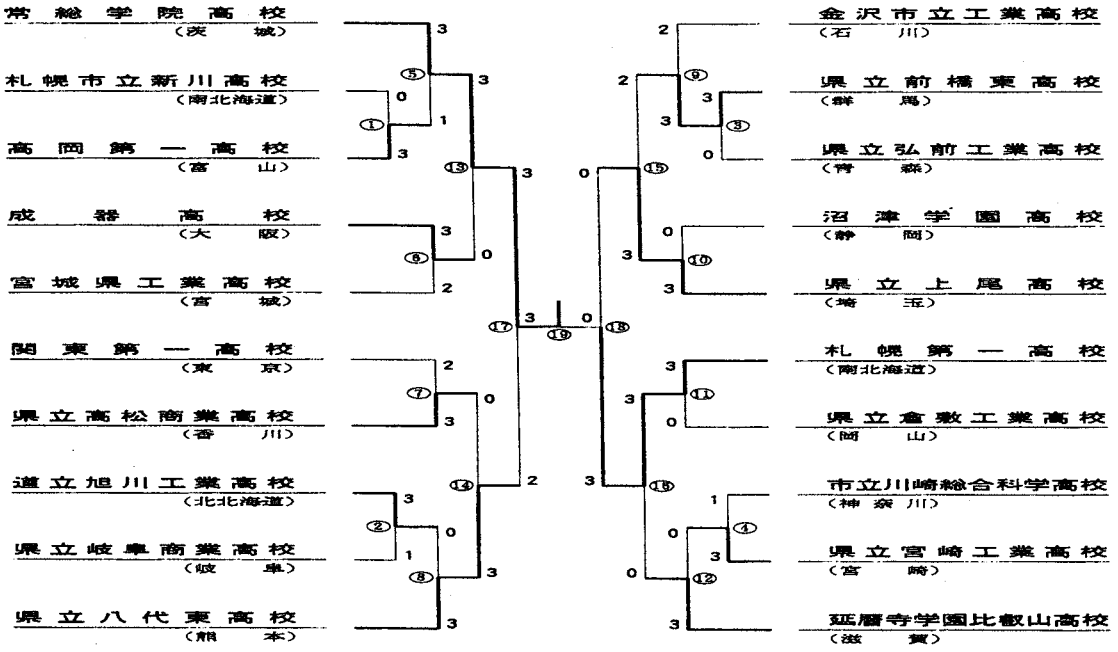
大中　美歩
（県立新居浜西高校・愛媛）

市橋　理恵
（四条畷学園高校・大阪）

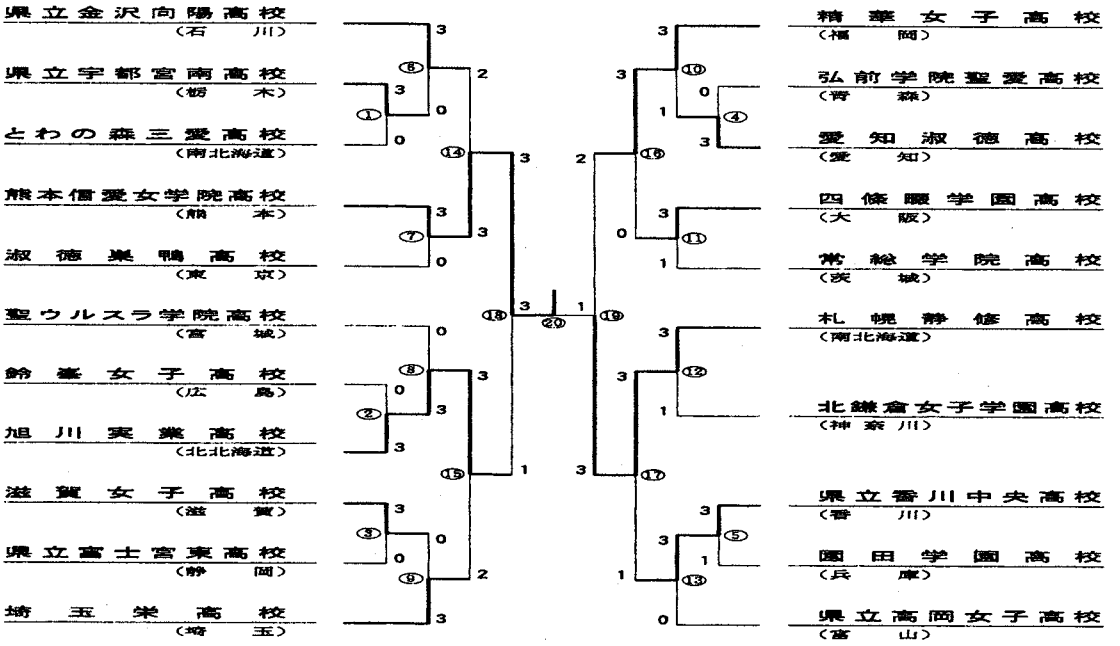
第24回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1996年（平成８年）３月24日～27日
北海道　道立札幌中島体育センター別館

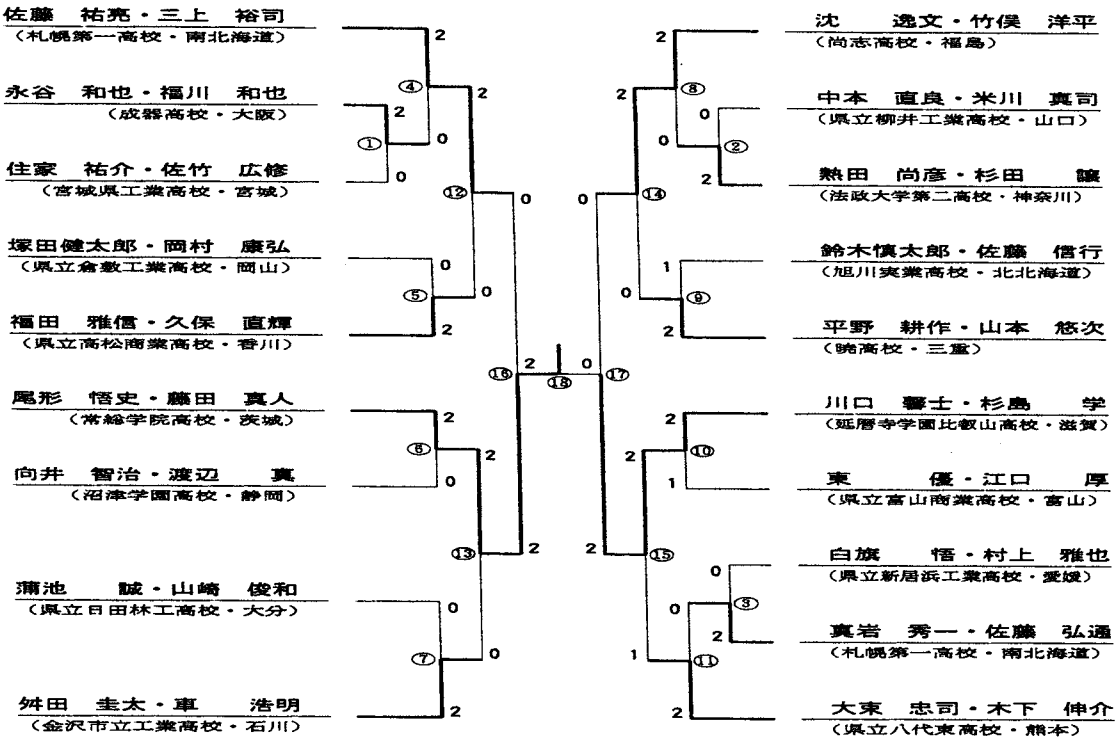
男子団体



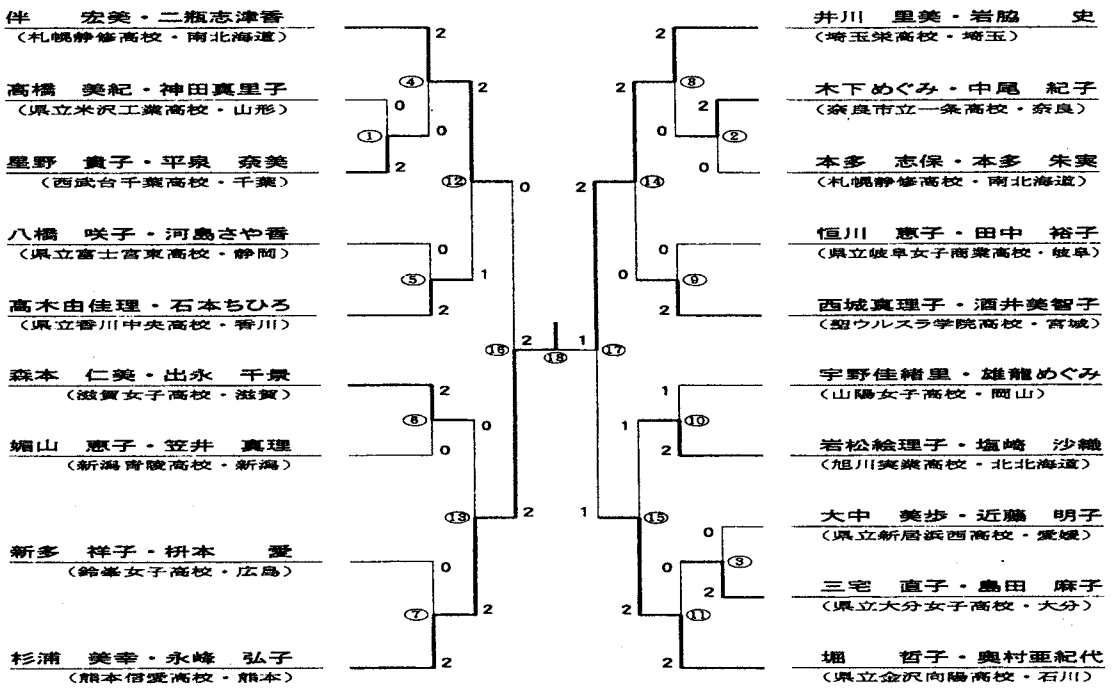
女子団体



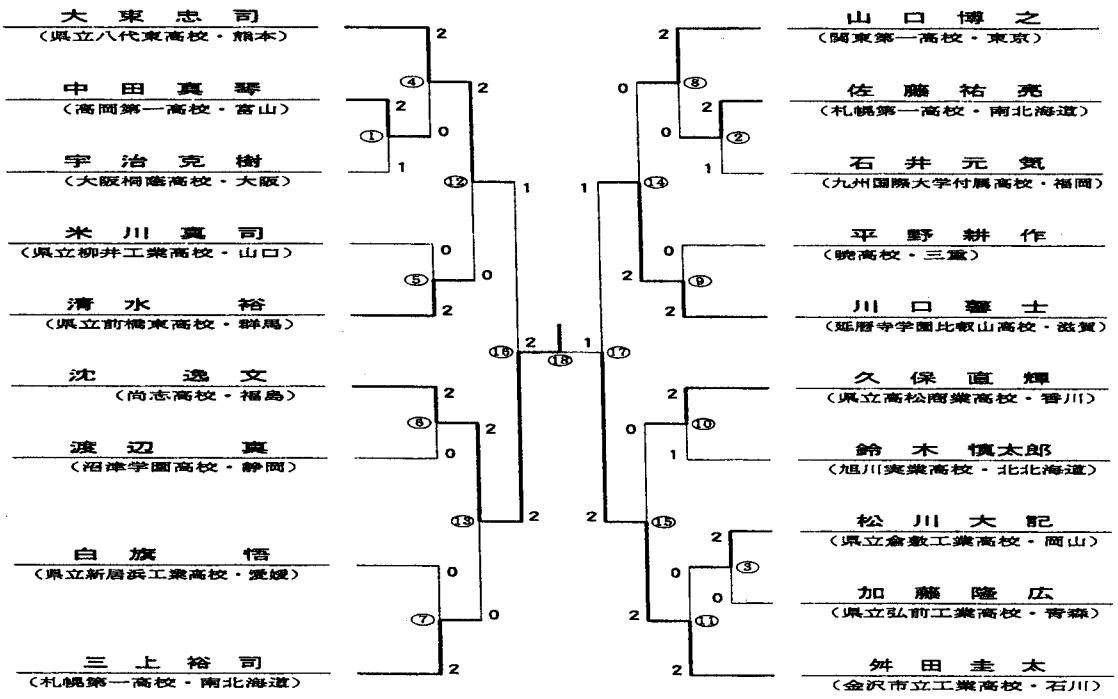
男子ダブルス



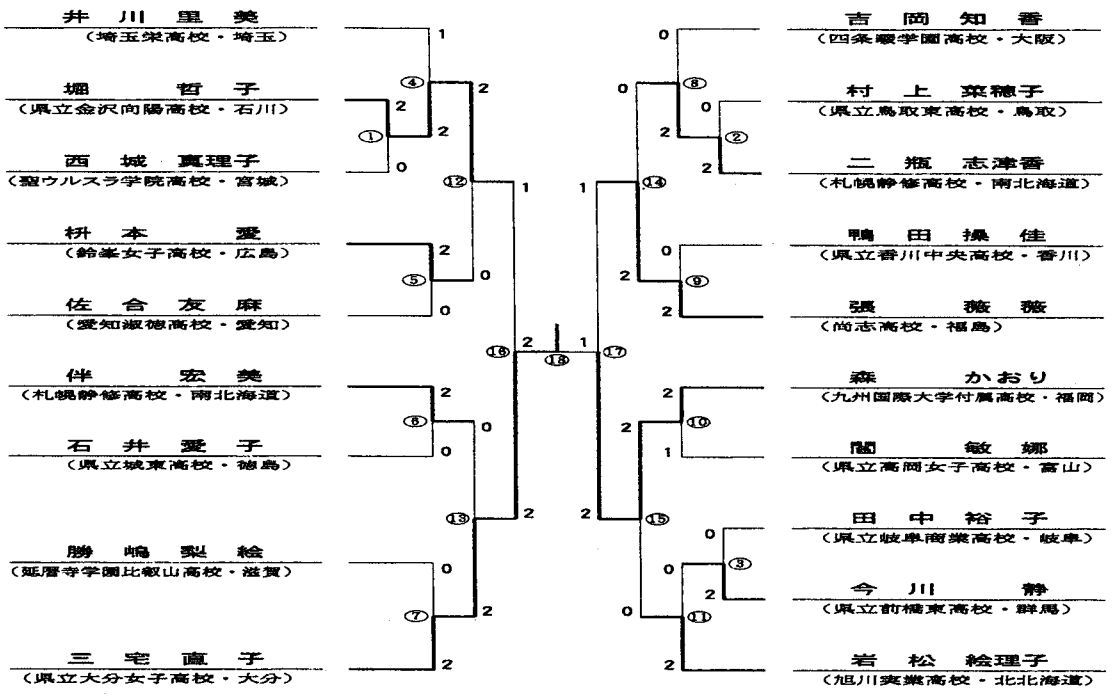
女子ダブルス



男子シングルス



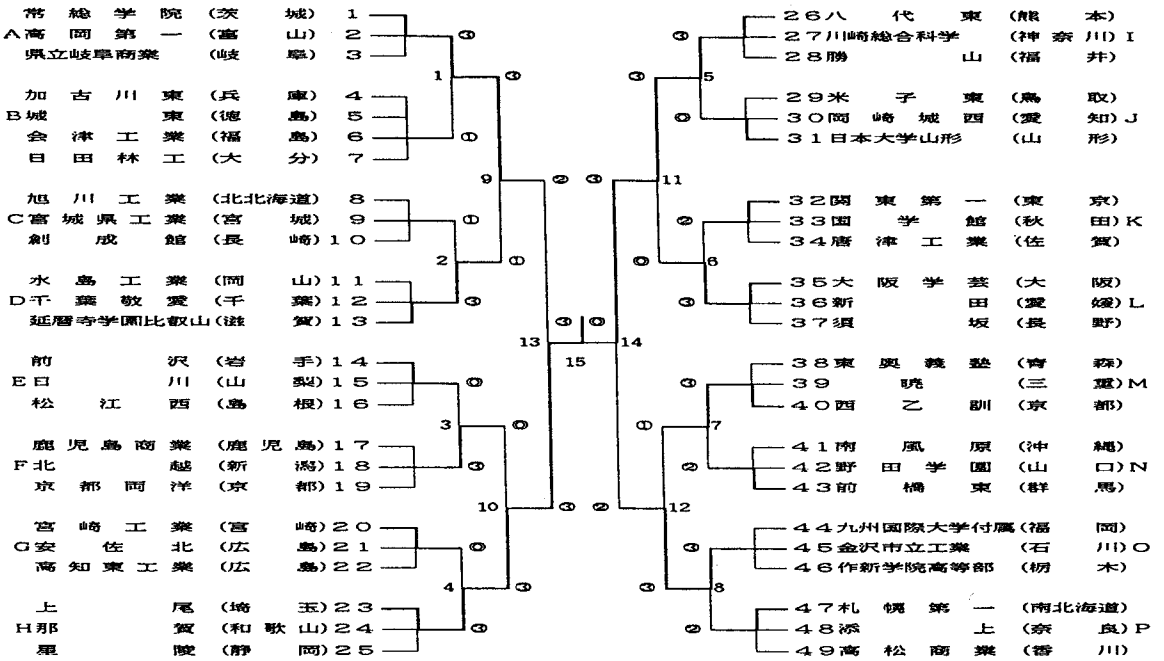
女子シングルス



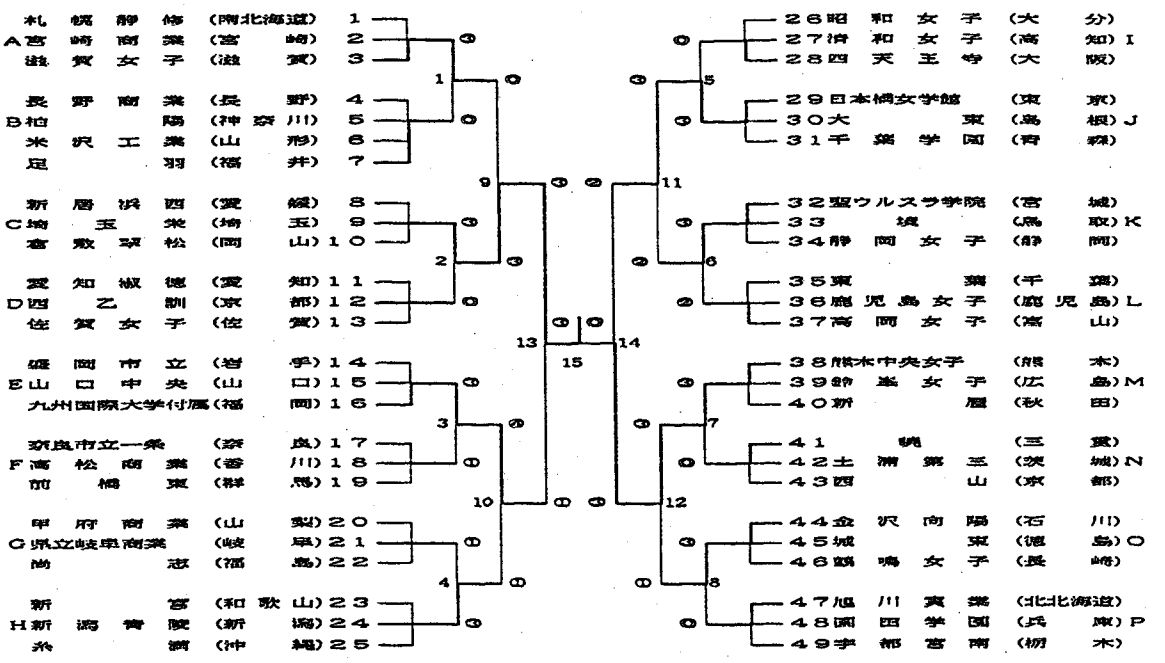
第25回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

1997年（平成９年）３月25日～28日
京都府長岡京市　長岡京記念文化会館
西山公園体育館
向日市民体育館
大山崎町体育館

男子団体



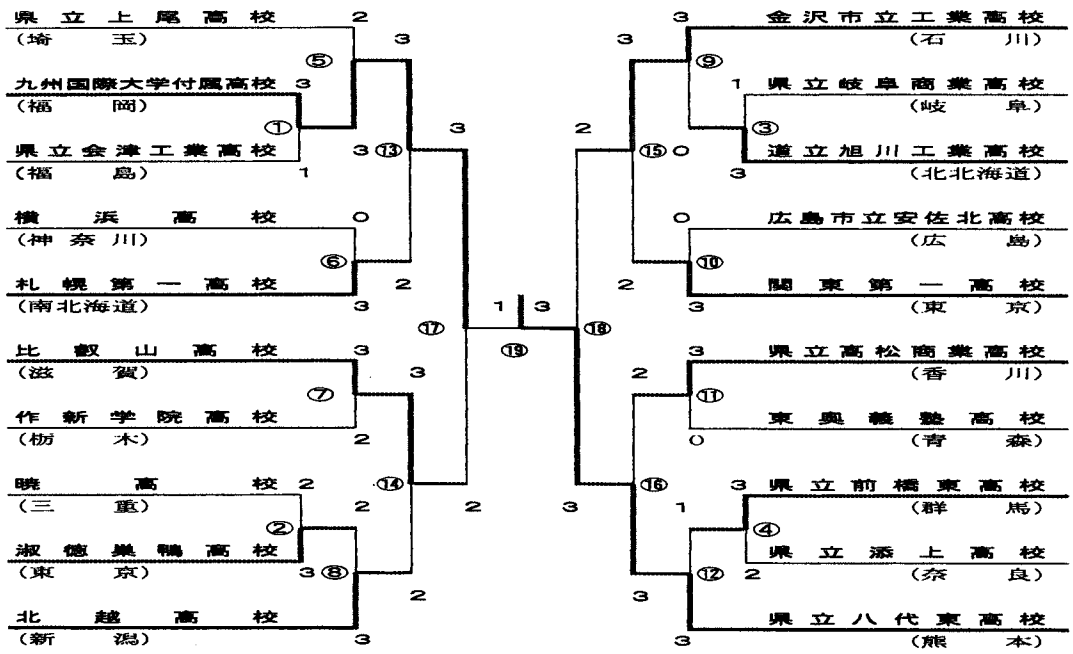
女子団体



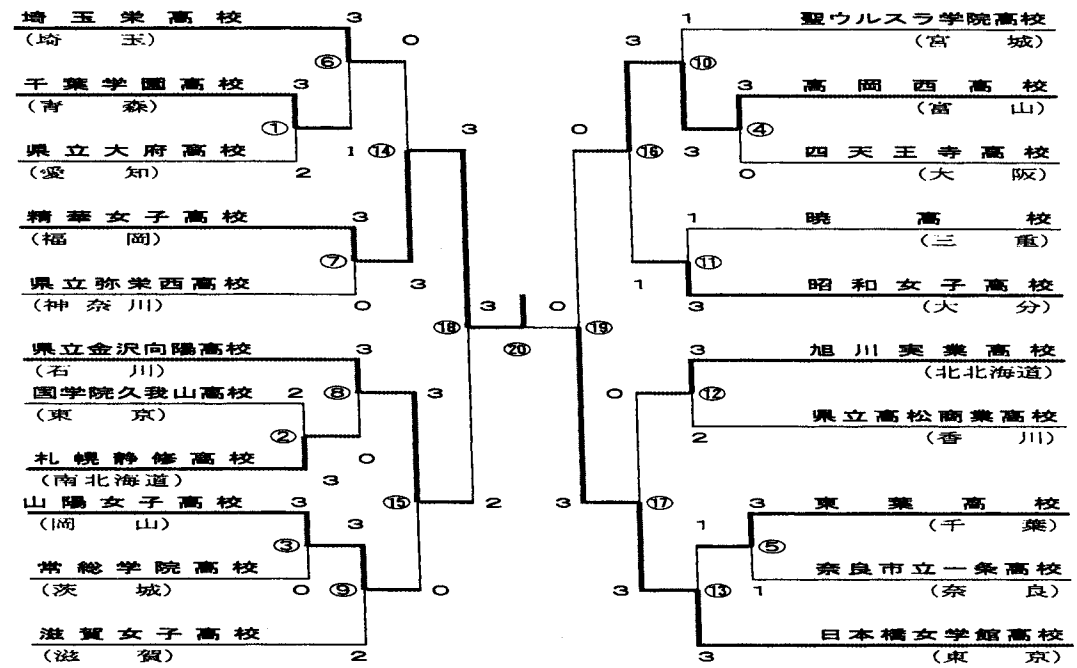
第26回全国高等学校選抜バドミントン大会

1998年（平成10年）3月21日～24日
東京都世田谷区　駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
駒沢オリンピック屋内球技場

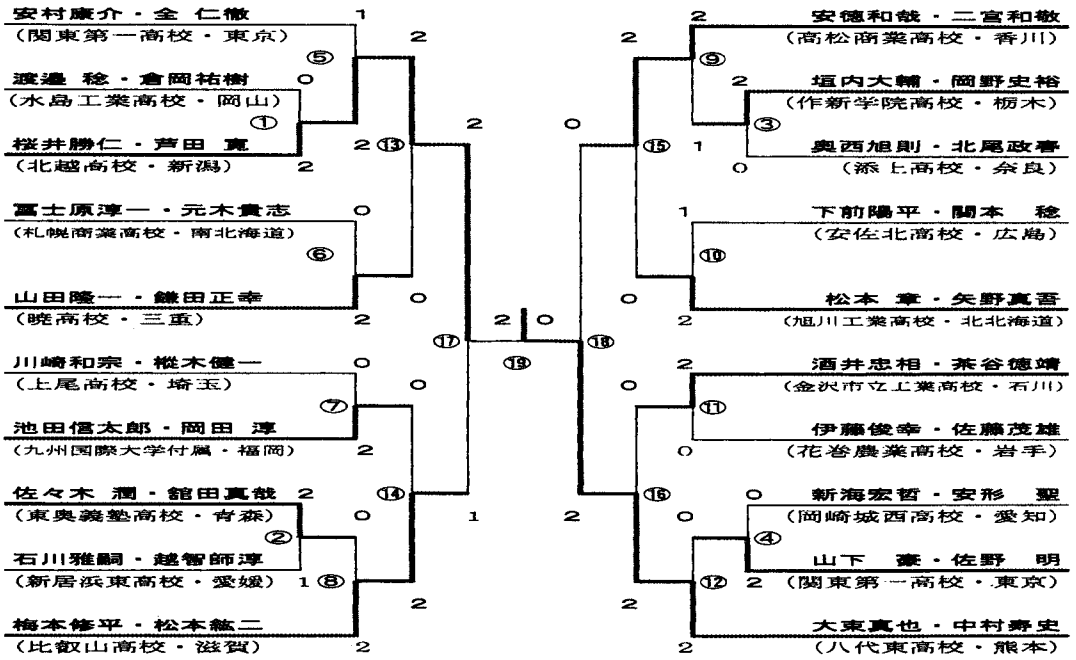
男子団体



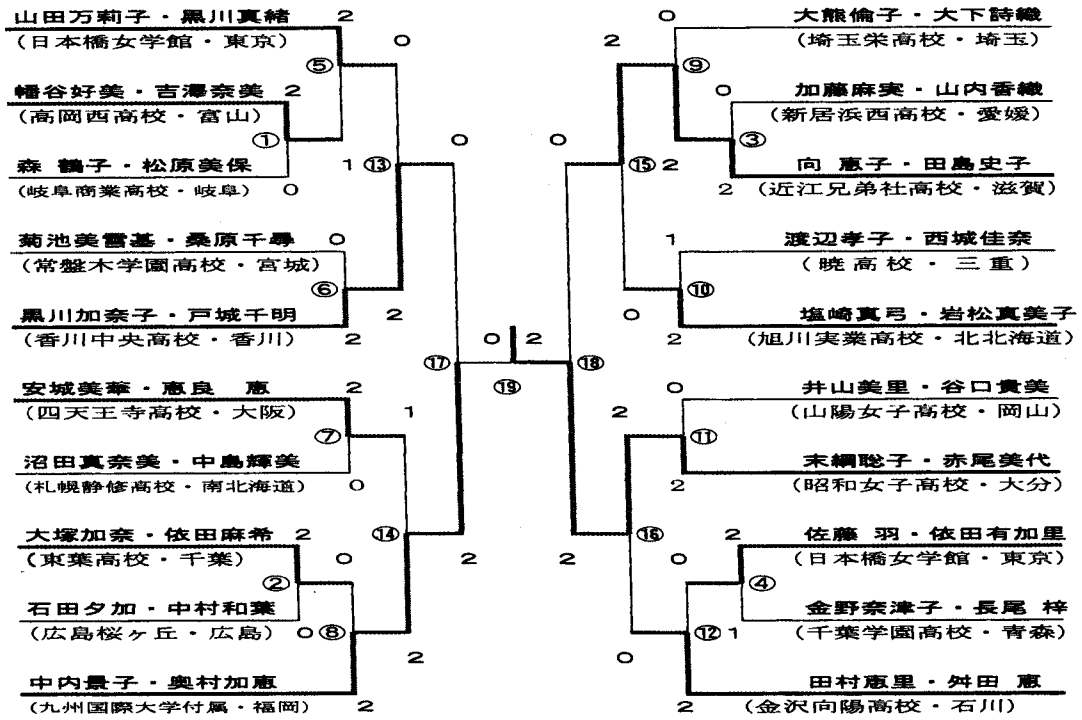
女子団体



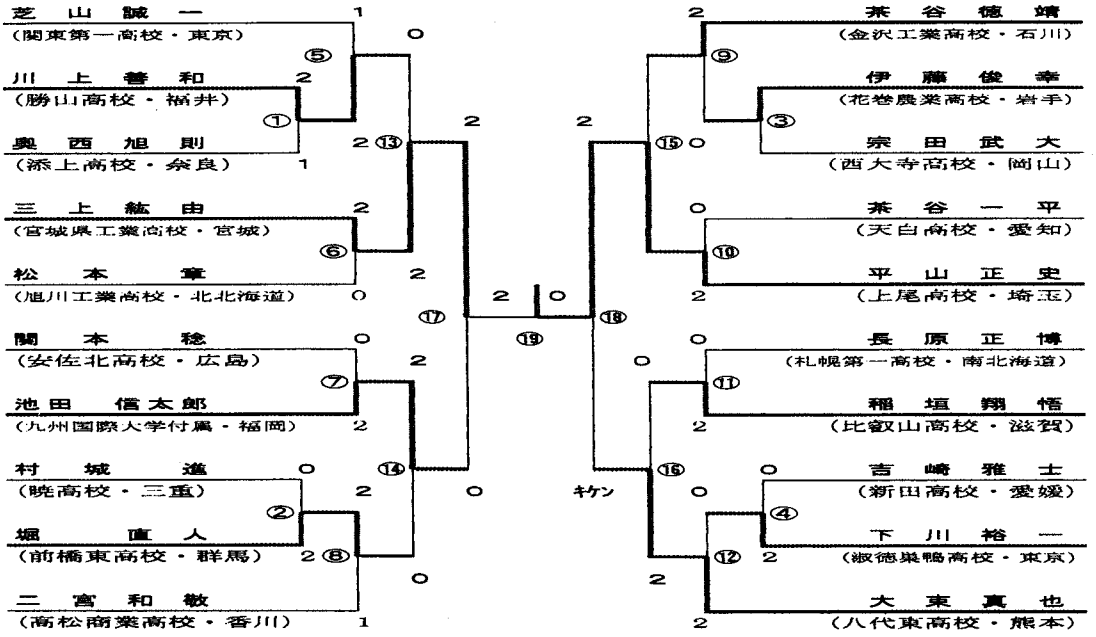
男子ダブルス



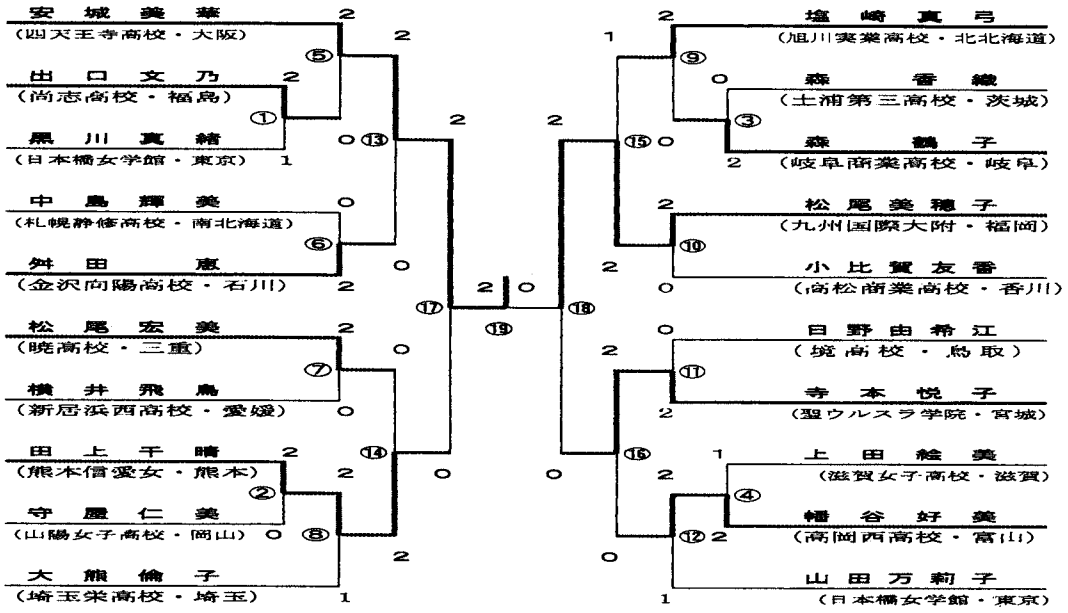
女子ダブルス



男子シングルス



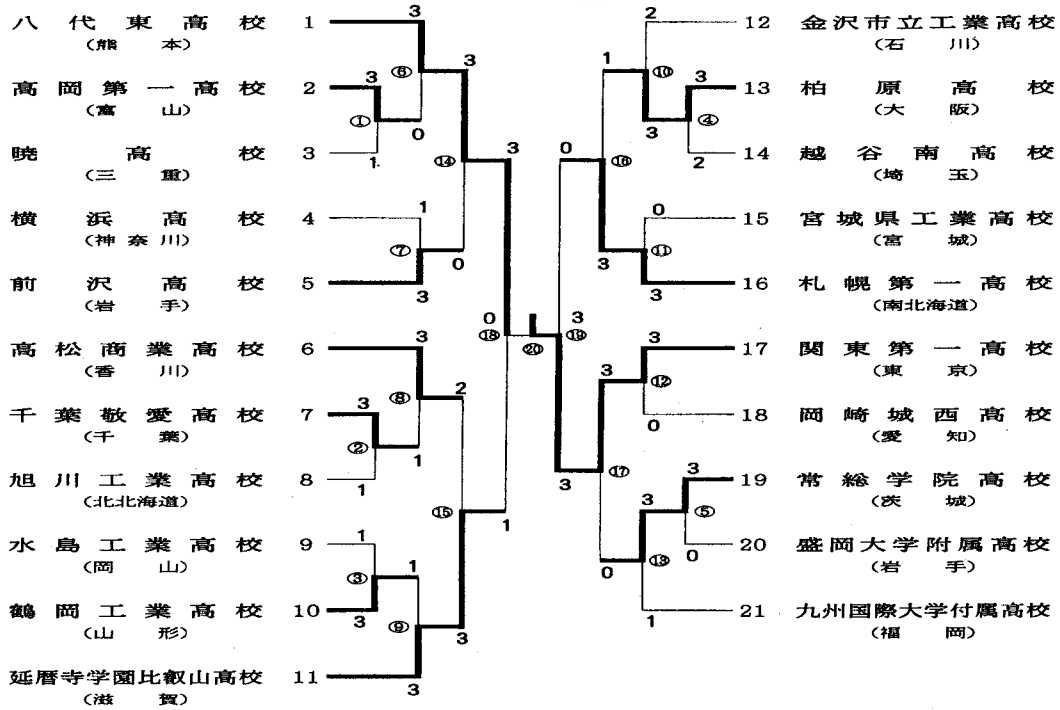
女子シングルス



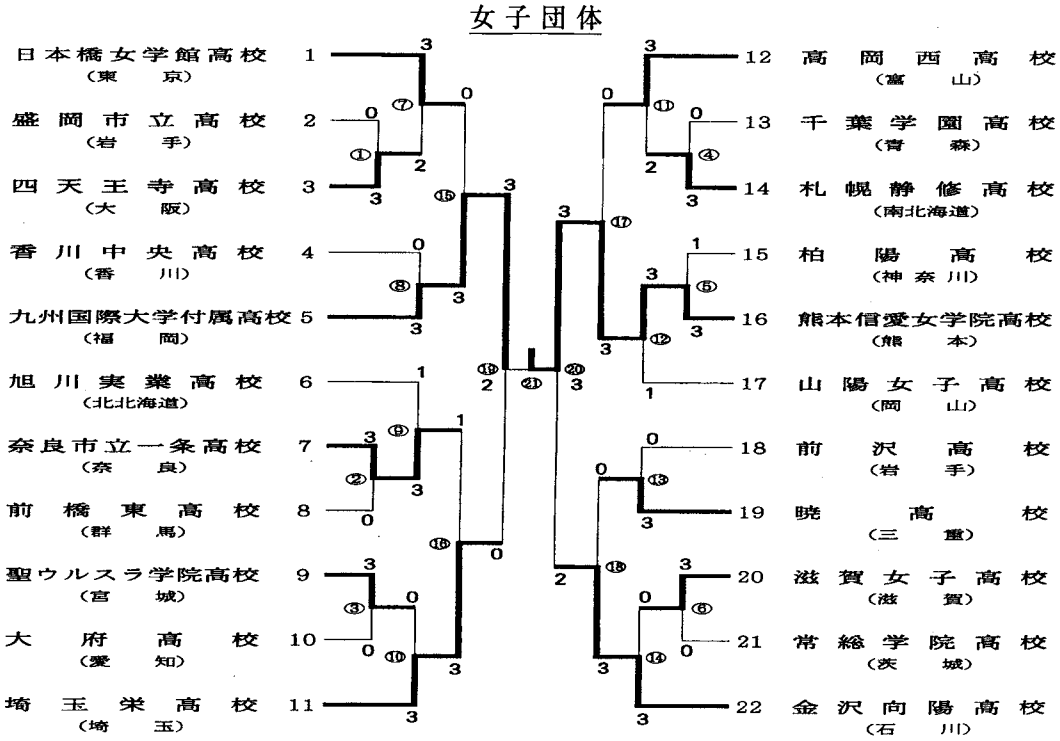
第27回全国高等学校選抜バドミントン大会

1999年（平成11年）３月26日～28日
岩手県滝沢村　滝沢村総合公園体育館

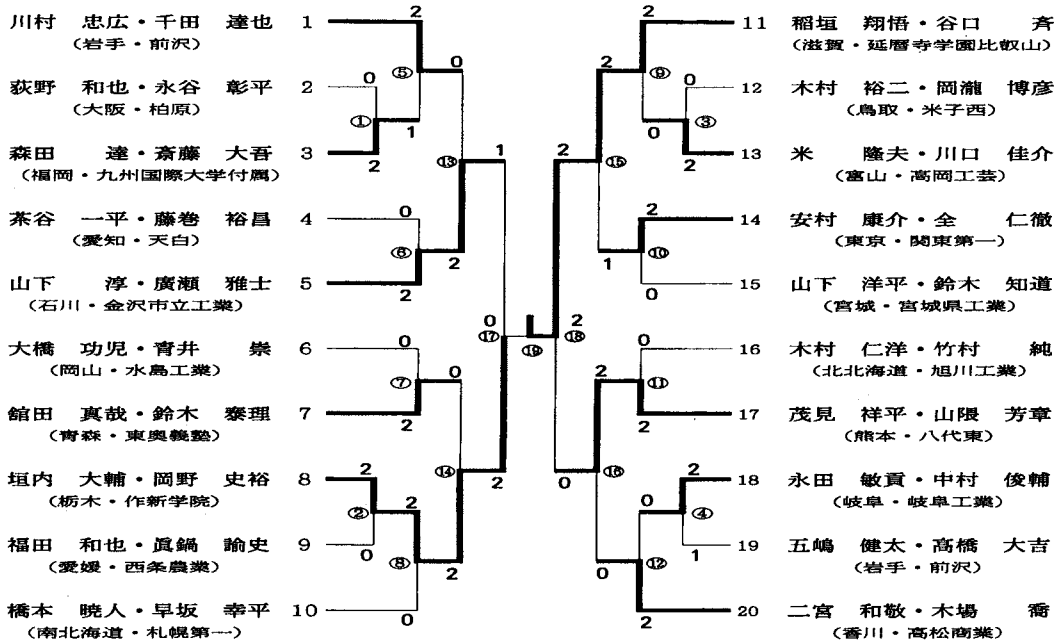
男子団体



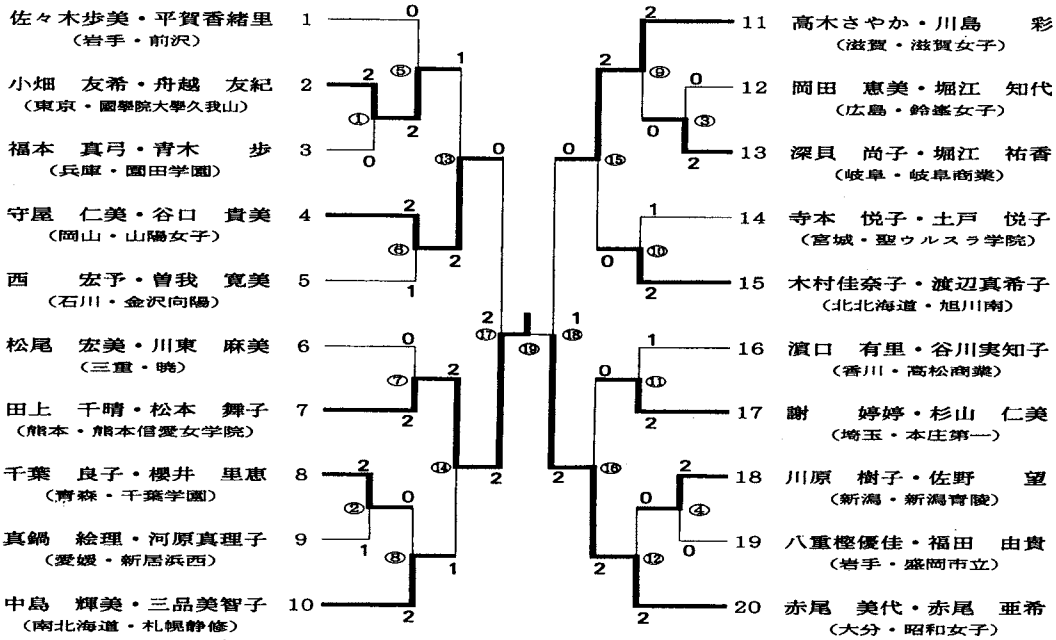
女子団体



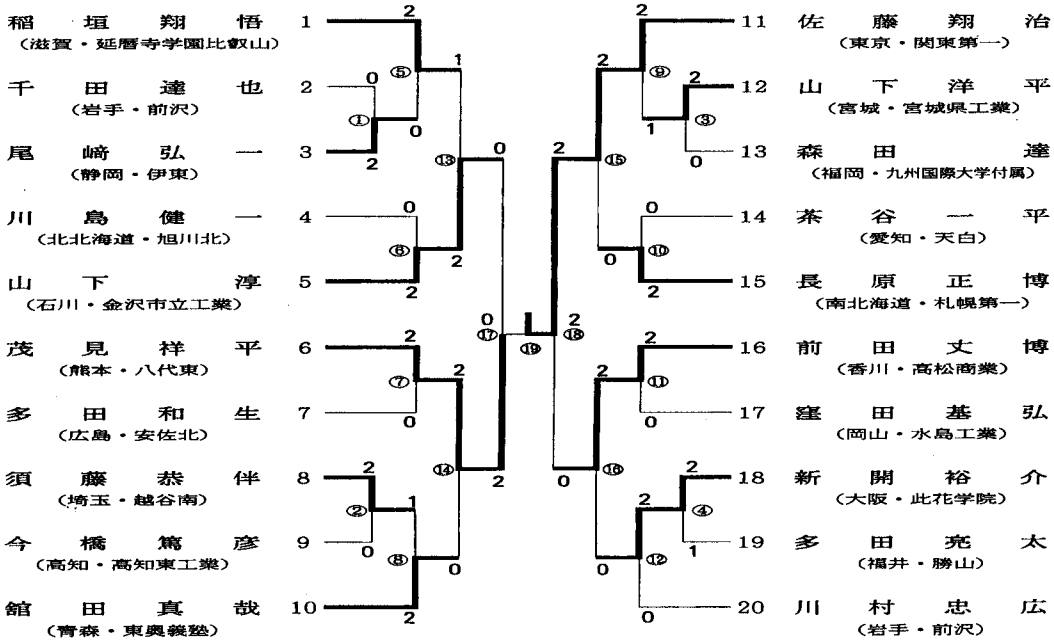
男子ダブルス



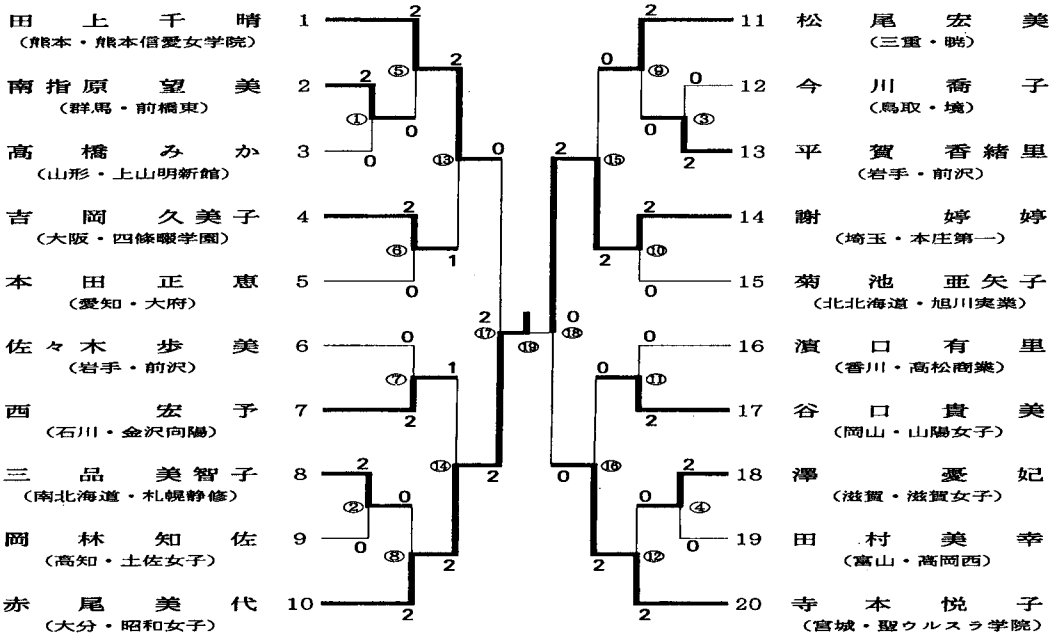
女子ダブルス



男子シングルス



女子シングルス



全国高等学校選抜バドミントン大会 栄光のあと

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第1回 1972年度 (昭和47年度) 栃木県真岡市 (真岡女子高等学校) 1973年 (昭和48年) 3月 日~3月 日	男子複		辰己 秀雄 杉本 重幸 (奈良市立一条・奈良)	西村 正美 梶川 博之 (富山商業・富山)	佐野 典昭 奥野 正 (伊勢工業・三重)	
	女子複		平井佐代子 詫間 洋子 (高瀬・香川)	山田美根子 野中ミチ子 (長崎商業・長崎)	平野美千代 瀬野 清美 (安孫子二階堂・千葉)	
	男子単		西村 正美 (富山商業・富山)	梶川 博之 (富山商業・富山)	辰己 秀雄 (奈良市立一条・奈良)	
	女子単		渡辺多喜子 (平商業・福島)	石田 尚子 (真岡女子・栃木)	日向野藤江 (真岡女子・栃木)	
第2回 1973年度 (昭和48年度) 東京都豊島区 巣鴨女子高等学校 1974年 (昭和49年) 3月23日~3月24日	男子複	9	塚本 良一 竹中 伸行 (奈良市立一条・奈良)	伊東 勝之 佐々木靖雄 (日大鶴ケ丘・東京)	黒沢 一夫 毛利 智成 (滑川・富山)	米山 孝二 柴田 正明 (日本大学山形・山形)
	女子複	9	関根 和子 大塚ソノ江 (新潟青陵・新潟)	植野恵美子 秋本美津子 (四條畷学園・大阪)	原田美智子 日原 禎子 (山陽女子・岡山)	徳久真理子 野口 泰枝 (巣鴨女子・東京)
	男子単	18	米山 孝二 (日本大学山形・山形)	菅 敏明 (瓊浦・長崎)	塚本 良一 (奈良市立一条・奈良)	黒沢 一夫 (滑川・富山)
	女子単	18	関根 和子 (新潟青陵・新潟)	原田美智子 (山陽女子・岡山)	沢内真由美 (新庄南・山形)	門脇ルリ子 (新庄南・山形)
第3回 1974年度 (昭和49年度) 東京都世田谷区駒沢 オリンピック公園体育館 1975年 (昭和50年) 3月21日~3月22日	男子団体	10	奈良	熊本	石川	岡山
	女子団体	10	大阪	香川	新潟	栃木
	男子複	10	峰 寛文 上原 明 (高松商業・香川)	水内 浩 西川 慎一 (金沢市立工業・石川)	吉岡 伸造 春井 善雄 (正強・奈良)	小山 敏男 井崎 典彦 (宇治山田・三重)
	女子複	10	植野恵美子 石川 好子 (四條畷学園・大阪)	水品真由美 中沢 淳 (新潟青陵・新潟)	水野 昌子 佐藤 弘子 (巣鴨女子・東京)	谷口 元美 野崎 知花 (宇治山田・三重)
	男子単	10	冨田 章夫 (正強・奈良)	牧野 裕 (金沢市立工業・石川)	多田 一美 (石岡第一・茨城)	平田 重男 (倉敷工業・岡山)
	女子単	10	北村寿弥子 (四條畷学園・大阪)	徳永 順子 (巣鴨女子・東京)	山沢 圭子 (真岡女子・栃木)	槇野いく子 (松阪・三重)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第4回 1975年度 (昭和50年度) 群馬県桐生市 桐生市民体育館 1976年 (昭和51年) 3月26日~3月27日	男子団体	10	香川	熊本	石川	三重
	女子団体	10	大阪	高知	青森	静岡
	男子複	10	小浜 充弘 諸多 博之 (奈良市立一条・奈良)	上原 明 平野 勝彦 (高松商業・香川)	山本 浩 早川 広志 (境港工業・鳥取)	森田 均 坂本 昌嗣 (金沢市立工業・石川)
	女子複	10	青木 恵子 藤井 良子 (新潟青陵・新潟)	山本 久美 松村 佐智 (土佐女子・高知)	河村 茂美 平 久美子 (四條畷学園・大阪)	小子内美智子 山下奈々子 (千葉学園・青森)
	男子単	10	宍戸 隆夫 (塩釜・宮城)	宮宇地 宏 (高松商業・香川)	上村 秀章 (九州学院・熊本)	西川 明夫 (七尾工業・石川)
	女子単	10	石川 好子 (四條畷学園・大阪)	森下 真紀 (山陽女子・岡山)	高野 和代 (新潟青陵・新潟)	真喜志俊子 (熊本信愛女学院・熊本)
第5回 1976年度 (昭和51年度) 福島県郡山市 郡山市総合体育館 1977年 (昭和52年) 3月20日~3月21日	男子団体	10	熊本	滋賀	青森	香川
	女子団体	10	大阪	青森	富山	高知
	男子複	10	野呂 裕紀 松月 昭 (伊勢工業・三重)	丹藤 勇一 楠美 誠悦 (東奥義塾・青森)	西山 博司 矢部 忠司 (比叡山・滋賀)	喜良 明文 川原 美信 (柳井工業・山口)
	女子複	10	河村 茂美 末兼 真弓 (四條畷学園・大阪)	野中 弘美 高松久仁子 (熊本中央女子・熊本)	葛西 明子 山下奈々子 (千葉学園・青森)	梶田 百枝 田辺 淑子 (山陽女子・岡山)
	男子単	10	上村 秀章 (九州学院・熊本)	保科 正浩 (比叡山・滋賀)	清水 弘幸 (金沢市立工業・石川)	中西 功 (高松第一・香川)
	女子単	10	平 久美子 (四條畷学園・大阪)	高峯 彰子 (熊本中央女子・熊本)	児玉 和美 (千葉学園・青森)	上林 雅子 (岩見沢東・北海道)
第6回 1977年度 (昭和52年度) 奈良県奈良市 奈良市中央体育館 1978年 (昭和53年) 3月26日~3月27日	男子団体	10	滋賀	奈良	栃木	熊本
	女子団体	10	大阪	熊本	高知	栃木
	男子複	10	須貝 英徳 五十嵐正弘 (日本大学山形・山形)	保科 正浩 横田 悟司 (比叡山・滋賀)	吉村 輝高 虎枝 寛哲 (奈良市立一条・奈良)	小野口 正 坂本 幸夫 (今市・栃木)
	女子複	10	北田スミ子 合川 裕子 (四條畷学園・大阪)	横田 悦代 佐藤 幸代 (奈良市立一条・奈良)	田村 圭香 寺田 文史 (土佐女子・高知)	上野加代子 高田 康子 (真岡女子・栃木)
	男子単	10	権藤 浩二 (九州学院・熊本)	高崎 裕一 (高岡第一・富山)	貴田 昌史 (正強・奈良)	安福 正 (四日市・三重)
	女子単	10	原口 恵子 (四條畷学園・大阪)	大庭かおる (釧路商業、定・北海道)	相良 裕美 (八代・熊本)	清藤 和 (土佐女子・高知)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第7回 1978年度 (昭和53年度) 東京都世田谷区駒沢 オリンピック公園体育館 1979年 (昭和54年) 3月23日~3月24日	男子団体	10	熊本	茨城	奈良	香川
	女子団体	10	大阪	埼玉	熊本	高知
	男子複	10	権藤 浩二 村上 英介 (九州学院・熊本)	岡野 佳浩 小西 太 (高松商業・香川)	貴田 昌史 古賀 勝志 (正強・奈良)	中鉢 義邦 松田 勝俊 (日本大学山形・山形)
	女子複	10	北田スミ子 冨田美千代 (四條畷学園・大阪)	川添 安代 高峯 和子 (熊本中央女子・熊本)	小路 和代 宮崎 洋子 (金城・石川)	服部久美子 葛西 智子 (越ケ谷・埼玉)
	男子単	10	井上 哲章 (熊本商科大学村・熊本)	山崎 夏樹 (日本大学鶴ケ丘・東京)	下村 和永 (足羽・福井)	松木 誠司 (高松商業・香川)
	女子単	10	植田日出子 (四條畷学園・大阪)	只野 晴美 (札幌静修・北海道)	久保中浩子 (八代白百合・熊本)	村松 早苗 (金沢向陽・石川)
第8回 1979年度 (昭和54年度) 栃木県真岡市 真岡市総合体育館 1980年 (昭和55年) 3月24日~3月25日	男子団体	10	今市(栃木)	横浜立野(神奈川)	九州学院(熊本)	高知商業(高知)
	女子団体	10	熊本中央女子(熊本)	高松中央(香川)	新潟青陵(新潟)	千葉学園(青森)
	男子複	10	大島 正志 大堀 円 (今市・栃木)	山本 裕幸 馬杉 武司 (比叡山・滋賀)	鈴木 洋史 阿部 浩志 (山形市立商業・山形)	青木 隆久 西江 均 (東岡山工業・岡山)
	女子複	10	高峯 和子 井村 由美 (熊本中央女子・熊本)	野上 満子 山内 美子 (新潟青陵・新潟)	松田 全代 新木 千織 (四條畷学園・大阪)	荒川 圭子 平間真由美 (小山城南・栃木)
	男子単	10	大島 正志 (今市・栃木)	山本 裕幸 (比叡山・滋賀)	井上 哲章 (熊本商科大学村・熊本)	井上 哲也 (足羽・福井)
	女子単	10	野上 満子 (新潟青陵・新潟)	陣内貴美子 (熊本中央女子・熊本)	平間真由美 (小山城南・栃木)	高島満里子 (高松西・香川)
第9回 1980年度 (昭和55年度) 滋賀県大津市 皇子が山公園体育館 1981年 (昭和56年) 3月28日~3月29日	男子団体	10	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川)	伊勢工業(三重)	奈良市立一条(奈良)
	女子団体	10	高岡女子(熊本)	四條畷学園(大阪)	熊本中央女子(熊本)	小山城南(栃木)
	男子複	10	松野 修二 宮 健次 (日川・山梨)	片岡 泰 辻田 泰昌 (比叡山・滋賀)	佐々木朝幸 葛西 孝輝 (東奥義塾・青森)	前田 忠則 斎藤 郁 (足羽・福井)
	女子複	10	山内 美子 石橋咲知子 (新潟青陵・新潟)	新木 千織 松田太嘉子 (四條畷学園・大阪)	井村 由美 高峯 尚子 (熊本中央女子・熊本)	平間真由美 猪瀬美津枝 (小山城南・栃木)
	男子単	10	松野 修二 (日川・山梨)	松浦 進二 (草津・滋賀)	村松 博 (金沢市立工業・石川)	伊東 幸男 (九州学院・熊本)
	女子単	10	平間真由美 (小山城南・栃木)	山内 佳子 (高松中央・香川)	竹原 桂子 (山陽女子・岡山)	小池かおり (千葉学園・青森)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	第4位
第10回 1981年度 (昭和56年度) 群馬県桐生市 桐生市民体育館 1982年 (昭和57年) 3月27日~3月28日	男子団体	16	比叡山(滋賀)	奈良市立一条(奈良)	桐生市立商業(群馬)	九州学院(熊本)
	女子団体	16	熊本中央女子(熊本)	四條畷学園(大阪)	滋賀女子(滋賀)	高松中央(香川)
	男子複	10	辻田 泰昌 杉本 吉男 (比叡山・滋賀)	斎藤 郁 海道 佳伸 (足羽・福井)	江原 均 横尾 宣幸 (石岡第一・茨城)	片桐 哲也 藤咲 勇一 (桐生市立商業・群馬)
	女子複	10	高峯 尚子 青木きよみ (熊本中央女子・熊本)	松田太嘉子 押切 美喜 (四條畷学園・大阪)	相馬由美子 野村 裕子 (弘前聖愛・青森)	大石 千秋 松本 洋子 (長沼・北海道)
	男子単	10	柳谷 辰哉 (弘前南・青森)	西川 勉 (比叡山・滋賀)	植野 真澄 (高松西・香川)	山尾 克則 (金沢市立工業・石川)
	女子単	10	森山 弘美 (熊本信愛女学院・熊本)	伏喜由美子 (高岡女子・富山)	永井 明美 (高松中央・香川)	中島 真美 (新島学園・群馬)
第11回 1982年度 (昭和57年度) 島根県松江市 松江市総合体育館 1983年 (昭和58年) 3月26日~3月27日	男子団体	16	比叡山(滋賀)	奈良市立一条(奈良)	九州学院(熊本)	金沢市立工業(石川)
	女子団体	16	熊本信愛女学院(熊本)	千葉学園(青森)	四條畷学園(大阪)	上尾(埼玉)
	男子複	10	川本 英明 林 謙一 (九州学院・熊本)	加藤 安史 長谷川典靖 (日本大学山形・山形)	沖 貞雄 高橋 和也 (柳井工業・山口)	宮 康二 千葉 明 (日川・山梨)
	女子複	10	鴻原 春美 新木 貴子 (四條畷学園・大阪)	原田真理恵 本田みどり (新潟青陵・新潟)	北本久美子 袴田かなみ (千葉学園・青森)	青木きよみ 田代 裕子 (熊本中央女子・熊本)
	男子単	10	見市 昌弘 (奈良市立一条・奈良)	宮 康二 (日川・山梨)	嶋田 隆志 (金沢市立工業・石川)	川本 英明 (九州学院・熊本)
	女子単	10	上村 美香 (熊本信愛女学院・熊本)	北本久美子 (千葉学園・青森)	岡田 由美 (金城・石川)	鴻原 春美 (四條畷学園・大阪)
第12回 1983年度 (昭和58年度) 栃木県足利市 足利市民体育館 1984年 (昭和59年) 3月24日~3月26日	男子団体	16	比叡山(滋賀)	小松原(埼玉)	東奥義塾(青森)	九州学院(熊本)
	女子団体	16	熊本信愛女学院(熊本)	上尾(埼玉)	千葉学園(青森)	四條畷学園(大阪)
	男子複	10	鶴田 直行 林 謙一 (九州学院・熊本)	松本 仁志 江藤 裕樹 (比叡山・滋賀)	角谷 淳一 寺崎 明 (札幌第一・北海道)	福田 和浩 石橋 隆 (小松原・埼玉)
	女子複	10	清水 尚美 田島 志乃 (熊本中央女子・熊本)	新木 貴子 今村 薫 (四條畷学園・大阪)	川端 加世 岡田 真澄 (金沢二水・石川)	徳光由美子 谷地 春子 (千葉学園・青森)
	男子単	10	江藤 裕樹 (比叡山・滋賀)	佐藤 輝行 (足羽・福井)	角谷 淳一 (札幌第一・北海道)	越後 久夫 (作新学院・栃木)
	女子単	10	新木 貴子 (四條畷学園・大阪)	今野 裕子 (上尾・埼玉)	徳光由美子 (千葉学園・青森)	堀 正枝 (金沢二水・石川)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	
第13回 1984年度 (昭和59年度) 石川県金沢市 石川県体育館 1985年 (昭和60年) 3月29日~3月31日	男子団体	16	小松原(埼玉)	金沢市立工業(石川)	比叡山(滋賀)	柳井工業(山口)
	女子団体	16	熊本中央女子(熊本)	新潟青陵(新潟)	小山城南(栃木)	千葉学園(青森)
	男子複	10	中川 守 西島 弘幸 (金沢市立工業・石川)	気谷 篤人 山本 明彦 (金沢市立工業・石川)	生井沢勝美 立本 敬人 (上尾・埼玉)	岡田 政朗 稲田 滋訓 (東海・愛知)
	女子複	10	田島 志乃 田代美智代 (熊本中央女子・熊本)	西田美智子 横手智恵美 (千葉学園・青森)	関 富子 古宇田八重子 (小山城南・栃木)	佐々木道子 六郷 由香 (愛知淑徳・愛知)
	男子単	10	生井沢勝美 (上尾・埼玉)	佐藤 輝行 (足羽・福井)	住吉 勇人 (伊東商業・静岡)	濱北 和彦 (熊本商科大学付・熊本)
	女子単	10	田島 志乃 (熊本中央女子・熊本)	西田美和子 (千葉学園・青森)	一木千代乃 (金城・石川)	佐々木道子 (愛知淑徳・愛知)
第14回 1985年度 (昭和60年度) 沖縄県那覇市 奥武山体育館 1986年 (昭和61年) 3月26日~3月28日	男子団体	16	上尾(埼玉)	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川)	熊本商科大学付属(熊本)
	女子団体	16	八幡大学付属(福岡)	上尾(埼玉)	熊本信愛女学院(熊本)	常総学院(茨城)
	男子複	10	中川 敏治 町田 文彦 (上尾・埼玉)	藤島 誠孝 石田 満 (金沢市立工業・石川)	大谷 誠二 岸尾 浩行 (奈良市立一条・奈良)	小本 義久 中村 伸哉 (九州学院・熊本)
	女子複	10	松尾 知美 毛利 千秋 (熊本信愛女学院・熊本)	松本 啓子 小松崎美恵 (常総学院・茨城)	大村 和代 長井 麻紀 (夙川学院・兵庫)	平間 由紀 乳井 智秋 (千葉学園・青森)
	男子単	10	町田 文彦 (上尾・埼玉)	山口 哲浩 (比叡山・滋賀)	諏訪 隆博 (勝山・福井)	小本 義久 (九州学院・熊本)
	女子単	10	捧 匡子 (新潟青陵・新潟)	利川 貴子 (四條畷学園・大阪)	秋元美佐緒 (上尾・埼玉)	田村富士美 (八幡大学付属・福岡)
第15回 1986年度 (昭和61年度) 北海道帯広市 帯広市総合体育館 帯広の森体育館 1987年 (昭和62年) 3月26日~3月28日	男子団体	20	比叡山(滋賀)	熊本商科大学付属(熊本)	日川(山梨)	上尾(埼玉)
	女子団体	20	四條畷学園(大阪)	熊本中央女子(熊本)	小山城南(栃木)	高岡女子(富山)
	男子複	20	石井 隆 関根 英勝 (越谷南・埼玉)	斎藤 佳晴 佐賀 史昭 (作新学院・栃木)	本山 秀昭 安本 恭宏 (熊本商科大学付・熊本)	鈴木草麻生 中橋 一晃 (比叡山・滋賀)
	女子複	20	中原 敬子 甲斐 美和 (熊本中央女子・熊本)	秋川 貴子 岩田 良子 (四條畷学園・大阪)	鬼沢 絹代 塚沢 昌子 (常総学院・茨城)	捧 匡子 高橋 朱美 (新潟青陵・新潟)
	男子単	20	鈴木草麻生 (比叡山・滋賀)	本山 秀昭 (熊本商科大学付・熊本)	渡辺 清一 (花北商業・岩手)	佐賀 史昭 (作新学院・栃木)
	女子単	20	乳井 智秋 (千葉学園・青森)	捧 匡子 (新潟青陵・新潟)	利川 貴子 (四條畷学園・大阪)	磯崎 京美 (昭和女子・大分)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位
第16回 1987年度 (昭和62年度) 兵庫県宝塚市 宝塚市立スポーツセンター体育館 三和銀行 逆瀬川体育館 1988年 (昭和63年) 3月24日~3月27日	男子団体	20	上尾(埼玉)	金沢市立工業(石川)	札幌第一(北海道)　常総学院(茨城)
	女子団体	20	熊本中央女子(熊本)	四條畷学園(大阪)	常総学院(茨城)　千葉学園(青森)
	男子複	19	大谷 知昌 内村 剛 (上尾・埼玉)	藤本 謙治 村井 秀樹 (札幌第一・北海道)	平井 肇　高村 誠也 福知 俊治　境 恵司 (比叡山・滋賀)　(熊本商科大学付・熊本)
	女子複	19	中原 敬子 甲斐 美和 (熊本中央女子・熊本)	新木美志子 岩田 良子 (四條畷学園・大阪)	吉田 悦子　物井あゆみ 小泉 友紀　沼口 慶子 (園田学園・兵庫)　(常総学院・茨城)
	男子単	19	須賀 隆弘 (上尾・埼玉)	桜井 敬大 (滝川工業・北海道)	工藤 忠和　塩谷 真樹 (札幌第一・北海道)　(金沢市立工業・石川)
	女子単	19	宮村 愛子 (熊本中央女子・熊本)	水井妃佐子 (四條畷学園・大阪)	仲山 美奈　赤尾 香 (小山城南・栃木)　(昭和女子・大分)
第17回 1988年度 (昭和63年度) 栃木県宇都宮市 栃木県体育館 1989年 (平成元年) 3月25日~3月28日	男子団体	21	熊本商科大学付属(熊本)	札幌第一(北海道)	比叡山(滋賀)　常総学院(茨城)
	女子団体	22	熊本中央女子(熊本)	四條畷学園(大阪)	埼玉栄(埼玉)　佐賀女子(佐賀)
	男子複	20	片山 卓哉 久保田雄三 (遠谷南・埼玉)	佐藤 嘉伸 郷路 一郎 (札幌第一・北海道)	田上 厚志　藤島 浩司 本田 和裕　紺谷 幸一 (熊本商科大学付・熊本)　(金沢市立工業・石川)
	女子複	20	宮村 愛子 松田 治子 (熊本中央女子・熊本)	坂田 美佐 水井妃佐子 (四條畷学園・大阪)	阿由葉純代　蝦名 美輪 加藤 美香　溝江 圭美 (前橋東・群馬)　(千葉学園・青森)
	男子単	20	磯部 和弘 (常総学院・茨城)	霜上 和宏 (熊本商科大学付・熊本)	金城 勉　小河原 崇 (糸満・沖縄)　(比叡山・滋賀)
	女子単	20	宮村 愛子 (熊本中央女子・熊本)	水井妃佐子 (四條畷学園・大阪)	小泉 友紀　和田 幸子 (園田学園・兵庫)　(小山城南・栃木)
第18回 1989年度 (平成元年度) 東京都葛飾区 総合スポーツセンター 1990年 (平成2年) 3月26日~3月29日	男子団体	20	熊本商科大学付属(熊本)	常総学院(茨城)	比叡山(滋賀)　千葉敬愛(千葉)
	女子団体	21	熊本信愛女学院(熊本)	埼玉栄(埼玉)	常総学院(茨城)　佐賀女子(佐賀)
	男子複	20	大多 晴久 石本 明男 (金沢市立工業・石川)	蓑 浩之 山形 誠 (関東第一・東京)	林 貴昭　本田 和裕 町田 征央　岡部 英朗 (瓊浦・長崎)　(熊本商科大学付・熊本)
	女子複	20	渡邊真由美 阪本 雅子 (熊本信愛女学院・熊本)	篠原 久子 寺尾 美紀 (佐賀女子・佐賀)	小吹 夏子　西田実友貴 堤 眞由美　下川 英里 (常総学院・茨城)　(比叡山・滋賀)
	男子単	20	本田 和裕 (熊本商科大学付・熊本)	棟居 秀行 (柳井工業・山口)	中野 圭昌　岸田 明宏 (勝山・福井)　(比花学院・大阪)
	女子単	20	井田 貴子 (埼玉栄・埼玉)	松田 洋子 (四條畷学園・大阪)	阪本 雅子　青木美代子 (熊本信愛女学院・熊本)　(佐屋・愛知)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第3位	
第19回 1990年度 (平成2年度) 富山県高岡市 高岡市民体育館 高岡商業高等学校 1991年 (平成3年) 3月24日~3月27日	男子団体	21	常総学院(茨城)	金沢二水(石川)	関東第一(東京)	上尾(埼玉)
	女子団体	22	常総学院(茨城)	聖ウルスラ学院(宮城)	淑徳巣鴨(東京)	熊本中央女子(熊本)
	男子複	20	福田 茂 片岡 直茂 (芦北・熊本)	水沢 直哉 福田 光伸 (札幌第一・北海道)	星 拓磨 米田 和典 (旭川工業・北海道)	太田 慎二 石橋 秀法 (千葉敬愛・千葉)
	女子複	20	河口奈緒美 酒井美智子 (富山商業・富山)	橋本 淳子 山田 裕美 (聖ウルスラ学院・宮城)	佐藤 純子 川崎由紀子 (常総学院・茨城)	下村 絵里 梅沢 千春 (藤園女子・富山)
	男子単	20	片岡 直茂 (芦北・熊本)	平間 章雄 (前橋東・群馬)	石本 明男 (金沢市立工業・石川)	水沢 直哉 (札幌第一・北海道)
	女子単	20	河口奈緒美 (富山商業・富山)	佐藤 純子 (常総学院・茨城)	宮村亜貴子 (熊本中央女子・熊本)	松田 洋子 (四條畷学園・大阪)
第20回 1991年度 (平成3年度) 栃木県宇都宮市 栃木県体育館 宇都宮市体育館 宇都宮市清原体育館 1992年 (平成4年) 3月25日~3月28日	男子団体	49	芦北(熊本)	関東第一(東京)	札幌第一(北海道)	大阪桐蔭(大阪)
	女子団体	49	常総学院(茨城)	聖ウルスラ学院(宮城)	金沢向陽(石川)	熊本信愛女学院(熊本)
	男子複		20回記念大会の為、個人戦は実施せず			
	女子複					
	男子単					
	女子単					
第21回 1992年度 (平成4年度) 新潟県新潟市 新潟市体育館 鳥屋野総合体育館 1993年 (平成5年) 3月24日~3月27日	男子団体	21	常総学院(茨城)	高松商業(香川)	関東第一(東京)	越谷南(埼玉)
	女子団体	22	四條畷学園(大阪)	熊本信愛女学院(熊本)	常総学院(茨城)	聖ウルスラ学院(宮城)
	男子複	20	樋渡 順也 矢部 正博 (常総学院・茨城)	井野 嘉久 一宮 孝一 (札幌第一・北海道)	宇野 政弘 横井 弘招 (尽誠学園・香川)	金田 真一 稲見 英哲 (宇都宮工業・栃木)
	女子複	20	増茂 孝枝 中山智香子 (旭川実業・北海道)	水井 泰子 川口 桐香 (四條畷学園・大阪)	吉冨 桂子 岩本麻衣子 (精華女子・福岡)	貴田 泉 庄子 絵美 (聖ウルスラ学院・宮城)
	男子単	20	吉川 大助 (高松商業・香川)	草井 篤 (瀬戸南・岡山)	三浦 公雄 (県立岐阜商業・岐阜)	一宮 孝一 (札幌第一・北海道)
	女子単	20	水井 泰子 (四條畷学園・大阪)	中山智香子 (旭川実業・北海道)	松王峰代子 (山陽女子・岡山)	貴田 泉 (聖ウルスラ学院・宮城)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第３位
第２２回 1993年度 (平成５年度) 愛知県大府市 大府市民体育館 1994年 (平成６年) 3月24日~3月27日	男子団体	21	常総学院(茨城)	比叡山(滋賀)	宇都宮南(栃木)　上尾(埼玉)
	女子団体	22	聖ウルスラ学院(宮城)	常総学院(茨城)	九州国際大学付属(福岡)　四天王寺(大阪)
	男子複	20	酒井　将之 中島　篤 (近江兄弟社・滋賀)	宮本　和宏 松嘉　勇輔 (不二越工業・富山)	下鳥　洋樹　小澤　旭 高嶋　進　秋山　龍修 (常総学院・茨城)　(九州共立大学八幡・福岡)
	女子複	20	武富いず美 田中　美保 (佐賀女子・佐賀)	三個　良子 加藤真知子 (富山商業・富山)	渡辺こず絵　佐々木由美 中　麻依子　木村　美和 (前橋東・群馬)　(比叡山・滋賀)
	男子単	20	酒井　将之 (近江兄弟社・滋賀)	山田　英孝 (上尾・埼玉)	神谷　仁士　秋山　龍修 (高岡工芸・富山)　(九州共立大学八幡・福岡)
	女子単	20	山田　潤子 (高岡女子・富山)	田中　美保 (佐賀女子・佐賀)	吉武由加里　市橋　美紀 (九州国際大学付属・福岡)　(四條畷学園・大阪)
第２３回 1994年度 (平成６年度) 埼玉県上尾市 上尾運動公園体育館 1995年 (平成７年) 3月25日~3月28日	男子団体	20	常総学院(茨城)	比叡山(滋賀)	金沢市立工業(石川)　八代東(熊本)
	女子団体	21	金沢向陽(石川)	高岡女子(富山)	精華女子(福岡)　埼玉栄(埼玉)
	男子複	20	平山　卓哉 福島　毅之 (関東第一・東京)	中村　憲尚 増田　敏雄 (上尾・埼玉)	青木　孝徳　徳坂　渉 山田　浩史　舛田　圭太 (常総学院・茨城)　(金沢市立工業・石川)
	女子複	20	山崎　雅美 梶原　景子 (昭和女子・大分)	吉冨　明子 大石　瞳 (精華女子・福岡)	渡辺　夕子　標　千春 斎藤　和美　本田　恵 (日本橋女学館・東京)　(千葉学園・青森)
	男子単	20	松本　徹 (比叡山・滋賀)	中村　憲尚 (上尾・埼玉)	青木　孝徳　馬木　智一 (常総学院・茨城)　(札幌第一・北海道)
	女子単	20	山田　潤子 (高岡女子・富山)	大坂　千尋 (常総学院・茨城)	井川　里美　岩松絵理子 (埼玉栄・埼玉)　(旭川実業・北海道)
第２４回 1995年度 (平成７年度) 北海道札幌市 北海道立札幌中島体育 センター別館 1996年 (平成８年) 3月24日~3月27日	男子団体	20	常総学院(茨城)	札幌第一(北海道)	八代東(熊本)　上尾(埼玉)
	女子団体	21	熊本信愛女学院(熊本)	札幌静修(北海道)	旭川実業(北海道)　精華女子(福岡)
	男子複	19	尾形　悟史 藤田　真人 (常総学院・茨城)	川口　馨士 杉島　学 (比叡山・滋賀)	佐藤　祐亮　沈　逸文 三上　裕司　竹俣　洋平 (札幌第一・北海道)　(尚志・福島)
	女子複	19	杉浦　美幸 永峰　弘子 (熊本信愛女学院・熊本)	井川　里美 岩脇　史 (埼玉栄・埼玉)	伴　宏美　堀　哲子 二瓶志津香　奥村亜紀代 (札幌静修・北海道)　(金沢向陽・石川)
	男子単	19	沈　逸文 (尚志・福島)	舛田　圭太 (金沢市立工業・石川)	大束　忠司　川口　馨士 (八代東・熊本)　(比叡山・滋賀)
	女子単	19	三宅　直子 (大分女子・大分)	森　かおり (九州国際大学付属・福岡)	堀　哲子　張　薇薇 (金沢向陽・石川)　(尚志・福島)

回数 年度 開催地	種目	数	優勝	準優勝	第３位	
第２５回 1996年度 (平成８年度) 京都府長岡京市 長岡京記念文化会館 西山公園体育館 向日市民体育館 大山崎町体育館 1997年 (平成９年) 3月25日~3月28日	男子団体	49	上尾(埼玉)	八代東(熊本)	常総学院(茨城)	金沢市立工業(石川)
	女子団体	49	埼玉栄(埼玉)	熊本中央女子(熊本)	九州国際大学付属(福岡)	日本橋女学館(東京)
	男子複		２５回記念大会の為、個人戦は実施せず			
	女子複					
	男子単					
	女子単					
第２６回 1997年度 (平成９年度) 東京都世田谷区駒沢 オリンピック公園体育館 オリンピック屋内体育館 1998年 (平成10年) 3月21日~3月24日	男子団体	20	八代東(熊本)	九州国際大学付属(福岡)	金沢市立工業(石川)	比叡山(滋賀)
	女子団体	21	精華女子(福岡)	日本橋女学館(東京)	金沢向陽(石川)	高岡西(富山)
	男子複	20	大束　真也 中村　寿史 (八代東・熊本)	桜井　勝仁 芦田　寛 (北越・新潟)	安徳　和哉 二宮　和敬 (高松商業・香川)	梅本　修平 松本　紘二 (比叡山・滋賀)
	女子複	20	末綱　聡子 赤尾　美代 (昭和女子・大分)	中内　景子 奥村　加恵 (九州国際大学付・福岡)	向　恵子 田島　史子 (近江兄弟社・滋賀)	黒川加奈子 戸城　千明 (香川中央・香川)
	男子単	20	平山　正史 (上尾・埼玉)	三上　紘由 (宮城県工業・宮城)	大束　真也 (八代東・熊本)	池田信太郎 (九州国際大学付・福岡)
	女子単	20	安城　美華 (四天王寺・大阪)	松尾美穂子 (九州国際大学付・福岡)	田上　千晴 (熊本信愛女学院・熊本)	寺本　悦子 (聖ウルスラ学院・宮城)
第２７回 1998年度 (平成10年度) 岩手県岩手郡滝沢村 滝沢村総合公園体育館 1999年 (平成11年) 3月26日~3月29日	男子団体	21	関東第一(東京)	八代東(熊本)	札幌第一(北海道)	比叡山(滋賀)
	女子団体	22	熊本信愛女学院(熊本)	九州国際大学付属(福岡)	金沢向陽(石川)	埼玉栄(埼玉)
	男子複	20	稲垣　翔悟 谷口　斉 (比叡山・滋賀)	垣内　大輔 岡野　史裕 (作新学院・栃木)	茂見　祥平 山隈　芳章 (八代東・熊本)	山下　淳 廣瀬　雅士 (金沢市立工業・石川)
	女子複	20	田上　千晴 松本　舞子 (熊本信愛女学院・熊本)	赤尾　美代 赤尾　亜希 (昭和女子・大分)	守屋　仁美 谷口　貴美 (山陽女子・岡山)	高木さやか 川島　彩 (滋賀女子・滋賀)
	男子単	20	佐藤　翔治 (関東第一・東京)	茂見　祥平 (八代東・熊本)	山下　淳 (金沢市立工業・石川)	前田　丈博 (高松商業・香川)
	女子単	20	赤尾　美代 (昭和女子・大分)	謝　婷婷 (本庄第一・埼玉)	田上　千晴 (熊本信愛女学院・熊本)	寺本　悦子 (聖ウルスラ学院・宮城)

全国高等学校選抜大会 都道府県対抗・学校対抗出場校一覧

昭和○○・平成○○は優勝年度

【都道府県対抗昭和50年度(第3回)~昭和55年度(第7回)】
【学校対抗昭和56年度(第8回)~　　】

北海道　男子　都道府県対抗【5回】(昭50 昭51 昭52 昭53 昭54)
　　女子　都道府県対抗【5回】(昭50 昭51 昭52 昭53 昭54)

1．北北海道男子
【11回】旭川工業(昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平7 平8 平9 平10)
【2回】　帯広緑陽(昭59 昭61)
【1回】　帯広柏葉(昭54)滝川(昭56)滝川工業(昭61)旭川実業(平6)

2．北北海道女子
【8回】　旭川実業(平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【4回】　帯広大谷(昭57 昭61 平1 平2)
【2回】　砂川南(昭54 昭55)
【1回】　旭川凌雲(昭61)釧路星陵(昭62)旭川商業(昭63)

3．南北海道男子
【17回】札幌第一(昭55 昭57 昭58 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【1回】　札幌新川(平7)

4．南北海道女子
【14回】札幌静修(昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【2回】　北星学園女子(昭58 昭59)
【1回】　長沼(昭56)とわの森三愛(平7)

東北

5．青森男子　都道府県対抗【1回】(昭52)
【10回】東奥義塾(昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 平3 平4 平8 平9)
【3回】　弘前工業(昭62 昭63 平7)
【1回】　弘前実業(昭55)

6．青森女子　都道府県対抗【3回】(昭50 昭51 昭53)
【1·6回】千葉学園(昭54 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平5 平6 平8 平9 平10)
【4回】　弘前学院聖愛(昭55 昭56 平4 平7))

7．岩手男子　都道府県対抗【0回】
【3回】　前沢(平3 平8 平10)
【1回】　盛岡大学附属(平10)

8．岩手女子　都道府県対抗【0回】
【3回】　盛岡市立(平3 平7 平10)
【1回】　前沢(平10)

9．宮城男子　都道府県対抗【1回】(昭50)
【12回】宮城県工業(昭57 昭58 昭61 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平10)

１０．宮城女子　都道府県対抗【０回】
　【１６回】聖ウルスラ学院(昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 **平5** 平6 平7 平8 平9 平10)
　【１回】　角田女子(昭57)

１１．秋田男子　都道府県対抗【０回】
　【１回】　横手工業(昭59)秋田経法大附属【秋田短大付属・秋田経大付属】(平3)国学館【敬愛学園】(平8)

１２．秋田女子　都道府県対抗【０回】
　【１回】　能代西【能代農業】(平3)新屋(平8)

１３．山形男子　都道府県対抗【３回】(昭49 昭52 昭53)
　【９回】　日大山形(昭54 昭56 昭60 昭62 昭63 平1 平2 平3 平8)
　【１回】　鶴岡工業(平10)

１４．山形女子　都道府県対抗【１回】(昭52)
　【１回】　山形城北女子(昭56)新庄南(平3)米沢工業(平8)

１５．福島男子　都道府県対抗【１回】(昭51)
　【４回】　会津工業(平3 平6 平8 平9)
　【１回】　帝京安積(平5)

１６．福島女子　都道府県対抗【２回】(昭49 昭51)
　【１回】　若松女子(平3)尚志(平8)

関東
１７．茨城男子　都道府県対抗【２回】(昭49 昭53)
　【１２回】常総学院(昭60 昭62 昭63 平1 **平2** 平3 **平4 平5 平6 平7** 平8 平10)
　【１回】　石岡第一(昭59)

１８．茨城女子　都道府県対抗【０回】
　【１３回】常総学院(昭60 昭61 昭62 昭63 平1 **平2 平3** 平4 平5 平6 平7 平9 平10)
　【１回】　土浦第三(平8)

１９．栃木男子　都道府県対抗【１回】(昭52)
　【５回】　作新学院(昭58 昭61 昭63 平8 平9)
　【３回】　宇都宮南(平3 平5 平6)
　【２回】　宇都宮工業(昭63 平3)
　【１回】　今市(**昭54**)

２０．栃木女子　都道府県対抗【３回】(昭49 昭51 昭52)
　【１０回】小山城南(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭61 昭63 平3 平6)
　【３回】　宇都宮南(平3 平7 平8)
　【１回】　真岡女子(昭63)

２１．群馬男子　都道府県対抗【１回】(昭50)
　【６回】　前橋東(昭63 平3 平4 平7 平8 平9)
　【２回】　桐生市立商業(昭56 昭62)

２２．群馬女子　都道府県対抗【１回】(昭50)
　【８回】　前橋東(昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平8 平10)
　【１回】　新島学園(昭56)前橋東商業(昭56)

２３．埼玉男子　都道府県対抗【１回】(昭51)
【１２回】上尾(昭56 **昭60** 昭61 **昭62** 平1 平2 平3 平5 平6 平7 **平8** 平9)
【５回】　越谷南(昭56 昭63 平4 平6 平10)
【３回】　小松原(昭57 昭58 **昭59**)

２４．埼玉女子　都道府県対抗【１回】(昭53)
【１１回】埼玉栄(昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 **平8** 平9 平10)
【５回】　上尾(昭57 昭58 昭60 昭61 昭62)
【１回】　越谷南(平6)

２５．千葉男子　都道府県対抗【０回】
【５回】　千葉敬愛(平1 平2 平3 平8 平10)

２６．千葉女子　都道府県対抗【０回】
【２回】　東葉【船橋学園女子】(平8 平9)
【１回】　中央学院(平3)

２７．東京男子　都道府県対抗【２回】(昭49 昭53)
【１０回】関東第一(平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 **平10**)
【３回】　日本大学鶴ケ丘(昭62 昭63 平1)
【１回】　桐朋(昭61)淑徳巣鴨【巣鴨女子】(平9)

２８．東京女子　都道府県対抗【３回】(昭49 昭50 昭53)
【５回】　淑徳巣鴨【巣鴨女子】(平1 平2 平3 平4 平7)
　　日本橋女学館(平5 平6 平8 平9 平10)
【３回】　日本大学鶴ケ丘(昭58 昭59 昭61)
【２回】　桜華女学院【日体桜華女子】(昭62 平1)
【１回】　文化女子大学杉並 昭63)國学院久我山(平10)

２９．神奈川男子　都道府県対抗【１回】(昭50)
【５回】　日本大学(昭61 昭62 昭63 平2 平3)
　　川崎総合科学【川崎市立工業】(平1 平4 平6 平7 平8)
【２回】　横浜(平9 平10)
【１回】　横浜立野(昭54)法政大学第二(平5)

３０．神奈川女子　都道府県対抗【０回】
【５回】　北鎌倉女子学園(平1 平3 平4 平6 平7)
【３回】　富士見丘(昭61 昭62 昭63)
【２回】　柏陽(平8 平10)
【１回】　横浜立野(昭54)厚木東(平2)鶴見女子(平5)弥栄西(平9)

３１．山梨男子　都道府県対抗【０回】
【５回】　日川(昭55 昭57 昭58 昭61 平8)
【１回】　市立甲府商業(平3)

３２．山梨女子　都道府県対抗【０回】
【１回】　山梨(昭62)増穂商業(平3)市立甲府商業(平8)

北信越
３３．新潟男子　都道府県対抗【０回】
【５回】　北越【北越商業】(昭59 平3 平4 平8 平9)
【１回】　燕(昭56)加茂暁星(平4)

３４．新潟女子　都道府県対抗【２回】(昭49 昭50)
【１３回】新潟青陵【新潟女子工芸】(昭54 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平8)
【１回】　新潟商業(平4)

３５．富山男子　都道府県対抗【１回】(昭52)
【５回】　高岡工芸(昭61 昭63 平1 平2 平3)
　　高岡第一(昭54 平2 平7 平8 平10)
【３回】　富山商業(昭57 平5 平6)
【１回】　高岡商業(昭60)不二越工業(昭62)

３６．富山女子　都道府県対抗【２回】(昭51 昭52)
【１１回】高岡西【高岡女子】(**昭55** 昭59 昭60 昭61 平3 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【２回】　富山商業(平2 平4)
【１回】　藤園女子(平2)

３７．石川男子　都道府県対抗【３回】(昭49 昭50 昭51)
【１５回】金沢市立工業(昭55 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
【１回】　金沢二水(平2)

３８．石川女子　都道府県対抗【１回】(昭53)
【１０回】金沢向陽(昭62 平1 平2 平3 平5 **平6** 平7 平8 平9 平10)
【３回】　金城(昭56 昭57 昭59)金沢二水(昭56 昭58 平4)

３９．福井男子　都道府県対抗【１回】(昭53)
【６回】　勝山(昭59 昭63 平1 平2 平3 平8)
【２回】　足羽(昭56 昭58)

４０．福井女子　都道府県対抗【０回】
【３回】　足羽(昭63 平3 平8)

４１．長野男子　都道府県対抗【０回】
【２回】　中野実業(平3 平4)
【１回】　須坂(平8)

４２．長野女子　都道府県対抗【０回】
【２回】　長野商業(平3 平8)

東海

４３．岐阜男子　都道府県対抗【１回】(昭53)
【９回】　県立岐阜商業(昭63 平1 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9)

４４．岐阜女子　都道府県対抗【１回】(昭52)
【６回】　県立岐阜商業(昭62 昭63 平3 平5 平6 平8)
【２回】　岐阜女子商業(昭55 昭60)

４５．静岡男子　都道府県対抗【０回】
【４回】　伊東商業(昭59 昭61 昭62 平2)
【３回】　伊東(昭56 昭58 昭60)
【２回】　沼津学園(平3 平7)
【１回】　星陵(平8)

４６．静岡女子　都道府県対抗【２回】(昭50 昭51)
【４回】　富士宮東(昭61 平1 平3 平7)
【１回】　吉原(昭59)静岡女子(平8)

４７．愛知男子　都道府県対抗【０回】
【７回】　岡崎城西(昭62 昭63 平2 平3 平5 平8 平10)
【３回】　東海(昭57 昭59 平5)
【１回】　愛知工大名電【名古屋電気工業】(昭58)大府東(昭60)

４８．愛知女子　都道府県対抗【１回】(昭53)
【１４回】愛知淑徳(昭54 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭63 平1 平4 平5 平6 平7 平8)
【２回】　市邨学園(昭62 平3)佐屋(平2 平5)大府(平9 平10)

４９．三重男子　都道府県対抗【４回】(昭49 昭50 昭51 昭52)
【８回】　伊勢工業(昭54 昭55 昭56 昭57 昭61 平3 平4 平5)
【４回】　暁(平6 平8 平9 平10)
【１回】　鳥羽(平1)

５０．三重女子　都道府県対抗【１回】(昭49)
【６回】　暁(平2 平4 平5 平8 平9 平10)
【３回】　松阪(昭56 昭57 平3)
【１回】　鳥羽(昭58)

近畿
５１．滋賀男子　都道府県対抗【２回】(昭51 **昭52**)
【１９回】比叡山(昭54 **昭55 昭56 昭57 昭58** 昭59 昭60 **昭61** 昭62 昭63 平1 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)

５２．滋賀女子　都道府県対抗【０回】
【７回】　比叡山(昭55 昭59 昭61 昭62 昭63 平1 平5)
　　滋賀女子(昭56 平3 平6 平7 平8 平9 平10)

５３．京都男子　都道府県対抗【０回】
【２回】　西乙訓(平3 平8)
【１回】　京都両洋(平8)

５４．京都女子　都道府県対抗【０回】
【２回】　成安女子(昭62 平3)
【１回】　西乙訓(平8)西山(平8)

５５．大阪男子　都道府県対抗【１回】(昭50)
【４回】　柏原(昭60 昭62 平2 平10)
【２回】　此花学院(平1 平4)大阪学芸【成器】(平7 平8)
【１回】　大阪桐蔭(平3)

５６．大阪女子　都道府県対抗【５回】(**昭49 昭50 昭51 昭52 昭53**)
【１３回】四條畷学園(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 **昭61** 昭62 昭63 平1 平2 平3 **平4** 平7)
【５回】　四天王寺(平5 平6 平8 平9 平10)

５７．兵庫男子　都道府県対抗【０回】
【２回】　三田学園(昭59 平3)
【１回】　市立尼崎(昭62)加古川東(平8)

５８．兵庫女子　都道府県対抗【１回】(昭53)
　【７回】　園田学園(昭57 昭58 昭59 昭62 昭63 平7 平8)
　【５回】　夙川学院(昭60 平1 平2 平3 平4)

５９．奈良男子　都道府県対抗【４回】(昭49 昭50 昭52 昭53)
　【９回】　奈良一条(昭55 昭56 昭57 昭58 昭61 平2 平3 平5 平6)
　【２回】　添上(平8 平9)
　【１回】　奈良大学付属【正強】(昭63)

６０．奈良女子　都道府県対抗【１回】(昭52)
　【８回】　奈良一条(昭60 平2 平3 平5 平6 平8 平9 平10)
　【１回】　高田商業(平4)

６１．和歌山男子　都道府県対抗【０回】
　【１回】　新宮商業(平3)那賀(平8)

６２．和歌山女子　都道府県対抗【０回】
　【１回】　那賀(平3)新宮(平8)

中国

６３．鳥取男子　都道府県対抗【２回】(昭50 昭52)
　【２回】　境港工業(昭55 昭56)米子東(平3 平8)

６４．鳥取女子　都道府県対抗【０回】
　【１回】　米子西(平3)境(平8)

６５．島根男子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　大東(昭57 平6)
　【１回】　松江北(平3)松江西(平8)

６６．島根女子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　大東(平3 平8)
　【１回】　松江商業(昭57)

６７．岡山男子　都道府県対抗【１回】(昭49)
　【２回】　倉敷工業【倉敷老松】(平5 平7)水島工業(平8平10)
　【１回】　倉敷天城(昭54)西大寺(昭58)瀬戸南(平3)

６８．岡山女子　都道府県対抗【２５】(昭49 昭50 昭51 昭52 昭53)
　【１５回】山陽女子(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 平2 平3 平4 平5 平6 平9 平10)
　【２回】　倉敷翠松(昭63 平8)

６９．広島男子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　安佐北(平8 平9)
　【１回】　広島城北(平3)

７０．広島女子　都道府県対抗【０回】
　【５回】　鈴峯女子(昭62 平1 平3 平7 平8)

７１．山口男子　都道府県対抗【１回】(昭51)
　【９回】　柳井工業(昭57 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3)
　【１回】　下関中央工業(平4)野田学園(平8)

７２．山口女子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　山口中央(平3 平8)

四国

７３．徳島男子　都道府県対抗【１回】(昭52)
　【１回】　日和佐(平3)城東(平8)

７４．徳島女子　都道府県対抗【０回】
　【３回】　城東(平3 平8)

７５．香川男子　都道府県対抗【４回】(昭49 昭50 昭51 昭53)
　【１５回】高松商業(昭55 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10)
　【２回】　高松西(昭56 昭57)

７６．香川女子　都道府県対抗【１回】(昭49)
　【７回】　香川中央(昭63 平2 平3 平4 平6 平7 平10)
　【６回】　高松中央【高松女子商業】(昭54 昭56 昭57 昭58 昭60 平1)
　【４回】　高松商業(昭59 昭61 平8 平9)

７７．愛媛男子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　新田(平3 平8)

７８．愛媛女子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　西条(昭62 平3)
　【１回】　新居浜西(平8)

７９．高知男子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　土佐(昭58 昭59)
　【１回】　高知商業(昭54)高知学芸(平3)高知東工業(平8)

８０．高知女子　都道府県対抗【４回】(昭50 昭51 昭52 昭53)
　【３回】　土佐女子(昭55 平3 平5)
　【１回】　清和女子(平8)

８１．福岡男子　都道府県対抗【０回】
　【９回】　九州国際大学付属【八幡大学付属】(昭61 昭62 平2 平3 平4 平5 平8 平9 平10)
　【２回】　福岡大学大濠(平1 平6)

８２．福岡女子　都道府県対抗【１回】(昭53)
　【５回】　精華女子(平3 平4 平6 平7 平9)
　【４回】　九州国際大学付属【八幡大学付属】(昭60 平5 平8 平10)

８３．佐賀男子　都道府県対抗【０回】
　【２回】　唐津工業(平3 平8)

８４．佐賀女子　都道府県対抗【０回】
　【７回】　佐賀女子(昭62 昭63 平1 平2 平3 平5 平8)

８５．長崎男子　都道府県対抗【０回】
　【５回】　瓊浦(昭56 昭57 昭58 昭59 昭60)
　【１回】　西陵(平3)創成館(平8)

８６．長崎女子　都道府県対抗【１回】(昭49)
【６回】　長崎女子【鶴鳴女子】(昭56 昭57 昭59 昭61 平3 平8)

８７．大分男子　都道府県対抗【０回】
【１回】　竹田商業(平3) 日田林工(平8)

８８．大分女子　都道府県対抗【０回】
【３回】　昭和女子 (平3 平8 平9)

８９．熊本男子　都道府県対抗【５回】(昭49 昭50 **昭51** 昭52 **昭53**)
【８回】　熊本学園大学付属【熊本商科大学附属】(昭59 昭60 昭61 昭62 **昭63 平1** 平4 平5)
【５回】　九州学院(昭54 昭55 昭56 昭57 昭58)
八代東(平6 平7 平8 **平9** 平10)
【２回】　芦北(**平2** 平3)

９０．熊本女子　都道府県対抗【４回】(昭50 昭51 昭52 昭53)
【１１回】熊本中央女子(**昭54** 昭55 **昭56 昭58 昭59** 昭61 **昭62 昭63** 平2 平6 平8)
【７回】　熊本信愛女学院(**昭57** 昭60 **平1** 平3 平4 **平8 平10**)

９１．宮崎男子　都道府県対抗【０回】
【３回】　宮崎工業(平3 平7 平8)

９２．宮崎女子　都道府県対抗【０回】
【３回】　宮崎商業(昭58 平3 平8)

９３．鹿児島男子　都道府県対抗【０回】
【２回】　鹿児島商業(平3 平8)

９４．鹿児島女子　都道府県対抗【０回】
【２回】　鹿児島女子(平3 平8)

９５．沖縄男子　都道府県対抗【０回】
【１回】　豊見城(昭60) 糸満(昭63) 南部商業(平3) 南風原(平8)

９６．沖縄女子　都道府県対抗【０回】
【１回】　那覇商業(昭60) 南風原(平3) 糸満(平8)

国際大会での活躍

高校生プレーヤーの海外遠征の夢は永く続いて、何時その夢が実現されるのかと待望久しかった。それが……。

韓国側の要請に基づいて、日韓交歓試合の件が日本バドミントン協会の受諾で、高校生による韓国との競技の門戸が開かれた。

近くて遠い国であった韓国に、スポーツによる純心な友好を深めるために高校生バドミントンプレーヤーが小さな民間外交の一役を担う機会を得たのも昭和４０年頃であった。

日韓両国協会の正式交渉で高校生バドミントンプレーヤーの海外遠征が行われるようになった。

＊韓国代表来日（1965年-昭和40年7月、栃木県）

好 栃木県選抜　　６対１　韓国女子

＊韓国遠征（1965年-昭和40年11月、光州・ソウル・全州・釜山）

野 富山商業高校が各地で４戦４勝する

＊韓国遠征（1966年-昭和41年11月、馬山市）

好 秋田敬愛高校　　３対５　聖旨女子高校

＊昭和４３年度日韓交歓交流競技会（第1回）

（1968年-昭和43年8月、ソウル）

野 高岡商業高校がソウルで２戦２勝する

この韓国遠征からは、両国体育協会の正式な話し合いにより交歓交流会となり、１年置きに韓国遠征することになった。

＊昭和４５年度日韓交歓交流競技会（第3回）

（1970年-昭和45年8月19日~21日、ソウル）

野 富山商業高校　　３対２　中京商業高校

野 富山商業高校　　５対０　韓国選抜

＊昭和４６年度日韓交歓交流競技会（第4回）

（1971年-昭和46年8月22日~24日、東京都世田谷区駒沢）

野 日大鶴ケ丘高校　１対０　韓国選抜

（ダブルス2試合は2試合ともゲームカウント1対1のため、打ち切りとなった）

野 正強高校　　３対０　韓国選抜

＊昭和４８年度日韓交歓交流競技会（第6回）

（1973年-昭和48年8月18日~20日、東京都世田谷区駒沢）

野 日大鶴ケ丘高校　３対２　韓国選抜

好 巣鴨女子高校　　０対５　聖旨女子高校

野 金沢市立工業高校３対２　韓国選抜

好 四條畷学園高校　４対１　聖旨女子高校

＊１９７７年度日韓交歓交流競技会（第10回）

（1977年-昭和52年8月24日~26日、ソウル）

野 比叡山高校　　２対３　水城高校

好 四條畷学園高校　０対５　聖旨女子高校

野 比叡山高校　　２対３　韓国選抜

好 四條畷学園高校　２対３　韓国選抜

＊昭和５３年度日韓交歓交流競技会（第11回）

（1978年-昭和53年8月22日~23日、東京都世田谷区・日本体育大学）

野 日大鶴ケ丘高校　０対５　韓国選抜

好 巣鴨女子高校　　０対５　韓国選抜

野 九州学院高校　　３対２　韓国選抜

好 四條畷学園高校　０対５　韓国選抜

＊１９７９年度日韓交歓交流競技会（第12回）

（1979年-昭和54年8月21日~26日、ソウル）

野 日本選抜　　２対３　忠州実業高校

好 日本選抜　　０対５　聖旨女子高校

野 日本選抜　　３対２　韓国選抜

好 日本選抜　　１対４　韓国選抜

＊昭和５５年度日韓交歓交流競技会（第13回）

（1980年-昭和55年8月23日~24日、栃木県真岡市）

野 日本選抜　　２対３　韓国選抜

好 日本選抜　　０対５　韓国選抜

野 日本選抜　　０対５　韓国選抜

好 日本選抜　　０対５　韓国選抜

＊１９８０年度ヨーロッパ遠征（第1回）

（1981年-昭和56年3月4日~18日）

※対イングランド第1戦（3月7日、イングランド・ミルトンケイネス）

野 日本選抜　　２対５　イングランド

好 日本選抜　　１対７　イングランド

※対イングランド第2戦（3月9日、イングランド・ノーザンプトン）
男子 日本選抜　5対7　イングランド
女子 日本選抜　1対11　イングランド
※対デンマーク戦（3月10日、デンマーク・タストラップ）
男子 日本選抜　1対6　デンマーク
女子 日本選抜　0対9　デンマーク
※デンマークオープン予選（3月11日、デンマーク・タストラップ）
※対スウェーデン戦（3月13日、スウェーデン・マルメ）
男子 日本選抜　3対3　スウェーデン
女子 日本選抜　1対6　スウェーデン

＊１９８１年度日韓交歓交流競技会（第14回）
（1981年-昭和56年8月22日~23日、ソウル）
男子 日本選抜　3対2　忠州工業高校
女子 日本選抜　2対3　聖旨女子高校
男子 日本選抜　1対4　韓国選抜
女子 日本選抜　0対5　韓国選抜

＊１９８１年度ヨーロッパ遠征（第2回）
（1982年-昭和57年3月10日~20日）
※4カ国（日本・イングランド・デンマーク・オランダ）対抗
（3月12日 オランダ・アムステルダム ）
1回戦 日本選抜　0対5　イングランド
3位決 日本選抜　1対4　イングランド
※インターナショナル・ユース・トーナメント（上記4カ国出場）
（3月13日~14日、オランダ・ハーレム）
男子ダブルス　第３位　西川　勉・辻田泰昌
　　第３位　柳谷辰也・横尾宣幸
女子ダブルス　優　勝　高峯尚子・中島真美
男子シングルス 第３位　柳谷辰也
女子シングルス 準優勝　高峯尚子
※デンマークオープン予選（3月15日、デンマーク・コペンハーゲン）
※対デンマークジュニア選抜（3月17日、デンマーク・コペンハーゲン）
単－男女１２試合、複－男女６試合
※対スウェーデンジュニア（3月20日、スウェーデン・マルメ）
男女 日本選抜　2対19　スウェーデン

＊昭和５７年度日中ジュニア交流競技会
（1982年-昭和57年8月14日、千葉県総合運動場体育館）
男子 日本選抜　4対1　中国選抜
女子 日本選抜　3対2　中国選抜

＊１９８２年度日韓交歓交流競技会（第15回）
（1982年-昭和57年11月3日~7日、ソウル）
（11月4日、ソウル・永東高校）
男子 日本選抜（金沢市立工業）0対5　韓国選抜B
女子 日本選抜（熊本信愛女学院）0対5　韓国選抜B
（11月6日、ソウル・永東高校）
男子 日本選抜（金沢市立工業）0対5　韓国選抜A
女子 日本選抜（熊本信愛女学院）0対5　韓国選抜A

＊１９８２年度ヨーロッパ遠征（第3回）
（1983年-昭和58年3月7日~17日）
※スウェーデンオープン予選（3月9日、スウェーデン・マルメ）
１５ケ国　男女計１４０名参加
※対デンマークジュニア選抜（3月10日、デンマーク・コペンハーゲン）
男子単 日本選抜　0対6　デンマーク
女子単 日本選抜　2対4　デンマーク
男子複 日本選抜　0対3　デンマーク
女子複 日本選抜　0対3　デンマーク
※オランダ国際ジュニア大会（3月12日~13日、オランダ・アムステルダム）
女子ダブルス　第３位　上村美香・佐藤由美子
女子シングルス 第３位　上村美香

＊１９８３年度日中ジュニア交流競技会
（1983年-昭和58年8月10日~16日、中国・上海）
（8月12日、上海市黄浦体育館）
男子 日本選抜　1対4　上海選抜
女子 日本選抜　3対2　上海選抜
（8月13日、上海市黄浦体育館）
男子 日本選抜　3対1　上海選抜
女子 日本選抜　4対0　上海選抜

＊昭和５８年度日韓交歓交流競技会（第16回）
（1983年-昭和58年8月20日、国立代々木第二体育館）
男子 日本選抜　2対3　韓国選抜
女子 日本選抜　1対4　韓国選抜

＊１９８３年度ヨーロッパ遠征(第4回)

(1984年-昭和59年3月3日~18日)

※対ジーランド(地元チーム)練習試合(3月4日、デンマーク・コペンハーゲン)

男子 日本選抜　８対５　ジーランド

女子 日本選抜　９対６　ジーランド

※対デンマークジュニア選抜(3月5日、デンマーク・コペンハーゲン)

男子単 日本選抜　１対６　デンマーク

女子単 日本選抜　２対４　デンマーク

男子複 日本選抜　３対１　デンマーク

女子複 日本選抜　２対１　デンマーク

※オランダ国際ジュニア大会(3月9日~11日、オランダ・アムステルダム)

男子ダブルス　準優勝　江藤裕樹・千葉　明

第３位　鶴田直行・林　謙一

女子ダブルス　優　勝　林　幸枝・米津ゆかり

※スウェーデンオープン予選(3月14日、スウェーデン・マルメ)

＊昭和５９年度日英ジュニア交流競技会

(1984年-昭和59年8月13~22日、東京・成蹊大学、山梨・勝沼町民体育館)

(8月15日、成蹊大学)

男子 日本選抜　１対４　イングランド

女子 日本選抜　０対５　イングランド

(8月18日、勝沼町民体育館)

男子 日本選抜(山梨県代表)　２対３　イングランド

女子 日本選抜(山梨県代表)　１対４　イングランド

(8月19日、勝沼町民体育館)

男女個人戦（単・複）を行う

(8月20日、勝沼町民体育館)

男子 日本選抜(山梨県代表)　１対８　イングランド

女子 日本選抜(山梨県代表)　１対８　イングランド

＊１９８４年度日韓交歓交流競技会(第17回)

(1984年-昭和59年8月17日~22日、釜山・釜山女子高校)

(8月19日、釜山女子高校)

男子 日本選抜　３対２　韓国選抜Ｂ

女子 日本選抜　１対４　韓国選抜Ｂ

(8月21日、釜山女子高校)

男子 日本選抜　１対４　韓国選抜Ａ

女子 日本選抜　０対５　韓国選抜Ａ

＊１９８４年度ヨーロッパ遠征(第5回)

(1985年-昭和60年3月6日~18日)

※3ケ国対抗(日本・オランダ・デンマーク)練習試合

(3月7日、デンマーク・コペンハーゲン)

※オランダ国際ジュニア大会(3月8日~10日、オランダ・アムステルダム)

男子シングルス 第３位　岩渕公一

※対イーストジュニア(3月12日、イングランド)

男子 日本選抜　12対１　イースト

女子 日本選抜　７対３　イースト

※対セントラルジュニア(3月13日、イングランド・サーリー)

男子単 日本選抜　３対１　セントラル

女子単 日本選抜　３対１　セントラル

男子複 日本選抜　２対３　セントラル

女子複 日本選抜　２対３　セントラル

※対サウスジュニア(3月14日、イングランド)

男子 日本選抜　４対３　サウス

女子 日本選抜　４対２　サウス

＊１９８５年度アジアユース選手権大会

兼トレーニングキャンプ

(1985年-昭和60年7月23日~8月2日、香港・沙田市)

参加国数　１１ケ国

男子団体　日本　２対３　香港

日本　０対５　シンガポール

女子団体　日本　２対３　フィリピン

日本　５対０　香港

女子団体　準優勝

女子ダブルス　第３位　土屋恵美・関根裕子

＊昭和６０年度日韓交歓交流競技会(第18回)

(1985年-昭和60年8月21日~24日、福岡・福岡市)

(8月21日、福岡市)

男子 日本選抜　１対４　韓国選抜

女子 日本選抜　０対５　韓国選抜

(8月23日、福岡市)

男子 日本選抜　０対５　韓国選抜

女子 日本選抜　０対５　韓国選抜

＊１９８５年度ヨーロッパ遠征（第6回）
（1986年-昭和61年3月3日~17日）
※オランダ国際ジュニア大会（3月7日~9日、オランダ・アムステルダム）
男子ダブルス　準優勝　町田文彦・中川敏治
女子ダブルス　準優勝　松尾知美・毛利千秋
女子シングルス 第３位　捧　匡子
混合ダブルス　準優勝　町田文彦・毛利千秋
※対南部代表（3月11日、イングランド）
男子 日本選抜　　２対５　南部代表
女子 日本選抜　　４対２　南部代表
※対南東部代表（3月12日、イングランド）
男子 日本選抜　　６対３　南東部代表
女子 日本選抜　　７対２　南東部代表
※対ホームルベック（地元チーム）練習試合（3月11日、デンマーク）
男女 日本選抜　　12対３　ホームルベック
＊１９８６年度日韓交歓交流競技会（第19回）
（1986年-昭和61年8月19日~25日、済州島・済州大学）
（8月21日、済州大学）
男子 日本選抜　　３対２　韓国選抜Ｂ
女子 日本選抜　　３対２　韓国選抜Ｂ
（8月23日、済州大学）
男子 日本選抜　　１対４　韓国選抜Ａ
女子 日本選抜　　０対５　韓国選抜Ａ
＊１９８６年度ジャカルタ・オープン・ジュニア選手権大会（第4回）
（1986年-昭和61年11月21日~25日、インドネシア・ジャカルタ）
＊１９８６年度ヨーロッパ遠征（第7回）
（1987年-昭和62年3月2日~16日）
※オランダ国際ジュニア大会（3月6日~8日、オランダ・ハーレム）
女子ダブルス　第３位　南里高子・南里泰子
女子シングルス 第３位　捧　匡子
※対リティングステッド（地元チーム）練習試合（3月10日、デンマーク）
男女 日本選抜　　13対２　リティングステッド
＊昭和６２年度日韓交歓交流競技会（第20回）
（1987年-昭和62年8月17日~21日、広島県・広島市西区スポーツセンター）
（8月18日、広島市西区スポーツセンター）
男子 日本選抜　　１対４　韓国選抜
女子 日本選抜　　０対５　韓国選抜
（8月20日、広島市西区スポーツセンター）
男女 日本選抜（広島県代表）　０対10　韓国選抜
＊１９８７年度インドネシアジュニアオープン
（1987年-昭和62年11月20日~29日、インドネシア・ジャカルタ）
＊１９８７年度西ドイツジュニア選手権大会
（1988年-昭和63年1月29日~31日、西ドイツ・グッタースロー）
女子ダブルス　優　勝　宮村愛子・水井妃佐子
　　準優勝　中原敬子・甲斐美和
女子シングルス 優　勝　宮村愛子
　　準優勝　水井妃佐子
＊１９８７年度ヨーロッパ遠征（第8回）
（1988年-昭和63年3月7日~18日）
※オランダ国際ジュニア大会（3月6日~8日、オランダ・ハーレム）
女子ダブルス　第３位　中原敬子・甲斐美和
女子シングルス 優　勝　宮村愛子
　　第３位　岩田良子
※対オランダ交流試合（3月9日・15日、オランダ・ハーレム）
（3月9日）
男女 日本選抜Ａ　　２対３　インドネシア
（3月15日）
男女 日本選抜Ｂ　　２対３　オランダ
＊昭和６３年度日中ジュニア交流競技会（第3回）
（1988年-昭和63年5月10日~15日、京都・名古屋・つくば）
（8月10日、長岡京市・西山公園体育館）
男子 日本選抜（京都府代表）１対４　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（京都府代表）３対２　中国選抜（福建省）
（8月11日、名古屋市・市郡学園高校体育館）
男子 日本選抜（愛知県代表）３対１　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（愛知県代表）４対０　中国選抜（福建省）
（8月15日、つくば市・桐峯公園体育館）
男子 日本選抜（茨城県代表）３対１　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（茨城県代表）４対０　中国選抜（福建省）

＊１９８８年度日韓交歓交流競技会（第21回）
（1988年-昭和63年8月16日~22日、慶州）
（8月18日、慶州）
男子 日本選抜　２対３　韓国選抜Ｂ
女子 日本選抜　２対３　韓国選抜Ｂ
（8月20日、慶州）
男子 日本選抜　０対５　韓国選抜Ａ
女子 日本選抜　２対３　韓国選抜Ａ
＊１９８８年度ソ連国際ユース大会（第2回）
（1988年-昭和63年9月15日~18日、ハバロフスク）
女子ダブルス　優　勝　宮村愛子・水井妃佐子
　　準優勝　中原敬子・甲斐美和
女子シングルス　優　勝　宮村愛子
　　第３位　水井妃佐子
＊１９８８年度ウインブルドン国際ジュニア競技大会
（1988年-昭和63年10月1日~2日、イギリス・ロンドン）
＊１９８８年度インドネシアジュニアオープン
（1988年-昭和63年11月22日~27日、インドネシア・ジャカルタ）
＊１９８８年度ヨーロッパ遠征（第9回）
（1989年-平成元年3月6日~19日）
※対オランダ交流試合（3月8日、オランダ・レイリースタッド）
男女 日本選抜　10対11　オランダ
※オランダ国際ジュニア大会（3月10日~12日、オランダ・ハーレム）
女子ダブルス　準優勝　宮村愛子・水井妃佐子
女子シングルス　優　勝　宮村愛子
　　準優勝　水井妃佐子
＊平成元年度日中ジュニア交流競技会（第4回）
（1989年-平成元年6月3日~14日、兵庫・東京・千葉）
（6月4日、伊丹市・三菱電機伊丹体育館）
男子 日本選抜（兵庫県選抜）４対６　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（兵庫県選抜）５対５　中国選抜（福建省）
（6月8日、立川市・立川市立第八中学校体育館）
男子 日本選抜（多摩地区中学）０対11　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（多摩地区中学）０対17　中国選抜（福建省）
（6月10日、四街道市・千葉愛高校体育館）
男子 日本選抜（千葉県選抜）０対６　中国選抜（福建省）
　日本選抜（千葉県選抜）１対５　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（千葉愛高校）０対６　中国選抜（福建省）
　日本選抜（千葉愛高校）０対６　中国選抜（福建省）
（6月11日、関東第一高校体育館）
男子 日本選抜（関東第一高校）０対12　中国選抜（福建省）
女子 日本選抜（関東第一高校）０対12　中国選抜（福建省）
＊平成元年度日韓交歓交流競技会（第22回）
（1989年-平成元年8月23日~24日、石川県松任市・松任総合公園体育館）
（8月23日、松任総合公園体育館）
男子 日本選抜　１対４　韓国選抜
女子 日本選抜　０対５　韓国選抜
（8月24日、松任総合公園体育館）
男子 日本選抜（石川県代表）０対５　韓国選抜
女子 日本選抜（石川県代表）０対５　韓国選抜
＊１９８９年度ワールドジュニア競技大会（第5回）
（1989年-平成元年11月20日~26日、インドネシア・ジャカルタ）
＊１９８９年度ヨーロッパ遠征（第10回）
（1990年-平成2年2月26日~3月13日）
※西ドイツ国際ジュニア選手権（3月3日~4日、西ドイツ・デュッセルドルフ）
男子ダブルス　優　勝　本田和裕・岡部英朗
　　準優勝　尾藤伸治・太田慎二
女子ダブルス　優　勝　阪本雅子・渡辺真由美
　　準優勝　篠原久子・寺尾美紀
女子シングルス　優　勝　井田貴子
　　第３位　阪本雅子
※オランダ国際ジュニア大会（3月9日~11日、オランダ・ハーレム）
女子ダブルス　優　勝　阪本雅子・渡辺真由美
女子シングルス　第３位　井田貴子

＊１９９０年度日韓交歓交流競技会（第23回）
（1990年-平成2年8月27日~9月2日、江原道春川市・春川教育大学体育館）
（8月29日、春川教育大学体育館）
野 日本選抜　０対５　韓国選抜
好 日本選抜　０対５　韓国選抜
（8月31日、春川教育大学体育館）
野 日本選抜　０対５　韓国選抜
好 日本選抜　２対３　韓国選抜
＊１９９０年度ワールドジュニア競技大会（第6回）
（1990年-平成2年11月5日~11日、インドネシア・ジャカルタ）
＊平成３年度日韓交歓交流競技会（第24回）
（1991年-平成3年8月28日~8月30日、愛知県・大府市民体育館）
（8月28日、大府市民体育館）
野 日本選抜　０対５　韓国選抜
好 日本選抜　０対５　韓国選抜
（8月30日、大府市民体育館）
野 日本選抜（愛知県選抜）０対５　韓国選抜
好 日本選抜（愛知県選抜）０対５　韓国選抜
＊１９９１年度ワールドジュニア競技大会（第7回）
（1991年-平成3年11月16日~26日、インドネシア・ジャカルタ）
＊平成３年度日中ジュニア交流競技会（第5回）
（1991年-平成3年11月24日、栃木県立小山城南高校体育館）
野 日本選抜（栃木県選抜）０対５　中国選抜（福建省）
好 日本選抜（栃木県選抜）０対５　中国選抜（福建省）
野 日本選抜（栃木県選抜）０対５　中国選抜（福建省）
好 日本選抜（栃木県選抜）０対５　中国選抜（福建省）
＊第１回日中ジュニア交流競技会（交流合宿）
（1992年-平成4年2月17日~22日、埼玉県上尾市・スポーツ研修センター）
野 日本選抜　４対１　中国選抜
好 日本選抜　２対３　中国選抜
＊１９９０年度ヨーロッパ遠征は実施せず
＊１９９１年度ヨーロッパ遠征（第11回）－男子のみで実施
（1992年-平成4年3月3日~3月17日）
※オランダ国際ジュニア大会（3月6日~8日、オランダ・ハーレム）
男子ダブルス　第３位　有田浩史・斎藤　俊
※ドイツ国際ジュニア選手権（3月13日~15日、ドイツ・ボットラップ）
男子ダブルス　第３位　片岡直茂・成嶋瑞穂

＊１９９２年度日韓交歓交流競技会（第25回）
（1992年-平成4年8月24日~8月30日、光州・直轄市）
（8月26日、光州・直轄市）
野 日本選抜　０対５　韓国選抜
好 日本選抜　０対５　韓国選抜
（8月28日、光州・直轄市）
野 日本選抜（愛知県選抜）１対４　韓国選抜
好 日本選抜（愛知県選抜）２対３　韓国選抜
＊１９９２年度世界ジュニア選手権大会（第1回）
（1992年-平成4年11月8日~14日、インドネシア・ジャカルタ）
＊第２回日中ジュニア交流競技会（交流合宿）
（1992年-平成4年12月22日~27日、福建省・厦門市）
（12月23日、厦門市）
野 日本選抜　０対５　中国選抜
好 日本選抜　０対５　中国選抜
（12月26日、厦門市）
野 日本選抜　０対５　中国選抜
好 日本選抜　２対３　中国選抜
＊１９９２年度ヨーロッパ遠征（第12回）
（1993年-平成5年3月6日~3月16日）
※オランダ国際ジュニア大会（3月12日~14日、オランダ・ハーレム）
女子ダブルス　準優勝　増茂孝枝・中山智香子
第３位　貴田　和・伊藤さおり
女子シングルス　第３位　水井泰子
＊平成５年度日中韓ジュニア交流競技会（第1回）
（1993年-平成5年8月26日~27日、福島県郡山市・郡山市西部第2体育館）
今年度より日韓2ヶ国交流を中国を加えた3ヶ国にすることになっていたが、事情により中国は参加せず
野 日本選抜　０対５　韓国選抜
好 日本選抜　２対３　韓国選抜
＊１９９３年度ヨーロッパ遠征（第13回）
（1994年-平成6年3月8日~3月21日）
※オランダ国際ジュニア大会（3月11日~13日、オランダ・ハーレム）
女子ダブルス　第３位　田中美保・ラスムセン
女子シングルス　準優勝　田中美保
※全英オープン選手権大会予選（3月14日~19日、イギリス・バーミンガム）

＊１９９４年度日中韓ジュニア交流競技会
(1994年-平成6年8月25日~30日、韓国・西帰浦市)
男子 日本選抜　１対４　中国選抜
日本選抜　０対５　韓国選抜Ａ
日本選抜　２対３　韓国選抜Ｂ
女子 日本選抜　３対２　中国選抜
日本選抜　４対１　韓国選抜Ｂ
日本選抜　２対３　韓国選抜Ａ
＊１９９４年度世界ジュニア選手権大会(第2回)
(1994年-平成6年8月29日~9月3日、マレーシア・クアラルンプール)
＊１９９４年度ヨーロッパ遠征(第14回)
(1995年-平成7年3月10日~3月13日)
※オランダ国際ジュニア大会(3月10日~13日、オランダ・ハーレム)
＊１９９５年度アジア・ジュニア選手権大会
(1995年-平成7年8月20日~27日、香港・沙田市)
男女Cパート第1戦 日本　３対２　マレーシア
第2戦 日本　３対２　香港Ｂ
第3戦 日本　５対０　タイ
トーナメント準決勝 日本　０対５　中国
3位決定戦 日本　０対５　インドネシア
＊１９９５年度ヨーロッパ遠征(第15回)
(1996年-平成8年3月7日~3月10日)
※オランダ国際ジュニア大会(3月7日~10日、オランダ・ハーレム)
女子ダブルス　第３位　松本里衣・森かおり
＊１９９６年度ジャカルタジュニアオープン選手権大会
(1996年-平成8年7月1日~7日、インドネシア・ジャカルタ)
女子シングルス 優　勝　三宅直子
第３位　森かおり
＊平成８年度日中韓ジュニア交流競技会
(1996年-平成8年8月26日~28日、長崎県・長崎市民体育館)
男子 日本選抜　５対０　長崎県選抜
日本選抜　３対２　韓国選抜
日本選抜　５対０　中国選抜
女子 日本選抜　４対１　長崎県選抜
日本選抜　１対４　韓国選抜
日本選抜　３対２　中国選抜
＊１９９６年バンコク国際競技大会
(1996年-平成8年10月1日~7日、タイ・バンコク)
女子シングルス 第３位　森かおり
＊１９９６年度世界ジュニア選手権大会(第3回)
(1996年-平成8年11月19日~11月24日、デンマーク・シルクボルグ)
＊１９９６年度ヨーロッパ遠征(第16回)
※オランダ国際ジュニア大会
(1997年-平成9年3月6日~9日、オランダ・ハーレム)
男子ダブルス 優　勝　舛田圭太・大東忠司
女子ダブルス 準優勝　井川里美・永峰弘子
第３位　安城美香・森かおり
男子シングルス 優　勝　舛田圭太
女子シングルス 準優勝　森かおり
第３位　井川里美
第３位　永峰弘子
※ドイツジュニアオープン大会
(1997年-平成9年3月14日~16日、ドイツ・ボトロップ)
男子ダブルス 優　勝　舛田圭太・大東忠司
女子ダブルス 第３位　安城美香・森かおり
男子シングルス 準優勝　舛田圭太
＊１９９７年度アジア・ジュニア選手権大会
(1997年-平成9年4月7日~13日、フィリピン・マニラ)
女子団体　第３位
＊プリンスアジアジュニア招待１９９７
(1997年-平成9年8月10日~17日、香港)
(8月12日~16日、香港體育学院)
16歳以下
男子シングルス 第３位　前田丈博
女子シングルス 第３位　後藤あゆみ
17歳以下
男子シングルス 第３位　橋村竜彦
18歳以下
男子シングルス 優　勝　中西洋介
女子シングルス 第３位　岩脇　史

＊１９９７年度日中韓ジュニア交流競技会

(1997年-平成9年8月25日~30日、韓国・忠州市・忠州工業高校体育館)

(8月26日、韓国・忠州市・忠州工業高校体育館)

男子 日本選抜　５対０　忠州工業高校

女子 日本選抜　４対１　忠州女子高校

(8月27日、韓国・忠州市・忠州工業高校体育館)

男子 日本選抜　１対４　韓国選抜

女子 日本選抜　２対３　韓国選抜

(8月28日、韓国・忠州市・忠州工業高校体育館)

男子 日本選抜　４対１　中国選抜

女子 日本選抜　１対４　中国選抜

＊１９９７年度ヨーロッパ遠征(第17回)

(1998年-平成10年3月3日~17日)

※オランダ国際ジュニア大会

(1998年-平成10年3月5日~8日、オランダ・ハーレム)

※ドイツジュニアオープン大会

(1998年-平成10年3月12日~15日、ドイツ・ボトロップ)

男子シングルス　第３位　大束真也

女子シングルス　準優勝　岩脇　史

第３位　森かおり

＊アジア・ジュニア選手権大会'９８

(1998年-平成10年6月15日~21日、マレーシア・クアラルンプール)

＊１９９８年度日中韓ジュニア交流競技会

(1998年-平成10年8月26日~28日、中国・河北省石家庄市)

(8月26日)

男子 日本選抜　２対３　河北省選抜

女子 日本選抜　０対５　河北省選抜

(8月27日)

男子 日本選抜　１対４　韓国選抜

女子 日本選抜　０対５　韓国選抜

(8月28日)

男子 日本選抜　０対５　中国選抜

女子 日本選抜　０対５　中国選抜

＊１９９８年度世界ジュニア選手権大会(第4回)

(1998年-平成10年10月5日~10月11日、オーストラリア・メルボルン)

＊１９９８年度ヨーロッパ遠征(第18回)

(1999年-平成11年3月4日~14日)

※オランダ国際ジュニア大会

(1999年-平成11年3月4日~7日、オランダ・ハーレム)

男子ダブルス　準優勝　大束真也・中村寿史

第３位　下川裕一・佐藤翔治

※ドイツジュニアオープン大会

(1999年-平成11年3月11日~14日、ドイツ・ボトロップ)

男子ダブルス　準優勝　大束真也・中村寿史

第３位　下川裕一・佐藤翔治

女子ダブルス　第３位　安城美華・大熊倫子

混合ダブルス　第３位　大束真也・大熊倫子

栄光を目指して　◍優勝校監督寄稿文



優勝報告会（今市駅前）

高校総体

思い出の優勝



元 栃木県立今市高等学校
バドミントン部
監督 別井　晃

忘れもしない昭和54年、本県では栃の葉国体の前年であり、各競技団体とも選手強化で夢中になっていた時であった。当時の今市高校ではバドミントン男子、グランドホッケー男女、サッカーが特別強化指定校に選ばれ常に県内・県外大会での成績を競い合っていた。

その頃の私自身は、県バドミントン協会の強化部長をしていた時期であり、４種別の強化合宿等を指揮しながら少年男子の監督として単独での遠征試合・練習試合を数多く実施していた。そのような中で、大きな目標としていた全国優勝をすることができ、最高の感激をあたえていただいた。

その頃のバドミントン部は３年の馬場を主将とし、小野口、坂本の安定したダブルスと馬場のパートナーの高橋や２年の大島、大堀という顔ぶれで、今思えば強力なメンバーであった。彼らは高校入学と同時にひそかに全国優勝の夢を実現すべく、目標を絞っていた強者達であった。いずれも全国中学大会で活躍した選手達であり、今市中学校の斎藤先生（私と小・中・高・大と同級）に指導を受けた選手である。

これまでのインターハイでは、出場しても２回戦、良くても３回戦くらいであったが、この年は何としても決勝までいくという大きな目標があったので少しぐらいのプレッシャーがあっても当然であった。

バドミントンのいろいろな関係者から、全国上位校の情報を聞き、本大会へ臨んでいった。

当時コーチとして今市高校に来てもらった工藤先生（本県のシングルスチャンピオン）には私の代わりに生徒とプレーしてもらい、一緒に指導してもらったことも勝因の一つであった。又、この年から団体戦の試合形式が、前年までの２複３単から２複１単になり、今市高校のメンバーからみてオーダーの組み易いシステムになったことも味方してくれた。単、複ともに誰を使ってもそこそこ試合になるし、特に馬場などは、中学校時代から九州学院の権藤選手を目標にしていただけに、何とか勝ちたいという気持ちと、大きな自信を持っていた。私自身もオーダーにはあまり苦労しなかった。

（今だから言える）

大会の組み合わせを見て最低ベスト４まではいけると思ったが、そこからの準決勝で茨城県の石岡第一か九州学院の勝者と対戦することになるので、私としては九州学院の方が戦い易いと考えていたし、（結果は九州学院との対戦）決勝は滋賀県の比叡山が上がってくると思っていた。（そのとおりになった）

いよいよ団体戦が始まり、初日は小さい山から順当に勝ち上がった。そして２日目の準々決勝では、青森県の東奥義塾と対戦し危なげなく２対０で勝ち問題の準決勝に進んだ。相手は予想どおり九州学院であった。権藤選手のシングルス１ポイントは仕方ないとして、ダブルスを２つ取るオーダーを組んだつもりで提出したところ、権藤選手はダブルスに出場してきたので、考えていた２対１の勝負は２対０で今市の勝利となった。（相手からすれば、あのオーダーしかなかったようである）

決勝の相手は予想どおり、比叡山との対戦となった。大会１０日前に藤上先生にお願いして３泊４日の比叡山高校の合宿に今市高校を中心とした、栃木県の少年男子の国体選手を連れて参加させていただいた。更に練習も実際にインターハイのメーン会場となる皇子山体育館を使用して行ったので、会場に慣れることができたことと、互いに手の内を見ることができたことなど収穫は多大であった。

オーダーの予想は２対０になるだろうとみていたところ第１ダブルスの小野口・坂本の詰めが甘く１ポイントを失ったが、シングルスの馬場が２年生の山本選手を退け第２ダブルスが勝負となった。高橋・大島組竹端・馬橋組の対戦であった。１ゲームを先取し、初優勝に王手をかけたが２ゲームを取られ勝負となった。３ゲームに入ると、生き返ったように大当たりし、結局２対１で悲願の初優勝することができた。

その瞬間を今思い出せば、とにかく興奮と感激でどうしようもなく、退場してまで控室で選手達と喜びあい、多くの人から祝福されたことなど鮮明に記憶として残っている。学校では今市駅で簡単な報告をした後、２台のジープに分乗し市内パレードをさせて戴き感謝感激であった。

翌年は国体本番の年であり、インターハイ優勝の勢いをもって連覇を目標としながら国体優勝をも狙ったが、善通寺での大会は決勝では前年と同じ比叡山高校と対戦し、惜しく準優勝となった。又、この年（５５年）の春の全国選抜大会（真岡市）団体、個人単・複と三冠王を取った大島とパートナーの大堀がいて、インターハイ・国体に準優勝だつたことに少々悔いは残ったが、あの頃の今市高校には部活の勢いがあったし、栃木県としても女子王国だったバドミントンから男子も強いという存在を示すことができたことを思えば、立派な成績であった考える今頃である。

毎年１回、正月に今市バドミントンＯＢ会を開いているが、出席率の良いのがやはりこの時代のメンバーであり、昔話に花を咲かせ、先輩・後輩の壁を無くし、楽しいひとときを過ごしている。私が転任の後の現在は、大島選手が教員となり監督をしているので「夢をもう一度」ではないが、選手の育成に頑張ってもらいたい。現在の栃木県は、数年前からスポーツ少年団（小学生）が関東・全国と活躍してきていることもあり、昨年小学生連盟を発足させ、選手育成と強化に指導・補助を行っている。又、今年度（平成９年度）は宇都宮の旭中学校が全国中学大会で男子団体と個人複に優勝しているので、高校との連携をうまくとっていけば全国での栃木県が更にＰＲできるのではないかと考えている。

優勝はまさにスポーツの頂点であるが、山頂を目指さない山登りは登らないに等しいので、私を含めた本県の指導者の皆さんには、でっかい目標に向かって精進してもらえるよう期待をし、インターハイ優勝を思い出の走り書きとします。

最後に、５０年にわたり全国高体連バドミントン専門部をここまで確立して戴いた遠井稔男元全国専門部長をはじめとする歴代の関係役員の皆様方に感謝するとともに、今後の更なる発展を期待する次第です。

インターハイの想い出



大阪 四條畷学園高等学校
バドミントン部
監督 片岡輝明

優勝させた監督の誰でも同じと思うが、最も感激した想い出は何かと問われるとやはり初優勝の瞬間と答えるだろう。私の場合は１９６０年代大阪には猛将佐藤茂雄先生率いる全国トップレベルの布施女子高（現東大阪高）が健在であり、その為に予選が通過できず大阪府代表になるのに８年も要している。近畿大会でも常に決勝を争う実力を持ち、京都府や奈良県に負けないのにもかかわらず相手が同じ大阪府同士の為にインターハイに出場できない。我校よりも弱いチームが全国で上位にランクされるのが我慢ならない数年が続いた。何度も大阪を離れて他県に転属しようかと悩みぬいた挙げ句の栄冠であったので、より大きな喜びであった。

思い返せば昭和３７年春大阪学芸大学（現大阪教育大学）卒業と同時に四條畷学園に奉職、監督であった大世古吉弘先生の下でコーチ業を学び始めたわずか２年後、先生の故郷である伊勢のお父さんが急死され突如学校を退職して三重県に帰ってしまわれた。まさに二階に上った途端に梯子をはずされたようなものだ。残された２５歳の若造が目の前の大きな壁である全国のトップチームに歯が立つ筈もなく、府の決勝戦で何度も何度も跳ね返され続けた。近在の中学校へスカウトに出向いても実績も名声もない私を誰も相手にしない。ほとほと思い悩んでいる時に幸いにも母校の４年後輩の杉田忠邦君と出会い、彼が本学園の中学校に昭和４１年に赴任して後日の多数の名選手を発掘しそのまま高校へ送り込む縁の下の原動力になってくれた。中・高一環指導が始まったのである。昭和４３年に東大阪高が全国優勝を遂げたお陰で翌年に我々は群馬県桐生市でのインターハイに初出場の幸運に恵まれた。が、何分新米監督の悲しさで新潟青陵高に敗れベスト８で終わってしまい、東大阪の佐藤茂雄先生に同県決勝戦が出来た筈だったとこっぴどく叱られたことも懐かしく想い出した。（当時は前年度優勝校は予選なしで翌年の出場権があたえられていた）

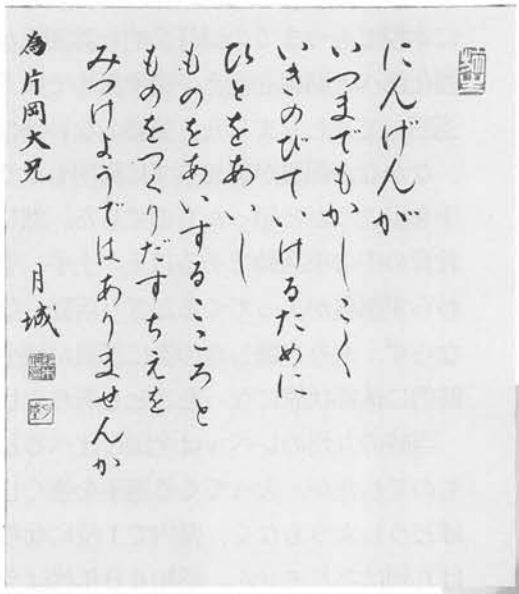
やがて杉田忠邦先生とのコンビで６年計画の指導が実り、優勝監督の仲間入りが出来たのは赴任から丁度１０年目の昭和４６年香川県善通寺市の第２２回大会であった。秋本八代美・西尾真理子・秋本幸子・徳田敦子・高田幹子を軸に何処と戦っても負けない自慢のチームが完成していた。前年秋にすでに同メンバーが２年生の時に岩手国体で初優勝していたので自信があった。その頃の会場は公設の体育館がまだ少なく、ましてや現在のような冷房装置の備わった建物など皆無であった。試合形式は２複３単でその順番通りに進められ複と単は誰が兼ねてもよく、全部の選手が日頃から練習をしていたので、暑さに対するスタミナは十分持っていた。決勝戦はわずか４コートしかない天井の低い酷暑の市立東中学校の体育館で前年２位の京都成安女子高との近畿勢対決となり３対０で勝ち、初優勝を飾って成安の東条信由先生を悔しがらせたものだ。男子はやはり近畿の奈良正強高（現奈良大付高）が初優勝をして谷口章先生と手を取り合ったのが昨日のことのように蘇ってくる。開催地である地元善通寺一高は穐山正雄先生が過去インターハイ５連覇を達成されており、当時の私にとってはまさに神様のような存在の人であった。その神様が決勝の夜わざわざ宿

舎の「魚七旅館」までお祝いに来られ「君ならばひょっとすると５連覇以上するかもしれないなぁ」などとおだてあげて帰られた。有頂天になった私はすっかりその気になり次の目標はインターハイの６連覇だ！というとんでもない自惚れの監督に変心してしまった。結局それは５連覇タイまでしか届かず新記録達成はならなかったが、今にして思えば先生は私に大きな自信とたった１回勝ったぐらいで慢心するなよという忠告を下さったに違いない。以来私もそれを真似て初優勝をされた監督に必ずお祝いと更なる激励を述べに行くことにしている。その穐山先生も東条先生も鬼籍に入ってしまわれたし、私の右腕どころか両腕のような存在であった杉田先生も肝臓病を患い平成３年をもってクラブ指導から引退してしまった。改めて歴史の深さを感じている。若き頃打倒目標であった秋田敬愛学園高（現国学館高）の脇坂安隆先生、真岡女子高の遠井稔男先生、岡山山陽女子高の毛利清志先生、東大阪高の佐藤茂雄先生方と時々お会いする度にいつの間にか昔話を懐かしむ年代になってしまった。ライバルがあってこそ選手も指導者も伸びる要素であるが、私は新潟青陵高の佐藤秀夫先生と熊本中央女子高の工藤勇参先生の存在が忘れられない。彼らが居なければこれ程長く闘志を燃やし続けることは出来なかっただろうと感謝している。二人ともももうひと頑張りして欲しい。

初優勝にも匹敵する感動を味わったのが昭和６２年北海道登別市での第３８回大会である。昭和５４年の８回目の優勝を最後にして、国体はともかくインターハイはどうしても勝てなくなっていた。大きな原因はそれまでの２複３単の制度から諸般の事情で試合形式が２複１単の３試合に短縮されたからだ。元来私の指導方針は高校生までは単の強化に専念させるべきだとの頑固なまでのこだわりがある。円熟する２０歳位から複に転身する方がベターであると考えている。いきおい単のカリキュラムで練習をするものだから、チーム戦に勝てなくなっていった。更にシャトルの羽毛を擦るリバースサービスとかいう邪道とも思える技術が流行しだすに至りいよいよ複への関心が薄れてしまった。単は何回か同士討ち決勝をしながらも団体優勝が出来ない期間が７年も続いていた。もう今後は勝てないのではないかと随分苦しんだ。全国高体連専門部が９年ぶりに再び現行の変則５試合形式に戻したのだ。皮肉なことにこの年の本校は双子の南里姉妹を筆頭に珍しく複が充実していたので、願ってもない復活の機会が到来したとひときわ頑張った。後にバルセロナ五輪に出場した水井妃佐子のデビュー戦でもあった。同年は春の選抜に次いでインターハイは８年ぶり９回目の美酒に酔った。よく言われるのだが、男の４０歳代は身の回りが慌ただしくてひとつの物事に没頭出来ないのだそうだ。私も校務やら家庭内などの雑事に追われ、このジンクス通りでこの年にはもう５０歳直前になっていた。以後何度か勝たせてもらい平成５年度第４４回宇都宮大会での１３回目の優勝を最後に指導の一線から身を引いて以来、後継者の育成に取りかかっている。これがまた選手強化よりも難しくて今後何年かかるのか自信がない。恩師の大世古先生も既に退職された今日、奇しくも区切りのよい第５０回岩手インターハイが私の教師生活最後の年に当たり、想い出多い「バド職人人生」を終える感慨で一杯である。昨今社会体育が盛んになり、競技力向上ばかりに目が向けられがちな風潮が見られるが、何と言っても『高体連』こそがスポーツを通じての人格教育の実践現場であり、次代を担う青少年養成の温床である事を再認識しておきたい。学校教育でしか出来ない文武両道の目標を目指してほしい。創立５０周年を機に今後の益々の高体連が隆盛発

展されんことを祈念しております。お世話になりました。

平成１０年１月記


にんげんが
いつまでもかしこく
いきのびていけるために
ひとをあいし
ものをあいするこころと
ものをつくりだすちえを
みつけようではありませんか

為片岡大兄

月城

故 鈴木祐司先生書



昭和38年(1963年) 8月群馬県立桐生高校にて
(左 大世古吉弘先生)

インターハイ優勝に思う



熊本中央女子高等学校
バドミントン部
監督　工藤勇参

昭和４２年４月、熊本中央女子高校に赴任と同時に当時同好会であったバドミントン部を任され、いつかはインターハイに出てみたい、出してみたいと夢見ていたころを今は大変懐かしく思い出します。幸運にも昭和５５年、５６年、５８年、平成３年と４回の団体優勝をすることが出来たことは私の教師生活の中の最大の仕事であったと思います。全国高体連バドミントン専門部の５０周年本当におめでとうございます。振り返りますと、私がインターハイに出場したのが昭和３７年富山県高岡市での大会でした。全国大会に熊本県の代表として出場したものの当時の熊本のレベルでは北信越には足下にも及ばず、力の差をまざまざと教えられて帰熊したことを覚えております。

当時から現在まで長い間、先輩の先生方には本当に日本のバドミントンのレベルの向上に組織の拡大に普及にとそれぞれの役目を持たれ頭の下がる思いです。私は当時の高校バドミントン、そして今日のバドミントンを共に育ててこられた先輩のおかげでここまでやってくることができました。先達には及びませんが、熊本の一地方からいつかは全国優勝をしたいと思い、本気でスタートしたのは昭和４８年の４月からです。熊本でもジュニアの育成を盛んに提唱されていた伊藤基記先生は、日本バドミントン協会の理事として日本の強化に多大に貢献され、熊本県のバドミントンの育ての親であり、私のバドミントンの源でもあります。ジュニアの養成をということで各地にジュニアクラブが発足し、その選手達が高校入学の時を迎えると同時に本校でも今までの同好会的な雰囲気から一転強化部へと路線を変え、選手集めで県下各地を巡回してまわりました。実績のない部の悲しさ、なかなか部員が集まらずに何回もクラブから手を引こうかと思ったものでした。然し、学校教育の中の部活動である以上、上手、下手に関わらず部員が入ってくるかぎり活動しなくてはならず、余りの厳しさの為に部員が減少して一時的に休部状態になったこともありました。

当時の九州のレベルは全国と比べると程遠いものでしたが、入ってくる選手を強くしなければどうしようもなく、県内で１位にならなければ九州はありません。昭和４０年代は今は亡き南直治先生の指導の元、全九州、全国の常連校であった熊本信愛女学院高が県下ＮＯ１でありました。ここに勝ち、熊本県を乗り切るためには、量、質を高めるしかない。従って合宿の導入、特に練習時間の短くなる冬場の合宿を考えました。そして、人の利用しない早朝・深夜の練習を続けました。勿論、無理をしての練習ですから、当然のように故障、怪我、脱落者が出ましたが、目標達成のために続けました。その結果、熊本県の壁を突破出来たのです。次は九州です。当時は福岡県・長崎県のレベルが高かったのですが、突破するまでは冬場の合宿は続けました。昭和５０年代に入り、九州の壁もクリアーして、いよいよインターハイに向かって走り出しました。日本一になる為、大阪の四條畷学園高と新潟青陵高の二校に挑戦することから始まりました。

熊本のジュニアも全国大会でトップレベルに達してきましたので、その選手が本校に入学してくれれば、夢の実現が果たせるという感触が

つかめたのが昭和５３年の福島の会津若松大会でした。目標の新潟青陵高に勝てて初の決勝進出した場面をはっきりと覚えています。勿論決勝は四條畷学園高にあっさり敗れてしまいましたが、私も部員も負けたことより第一関門をクリアー出来たことの方が嬉しかったです。

熊本に帰ってから、この勢いを持続させ更に力をつけなければと今まで以上に練習に身が入ってきたのでした。考えてみれば、日本で一番強い学校は名監督片岡輝明先生が校技と呼ばれるまでに持っていかれ、中学校から一貫して育てていられる。数多い指導者、８面も１０面ももあるコートの数、小中高短大が結びついている体制、そんな学校に対して我が校はコート２面しか取れない狭い体育館、強い体操競技部との共同使用、予算面でも全然話にならない程の違いにどうしたら勝てるのか、毎日毎日そのことばかり考えていました。その結果、大阪が３時間で行う内容をその半分の時間で終えるとか、勝負に大きく影響のある精神面を強化するなどで対応しようと考えました。不利を有利にすることの一種の開き直り精神が功を奏したのか昭和５５年香川県善通寺市でのインターハイで初優勝することができました。そして、高峯和子が三冠王という輝く成績で私に優勝の感動を与えてくれました。

勿論、この優勝は部員の頑張りが一番ですが、我々を支えてくれた周囲の方々、応援してくれた方々の力も忘れることはできません。

数々の感動を人一倍いただきました。

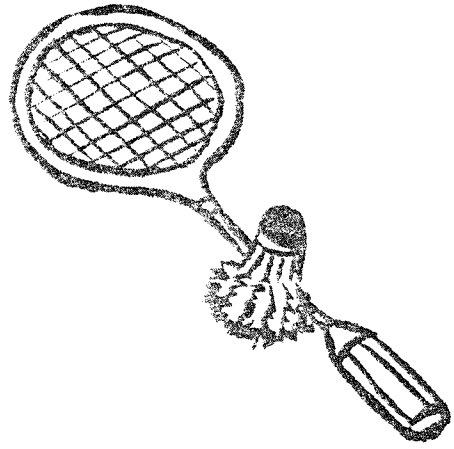
教師として監督として、高校に働いていたからこそ、このような経験をさせていただいたものと思います。赴任して３２年を経た今、平成１１年１０月は熊本での国体、平成１３年は２巡目インターハイ（一巡目は昭和４０年）を迎えようとしています。

インターハイは私の教師生活そのものです。

そして、現在も現役監督として頑張っています。残こされた教師生活もこれまで通り続けていく覚悟です。

今までお世話になりました全国の先生方にこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

全国高体連バドミントン専門部が６０年そして１００年に向けて更に充実、飛躍することをお祈りしております。



５６年インターハイを振り返って



山梨県立甲府第一高等学校
金子　寛

安間・宮康二ペア対小原・杉本ペアの第一ダブルスで平塚市での団体戦の準決勝戦は始まった。横綱と十両の取り組みという印象は拭えない状況の中で、１ゲームは13対13のセッティングから一気に18対13と日川ペアが先取。２ゲームは比叡山ペアにミスが目立ち自滅気味の展開となり、勢いに乗った安間・宮が連取した。これで「いける！」というムードになったのは事実である。言うなれば、捨て駒ペアが大金星を挙げたのである。続くシングルスはエース松野である。比叡山チームはメンバーの誰をとっても差のないエースチームであったが、松野には実績から勝算があった。前川との対戦は順当に15－２、15－９とストレート勝ち、我が日川チームは優勝したかのような興奮を覚えた。３年生の安間は、小柄ながらサウスポーで特有のストロークとセンスのよいプレーヤーであるが、団体戦では出番の考慮には入っていなかった選手である。高岡第一との準々決勝を苦戦しながらも勝ち上った直後、コーチの松野辰也氏（松野修二の父）と顧問の弦間正友先生（現山梨高校長）と３人で体育館裏に出て、準決勝戦の比叡山対策を慌しい中で練った。３人共迷い悩み基本線にしていたダブルス２つを軸にするという路線を変えるしかない。やはり松野のシングルスを核に、宮健次（兄）と土屋のダブルスで勝負するしかない。それには宮康二（弟）と安間のダブルスをトップにもっていくという決断をせざるをえなかった。練習でも組ませたことのないこのペアが大舞台の初試合で初勝利、しかも優勝への大殊勲を挙げたのだから感激したばかりでなく、インターハイの厳しさと団体戦の難しさと勝つことの背景には実に様々な要素が絡み合っているものだと後になってつくづく分かったような気がした。安間の父親も観覧席に落ち着いて座っていられなかったそうで、「仕事をしている時よりはるかに辛かった」と涙を浮かべて試合後に語ってくれた姿は忘れられない。“事実上の決勝戦であり、松野・宮を擁する日川が順当”という下馬評を耳にして、“その通りやるしかない、優勝するぞ、絶対に出来る”という半面、“いやそんな甘いものではない、一方勝てなければ格好がつかない”等と複雑な心境であったが、選手には“優勝を目指してやってきたのだ、チャンスだ、やればできるぞ！”と檄をとばしてきた。宿舎での夜のミーティングではゲーム展開のミス等ばかりを指摘し叱咤が多い私に対して、飯塚らの先輩や父兄が駆けつけ、温かい激励をしてくれたり、ベテランの松野コーチや弦間先生の一人一人に応じた的確なアドバイスに選手も救われる思いで次の試合に臨んだのだと思う。エースがいても何が起こるか分らない、決して余裕などない戦力、変幻自在のオーダーを想定しての練習、数々の実力校との練習試合、大学生や社会人等の応援指導、他県の強力チームとの練習試合、それによる選手の自信喪失、練習すればする程弱点が見えてくるプレー、故障者の続出、指導歴の浅さ、まして優勝経験がないこと等々不安材料ばかりが重くのしかかってくる。常勝校、強豪校、伝統校も毎年こうした状況の中でもはるかに苦労しながら着実にチーム作りをしているからこそ、そう言われる由縁であろうという事も後年分った気がする。とにかく無我夢中、五里霧中というのが実感であった。何よりも県外

の伝統校に学び、ベテランの指導者に指導方法、理論、選手強化、練習方法等あらゆる面で胸を借りるしかないという思いで練習試合のお願いを繰り返し行うだけだ。有り難いことに多数の学校が快く引き受けて下さり、土日、連休、夏冬休みには何度となくお邪魔した。いくつもの県では他県の高校を招いては定期的に強化練習、合宿を行っているという話を聞くにつけ、やはり大変な努力をしているのだなぁと改めて感じたものである。自校の選手にはあまりプラスにならないようなお客に非常に熱心に又誠実に選手への指導、アドバイスをして頂き、頭の下がる思いであった。こうした伝統校の中に神奈川日大高校の日向先生がおられた。何度御厄介になったか数え切れないが、いつも温和な中にも厳しい闘志を秘めた先生の言動から教えられる事ばかりで奥の深さを痛感した。夜も時間を忘れて遅くまで熱っぽく語られる一言一言に重みがある。まねしてもすぐ成果が出るはずはないと思いつつも取り入れては悩んだ。その日大高校とは関東での好敵手となり、選抜大会では日川が、６月甲府での関東大会では日大高校が勝っている。この８月が３回目の対戦で雌雄を決することになる。名監督日向先生の采配にはとても太刀打ち出来ない。観覧席は多勢に無勢、地元日大高校への応援は嵐の如く感じられた。耳にした情報は主将奈良が準決勝の奈良一条戦で足の故障とのこと、しかし豊田・杉山のエースがいる日大高校は強敵である事に変わりない。オーダーはこちらの基本パターンであるダブルス２つを固めるしかない。緊張の中で両方共ミスが目立つ立ち上がりの第１ダブルス。松野・宮康二組が豊田・伊藤組を２－０で降した。シングルスは斉藤対杉山で０－２と杉山の圧勝。いよいよ第２ダブルス宮健次・土屋組対岡部・山本組の対決。５－５、10－10、17－17の大接戦。最後は宮が決めた。第２ゲームは日川ペアが安定し始め、連続ポイント、15－３で優勝を決めた。選手一人一人と握手するのが精一杯で優勝したということより「終った！」という感じだった気がする。翌日から３日間個人戦を戦う選手には苛酷だが、最終日松野・宮のダブルスが羽田・松村（金市工）を降し選抜に続き優勝、シングルスでは松野対松浦のライバル対決、技と力の勝負となった。団体戦の全て、個人単複の全試合を戦い抜く事の厳しさを目の当たりにし、感動したと同時に、あの張りつめた“時間”は脳裏に焼きついて離れない。７－15、16－18で敗れはしたものの、最終日を飾るに相応しい「よくやった！」としか言いようのない１時間15分という好試合であった。宮健次は２年次シングルスの初戦で足首骨折というアクシデントで、松野とのダブルス準決勝を棄権し、その後も痛みと戦い続けてきただけに感慨も特別であったと思う。土屋は団体のダブルスの要として、その度胸と闘争心でムードメーカーとしてのみならずその責をみごと果たした。思い起こせば５月か６月頃比叡山の藤上監督より練習試合の依頼があり、一度はお断わりしたが、度胸を決めてお受けし殆ど全敗し、目の前が真っ暗になった事又韓国遠征というご褒美を頂いた事、日川が創立80周年を迎えた年であった事等も良き思い出である。長年専門委員長として苦労して来られた保坂和也先生に喜んで頂いた事、61年かいじ国体への励みになった事も嬉しい。これまで特に温かく御指導頂いた越谷南の大高先生、上尾の阿部先生、小松原の帰山・中山先生、日大鶴ケ丘の前田先生桐商の西巻先生、栃木の遠井・別井・森田先生、作新の村上先生、金市工の河原山・宮崎（現鹿島）先生等又各県の社会人の方々、法政大・日大等紙面が足りませんが改めて感謝しています。素晴らしいスタッフと選手に恵まれ幸運な顧問をさせて頂いた事にも感謝しています。

初優勝を振り返って



熊本信愛女学院高等学校
バドミントン部
顧問　兼子春美

「苦節25年やっと日本一」これは本校が昭和57年度全国高校総合体育大会で悲願の初優勝をした時の地元紙の見出しです。故南直治先生にとっては、正にこの通りであったであろう初優勝でした。それまでの本校の部活動といえば高校で初めてラケットを握ったという生徒達を南先生の若さと情熱によって育て上げ、全国大会へ出場していました。しかし上位へのくい込みはなかなか難しく優勝の文字は遠い存在であったと聞いています。そんな中55年に森山弘美・三由純子という２人の入学をきっかけとして、中学時代に全国大会を経験した県内の優秀な選手が相次いで入学することとなり、全国大会でも戦える布陣が出来上がったと思います。しかし、県内には工藤先生率いる中央女子高校が控えており、それを破らなければ全国の切符は当然取れるものではありませんでした。県予選の日までは随分と永かったように記憶しています。しかし私達の心配をよそに生徒達は意欲的に練習に取り組み又、怪我もなく２年連続全国制覇の中央女子に実に堂々と戦い勝利を収めました。特に１・２年生の活躍には素晴らしいものがありました。これも３年生のエースダブルスがいつも控えていることで伸び伸びとプレーが出来たのだと思います。

この試合で自信とチームワークが出来上がり、後の全国大会へ向かうだけでした。

８月のインターハイまでの１ケ月半は「優勝」の二文字が目標でした。この間、技術的なものはもちろんのこと、暑さ対策やチームワークを最も大事にしていたと思います。特に女子選手の場合、わがままや嫉妬によって雰囲気を乱してしまうことがあり、それを一番心配していました。レギュラーは試合に出られるという目標がありますが、その他の選手への気持ちのもっていき方に気を使いました。選手の担当は南先生、レギュラー以外の生徒は私の担当という形が自然に出来上がり、調整はうまくいったと思います。

開催県が隣の鹿児島県という事もあり、中学・高校の部員、学校関係者、そして保護者と大勢の応援に支えられて開会式を迎えました。しかし順調にきていると思っていた矢先に、エース森山にアクシデントが発生したのです。それは試合前日に、宿舎でのんびりとテレビを見ていた彼女が起き上がろうとして両手を着いた時に激痛が走ったというのです。幼児期に脱臼の経験があり、それが癖になっていたとはいえ試合前に再発するとは思いもしませんでした。整骨院の治療で何とかその場は治まったものの多少の不安は抱えていたと思うのですが、彼女のこの試合に懸ける強い意志が何事もなかったかのように振る舞うことで、周りの生徒にも伝わり、団結力は一層強まったと思います。しかし後日談として、本人は不安でなかなか眠れなかった言っていました。

団体戦の開始は８月２日、その日の鹿児島は特に暑く、体育館内の氷柱はあっという間に溶け、座る椅子は膚に感じる程に暑かった事を憶えています。その中にあって初優勝を目指す本校は、アクシデントはあったものの、エースダブルスの３年森山・三由組、シングルスに自信を持つ２年上村、１年生ながら初のインターハイに張り切る米津・林組の布陣で試合に臨みま

した。逆パートの結果が気になっていた中で、対戦相手が予想と違った形で上がってくるのを見ながら、南監督のオーダーは常に安全に確実にとっていく組み方でした。先生の生徒達への絶対的な信頼感が、そのオーダーの中にはっきりと読み取れ、横で見ていた私にも良くわかりました。オーダーは時には賭であることもありますが、毎日の練習の中での監督と選手の信頼関係そして勝負に対する執念というものが関係してくると言うことをつくづくと感じさせられました。

決勝戦はさすがに、優勝の二文字がプレッシャーになった事と思いがけない対戦相手（小山城南）という事で動揺したのでしょうか、トップダブルスが１ゲーム目を取られた時は、私の口の中はカラカラに乾いていました。２ゲーム目もリードされ、後がなくなったところでキャプテン森山の落ち着いた球さばきに支えられ逆転、南先生はこの時点で勝てると思ったと言われていました。３ゲーム目はいつもの大きく左右に振り、速い切り返しから得点に結びつく本来の自分達のリズムが戻りこの試合を取る事が出来ました。後は同時に進められたシングルスとダブルスのどちらかを取れば優勝という舞台が出来上がりました。シングルスの上村は、私達の心配を完全に吹き飛ばすかのように冷静な落ち着いた態度で試合を運び２－０で勝利を納め、この時点で関係者全員が待ちに待った優勝を手にすることが出来ました。

選手にとっては、勝って当然という周囲の重圧から解放された瞬間であったし、南先生にとっては「苦節25年の初優勝」であったことは言うまでもありません。そして私にとってはバドミントン部との関係が尚一層深くなる１ページでありました。今再びこの優勝を思い返してみると、いつも一番にコートに立ち生徒達を励まし続けた明るく優しい南先生と、目標を最後まで持ち続けた生徒達の力の結集がもたらしたものではなかったかという思いがします。

あれから16年がたち、あの時掲げていた「敵は自分自身の中にあり」の横断幕も少し色あせてしまったものの今も生徒達の心の支えになっています。そして現在では南先生の遺志を引き継いだ伊東先生が全国に向けて更なる挑戦を続けています。



故 南　直治先生

愛知インターハイ団体優勝して



前 奈良市立一条高等学校
バドミントン部
監 督 武田博利

1）はじめに

長年、一条高校監督をやりながら、やっと昭和５８年８月３日、豊橋で念願の優勝の栄を得ました。インターハイ団体で何回かベスト４までは進出していましたし、個人戦では前年にダブルスで優勝しまし田。また、全国選抜の個人でも何回か優勝経験はしましたが、なかなか団体での栄冠は獲得できませんでした。

当年は、全国選抜で比叡山高校に決勝で敗れていました。インターハイこそ優勝を狙おうと生徒も私も、強い意志を持ち続けていました。

2）インターハイ団体戦を戦う

当時は、ダブルス２、シングルス１という試合形式でした。この年は、本校に中学時代から活躍していた見市昌宏がエースとして存在していましたが、５月頃から体調が思わしくなく病院通いをしていました。全国にこのニュースを知られないようにも配慮しました。大会１０日程前からやっと本格的な練習が出来ました。本人もこの苦難を何とか乗り越えてくれました。

一方、小野満　哲・村山友二のダブルスが冬の厳しい練習の成果か、春頃から急成長してくれました。小野満の根性プレーと村山の冷静なプレーがうまくマッチし、本大会の２回戦から決勝までの全５試合を１ゲームも落すことなく全勝してくれました。

どのチームも、見市のシングルスを避けてダブルスにトップ選手を使ってきましたので、苦戦を強いられましたがよく耐えたものです。本当に精神力の強さで勝ったと思います。更に３名を追う他の選手、川井健二、福田誠、亀井浩之、青江信明も、それぞれ自分の立場をよく自覚し、がんばってチームを盛り上げました。

戦績を振り返りますと、２回戦は千葉南高校を２－０で、３回戦の瓊浦高校（長崎）の試合では、２－１で勝利。ダブルスで甲斐・酒井組に本校第２ダブルスが惜敗しました。４回戦の相手は桐生市立商業（群馬）、第２ダブルスで勅使河原・金子組に敗れ、またもや２－１の勝ちでした。準決勝の柳井工業（山口）の試合は、第１ダブルスに小野満・村上組、シングルス見市を使い、２－０で勝利を得ました。

3）全国制覇‥‥比叡山高校との決勝戦

比叡山高校との決勝、第１ダブルスは本校の小野満・村上組と小田・江藤組との対戦でしたが、１ゲームが勝敗の分かれ目でした。リードしたりされたり一進一退でしたが、苦戦しながらも、セッティングの末、１７－１４で勝利を得ました。その勢いで２ゲームを１５－８で取りました。比叡山の第１ダブルスにこれまで一度も勝てなかったのですが、やっと勝つことができたのは、本校の選手が相手より精神的な強さを保持していたのではないかと感じました。次の見市のシングルスも、確実に勝利を得ました。上記のような経過で夢にまでみた全国制覇をやっと実現できました。勿論、選手自身が３年間、苦しい練習に耐え、すばらしい実力を持ったことは言うまでもないことですが、それ以外にも多くの理由が考えられます。

4）優勝の要因

一条高校は、公立の進学校であり文武両道が

学校の方針でもあり、バドミントンに優れた能力があるからといって、入学試験や日頃の学校生活に何の有利さもありません。近年は、かなりゆるやかになりましたが、当時は合宿は年１回しか許されませんでした。全国大会出場の部だからといって、体育館も有利に使用できません。予算も決して多くありませんでした。

生徒会予算は、すべて生徒自身で決める民主的なやり方でした。マネージャーが生徒会で、シャトルの必要性で涙の訴えをしたこともあります。男女の部員を一人の監督が指導し、練習も一緒にするわけですから、コート付不足等などいろいろ規制があるわけです。しかし、私自身が公立高校ではこれもやむを得ないことで、そうあるべきだと考えていました。このようなハンディを逆に利用して、選手自身の自主性を生み出すことに努力しました。早朝自主練習や自主ランニング等、前向きな練習を積極的にやるように指導していました。

また、お互いに上の選手を目標にしながら、技術的に追い越そうと必死でした。全国優勝　年度も見市昌宏という中学時代から活躍した選手を中心に、彼を追い越そうと他の選手が努力したお陰げで栄えある優勝を味わえたわけです。「生徒自らの部活動」が私の部作りの目標でしたが、ある程度完成した年であったように思います。また、選手の世話をされた保護者のご苦労もたいへんであったと思います。私どもを信頼していただき、何かとご支援いただいたお陰と感謝しています。次に本校ＯＢの協力も大きいものでした。中でも、山下順次郎氏、樫木康雄氏を始めとする卒業生が、常に物心両面に選手の面倒を見てくれました。

５）近畿高体連との関わり

強豪チームの多い近畿で、お互いに合同練習や練習試合等を通じて、切磋琢磨しながら技を向上させることができた事も勝利に結びついたひとつだ思います。「近畿はひとつ」「近畿を制するものは全国を制す」が近畿高体連の合言葉でお互いに強化合宿をしてレベルアップをはかっていました。

近畿には山本先生（朱雀）片岡先生、杉田先生（四条畷学）近藤先生（柏原）谷口先生（正強）藤上先生（比叡山）浜先生（滋賀女）河原崎先生（園田学）北中先生（三田学）仲山先生藤本先生（夙川学）森先生（新宮）門間先生（新宮商）等の優れた指導者がおられ、豊富な経験を通じた指導や適切なアドバイスを得られたこと、また優秀な中学生を本校へ進学させていただいた多くの中学生の指導者にも、負うところ大であります。優勝できたのも、これらの関係者のおかげと深く感謝せねばなりません。

６）最後に

私は、平成８年３月に定年退職しましたが、長年、母校一条高校で楽しくバドミントンの指導をさせていただきました。退職に際し２００名余りの、バドミントン部のＯＢ、ＯＧの送別の宴を盛大に開催してくれました。この折、ひとりひとりの顔を見ながら、何と幸せな教員生活であったのかと感動しました。

また、私にこれまでにご支援ご指導いただきました全国の高体連の先生方に、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

一条高校も新監督の錦　秀知先生、金田美穂先生の指導のもと、近い将来、全国制覇をしてくれる事と願っています。全国の諸先生方、私と同じく、今後も一条高校に変わらぬご指導いただきますようお願い致します。

最後になりましたが、全国高体連バドミントン部が、創立５０周年記念を契機に、ますます発展いたしますことを心からお祈り致します。

再　　生



新潟青陵高等学校
佐藤秀夫

監督として最後にしよう‥‥。私はそう心に決めて昭和６０年のシーズンを迎えた。

昭和４３年のインターハイ団体２連覇（前年度阿部一佳監督で本校２回目の優勝）を目指して、広島県福山市に乗り込んだものの、決勝で東大阪（佐藤茂雄監督）に敗れ、国体でも準決勝で同校選手に敗れ、僅か半年間の監督生活に別れを告げた。２年の空間期間を置いて、昭和４６年監督に復帰、己の考える高校バドミントンを実践に移して１５年目のシーズンになっていた。

当初、自分の描いた指導理念、方針とその変遷、そして実践に当っての苦しみ（楽しみ？）を経過を追って振り返ってみるに、

◎指導理念

生徒を信ずること（生徒の能力の伸長を信じて行動すること）

◎指導方針

生徒は休んでも自分は休まない（部活は勿論のこと思考の面に大きな比重を占めさせての覚悟）とした上で

＊昭和４３年ー個別指導、新入生は学年単位

＊昭和４６年～昭和５９年ー新入生のレベルが極めて低いことから学年単位で行う（抜きん出てきた者は個別指導へ）

このような集団性主体の指導下で昭和６０年迄に得られた結果は、インターハイ・国体合わせて団体決勝進出合計１３回、内優勝４回、確かにスポーツ行動科学からみて、ＮＯ２の哲学に合致する数字ではある。

＊昭和６０年～平成４年ー学年単位で行うものと個別指導で行うものの混在

＊平成５年～ー個別指導主体

◎実践上の苦しみ

＊第一段階（昭和４３年）

前任者の作り出した栄光時代を引き継いだ苦しみ、そして挫折

＊第二段階

最低レベルからの再出発で、再度全国レベルに引き上げる苦しみ

＊第三段階

全国レベルに復帰させた直後の一文

「‥（略）‥、私の生徒との接し方の転換もあって、自主性に富んだ子がかなり出てくるようになりました。従って部内が明るく感じられる機会も多くなりましたが、厳しさの面では多少欠ける傾向が見られます。硬軟をわきまえてはいるつもりですが、未だうまくいかないものです。ある時は生徒の心に負け、又ある時は私の心に生徒が負けるといった生徒と私との心の闘いに於て、それでも生徒がスクスクと伸び、人格のつながりが出来、結果として試合に勝つ、ということが得られれば最高ですが、世の中そう甘くはありません。時は順々としてその流れを変えませんが‥（略）‥全国を見渡してみると、新しいシステムを作り出して、強くなってくる新興チーム、優秀な指導者の元に若い力を導入して、伝統の死守への意気込みを見せる古豪チーム、そういう内にあって若い力の導入もままならなず、資質に秀でた入部者の極端な減少傾向に輪をかけて、旧態依然とした体制のままでは、再び地に落ちるは火を見るより明らかなことです。世の流れにせめて遅れない体制を作りたいものです。更にスポーツの根源にある『楽しみ』を忘れ得ない指導を‥（略）‥」。

そして現在は、予言通り体制作りに遅れを取り、全く勝てなくなった「第四段階」（平成元年～）というところでしょうか。

昭和６０年、金沢市でのインターハイ、初めて妻子を会場に呼んだ。長い間、迷惑をかけてきたが、「これが俺の仕事だったのだ」と見せておきたかった。監督を辞しようと心に決めた理由の一つは、念願のジュニアクラブ作りを実行に移し、県高校バドミントン界の立て直しを計すること。もう一つは、後を任せるに十分な後継者にめぐまれたこと。の二つであった。最初の理由については、昭和４９年新潟青陵３回目のインターハイ制覇の直後、熊本県ジュニアの情報を手に入れ、こままでは大阪だけでなく、熊本にまで遅れを取ってしまうと直感、県協会役員等にジュニア育成を早急に手がけるよう要請したのだったが、当時、本校が全国トップに返り咲いたこともあって、油断というか、それほどまでに切羽詰まった状態に彼らの思考を向けさせることができなかった、ということだろう。やがて没落傾向が強まり、昭和５７年から３年間は遂にインターハイの優勝戦線からベスト８クラスに転落。６０年、ようやく本校４回目の優勝達成か？、というレベルに迄その力を戻した年であった。結果はめでたく優勝、心おきなくジュニアクラブ作りへという状況になった。ところで、二つ目の理由であるが、彼はバドミントンの実力もさることながら、理論の消化能力、生徒を引きつける求心力等、高校指導者としては極めて秀れた人物になる筈であったが、監督をまかせようとした（一旦はまかせた）直後に、期待とは裏腹にある宗教の道へと進路を変えてしまった。私のもくろみは見事にはずれ、再々度監督の道を歩むことになるのである。

平成元年、日本ジュニアナショナルチームの結成を決定。四條畷学園の片岡輝明監督を部長に、オリンピック選手育成を目標に活動を開始。殆ど期を同じくして新潟ジュニアクラブが発足。平成４年からジュニア出身者が２名位ずつ入部してくるようになった。いよいよ集団性に重きを置いた指導から、個別性主体の指導へと向かっていくのであるが、平成５年２月、ジュニアナショナルチームの合宿中に片岡先生と共に交通事故に遭遇、以来、選手に見本すら示すことができなくなり、口だけの指導者にならざるを得なくなった。これだけはどうしようもできない。早急に後継者問題を解決しなければないのだが、未解決のまま現在に至っている。

片岡先生とは、昭和５０年代に入ってからよく話をするようになったが、ジュニアナショナルチームを軌道に乗せてからは、世界の現状と将来に渡る競技レベルの分析とか、日本のこと、特に日本バドミントン協会の強化、広報等、そして高校指導者像など、その内容は細部に渡るようになった。中で特に感ずること二点。一点は個別性主体の指導下での選手本人の置かれている種々の感性、ものの考え方などと競技能力について、もう一点は日本のバドミントン界のあまりのマイナー性についてである。我が新潟青陵の再生が、かなり難しい状況に置かれているのと同様な状態に、日本バドミントン界が陥いることのないよう、遠い道のりとは思うが、高校生以下のジュニアの選手達、並びにその指導者達が夢と希望を持ってバドミントンに取り組める環境ができるよう、祈らざるにはおられない。

悲願の初優勝



千葉学園高等学校
佐藤正明

１９８６年、下関市で行われたインターハイ決勝戦第１シングルス、乳井のスマッシュがサイドラインぎりぎりに突き刺さった。初優勝の瞬間である。今、改めて試合を振り返って見ると準優勝で高松中央高校を２対１で下し、いよいよ決勝戦、この年の下関は、私たち北国育ちに味方するかのように猛暑でもなく、体力も気力もまだまだ余裕を残していたし、春の全国高校選抜大会は２回戦敗退ということでプレッシャーも無かった。ただ１試合、１試合に全力を尽くしてここまで勝ち上がってきたのである。私自身も決勝戦を前にして気負いもなく、決勝のオーダーも強気でいこうと直ぐに決断する事ができた。

いよいよ決勝戦、相手は常総学院高校である。オーダーの交換が終わり、それを見て驚いた。常総学院がエースを第２ダブルスに持ってきていたのだ。このオーダーなら２－０で勝たなければならない。そう思った瞬間、始めて重圧めいたものがのしかかってきた。生徒には無心で自分の試合に全力を尽くせと言い聞かせてきたのに、そんな私の気配を察してか、すっかり勝ちを意識してしまったようである。第１ダブルス平間・佐々木組はいつもの動きが出来ずミスが多かったが、15－７・15－11の２－０で何んとか勝利し、第１シングルスの乳井の番となった。乳井は２年生ながら本校のエースでシングルスには自信がある。必ず勝てると信じていたものの試合が始まっても、なかなか自分のペースに乗り切れない。１ゲーム目は11－８と結果的に勝利したが、最後は大分追い上げられてしまった。２ゲームに入って、ようやく落ち着きを取り戻し、最初から自分のペースで攻撃が冴えた。スマッシュ・カット・クリアーともにびしびし決まり６－０、ここで私はようやく優勝を確信。そこからの１本、１本は勝利へのカウント・ダウン。ベンチと選手が一体となって万歳と歓声で盛り上がった。

しかし、私は逆に恐ろしくなった。今、この瞬間に、もし乳井が負傷したら、目前の優勝は手元からすり抜けてしまう。杞憂とは思っても、そんな最悪の事態が脳裏から離れない。結果は、11－０の一方的な勝利で優勝を勝ち取った。長かった１８年目の悲願の初優勝であった。私は１９７０年、前任の加藤先生から監督を引き継いだ。３年計画でチーム作りに入ったが、本校のある八戸市には、中学校でバドミントン部を置く所はなく、初心者に一から教えなければならない。ラケット振り、フットワーク、シャトル打ちと時間がいくらあっても足りない。練習量は今の２倍に達しただろう。

３年後、その初心者達が目標を達成。山形県新庄市で開催されたインターハイに初出場を果たした。団体戦は京都成安女子にベスト８入りを阻止されたが、個人戦シングルスで本多励子が３位に入賞、大会最終日にメイン会場で試合が出来た興奮は、今でも忘れられない。

その後、１９７７年の青森国体を契機に本格的に強化に乗り出した。１９８３年豊橋市インターハイ、熊本中央女子との決勝戦では暑さに負けた。翌年の大曲市インターハイでは、ダブルスで２位・３位を取りながら、団体戦は県予選会でプレッシャーに潰れての、まさかの予選落ち。この時は、これまでで最強のチームを作り上げたと自負していたので、その悔しさはひ

としおであった。前年の雪辱を期した１９８５年金沢市インターハイは、全国高校選抜準優勝の余勢をかって優勝を狙ったが３回戦で敗退。優勝する力がありながら全国の壁は厚く、あきらめかけたころの初優勝であった。

指導者になって２９年、長かったようで短かった監督生活は、前監督のもとでのコーチ役から始まった。その後、全国高校総体出場を目標に３年計画のチーム作りを開始、当時のことを思うと、がむしゃらに長時間の練習をした記憶だけが残っている。あの練習の厳しさに、今の生徒なら多分ついてこられなかったように思える。自分も若かったし、生徒も全員が初心者だったことがよく作用して、私の情熱に圧倒され、黙ってついてきたのだろう。幸い３年目で全国高校総体に初出場することができ、団体ベスト16、シングルスで３位に入賞し、この感激がバドミントンへの意欲をいっそうかきたてた。

自分でもこのころから目標を全国に設定するようになった。より上を目指すために強い学校に行き指導方法を学びながら、生徒には練習の相手をしてもらう。敬愛学園（現国学館高校）の脇坂先生をはじめ、平商業の永井先生、四條畷学園の片岡先生、新潟青陵の佐藤先生など多くの学校にお世話になった。各先生によって、練習方法、指導方針、技術指導、選手管理などに違いはあるが、勝利を目指し、信念をもって指導に当たられているのは同様であった。更に大学や実業団チームなどへも出かけた。このようにして勉強した中から、今の自分なりの指導方法を確立した。決して他校の真似をするのではなく、指導者の独創性がなくてはいけない。そして、特に大切なことは、普段の練習でも常に研究と工夫をすることである。生徒達も、強い選手と練習する機会が多くなれば、それだけ視野が広まり、プレーに幅が出て、大きな目標が見えてくる。

私が、常に選手達に「勝つという結果も大事てあるが、毎日の生活や練習の積み重ねの過程がもっと重要だ」ということを言い聞かせている。人格の向上、人間形成を目指して、礼儀作法、……挨拶、返事の仕方から始まって、人を敬う気持ちに至るまで、こと細かに気配りするように育って欲しいからである。また、我がチームは、全員が親元を離れているので、三年生は姉として、一年生は妹としてつき合うよう特に念を押してもいる。日常の細やかな思いやりをお互いに持つことが、プレーだけでなく、人間として成長する糧だと思うのである。

また、自分一人の力で強くなることは不可能だということを認識させることも大事である。中学時代に鍛えて下さった顧問の先生、毎日世話になっている高校の先生方、そしてコーチをはじめ指導して頂く方々への感謝の気持ちと、それを素直に表現する態度を育てていきたい。

指導者にとって、一番大切なことは練習に対する情熱と、生徒に対する無限の愛情だと考えている。このことによって生徒のやる気をかきたて、信頼感が生まれる。練習では「自分に勝つ」、「相手に勝つ」を合言葉にして、自ら進んで厳しい練習に取り組ませている。今後、更に努力を重ね、是非２度目の栄光を目指して頑張っていきたい。また、お互いによきライバルとなるために、情熱と信念を持った若い指導者が高校だけでなく、世界に目を向けて頑張って欲しいとも念願している。

最後になりましたが、高体連バドミントン専門部の創立５０周年を衷心よりお祝い申し上げるとともに、今後のますますの発展を心から祈念して、擱筆いたします。

第４０回
全国高校総体に優勝して



本郷節生

＊バドミントンとの出会い

昭和２８年当時熊本商科大学（勤務先）の隣に熊本女子大学（現県立大学）があり、講堂で伊藤基記先生を中心に同志が集まってバドミントンが始められていた。立体感がありスピードの変化などおもしろい競技で、将来学校体育の教材として取り入れられるだろうと思い、自分も勉強してみようと思ったのが始まりである。時間を見つけては隣接の女子大に通っていた。やればやるだけ奥行きが深くバドミントンの魅力に引き込まれていった。そして、昭和２９年４月に熊本県バドミントン協会発足となり、微力ながら役員として協力する。昭和３０年に兵舎を改造した体育館が商科大学にでき、バドミントンが熊本で普及し始めたこともあり、商科大学に同好会が結成され、私が初代部長になり、学生と一緒に練習に励んだ。体育館はバレー、バスケットが使用するのでバドミントンは練習できず、早朝練習を計画、朝6時３０分に集合して掃除、準備（ラインなし、ネット張りの設備なし）をし、体育の授業がない時は１０時頃まで練習を続けていた。１日練習を休むと負けるので、競って集まって練習に励んでいた。その結果、九州大学大会で優勝するまでに成長した。体育館を使用する場合は使用する前よりきれいにして返そうという気持ちを忘れずに、「コートの中から尊い人生を拾え」「人のふんどしで相撲をとるな」「汗を流すのは自分のためであり、その代価は自分で払え」という精神面の強化を県内くまなく説いて回ったことを思いだす。その時の仲間が現在バドミントン王国を築いた同志である。近年少し低迷している競技力を向上させるためには、もう一度原点にかえって再出発しなければならないと思う。

＊バドミントン部創設の動機

昭和３４年４月に創立した熊本商科大学付属高校に大学より学校長、教務主任と一緒に付属高校に転任になった。昭和３５年、第１５回国体が熊本で開催することが決定していて、高校男子の選手を育成しなければならないし、当時男子高校にクラブがなく、開校と同時に本校にクラブが創設されたことは国体のお陰であった。小・中学校にはまだクラブはなく、高校に入学してからラケットを握る者ばかりで、勝負に勝つまでは時間がかかった。熊本では昭和５年から学校体育から社会体育に一時移行され、小・中学校に社会人がコーチとして入り、また小・中学校にクラブが新設され、社会体育クラブの誕生や技術の向上、底辺の拡大がなされ、それが「バドミントン王国熊本」の出発点となった。本校にも優秀な選手が体育館や指導者などの恵まれた環境、充実した練習内容にひかれ「付高でバドミントンをやりたい」という願いを込めて入学してくるようになった。その夢をかなえてやりたくて本格的に強化に取り組んだ。

＊指導方針

昭和５０年から協会理事長、５２年から県体体育協会理事に就任し会議などで十分バドミントン部の指導がおろそかになるだろうと予想されたが、部員は監督がいなくても支障なし、「監督にやらされた」という気持ちはなく「自分のために、自分がやるんだ」という気持ちで毎日練習に励むことが大切である。練習のメニュ

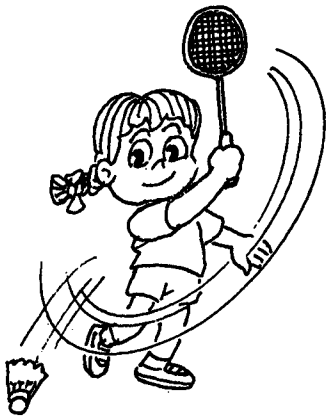
ーはコーチと相談して作成し、全員に何のためにやるのか理解させ、目標を持って毎日練習に励むように指導した。

毎日の練習は学年によつて終わる時間が違うので終わったら持久力、瞬発力を養成するため近くの小さな丘までランニング、坂道５０ｍをダッシュ２０本を消化し全員揃うまで待機し、体育館で午後８時でメニューを消化して一日の練習は終了する。日曜日は午前中練習である。休みは基本的には年間を通じて１２月３１日と１月１日の２日間で全員練習が好きで勝つためには練習第一と考えていたようである。

＊全国制覇達成

小・中・高校の一貫指導体制が確立して県外か流出は今までで１人のみで「熊本にいても全国制覇ができる」とプレイヤーは信じていたのであろう。熊本県は何回もインターハイで優勝している。私の信念は中学校で一生懸命努力して育てられた先生方から選手を送ってもらい、それをより強くして県内選手のみでインターハイ優勝を目指していた。

日本一になった第一号は第３１回大会で個人単で井上哲章（現芦北高校監督）である。その後、インターハイでは２位や３位入賞はあったが優勝からは遠ざかっていた。第１７回・第１８回全国選抜に２連覇でき、第４０回インターハイで創部３１年目にして初めて優勝を成し遂げた。部員からの胴上げされた時は感激の涙が止まらなかった。長い年月の努力が実を結び、疲れもふっ飛んだ思いでした。付属高校が好きで、バドミントンで日本一になりたいと目標を持って入学してきた選手の希望をかなえることが出来て私も満足している。やはり、勝つためにはいろいろな条件が揃い、全選手かヒーローにならなければ勝てない。日本一の監督にしてくれた部員に感謝している。尚、全面的に協力していただいた学校当局並びに保護者、ＯＢの皆様に心からお礼を申しあげます。



インターハイ３連覇までの思い出



元常総学院高等学校
バドミントン部
監督　小島一夫

＊はじめに

勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなしと言われているが、まさに三者三様の勝ち方であった。

初優勝の平成２年の宮城インターハイでは、優勝候補筆頭の熊本商科大付属のエースの思わぬ不調により、優勝が転がり込んできた。

２回目の優勝、平成２年の宮城インターハイでは、実力を出し切り勝つべくして勝った大会であった。平成４年の宮崎インターハイにおいての優勝は、準決勝・決勝とも、ひつと間違えば負けていた試合をひっくり返してのものだった。ともあれ、３連覇したわけだが、まだまだチームづくりにおいては、不満や至らなさが残っている。そして、負けた時から得る教訓よりも、より多くのものをこの優勝から学び次へのステップとしていきたい。そこで、今までの過程を回顧しながら、今回の優勝を考察していくことにする。

＊人生いたるところ青山あり

思えば１４年前に、真壁郡明野町立明野中学校より、常総学院に赴任するにあたり、まだ経験のない高校のバドミントン界で、中学校で多少の実績を残したとはいえ、どれほど通用するのかということが不安でたまらなかった。周囲の耳目を集めたこの行動に批判の声も多数あったことは事実であるが、その後、数年間の生徒との努力の間で、少しずつ賛同者を増やしてきた。また、明野を出る際に、ある同僚に、「選手も集めず、しかも公立で全国２連覇したことに価値があるのに、勝ってあたり前の私立に何故行くのか。」と戒められたこともある。しかし、生徒達の将来の夢をかなえさせるためには、あえて挑戦せざるを得なかった。

その時、「人生いたるところに青山あり」ということばが、私を勇気づけてくれた。愛と情熱に裏づけられた日々の精進があれば、どんな環境でも青山を見ることが出来ると信じて頑張ってきた。

＊意志あるところに道あり

前述した青山を求めるには、ただ頑張るだけではなく、今置かれている環境を見極め、いかなる青山を求めるかの青写真を構想しなければならない。自分は高校教師になった以上、せねばならぬ３つの柱を考えた。

一、中学からのよい選手の発掘。そして、その発掘。
二、その生徒達を勝てる選手に育て、かつスポーツマンとしての行き方を指導すること。
三、その生徒達の行く末（進学・就職）を責任を持って考えてやること。

以上、仕入・製造・販売と言っては、語弊があるが、そのことを果たして、はじめて高校の指導者といえるのではないだろうか。

しかし、簡単にその３つのことはできない。まず一においては、中学校の指導者との連携と信頼関係がまず要求されよう。二において、（これが一番大変なことであるが）生徒一人一人のカルテを作り、その選手にあった処方を施すことにより、勝てる選手の育成ができ、スポーツマンとしての行き方を自覚させることができるはずである。三において、大学の指導者や実業団の監督とのコミニュケーションにより、生徒一人一人の性格に合った進路を決定することができる。というのは、あくまでも、はずであ

る。これを、であるにするためには、強い意志に裏付けられた日々の精進が必要とされる。このことが、「知っていること」と「できること」の違いではないだろうか。

＊国破れて、山河あり？

競技スポーツとは、まさに勝負であって、勝ち負けをはっきりさせるものである。戦争であれば、国が破れれば、人は死に、荒れ果てた山河が残るはずである。しかし、スポーツの世界では、そうはならない。だが、試合に負けたときの子ども達の顔は、見るに忍びないものがある。特に、何ケ月も何年もその試合のために努力してきて負けた子ども達はなおさらである。でも、常々私は考えている。国破れて山河ありかもしれないが、我々指導者は、夢破れてもいい思い出を残してやらなければならない。それを負けた時の言い訳にするのではなく、その能力に応じた努力と結果を出してやることが大切なのである。失敗を恐れず、また次にチャレンジしていく精神を養うことは、正に前述の意志あるところに道を作るのではないだろうか。

＊失敗は成功の母

信念と言っては言いすぎかもしれないが、以上のような考え方で努力してきたのであるが、高校での全国制覇にも中学校と同じく５年の歳月をようしてしまった。初年度より、賞状をもらってこなかった大会はないが、優勝の二文字がはるか彼方に見えたことは事実である。そんな中で、負けた生徒に教えられたことがいくつかあった。冒頭で述べた「負けに不思議の負けなし」である。戦いに勝つには、いい兵器といい兵隊といい作戦である。このいずれかが欠けたとしても、勝ちにはつながらない。いい兵器しは技術のことであり、いい兵隊とは選手のことであり、いい作戦とは指導者のイメージの高さである。前２年は、全てが足りず勝てなかった。その後の２年は作戦の失敗であった。すなわち、私自身の問題である。勝てるはずの試合を落した悔しさは、筆舌にかたくない。その悔しさが、初優勝をもたらしたのだと思う。

＊成功は新たなる成功の母を生む

転がり込んだような初優勝のおかげで、勝ちパターンというものを知ることができた。また、そのことにより、選手との信頼関係もでき、選手の自覚も高まってきた。いわゆるチームの勢いである。その勢いの波に乗り、２連覇はできた。しかし、勝って当たり前になってしまうと前年度に経験のない生徒達は勢いを殺す敵（プレッシャー）が出てくる。それが今年の３連覇の生徒達であった。事実、連覇をかけた春の全国選抜で、準々決勝の札幌第一戦でマッチポイントを握りながら惜敗。同じく関東大会の決勝での逆転負け。これは、プレッシャー以外の何者でもなかった。しかし、最後の土壇場インターハイには勝ちたかった。前２回の負け試合から得た教訓をふまえ、チャレンジャーとして大会に臨ませたが、やはりプレッシャーが大きくのしかかった。それが、準決勝、決勝であった。そのプレッシャーをはねのけるための努力（作戦）は、子ども達一人一人に今までの努力の過程が間違いでないこと、同じようにして先輩達は勝てたことを知らせることにより、それ以上は出来ないが、それだけは出来ると自信をつけさせてやることであった。これが初めて決勝に出たチームであったなら、おそらく優勝は出来なかったであろう。過去２回、優勝したチームの監督の言葉に、子ども達は我を取り戻しのだと思う。すなわち、成功は成功の母を生むとになったのである。

＊最後に

いきかがりとも思える私と選手との活動に、学校も妻子も、そして保護者も理解を示してくれ、協力してくれたからこそ３連覇あったのだと感謝している。

創部、優勝、思い出



佐賀女子短期大学付属
佐賀女子高等学校
バドミントン部
監督　築地孝彦

昭和４７年秋、校長より「話があるから校長室まで来てくれないか」との連絡があった。当時、私は、赴任３年目の若輩者で好き勝手に事をやっていたので、また、何か小言を言われるのかなあと思いつつ、校長室へ入っていった。

「あなたは、バドミントンという競技を知っていますか」

「体育の教員ですから知っています。なぜでしょうか」

「今日、県庁へ行ったら、５１年の国体を開催することになっているが、バドミントンという競技を佐賀では高校生がやっていないから、本校で部を創ってくれないかと相談をされたから引き受けてきた。誰か、やれそうな者はいないかなと思ってね」

「私も知ってはいますが、やったことはないし、他に本校でバドミントンは……」

「あなたは、今、顧問はバレーボールだったかね」「はい」

「バレーボールは、チームプレーで部員も大勢いるしチーム数も多く、勝つのは大変だろう」

「大変ですけど、現在、県でベスト８には入っていて、来年の県高校総体ではベスト４になるように頑張っています」

「それはご苦労さん。しかし、優勝するのは難しかろう、どうせ苦労するなら優勝できる種目をやってみては、県内誰もやっていないし、指導者もいないんだったら、あなたの様な若い人が勉強してみてはどうね」

「バレーボールの方は……」

「バレーボールの顧問は誰か代わりはするだろう。バドミントンを覚えるためだったら研修に行ってもいいし、費用も出す、強くなったら中庭に屋根を付けたら雨の日も練習出来るだろう。これからのスポーツだから若い人がやってくれた方がこれからのことも考えて一番いいんだよ。それでは頑張って下さい」

と、いったような校長（故　西村芳雄）の説得（強制）でバドミントン部の顧問をまかされてしまった。

バドミントン部の顧問になされてしまったものの、何をまずやらなければならないのかを考しまった。バドミントン部といっても、まず部員がいない、練習場所がない、用具がない、練習方法がわからない、競技方法がわからない等々、何にもない、全てがゼロからのスタートを次のことから始めた。

＊部員の確保－１・２年生に体育の授業で説明し部員を募る。
－中学校へ出向き体育の先生方へ運動能力が高くバドミントンが出来そうな生徒への本校への進学を依頼。

＊練習場所－中庭（コの字型の４階建ての校舎に囲まれた場所）
風があまりないから出来るだろう。

＊練習方法－当時は少なかった指導書を読みあさる。
理解に苦しんだ。

＊用　　具－移動式ポール、ネット、ラケット、ナイロンシャトル等
（現在の授業程度？）

未経験の私は、以上のようなことぐらいを

思いつき、活動を始めた。

しかし、活動を始めると未経験者の私には、予想もしなかったことが次々と起こってきた、部員は５～６名集まったものの、この部員達もバドミントン競技初体験、風がないはずの中庭でもシャトルを打てば変化する。また、少しづつバドミントンの内容がわかってくると準備した内容がものすごく幼稚なものだったことに気づいた。幸いに、国体がらみの創部であったことと、４９年の嬉野・塩田町での全国高校総体開催のこともあり、県内各地で講習会が開催され始めたので、全部の講習会に参加するつもりで昼夜にかかわらず受講していった。また、県の指導者育成事業が始まり、私は、大分県の昭和女子高校へ１週間、生徒と一緒に派遣してもらい、吉田先生より指導方法、指導理念、部の運営方法や生徒との接し方など事細かく熱心に指導いただいた。このことにより、本校のバドミントン部の基盤が出来上がった。

昭和４７年にスタートした本校は、翌４８年スタートした県高校総体で優勝することが出来た。しかし、本当のスタートは昭和４９年の全国高校総体、５０年の九州大会、５１年の国体が本県で開催され、選手や補助員として参加し、一流選手や同じ高校生の素晴らしいプレーに接したあの感動からであったような気がする。

国体が終わり、それまでいろいろな方々から教えを得て、私もいくらかなりとバドミントンがわかってきたことと、何人かの協力者に恵まれ、高校生の九州大会では生徒達の活躍で徐々に上位の成績を上げることが出来るようになって来た。

全国大会においては、昭和６３年全国高校総体、平成元年全国選抜大会・高校総体、平成２年全国選抜大会において第３位という成績を上げることが出来てきた。

平成２年、東京での選抜大会から帰校すると大変なことが持ち上がっていた。新学期より現在の体育館を取り壊して新しい体育館を建てるということが決まっていた。体育館が新しくなるとバドミントンコートが４面から８面作れて大きくなるので嬉しいことではあるが、さて、その工事期間中、ベスト４を４大会続けてきて、次はこれまで阻まれてきた決勝戦へ進出できるよう頑張ろうと生徒達と約束したばかりの時に、練習場所がなくなってしまうことになる。体育部顧問の全員の熱意とバブルの最盛期で建築材料不足と工事関係者の不足で工事は、６月の県高校総体以降となり、その間に天井は７m前後でコート間も壁までも狭いが３コートある場所を確保し、土・日など休日は周辺の会社の体育館や小学校の体育館が夏の全国大会までは借りられる見通しがついた。

いよいよ、全国大会が近まり本校バドミントン部は、ブルートレインと新幹線を乗り継いで宮城県塩竈市での全国大会を迎えた。

この大会で本校が優勝出来たのには、次の３つのポイントがあったと思う。

１．１回戦は不戦勝であったが２・３回戦の会場が休日に何度か練習会場として使用した小学校の体育館とそっくりで練習のような気持ちで全国大会の試合へ臨めたこと。

２．選抜優勝校であり九州でのライバル熊本信愛と全国大会の決勝戦で対戦するんだという信念を持ち続けたこと。

３．夏休みに入っての練習で生徒達の気持ちが対信愛で高ぶり過ぎた時、埼玉栄戦想定のオーダーで練習できていたこと。

予期せぬ困難の中で自らが描いた目標に向かって一生懸命練習して来た生徒達が掴んだ幸運と実力を１００％出せての優勝、日本一であった。素晴らしい思い出を残して生徒達へ感謝し、次への思い出作りを目指して頑張って行きたい。

第４４回インターハイを振り返って



香川県立高松商業高等学校
バドミントン部
監督　岡野佳浩

平成５年、この年は香川県で国体の開催される年であった。また、私にとって教員１０年目という区切りの年でもあった。その年にインターハイ男子団体で優勝できたことは大きな弾みになった。その年のことを振り返ってみたいと思う。

まず、平成５年３月に新潟で行われた全国高校選抜大会で私は、教員１０年目にして初めて全国大会の決勝戦に進出することが出来た。私自身は高校在学中に選抜・インターハイ・国体と３回決勝に進んだことはあったが、自分の指導した選手達が決勝に勝ち進んだことはなかった。この時は選手以上に自分が緊張していたと思う。この年の我がチームの選手は、その３年前、香川県坂出市で行われた全国中学生大会で優勝したメンバーであり、素質のある選手ばかりであった。この中には皆さんもご存知の選手もいるのではないかと思うが、吉川大介、久保敬文、薄智彦、林祐介、村上和隆、松村憲二郎、瀧裕明の７人であった。後に全員大学へ進学し、それぞれ主将を務めるなど大学でも活躍をした。さて、決勝戦の相手はというと当時、日の出の勢いの常総学院であった。第１シングルスを取り、第２ダブルスを取って先に王手をかけたが、常総小島監督の前に残りシングルス２本を取られ２－３で準優勝に終わった。しかし幸いなことに個人戦シングルスは吉川大介が優勝することが出来た。当時の吉川は、すべてシートサービスから入り球のキレも鋭く、まったく他をよせつけない。そんな感じのプレーであった。また、バドミントンに対する考え方が非常にしっかりしており、ショートサービスについて次のような文章を書いたことがあった。

「ショートサービスというのは、サーブからいきなり攻撃しているのと同じである。なぜ攻撃であるのか。それは、誰でもわかる点はネットより下でシャトルを取らすところである。しかし、難点を言えばショートサービスはネットの近くでシャトルを取られるところである。そうすると、シャトルに対する反応の速さが必要だということは避けられない。ならば、ショートサービスは守りではないかという人がいる。しかし、ショートサービスをそんな浅い考え方で見るのはまだ研究心が足りない。僕のショートサービスは三次元である。奥行き、高さ、方向という打分けをすれば相手はなかなか良い球は出せないのである。

ショートサービスの難点は、ネット前に神経を集中しておかなければならないことである。しかし、ネット前の処理に勝つと相手は、もっと激しく打とう、もっと速い球を打とうとしてショートサービスに意識をおきはじめ、だんだんとレシーブスタンドの位置が前に寄ってくる。そこでのポイントは、相手の目と飛び出してくる足に注目することだ。そうすることによって相手が飛び出してくる時がわかる。そして、慌てずにゆっくりとした同じフォームでシャトルに当たる瞬間の手首だけでピンサービスを打つ。いずれにせよ、相手がショートサービスに神経を使いでしたら、それは攻撃なのです。人間の集中力というものは無限ではない。ショートサービスから崩していくことこそ、シングルスを楽に勝つ最大の武器である。」

高校生でありながら、ここまで真剣にバドミ

ントンに取り組んでいる選手は存在しないのではないかと感じさせられた。こんな選手がいるのだから夏のインターハイでは何とか優勝したいと強く思った。

こうしてインターハイ優勝を目指して再度練習に励んだ。幸運なことに、１０月に地元国体を控えていたので強化費やシャトル代にはあまり苦労しなかった。しかし、自分なりに創意工夫をして練習を組み立てた。

例えば、

段階別個別指導ー基礎・弱点は個々違うので、合同練習以外に個人的に練習をさせる。

環境作りーインターハイの暑さを想定し、体育館にストーブを持ち込んだ。

練習試合ー有名・名門校との練習試合を行い、勝つことより自信をつけさせた。また、実業団へも数多く遠征した。

この他にもいくつかあったと思うが、忘れてしまった。

こうして８月、いよいよ栃木県宇都宮市でインターハイが行われた。目標は団体優勝である。８月３日、準々決勝・札幌第一、準決勝・関東第一をそれぞれ３－１で破り、決勝戦を迎え。相手はやはり選抜優勝の常総学院であった。しかし、常総は主力２人をエントリーミスで出場させることが出来なかった。それでも決勝に進出してきた常総の底力には驚いた。時間が大幅に遅れていたこともあって、３コート並行しての決勝戦となった。ダブルス２試合が終わった時点で１－１となったが、第１シングルスが長引いていた。第２・３シングルスが始まってもなお第１シングルスが行われていた。第２シングルスではエース吉川が１ゲームを先取し、２ゲーム目の１２－２の時にようやく第１シングルスが終わり、２－１とリードした。あと３点で優勝だと思ってからの時間はとても長く感じられたが、結局、吉川が２ゲーム目も取り、初優勝することができた。その瞬間手が震えたことを覚えている。優勝を実感出来たのは、団体戦の表彰の時、私の隣には女子の常勝四條畷学園の片岡輝明先生がいた。その時であったと思う。この団体優勝が弾みとなり、個人戦でもシングルスで吉川が準優勝、久保がベスト８、ダブルスでも吉川・薄組が３位とすべて入賞することが出来た。これで私も選手もやや気の抜けた感があったと思う。１０月に地元で行われる国体まで気持ちを持続しなければいけなかった。私も選手も気を抜いたつもりはなかったのだが、どこかにスキが出来たのではなかったかと後で反省した。国体では地元の期待に答えられずベスト８にとどまった。この時も目標は優勝であった。試合に負けた時、それまで味わったことのない屈辱を味わった。

今年はインターハイが地元高松で開催される。本校の体育館も試合会場となる予定である。５年前優勝したインターハイ。負けた団体戦を思い出し、今度は地元でぜひ優勝したいと思う。また、現在本校はインターハイに男子は１２年連続、女子も昨年４回目の出場を果たした。これからも常に努力精進し、全国・世界に通用するような選手を育てていきたいと思う。

全国高等学校総合体育大会に優勝して



埼玉県立上尾高等学校
バドミントン部
監督　関根　務

全国高体連バドミントン専門部創立５０周年おめでとうございます。各代々多くの方々が大変なご苦労を重ね、積み上げてきたものと思われます。改めて敬意を表したいと思います。また、その記念誌のページの中に、私も寄稿させていただき、たいへん光栄に思います。

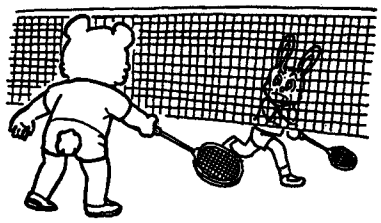
全国高校総体学校対抗に平成６・７・９年と３回の優勝を遂げることができました。各世代の選手に恵まれ、また、多くの方々に支えていただき、成し遂げることのできた優勝でした。それらのどの決定瞬間も、今だにはっきりと自分の脳裏に焼きついており、映写機を回し写しだすかのように語ることが出来ます。

それらの中で私が監督として初優勝を遂げた平成６年第４５回高校選手権（富山・高岡）には、さらに特別な思いがあります。私の先代監督阿部秀夫氏（現日本ユニシスバドミントンチーム監督）が上尾高校を全国の強豪チームに押し上げ、多くの名選手を輩出し、なおも、ゆるぎないバドミントンの情熱で実業団チーム監督として上尾から離れて３年目、私自身、上尾高校監督として５年目の夏でした。監督として伝統上尾を受け継いだことは、思った以上に大変なものでした。そして、上尾存亡のかかっていた厳しい時期でもありました。意に介さぬことを言われたり、また、「もはや、上尾は‥」と言われていると耳にしたりしたこともありました。周りから足を引っ張られ、悔しい思いも何度もありました。そういった自分にも厳しい時期に巡り合えたのが、初回の優勝メンバーでした。山田君（現早大），清元兄弟（現ＮＴＴ東北）を中心とした選手です。中学時代の実績としては、２年生であった中村君（現筑波大）が全国中学大会シングルス２位という実力者でしたが、他は、他校に比較できるものほどではありませんでした。けれども、その能力は目を見張るものがあり、可能性は楽しみな選手達でした。すでに、２年生のインターハイ県予選で、この年の春の全国選抜で３位となった越谷南と大接戦の末に打ち破り、また、エース格であった山田君は県予選２位ながらもインターハイ出場を成し遂げました。そして、波にのって望んだインターハイでは、準決勝まで進出し、当時、四連覇のかかった茨城常総学院と相対し、敗れはしましたが、十分に来年に期待の持てるチームに成長していました。シングルス出場の山田君も、春の全国選抜シングルス２位の草井君（岡山瀬戸南）を敗って、２年生ながらベスト８まで進出し、来季の有力なホープに名乗りを上げました。しかし、本当の道はここからでした。監督優勝経験のない自分にとっては、壁だったのです。大型ホープと騒がれ始めた山田君が、なかなか結果を出すことが出来ませんでした。１１月に地元上尾で行われた全日本ジュニア大会では、決勝まで進みながら山口君（関東第一）に敗退。春の選抜では、団体戦は比叡山に、個人戦は酒井君（近江兄弟社）に負けてしまいました。なかなか勝てず、焦りもあり、どうしたらよいかと迷うことも多くなってしまいました。誰もが優勝したいと思っていました。苦しいことは、いといませんでした。練習が終わってからも、個々に取り組んでもいました。しかし、大会になると結果がでませんでした。インターハイまで２ケ月となった６月に行

なわれた関東大会でも、決勝で常総学院にダブルス２つを落し負けてしまいました。チームはシングルスの柱、山田君、ダブルスの柱、清元兄弟にかかっていました。好、不調の波があり、我慢しなければならない時にくずれてしまうという具合でした。いよいよ、インターハイに向け最後の合宿という時になると、山田君はどうしてしまったのかというぐらい絶不調となってしまいました。余裕がなく「これが最後だ。これで勝たなければ」の思いが強すぎるようでした。そのプレッシャーに押しつぶされそうに見受けられました。何とかリラックスできるように気を使いましたが、どうだったでしょうか。清元兄弟のダブルスは調子が上がっていました。何度か他の者との組み換えを行ったりしましたが、やはり、うまくいかず、「もうしょうがない、ダブルスは清元兄弟だ。」という、一つの開き直りみたいなものができ、本人達も腹をくくった安心感みたいなものができたようでした。ただ、崩れかかった時にということで、サーブのサインの指示、実践といった練習を行い、自分が司令塔になりました。救いは、２年生の中村君、増田君の調子がすこぶる良かったことです。

そして、本番のインターハイです。オーダーの読みも良く、余力を残し決勝まで上がることができました。決勝は、宿敵常総学院でした。シングルスには、調子の良い２年生２人を第一、第二に、エース山田君を最後に。ダブルスは、清元組を後にし、第一ダブルスは平塚・山田組といった布陣で臨みました。中村君がトップシングルスを取り、心配していた清元組も崩れることなく完勝し、王手をかけました。第二シングルスの増田君、第三シングルスの山田君が並行し試合に入りました。山田君は、動きが硬くリードを許していましたが、２年生の増田君がその後の個人戦シングルス準優勝の永山をファイナルの大接戦で勝利し、６年ぶり３回目の全国制覇、自分自身が監督としては初の優勝をとげました。その後のシングルスでは、山田君はようやく吹っ切れて、自分本来の力を出し切り、個人戦初のタイトルをものにし、ダブルスにおいても清元組が準優勝を遂げました。振り返ると苦しい年月でしたが、自分にとっては、最高の思い出を作ることができました。自信を失ったことも何度もありましたが、多くの方々に支えられ、成し遂げることのできたことだと思っています。

以後、７年に優勝、８年に準優勝。９年に優勝を遂げました。今後も、このことを財産に頑張っていこうと思っています。最後になりますが、全国高体連バドミントン専門部のますますの発展を祈念し、また、支えていただいた多くの方々に感謝し、終わりといたします。



“日本一”雑感



富山県立高岡西高等学校
平成9年4月から高岡女子高等学校から校名改称
バドミントン部
監督　清水芳隆

正直に言って、“高校日本一”になるのにこのように時間が掛かるとは思ってもいませんでした。私が育った高岡市では、昭和２０年代後半から日本製紙（旧十条製紙）が実業団界で君臨していました。昭和３３年から昭和４８年頃のインターハイでは、不破先生（故人）率いる富山商業、善光先生（故人）率いる高岡商業、そして、本校が全国制覇をしていました。実業団では、金森藤平（株）、高岡市役所が全国優勝しておりました。“日本一”そのものが現実的なものであって、夢物語ではない環境だったのです。

したがって、自分が監督としてチームを率いても、“日本一”は達成可能な範囲であり、「必ず成れるもんだ」と思っていました。ですから、“日本一”達成への課題は、「自分の目にかなった選手をいかに獲得できるか」「選手をいかにその気持ちにさせるか」ということでした。富山県は、毎年のように全国制覇するに十分な素質を持った選手をつくしのよう輩出していました。

しかし、残念なことに私に監督としての力量に欠け、彼女達を本校に一同に集めることが出来なかったことが、“日本一”を達成出来なかった最大の理由であったと思います。

平成５年４月、山田姉妹を中心に本校のジュニア教室で育った、石橋、竹本、岩瀬、清水のメンバーが揃いました。入学式後の４月１７日には熊野神社で瀬尾校長、向井バドミントン部後援会長、清水富山県バドミントン協会長他、保護者が一同に会して、“日本一”の必勝祈願をしました。スタートから顧問の番留先生とともに“日本一”狙いを宣言したのです。

その後３年間、選手のトレーニングを考える過程で金久富山大学助教授（現東京大学大学院助教授）からいただいたアドバイスは、選手のみならず私にとってもトレーニングに対する考えに大きな改革をもたらしました。週１回のペースで全くシャトルを打たないで、トレーニングのみの日を設け、県の総合体育センターへ通いました。

また、選手の健康管理をするにあたっては、姫野病院長、片岡整形外科病院長、山田高岡市市民病院整形外科部長各先生のご指導、さらに桑守富山女子短期大学教授の栄養指導等多くの方々のご協力を得ました。

大会当日の表彰式が終わり、宿舎に帰った時、片岡先生（四條畷学園）と佐藤先生（新潟青陵）が祝福に来られました。長い間、ライバルとして、バドミントン界の先達者として尊敬してきたお二人だっただけに大変感動いたしました。特に、片岡先生から「選手が全国から集められたり、留学生が登場する時代に、県単位での手作りのチームとしての優勝に価値があるよ」と言われ、本当に嬉しく思いました。

しかし、これまでのこの“日本一”を何度も繰り返し獲得されている両先生の「勝負に対するこだわり」、「選手を育てる限りないエネルギー」、「バドミントン競技へのあくなき追求心」には改めて尊敬の念をいだきました。

現在は、優勝した当時のバドミントン競技に対する考え方やトレーニングに対する考え方に工夫を加え、広く中国や韓国との交流の中に多くのヒントを学び、より高いバドミントン競技の向上を目指しています。

監督の麦谷先生と共に、「ああでもない、こうでもない」と試行錯誤しながら、“２０００年富山国体”に標準を合わせて毎日を送り、理想とする選手の育成を期待して頑張っています。

インターハイに優勝して



熊本県立八代東高等学校
バドミントン部
監督 権藤浩二

こうして記念誌の原稿を書かせていただいていると平成８年夏のインターハイが鮮明に浮かんできて目頭が熱くなります。夢にまで見た団体全国制覇の喜びを実感できた。うだるような暑さの体育館での胴上げは生涯忘れることが出来ません。

昭和５９年３月、日体大卒業に際し、選手として極める実業団への道と教職への道との選択で大いに悩みました。結局、自分自身が体験させてもらった何事にもかえがたいインターハイ優勝の感動を郷里の高校で一人でも多くの生徒達に経験させたいという思いで後者を選んだのです。

最初の赴任校、県立熊本第一高校ではインターハイ出場を夢に見ながら指導に当たりましたが、伝統校ひしめく熊本県内でベスト４に進出するのがやっとの状態でした。しかし、ここでは初心者として入部してきた生徒達が一生懸命バドミントンに打ち込む姿に様々なことを教えられた気がします。次の県立芦北高校では、赴任５年目にしてインターハイ決勝まで駒を進めることが出来ましたが、強豪常総学院に無念の涙をのみました。この悔しさを次の年にと考えていた矢先に県立職員の宿命である人事移動が下り、後ろ髪を引かれる思いで、県立八代東高校に赴任することになったのです。

当時は八代東高校は、女子部員が２０名程度、男子部員が新１年生４人のみで、そのうち一人は初心者ということもあり練習らしい練習がなかなか出来ない状態でした。しかし６月にある県高校総体にはどうしても出場したいという気持ちから、他の部（野球部・陸上部）に助っ人を頼み、ようやく参加できたのです。

赴任２年目、有望な新入部員を迎え、全国で戦うためのメンバーが揃ってきました。インターハイ出場を目指して県予選に臨みましたが、１・２年生だけの経験浅いチームということで学園大付属高校に完敗しました。しかし、１１月の新人戦では県を初制覇し九州予選を突破、全国選抜大会に出場することが出来ました。八代東高校にとっては初めての全国大会出場でしたが、選手達の予想以上の頑張りでベスト４に進出することができました。

３年目は、県で優勝して初のインターハイ出場を目指しましたが、またしても決勝戦で学園大付属高校の前に敗れ、生徒共々言葉では言い表せないほどの悔しさを味わいました。私の家に生徒達を下宿させ、食事の世話をしてくれている妻と試合終了後に二人で流した涙は、今でも忘れることが出来ません。勝つことの厳しさ、難しさを改めて思い知らされました。この年の新人戦においては、前年度同様に県・九州を制覇し、２年連続で全国選抜大会ベスト４に入賞することが出来ました。

４年目、必勝の体制でインターハイを目指し県予選に臨みました。決勝戦では学園大付属高校と３年連続の対戦となったのですが、生徒達は前年度の教訓を生かし、すさまじい気迫で相手を圧倒し、念願のインターハイ出場のキップを手にするこが出来たのです。

この年のチームは、前任校の芦北高校時代を含めても、全国制覇の夢を実現できるチームだと私は確信しておりました。しかし、団体初出場であり、どんなことが起こるかわからないのがインターハイですから、生徒達の自信を高める良い方法はないものかと考えました。そこで思いついたのが、私の前任校である芦北高校の卒業生を集めての合宿でした。彼らは、全国選

抜大会では見事に優勝を果たしてくれましたが、前述の通りインターハイにおいては優勝を目前に涙をのんでいる選手達です。インターハイの厳しさを一番知っている彼らの力を借りて宿することが、全国制覇への手がかりになるのではないかと考えたのです。

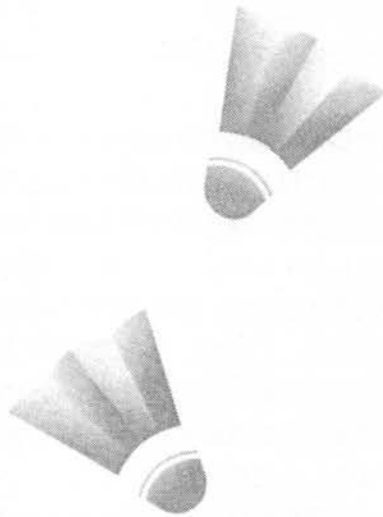
芦北高校の卒業生は、関東・関西の学生としてまた実業団の選手として活躍していましたが、合宿の主旨を皆が理解してくれ、忙しい中意気に感じて全国から集まってくれました。自分達があと一歩のところで果たせなかった夢を後輩に託そうと、出身高校の枠を越え皆の協力で充実した気迫に満ちた素晴らしい合宿となり、全国制覇への手応えを感じました。

万全の状態で山梨県甲府市に乗り込みました。盆地ということもあり、覚悟していたものの体育館内は４０度を優に越え、脱水症状を起こし倒れる選手が出るほどでした。まさに格闘技さながらの体力と精神力がぶつかり合う激しい戦いでした。

試合が始まり１・２・３回戦を勝ち進み、一番の正念場と予想していた石川県代表の金沢市立工業高校との準々決勝を迎えました。第一単を皮切りに激しい戦いが展開されましたが、生徒達の気迫が相手チームを上回り３対２で辛勝したのです。接戦をものにしたあとの準決勝では、波に乗り南北海道代表の札幌第一高校に３対１で勝ち、決勝に駒を進めました。相手は、３連覇を狙う埼玉県代表の名門上尾高校です。試合直前、皆で円陣を組み気持ちを一つにし士気を高めましたが、この時の生徒達の目の輝きは今だに脳裏にはっきりと焼き付いています。試合が始まり、１年生の大束（真）が第一単で逆転勝ち、第二複の大束（忠）・木下組も圧勝、エース大束（忠）が、第三単で勝ちを収め夢にまで見た、悲願の全国制覇を初出場で達成することが出来たのです。

このインターハイ優勝を達成するまでに、生徒達から様々なことを学んだ気がします。特に第二複として頑張ってくれた３年生の平田・小嶋組は２回戦より決勝まで出場し、１勝も上げることが出来なかったものの一戦一戦力を付け、準決勝・決勝では見事な試合を展開しチームを盛り上げてくれました。試合の中で、生徒達が予想以上に大きく成長している姿を見て、胸が熱くなる思いでした。また、ベンチに入れなかった生徒達が２階席で声をからして応援している姿を見て部員全員の気持ちが一つとなった時大きな力を生み出すことを改めて学び、感動を覚えました。

今振り返ってみると、生徒達の日頃の努力は勿論のこと、学校、地域、ＯＢそして保護者の皆様の協力によって初めて、全国制覇が達成できたと感謝の気持ちで一杯です。初めての全国制覇で得た貴重な経験を生かして、今後も初心を忘れることなく、バドミントンを通して生徒達と共に人生を学ぶ姿勢を大切に持ち続けたいと思います。



埼玉栄高等学校バドミントンチームの指導

「平成8年度・9年度の優勝の記録」



埼玉栄高等学校
バドミントン部
監督　加藤　勝

全国高体連バドミントン専門部創立５０周年おめでとうございます。戦後、多くのスポーツ種目が様々な形で全国大会を開き、夢と感動を若人に与え今日の日本の繁栄を築き上げる大きな原動力となった。特に全国高体連が実施するインターハイは最大規模で展開される一大イベントとなった。ここまで育て上げた先人の智恵に敬憚し、関係各位の御苦労に感謝申しあげます。

１．高校での１０年間

私が、数々の全国中学校大会での健闘を果たし埼玉栄高校に移ったのは、昭和６２年であった。昭和６３年、井田貴子（96・97年全日本総合、単優勝）を中心に新チームを組織。全国高校総体優勝を目指し始めた。平成の幕開けとなった。

年　度	全国高校総体	その他の大会
平成元年	単２位（井田）	選抜　団体　２位 選抜　単　優勝
２年	団２位・単優勝	国体　優勝
３年	団３位	
４年	団ベスト８	国体　２位
５年	団３位	
６年	団ベスト８	
７年	団３位・単優勝	選抜　複　２位
８年	団優勝	国体・選抜　優勝
９年	団優勝・複２位	
＊全日本ジュニア女子単優勝３回（平2・8・9年度）		

以上が埼玉栄高校女子チームの主な成績である。幸いにして、全国高校総体女子団体では平成８年・９年と連続優勝させることが出来た。

２．平成８年度（山梨県）の優勝

１）全国戦力の分析と選手作り

連続優勝を何度も飾り、全国高校バドミントン界のトップを走り続けてきた四條畷学園、智将率いる新潟青陵にかげりが見え、常総学院も戦力ダウン、熊本信愛を頂点とする九州勢と北信越、旭川実、埼玉栄が優勝を狙える戦力状況である。

平成７年度全国選抜旭川大会で地元有利の応援に苦杯を喫したのを機会に選手の体力、技術だけでは勝てないと目標を作り直した。

「その時々に屈しない精神的な強さを維持しゲームに集中させること」と目標を立てた。戦力としては、柱になる井川・岩脇と成長株の久家・広岡がおり、８０％以上の優勝への確信はあった。問題はアクシデントと当日の力が出しきれる精神面であった。

夏のインターハイは団体２日間、個人３日間である。団体優勝を狙うには、２日目に主力選手が決勝でしっかり戦える体力を温存することである。２日目は３試合で単複合計６試合になる。長時間にわたり高温多湿の中で、昼食も摂らずに「集中力」の戦いになる。

２）インターハイ優勝への１ケ月

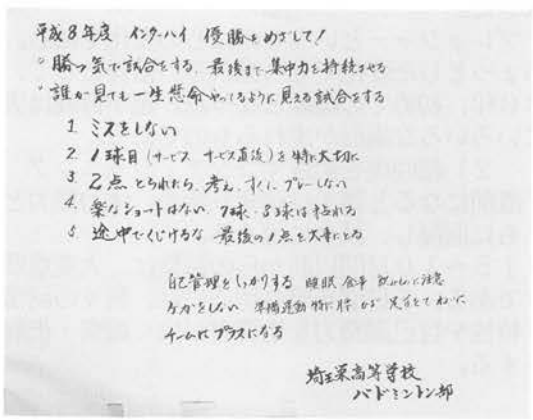
７月の学期末試験後、全国優勝をみんの力で達成しようという監督からの意志を表示する。全員の気持ちの向上・凝集を図るために次の３点に細心の注意を図った。

①掲示物を作り、練習場に掲げる
＊練習目標と留意点ー大目標から小目標
＊インターハイへの日めくりー全員で作る

②ミーティングの活用
＊日常的にはミーティングは行わないが、インターハイに向け、練習の前に毎日行い同じことを繰り返し、徹底させる

③事故管理をしっかりさせる
＊ストーブを練習場所に置き、熱い中で試合があることを意識させる。
＊飲み物は指導者が用意する。
＊炎天を走らせる。

等細々とした筋書きを持った指導をする。



3）平成８年度女子団体の結果

・準々決勝　埼玉栄　３－０　旭川実業
・準 決 勝　埼玉栄　３－１　熊本信愛
・決　　勝　埼玉栄　３－０　金沢向陽

以上のはずであった。しかし、実際は、決勝ではS1･D1･D2･S2･S3 と２コー並行試合という展開でS3 まで試合が行われた。同じく決勝でもS2･S3･D2 が接戦をしている間に同時展開S2･S3 が同時に勝ちを収め、D2 は途中でキケン扱いとった。選手には誠に申し訳ない試合運営あった。

３．平成９年度（京都府）の優勝

１）突然のプレッシャー（自己崩壊）

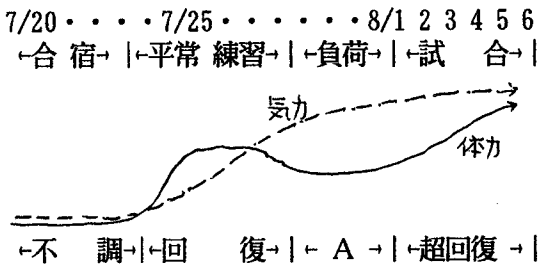
平成８年のインターハイ優勝、１０月の国体優勝、３月の全国選抜優勝と３年生の勢いに乗り、２年生（新チーム）も走り続けた。６月の関東大会優勝までは順調にチーム力が上昇。いよいよ昨年同様あと１ケ月の勝負、期末試験後の仕上げ期となった。しかし、そう甘いものではない。全国大会に出場経験の少ない村上選手を急激にプレッシャーが襲った。ダウン、食事が食べられない。次にキャプテンの久家選手が責任感から精神的重圧で不安定となり、３年生４人が練習に集中出来ない。７月１０日過ぎ先輩が多数応援に駆けつけ合同練習をするが、“食べられない。動けない”の連日で、思うような仕上げ練習が出来ない。７月２０日からの仕上げ合宿“これでは合宿はしない”の一言で選手は変わった。“家にいるより合宿の方が良い”というちょっとした気の持ちようで選手が変わった。生活を共にし同一目標を達成しようとする気持ちが回復し、４泊５日の合宿ですっかり立ち直った。共同作業により一致団結の意志が働きチームが再生した。

上級生に負けられない、何としても団体２連覇を果たそうという強い意志がプレッシャーとなった。

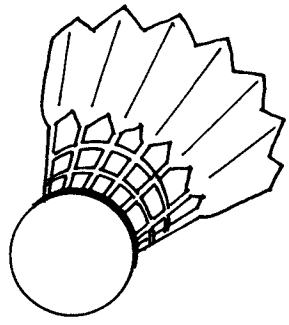
プレッシャーというものは心の変化である。ちょっとした変化で立ち直れる。監督として、３０年、初めての経験となった。選手育成は実にいろいろな場面が現れるものである。

２）超回復をめざすコンディショニング

・直前になると選手は頑張り始め、体力気力ともに回復し、試合に備える。
・１５～１０日間以前からの調整は、大変重要である。５日間を乗り切るには、個々の回復特性や自己調整力を指導者が良く観察・把握する。



今回は丁度良い時期に合宿を始めることが出来た。気力体力ともに、８月３日をピークにするために、１０日間以上が必要である。最悪の状況から最良のコンディションを作ることが出来た。個々の選手の特性により様々な経験をすることができる。選手は監督に夢や希望を与えてくれる。今回、２連覇を達成出来たのも選手一人一人のお陰である。感謝、感謝。



第４９回全国高等学校総合体育大会の優勝までの奇跡



九州国際大学付属高等学校
バドミントン部
監督　明神憲一

本校バドミントン部は、樽野智子先生が昭和５０年に創部しました。練習環境は、一面ぎりぎりとれるだけの体育館、部費も無い状態からのスタートでした。創部３年目の昭和５２年にインターハイに初出場しました。樽野先生は、インターハイ出場に向けて３年計画で練習に取組み、見事、夢を実現させました。樽野先生はインターハイ出場が決まった後に「あの県大会で選手達の出来栄えは言うことなし。練習の時よりも一段と良かったですよ。だから１００％と言うより２００％と言っても良いくらいすばらしい出来だったですね。これもやはり一生懸命練習したからですよ。優勝が決まった時は何も考えず、選手達の喜ぶのを見てただ涙が出てくるばかりでしたね。とにかく夢のような気がしてならなかったけど３年間インターハイを夢見てやってきたかいがありました」と言っています。３年目にして倉敷インターハイに出場を果たしましたが、結果は初戦で宇治山田商業に１－３で敗れ悔しい思いをしました。その後、毎年インターハイに出場しましたが、なかなか上位入賞を果たすことが出来ませんでした。しかし、１０年連続出場の年にインターハイで優勝を狙える大きなチャンスが訪れました。それは、６２年沖縄で行われた全国高校選抜大会でついに、悲願の女子団体初出場初優勝の偉業を成し遂げたことです。それは、この１０年間常に全国制覇を意識し、努力した結果成し得たことだと思います。その勢いをもって挑んだ６２年下関インターハイだったのですが、３回戦で常総学院高校に１－２で敗れ、インターハイ優勝の夢は夢で終わってしまいました。その時私は、高校１年生でその試合をみていていつしか指導者となり、この大舞台で優勝出来るようなチームを作りあげたいという思いを抱いたものでした。同年の国体では現ベスト電器田村を中心に、インターハイの雪辱を晴らすべく全員で力をあわせ、国体初優勝を勝ち取りました。

平成５年に私は本校に着任し、コーチとしてインターハイ優勝を目標に指導者の第一歩を歩み始めました。しかし、福岡県には精華女子高校という強豪校があり、全国で勝つ前に県予選を勝たなければならないという高いハードルがありました。この予選は、私自身味わったことがない独特の雰囲気があり、いかに精華女子を倒すかを毎日考えながら指導していきました。同年の県予選に敗れ、団体でのインターハイ出場はなりませんでしたが、女子単で秋武(３年)がインターハイに出場し、九国大付属にとって始めての３位入賞を果たしてくれました。この時の経験が私にとつて大きな財産となり、インターハイ優勝の基礎を作ってくれたと思っています。その後平成６年の全国選抜団体３位、７年島根インターハイ女子単３位、８年全国選抜女子単準優勝、同年山梨インターハイ女子複準優勝、女子単準優勝と入賞する勢いを持ったチームにはなりましたが、大きな壁が立ちはだかり、優勝することは出来ませんでした。その後平成９年の全国選抜団体では、現三洋電機森を中心に３位入賞を果たしました。同年４月に樽野先生が勇退され、私が監督に就任しました。同時に全中チャンピオン松尾を加え隙のないオーダーを組むことが出来るようになり、インターハイ優勝という目標が現実化してきました。

新チームは京都インターハイをベストコンディションで迎え２回戦、３回戦を順調に勝ち上がり、準々決勝金沢向陽戦で私は貴重な経験をしました。２対２で迎えた第３単相手は３年生のエースの選手、こちらは２年生の中内という対戦、どう見ても勝てる相手ではありませんでした。１セツト目案の定０－１１で取られました。続く２セツト目も０－９と私も生徒も完全に諦め、ベンチも暗い雰囲気になりました。しかし、そこから中内が踏ん張りゲームを引っ繰り返し、１２－１１、１２－１１で勝ちました。“勝負は終わってみないと分からない”まさに、この言葉が当てはまる試合でした。しかし、私の中には２セット目の０－７の時点で、すでに諦めの気持ちが強く自分の中での緊張の糸が切れ、その後生徒に対して「優勝しよう」と口では言うものの、この試合の勝利で満足してしまいました。続く準決勝昭和女子には勝ちましたが、決勝埼玉栄との対戦の時にとんでもないことをし、第一単の経験が一度もない選手を第一単に使ったり、一度も組んだ事のない選手同志を組ませたり、試合後考えてみると私は決勝進出ですでに満足してしまい、勝利への執着心をなくしていたのでしょう。その時の自分が理解出来ないようなオーダーを出してしまいました。結果は、０－３で完敗しました。しかし、この敗戦から私は、最後まで諦めないこと、生徒を信用すること、生徒も私もメンタル面を強化すること、オーダー等のシュミレーションを十分にやっておくことなど実に多くの事を学びました。その後学校に帰り練習はするものの何か熱が入らない状態がしばらく続き、指導方法で行き詰まりを感じました。悩んだ挙げ句、私はメンタルトレーニングを導入することにしました。時間のかかる作業でしたが、地道に手ごたえを感じながら１年間実施しました。

いよいよ平成１０年度香川インターハイを迎えました。直前の合宿でハードな練習を熟し、けが人もなく万全の体制で試合に臨みました。しかし、３回戦新潟青陵戦の時に第一複の藤本が足を捻挫し、その後の試合に出場できなくなりました。動揺してもおかしくない場面ですが、このような事態が起きた時にどのように対処するかのシュミレーションを選手も私も共に行っていたので、次の準々決勝日本橋女学館戦の試合も平常心で臨むことができました。１－２と相手にリードされて迎えた第二単の試合は完全に押されていたのですが、選手も私も昨年のままなら、諦めていたでしょう。しかし、今年は「選手達は必ずやってくれるんだ」とあえて意識していた今までとは違い、自然とそのような気持ちになりました。その結果、準々決勝は３－２で勝ち、次の昭和女子戦に駒を進めました。個人の能力から言えば相手が一枚上、しかし、団体戦は何が起こるか分かりません。この試合では全員が力を合わせ、勝っても負けてもおかしくないぎりぎりの勝負をし、勝ちました。一本決まるたびに笑顔でガッツポーズしている姿が今でも私の脳裏に焼きついています。この昨年とは違った雰囲気の中、決勝戦金沢向陽との対戦となりました。選手達は程よい緊張感を保ちながらも全員の表情が笑顔で何か余裕すら感じました。試合は、一進一退の攻防の後、最後はエース松尾が相手のコートにシャトルを沈め、初優勝を飾りました。とかく技術練習一辺倒だった体質をメンタルトレーニングがすべての面で変えてくれ、選手の力を最大限引き出してくれたと思います。このことも含め、この悲願の初優勝を実現することができましたのも、本校バドミントン部を育てて下さいました諸先生、諸先輩方のおかげと深く感謝しております。

高校選抜大会

全国選抜大会の回顧



元常総学院高等学校
バドミントン部
監督 小島一夫

本校バドミントン部の発足は昭和５８年である。以来、今日まで全国大会での優勝回数は個人戦も含めると２７回を数える。このうち、選抜大会での優勝は１０回（団体7回、個人3回）である。創部から選抜アベック優勝を果たすまでの、初期の頃を中心に振り返ってみたい。

全国選抜大会への参加は、昭和６０年度、第１４回那覇大会からであった。当時は男子部より女子部の方が全国的に見ても強く、関東選抜大会で女子は難なく通過したが、男子は日川高校と第二代表の座をかけて死闘を繰り広げた。この時、体育館の都合で時間切れ引き分けとなり、再試合の後やっとの思いで出場権を得たのであった。那覇での本大会では、女子が初出場初優勝かと思わせるような勢いで勝ち上がったが、準決勝で八幡大付属に激戦の末、まさかの逆転を喫し３位に終わった。

以後、６１年度、６２年度とインターハイを含めても3位続きで（3位7回、2位2回）銅色からの脱却をかけての練習が続いた。その転機となったのが、現監督をつとめる磯部であったと思う。彼は、全中個人戦単2位という一番悔しい思いを胸に秘め、本校に入学してきた。その悔しさをバネに、１年生の時からチームをぐいぐい引っ張り、女子中心であったチームが男子も全国に通用するチームに変身していったのである。そして、彼はジュニア、選抜、インターハイとシングルスで年間における3冠を達成し、一躍常総を全国の檜舞台にのし上げていった。この年の選抜大会は、奇しくも彼の出身地である宇都宮（昭和６３年度・第１７回）であり、まさしく故郷に錦を飾ったのである。

平成元年度、第１８回東京葛飾大会、初めて決勝戦に駒を進めた男子団体は、結果的には熊本商大付属に３－０で敗れはしたものの十分互角に戦える自信をつけた。この年のインターハイでは、やはり同校との決勝戦となり、多少ラッキーな面もあったが３－２に下し初優勝に輝いた。これは、確実に選抜で得た自信がこの優勝につながったものと思っている。

平成２年度、第１９回高岡大会では、史上初の男女アベック優勝を果たすことができた。男子ではこのころから数年間が選手層が一番厚い時期であり、黄金期ともいえるだろう。だが、決して楽な優勝ではなかった。準決勝関東第一戦では、第一単平田が戸祭に、第一複山浦／沼尻が吉岡／大徳にいずれもファイナルの末、逆転で勝ち王手をかけた。続く第二複、第二単を落してしまい、この時点で２－２のタイ。第三単成嶋ＶＳ尾崎にもつれ込んだ。しかし、相手尾崎は第二複でファイナルを戦った直後であり、余力を持った成嶋が最後押し切りはしたが、実に３時間半にも及ぶ大激戦の末の決勝進出であった。決勝の金沢二水とは第二複としてずっと負け続けてきた倉持／沼尻が殊勲の１勝を上げた。第一複が敗れていただけに大きな金星であった。実はこの沼尻は戸倉という選手と組んでいたが大会直前に戸倉が骨折してしまい、急遽１年生の倉持と組むことになった。倉持はベンチから見ても手が震えているのが分かるくらい極度な緊張状態にあり、何が何だか分からないうちに勝っていたという。優勝する時は必ず彼のようなラッキーボーイが現れるものだ、ということは、その後何度となく経験した。一方

、女子はというと佐藤、川崎の１年を中心にしたチームであり、台所事情は決して良くはなかった。それでも一戦一戦勝ち上がるごとにチームのムードは盛り上がっていった。決勝はそれまで何度となく戦ってきた聖ウルスラ学院、まず第一単の塚本が２－０で下し、姉崎／田丸は取られるも佐藤／川崎は確実に１勝をものにし、この時点で王手、続く第二単は佐藤ＶＳ山田、男子との練習を重ねていた佐藤は、筋力、スピードともに男子並みのものがあり、山田を圧倒し初優勝を常総にもたらした。聖ウルスラ学院としてはエース橋本を第三単に持ってきただけに悔しがっていた。また、全試合に第一単をつとめた塚本は全勝しており、彼女の活躍は大きいものがあった。改めて第一単の重要性を確信したのであった。

翌平成３年度、第２０回宇都宮大会でも同じく決勝を聖ウルスラ学院と戦うことになるが、この大会では水井／川口を擁する四條畷学園との準々決勝が山場であった。１年生の加藤が第一単で、同じく１年生安城／山本が第二複で、それぞれ殊勲を上げ、さらに水井／川口を佐藤／川崎がファイナルの末撃破し、結果的に３－０で勝つことが体力的なものを考えても大きく、その後の闘いのムードを盛り上げた。そして、この年達成できたＶ２に大きく貢献したのは１年生であった。

平成４年度から５、６、７年度まで４年連続して男子団体で優勝することが出来た。まさしく黄金期といえよう。この要因として、その年の主力選手をカバーする次の代の選手が順調に育ち、第二複として通用していったことがあげられる。樋渡／矢部、下鳥／高嶋、青木／山田、藤田／尾形達である。上級生の負けを下級生がカバーする、こんなことが繰り返されて結果的に優勝していたりする。

最後に一言。過去に何度か選抜大会で優勝することができたが、高校生達の、そして、指導者の目標はあくまでインターハイにあり、選抜はその途中段階にすぎないことを忘れてはいけない。このため、試合のない冬季の間は体力をつけるためのトレーニングを中心としてきた。１月中はゲーム練習もなく、ひたすら基礎とトレーニングのつらい毎日が続く。「夏を乗り切る体力は冬つくる」この流儀を崩さず現在も続けている。選抜に幸運にも勝てた年は、夏への道のりの中で、自分達が人より少し先に行ったにすぎないと思っている。



◍優秀選手代表寄稿文

バドミントン
すべての学生時代



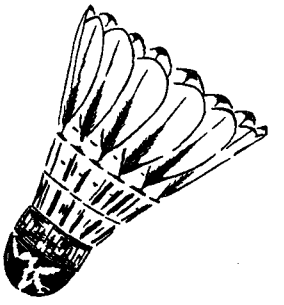
山梨県バドミントン協会
理事長　秋山真男

山梨県バトミントン協会は、昨年全国に先駆け創立５０年の式典を行いました。その間、幾つもの大会が県内で行われ中でも、全日本社会人・かいじ国体・インターハイと県協会はもとより県民にとっても重要で大規模な大会を無事済ますことが出来ましたことは、ひとえに皆様方のご指導ご協力のお陰で心よりお礼を申し上げます。さて、現役を離れ２０数年と随分たちますが学生時代を思い起こすにつけ、今年も頭の中に浮かんでくることは自分は本当に「良き指導者」「良き先輩」「良きライバル」「良き環境」をして「良き両親」に恵まれていたことを思い出し深く感謝する思いで一杯であります

特に高校・大学と先輩でもあり、県協会の理事長をもやって頂きました、遠藤真男さんのご指導がなければ現在の「私はありません」甲府商高時代バトミントン協議の実戦型基本練習、中でもハイクリャーで５分間８通り計４０分の練習は大変つらいものでした。甲府盆地の夏、閉め切った体育館の中、同じ高さで打ってはホームポジションへ戻り、又打っては戻り、「シャトルは一度もコートへ落とすな！」と厳しい教えでした。

又トレーニングも体育館中だけでは済まず、必ずグランドへ出ます。ダッシュ、中距離、前後の縄跳び鉄棒等、６０分は休むことなくさせられ、動きが鈍くなれば「同じ高校生に負けたくはないだろう。お前達は強くなりたいだろう。それだったらそのくらいのこと素早くやってみろ！」と叱咤激励を再々受けたこと、そのご指導のお陰でしょう。関東大会では、神奈川、東京の名門高を破り甲府商高が初優勝をします。そして、青森でのインターハイでは、団体優勝をした新潟商高と２回戦で当たり、３対２の大接戦で敗れたもののシングルスでは新潟商高のエース大竹選手を２対０で敗り優勝することが出来たのです。世の中のことやバドミントンのことなど何にも知らない「ひねくれ者」に努力精進すれば必ず良い結果が出せられる」ことを教え、体験すらさせてくれたのです。高校卒業後家業を手伝うことになっておりましたが、遠藤さん始め中大の方々の勧誘説得も影響したのでしょう。商人に大学は必要ないと、日頃常々言っていた父親から許しがもらえ中大へ進学することになります。当時の中大バドミントン部は２部リーグより１部に昇格し、１部の最下位（６位）でありましたが、入部して感じたことは、毎日３時間余りの練習ですが先輩達が優勝を目指し必死になって頑張っておられ、校風の質実剛健と相まって、私には大変素晴らしく感じ中大に進んで良かったなと本当に思うと同時に、自分も早く強くなって役に立ちたいと心に誓ったものです。当時中大のエースでありました、渡部紘一さん（仙台）には勝利の執念を持つことの大切さを身をもって教えてくれました「格好も気にするな、どんなことをしてでも勝て」「１位以外は２位も１回戦負けも同じだ」「新聞に載っても上の方に名前が無ければダメだ」など練習の終えた後よく説教され、お供でどこえでもついていったものです。２年生になると私にとって最大のライバルになります小島一平君（神奈川）が入部してきます。部内のレギュラー争いもより激しくなり、私もエースにならなければと使命感を強く持ち、部の練習が

済んでも、寮近くの川原で走り込み又、実業団のチームの練習日を調べては打たせてもらいに行ったものです。他校とは部内の勢いが違っていたのでしょう。最下位だった中大は一気にトップにおどりでます。個人戦においても無敵で常に中大の選手が上位を占めました。ライバル小島君との対戦は常に接戦するも分が悪く最終学年も関東、東日本と決勝で敗れこのまま2位で学生生活も終わってしまうのか、パートナーである後輩になんとしても勝てない、マラソンの円谷選手のように大変悩み苦しみました。そして送金のお願い以外電話などしたことの無い私がどうゆう理由か寮の近くから夜中母親に電話しているのです。1位にならなければと思いこんでいる私が声を詰まらせてかけたのでしょう。母親から返ってきた言葉は「もういいから、早く帰っておいで」と言う言葉でした。スポーツのこと大学のことなど全く知らない家事だけの母親でしたが、その母親の言葉になぜか安堵し、最後のインカレにもう一度「成せば成る」を信じ頑張ってみようと思う気になれましたインカレシングルス決勝は、当然小島君です。接戦になり3ゲーム目が勝負と思っておったのですが私の方がコンディション（心・技・体）が良かったのでしょう。2対0で勝つことが出来たのです。1位になった喜びと自信は格別で人生が明るくなった気がしました。続く全日本選手権でも、自分のプレーをコート上で発揮することが出来、大学4年にして全日本のトップに立つことになりました。そして初の海外遠征が全英大会（個人戦の世界選手権）となり、運も良かったのでしょう。日本人初の準優勝の成績を収めることが出来たのです。



山梨県バドミントン協会の会長になった今、選手時代にお世話になった、皆様に少しでもお返しが出来ればと微力ながら頑張るつもりです。どうぞ今後ともご指導のほどお願い致します。

顧　み　て



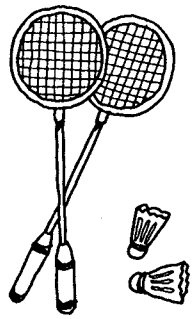
梶野尾昌一

勝って当然との意識を持ってのインターハイ出場であった。心の片隅にには多少の不安がなかった訳ではないが、全てが終わった後でもそれほどの感動は湧いて来なかった。何か一つの仕事がやっと終わってホットした気持ちであった。「インターハイ」それは中学からバドミントンを始めて一番大きな目標でもあり夢でもあった大会だが高校１年から３年までの高校生活又、部活動は試合に勝つ為には何をどうしたら良いかの一点に的を絞った内容の練習であった当時は全国中学生大会はなく中学では県大会が一番大きな大会であり、中学の指導者から大会に出る事と練習の楽しさ（バドミントンの面白さ）を教えられた。この楽しいバドミントンから大きく方向転換した高校のバドミントンは「いかにして勝つか」又、技術と体力を同時に高めながら試合において使い切るかの毎日であった。従ってインターハイに出る事が目標でなく確実に優勝する事又、それ以上にいかに上を目指すかを考えさせられていた。日常の練習はPM8:30~5:30までがトレーニングおよび基本、他に応用練習でゲームはＯＢの人達（社会人）が会社の仕事が終わってから来てくれるPM6:30頃から始まり8:30分までの練習であった。富山県の場合県内に私達富山商業の最大のライバルである高岡商業があり全てのスポーツで競っていた。バドミントンの場合、高岡商業の練習時間が７時３０分だと聞くと我校は８時まで延び相手校もまた時間を遅くする繰り返しであった。年３～４回の合宿も同様で夜の10時、11時、12時と毎回遅くまで練習した事を憶えている。県内の大会において高岡商業の先生と富山商業の先生（不破先生）は仲が悪く話をしている時はほとんどケンカ調であり、この様子を見ていた私達選手同志もライバルとは口も聞いてはいけないものと思い込む様になった。いつもライバル意識を持って相手を睨んでいたものである。このライバル意識が高校生である私達のプレーに大きくプラスになった。従って中学の楽しさから高校では競争心の重要性と厳しさを教えられたと思いますインターハイの団体戦で富山商業高校は私が２年の京都大会で優勝している為、３年生時の熊本大会は富山県より２チームが出場出来た。熊本市は暑い所であったがそれほど暑さは気にならない体質だった為、苦にはならなかったが試合のスケジュールは他の選手達にとってかなり厳しいものであったと思える団体戦は順当に勝ち上り決勝の相手は同県出場の高岡商業であった。しかし、暑さの為相手校のエースはほとんど基本が動かない状態であった県内大会でも一度も負けた事のない相手であり気楽な気持ちコートに立ったものの相手の気迫はすさまじいものであった。私がサーブを打ち上げても全く動かないままで、私を睨み、声だけを発している。相手チームの監督も何度かキケンをうながしたが聞き入れず最後までその状態であった。これが昔流の根性であり、負けたくないとの気持ちの表れであったと思う。３対１で勝ち優勝したが、不破監督の当初からの考えであった勝って当たり前のインターハイ団体戦の決勝であった。個人戦のシングルは私とパートナーの寺前選手が代表として出場、当時の全国的なライバルは何度か富山に練習に来ていた岐阜県の堀選手と杉山選手、それから山形県

の沼沢選手、奈良県の真壁選手とパートナーの寺前選手の５名と考えていた。中でも強敵は杉山選手であった。何度かの練習試合で負けて居り、頭の中にいやな相手としての印象が残っていた。いやな相手とは当たるもので準決勝で対戦辛くも２対０で競い勝つ。この時、杉山選手はラウンド側の球をハイバックできれいに打ち返して来た。これを見て私は勝ったことを確信した。なぜなら、杉山選手は練習試合の時ハイバックを使わずフオアに回り込んで多彩なショットを打ち出していた為、コースが読めず苦労したからである。ハイバックは、私が２年生の頃から全国的に高校生の間で使われ初めていたしかし、不破監督はハイバックは攻撃的要素が少なく単なるつなぎの球になる為、相手を助けるショットになりかねない為、私達には使わせてはくれなかった。今でも簡単にハイバックを打つ、中・高校生のプレーを見るとこの年代はもっと苦しいラウンドザヘッド打つ事を練習した方が良いのではと昔の試合を思い出します。シングルの決勝はやはり５人の中の最後に居たパートナーの寺前であった。ダブルスのパートナーであり、毎日の練習相手であった３年間の中で確か１５０回程対戦し一度もファイナルする事なく勝っている相手だが寺前は、インターハイで試合を重ねる度に力と自信をつけ決勝に進出してきた。すでに、ダブルスの決勝戦を無難に勝ち取り最後の試合であった訳だが寺前の気迫は今まで一度も見た事のないすごいものであった。この試合、１ゲーム目を取られ、２ゲーム目を取り返した、３ゲーム目の１２対３の時に私は不覚にも足にケイレンを起こし５分間の事故タイムを取った。マッサージを行い何とか１５点取り逃げ切ったが内容的に一番苦しい試合であった。今からして思えば不破監督の競争心（ライバル意識）を強く身につけていたのはパートナーの寺前であったと思える。又、この異状なほどのライバル意識を持たせた事は、指導者としての不破監督の強くする為の最高の戦略であった。

かくして勝つ使命を持たされた長く苦しいインターハイは無事３冠を取り終了した。最初述べたように終わってホットした気持ちで一杯であった。

この熊本インターハイの個人戦の朝、丁度台風が通過し試合開始が遅くなった事、又、フェーン現象で気温が上り、体育館の温度が４５度近くまで高くなり氷柱を立てたり酸素ボンベを５～６本、館内で聞けたりした事もインターハイの厳しい条件であったとの思い出として残っています。インターハイは、暑い中での戦いでありこの暑さの中で耐えるには練習中は水を飲む事も許さず、これが普通と思い込まされていた。それから夏の水泳や冬のスキー等、全て禁止されバドミントン以外は何もさせてもらえなかった。しかし、この高校３年間の忍耐と責任感又努力は余りしていないものの根性と言う我慢する気持ちを養えた事は今の自分の財産であり、今後も十分役立つものと確信しています。



私と高岡商業高校



二上敏博

私が、このページへの寄稿者に相応しい実績を残した選手なのだろうか、ということを考え見ますと、自分自身では、はなはだ不安と言わざるを得ません。確かに、インターハイで団体戦及びシングルスに優勝しました。団体戦に関しては、チーム一丸となって勝ち取った勝利であり、私たちは、日夜、そのことを目標に厳しい練習に取り組んできておりましたので、今も大きな誇りを感じておりますが、しかし、ことシングルスに関して葉、あくまで数々の幸運に恵まれ結果に他ならいと思っています。

さらに、その後の選手生活をかえりみ、ここに寄稿されている蒼々たるメンバーの方々の華々しい実績と眺め併せてみますと、どうしても気持ちが臆してしまいます。しかしながら、高校時代に一心不乱にバドミントンに打ち込んだ生活、バドミントンのためだけに費やしたと言っても過言ではないような３年間があったことは、自分が言うのは気が引けますが、事実であり、そのことを以って、せっかく推薦して頂いたご厚意に甘えさせて頂くことといたしました。

小学校の頃は私は野球が好きで、友人がいたこともあり、中学に入ったら直に野球部に入るつもりでいました。入学早々、野球ができる支度をして入部させてもらおうとグランド近くまで行ったのですが、なんと言えば良いのか、魔がさしたとでも言うのでしょうか、しばらく練習を眺めたあと、大好きな野球に背を向けてしまいました。そして、帰り道にたまたま立ち寄った体育館でその時練習していたバドミントン部にふわっと入ってしまいました。今思い返してみますと、あの時、もし、すんなり野球部に入っていたら、今と全く違う生活をしていたんだなあと何か奇妙な気がします。しかしながらバドミントンを始めて以降、今のいままで一度たりとも野球が恋しくなったり後悔したりしたことがありません。

当時、中学では、３複の団体戦の県大会が最も大きな大会でした。私の通っていた高岡市立伏木中学校では、普段は日暮れとともに練習を終えていましたが、県大会が近づくと、電気をつけて割と遅くまで練習していたように思います。その甲斐あってか、県大会で優勝し大喜びしたことを覚えています。

丁度その頃、インターハイでは、県立富山商業高校、県立高岡商業高校の両校が大活躍をしていました。特に、昭和４０年の熊本大会では両校で決勝戦を戦うという離れ業を演じ、富山商業高校が優勝しました。結果を伝える新聞を食い入る様に眺め、紙面を通して、富山商業高校、栂野尾、寺前選手、高岡商業高校、折橋、定塚選手ら両校の選手達の華々しい活躍に目を奪われことを覚えています。地元高岡商業高校バドミントン部に憧れ、漠然とながら、同校への進学を意識したのは、その頃だったかも知れません。とはいえ、しっかりした目的意識や自分が果たしてどこまで頑張れるかといった見通しは全くなかったように思います。思いがけないバドミントンとの出会いでしたが、知らず知らずのうちに、徐々に、バドミントン中心の生活に向けて、時計の針が回り始めた中学時代だったように思います。

昭和４１年、高岡商業高校入学と同時にバドミントン部に入部し、以来３年間、わき目もふ

らずに、インターハイを目指した生活に明け暮れました。

高岡商業は、練習施設の面では決して恵まれていたとは言えませんでした。

屋内種目のいで体育館を分けて使用していた夏場でも、バドミントン部に与えられたコートは男女各１面のみ。バレーボールやバスケットボールがコート内によく飛んできて、言い合いになったこともしばしばでした。冬場になるとさらに、屋外種目が加わってきたため、５時頃までは体育館を使用することができませんでした。それまでの間は、放課後の空き教室の机を下げて、床にラインを引き、フットワークを中心にした練習を繰り返すことが日課でした。

また、当時は、定時制が併設されていたため体育の授業の際には練習を中断しなければならない時もありました。しかし、授業が終わり、定時制の生徒達が引き上げはじめるとを待って練習再開の準備をしていると、彼らはよく私たちに「頑張れよ」と声をかけてくれました。私たちが全国制覇を達成するため毎日厳しい練習を積んでいること、彼らより私たちの方が遅く帰ることを知っていて、激励してくれたのだろうと思います。ほとんど記憶にも残らないようなささやかなことかもしれませんが、私には、その時々の励みになったように思います。

春と夏の合宿では、合宿所がなかったため、教室にござを引き、各自が布団を持ち込んで寝泊まりしなければなりませんでしたが、教室内似は、普段の練習の中では得られない心の交流や練習の厳しさを和ませる家庭的な暖かさがあったように思います。今となれば本当に懐かしい思い出です。

このように、施設面では決して恵まれていたとは思いませんが、何の不満も感じることはありませんでした。どこへ行ってもこのようなものと思っていましたし、かえって、コート内での練習の貴重さ、コート外での練習の大切さといった意識や、練習の合間合間の部員相互の心の結び付きの大切さといった思いが、知らず知らずのうちに身に付いて、練習密度や連帯意識を大いに高めてくれたのではないかと考えています。

高岡商業が全国大会で活躍することができるようになった最大の要因は、１つは、大変素晴らしい練習相手に恵まれていたことだと思います。卒業生はもとより、当時、全日本実業団や教職員大会の第一線で活躍されていた選手の方々などの胸を借りて、ほとんど毎日練習することができました。本当に熱心に指導して頂きましたし、この方々を目標に頑張れば、必ず全国制覇ができると信じていました。インターハイで活躍するための生命線とも言える方々の存在でした。

そして、忘れてはならないのは、全国の皆様の中にもご存じ方が多いと思いますが、今は亡き、当時監督の善光弘先生、コーチの江尻兼三さんの存在です。ともすれば挫折しがちの私たちの心を慈愛に満ちた眼差しで支え続けていただいた善光先生、雨の日も風の日も、毎日、自転車に乗って家業もそこそこに学校へ駆けつけ私たちを心から可愛がっていただいた江尻さんこのお二人にことのほか大切に育てていただいたことを、当時の部員や卒業生は決して忘れることはありません。

私の手元には、高校時代に授かったインターハイ団体メダルが３個有ります。古い順に並べると、銀、銅、金。どれも思い出深いものばかりですが、昭和４３年に勝ち得た悲願の金メダルは、高岡商業という１つの家族が、何年もかけて、ようやく辿り着いたメダルに他なりません。

恩師　西田淳二郎先生



権藤浩二

高校時代のインターハイ出場を振り返るとやはり九州学院高校での恩師であり尊敬してやまない故西田淳二郎先生の事が一番に思い浮かぶ

西田先生との初めての出会いは、中学３年生の秋、私の自宅に九州学院高校への勧誘に来ていただいた時であった。当時、九州学院高校には全国高校選抜大会シングルス優勝の上村秀章先輩（現在熊本県西合志中学校教諭）やダブルス・シングルス共に全国でもトップレベルの宮本幸弘先輩（現在ＮＥＣ九州バド部監督）、本石俊憲先輩などがおり、少数精鋭のチームであった。その事と、西田先生になぜか強くひかれるものを感じて、私は九州学院高校への進学を決意した。一人っ子である私が親元を離れ下宿生活をすることに母親と祖母は不安を感じ反対したが、今は亡き父が二人を説得し私の意志を尊重してくれたこともあって希望通りの道を歩むことになった。

いよいよ高校生活が始まり、西田先生の自宅近くに間借りをし、朝食・夕食・風呂などを先生宅でお世話になり毎日昼の弁当まで持たせていただいた。私の最初の辛さは、朝食の時間が早いということであった。今思えばたいして早い時間ではないのだが中学時代のゆっくりとした朝の時間とは大きく違っていた。下宿生活が始まり、西田先生に最初に厳しく指導を受けたことは、その朝食時間に寝坊して遅れたことであったが、かなり厳しく怒られたことを覚えている。その時に時間に対しての厳しさを教えていただいたような気がする。下宿生活葉、全ての面で大変辛いものであり、それまでいかに自分がわがままに育ち身の回りのことをおろそかにしていたかを痛感した。食生活を大事にする姿勢や物事に真剣に取り組む姿勢など、スポーツ選手として生活していくうえでの基本的なものを先生に教わった気がする。

学校での練習も大変きついものであった。朝下宿から学校まで、３㎞程度の路面電車との競争のランニングから始まり、体育館・体育教官室の掃除、その後各自でのダッシュや羽打ちで練習が終わった。放課後は、３時間程度の練習であったが部員６名に対して２コートが使用さでき、コートに入りっぱなしで、しかも先輩達は皆全国のトップレベルだったこともあり基本ストロークを１時間程度打つとへとへとになった。更に西田先生が見ていらっしゃる中での練習は、すさまじい緊張感と気迫に溢れていた。また、試合前は夜間練習も続きＯＢの方々が県内各地より大勢駆けつけ、その数は現役の人数をはるかに越えていた。このような、恵まれた環境と厳しい練習の中、高校１年から３年まで着実に力をつけることができたように思う。

今でも忘れられない悔しい試合の思いでがある。それは、１年生夏の岡山県倉敷市で行われたインターハイでの経験だ。部員６名で試合に臨んだが、実力的には４番目であった私は当然団体戦の試合に出場できると自分なりに考えていたが、結局大会期間中一度も出場することができなかった。西田先生の考えたオーダーではあったが普段の練習でほとんど負けたことがない同級生試合に出て、自分はなぜ出られないのかと非常に悔しい思いであった。下級生の仕事ではあったが大会期間中ずっと重たい部の荷物をもって移動し、洗濯などの雑用をする中、１

日でも早く全国大会で試合がしたいという気持ちが溢れんばかりにこみ上げてきた。また２階席から各県代表の真剣な試合を見て、技術的なものもさることながら気迫やシャトルに対する執着心などが試合に影響し、少しの油断から流れが大きく変わる試合の厳しさを目の当たりにした。特に団体戦においては、ベンチのムードや個々の役割がいかに大切かと痛感した。今思えば、この１年生のインターハイで試合に出られなかった悔しさがバネとなり、その後の練習につながったのではないかとつくづく思う。

２年生の福島県会津若松市でのインターハイでは、高校生活一番の感動を味わうことができた。この年も部員数６名で、全国レベルの宮本・上村両先輩が抜け厳しい状況の中でインターハイに臨んだ。試合が始まると予想通り１回戦より苦しい戦いだったが、接戦を次々とものにして何と決勝戦まで駒を進めることができたのである。九州勢で決勝戦に残るのは史上初めてと聞かされた。決勝戦は東北の伝統校日本大学山形高校との戦いになった。一進一退の緊迫したゲームとなった。第一ダブルスと第一シングルスに出場した私は、何とか勝ちを収めることができ、試合は２対２となり最終シングルスは主将本石先輩の気迫溢れるプレーでストレート勝ちを収め、九州学院高校創部以来念願の初優勝を決めたのである。

体育館内より退場をした後、西田先生の前に整列し全員で「お願いします」といつものように挨拶をしたのだが、普段厳しい鬼のような先生が涙を流し「よく頑張った、ありがとう」と声にならない声で一人一人に握手をしていった私たち部員も涙をこらえきれず大粒の涙を流し感動したことを昨日のことのように覚えているこの時の感動は、生涯忘れることのできない高校時代最高の思い出だ。この優勝によって高松宮賜杯ならびに優勝旗が初めて関門海峡を越え九州の地に渡ったのである。

団体戦の喜びの興奮も冷めやらぬうちに、個人戦が始まった。団体戦での自信が個人戦にもつながり、本石先輩と組んでダブルスとシングルス両方で決勝戦まで勝ち進んだ。ただただ無心で決勝まで勝ち進んだ気がする。ダブルスでは普段の練習の成果を発揮することができ、自分達のペースでの、試合運びとなり優勝できたシングルスではまさか決勝に進出できるとは思ってもいなかったが、気づいたら決勝のコートに立っていたという感じであった。いざ、決勝が始まると体力的にも限界に達していたように思うが、ベンチでの工士コーチ、２階観客席の西田先生と林田先輩（当時青山学院大・現在ヨネックス）三人の顔だけが見えていたのをよく覚えてる。チームの部員や応援して下さっている方々の声援を受け、思いがけない三冠を達成することができた。

私自身かけがえのない経験と感動を味わえたのは、高校時代出会った様々な方のおかげだと思っている。その中でも特に高校時代の恩師故西田淳二郎先生には言葉に言い表せない感謝の気持ちで一杯である。私が今こうして教職の道に進んでいるのも西田先生に憧れてのことである。先生に指導していただいた事を基本として一人でも多くの生徒にバドミントンを通しての人間教育ができたらと思っている。今後も、西田淳二郎先生を目標に少しでも近づけるよう努力していきたい。

私とインターハイ



松野修二

私は幸運にも、インターハイへ３年間、団体ダブルス、シングルスと出場することができました。

１年生の時は、自分の力が全国でどれだけ通用するか、本当に未知の世界を見に行くような感じでした。結果は、団体ベスト１６、ダブルスベスト８、シングルスベスト１６、でした。

この１年生のインターハイの結果が、３年間の目標になり、１年の時より２年、２年の時より３年と、少しずつでもいいから前進して行こうと思い毎日練習しました。

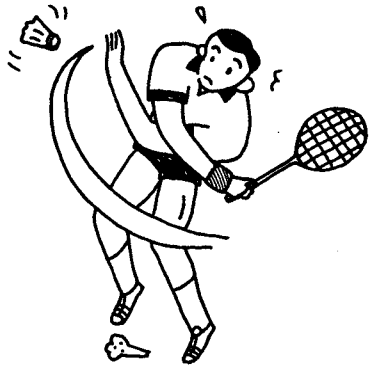
２年生の時は、団体ベスト８、ダブルスベスト４、シングルスベスト４と、とりあえず１年生の時より良い成績を残しましたが、自分の中に「欲」が生まれ、３年生になったら１つはタイトルを取ろうと「優勝」という文字が、はっきりと見えた気がしました。また、この２年生のインターハイでは、私のパートナーの宮健次選手が、ダブルスでベスト４を決めた次の日、シングルスの１回戦で足首を骨折し、最終日のダブルスの準決勝が棄権となり、宮の分までシングルスで頑張ろうと思いました。そのシングルスで、ベスト４に入ることが出来ましたが、３回戦ぐらいで将来私の良きパートナーでもあり、良きライバルであった松浦進二選手と対戦したのも良い思い出です。

３年生になると、団体、ダブルス、シングルスの３冠を目指し、大会に望みました。中でも団体戦は、何としても勝ちたいと思い、チーム一丸となり、過去２年とは違う雰囲気で望みました。周りからも日川高校は優勝候補に揚げられ、自分達もその気になっていたのですが、大会の直前、滋賀県の名門、比叡山高校が日川高校に練習試合に来た時、ほとんどの試合が勝てず、このままでは優勝出来ないと、有頂天になっていた自分達の目がさめ、最後のインターハイを悔いのないよう、１つ１つ戦うという気持ちに変わりました。大会当日、順調にベスト８に進み、富山県の高岡工芸高校に勝ち、準決勝比叡山高校と対戦、練習試合で良いところなく負けたことを頭の中に入れながら、１本１本慎重にポイントを取るよう心がけ、終わってみれば３－０のストレートで勝ち、決勝戦では、地元神奈川県の日大高校と対戦し、先の関東大会では、決勝戦で敗れているだけに、強敵ではありましたが、チーム一丸となり初優勝を決めました。結果的に念願の優勝を達成することができましたが、あの時の練習試合がなかったら優勝していたかどうかわかりません。個人的においても、ダブルス、シングルス、共にベスト４に入りました。そして、最終日を向かえましたが、その時のチームメートの気持ちが、本当にありがたいと思いました。それは、何とか松野にダブルス、シングルスを優勝させて、３冠を取らせたいと言う気持ちがものすごく伝わって来ました。

団体戦を優勝したにもかかわらず、浮かれることなく、私に気を使って、本当に心から応援をしてくれました。ダブルスの準決勝、シングルスの準決勝を勝つことは勝ちましたが、団体戦の疲れもあり、体力的にはかなりきつかったことを思い出します。ダブルスを優勝し、３冠に大手をかけるところまでは進みましたが、ここで自分の中に団体とダブルスを優勝した満足感

が少し出てきて、最後のシングルスでは、精神的に負けていたように思います。結果、準優勝と惜しくも３冠を取ることができませんでしたが、終わった瞬間は満足感で一杯でした。でも大会が終了し、家に帰り、何日か経つにつれて最後のシングルスでもっと頑張れたのでは、精神的にもっとファイトしていればと徐々に悔しさが湧いてきました。

私は、中学時代はバドミントン部がなかったので、野球部に所属し、本格的にバドミントンを始めたのは高校に入学してからです。体も大きくなく、体力的には恵まれませんでした。日川高校の練習時間は、当時の他有力高校にくらべ、決して多い方ではなかったと思いますが、自分自身バドミントンが好きで、インターハイと言う目標があったので、頑張れたのだと思います。それからの私のバドミントン人生の中でも、あの時の経験、思い出は生き続けています。



僕とバドミントンとの出会い



早稲田大学
山田英孝

中学１年で埼玉に転向してきて、入る部活がなく、とりあえずバドミントンでもやろうかという安易な気持ちでの入部でした。

そんな入部だったため、１年生の頃は、ろくに練習しませんでした。それが東浦和中学校で、顧問の大久保先生と出会い、たまたま全中に出ていってしまったのが、僕にバドミントンを続けさせる事になってしまったのです。

全中といっても、２回戦で負けました。

中学２年生の終わり頃から、現ユニシスの阿部監督から、上尾高校に来るようにすすめられ、「ようし、全中の時に負けたあいつらを、絶対倒してやろう」その思いで上尾高校に入学しました・・・・が、中学とは練習も全々違い、ついていくのが精一杯で『盆も正月も休みがない』それはもう、きついものでした。

１年の時に、打ち方も、フォームも直されました。でも目標とする先輩がいたので、早くそうなりたいという思いで頑張りました。

１年の頃は、試合に出ても負けてばかり、団体戦でも、先輩達の足を引っ張ってばかりでしたインターハイの県予選でも、僕が負けて、あやうく出場できなくなりそうでした。

そして、インターハイでも、２回戦で競って勝ちはしたけれど、もうクタクタになり、次の試合からは、メンバーからはずされ、ベンチで応援になってしまいました。しかし、個人戦で加賀谷先輩、箭内先輩が、ダブルスで優勝し、優勝というすばらしい感動を一緒に味わう事ができました。自分も優勝したい。あの感動を自分自身のもで味わいたい。という気持ちが湧き、ただついていくだけの練習ではなく、自分から進んでメニューをこなそうと、一生懸命練習しました。しかし、気持ちだけが先走って、今まで以上にプレーが雑になり、とても悩んだこともありました。

そんな時でも、上尾のＯＢや、ユニシスのメンバー、そして、徐彪さん達が、僕の相手をしてくれたので、徐々に力をつけていけたんだと思います。この頃の関根先生はこわくて、きびしかったです。笑顔なんて見たことなかったくらいです。

上尾高校は、バドミントンをするには、本当にいい環境で最高です。その上すばらしいＯＢ達が卒業した学校です。入学して良かった、と今でもそう思えるところです。

今日の僕があるのも、全て、関根先生、阿部さん、徐彪さん、そして、上尾のＯＢのお陰です

春の選抜、全日本ジュニアは、準優勝、あと一歩で勝てない弱い奴でした。

不安を克服するには、１にも２にも練習しかありません。

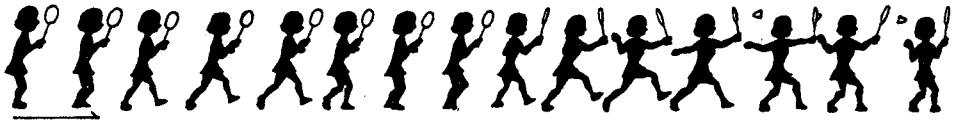
自分の弱い所を補なうため為、皆と練習が終わった後も、１人でトレーニングをしたり、田部井先生に相手をしてもらって、夜遅くまで練習したこともありました。

インターハイは、絶対勝ちたい、優勝したい、と思う一心で練習しました。

チャンスは、何度もある訳じゃないので、高校生最後は、有終の美を飾って締めくくろうと、自分自身に誓っていました・・・・・が。

一生懸命練習しても、絶対勝てるという保障はどこにもありません。また、決勝で負けたらと頭を何度も過りました・・・・・が。

これだけ練習したんだから、自分を信じ、監督を信じ、余計な事を考えず、集中しました。
１９９４年富山でのインターハイ、団体で優勝し、個人戦、シングルスも、そのまま波に乗って順調に、２－０で勝ち進みました。
しかし、準決勝で、１セット取られた時、ここで終わるかなあ、と一瞬弱気になりました。
暑くて頭がもうろうとするなか、もう一人の自分が、『ふざけんな！　こんな所で負ける為に今まで練習したのか』と、怒鳴られました。
観客席を見上げると、関根先生が鬼のような顔でした。勝たなきゃ、何が何でも勝たなきゃ今まで練習してくれたＯＢに、申し訳ないと思いました。
優勝、たった２文字だけれど、すごい重みのある、誰もが味わうことのできない。また、自分の進路をも変えてしまう体験を、この時しました。
この貴重な経験を、先々にも、また味わいたい
　そして、頂点を極めたい、という思いで、今日もなお、バドミントンに取り組んでいます。
明日の自分を求めて、更に躍進あるのみです。



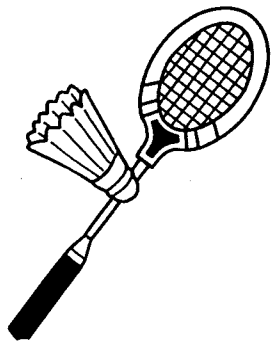
高校時代とバドミントン



日本体育大学
舛田圭太

僕が金沢市立工業高校に入学したのが、平成６年でした。そこで、出会ったのが彼島重範先生でした。小学校時代から父親が指導者だったためか一度も指導をしてもらったことのない僕に、いろいろな指導、アドバイスをたくさしてもらいました。そして、入学してすぐ、１年生全員（７人）に、彼島先生はこんなことを言いました。「自分の目標を言え」でした。当時は気付かなかったのですが、僕は「インターハイで優勝して、オリンピックに出場すること」って言っていたようなのです。それから、僕の挑戦が始まりました。これから、２か月後のインターハイ予選では、団体戦は優勝、ダブルスは３位で、そして、シングルスは、準決勝で同じ高校の先輩に２対１で負けて、個人戦のインターハイ出場はできませんでした。その時、すごく悔しくて、試合後、泣きながら先生の所に行くと「この悔しさを忘れるな」みたいなことを言われました。この時１年から、試合に負けて悔しがる奴は初めて見たって言っていました。このころから先生はもしかしたら強くなるのではと思っていたみたいです。そのことがあってか、富山のインターハイでは、初戦から準決勝まで、トップシングルスで出場することができ先生に「元気を出して思いきりやれば勝てるから」と言われたせいか、準々決勝以外はすべて勝ち、チームも３位という成績でした。そのあと、１１月の新人戦が始まりました。この大会で優勝しないと、３月の選抜大会に出場できないので、この大会はかなり気合いが入っていました。結果は団体、ダブルスでは優勝することができましたが、シングルスでは、決勝で足にケイレンがおき、試合を続けましたが２対１で負けてまたも出場権をのがしてしまいました。その大会の後、コーチでもある水内浩先生に「朝練するか？」と言われ、それから３年生まで月～金の毎日４５分間ほどの練習でしたが、この練習があとから成績を残せたのだと思いますそして、２月選抜予選に向けての練習中のことでした。その日はなぜか集中力がなく、気の抜けた練習をしていると、突然、彼島先生に呼ばれ、いきなり、「おまえはこんな練習をしていて勝てると思うか。今まで、強い選手がこうやってつぶれていっているんだからな。おまえもこうなりたいのか。」って、ものすごく怒られたのです。今まで、先生には怒られたのではなく、僕なりに尊敬していたので、すごくショックでした。このあと、目が覚めたというか、何か吹っ切れた感じがしました。その時、先生はもう一つ言われました。それは、「お前は、３年でトップになるのではなく、２年でトップになれ、３年でそれより上をねらえ」とも言われました。その時から、僕自身も絶対にやらなきゃいけないと思いました。それから、一度も先生には怒られることはありませんでした。それから３月の選抜大会に出場し、団体、ダブルスで３位になり、その時、シングルスには出場していなかったので試合を見ていると、シングルスで優勝した選手に国体では、勝ってるのにと思い、このころから、もしかして、頑張れば、いけるのかなって思いはじめました。そして、２年生になり、６月のインターハイ予選は３種目とも優勝で出場権を取ることができました。それから、８月のインターハイに出場しました

この大会は僕自身、団体、ダブルスで優勝をねらっていったのですが結果は両方とも３位でした。そして、高校生になって初めて出場した個人シングルスでは、準々決勝出、選抜優勝した松本さんに勝ち、準決勝ではこの大会で一番注目されていた、沈君との試合でした。１ゲームは１５対４で負けて、これで僕自身負けたと思っていたのですが、２ゲーム目の最初の方だったのですが、僕がクロスにスマシュを打った時沈君が足首を痛め、そのまま棄権で僕は勝ってしまい、この勝利がこのあとの運命を変える試合になったと思います。そして、決勝に進出した僕は、ここまできたのだから思いっきりやろうと決め、しかも相手は、中学の時から一度も勝ったことのない大東君が相手だったので、試合前は楽しみでした。そして、結果は２対０で勝ってしまい、２年生で優勝することができました。そこで、彼島先生と約束したうちの一つ「２年でトップになれ」を達成することができました。そのあと、この大会で出場権を取ったので、全日本総合に出場しました。シングルスでは、初戦はインカレ優勝の村田さん、２回戦準々決勝ではトナミの鈴木さん、本山さんに、そして、準決勝では、早稲田の山田さんに勝てたことができ、決勝では、ＮＴＴ東京の町田さんに負けてしまいましたが、僕自身もビックリしましたが、回りは、高校２年の僕が決勝に行くとは思ってもいなかったので、もっとビックリしていました。そして、３年生になって最後のインターハイに出場し、大会前から腰痛でちゃんと練習もできなかったので、僕自身「優勝は無理かもしれないけど、３年間で最高の試合をしよう」と決め、試合に臨みました。いざ、試合が初まると、負けたくないと思うのか、何かシングルスで決勝戦に進み、相手はやはり昨年と同じ、大東君でした。結果は２対０で優勝することができシングルスは２年連続優勝することができました。そのあた、１０月の国体でも、僕自身も初めての団体優勝することができました。そして、卒業後のオランダジュニアでシングルスとダブルス、ドイツジュニアでダブルスで優勝することができ、シングルスでもドイツで２位になることができました。これで、僕の高校３年間が終わりました。今、思えば彼島先生には技術的なアドバイスではなく精神的なアドバイスをたくさんしてくれました。高校３年間で自分の目標は半分達成しました。これからは、彼島先生と約束したもう半分の目標「オリンピック」を目指し頑張っていきます。



高校時代とバドミントン



中山紀子

インターハイという言葉を最初に耳にしたのは、私がたしか中学3年の進学時期だった。それまで小・中学校にかけてソフトボールや陸上などを夢中にやって来たため少し運動に飽きていた頃だ。小さい時から野球に憧れ、男の子に生まれいたら甲子園に行くことができたのにと幾度残念に思ったことか。そんな私に、高校のバドミントン部顧問の藤江先生から、甲子園に代わる大会としてインターハイがあるからぜひバドミントンをやって日本一を目指さないかと誘いがあった。どうしょうかなと迷っていたところ、中学の担任から「君からスポーツをとったら取り柄がなくなるよ・・・」と言われたのがキッカケで、急遽進路を変更して静岡県立掛川西高校に入った。それまで体育館で正式にやっているバドミントンを見たこともないのに無謀にもインターハイ優勝を夢見て・・。その時からインターハイが私の頭から離れられなくなった。

ソフトボールという団体種目から個人種目に変った珍しさや、あのシャトルの微妙な飛び方に魅せられたちまち虜になった。来る日も来る日もバドミントンに明け暮れた。素晴らしい上級生や同級生に恵まれ、今思い出してもあの時期ほど純粋にバドミントンが楽しいと感じたことはなかった。私のバドミントンの基礎を作ってくれた藤江先生に「二度と同じ球を打つことはできないのだから、今日の前にある球に全神経を集中させて打ちなさい」と日頃言われ続けたことが、一球一球を大切に打つという私のバドミントンに対する信念になった。また、個人種目せあるにも拘らず、部活でのチームワークの大切さを徹底的に教えて貰ったことが、後々ユーバー杯のキャプテンとしてチームをまとめていく時に大いに役立った。

1年の終り頃、私にとって忘れられない一つの試練に出会った。それは地区大会のシングルスの決勝でキャプテンと対戦することことになったのだ。日頃からいろいろと可愛がって貰いとても尊敬していた上級生だったのでできれば戦いたくなかった。その人を負かすのが本当に苦しかったが、わざと負けたりすればかえって申し訳ないのだと自分に言い聞かせながら勝ち抜いた。私が勝負の厳しさを思い知った最初であろう。

また、こんな事もあった。当時日女体短大の監督であり、日本のバドミントン界の第一人者であった今井先生（第5回ユーバー杯監督）が来校してくれた時、シングルスで諸田選手（私が最初に全日本ダブルスで優勝した時のパートナー、現秋元夫人）にラブゲームで負けたが、「貴女ならきっと当時の世界チャンピオンであるアメリカのジュディ・ハッシュマンという選手にいつか勝てるだろう」と予言して貰った。初めて聞くユーバー杯や世界のバドミントンだった。

2年で福岡県久留米市のインターハイに出場した。シングルスだけだったが、もう無我夢中でコートを走り廻っているうちに、思い掛けなく準決勝に進んでしまった。自分でも驚ろいたが、正直言って途中どんな選手達とどんな試合をしたのかほとんど覚えていない。ただ、準決勝で、優勝した善通寺一高の横井選手（現　東条夫人）と対戦した時の印象は強烈に残ってい

る。小柄ながら絶妙なドロップが武器で、私はただただ翻弄され完敗だった。同じ高校生でこんな素晴らしい選手がいるのだなあと感心させられた。余談であるが、横井選手とはその後のユーバー杯で一緒に頑張って優勝したが。何か縁があったのだろう。３位決定戦はフルゲームの末、秋田敬愛の高橋選手に負けてしまい結局４位であった。その他で記憶に残っていることは、当時の栃木県真岡女子高校の遠井先生と小勝選手と偶然に写真を撮ったことぐらいだ。その後日体大に入った小勝選手と、常にシングルスの優勝を争うなんて、勿論想像もしなかったが。そして２年でシングルス４位になったことが、周囲から来年は当然優勝するだろうと期待され、私もただただインターハイ優勝を目指して練習に励んだ。元来丈夫な身体だったが、ひょうそになりやすい体質であったようで、ある時痛いのを我慢して練習したところ、ひょうそが生命に関わる恐い病気だと脅かされ、県大会前日に病院に駆け込んだ。お医者さんにひどく怒られ、直ちにメスを入れられ右足の親指の爪をはがされてしまった。翌日の大会は、靴がはけないので前を切り取って試合をしてかろうじて勝った。今思い出しても無茶なことをしていたなあとつくづく思うが、やはり若さがカバーしてくれたのだろう。

３年の５月、いよいよ正念場であるインターハイの県予選の日を迎えたが、思い掛けずアクシデント見舞われた。それまで練習のしすぎによる手首の腱鞘炎になっていたが、ついに大会の途中でラケットが握れない状態になってしまった。泣く泣くシングルスは棄権、ダブルスは私がラケットを手に縛りつけネット前に立っているだけだったが、パートナーの天野さん（現東海女子短大教授）の驚異的な働きで、何と２位になりインターハイへの切符を手にした。この時の私はただただ天野さんにすまないという気持ちで、いつかこの恩返しをしなくてはと思ったが、その機会もないまま今日に至っている永い間パートナーを組んだが、彼女は本当に私を陰で支えてくれた。

とうとうインターハイシングルス優勝という夢ははかなくも消えてしまつた。余りのショックで自暴自棄になり、一時はバドミントンをやめてしまおうかなと思ったりしたが、必死で頑張ってくれたパートナーの天野さんに申し訳なく、痛む手首をだましだまし練習を続け、青森県弘前市のインターハイに臨んだ。団体戦はすぐに負けてしまったが、ダブルスはようやく３位に食い込んだ。伝統校とは程遠かった山形県の新庄南が、女子団体で一大旋風を起こしたのが強烈だった。だが、女子シングルスで同県の富士見女子高校の望野選手が優勝した時の私の気持ちは本当に複雑だった。なぜならインターハイ直前の県予選で望野選手に勝っていたからだ。弘前市で飲んだ当時珍しかったリンゴジュースは口に合わなかったが、二階から落としてもキズがつかない程の堅さを持っていた青リンゴがとても美味だったことを思い出す。

高校生の私にとって、バドミントンをやりだした動機であり、夢の全てであったインターハイ優勝を実現できなかったことが、その後にもう一度出直して大学に入り、全日本チャンピオンや、さらには世界チャンピオンになったことにつながったとしたら、人の一生はわからないものだとつくづく感じている。

インターハイの想い出



芝　スミ子

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立５０周年、誠に、おめでとうございます。高校時代の想いはでは、その後の、私のバドミントン人生の大きな基礎を作った時期ですので、とても、鮮明に憶えています。小学校６年生から、バドミントンを始め、初のタイトルを手にしたのは、高校２年のインターハイでした。中学の全国大会では、２位（団体）が最高で、高校へ進んだら、インターハイのタイトルを取るのが夢でした。しかし、常勝を続けていた、母校の勝利へのプレッシャーと云うものは、並みはずれたものがありました。大会の１週間前には、合宿が組まれ「大会まであと何日」と云う日めくりが壁にかかり、体育館の中には、ピーンと張り詰め室温も４０℃を越え、息苦しい空気が流れ、その中での、自分の気持ちは、「今年も勝つぞ」「負けられない」と云った言葉が頭の中を過る。気を抜いたプレーが、ひとつでもあると、片岡先生の激とビンタが飛ぶ。２年の合宿でのエピソードをひとつ書いてみる。その日、疲れのせいか気分が乗らなかった、先生に「ちょっとこい」と呼ばれ、先生の前へ立った瞬間「バチン」と頬をたたかれた。その１、２秒後に、私を取材しようと、新聞記者の方が入って来られた。私の顔は、唇を噛んだせいか腫れ上がり、その顔が、そのまま、新聞に載った事があった。その記事を見るたび、２年で３冠を取る前の、合宿の事を想い出します。話は、又、合宿中に戻りますが、ゲーム練習を、タイムテーブルどおりこなして、うまく行かないプレーは、もう一度、そこだけ抜き取り反復練習をする。練習の終番では、サーブ練習があり「サーブが入らなければ、試合には勝てないのだから」と、ここでも又、自分にプレッシャーを与えながら練習する。その後、ミスした数だけ、竹刀でおしりをたたかれる。これは。大変痛く、ここでも又、ひとつ、エピソードがある練習後、皆で風呂屋へ行く、お風呂に入っているお客さん、いっせいに、私達のおしりを一人ずつ見ている。それもそのはず竹刀の青痣が、くっきり付き、「いったい、この子達は、何でおしりに一本線があるのだろう」と首をかしげる人もいた様です。話はもとに戻りますが、練習の一番最後に、階段トレーニングをします。それが最後のあるから、あまりにもきつく思う先生のねらいは、ラストスパート、つまりは、試合が競り合い、終番にさしかかって来た時、本当に身も心も疲れ「もうダメだ」と思う時が来る。その時に、どれだけのふんばりがきくのか、そのふんばりで勝負が決まる。そのふんばりを、このトレーニングで養うものとして、実行していたのだと思う。そんな厳しい練習の中で、いかに、決勝当日に自分の体調と精神状態をピークに持って行けるのか、そして１年間頑張って練習して来た事のおさらい、そして、それが本番で出せるのかの練習であり、本番であると、自分に云い聞かせながらの練習でした。練習試合で負けた時などは、本番で負けた様な気になり、落ち込む事も、しばしばあった様な気がします。しかしながら、そうしたプレッシャーと闘いながら練習した事により、本場では自分の思っている以上の試合が出来たり、もうダメだと思っていたにもかかわらず、勝利する事が出来たりと、私にとって、インターハイは

いつも自信を持って望めた大会でありいい思い出と良い結果、もたらしてくれた大会でした。１年の時は、岡山県倉敷市で行われ、１年生ながら、団体メンバーに選ばれダブルス専門で、決勝まで使ってもらい、全勝で、３年連続６度目の優勝を成し遂げる事が出来ました。個人戦のダブルスでも、末兼先輩と組み、準優勝できた事は、１年生ながら上出来であり、ラッキーでした。最終日の夜、ホテル側の配慮だったのか、メダルを胸に、お客さんの前に立ち、嬉しい半面、何か気恥ずかしい祝勝会を開いて頂いた記憶があります。２年生の時は福島県会津若松市で行われ、中心メンバーとして、４年連続７回目の団体戦の勝利、そして、個人戦では、前年、２年生でインターハイチャンピオンになった。原口先輩（現　近藤）が、準決勝で負けた。決勝に進んだ私は、無我夢中で試合をしているうちに勝ってしまい、２年生でインターハイチャンピオンになってしまいました。ダブルスでも、合川先輩と組み、優勝することができ気がついてみると、２年生で、三冠王になってしまいました。試合をしている時は、一生懸命で必死で目標に向かっているのですが、いざ、終わってみると、チャンピオンの苦しみを、高２で味わう事になろうとは、思ってもみませんでした。この頃から、本当にの戦いが、始まった様な気がします。そして、３年は、滋賀県大津市で行われ、団体戦の形式も２複３単から、２複１単となり、それまでは、ダブルス、シングルス両方とも兼ねられたのですが、それができなくなるという事で、選手ひとり、ひとりに責任の重圧が、かかる形になりました。しかし、選手のふんばりと、選手にはまったく予想できなかった。先生の勝負師的カンから出される、びっくりする様な、オーダーが勝利の決めてとなり、５年連続８回目の優勝を飾ることができました。又、この年は、ベスト８中、５校が近畿勢と近畿の女子が強い年でした。又、シングルスにおいても、ベスト４全てが近畿勢で、何か、近畿大会をやっている様な気になりました。そして、ダブルスでは、同級生の冨田（現花田）と組み、最後の年も、三冠王で、しめくくれる事ができたわけです。バドミントンを初めて、中学時代に練習が辛くて、合宿を抜け出した事もありましたが、指導者の先生方や先輩方の協力、又、家族の応援のおかげで、インターハイのタイトルを取り、又次に向かっての夢を持つことが出来ました。インターハイでの勝利が、私に自信をつけてくれ、そして、夢を作り、バドミントンとの絆を強くしてくれましたその後の大会から、引退までの間、全日本８回全英でのベスト４入り、ユーバー杯で李選手（中国）に勝った事、そして、１６年間の総決算として、ソウル五輪で銅メダルと次々に自分の夢を叶える事ができた事、今では本当に大切な宝物となり、私の心の中に残っています。夢を持つ事が、いかに大切かを、バドミントンで教わった気がしますので、今の選手にも、夢を大きく持ち、実現できる様、日頃からの練習を無にする事なく、頑張ってもらいたいと思っています。これからのバドミントン界に期待し、最後になりましたが、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の益々の発展を心から、お祈り申し上げます。

ナショナルチームで見た世界の夢



陣内貴美子

私がバドミントンをはじめたきっかけは、小学校４年生の時に、一つ年上の姉が地元のクラブに入ったのが縁で、当時はオモチャがわりというか、自然にラケットに親しんでいました。

決して練習熱心な生徒ではありませんでしたが、試合では不思議と好成績を収めることができ、中学では熊本代表に選ばれ、そして、２年と３年の時には全国中学校選手権の団体で優勝する幸運に恵まれました。

高校進学にあたり、いくつかの学校から誘いでいただいたものの、中学・高校の合同合宿でお世話になり、指導法に強く惹かれた工藤先生のもとでバドミントンを続けたいとの願いは強く、熊本中央女子高校へと進学しました。

名門高といえど部員わずか１０名。全国レベルのトップ選手を集めるのではなく、中には初心者も含まれている環境でした。

おまけに練習場所は４回にある講堂で、コートは一面しかありません。従ってコートに入れる人数は自ずと限られ、部員は練習時間の大半をトレーニングに費やす毎日。１階から４階までの階段を何度も何度もダッシュで上り下りしさらには、タイヤ引きなどのハードトレーニングも組み込まれ、自然と筋力が培われてきました。

しかし、上級生になってからもシャトルコックを打つ時間はなく、今までこそ笑い話ですが３年間を通じ、きれいな羽根はほとんど使ったことがないほどでした。

熊本はバドミントン先進県で、多くの名選手を輩出するなど、ハイレベルで知られ、そうした中、全中優勝の私はまさに怖いもの知らず。全選手の目標となる高校１年生の夏のインターハイでも案外優勝できるのではないかと高を括ったほどでした。

順風満帆だった私が始めて挫折を味わったのがダブルス戦。決勝まで進んだものの、相手は四条畷のエース北田スミ子さん。それまで味わった事のない〃怪物みたいな強さ〃の前に全く歯が立たず、バドミントンすらさせてもらえないほど、いやというほど実力の違いを思い知らされました。

この敗戦を契機にとして、私の心の中を「インターハイに絶対に勝ちたい」との欲求がムクムクと湧き起こり、練習に取り組む姿勢ががらりと一変しました。それからは明けても暮れても練習の毎日で、練習の虫になりました。その甲斐あって、翌年のインターハイでは団体とダブルスに優勝し、２冠を獲得することができました。

そして私のバドミントン人生の転機となったのがナショナルチーム入りです。ユーバー杯防衛戦が東京で開催されるにあたり、高校生としては前例のないナショナルチームの一員に抜擢されたのです。長期的な視野に立っての選手強化で、同僚の高峯選手との高校チャンピオンのペアに白羽の矢が立ちました。

選ばれはしたものの、コーチは池田信孝さん選手は徳田敦子、高田幹子、近藤沙織、米倉よし子さん等、日本のバドミントン界を背負うそうそうたるメンバー。高峯選手と二人、コートに入ることすら許されず、いつも隅っこに佇み練習といえば走るか、先輩のプレイを横目にうさぎ飛びばかりの毎日。唯一、昼に１時間ほど

シャトルコックを打つ時間が与えられる程度で最初の頃はなかなか打たせてもらえませんでした。

それでも、１年間に１３回もの内外の合宿に参加し、トップ選手のプレイを間近に見れた結果、おぼろげながら「世界」が私の中で身近に感じられてきたのがこの頃でした。

当時、報道も含めバドミントンに対する周囲の期待は大きく、ナショナルチームの選手に対する期待は予想以上で、高校生の私でさえ勝って当たり前と見られ、毎日がプレッシャーの連続でした。同世代といえば、ジュニアのメンバーに抜擢されての海外遠征。ナショナルチームとの練習環境は雲泥の違いで、随分とうらやましく思えた時期もありました。

それでも、高校チャンピオンになるのが夢でそれを目標としてバドミントンを続ける以上、練習は少しも辛くありませんでした。そして、「これだけ練習すれば負けるはずはない」と、自信をもって臨んだ高校最後のインターハイでは、シングルスも制し、念願の３冠を獲得することができました。

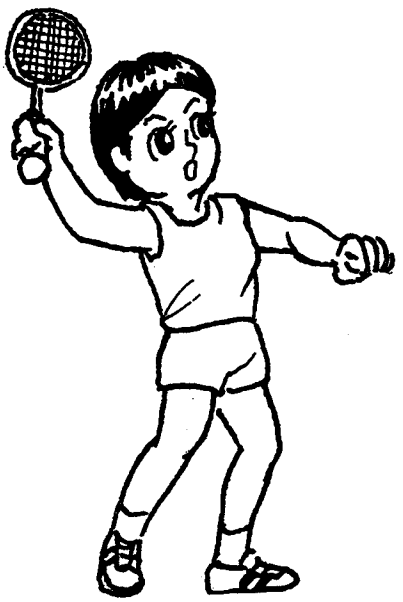
そして、インターハイ３冠をひっさげ暮れの全日本総合選手権に出場し、シングルスで瞬く間に準決勝に進出。あの北田スミ子さんと対戦する事になりました。何とか高校１年生の時の借りを返したい。その一心で集中し、予想を上回る接戦となりました。勝負は第３ゲームに縺れ込む展開となりました。ここでも、しぶとく粘るものの最後は精神力の差からか、セティングの末わずか１ポイント差で負けてしまいました。

あれほど勝ちたいゲームを逃し、あの悔しさは今でも忘れる事は出来ないほどです。

高校時代を振り返り、私が幸せだったのは高校生の時にすでに世界の夢を見せてもらったこと。普通の高校生では見ることのできない恵まれた環境でした。

そしてもう一つ恩師に恵まれたこと。例え試合で追い込まれても、先生の顔を見るだけでピンチから自然と解放されるのです。先生はただうなずいてくれるだけなのに、不思議と負けない気持ちになり、ピンチの場面で何度も助けられたものです。全日本選手権に初めて出場した際も、われんばかりの声援の中で唯一、先生の声だけが耳に飛び込んできたのをはっきりと覚えています。

現在は月に２回程度講習会でバドミントンをするくらいで機会は減っていますが、バドミントンへの情熱は決して衰えることはありません近い将来、私が高校時代に経験した世界の夢を土台に、底辺拡大とファン拡大のため、ジュニアを指導していきたいと考えています。



高校生活の思い出



宮村愛子

私は、熊本中央女子高校に入学してからの3年間色々な思い出があります。入学する前から練習に行っていたので、合計6年間と半年練習していました。

その中でも、高校3年間は短い様で長い月日でしたが、いきなり1年生のインターハイでシングル優勝と、史上初の記録をつくってしまい回りの人達の目が、ますます厳しい目に変わってきた気がします。高校1年生での初のインターハイ優勝と自分ではそんなに感動するほどでもなく、結果的に優勝していたと思う。それからの練習と言うか、練習でもコートは1面に何十人という人数でやっていたので、コートに入る時間も少しましてシングルの練習なんてない出来ない。こんな状態での優勝したわけですから。いかにコートに入ってからの集中力が必要か、分かります。それが2年目の春、練習にも気合いが入らず、ダラダラとやっていたら、いきなり捻挫してしまったのです。それも、インターハイ県予選2週間前、私どうしたらいいのか、分からず、すぐ病院の方へ行きました。結果全治1か月とのことでした。ギブス入れられて、毎日どうしようという気持ちと県予選どうしようという気持ち。私は病院に無理言って、1週間のギブス後の1週間テーピングでの練習けど、テーピングでやっても足首の痛みは最悪内出血しているし、歩くのもやっと。そんな状態での試合。何とか県予選2位でインターハイの出場券はてにすることができたけど、足首は痛くて、痛くて、毎日治療です。それでも治るわけないですよね。その年のインターハイ2連覇とか言われてたけど、永井妃に負けて2位。何かガッカリした気持ちでした。怪我をしたから負けたとかではなく、精神的にも疲れてたみたいです。自分がこの頃嫌になり始めていたのです。がっこの練習にも出られず、海外の試合ばかり、帰ってきたら国内の試合とか、学校のテスト勉強する暇もなし。こんな生活を1年生の時からずっと行ってきてるわけであって、有り難いと思ってすることを、忘れている頃でもあったのです。

それから、3年生になって身体はボロボロ。最悪なスランプに入っていた。それがインターハイまでは、何とか気持ちを引き締めてたから良かったけど、国体の県の合同練習の時、初めて工藤先生に打たれました。この時、頬が赤くなり手の後がつくと言う、とっても痛かった。その顔で国体出場、県は優勝する事が出来たけど、私は何故か気持ちがふっきれることはなかったのです。団体が終わりすぐ全日本となるわけですが、それも初出場です。練習も1週間合宿が始り、工藤先生の家に泊まり込みして朝5時起きて、ランニング、この頃12月でしたので外はとても寒く、池など氷が張っていた時だと思いますが、その中をハダシで歩いたりとこんな事が何に結びつくのか分からず先生と歩いたことを今でも覚えています。夜は12時まで練習。その時先生の方から「シングルス優勝の二文字で頑張るぞ」と毎日の様に言われ続け、私はそんな高校生が、全日本で優勝するとは何事かと一人で先生の言葉を聞いたことにしておいて、私はただボーっと練習していたと思います。けど、先生は「優勝するんだぞ」と相変わらず一人で言ってたけど。そんな練習で全日本

を迎え東京へと出発です。やはり若いですね。
高校生を相手に他の社会人の人達はビクビクして自分の力を出せずして負けていったのです。
そんなことで、私は楽に決勝まで行き、決勝も１５～２０分ほどで終わり優勝することが出来ました。その時の実感も全くなし。自分の力で勝ったのではなく、周りの人達が自分の力を出せずして負けたのですから・・・・・。

だから、高校３年間の思い出は色々な意味で自分を育ててくれた工藤先生との長い付き合いでしたので一言では言い表せない事ばかりだけど、この３年間で全日本も取ることが出来き、すごい事だと今では感心するばかりです。
だけど、国体合宿の打たれた事は忘れません。
ジョークですけど。工藤先生はとても、私の事を考えてくれて、全日本を取れるまで育ててくれたとっても楽しく、厳しい先生でした。
いいえ、最高の先生です。
その名も、工藤勇参！



高校時代とバドミントン



井田貴子

この度は、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立５０周年おめでとうございます。

私が現在、企業に入り、現役でバドミントンを続けていられるのも、高校時代にバドミントンに集中する事ができたからだと思います。

私の母校である埼玉栄高等学校は、勉学はもちらんですが、とくに部活動に理解を示す学校でした。設備や環境は、他の高等学校とトップを競うぐらい素晴らしいもので、それぞれの部活動の先生方においても、有名な指導力のある方々ばかりでした。バドミントン部にも、やはり全国的に有名な加藤勝先生がおられました。私は、このような環境の中で、３年間を送る事が出来てとても感謝しています。

中学時代には、ただ続けていただけで、全国大会ベスト４に入るという事を意識もしていませんでした。そんな中、なぜか高校２年生の時インターハイでシングルス、ベスト４に入ったのです。暑さと１つの試合、１つのラリーの長さで、ぐちゃぐちゃになったのを覚えています全国大会の個人戦で賞状を頂いたのは、この時が初めてでした。これをきっかに、自分自身の中で次の大会への目標みたいなものが出来ました。この頃になると、放課後、休日と休みなく練習があり、バドミントンが生活の一部になっていました。私達の時代は、現在、バドミントン界で有名な宮村さんや水井さんのようなスター選手がいなかった為、周囲の方々の評価は、あまり高いものではありませんでした。それでも私達は、私達なりに練習を積み、各大会において実力を競い合いました。

インターハイベスト４という成績から、翌年の全日本ジュニア大会でシードを頂き、苦戦しながらも初の全国大会で優勝することが出来ました。こ結果により、ダッチジュニア選手権、ドイツジュニア選手権に出場させて頂きました海外に行く事、海外でプレーする事、全てにおいて初めての経験でした。いろいろな面で、驚き、戸惑いました。しかし、その遠征や合宿によって、その時のメンバーだった人達と交流を深め、８年たった今でも大事な友人、親友として付き合いが続いています。

高校時代の練習といえば、基本的な事が多かったように思われます。ランニング、ウエイトトレーニング、ダッシュなどによる体力作り。そして、コート内練習では、フットワークとノック、パターン練習、２対１。１、２年では、そのメニューについていくのが、精一杯でした家を出てから学校の門をくぐるまで、２時間かかった事も練習の辛さを倍にしていたのではないかと思います。３年生になると、自分自身の目標が出来た事、又キャプテンとしての自覚が出来た事より、練習に意欲的に取り組むようになりました。やらされているという意識が自分でやろうとする意識に変わっていった時でしたその時は、悩みもなく、ただ前へ前へ進むだけでした。そんな中、目標としていた全国選抜バドミントン選手権、インターハイのシングルスにおいて優勝する事が出来ました。この時一番喜んで下さったのは、中学１年から高校３年までの６年間、ご指導して頂いた、加藤勝先生だったと思います。初め、中学校の先生だった加藤先生は、私が中学３年に上がると同時に埼玉栄高校に移られました。ラケットの握り方から

高校３年で次の進路が決まるまでお世話になりました。バドミントンで世界を目指したり、いろいろな経験が出来るのも、初めの一歩が加藤先生だったからだと思います。今も、心配して頂いたり、励まして頂いたりしています。私にとってとても大事な恩師であり、感謝が耐えません。

私にとって、高校時代のバドミントンは、その後の進路を決めるものになりました。東海女子短期大学の２年を経て、三洋電機に入社し５年たった今でも、生活の一部になっています。続けている中で、喜びも悲しみも辛さも味わいました。嬉し泣きも悔し泣きもあります。高校でプレーするのと、企業でプレーするのでは、大きな違いがあります。私も２５才になり、バドミントンの楽しさだけでなく、勝負の厳しさを感じています。バドミントンが自分を占める割合がおおきくなりました。自分がこの競技を離れる時、バドミントンを初め良かった、バドミントンが心の底から好きだと思えるか、そしてお世話になった方々、周囲の人達に深く感謝出来るかどうかで、私のバドミントンが成功したかどうかが決まるのではないかと思います。

現在、プレーヤーとして、日本のバドミントンが世界のトップ選手に勝つ事が大変難しくなっていますが、日本が一つになって世界に挑戦する事を続けていけば、いつかは世界のトップの国と並び、抜くことができると信じています日本のバドミントンの発展の為には、高校時代の練習、国内大会、そして海外遠征が重要なものだと思います。是非ジュニアの選手の方々には、高校時代のバドミントンを大切にして欲しいと思います。私の高校時代のバドミントンに対する思い出と思いは、この様な感じです。少し偉そうな事も言ってしまいましたが、許して頂きたいと思います。

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立５０周年記念誌の作成にあたり、このような機会を頂き、誠に有り難うございました。又、高校時代に、全日本ジュニアの合宿、各大会、海外遠征などいろいろな方面においてお世話になった事に対して、深く感謝するとともに、これからの全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の益々のご発展をお祈り申し上げます。



高校時代とバドミントン



中山智香子

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立５０周年、誠におめでとうございます。５０年という間には数々の出来事があり、関係者の方々のご努力がこの歴史を作られたのだと思います。今後も全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の益々のご発展をお祈り致します

私は、平成３年の春に北海道旭川市内の神居古潭中学校を卒業し、旭川実業高等学校へパートナーの増茂孝枝さんと共に入学しました。旭川実業高校へ入学するにあたり、北海道バドミントン協会から推薦された。本室蘭中学校の下苧坪英雄先生が旭川実業高校へ赴任されました神居古潭小中学校時代の恩師、中村光生先生にもしばしばご指導していただきました。

中学校は自宅から徒歩１０分。高校へはバスで通学していたのですが、自宅を出てから高校に着くまで要する時間は約１時間４０分。練習が終わる８時ごろには最終バスが出てしまっているので、帰りは下苧坪先生ともう一人の野田浩先生が毎日交互に自宅まで送って下さいました。３年間、本当に申し訳なかったなとつくづく感じます。そういう訳で高校に入学してからは、その環境に慣れるまで少し時間がかかりました。移動中はいつも寝ていたという記憶しかありません。

年が変わり、２回目のインターハイは団体ベスト８、単２位、複ベスト８でした。その直後には北海道の国体予選があり、単、複共、優勝と調子が上り始めていたところ、私の人生を変えたといってもいいほどの出来事ありました。あれは忘れもしない、８月19日のことでした。練習中に左足首の靭帯を損傷してしまったのです。全体重が左足首にかかってひねってしまいひどい痛みでした。すぐに氷水で冷やしましたがどんどん足首は腫れ、痛みも引かず、足をつくことすらできなくて、今までで１番ひどい捻挫だと思っていました。その日はそのまま帰宅し、様子をみたのですが、次の日になっても腫れが引かず、足もまだついて歩けなかったので両親に病院へ連れていってもらい検査をしました。そして、「靭帯が切れています」とお医者さんから言われました。靭帯が切れていると言われてもその時、あまり知識がなかったので、ピンとこなかったのですが、治すには２通りあり、手術をして靭帯をつなげるか、手術をせずにギブスで固定しておくかの選択をせまられました。とりあえず、その時に答えは出さず、ギブスで固定しておきました。私のその時の考えは手術はしたくなかったのです。せっかく調子が上がってきて、さあこれからという時。しかもその約１週間後には全日本ジュニア合宿があり、１１月に行われる世界ジュニア選手権の派遣メンバーを決めるというので、私はどうしてもすぐにバドミントンをやりたかったのです。前年の世界選手権では複３位だったので、「今度はその上を」と思っていたので「手術なんかしたら絶対に間に合わない。」そういう気持ちがその時、強かったのです。でも恩師の中村先生にはきっぱり「手術をしろ。」と。私と母と下苧坪先生で話し合った時も「お母さんをオリンピックに連れていくんだろ。手術した方がいい。」そして、四条畷学園の片岡輝明先生からもお手紙いただき、「目先のことにとらわれず将来のことを考えて手術をしなさい。」と激励

も兼ねたお手紙でした。また、北田スミ子さんもコートに立てないほどの怪我をされて、その時の体験談もかかれてました。
バドミントンができなかった時期に、コートの中では見えない事を外からじっくり見て、研究したり、イメージをして、その怪我があったから今の自分があるというようなことを知りました。北田さんのようにはなれないけれど、私もそういうふうにじぶんを磨いていこうと思いました。「強くなろう。」バドミントンも人間としても。

そして、手術することを決心しました。決心するまでに時間がかかり、手術となると色々な検査も必要で結局、9月2日に入院、手術をしたのは9月3日のことでした。病室から寝台ベッドで手術室まで運ばれ、手術台に移されました。眩しいくらいのライト、手術器具を用意する音などで「本当に手術するんだな。」と恐怖感が増していきました。そして、ふと横を見ると私のカルテがはってあり「中山・全日本ジュニア絶望」という見出しがみえました。その日の地方紙に載ったものでした。その時、本当に悔しくて涙が次々にでてきました怪我さえしていなければ、こんな悔しさも恐怖感も味わずに周囲の人にも迷惑をかけずに済んだのにとそんなことばかり考えていました。そして、いよいよ下半身麻酔をし、いつの間にか眠ってしまって気がついた時にはギブスを巻き終わるころでした。「あー、終わったんだな。」とホッとしたような複雑な気持ちでした。病室に戻されて麻酔が切れてからは痛みとの闘いで、その日はほとんど眠ることができませんでした。

リハビリはその2、3日後から始めて、2週間ほどで退院し、その後は学校でリハビリをするようにしました。バドミントン部にトレーニングマシンがなかったので、校内のバレー部の寮においてあるトレーニングマシンをお借りして、毎日1時間ほどやってから体育館に戻って自分のできる範囲のことやりました。

そしてギブスが取れ、装具に変わってから少しずつ元に戻して行けるようにしました。走れるようになった時は本当に嬉しくて、怪我をしてから色々なことができることに感謝しなければ行けないと強く感じました。

怪我をしてから約3か月後の全日本総合でコートにたちましたが内容はほとんど覚えていません。ただ、コートに立てた、復帰できたということが何よりも嬉しかったのです。
そして最後のインターハイ。その年は冷夏で栃木でも涼しく、暑さは気になりませんでした。団体戦はベスト8。残るは個人戦。「最後のインターハイ」という思いと「あれだけやってきたのだから」という思いを全部コート上で出しました。結果は単、複共、優勝と最高の成績を残すことができました。怪我をして辛かったことやきつい練習のことなど、頭の中を駆け巡って「諦めないでやってきて本当に良かった。」と涙が出るほど嬉しかったインターハイでした

高校3年間葉、色々なことを経験して精神的に強くなれたと思うし、自分を大きく成長させてくれた時期でした。周囲の方々の支えがあって、そして苦しみを乗り越えることができたから今の自分があると、いつも感謝の気持ちでを忘れず、自分に言い聞かせています。小さいころからの夢である「オリンピック出場」に向け1日1日を大事にして夢を実現させたいです。そういう形で支えとなってくれた方々に「恩返し」できれば最高だと思っています。これからはもパートナーの増茂さんと共に頑張ります。

全国高等学校総合体育大会を開催して

５５総体をふりかえって



元 香川県高等学校体育連盟
バドミントン部
部　長　森田桂示

全国高体連バドミントン専門部が創立５０周年を迎えられ、記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

十年ひと昔と言いますが、５５総体が終わって１８年になりました。その思い出を中心として何か書くようにということですが、経過・成果についての客観的な記録はあると思いますので、ここでは私なりの所感を述べることでご容赦いただきたいと思います。

顧みますと、第３１回インターハイは「四国は一つ」を合言葉に、「四国路を駆けろ若人、意気と熱」をスローガンとして、弘法大師誕生の地、善通寺市で開催されました。私の専門部長在任中に第２２回大会・第３１回大会と二度にわたってインターハイに携わることができ、今更ながら光栄に思い、感謝しています。

バドミントン競技の開会式の入場行進で先頭者として会場を歩んだ時、緊張の連続の中にあってふと目についた歓迎の花鉢、サルビアの真紅、マリーゴールドの黄色、名も知らない小さな青磁色の花の印象が未だに鮮やかに思い出されます。

善通寺市実行委員会発足当時から「善通寺市民の一人ひとりが、全国から来る役員・選手の人達を誠意を込めてお迎えしよう」を合言葉とし、その精神が準備のすべての面で生かされたと思います。

全国大会を開催するたびに市民の関心が高まり、愛好者の底辺が広がって選手の層も厚くなりました。地元香川県のレベルは確実に向上し、次代を担う中・小学生にアピールする効果も大きなものでした。

５５総体当時、「教育の荒廃」や「若者の三無主義」が教育の現場でいわれていましたが、その中にあって選手達のなんと生き生きとしていたことか。勝っては泣き、敗れては涙する感激の場面に心を動かされたのは私一人ではなかったでしょう。役員の方々の感想文の中に、厳しい練習に耐え抜く姿や規律正しい生活態度などを感銘を込めて記されたものがありました。また、同じ高校生で、地元の者は縁の下の力持ち的役割を黙々と果たし、献身的とも言える努力を尽くしたことに対して頭の下がる思いがしました。スポーツに打ち込んで青春を燃焼した選手達も価値ある心の糧を得たと確信しております。ことにあたって、その組織の人々が目的を共通理解し、協力と和で結ばれ、全員で成し遂げた時、そしてその成果が十分手応えのあった時の充実感、こんな喜びはないであろうと思いました。その人その人の人柄に接し、共に苦労したことがかえって喜びを倍加したことを今でも味わうことができます。

５５総体が無事盛大に行われましたのは、ひとえに全国各方面の関係各位をはじめ、地元の皆様のご協力の賜物に他ならないと思い、深く感謝申し上げたい気持ちでいっぱいでございます。また、平成１０年８月には１８年ぶりに四度目の第４９回インターハイ（四国’９８総体）が香川県で開催されます。私はその年の３月で定年退職しますが、競技成績、運営の両面において全国に誇れるようなりっぱな大会にできるよう微力ながら協力していきたいと思います。

最後に、全国高体連バドミントン専門部の益々の発展を祈念しつつ、ペンを置きます。

第３２回大会を開催して



元 神奈川県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　斎藤　栄
（神奈川県立元石川高校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の創立５０周年を心からお祝い申し上げます。

神奈川県は日本のバドミントン競技の発祥の地でもあり、本県初代委員長の伊沢三郎先生が全国専門部の創設に尽力されました。

昭和５２年度より私が２代目の委員長を引き継ぐことになりました。当時の県内でバドミントン部のある高校は６０校あまりでした。それがあっという間に１１０校を越え２００校に近づき、大会の運営も今までの組織では全く機能しない状況となってきました。それまでの全県一斉の大会を地区制にかえ、１０数名の委員での組織を総務・競技・審判・強化普及の委員会を作り専門委員の数も１０００名を越える組織としました。

昭和５３年度に『５６総体』を神奈川でという話が突然舞い込んできました。開催予定の東北地区の県の都合で関東地区開催が決定されたということでした。神奈川県高体連の調整の結果バドミントンの神奈川県開催が決定された時『専門部に開催できる能力が本当にあるのだろうか』『自分にその能力があるのだろうか』と不安が一杯になりました。『やるしかない』と決意を固め、まず県内の顧問の皆さんに決意を表明し協力を要請しこの機会に逆に他の専門部に負けない素晴らしい専門部をつくるきっかけにしようと思いました。

早速滋賀県大津市の３０回大会の視察を始めとして、インターハイの運営のイロハから勉強し始めました。監督としてのインターハイは何回も経験していましたが、実際に運営の立場にたってみると、今でも何と我が儘なことばかりだったのかと反省するばかりでした。

幸いなことに大ベテランの杉田　博先生（当時横浜立野高校監督）・日向久之先生（当時日大高校監督）が競技関係を全面的に引き受けて頂き、現副委員長の佐藤亮二先生（富士見丘高校）広瀬直彦先生（県立鎌倉高校）に青木孝之（県立多摩高校）を加え３名の副委員長体制としました。

開催準備で最も苦労したのは会場の確保と宿舎の確保でした。特に平塚市・藤沢市での開催が決まり宿舎には頭を抱えました。宿泊係をお願いした先生方は苦労の連続でした。

３１回大会の善通寺市には各部門のチーフの先生方には全員が視察することができ少しずつ開催に自信が出てきました。

いよいよ開催の年の昭和５６年４月から事務局の専任になり、朝から晩までが机に向かっての仕事になり、週に２回は各部門の会議で最後の詰めを行い、着々と準備は進められました。

大会には高体連の先生方１０５名と補助役員の生徒４００名余が献身的な働きで頑張り、当時の全国専門部長の遠井稔男先生より高い評価を頂き大変嬉しく感激しました。

この３２回大会の開催のエネルギーが今でも若い先生方に受け継がれ神奈川県高体連バドミントン専門部の発展の基礎になったのは間違いありません。

今後も全国の５０周年が１００周年までもさらに発展しますことを祈念いたします。

第３３回鹿児島大会を開催して



前 鹿児島県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　原口健二郎
（鹿児島県立鹿児島南高校）

８月初旬という真夏の盛りに、体育館を締め切ってプレーするバドミントン競技のこと、しかも南国鹿児島でのインターハイである。猛烈に暑いのは当たり前だ。だが、その当たり前をはるかに越えてすさまじい熱風の嵐が頭の芯までぐるぐる吹き狂って過ぎ去ったような１週間であった。今思えばあれはずっと遠い昔の日の真夏の夢であったような気がする。それがちょうど１５年前の事と知り、ひとしおの感慨に浸りながら、鹿児島インターハイを振り返ってみたい。

昭和５７年度インターハイを開催するにあたり、鹿児島県は「１県単独開催」を旗印に掲げた。インターハイで開催される全ての競技を県内だけで分担して受け持つのである。こうしてバドミントン競技会場は男子が枕崎市、女子が加世田市と決定された。この時から両市をはじめ県当局、県協会、県高体連専門部等の全力を挙げての準備が始まったのである。両市ともに薩摩半島南部の人口３万にも満たない小市である。それにバドミントンが特に盛んな地域だった訳でもない。会場となる体育館やその附属施設、宿泊、交通、そして競技や運営を担当する役員や補助員の育成など、いずれも非常に厳しい状況であった。

そして更に大きな問題があった。鹿児島インターハイでは、バドミントン競技におけるインターハイ史上初めてという開催方法を採ったのである。それは開会式を両市で男女別に２回に分けて行っての、男女別の分割運営方法であった。このため両市の実行委員会どうしの緊密な連絡調整が重要課題になった。例えばプログラム編成にしても内容を合わせながら別々に作成するため作業が手間取った。特に開会式の式典については役員団の移動や時間の調整などの事前準備と、当日の２度に亙る緊張の持続は心身共にきついものであった。

そして開催県としてもう１つ大きな課題があった。選手の育成・強化である。バドミントンでは後進県であっても地元の期待は大きい。県協会や専門部をはじめ関係者の努力は並み大抵ではなかった。

このような条件下ではあったが、「南国に競え若人、はぐくめ友情」の大会スローガンのもと、バドミントン関係者はもちろん地元の人々の情熱な応援態勢を得て、成功裡に大会を終えることができた。競技運営だけでなく、宿泊その他の面でも不便な中にも地元の誠意を感じとっていただけたのではと思う。

さて、いささか私事になるが、開催の２年前に現地に転勤し、専門委員長を仰せつかり、勤務校にバドミントン部を作り、我が家を合宿所にして強化に励み、実行委員会に出向し、大会直前には４ケ月も血尿に怯えながら情熱を燃やした「青春」の日々であった。あの時の体験がその後の自分の人生にとって貴重な宝となっている。あらためて我が身の至らなさを詫びると共に、心から感謝を表したい。

最後に、いろいろ御指導いただいた、当時の遠井全国専門部長、常に先頭に立ってリードした藤本鹿児島県理事長をはじめお名前を書ききれない全ての関係の方々の絶大なお力添えを讃えて鹿児島インターハイを振り返る記念といたします。

愛知県２回目の総体
―５８総体を顧みて―



前 愛知県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 田中章喜

58総体バドミントン競技を実施するにあたって、56年度に県教育委員会に準備委員会が設立され、57年度には実行委員会に発展し、開催全種目の出向職員が、本務校には非常勤講師が充当されて、週５日間準備に全力投球をして開催にたどりついた。顧みると愛知県では、45年度に一度全国総体のバドミントン競技のみ実施をしている。本来は中地域の近畿、和歌山県開催の予定であったが、44年度後半に開催地の不都合で大会返上がなされ、当時の全国高体連の副会長より直接電話で、名古屋市の県スポーツ会館に出向くようにいわれ、授業も自習の形にして新幹線を利用してお逢いしました。中地区で来年度のバドミントン競技を何とかしないと大会が実施できないので愛知県で受けてほしいとの依頼があった。年度始めであれば、先催県の大会を視察し準備も出来たであろうが、年度後半ではどうにもならないが、幸いに44年度の群馬県の桐生大会に個人戦ではあったが選手を連れていっていたので、その時の記憶、写真等で何とか予測出来たので副会長に総体を目指してきた選手、監督のためにも実施しますが、会場や練習会場等については、とても十分に準備出来ないことを本部に了解していただき結論が出た。特別な委員会、事務局、ましてや本務校の授業の講師充当などなく、44年度後半から45年度開催まで週に平均４日間片道75kmの豊橋・名古屋を往復し車のメーターも約10万Kmを走行し大会を実施した。その大会と比較してみると今回は何と恵まれた大会であろうと思いつつ仕事を進めていた。しかし心残りは自分が出向職員ということで名古屋の実行委員会に週２日、豊橋市実行委員会に週３日、本務１日という勤務シフトで、開催県・開催市でありながら自分のチーム作りが出来なかったことである。

本県は協会主体の大きな大会が多いので大きな大会を実施するには大会の諸会議、配宿がうまくできれば良い大会になる。例年監督会議では議論百出とまではいかないにしても、長時間が費やされている。この会議をいかに短時間で終了するかが「カギ」であった。結果として開会から閉会までおよそ15分であった。そのためには有力チームの配宿、各チームの練習会場との位置関係等を綿密に作り、その作業には何日も係の先生が全力投球してくれた。大会結果は地元愛知は残念なことに上位入賞はならなかったが、暑い三河の地、この東三河地区はバドミントン不毛の地といわれてきたが、全国高体連、県協会、豊橋市協会、市内各校のバドミントン部員、そしてそれ以外の沢山の人達の協力で円滑に大会を終了することが出来たことを今でも心より感謝しております。

最後に選手並びに役員、補助員の方に大きな事故もなく終えることができたことを報告してペンを置きます。

《東北の緑に染まれ　君の青春》

昭和５９年第３５回秋田インターハイの思い出



秋田県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　柴田惣行
（秋田県立横手工業高校）

翌年に秋田インターハイを控え、昭和５８年の愛知インターハイバドミントン競技に県高体連専門部から視察員として豊橋市に行った。外気温３５℃とホテルの冷房との温度差で体調を崩し、辛い一週間を過ごした。会場までの路面電車の中で参加女子選手が「来年は秋田だからきつと涼しいんじゃないの」と言っていたことを思い出すが、昭和５９年の秋田インターハイ期間中も近年にないと言われるくらいの猛暑続きであった。開会式では多くの補助員が救護される事態であった。大会では男子が滋賀県延暦寺学園比叡山高校、女子は埼玉県立上尾高校の優勝、個人で江藤裕樹選手（比叡山）が三冠を達成した。私は役員として参加していたが、全国の競技レベルを身近に見ることが出来たこの経験に感動を覚えた。また、優勝した比叡山高校藤上良信監督から「コートの中に人生を見つけ、シャトルで友情を広げよう」の色紙を頂き、その後のバドミントン指導の支えになった。

ところで、この秋田インターハイバドミントン競技開催に当たって特筆しなければならないことは、線審補助員の養成のことである。開催地の大曲市にはバドミントンの部活動を行っている高校が一校しかなく、そのため大会の線審をバドミントン競技のことを殆ど知らない一般の生徒でやらなければならない状況であった。最初はラケット・シャトルを準備し、市内各校の生徒にバドミントンのことを教え、実際にプレーさせてみることであった。次にルールを教え線審の役割や審判方法、実技というように段階的に大会まで１１回の講習会を数えた。この任を担当した私は、一抹の不安を持ちながら大会を迎えたが、大会終了後、遠井稔男部長をはじめ多くの役員の方々から賞賛の言葉を頂き、感無量の思いであった。そして、この大会で線審を務めた生徒の中からバドミントンをやってみたいという声が出て、後に大曲工業高校に部が誕生したことは、インターハイ開催地としての大きな遺産となった。大曲市は当時の秋田県高体連バドミントン専門部委員長鈴木祐司先生と私（派遣専門委員）の出身地であり、特別な思いが大曲市実行委員会のた方々との日々の業務を遂行させてくれたものと思う。

今、５０周年記念誌への寄稿のために当時を思い出しているが、今は亡き鈴木祐司先生の姿が鮮明に浮かんでくる。先生は、業務の傍ら昼休み時間に市役所職員のバドミントン愛好者とゲームを楽しんでいた。鈴木先生の競技力は、ご承知の通りハイレベルで羨望の的であり、その先生と試合が出来るということでしばしば勤務時間に食い込んでゲームが続けられた。さらに鈴木先生は書道にも堪能で、プラカード用の学校名、選手名などをいとも簡単に書き上げてしまうのであった。現在のインターハイ等では考えられないことであるが、先生のこうした技が寄与した業績は大きいと思う。全国の賞状に書かれた鈴木先生の文字と同じ文字の賞状を持っているかつての県内の多くの高校選手達には違った意味の勲章なのかもしれない。

最後に、秋田インターハイ終了後、鈴木先生が私にくれた大会成功感謝の色紙に書かれた言葉を書いて思い出としたい。

『人を愛し、物を愛する心と物を作り出す
智恵を見つけようではありませんか』

「昭和６０年全国総体を開催して」

"２９年・４２年大会と比較しながら"



元 石川県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 河原山晴夫

昭和60年全国高校総合体育大会は、８月１日より６日まで石川県で開催されたが、本県では３回目であった。開催された時代背景がそれぞれ違っていたので、大会開催に関する諸々の点での違いが大きかったようだ。先ずその事について触れてみたい。

１回目の昭和29年は、高体連の組織が無く、競技団体（バドミントン協会）が中心になって大会運営の全てを実施していたらしい。現在の様に交通費、日当、弁当などの支給は一切無く、全員が手弁当持参でやっていた。役員数も少なく、線審も置かず主審１人で試合を賄っていたとのこと。当時はそのような事が当たり前で、大した混乱も無く大会も成功裡に終了したそうです。

昭和42年に本県で２回目の全国総体が開催された。この時には、高体連組織も出来ていたが、開催は全種目１県単独開催ではなく、北信越５県に分かれての開催であった。また、当時は現在のように大規模な体育館も少なく、１つの体育館を順番に使っていた。当時石川県には、金沢市内に石川県体育館（12コート）が有ったのみで、他に同規模以上の体育館が無かった。そのため、７月下旬にバレーボール、８月上旬にバスケットボール、そして最後にバドミントンが実施された。この時には高体連も組織されていたが、現在のように十分な活動はなされていなかったようだ。大会運営は高体連とバドミントン協会によって行われたが、どちらかと言えば協会が主導権をもって実施されたらしい。役員、補助員に対する交通費や日当は支給されず、僅かに弁当だけがバドミントン協会から出ていた。

昭和60年に３回目の全国総体が開催された。この時は、日本社会が高度経済成長を完成し、経済面では世界一流国の仲間入りをしており、物事の考え方も以前とは大きく様変わりをしていた。大規模体育館も各市町村に設置されるか計画中であったり、雪国だということで公立高校には第二体育館も出来ていた。したがって、現在のように全種目同一県での開催（勿論種目別で開催不可能、例えば海の無い県でのヨット等は別）。期日も特別種目を除き８月１日に総合開会式を実施した。

大会運営も以前とは大きく変わり、開催都市町村が加わるようになった。開催を受け持った各市町村には、60（ロクマル）総体実行委員会が設置され、地元高体連バドミントン専門部、バドミントン協会、市町村担当係等によって数年前から準備に取りかかった。前年度開催地への試合視察、関係書類の借り受け等細部にわたって実行委員が準備をした。

バドミントン競技は、金沢市中心部にある石川県体育館を主会場に、河北郡内の宇ノ気、七塚、高松の各町で実施された。以前の大会と大きく変わった点は、競技役員、補助員（高校生）数が大幅に増えたこと。しかも、全員に交通費、日当、弁当等が支給されるようになった。これらの費用は、会場設備費とともに全額開催地の役所が受け持った。補助の高校生も担当の高校からバドミントンの未経験者を集め、指導をして線審等をさせたが、問題点も無くスムースに実施された。以上３回の大会を比較して、それぞれの特色を述べてみた。

昭和６１年度全国高等学校総合体育大会

燃えろ・かがやけ・たくましく

第３７回全国高等学校バドミントン選手県大会に寄せて



元 山口県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 安藤輝夫

昭和６１年度、全国高等学校総合体育大会・第３７回全国高等学校バドミントン選手県大会

期日　昭和６１年８月１日（金）～６日（水）

主催　全国高等学校体育連盟・（財）日本バドミントン協会・山口県・山口県教育委員会・下関市・下関市教育委員会

後援　文部省・（財）日本体育協会・ＮＨＫ・（財）山口県体育協会・下関市体育協会

主管　全国高等学校体育連盟・山口県バドミントン協会

会場　(主会場) 下関市体育館・下関商業高校・県立下関中央工業高校・県立下関南高校・梅光女学院大学短期大学部　各体育館
(副会場) 市内中・高校体育館９会場

競技役員

大会委員長・競技役員長　遠井稔男（全国高体連バドミントン専門部長）他役員３１０名

競技委員長　安倍淳美　他役員係１１５名

大会運営役員・総務委員長　安藤輝夫（山口県高体連バドミントン専門部委員長）他役員係１２５名

審判役員・審判長　津守幸介（山口県バドミントン協会理事長）他役員・審判員１１５名

式典表彰委員・式典総括　大野倍弘（下関市バドミントン協会理事長）他役員３６名

補助員　市内高校生５８０名

大会参加選手団　選手－男子４１１名　女子３８１名　他監督・コーチ・マネージャーを含めて１０００名

以上、大会規模を記録的に示してみました。

特に山口大会（下関市）での特徴としては、約１０００名に近い選手団を迎え、冷房完備の下関市民会館大ホールで椅子席があったにもかかわらず入場行進を行い、開会式が挙行され皆さんの好評を得られたことと最後の男子ダブルスの決勝がＮＨＫのテレビ放映があり、私の記憶ではたぶん高校バドミントン大会では初めてのことだったと思います。

本大会を引き受けての感想は、全国規模の大会ともなれば関係者が約１２００名もの膨大な動員数であり、下関市で弓道、ウエイトリフティングの３種目があり、おそらく市内１２の高校生、教職員全員が夏休み返上で取り組まれたことと思います。また、高校生の一流のプレーヤーを直接見て、ここまでこられた日頃の努力と素質、指導者のご苦労は並大抵のことではなかっただろうと実感しました。やがてこの中から日本を代表するプレーヤーが育っていくことを思えば高体連の果たす役割が、いかに大きなウエイトを占めているか改めて責任の重大さを感じました。

最後に多数のご協力いただいた皆様に心から感謝するとともに、一生良き想い出となることでしょう。



６２’インターハイを開催して



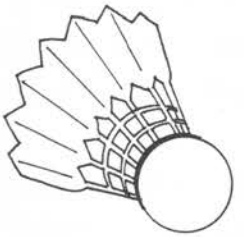
元 北海道高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 森田精一

私が、全国高体連バドミントン専門部に関わりを持つようになったきっかけは、現山の手高校の増田先生の代理としてお手伝いさせていただいたのが始まりでした。第３０回大津大会の常任委員会が東京の山田屋旅館で開催され、その時は現顧問の遠井先生など全国大会常連の監督の皆さんと一緒に仕事をさせてもらうだけで緊張の連続であり、光栄に感じられた次第です。常任委員１０年というのは、今思えばあっという間の出来事のように感じられるとともに、皆さんにはご迷惑ばかりかけたのではないかという自責の念で一杯です。

６２’インターハイの開催が北海道に決まり、当然ながらバドミントン競技もどこかの都市で引き受けることになったのです。過去に一度全国大会を経験しているものの規模、競技方法、技術、用具等が大幅に変わり、不安がいっぱいだったことを思い出します。

登別開催が決まりましたが、試合会場、宿舎などの手配などに頭を悩ましました。特に、この年は冷夏で選手諸君の体調が乱れないか、怪我人が出ないかと心配したのでした。また、専門部の私と平沢先生は地元ではなく、帯広と札幌というように遠隔地のため、一週間に一度か二週間に一度登別に赴き、準備状況を確認することしかできず、とても歯がゆい思いでした。しかし、地元関係者および本部役員の絶大なるご支援を戴き、無事大会を終了し、一安心したのでした。全国大会を開催するには、地元特に行政機関と綿密な連絡、石の疎通がなされなければ大会運営もスムーズにいかないことを痛感したのでした。しかし、そうした経験は私だけでなく、北海道、地元高体連関係者の貴重な財産として残りました。

これからもいろいろな場面で皆様方のご支援がなければ高体連の発展はないと思います。陰に陽にご協力のほどよろしくお願いいたします。思ったことの十分の一も紙面に表現することができず残念ですが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。全国高体連バドミントン専門部のますますのご発展と役員皆様のご健勝を祈念申し上げて筆を置きます。





６３宝塚インターハイの回顧



兵庫県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　仲山　巌
（夙川学院高校）

全国高体連バドミントン専門部５０周年誠におめでとうございます。全国大会開催県ということで寄稿を依頼されましたが、拙文の上、輝かしい５０年史を汚すのではないかと危惧しながら筆をとる次第です。

１１年前のことになりますが、「６３総体」は兵庫中心に開催され、バドミントンは“宝塚インターハイ”となりました。全国大会の運営などとんでもないという“素人軍団”での挑戦でしたが、遠井先生はじめ全国専門部の役員の先生方、地元宝塚市の各団体、行政当局、その他多数の関係者の方々のご支援を得まして、盛会裡に終了できましたこと、今なお感謝の気持ちで一杯です。閉会式か終わって一息ついたときの脱力感、そしてそれを上回る充実感というか、何ともいえない達成感は地元役員共通の気持でありました。しかし、時が経ち冷静になって振り返る度に「あすこはこうすればよかった」といった後悔ばかり。全国大会運営の大変さが実感されるのであります。とにかく、参考として以下に宝塚インターハイの概要を記します

期日：昭和６３年(1988)８月３日～８日
会場：宝塚総合ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ(ﾒｲﾝ10面・ｻﾌﾞ4面)
　　他３会場(20面)、練習会場８
選手：８７２名(男子106校444名、女子93校428名)
監督・コーチ：３７６名
役員：競技役員１５６名(県外12名、県内144名)
　　運営役員１３９名(県外2名、県内137名)
補助員：５４６名(競技312名、運営234名)
宿泊：宿舎数２３
　　宿宿人数１３８０名(選手998名、監督等266名、役員70名、視察員20名、報道員26面)
会期中取扱患者数：２６名(選手14名、役員3名、その他9名)
観客数：延８２００名

〔経過〕

６３兵庫総体は昭和59年5月の全国高体連理事会で承認され、60年9月に全容が決まった。バドミントンは県協会が宝塚開催を強く推し進めていた。というのも、宝塚市では61年未完成を目指した総合体育館の建設予定であるという情報によるものであった。市当局もすぐには快諾とはいかなかったものの、前向きに検討いただき60年の夏には“宝塚インターハイ”の実現となる。我々の仕事もにわかに忙しくなり、あと３年と差し迫った中で、選手強化、指導者講習会、審判講習会等慌ただしく実行していった。そんな中で県内有力中学男子選手２名が県外に進学するなどちぐはぐが起き、バドミントン後進県を露呈した。62年7月に宝塚実行委員会がスタートし、事務局が開設された。市から担当主幹の植松氏・主査の前川氏、高体連から桝谷(旧姓)先生が出向し、この３人が事務局に常駐して、すべてに亙って大変な無いようを処理された。その事務量はここに記すまでもありません。本番を控えた63年3月に同会場で全国選抜大会を開催することができた。この選抜大会の成功が大きな自信となった。また、同大会での記念レセプションは市主導で、櫻内会長の出席を得て、市各団体の理解と協力が一気に上り８月本番への大きな力となった。一人一人運動で市内全高校生の協力、プランター育成など市内全小中３３校の協力、そして、何よりも膨大な大会開催経費をすべて補助して下さった宝塚市当局。ただただ感謝あるのみです。

元年高校総体に学ぶ

「競え技 結べ友情 さわやかに」



元 高知県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 谷 岡 敏 男

全国高体連バドミントン専門部が創立50周年を迎えることは、まことに喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

また、その歴史の一ページを元年高校総体を通じて刻むことが出来たことを深く感謝致します。

昭和60年５月29日の全国高体連理事会において、昭和64年度高校総体バドミントン競技の高知開催が正式決定した。途中、昭和64年１月７日、昭和天皇のご逝去という悲しい事態に遭遇し、昭和から平成への改元、それに伴う大会の名称の改正を余儀なくされ、「６４」から「平成元年」へ、平成の初頭を飾る大会となり、平成元年度全国高等学校総合体育大会第40回全国高等学校バドミントン選手権大会を８月１日から６日間の日程で高知市の高知地場産センター、サンピア高知体育館、土佐女史高校体育館、追手前高校体育館、丸の内高校体育館の５会場を競技会場に「競え技結べ友情さわやかに」のスローガンのもと、皇太子殿下のご臨席を仰ぎ全国の精鋭１千余名の選手、監督、役員の参加を得て猛暑の中、盛大に開催し成功裡に終了することができた。

開催の決定以来、開催地としての課題は、本大会のために努力を続けてきた選手が練習の成果を十分発揮できる環境をつくることと、また本県の代表選手が良い成績を残すことを考え準備を進めましたが、本県のバドミントン人口は極めて少ないうえ、全国規模の大会運営は初めてとあって色々な問題が山積みしておりました。その折りに、全国高体連バドミントン専門部長の遠井先生に高知の地まで足を運んでいただき、叱咤激励をされたことが懐かしく思い浮かびます。また、この大会を成功に導いたのは、県下高等学校がそれぞれの活動を実施するとともに、高校生が主役となり、友情あふれる一人一役運動の献身的な取り組みと役員の昼夜をとわない業務の推進活動のたまものである。

大会を振り返りますと、競った技と集中力、勝者の輝き、敗者の悔しさ等々が一人一人の選手の胸に強く焼きついていることでしょう。また、「スポーツは参加することに意義あり」ですが、それとともにやはり、絶え間ない向上への意欲、勝利への執念がスポーツ選手の誇りであり、スポーツを愛する多くの人々の感動を呼ぶことが出来たと思います。これからも永遠に続くであろう高校総体、ここで育つ選手も先輩たちが築きあげてきた精神で青春をいちだんと輝かせてもらいたいものである。そして、全国高体連バドミントン専門部の益々の発展を祈願して最後に感性溢れる生徒の感想文の一節を借りて締めくくりたい。

「こうして８月６日をもって元年総体は終わった。“一人一役”の精神は貫かれ、みんながそれぞれの思い出を作ったことだろう。この総体は僕たちに色々なことを教えてくれた。まさに何十年に一度の“幸運”であった。」

「華ひらけ無限の力　宮城の夏に」

平成２年度全国高等学校総合体育大会　バドミントン競技を開催して



元 宮城県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 白岩良治
(宮城県工業高校)

平成２年度のインターハイバドミントン競技は「華ひらけ無限の力宮城の夏に」のスローガンのもと、７月31日～８月５日までの塩竈市・松島町の一市一町で開催されました。特に７月31日の開会式当日には、インターハイバドミントン競技として初めての参加選手選手名を刻んだモニメント除幕式も盛大に行われ、大会内容と共に１４００名におよぶ参加選手、監督の皆様に生涯にわたる思い出を与えることができたと確信いたしております。

大会期間中、宮城県地方は珍しく連日の猛暑でありましたが、主競技場は冷房完備で選手・応援団・見学者には大好評であったと記憶しております。選手達も体育館内の好条件に合わせるかのように、日頃鍛錬された高度な技術を展開されバドミントン競技の素晴らしさを宮城県民の前にひろげていただき感謝しております。幸いに競技成績でも地元聖ウルスラ学院高校の団体３位、宮城県工業高校のベスト８と大いに気をはいたこともあり、連日６競技場に多くのバドミントンファンが足を運んでくれ、全国のスーパースターの活躍を堪能していただいたと思っております。また、当時の宮城インターハイで活躍した選手が、現在日本代表選手として頑張っているニュースを見るたび当時が思い出されます。

振り返りし今、インターハイを開催し、無事競技を終えることができましたのも、地元塩竈市実行委員会の皆様、そして、県内各地から協力していただいた高校の先生方、バドミントン部員、地元高校生が一丸となり、献身的な協力のたまものと心から感謝いたしております。

最後になりますが、遠井稔男元全国専門部長には大会前より御指導、助言をいただき、私自身大いに助けになりましたし、支えていただいたことに深く感謝一杯であります。

大会最終日には遠井部長より「今までの大会で一番心のこもった大会であった。」とおほめの言葉をいただき、役員一同涙に浸ったことが昨日のことのように思い出されます。

宮城県高体連バドミントン専門部におきましても、宮城インターハイ以降、宮城県工業高校、聖ウルスラ学院高校、常盤木学園高校と全国大会において上位で活躍するチームが育っていることが何よりも、勝る良薬であることと大変嬉しく思っております。

全国高体連バドミントン専門部の益々の発展を祈念いたしましてペンを置かせていただきます。

平成３年度全国高等学校総合体育大会を顧みて



元 静岡県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 石川博義

昭和が平成の年号に変わり、６６総体が平３総体として進もうとしている。平成２年４月から静岡県高体連バドミントン専門部委員長（当時は部長）を引き受けることになりました。バドミントンについては、実績も経験もない門外漢の私には大変なことでした。ともあれ４月１日からスタートしましたが、戸惑いばかりが先行する状態でした。

毎年どこかの県で実施しているんだからと思いながらも、何と多い仕事の量だろうか、くる日もくる日もパソコンをたたき、人に会い、会議に出席し、出張し、業者に会うなど仕事は全くはかどりませんでした。

大会５０日前キャンペーンが来ても、やっとメイン体育館が感性した状態で、リハーサル大会も開けず、少しも仕事は進まずこれで大会が開催できるのだろうかと思いつつ、毎日毎日、仕事を積み残して日が過ぎて行きました。

一般高校生補助員の講習会などは、何回も開けないので、補助員と先生方を一堂に集めて、全国からの選手・監督を迎えるに当たっての心構えだけをよく話して、あとは「役員・補助員業務必携」をよく読んでおくようにとお願いをして終わってしまった、今考えてみると全く冷や汗ものでした。

平成３年８月１日新設間もない富士市立富士体育館の開会式で平３総体の幕が開きました。「感動は“いっしょうけんめいの”熱い風」のスローガンのもと県実行委員会、市実行委員会、関係諸団体および役員、そして地元高等学校の先生方、「一人一役」運動を実践してきた高校生諸君が一丸となって大会準備に始まり、大会期間中の競技・運営に至るまで、誠に献身的にご協力とご努力をしていただき、準備不十分のところは臨機応変の動きでカバーをしていただき大過なく実施できたことと思います。

全国から参加された１９５チーム、１３００名の選手、監督の皆さんが澄んだ瞳を輝かし、無心にシャトルを追い、灼熱の体育館でプレーする姿は、観る人に感動を与え、大会を一層盛り上げてくれました。

印象に残る試合は、男子単決勝で千葉敬愛の太田慎二君の試合でした。単複二冠の夢が果たせなかったことは残念でした。最終日の日程で単複に優勝することが至難の技であることがよくわかりました。

大会二日目に、皇太子殿下の行啓がありました。そのお迎えする為の準備と警備のすごさには驚嘆しました。お蔭で大会も盛り上がりましたし、私としても殿下の横に同席をさせていただき、全国部長の遠井氏と二人で説明者としての大役を果たさせていただいたことは大変幸せであったと思っています。

薄氷を踏む思いで突入した大会でしたが、多くの人々に支えられて無事大会が終了したことを改めて感謝するとともに、今後開催される都道府県の大会が成功裡に終了するよう、そして、５０周年を迎えた全国高体連バドミントン専門部の益々のご発展をお祈りいたします。

夢きらめいて
宮崎の空の下



前 宮崎県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 山内勇紀
(宮崎県立本庄高校)

山積する課題

コートマット、シャトル、放送設備、バインダー、ファーストサーバーリボン、ラインズマン用椅子、鉛筆、パソコン、プリンター、脱衣籠、看板、審判用記録用紙、オーダー用紙、大会要項、参加申込書、宿泊要項、宿泊申込書、ネームプレート、抽選用具、先催県視察、宿舎点検、競技会場点検、会場案内板、競技役員数、補助員数把握、公認審判員数把握、審判員講習会、補助員講習会、運営役員確保の為の各高校との交渉、九州各県専門委員長に協力依頼、競技必携作成、練習会場ライン引き、練習会場用用具の配分、競技役員・運営役員・競技補助員・運営補助員名簿作成、全国役員委嘱状作成、名札の作成、退会までの準備日程表作成、式典関係役員・補助員打ち合わせ、アトラクション出場者との打ち合わせ、リハーサル、閉会式リハーサル、表彰状・メダルの用意、１０年連続出場調査、本部宿舎点検、専門委員長会議・監督会議受付・案内、設営、駐車場、放送、接待、司会進行係打ち合わせ、全国役員送迎計画作成、開会式・閉会式進行手順作成、会場地競技記録速報体制作り、進行経過表作成、大会当日の進行の流れ作成、記録係の仕事と他の係とのつながり計画作成、試合開始までの書類の流れと各係の業務作成、試合後の書類の流れと各係の業務作成、記録センターおよび報道係の試合当日の業務作成、進行係・記録係と放送業務との関連、審判部業務内容とその流れ、運営役員の業務の流れ・・・・・・・・・・・・・・・

宮崎で全国高校総体を実施することが決定したということを聞いても何だか遠い国のことのようにしか感じませんでした。

高体連の組織にしても、県バドミントン協会の組織にしても全国規模の大会の経験はまるでない者ばかりでそれを聞いたとき全身に鳥肌が立つ思いでした。その経験のない者だけで先に上げたようなことをやらなければならないわけでいったいどうなることか、誰にできるのかと不安がいっぱいでした。しかし、先催県の方や全国高体連の遠井先生はじめ故鈴木先生、三重の大世古先生、静岡の石川先生、熊本の故南先生たちの非常に暖かいご指導ご助言のおかげでこの難関を乗り越える自身が湧いてきました。

また、地元西都市と高鍋町の実行委員会の方達の実に献身的なご協力があって先催県に負けない大会運営と選手・監督・応援の方達の歓迎を見事に実施できました。

そして、宮崎県高体連バドミントン専門部も大きく成長することができました。

私たちの目につかなかったところで多くの高校生の補助員や地元の方たちが地道にがんばってくれたことを聞き、目頭が熱くなり思わず涙がこぼれてしまいました。

実に多くの方に支えられて大会を立派に終了する事ができました。ありがとうございました。

最後になりましたが、この大会準備発足当時、西都市実行委員会の保健体育課長徳永氏がご子息を事故で亡くされましたが、悲しみを乗り越えていろいろご協力をいただきました。

本当にありがとうございました。ご子息のご冥福を心よりお祈りいたします。

「礎」をなした
インハイ栃木大会



元 栃木県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 武井祥子
（栃木県立宇都宮南高校）

全国高体連専門部の創立５０周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

私が県の専門委員長を務めさせていただいた頃を回顧して、その一番の想い出は、何といっても高等学校最大のスポーツイベントであるインハイが平成５年８月１日から６日間、宇都宮市で開催されたことであります。いうまでもなくこの大会は、高校スポーツ選手にとって最高で最終の目標ともいえるため、これを迎える我々専門部員は、当時全国高体連専門部長であった遠井稔男氏を中心に団結し、大会の成功と本県バドミントン界の躍進をめざし、微力ながら奔走いたしました。遠井氏は昭和４９年から前記の要職にあり、それまでの多種のキャリア力を発揮され、大会運営等に係る多くの難事・難題を率先して解決して下さいました。我々は、そのトップリーダーのご指導のもと学ぶことの多き日々の中、成功への礎を築くことができました。

ところで、日本バドミントン協会会長櫻内義雄氏は当大会プログラムのあいさつの中で、『本年度の高校生の最高レベルのバドミントン競技がすばらしいドラマとなって展開され、これが将来の日本バドミントン界の礎となることを念願する。』と述べられておられました。まさにその夢と期待がその数年後の今、次のような現実となってあらわれております。個人単に出場の水井泰子選手は「史上初の三連覇なるか」の大きな期待がかけられ、大会はいやが上にも盛り上がりました。結果は宿敵・中山智香子選手にファイナルの末敗れ、大偉業の達成は成りませんでしたが、熱気あふれるプレーは多くの観衆に感銘を与えてくれました。あの時のドラマは今も競技者間に深く残心し、夢・希望・発展への礎となっているものと思っています。現在お二人ともシドニーオリンピックの有力候補選手として活躍されております。

一方、このインハイの影響は、本県の競技者、指導者そして選手達にもあらゆる面で礎となり、生きた存在として今も息吹いています。その一つに、本県中学選手が今年度の全国大会の男子団体と個人複で全国二冠に輝き、今後のインハイでの活躍が期待されています。また、今年２月に実施した県公認審判員資格講習会・検定会には全受講者の５３％が高校生という盛況さで、低年齢層にまで意識の高揚化がみられました。中でもある受講生は「試合に勝つために勉強にきました。」とも話しており、まさに栄冠は技術・体力のみでなく、理論・知識を含めた精神面の総合性の強さこそが鍵であるとの理解の現れではないでしょうか。かつて、私も全日本ジュニア選手とともに中国研修に行った時、夜の親善交歓会での競技規則クイズの対戦があり、日本の選手は完敗に終わりました。このようなことからも、今後ぜひ、より多くの高校生に審判等の講習会に参加していただき、競技規則の勉強もされ、更なる競技力向上に結びつけていただけたらと願っています。以上まとまりませんが、インハイ栃木大会の想い出・成果の一端を述べさせていただきました。

最後になりましたが、これからも全国高等学校体育連盟バドミントン専門部がこの度の５０周年を節目として、より大きく飛躍・発展されることを祈念しております。

第４５回インターハイ「高岡大会」を開催して



前 富山県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 二上敏博

インターハイが真夏のスポーツの祭典であるとはいえ、平成６年高岡インターハイほど連日猛烈な暑さに見舞われた大会は、５０年の歴史の中でも珍しいのではないかと思います。

例年にみられない強烈なかんかん照りの日差しに焙られた高岡市民体育館他５つの市内高等学校の競技会場内は、冷房設備がなかったこともあり、まさに蒸し風呂同然、じっとしているだけでも、ポタポタと汗が滴り落ちるような有様でした。近年、空調等が整備されている快適な大型施設での開催が増えている中にあって、高岡インターハイは参加した選手にとっては、インターハイが暑さとの戦いでもあることを身をもって実感した大会であったのではないかと思います。しかしながら、そのような中でも、力と技と気力の限りを尽くして精一杯のプレーを披露し、大会を大いに盛り上げてくれた選手の皆さんに深く敬意を表したいと思います。今思い返しても、本当に「暑い」・「熱い」戦いの日々の連続でした。

記録的な猛暑に見舞われた大会ではありましたが、高岡インターハイは、バドミントン競技にとって大変記念すべき大会でもあったように思います。

競技初日の８月２日、皇太子殿下、雅子妃殿下には、高岡市民体育館にお越しになり、バドミントン競技をご視察になりました。インターハイにおいて、皇太子殿下ご夫妻のご視察をいただくことは、大変名誉なことと考えますとともに高岡インターハイがバドミントン競技にとって、皇太子殿下ご夫妻をお揃いでお迎えした最初の大会となったことに地元関係者として、この上ない喜びを感じております。

皇太子殿下ご夫妻は、１４時５８分から７０分間にわたりご滞在になり、熱心に競技をご観戦になったばかりか、テレビ等でお見かけする時と少しも変わらぬ、さわやかなお姿で私たちに大きな励ましを与えて下さいました。また、ご接待役を務めた地元女子高校生にも、皇太子殿下ご夫妻は優しく労いのお言葉をかけて下さり、彼女たちの感激もひとしおでした。

高岡インターハイでは、さらに、（財）日本バドミントン協会から櫻内会長、綿貫・戸田両副会長が揃って開会式にご出席になり、選手はじめ関係者一同を激励して下さいました。正副会長にご出席いただいた大会は、インターハイの歴史の中で初めてのことと伺っております。

今、改めて振り返ってみますと、５０年に一度のインターハイの開催に地元専門部の一員として関わることができたことは、本当に幸運であったとつくづく感じられてなりません。

参加する全ての選手の心にいつまでも残る素晴らしい大会にしようと専門部一同申し合わせ、関係機関や団体のご支援、ご指導のもとに、準備を進めてきたことが思い出されます。

インターハイ開催を通して、私たち富山県高体連バドミントン専門部に大きな感動と有形、無形の貴重な財産を与えていただいた全ての関係の方々に、改めて深く感謝いたしますとともに、５０周年を契機として、全国高体連バドミントン専門部が今後ますます発展されますようお祈り申し上げます。

平成７年インターハイ回想

－熱く燃えた感動の夏の日－



前 島根県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 山本篤治
（現 島根県バドミントン協会 理事長）

暑く、そして熱く燃えた感動の夏の日だった。「光陰矢のごとし」あれからもう３年の月日が過ぎ去った。

平成７年度の全国高校総体バドミントン競技は、「集え若人　はばたけ未来へ」の大会スローガンのもと島根県松江市において開催された。顧みるに、平成２年に高体連委員長に前任者から引き継いで以来、インターハイとの戦いが始まった。県内の加盟校１４校、全国一小さなバドミントン専門部であり、顧問の先生方も大半は素人の方だった。しかし、開催する以上は全国の予選を勝ち抜いた精鋭に心に残る大会にしようと取り組んだ。市内の高校生たちも千羽鶴を各チームに、大会速報の新聞を大会期間中会場で配布する等々大いに協力してくれた。

しかし、この大会開催に至るまでには幾多の難題が山積みであった。一つは、主会場となった島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）のフロアーの問題であった。メッセは展示会場でありフロアーはコンクリートむき出しのままであった。どのようにすれば競技会場になるのか、いろいろと試行錯誤を関係者と行ったものでした。最終的には厚さ３㎜のパンチカーペットをフロアー全面に敷き詰め、その上に専用コートマットを敷く結論に至りました。しかし、過去このような方法で会場を設営したところは皆無であり、不安を払うことはできなかった。

しかし、仮設スタンドと共に会場が完成した時、ブルーとグリーンのコントラストの上に１８コートが並んだ会場はそれはそれは壮観であったことを今も昨日のことのように思い起こされます。もう一つの難題は、役員の養成でした。小さな専門部ゆえに競技役員が足りず、バドミントンとはまったく無縁な方々にも何回も講習会に参加して戴き、役員構成をしたものでした。補助員も部員を総動員し、県内・中国大会などの実践の場を通して線審・点示の練習を繰り返したものでした。「アウト、インをはっきり」「もっと大きいジェスチャーで」担当者は指導を繰り返しながらも不安を払えなかったが、本番では選手と一体となって素晴らしい動きとキビキビしたジャッジを立派にやってくれました。高校生の本番の強さに関心すると共に感動すら覚えたことを思い出します。

こうして一つ一つの問題を解決し、８月１日の開会式、翌日から５日間にわたる熱戦を迎えることになりました。この日のために何年も準備を進め、惜しみない協力をしていただいた多くの人を思う時、込み上げるものがあり大会の成功を確信したものでした。

一方、地元選手もインターハイ入賞を目指し数年間に及ぶ強化練習をこなし、地元の熱い期待を背負い精一杯頑張ってくれました。その結果、大東高校男子がベスト８へ入賞しました。運営の傍ら、彼らの溌剌とした立派な戦いぶりに大会を支えている多くのものが元気づけられたものでした。こうして興奮と感動の６日間は一瞬のうちに過ぎていきましたが、私を含め、今も多くの人の心の中に生きていることと思います。今、時を経て、大会を通して多くの人との出会いがあり、そして人の「和」と「思いやり」が一つのことを成し遂げるのに必要であることを教えてくれたこのインターハイを私はこれからも忘れるわけにはいかない。

感動の平八総体



前 山梨県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 保坂和也
（山梨県立増穂商業高校）

“かけぬけろ　夏　風をきれ　山梨で”のスローガンのもとに全国各地より監督、選手等１２００名の参加を得て、甲府市総合市民会館を主会場に小瀬スポーツ公園体育館・甲府商業高校体育館・竜王町北部地用民体育館の４会場で７日間に渡って開催された。

従事教員として甲府市・竜王町両実行委員会に前年度は週３日、当年度は週５日通い準備に従事した。甲府市は人口２０万弱の都市であるが１１種目１４競技の開催となり、実行委員会は総勢５０人態勢であった。

競技会場や競技日程はほぼ希望どおりになり平成７年１０月には全国専門部の副部長大世古先生と故鈴木先生をお招きしての会場視察でご指導を戴き準備も本格化した。一番心配された審判員は関東各都県・静岡・長野の各委員長に５名の審判員の派遣を依頼。また、次期開催地の京都・国体開催地の広島からも応援をして戴いた。各県内大会において競技役員を４ブロックに分けての運営研修、コンピュータ研修をはじめ各種の研修会や講習会の実施。猛威を振るったO-157の食中毒に神経を尖らせ、弁当・氷の配布計画、Ｔシャツ等の作成、広告協賛金の依頼、役員補助員の確保・養成等上げ出したらきりがない。

時間の流れの速さに追いついて行けず、充分な準備も出来ないうちに７月４日組み合わせ抽選会となってしまった。緊張の中で抽選会が行われ、いよいよ本番まで秒読み段階に入った。

深夜迄かかったプログラム、式典要項、業務必携の校正、袋詰め作業、競技役員補助員の弁当配布計画、競技会場準備、種目開会式リハーサル、競技リハーサル、そして韓国忠清北道との親善試合と目の回る忙しさの中でいよいよ本番を迎え大会が始まった。

バドミントン競技は、大会運営に携わって戴いた役員及び補助員が一人一役どころか《一人二役・三役》を担い積極的に献身的に役割を果たしてくれ、大会期間中は甲府盆地特有の湿度と暑さの中での激しい戦いとなった。

高校生らしくコート狭しとばかりに躍動する選手の姿や、平素の練習で鍛えられた体力と精神力の高いレベルでのプレーは、私達バドミントン関係者ばかりでなく、県内外の観客に素晴らしい感動を与えてくれた。また男子地元代表の甲府商業高校がベスト８に進出し大会を盛り上げてくれたことは、これまでの苦労が忘れられる思いであった。

この大会に参加した選手、補助員の高校生が青春の思い出として深く脳裏に刻み、これからの人生に生かしてくれるものと確信している。

そして、私達もこの感動を大切にし、教育の一環としての高校スポーツが益々盛んになり人格形成に大きな役割を持つ中で、世界の檜舞台で活躍してくれる選手が出現してくれることを期待している。５０年に一度と言われる大会のの準備を通して人間関係の大切さや、素晴らしさを学ぶことができたことが、私のこれからの人生に大きくプラスになってくれるであろう。

最後になりましたが、大会成功に向けて熱心にご指導、ご協力くださいました副部長の鈴木祐司先生が平成９年１１月に急逝されたことは、本当に残念であり心よりご冥福をお祈りする次第である。

平成９年度全国高等学校総合体育大会回顧文



京都府高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　高橋清治
（京都府立桂高校）

京都総体バドミントン競技は、長い歴史と豊かな自然に恵まれた長岡京市において、８月１日から６日まで、西山公園体育館を主会場に地元中学校・高校の各体育館の計６会場で開催し、各会場とも高校生らしい若さ溢れるプレーが展開された。

振り返ってみると私が大会開催の１年半前より派遣教諭として長岡京市教育委員会スポーツ振興課に出向し準備を始めたが、開催に当たってはいくつかの高いハードルをクリアーしなければならなかった。

まず、第一は施設面でのことである。京都府の方針もあり既存の施設を使用するということで、競技会場としては、昭和６３年の京都国体でも会場となった西山公園体育館をメイン会場として、長岡京市内の地元高校２校と中学校３校の計６会場となった。また、練習会場においても中学校１校と小学校１０校の１１会場となった。

また、長岡京市には既存のコートマットが４コートと西乙訓高校に２コートしかなく、他の２８コートは香川県、高知県、兵庫県、龍谷大学にご無理をいってお借りした。

開催にあたって競技会場３４コート全部を高体連の役員とバドミントン部員が設置していった。練習会場のコート作りも役員と高校生が行ったが、暑い中、大変な作業であった。

第２番目には役員養成である。競技会場・練習会場が増えると、当然、役員・補助員の数も膨らんでくる。京都府バドミントン協会の加盟団体のすべての皆様と、高体連加盟校や地元高校生の協力を得るとともに、役員・補助員の養成に全力を尽くした結果、円滑に運営ができた。特に、京都府家庭婦人バドミントン連盟からは審判等たくさんのご協力を得た。

第３番目には選手強化である。長岡京市は京都国体を経験し、バドミントンの街として継続してジュニアの強化をしている。高体連としては京都総体に向けて、平成９年２月にバドミントンの世界的強国の中国に遠征に行かせた。また、長岡京市のはからいで京都総体前の７月に１ケ月間、中国の同世代の選手男女２名ずつを招聘していただき合同練習を行った。

これらの強化策が実り、西乙訓高校が男女とも学校対抗でベスト８、また個人対抗では最終日まで残り、男子シングルスで古川裕輔（洛水高校）が３位、男子ダブルスで春名悟・鎌田志門（西乙訓高校）が３位となり、競技力の面から、また、大会の盛り上がりからも京都にとってすばらしい大会となったが、この成果は当専門部の強化スタッフの努力がなくては得られないものであった。

大会開催にあたっては、京都府実行委員会、長岡京市実行委員会をはじめ、関係機関・団体の多大なご支援等を戴いた。また、大会運営に携わって戴いた府外・府内役員並びに地元競技団体や地元校の教職員の方々や、一人一役として生徒諸君がそれぞれの持ち場で献身的に取り組みがあったからこその成果であり、心より厚く御礼申し上げます。

平成１０年度高松インターハイを開催して



香川県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　岸　　輝人
（高松第一高校）

「輝こう　今この時を　君たちと」の大会スローガンのもと「瀬戸の都」高松市において開催された「平成１０年度全国高等学校総合体育大会　高松宮・高松宮妃賜杯　第４９回全国高等学校バドミントン選手権大会」は、平成１０年８月１日の種目別開会式（香川県県民ホール）から８月６日の閉会式までを無事終了することができました。

大会期間中は、３５度を越す猛暑の日が続きましたが、暑さをものともせず一生懸命にプレーする選手たちの姿は、実にすがすがしく、大会関係者のみならず会場を訪れた大勢の観客にもさわやかな感動を与えてくれました。

今大会は、熊本県立八代東高校の大束真也君が１３年ぶりに三冠王に輝いたのをはじめ、地元香川県勢も団体戦で高松商業高校（男子）が準優勝、香川中央高校（女子）が3位、個人戦でも男子ダブルスで高松商業高校の安徳和哉・二宮和敬組が3位に入賞するなど大いに気を吐き、話題性が多く、盛り上がりのあるすばらしい大会となりました。

さて、早いもので大会が終わって１ケ月が過ぎようとしていますが、今は、大きな仕事をやりとげた充実感よりも「大きなトラブルもなく何とか無事に終わってよかった」という安堵感の方が強いというのが本音です。

「四国’９８総体」バドミントン競技の開催が高松市に決定してからの数年間を振り返ってみますと実に様々のことがありました。

まずは、競技会場のことです。主会場に予定していた「高松市総合体育館」が柔道競技や体操競技と競合することとなり、バドミントン競技は元年度の高知市や７年度の松江市などの成功例もあるので、体育施設ではない「サンメッセ香川」に変更せざるをえなくなりました。

ところが、競技場となる「大展示場」にはわずかな照明しかなく仮設の照明を設置しなければなせなくなり、床の養生・仮設スタンドの設置・高額な使用料とあわせて多大な労力と費用を費やさなければならなくなりました。

次に、役員・補助員の養成です。競技役員・運営役員は、近県の専門委員長を中心に県内諸学校の教職員、家庭婦人連盟などからの協力をいただき比較的スムーズに組織作りができました。しかし、審判員は、県協会の協力を得て養成事業を重ねてきましたが、結局、必要人数が確保できず県外から３０名余りの応援を頼みました。

補助員に関しては、線審の養成にかなり気を使いました。高松市近辺の高校バドミントン部員を対象に何回も実技研修を行い養成していきましたが、結局、受験を控えた3年生も動員せざるを得なくなり迷惑をかけてしまいました。

続いて、選手強化についてですが、これは、岡野（高松商業）・林（香川中央）両先生にほとんどまかせきりでした。その結果、前述のような好成績をのこせとても満足しております。

最後になりましたが、この大会を大成功のもとに終わらせることができたのは、ひとえに周りで支えてくれた方々のおかげと感謝しております。準備・開催を通じて、協力していただいた人々の心の暖かさと力の大きさを痛感いたしました。本当にありがとうございました。

全国高等学校選抜記念大会を開催して

全国選抜２０回記念大会



元 栃木県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 別井 晃

第２０回全国高校選抜大会は平成３年３月２５日から２８日まで宇都宮市の総合文化センターで開会式を行い、市内３会場にて開催された。本県では、過去に全国高校選抜大会は４回開催し、これが５回目の大会であった。

大会に使用した３会場は、平成５年の全国高校総体（インターハイ）で使用する体育館であり３８コートが確保できる施設である。県体育館と市体育館は市内にあるが、清原体育館は郊外に位置し、交通の便も良くなかったので、監督・選手の皆さんに大変ご迷惑を掛け申し訳ないと反省している。（予算の都合でシャトルバスがでなかった。）

大会は、２０回記念大会ということで、遠井全国高体連専門部長（当時本県の理事長）と相談の結果、３チームのリーグ・トーナメント方式を考え、１回でも試合が多くできるよう配慮して実施したところ、大変好評であったことを記憶している。（実際には男女とも３チームのリーグ戦を１５ブロックと４チームのリーグ戦を１ブロックとした。）

大会初日の２６日にリーグ戦を行い、リーグ戦第１位チーム１６校を出し、２日目の２７日にベスト４までを出して２８日に準決勝と決勝を行うというタイムテーブルを組んだ。

初日のリーグ戦では、幾つかのブロックが激戦となり、タイムテーブルをはるかにオーバーしたところもありベスト１６が出揃ったのは９時頃であった。中でも３チームが１勝１敗の同率となったブロックがあり、本部となった県体育館に審判用紙が全部戻ってから最終的に１位チームを確認し、宿泊先の学校に連絡したということもあった。又、審判員と監督の先生との小さなトラブルがあり、試合途中で主審を交代したこともあった。全国級の大会を開催するとこのようなことは幾つかでるのが常であるが、本県としては、このあとのインターハイ開催に向けて、反省点と課題をいただき、かえってまとまった形でインターハイ成功に導けたと思うところである。

本県は、地元開催ということで男子は宇都宮南高校と宇都宮工業高校の２校が参加したが、予選リーグで敗退した。しかし、女子の小山城南高校と宇都宮南高校は予選リーグを突破し、決勝トーナメントに出場したが、１回戦でそれぞれ鶴鳴女子高校と常総学院高校に敗れ、涙をのんだ。優勝したのは男子が熊本県の芦北高校、女子が茨城県の常総学院高校であり、記念大会優勝として、重みがあったのではないかと思っている。

昔の選抜合宿から大会となって宇都宮で２０回、そして昨年京都での２５回大会も団体戦のみを実施したことですので、これからも区切りのよいところで、多くの試合かできる方法を考え高体連の強化も図れればよいのではないかと思うところである。

終わりに、これからのこの大会については全国の各都道府県において、積極的に大会の誘致をし、更に大きな大会として盛り上げて戴きたいと思いながら、今後の全国高体連専門部の益々の発展を祈念して思い出の１ページとします。

第２５回全国高等学校選抜バドミントン大会を開催して



前 京都府高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 成田光生

１９９７年３月第２５回記念全国高等学校選抜バドミントン大会を主会場長岡京市西山公園体育館、開会式記念文化会館、向日市民体育館、大山崎街体育館で開催しました。大会の準備は、この年の８月にインターハイが京都府で行われることが決まった時、高体連から京都府バドミントン協会に提起し、競技役員養成、競技力向上を目的として、高校選抜大会を誘致することを決めました。またこの第２５回記念大会がインターハイに近い規模でよりベターとの意見がでました。

インターハイの会場が長岡京市に決定した段階で、この全国選抜の競技会場を上記３会場とすることを決め、会場確保のための調査・折衝を行いました。競技初日の３８コートをどのように確保するかが第一の関門でした。幸い長岡京市高校総体準備委員会のご協力で向日市・大山崎町とも事前に当たることができ、特に支障は無いということで安心しました。

記念大会ということで、全国の方々から「組み合わは選手による公開抽選」という要望が出ました。全国高体連として初めての試みなのでどのように行うか検討を行いました。組み合わせ作業を開会式直後その会場で公開で行うには、参加選手と地元のスタッフの呼吸が合わないとうまく行きません。この点関係者には大変御苦労とお世話をかけました。

次に３８コートの審判員・補助員の確保です。幸い京都府家庭婦人バドミントン連盟の全面的なご協力を受け確保することができました。全国から来られた選手も日ごろの練習の成果を十分発揮できたと思います。その他大会準備の諸実務は高校総体実行委員会のご協力もあり、たいへんスムーズに運ぶことが出来ました。

大会財政は京都インターハイを成功させようという気運にも乗り、プログラム広告を集めることが出来ました。この場を借りて関係者に御礼申し上げます。

試合の結果は、夏のインターハイの前哨戦にふさわしく盛り上がりました。優勝は選手層の厚い埼玉が男女ともとりました。地元は強化の成果が出て、西乙訓高校が男子ベスト８、女子ベスト１６と健闘しました。

教訓としては、宿舎と会場間の交通手段が不十分であったこと、駐車場の確保が困難であったことがあげられますが、全体として成功で、夏の高校総体で競技力も運営もしっかりやろうとの気運が盛り上がりました。なお、この全国選抜の直後、地元選手団は再び中国遠征に出発し、違った面での刺激を受けることができたことを付記します。

記念行事

創立１０周年記念表彰（福島県会津若松市立第二中学校 昭和３４年8月7日）

学校表彰（全国総体5回以上出場校）

男子（35校）

帯広三条	（北海道）	北海	（北海道）	札幌工	（北海道）	白石商ケ丘	（宮城）		
若松商業	（福島）	山形市立商業	（山形）	山形学芸	（山形）	前橋商業	（群馬）		
桐生市立商業	（群馬）	木更津第一	（千葉）	聖浜	（東京）	麻布	（東京）		
関東学院六浦	（神奈川）	関東学院六浦	（神奈川）	横浜緑ケ丘	（神奈川）	府中	（神奈川）		
東府中	（山梨）	松本深志	（長野）	新潟商業	（新潟）	泉丘	（石川）		
沼津工業	（静岡）	武生工業	（福井）	富士	（静岡）	陵	（愛知）		
水口	（滋賀）	奈良	（奈良）	茨木工業	（大阪）	陵	（兵庫）		
安寺	（京都）	倉吉東	（鳥取）	江津	（島根）	業	（香川）		
大山	（岡山）	高知	（高知）	松商	（福岡）				
松山商業	（愛媛）			明善					

女子（25校）

黒石女子	（青森）	園子二見東一	（秋田）	学院女子中	（宮城）	若木	（福島）		
前橋市立女子	（群馬）	学女第二	（群馬）	女原	（埼玉）	松津	（新潟）		
大宇治	（京都）	愛生府士	（静岡）	綱松	（愛知）	更沢	（千葉）		
倉吉	（鳥取）	敬桐甲蔭	（大阪）	尚和	（兵庫）	陽	（石川）		
明善	（福岡）	富樟寺	（香川）	小新瑞	（香川）	山	（岐阜）		
		善通		親坂		松	（岡山）		

監督表彰（5回以上出場者）

（40名）

森 正	（北海道）	三二充	（北海道）	幸	（北海道）	延	（青森）	龍	（秋田）
川 仙	（岩手）	郎博巌	（山形）	郎子治	（山形）	作	（宮城）	秀	（宮城）
松 弘	（栃木）	亮子雄	（群馬）	裕宏二	（群馬）	満	（千葉）	重	（千葉）
滝 一	（千葉）	郎	（東京）	習	（東京）	夫	（東京）	憲	（石川）
田	（山梨）	純	（新潟）	郎	（新潟）	雄	（静岡）	正	（岐阜）
関 村	（岐阜）	四	（静岡）	重	（静岡）	載	（滋賀）	清	（兵岡）
谷	（大阪）	英	（滋賀）	英	（滋賀）	一	（奈良）	光	（愛知）
秋 澄	（香川）	代	（大阪）	代	（大阪）	治	（香川）	邦	（福岡）
穐 正	（高知）	光	（香川）	光	（香川）	実	（高知）	三	（愛媛）
南 一	（福岡）	忠	（高知）	忠	（高知）	等	（福岡）	郎	（福岡）
岡	（佐賀）	正	（佐賀）	昭	（佐賀）				
久	（長崎）	昭	（長崎）	二	（長崎）				

役員表彰（5名）（物故）

山田文雄	（前日本バドミントン協会会長）	広田兼敏	（日本バドミントン協会副会長）
森義雄	（全国高体連バドミントン専門部長）	伊沢三郎	（日本バドミントン協会理事長）
柳一夫	（前全国高体連バドミントン専門部長）		

創立２０周年記念表彰（群馬県桐生市民体育館 昭和４４年８月１日）

学校表彰（全国総体10回以上出場）

男子（16校）
若松商業（福島）　前橋商業（群馬）　木更津（千葉）　聖学院（東京）
関東学院六浦（神奈川）　甲府商業（山梨）　新潟（新潟）　富士（静岡）
茨木（大阪）　奈良商工業（奈良）　松江商業（島根）　西大寺（岡山）
高松商業（香川）　高知商業（高知）　熊本（熊本）　明善（福岡）

女子（18校）
敬愛学園（秋田）　尚絅女学院（宮城）　新庄南（山形）　若松女子（福島）
真岡女子（栃木）　甲府第二（山梨）　更津東（千葉）　新潟中央（新潟）
新潟青陵（新潟）　富士見（静岡）　木田女子（岐阜）　宇治山田（三重）
東大阪（大阪）　親和女子（兵庫）　彦根西（滋賀）　山陽女子（岡山）
倉吉西（鳥取）　善通寺第一（香川）

個人表彰

（22名）
柳一夫（顧問）　森正三（北海道）　熊谷重四郎（山形）　遠井稔男（栃木）
新井威（群馬）　五十里光秋（埼玉）　伊沢三郎（神奈川）　熊倉光治（新潟）
不破裕（富山）　飯田良信（石川）　谷亮（岐阜）　伊豆晃（三重）
岩井由治（奈良）　山本博（京都）　青木昭二（大阪）　河合満（兵庫）
毛利清志（岡山）　石井実（広島）　石原幸雄（島根）　穐山正雄（香川）
益田隷（熊本）　三原邦吾（福岡）

感謝状（順不同）

（10社）
株式会社諸江製作所　株式会社ヨネヤマラケット　羽立工業株式会社
株式会社トヨダスポーツ　大阪合繊株式会社　株式会社三和
有限会社ジャワ商会　河崎ラケット工業株式会社　ミセキネット製作所
日本バドミントンインダストリ株式会社

創立３０周年記念表彰（滋賀県大津市 ホテル紅葉 昭和５４年７月３１日）

学校表彰（全国総体15回以上出場）

男子（7校）
明善（福岡）【２１回出場】　日本大学山形（山形）【１７回出場】
甲府商業（山梨）【１８回出場】　聖学院（東京）【１６回出場】
松江商業（島根）【１８回出場】　金沢市立工業（石川）【１５回出場】
高松商業（香川）【１８回出場】

女子（17校）
善通寺第一（香川）【２８回出場】　吉原（静岡）【１７回出場】
山陽女子（岡山）【２５回出場】　倉吉西（鳥取）【１６回出場】
敬愛学園（秋田）【２３回出場】　富田女子（岐阜）【１６回出場】
新庄南（山形）【２１回出場】　成安女子（京都）【１６回出場】
新潟青陵（新潟）【２１回出場】　奈良市立一条（奈良）【１６回出場】
真岡女子（栃木）【２０回出場】　宇治山田（三重）【１５回出場】
土佐女子（高知）【１８回出場】　彦根西（滋賀）【１５回出場】
明善（福岡）【１８回出場】　松江商業（島根）【１５回出場】
尚絅女学院（宮城）【１７回出場】

監督賞（優勝2回以上監督）

（14名）
河原山晴夫（石　川）【５回 優勝】
谷口　章（奈　良）【３回 優勝】
不破　裕（富　山）【３回 優勝】
熊谷重四郎（山　形）【３回 優勝】
今井　先（東　京）【２回 優勝】
森川憲三（石　川）【２回 優勝】
伊沢三郎（神奈川）【２回 優勝】

片岡輝明（大　阪）【７回 優勝】
穐山正雄（香　川）【５回 優勝】
脇坂安隆（秋　田）【３回 優勝】
阿部一佳（新　潟）【２回 優勝】
伊藤　薫（北海道）【２回 優勝】
遠井稔男（栃　木）【２回 優勝】
佐藤茂雄（大　阪）【２回 優勝】

個人表彰

（53名）
本田弘敏（日バ協）
川村薫一（岩　手）
桔梗喜満（山　形）
近藤昇治（栃　木）
竜井岡正雄（東　京）
松田勝雄（富　山）
稲南喜一（長　野）
岸研忠義（三　重）
倉光下光政（大　阪）
地金村松村（鳥　取）
仲村寛市（香　川）
小林祐敬（顧　問）
茂司信次郎（秋　田）
鈴佐藤田樹（福　島）
上伊沢山嶋（群　馬）
石中寺長谷川（神奈川）
毛森中南利田島（石　川）
林木藤田山也（静　岡）
寿三直鎮（滋　賀）
郎志示文治（兵　庫）
清桂俊直（岡　山）
嘉三（香　川）
赤菅辺唐秋西川原田沢山田（北海道）
堅二保紀一郎蔵喜寿利実雄彦（宮　城）
川原（茨　城）
田沢清太善章長博幸孝勇（埼　玉）
山川中武石越築山（梨　県）
文（福　井）
太（愛　知）
善（滋　賀）
章（奈　良）
長（広　島）
博（愛　媛）
利（佐　賀）
実（宮　崎）
雄
彦
鈴木岡田橋間浦世古上藤木瀬田府（青　森）
忠昭祥重忠音吉弘安博義健信照（山　形）
豊吉高本長大坂佐仁勝別（茨　城）
蔵子夫孝吉弘彦（千　葉）
藤顕三之（新　潟）
木（長　野）
（三　重）
（京　都）
（和歌山）
（徳　島）
（高　知）
（大　分）
（鹿児島）

感謝状（順不同）

（9社）
ヨネックススポーツ株式会社　河崎ラケット工業株式会社　サンバタ印株式会社　諸江製作所
株式会社ゴーセン　有限会社ジャワ商会　ミセキネット製作所
羽立工業株式会社　メトロレジャー株式会社　東京運動記者クラブ バドミントン分科会

創立４０周年記念表彰（高知県高知市 高知第一ホテル 平成元年8月1日）

学校表彰（全国高校総体10回以上出場）

男子（29校）
高松商業（香　川）【２５回出場】
日本大学山形（山　形）【２３回出場】
金沢市立工業（石　川）【２２回出場】
東奥義塾（青　森）【２１回出場】
会津工業（福　島）【２０回出場】
伊勢工業（三　重）【２０回出場】
桐生市立商業（群　馬）【１９回出場】
宮城県工業（宮　城）【１９回出場】
瓊浦（長　崎）【１８回出場】
境港工業（鳥　取）【１７回出場】
九州学院（熊　本）【１７回出場】
比叡山（滋　賀）【１６回出場】
北海（北海道）【１５回出場】
県立岐阜工業（岐　阜）【１４回出場】
日和佐（徳　島）【１４回出場】
正強（奈　良）【１３回出場】
熊本商科大学付属（熊　本）【１３回出場】
新宮（和歌山）【１３回出場】
鹿児島商業（鹿児島）【１２回出場】
鹿児島（鹿児島）【１２回出場】
土佐（高　知）【１２回出場】
倉敷工業（岡　山）【１２回出場】
富士（静　岡）【１２回出場】
宇都宮工業（栃　木）【１１回出場】
柏原（大　阪）【１１回出場】
奈良市立一条（奈　良）【１１回出場】
高岡第一（富　山）【１０回出場】
甲府工業（山　梨）【１０回出場】
横手工業（秋　田）【１０回出場】

【１１回出場】
【１１回出場】
【１１回出場】
【１１回出場】
【１１回出場】
【１１回出場】
【１１回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【１０回出場】
【３５回出場】
【３１回出場】
【２７回出場】
【２５回出場】
【２５回出場】
【２４回出場】
【２３回出場】
【２１回出場】
【２１回出場】
【２１回出場】
【２０回出場】
【１８回出場】
【１７回出場】
【１６回出場】
【１６回出場】
【１６回出場】
【１５回出場】
【１４回出場】
【１２回出場】

優秀監督 (31回大会～39回大会)
(9名)

【１回優勝】
【１回優勝】
【１回優勝】
【１回優勝】
【５回優勝】
【３回優勝】
【３回優勝】
【２回優勝】
【１回優勝】

特別功労者
(7名)

功労者
(96名)

全国高校総体開催都道府県専門部委員長(31回大会~40回大会)

(10名) 森田桂示【昭和55年度(1980年度) 第31回香川県善通寺市】
斎藤栄【昭和56年度(1981年度) 第32回 神奈川県平塚市・藤沢市】
原口健二郎【昭和57年度(1982年度) 第33回 鹿児島県枕崎市・加世田市】
田中章喜【昭和58年度(1983年度) 第34回愛知県豊橋市】
鈴木祐司【昭和59年度(1984年度) 第35回 秋田県大曲市】
河原山晴夫【昭和60年度(1985年度) 第36回 石川県金沢市】
安藤輝夫【昭和61年度(1986年度) 第37回 山口県下関市】
森田精一【昭和62年度(1987年度) 第38回 北海道登別市】
桝谷美智子【昭和63年度(1988年度) 第39回 兵庫県宝塚市】
谷岡敏男【平成 元年度(1989年度) 第40回 高知県高知市】

感謝状(順不同)

(9社) ヨネックス株式会社　カワサキラケット工業株式会社　株式会社ゴーセン
株式会社ジャワ商会　(有)ミセキネット製作所　株式会社メトロ
長瀬ゴム工業株式会社　大塚製薬株式会社　ベースボールマガジン社

創立50周年記念表彰 (岩手県雫石町 雫石プリンスホテル 平成11年7月31日)

最優秀校 (2校)

(全国高校総体学校対抗最多優勝校-1回大会~49回大会の間)

男子 比叡山(滋賀)【6回優勝】　女子 四條畷学園(大阪)【13回優勝】
(1校)　(1校)

優秀校 (18校)

(全国高校総体学校対抗優勝校-40回大会~49回大会の間)

男子 上尾(埼玉)【3回優勝】　熊本学園大学付属(熊本)【1回優勝】
(5校) 常総学院(茨城)【3回優勝】　高松商業(香川)【1回優勝】
八代東(熊本)【2回優勝】

(全国高校総体学校対抗優勝校-18回大会~27回大会の間)

男子 芦北(熊本)【1回優勝】　関東第一(東京)【1回優勝】
(2校)

(全国高校総体学校対抗優勝校-40回大会~49回大会の間)

女子 埼玉栄(埼玉)【2回優勝】　四天王寺(大阪)【1回優勝】
(6校) 佐賀女子(佐賀)【1回優勝】　高岡西(富山)【1回優勝】
熊本中央女子(熊本)【1回優勝】　九州国際大学付属(福岡)【1回優勝】

(全国高校総体学校対抗優勝校-18回大会~27回大会の間)

女子 熊本信愛女学院(熊本)【3回優勝】　精華女子(福岡)【1回優勝】
(5校) 常総学院(茨城)【2回優勝】　聖ウルスラ学院(宮城)【1回優勝】
金沢向陽(石川)【1回優勝】

優良校 (65校)

(全国高校総体40回大会~49回大会の間に学校対抗出場回数が10・20・30・40回以上に達した学校)

男子 金沢市立工業(石川)【32回出場】　日川(山梨)【13回出場】
(26校) 日本大学山形(山形)【31回出場】　宮崎工業(宮崎)【12回出場】
宮城県工業(宮城)【28回出場】　九州国際大学付属(福岡)【12回出場】
瓊浦(長崎)【26回出場】　岡崎城西(愛知)【12回出場】
境港工業(鳥取)【23回出場】　日田林工(大分)【11回出場】
甲府商業(山梨)【23回出場】　秋田中央(秋田)【11回出場】
鹿児島商業(鹿児島)【21回出場】　大東(島根)【10回出場】
県立岐阜商業(岐阜)【17回出場】　西乙訓(京都)【10回出場】
北越(新潟)【16回出場】　前橋東(群馬)【10回出場】
札幌第一(北海道)【16回出場】　新宮商業(和歌山)【10回出場】
柳井工業(山口)【14回出場】　千葉敬愛(千葉)【10回出場】
勝山(福井)【14回出場】　三田学園(兵庫)【10回出場】

(全国高校総体学校対抗出場回数が昭和54年～平成元年の間に10回・20回以上に達し、30周年・40周年に表彰されなかった学校)

男子 富山商業（富山）【１５回出場】
(8校) 秋田経法大学付属（秋田）【１４回出場】
愛知工業大学名電（愛知）【１４回出場】
高知商業（高知）【１４回出場】
石岡第一（茨城）【１３回出場】
桐生（群馬）【１２回出場】
作新学院（栃木）【１１回出場】
山口（山口）【１１回出場】

(第8回大会～第27回大会の間に全国高校選抜学校対抗出場回数が10回以上に達した学校)

男子 旭川工業（北海道）【１１回出場】
(2校)
東奥義塾（青森）【１０回出場】

(全国高校総体40回大会～49回大会の間に学校対抗出場回数が10・20・30・40回以上に達した学校)

女子 山陽女子（岡山）【４４回出場】
(21校) 新潟青陵（新潟）【４０回出場】
土佐女子（高知）【３４回出場】
昭和女子（大分）【３１回出場】
奈良市立一条（奈良）【３１回出場】
成安女子（京都）【３０回出場】
長崎女子（長崎）【２５回出場】
札幌静修（北海道）【２１回出場】
園田学園（兵庫）【２０回出場】
甲府湯田（山梨）【２０回出場】
日和佐（徳島）【２０回出場】
若松女子（福島）【２０回出場】
鈴峯女子（広島）【１８回出場】
山形城北女子（山形）【１５回出場】
境（鳥取）【１４回出場】
滋賀女子（滋賀）【１３回出場】
鹿児島女子（鹿児島）【１２回出場】
県立岐阜商業（岐阜）【１１回出場】
比叡山（滋賀）【１１回出場】
弘前学院聖愛（青森）【１１回出場】
前橋東（群馬）【１０回出場】

(全国高校総体学校対抗出場回数が昭和54年～平成元年の間に10回・20回以上に達し、30周年・40周年に表彰されなかった学校)

女子 倉吉西（鳥取）【２０回出場】
(5校) 下関南（山口）【１３回出場】
松山南（愛媛）【１１回出場】
那覇商業（沖縄）【１１回出場】
今治北（愛媛）【１０回出場】

(第8回大会～第27回大会の間に全国高校選抜学校対抗出場回数が10回以上に達した学校)

女子 千葉学園（青森）【１６回出場】
(3校) 愛知淑徳（愛知）【１４回出場】
小山城南（栃木）【１０回出場】

最優秀監督（２名）

(全国高校総体学校対抗最多優勝監督-1回大会～49回大会の間)

(2名) 藤上良信（滋賀）【６回 優勝】
片岡輝明（大阪）【１３回優勝】

優秀監督（１７名）

(全国高校総体学校対抗優勝監督-40回大会～49回大会の間)

(11名) 小島一夫（茨城）【３回 優勝】
関根務（埼玉）【３回 優勝】
権藤浩二（熊本）【２回 優勝】
加藤勝（埼玉）【２回 優勝】
本郷節生（熊本）【１回 優勝】
工藤勇参（熊本）【１回 優勝】
築地孝彦（佐賀）【１回 優勝】
清水芳隆（富山）【１回 優勝】
藤岡毅至（大阪）【１回 優勝】
岡野佳浩（香川）【１回 優勝】
明神憲一（福岡）【１回 優勝】

(全国高校選抜学校対抗優勝監督-18回大会～27回大会の間)

(6名) 伊東幸男（熊本）【３回 優勝】
木内広史（茨城）【１回 優勝】
酒井正彦（宮城）【１回 優勝】
和田修（石川）【１回 優勝】
浜司晃（福岡）【１回 優勝】
渋谷実（東京）【１回 優勝】

特別功労者（31名）

（全国高体連専門部関係者）

（18名）遠井稔男（栃木）　大世古吉弘（三重）　鈴木祐司（秋田）　成田光生（京都）
近藤満（栃木）　河崎正紀（北海道）　木戸純一（宮城）　伊佐山正和（埼玉）
平田欽也（三重）　濱久美雄（滋賀）　仲山巌（兵庫）　石田賢一（岡山）
谷岡敏男（高知）　岸輝人（香川）　南直治（熊本）　吉田信之（大分）
築地孝彦（佐賀）　春野良三（長崎）

（全国高校総体関係都道府県専門部委員長-31回大会~40回大会）

（9名）白岩良治【平成２年度（1990年度）第４１回 宮城県塩竈市・松島町】
石川博義【平成３年度（1991年度）第４２回 静岡県富士市】
山内勇紀【平成４年度（1992年度）第４３回 宮崎県西都市・高鍋町】
武井祥子【平成５年度（1993年度）第４４回 栃木県宇都宮市】
二上敏博【平成６年度（1994年度）第４５回 富山県高岡市】
山本篤治【平成７年度（1995年度）第４６回 島根県松江市】
白倉一民【平成８年度（1996年度）第４７回 山梨県甲府市】
高橋清治【平成９年度（1997年度）第４８回 京都府長岡京市】
伊藤張二【平成１１年度（1999年度）第５０回 岩手県滝沢村】

（全国高校選抜大会関係都道府県専門部委員長-18回大会~27回大会）

（4名）高橋英夫【平成元年度（1989年度）第１８回 東京都世田谷区】
清水芳隆【平成２年度（1990年度）第１９回 富山県高岡市】
片岡和宣【平成４年度（1992年度）第２１回 新潟県新潟市】
田中章喜【平成５年度（1993年度）第２２回 愛知県大府市】

功労者（48名）

（都道府県専門部委員長関係）

（22名）花田康夫（青森）　高山昌三（山形）　阿部裕和（福島）　志子田勝敏（茨城）
今井勇司（群馬）　有瀬浩一（千葉）　若狭孝三（神奈川）　和田修（石川）
川端武和（福井）　荒井和人（長野）　岩田甲司（岐阜）　谷英明（滋賀）
藤本信之（大阪）　吉村禎訓（奈良）　井角忠彦（和歌山）　小谷章公（鳥取）
瀬戸勝（岡山）　新堀稔文（広島）　坂東輝雄（徳島）　浜司晃（福岡）
前野親二郎（鹿児島）　屋比久彰（沖縄）

（都道府県専門部推薦関係）

（26名）佐々木彦士（岩手）　佐々木邦夫（岩手）　永澤和彦（岩手）　熱海文雄（宮城）
菅原保（宮城）　小関広明（山形）　別井晃（栃木）　森田昇（栃木）
高田昌紀（群馬）　西巻育夫（群馬）　久保田宇作（埼玉）　木村弘巳（埼玉）
武田昭二（東京）　稲石一雄（東京）　加藤紀一（神奈川）　斎藤栄（神奈川）
金子寛（山梨）　天野茂次（山梨）　玉木敏子（福井）　中田稔（静岡）
森典英（三重）　石橋三彦（大阪）　増谷勲（兵庫）　湯原基（島根）
森田桂示（香川）　勝賀瀬健三（高知）

感謝状（順不同）

（21社）ヨネックス株式会社　株式会社ゴーセン　株式会社今泉繊維
ミズノ株式会社　ブリヂストンスポーツ株式会社　セノー株式会社
ナガセケンコー株式会社　ヒロウン株式会社　大塚製薬株式会社
コカ・コーラボトラーズ　森永製菓株式会社　シャディ岩下美宝有限会社
アサヒ印刷株式会社　西島手漉紙工業共同組合青年部　株式会社デンソー
有限会社アライヤ写真店　三重県高等学校体育連盟バドミントン専門部
株式会社ベースボール・マガジン社
飯野佳孝（ヤマハ株式会社）　広田彰（宮崎大学）　小野理（全国中体連）

全日本ジュニアバドミントン研修合宿



第17回全日本ジュニアバドミントン研修合宿スケジュール／スタッフ・選手用

企画作成；飯野佳孝

日　程	午　前（9時～12時）	午　後（14時～17時）	夜間講習（19時30～21時）
2月　7日（日）		4時宿舎集合 オリエンテーション	担当：飯野／廣田 ・体力測定のねらい ・練習内容説明・シングルスの戦法
8日（月）	①シングルスゲーム（A・Bグループ） ②体力測定 筋力／折り返し走／長座体前屈 3000m（Cグループ）	①シングルスゲーム（Cグループ） ②体力測定 筋力／折り返し走／長座体前屈 3000m（Aグループ） ③体力測定 50m／1000mor1500m／ ボール投げ／走り幅跳び（Bグループ）	・バドミントン競技を向上する要因 ・技術の背景
9日（火）	①シングルスゲーム（Aグループ） ②体力測定 筋力／折り返し走／長座体前屈 3000m（Bグループ） ③体力測定 50m／1000m／ボール投げ／ 走り幅跳び（Cグループ）	①シングルスゲーム（B・Cグループ） ②体力測定 50m／1500m／ボール投げ／ 走り幅跳び（Aグループ）	・食事＆栄養の知識 スポーツ選手の食事の採り方 適切な水分補給 《森永製菓㈱栄養士講座》
10日（水）	①女子最終ゲーム（グループ分け） ②男子積極的休息	①男子最終ゲーム（グループ分け） ②女子積極的休息 ③指導者研修（担当；四条畷学園 片岡輝明先生）	・バドミントンのスタミナ向上とは？ ・ダブルスの戦法と技術
11日（木）	①男子総合練習・部分練習 ②女子フィジカルトレーニング	①女子選手総合練習・部分練習 ②男子フィジカルトレーニング	・筋とバドミントン ・コート内スピード向上とは？
12日（金）	①女子総合練習・部分練習 ②男子フィジカルトレーニング	①男子選手総合練習・部分練習 ②女子フィジカルトレーニング	・バドミントンのフィジカルトレーニング ・プレーヤースカルテの作成
13日（土）	10時現地解散		

☆グループ分け　Aグループ＝男子30名／Bグループ＝男子15名＋女子15名／Cグループ＝女子30名　　□コート数24～26面

■体力測定

①筋力（スクワット・ベンチプレス・ベンチプル）

②50m（ハイパワー）／1000m［女子］・1500m［男子］・3000m（ミドルパワー）

③折り返し走5m×4往復（敏捷性）／長座体前屈（柔軟性）／ボール投げ（遠投力）／走り幅跳び（瞬発力）

■試合　シングルスを中心に行う。試合結果によりレベル別にグループ分けし，後半の練習ではグループ毎に行う。

第１７回全日本ジュニアバドミントン研修合宿練習プログラム

～指導スタッフ&選手用～

企画作成：飯野佳孝

選手の皆さんへ

①指導を受身でとらえず，自分から積極的に聞きにいく姿勢を持とう！
②解からない技術や戦法，練習方法等この合宿で解消しよう！
③体調が悪い選手や障害が発生したら、速やかに担当指導者に報告しよう！
④この合宿で目標や意識（知識）を高く持てるようになろう！

指導者の皆さんへ

① 選手の側に立って，レベルアップの手助けになるようにしましょう！
②選手の体調を事前に把握して，事故の無いよう注意しましょう！
③選手に傷害が発生した場合は，大小に関わらず飯野まで報告して下さい。

２月８日（初日）

午前

■８時１５分全スタッフ&選手旅館出発　　車手配担当者：＿＿＿＿

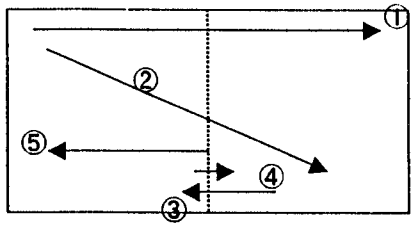
体育館到着後全員でライン貼り　２４面～２６面

Ａ・Ｂグループ	９時１５分 ９時４５分 １２時００分	対戦組合せ者：男子　　・女子 ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングル ゲーム　２ゲームもしくは３０分で打ち切り ゲーム間は１０分間の休息 １人２～３試合を行う。 ストレッチ・終了・車手配帰旅館

Ｃグループ	９時００分	体力測定責任者： 筋力測定の説明（森永Ｓ＆Ｆ） ・筋力測定（スクワット・ベンチプレス・ベンチプル） ・長座体前屈（柔軟性） ・折り返し走５ｍ×４往復（敏捷性） ・二見町民グランドで３０００ｍ走の測定 測定後，帰旅館

午後

■Ｃグループ１３時４０分旅館出発　車手配担当者：

Ｃグループ		対戦組合せ者：女子
	１４時００分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングル
	１４時３０分	ゲーム　２ゲームもしくは３０分で打ち切り ゲーム間は１０分間の休息 １人２～３試合を行う。
	１６時３０分	パターン練習　１５分×２（攻守交代） バドミントン競技のスタミナ育成  ①ｸﾘｱｰ２回　②対角線ﾍｶｯﾄ　③山作ってﾚｼｰﾌﾞ ④ｽﾋﾟﾝﾈｯﾄ ⑤高いﾛﾌﾞ　逆面で繰り返しを続ける シャトルを２～３ケ持ってラリーが途絶えたらすぐにシャトルを出す。全て途絶えたら休みを入れる。
	１７時００分	ストレッチュ・終了・車手配帰旅館

■Ａグループ１３時４０分旅館出発　車手配担当者：

Ａグループ	１４時００分	体力測定責任者： 筋力測定の説明（森永Ｓ＆Ｆ） ・筋力測定（スクワット・ベンチプレス・ベンチプル） ・長座体前屈（柔軟性） ・折り返し走５ｍ×４往復（敏捷性） ・二見町民グランドで３０００ｍ走の測定 測定後，帰旅館

■Ｂグループ１４時００分

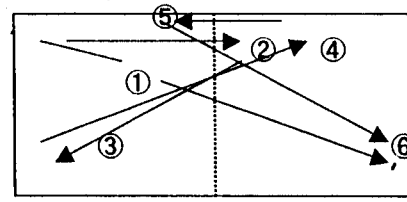
旅館からランニングで出発→二見町民グランド→車で体育館

Ｂグループ	１４時１０分	体力測定責任者： ウォーミングアップ／ストレッチ 体力測定　５０ｍ／1000m，1500m／ボール投げ 走り幅跳び　終了後体育館へ
	１６時００分	体育館☆技術練習（ロングサービスからの１球目）
	１７時００分	ストレッチ／終了 帰旅館

２月９日（２日目）

午前

■Ａ・Ｂグループ８時３０分旅館出発　車手配担当者：

Ａグループ	９時００分 ９時３０分 １１時３０分 １２時００分	対戦組合せ者：男子 ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングル ゲーム　２ゲームもしくは３０分で打ち切り ゲーム間は１０分間の休息 １人２～３試合を行う。 パターン練習　１５分×２（攻守交代）  ① ｸﾘｱｰ２回打ち合い　②ｽﾄﾚｰﾄﾄﾞﾛｯﾌﾟ　③ｸﾛｽﾛﾌﾞ ④跳びこんでｸﾛｽｶｯﾄもしくはｽﾏｯｼｭ　⑤ﾈｯﾄ ⑥ｸﾛｽへ低いﾛﾌﾞ　⑦ｽﾄﾚｰﾄへ大きく返球・ 逆面で繰り返しを続ける シャトルを２～３ケ持ってラリーが途絶えたらすぐにシャトルを出す。全て途絶えたら休みを入れる。 ストレッチュ・終了・車手配帰旅館

Ｂグループ	９時００分	体力測定責任者： 筋力測定の説明（森永Ｓ＆Ｆ） ・筋力測定（スクワット・ベンチプレス・ベンチプル） ・長座体前屈（柔軟性） ・折り返し走５ｍ×４往復（敏捷性） ・二見町民グランドで３０００ｍ走の測定 測定後，帰旅館

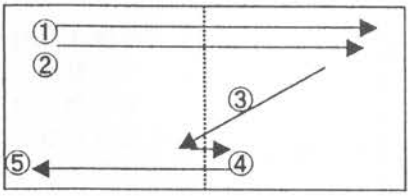
■Ｃグループ９時００分

旅館からランニングで出発　→二見町民グランド→車で体育館

Ｃグループ	９時１０分 １１時００分 １２時００分	体力測定責任者： ウォーミングアップ／ストレッチ 体力測定　５０ｍ／1000m，1500ｍ／ボール投げ 走り幅跳び　終了後体育館へ 体育館☆技術練習（ロングサービスからの１球目） ストレッチ／終了 帰旅館

午後

■Ｂ・Ｃグループ１３時３０分旅館出発　車手配担当者：

Ｂ・Ｃグループ		対戦組合せ者：男子　　・女子
	１４時００分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングル
	１４時３０分	ゲーム　２ゲームもしくは３０分で打ち切り ゲーム間は１０分間の休息 １人２～３試合を行う。
	１６時３０分	Ｂグループ　パターン練習　１５分×２（攻守交代）
		
		①ｸﾘｱｰの打ち合い２回　②ｽﾄﾚｰﾄｽﾏｯｼｭ　③ｸﾛｽﾚｼｰﾌﾞ ④ｽﾄﾚｰﾄｽﾋﾟﾝﾈｯﾄ　⑤高いロブ 逆面で繰り返しを続ける シャトルを２～３ケ持ってラリーが途絶えたらすぐにシャトルを出す。全て途絶えたら休みを入れる
	１６時３０分	Ｃグループ　☆技術練習（ロビング，レシーブ山作り，クロスネット）
	１７時００分	ストレッチュ・終了・車手配帰旅館

■Ａグループ１４時００分旅館ランニングで出発　→二見町民グランド→車で体育館

Ａグループ		体力測定責任者：
	１４時１０分	ウォーミングアップ／ストレッチ 体力測定　５０ｍ／1000m，1500ｍ／ボール投げ 走り幅跳び　終了後体育館へ
	１６時００分	体育館☆技術練習（ロングサービスからの１球目）
	１７時００分	ストレッチ／終了 帰旅館



２月１０日（３日目）

午前

■女子全員　８時３０分旅館出発　車手配担当者：

女子全員		対戦組合せ者：女子
	９時００分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングル
	９時３０分	ゲーム　２ゲームもしくは３０分で打ち切り ゲーム間は１０分間の休息 １人２試合を行う。（最終グループ分け）
	１１時１５分	フットワーク（オールアウトまで） ・前後１０往復×４セット／サイドレシーブ４５秒×２セット／サイド跳びつき４５秒×２セット／全面指示４５秒×２、１分×２、１分30×１
	１１時４５分	☆残り時間技術練習（ロビング，レシーブ山作り，クロスネット）
	１２時３０分	ストレッチ・終了・車手配帰旅館

午前　男子は積極的休息

午後

■男子全員　１２時００分旅館出発　車手配担当者：

男子全員		対戦組合せ者：男子
	１２時３０分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングル
	１３時００分	ゲーム　２ゲームもしくは３０分で打ち切り ゲーム間は１０分間の休息 １人２試合を行う。（最終グループ分け）
	１４時３０分	フットワーク（オールアウトまで） ・前後１０往復×４セット／サイドレシーブ４５秒×２セット／サイド跳びつき４５秒×２セット／全面指示４５秒×２、１分×２、１分30×１
	１５時００分	☆残り時間技術練習（ロビング，レシーブ山作り，クロスネット）
	１５時４５分	ストレッチ・終了・車手配帰旅館

午後　女子は積極的休息

☆１６時００分～１８時００分

□指導者向研修特別版　　会場：アリーナ体育館会議室

・講師：四条畷学園高校　片岡輝明先生

・研修内容①「体力データから見た強い選手の条件」

②「選手育成の方法」　③「参加指導者との質疑応答」他

２月１１日（４日目）

午前

■男子全員　８時３０分旅館出発　車手配担当者：

男子全員		組合せ担当者：
	９時００分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングルス
	９時３０分	① ダブルスアタック＆レシーブ／１５分で攻守交代
	１０時００分	休憩
	１０時１０分	②ダブルスノック２人１組～オールアウトまで行う。
		・４点アタック＆プッシュ　１５球程×４セット（2set逆回）
		・中央ネット返球しサイド跳びつき１５球程×４セット
		・ドライブ左右交互２５球×２セット/ランダム×２セット
		・全面フリー１分３０秒×２／２分×２／オールアウト迄
	１０時５０分	
	１１時００分	もう１組（二名）同じコートに入り同じメニューを行う
		休憩
	１１時４０分	④技術コントロール
		プッシュ／バックﾊﾝﾄﾞドライブ／スマッシュレシーブ
	１２時３０分	ストレッチ／終了　帰旅館

■女子全員　８時３０分旅館出発　車手配担当者：

女子全員	９時００分	ウォーミングアップ（ややハードに）／ストレッチ
		フィジカルトレーニング
		①上位半数　指導者：
		・サイドイスタッチ（ｺｰﾄ幅）　５往復×２／７往復×２
		・縄跳び(2重) ２人１組 １：１　４５秒×４／１分×６
		・体幹（腹筋＆背筋×３～４セット）条件設定して実施して下さい。
		②下位半数　指導者：
		・筋力トレーニング（トレーニングルーム）
		下肢＆上肢×３～４セット《最大筋力向上》
	終了後	② 技術コントロール　（ハイバック，カット）
		時間があったら，個人毎に課題を行って下さい。
	１１時３０分	ストレッチ／終了　帰旅館



午後

■女子全員　１３時３０分旅館出発　車手配担当者：＿＿＿＿＿

		組合せ担当者：＿＿＿＿＿
女子全員	１４時００分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングルス
	１４時３０分	① ダブルスアタック＆レシーブ／１５分で攻守交代
	１５時００分	休憩
	１５時１０分	②ダブルスノック２人１組～オールアウトまで行う。
		・４点アタック＆プッシュ　１５球程×４セット（2set 逆回）
		・中央ネット返球しサイド跳びつき１５球程×４セット
		・ドライブ左右交互２５球×２セット/ランダム×２セット
		・全面フリー１分３０秒×２／２分×２／オールアウト迄
	１５時５０分	
	１６時００分	もう１組同じコートに入り同じメニューを行う
		休憩
	１６時４０分	④技術コントロール
		プッシュ／バックﾊﾝﾄﾞドライブ／スマッシュレシーブ
	１７時３０分	ストレッチ／終了　帰旅館

■男子全員　１４時３０分旅館出発　車手配担当者：＿＿＿＿＿

	１５時００分	ウォーミングアップ（ややハードに）／ストレッチ
男子全員		フィジカルトレーニング
		①上位半数　指導者：＿＿＿＿＿
		・サイドイスタッチ（ｺｰﾄ幅）　５往復×２／７往復×２
		・縄跳び(2 重) ２人１組 １：１　４５秒×４／１分×６
		・体幹（腹筋＆背筋×３～４セット）条件設定して実施して下さい。
		②下位半数　指導者：＿＿＿＿＿
		・筋力トレーニング（トレーニングルーム）
		下肢＆上肢×３～４セット《最大筋力向上》
	終了後	② 技術コントロール　（ハイバック，カット）
		時間があったら，個人毎に課題を行って下さい。
	１７時３０分	ストレッチ／終了　帰旅館

２月１２日（５日目）

午前

■女子全員　８時３０分旅館出発　車手配担当者：＿＿＿＿＿

		組合せ担当者：＿＿＿＿＿
女子全員	９時００分	ウォーミングアップ／ストレッチ／半面シングルス
	９時３０分	① シングルスアタック＆レシーブ／１５分で攻守交代
	１０時００分	休憩
	１０時１０分	② ２対１　レシーブ／３名１組―１０分で交代
	１０時４０分	休憩
	１０時５０分	③シングルスノック（２名１組）
		・スマッシュ＆ネット全面　１０往復×３セット
		・手投げレシーブ　２０球程×３セット
		・全面フリー　３０球×４／オールアウト迄
	１１時２０分	もう１組（二名）同じコートに入り同じメニューを行う
	１２時３０分	ストレッチ／終了　帰旅館

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部 歴代役員一覧

職名＼年度	昭和23年度	昭和24年度	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度	昭和34年度
部長				柳一夫	柳一夫	柳一夫	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄
副部長			伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎
				佐藤実一	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫
				森正三								
事務局長												
事務局員												
北海道			森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三
東北												
関東							安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫
東海			谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮
北信越												
近畿				河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満
中国										石原幸雄		毛利清志
四国												
九州												

職名＼年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度
部長	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	小林茂	小林茂	小林茂	小林茂	川田勇
副部長	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	遠井稔男	遠井稔男
	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	山本博	山本博
事務局長												
事務局員												
北海道	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	平澤寛	平澤寛
東北												宮越龍三
関東	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男
東海	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮
北信越												
近畿	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博
中国									毛利清志	毛利清志	石原幸雄	石原幸雄
四国				中川勝清					野村淳平		森田桂示	
九州							三原邦吾	三原邦吾	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生

職名＼年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
部長	川田勇	川田勇	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男
副部長	遠井稔男	遠井稔男							大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘
	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司
								森田精一	森田精一	森田精一	森田精一	森田精一
事務局長								近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満
事務局員												
北海道	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	森田精一	森田精一	森田精一	森田精一	森田精一
東北	宮越龍三	宮越龍三	宮越龍三	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司
関東	遠井稔男	遠井稔男	新井威	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満	西巻育夫
東海	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘
北信越			長浦音吉	長浦音吉	長浦音吉	長浦音吉	長浦音吉	佐藤秀夫	佐藤秀夫	佐藤秀夫	佐藤秀夫	河原山晴夫
近畿	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博
中国	山根怜	山根怜	山根怜	小林茂	小林茂	毛利清志	毛利清志	山根怜	山根怜	吉川知之	吉川知之	三浦捷治
四国	野村淳平	見元均	見元均	越智幸雄	越智幸雄	森田桂示	森田桂示	森田桂示	森田桂示	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	奥田啓介
九州	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治

職名＼年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成２年度	平成３年度	平成４年度	平成５年度	平成６年度	平成７年度
部長	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男
副部長	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘
	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司
	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一							保坂 和也
事務局長	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	近藤 満	舘野 政男
事務局員												
北海道	森田 精一	森田 精一	平澤 寛	平澤 寛	平澤 寛	笠井 武彰	笠井 武彰	西村 喜憲	西村 喜憲	西村 喜憲	河崎 正紀	河崎 正紀
東北	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司
関東	西巻 育夫	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也
東海	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘
北信越	河原山晴夫	河原山晴夫	河原山晴夫	山内 正孝	山内 正孝	清水 芳隆	清水 芳隆	片岡 和宣	片岡 和宣	荒井 和人	荒井 和人	川端 武和
近畿	山本 博	山本 博	山本 博	武田 博利	武田 博利	成田 光生	成田 光生	成田 光生	成田 光生	成田 光生	成田 光生	成田 光生
中国	三浦 捷治	安藤 輝夫	安藤 輝夫	平井 謙	平井 謙	小谷 章公	小谷 章公	瀬戸 勝	瀬戸 勝	新堀 稔文	新堀 稔文	渡辺 光男
四国	奥田 啓介	瀬島 靖彦	坂東 輝雄	谷岡 敏男	谷岡 敏男	谷岡 敏男	谷岡 敏男	谷岡 敏男	谷岡 敏男	谷岡 敏男	谷岡 敏男	岸 輝人
九州	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之

職名＼年度	平成８年度	平成９年度	平成10年度	平成11年度
部長	大世古吉弘	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也
副部長		成田 光生	成田 光生	成田 光生
	鈴木 祐司	鈴木 祐司		伊佐山正和
	保坂 和也			
事務局長	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和
事務局員				
北海道	河崎 正紀	河崎 正紀	河崎 正紀	河崎 正紀
東北	木戸 純一	木戸 純一	木戸 純一	木戸 純一
関東	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	帰山 好和
東海	平田 欽也	平田 欽也	平田 欽也	平田 欽也
北信越	川端 武和	和田 修	和田 修	今井 良彦
近畿	成田 光生	濱 久美雄	濱 久美雄	濱 久美雄
中国	渡辺 光男	石田 賢一	石田 賢一	石田 賢一
四国	岸 輝人	岸 輝人	岸 輝人	岡野 佳浩
九州	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之

都道府県高等学校体育連盟バドミントン専門部 歴代部長・委員長一覧

都道府県名	昭和23年度	昭和24年度	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度	昭和34年度
北海道			中辻 藤雄	中辻 藤雄	平野芳太郎	平野芳太郎	梅村 茂	梅村 茂	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸
南北海道			森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三
青森			部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延	部谷 光延
岩手			小原 亮吉	鈴木 清一	鈴木 清一	鈴木 清一	川村 仙二	川村 仙二	川村 仙二	川村 仙二	川村 仙二	川村 仙二
宮城				鴇田 正男	鴇田 正男	鴇田 正男	高橋 哲男	日下 秀夫	日下 秀夫	日下 秀夫	日下 秀夫	日下 秀夫
秋田			伊藤 チエ	伊藤 チエ	伊藤 チエ	中川 鉄男	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三
山形					熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎
福島					細谷 光	永田保四郎	永田保四郎	小島 博隆	横山 茂	横山 茂	横山 茂	布引 修二
茨城												
栃木					松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充
群馬		上田 敬次	上田 敬次	上田 敬次	上田 敬次	上田 敬次	古川 滋	古川 滋	古川 滋	古川 滋	奥泉 英子	奥泉 英子
埼玉								下河辺貫明	下河辺貫明	下河辺貫明	下河辺貫明	広沢 昭男
千葉				角田 二郎	角田 二郎	角田 二郎	角田 二郎	角田 二郎	滝 一郎	滝 一郎	滝 一郎	滝 一郎
東京				柳 一夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫
神奈川			伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎
山梨			金谷 一雄	金谷 一雄	金谷 一雄	金谷 一雄	橘田 登	橘田 登	橘田 登	橘田 登	田村 博	田村 博
新潟			熊倉 光治	熊倉 光治	熊倉 光治	熊倉 光治	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾
富山			川倉 馨	川倉 馨	川倉 馨	川倉 馨	川倉 馨	松岡 正雄	松岡 正雄	松岡 正雄	松岡 正雄	松岡 正雄
石川		杉森喜三吉	杉森喜三吉	南 武典	南 武典	南 武典	森川 憲三	森川 憲三	森川 憲三	森川 憲三	森川 憲三	森川 憲三
福井											関 巌	関 巌
長野												
岐阜			谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮
静岡				鈴木 清見	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕
愛知												永田 尭澄
三重				伊藤 治郎	長谷川 衛	林 三雄	林 三雄	野呂 巽	野呂 巽	野呂 巽	鈴木 政夫	鈴木 政夫
滋賀						伊藤 章一	伊藤 章一	伊藤 章一	伊藤 章一	中山 実	中山 実	堤 庄一
京都				久野 龍英	久野 龍英	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博
大阪	井上 得三	井上 得三	井上 得三	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二
兵庫					河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満
奈良			上山 当雄	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治
和歌山				島田 実	水崎 広	吉田 正雄	吉田 正雄	吉田 正雄	上田 忠男	上田 忠男	上田 忠男	上田 忠男
鳥取									倉光 忠雄	倉光 忠雄	倉光 忠雄	倉光 忠雄
島根			石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	広政 敏明	広政 敏明	広政 敏明	広政 敏明
岡山		永井 正	永井 正	永井 正	永井 正	永井 正	永井 正	永井 正	永井 正	永井 正	金尾 善六	毛利 清志
広島												
山口						庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄
徳島												
香川					佐藤 実一	穐山 正雄	佐藤実一・穐山正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄
愛媛					片上 進	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄
高知							見元 均	見元 均	見元 均	山崎 二郎	山崎 二郎	山崎 二郎
福岡												
佐賀												
長崎												
大分												
熊本												
宮崎												
鹿児島												
沖縄												

都道府県名	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度
北海道	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	小林 純幸	三宅 仁	三宅 仁	三宅 仁	南 武
南北海道	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	森 正三	平澤 寛	平澤 寛
青 森	部谷 光延	部谷 光延	斎川 俊明	斎川 俊明	斎川 俊明	斎川 俊明	斎川 俊明	斎川 俊明	市川 和同	市川 和同	市川 和同	市川 和同
岩 手	砂子田智堅	砂子田智堅	砂子田智堅	皆川 三男	皆川 三男	吉丸 尚志	吉丸 尚志	高橋 貞雄	高橋 貞雄	小野寺昭美	小野寺昭美	松尾 良一
宮 城	日下 秀夫	日下 秀夫	熱海 文雄	熱海 文雄	熱海 文雄	熱海 文雄	熱海 文雄	熱海 文雄	熱海 文雄	熱海 文雄	菅原 保	菅原 保
秋 田	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三
山 形	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	深瀬長太郎	深瀬長太郎	深瀬長太郎	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵
福 島	永田保四郎	横山 茂	横山 茂	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	中島 俊丈	中島 俊丈
茨 城	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江	篠塚 芳江
栃 木	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	松本 弘充	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男
群 馬	奥泉 英子	荻原 房夫	荻原 房夫	荻原 房夫	荻原 房夫	荻原 房夫	新井 威	新井 威	新井 威	新井 威	新井 威	新井 威
埼 玉	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	唐沢 清一
千 葉	滝 一郎	滝 一郎	河辺 亨	河辺 亨	河辺 亨	河辺 亨	河辺 亨	河辺 亨	牧野 建夫	牧野 建夫	牧野 建夫	河辺 満
東 京	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	安楽 末夫	里見 光徳	里見 光徳	里見 光徳	里見 光徳	里見 光徳	里見 光徳
神奈川	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎
山 梨	田村 博	田村 博	田村 博	田村 博	井上 修吾	井上 修吾	秋山文太郎	秋山文太郎	秋山文太郎	樋口 俊夫	樋口 俊夫	樋口 俊夫
新 潟	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	矢部 庄吾	熊倉 光治	熊倉 光治	熊倉 光治	吉川 勉	吉川 勉
富 山	松岡 正雄	松岡 正雄	松岡 正雄	内多小五郎	内多小五郎	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕
石 川	森川 憲三	森川 憲三	森川 憲三	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信
福 井	閔 巌	伊藤 弘	勝矢 文一	勝矢 文一	勝矢 文一	服部 章憲	服部 章憲	服部 章憲	松下幸三郎	松下幸三郎	松下幸三郎	松下幸三郎
長 野		和田 圭喜	和田 圭喜	和田 圭喜	和田 圭喜	和田 圭喜	金子 忍	金子 忍	金子 忍	金子 忍	金子 忍	金子 忍
岐 阜	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮
静 岡	植松 忠裕	藤江 稔	斎藤 武	植松 忠裕	藤江 稔	雨宮 忠	植松 忠裕	植松 忠裕	植松 忠裕	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也
愛 知	永田 堯澄	永田 堯澄	永田 堯澄	永田 堯澄	永田 堯澄	永田 堯澄	永田 堯澄	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜
三 重	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	伊豆 晃	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉
滋 賀	堤 庄一	堤 庄一	金田 赳夫	金田 赳夫	金田 赳夫	寺田 寿	寺田 寿	寺田 寿	辻 広之	辻 広之	国領 迪則	国領 迪則
京 都	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博
大 阪	青木 昭二	青木 昭二	青木 昭二	岸 研一	岸 研一	岸 研一	岸 研一	岸 研一	岸 研一	岸 研一	岸 研一	岸 研一
兵 庫	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	河合 満	手島 司	手島 司	平林 弘嗣
奈 良	岩井 由治	岩井 由治	岩井 由治	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行	松尾 良行
和歌山	魚谷 量雄	木阪 登	木阪 登	木阪 登	木阪 登	木阪 登	木阪 登	佐藤 博	佐藤 博	佐藤 博	佐藤 博	佐藤 博
鳥 取	倉光 忠雄	倉光 忠雄	倉光 忠雄	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜
島 根	西野 一雄	西野 一雄	西野 一雄	西野 一雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄	石原 幸雄
岡 山	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志
広 島							広佳 俊士	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実
山 口	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	庄井 政雄	中村 勇夫	中西 慎二	中西 慎二	中西 慎二	中西 慎二	中西 慎二
徳 島								野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平
香 川	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	穐山 正雄	森田 桂示	藤原 和文	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示
愛 媛	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	森部 光雄	石丸 良男	石丸 良男	石丸 良男	石丸 良男	石丸 良男	石丸 良男	石丸 良男
高 知	山崎 二郎	山崎 二郎	山崎 二郎	中川 騰清	中川 騰清	中川 騰清	中川 騰清	中川 騰清	中川 騰清	見元 均	見元 均	見元 均
福 岡	三原 邦吾	三原 邦吾	三原 邦吾	三原 邦吾	三原 邦吾	三原 邦吾	三原 邦吾	三原 邦吾	今村 正道	今村 正道	佐伯 昌美	佐伯 昌美
佐 賀												
長 崎		埴生美穂子	埴生美穂子	渡辺 威	渡辺 威	山頭 正之	山頭 正之	山頭 正之	山頭 正之	山頭 正之	春野 良三	春野 良三
大 分				佐藤 吉之	佐藤 吉之	佐藤 吉之	工藤 喜一	工藤 喜一	工藤 喜一	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之
熊 本		益田 隷	益田 隷	益田 隷	益田 隷	益田 隷	益田 隷	益田 隷	本郷 節生	本郷 節生	本郷 節生	本郷 節生
宮 崎												屋良 勝
鹿児島	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照
沖 縄						仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市

都道府県名	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
北海道	高橋 昌久	高橋 昌久	高橋 昌久	高橋 昌久	高橋 昌久	高橋 昌久	高橋 昌久	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一
南北海道	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸	増田 幸
青森	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二	横山 正二
岩手	松尾 良一	松尾 良一	松尾 良一	川村 薫	川村 薫	川村 薫	川村 薫	川村 薫	川村 薫	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士
宮城	菅原 保	菅原 保	菅原 保	菅原 保	菅原 保	菅原 保	菅原 保	白岩 良治	白岩 良治	白岩 良治	白岩 良治	白岩 良治
秋田	宮腰 龍三	宮腰 龍三	宮腰 龍三	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司	鈴木 祐司
山形	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	豊岡 昭蔵	入間 照雄	入間 照雄	入間 照雄	入間 照雄	入間 照雄	入間 照雄	入間 照雄
福島	中島 俊丈	中島 俊丈	中島 俊丈	中島 俊丈	中島 俊丈	中島 俊丈	中島 俊丈	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和	阿部 裕和
茨城	辺田 紀	辺田 紀	辺田 紀	辺田 紀	辺田 紀	辺田 紀	紙塚 博	紙塚 博	紙塚 博	紙塚 博	紙塚 博	紙塚 博
栃木	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男	遠井 稔男
群馬	新井 威	新井 威	新井 威	関 俊夫	西巻 育夫	西巻 育夫	西巻 育夫	西巻 育夫	西巻 育夫	西巻 育夫	西巻 育夫	西巻 育夫
埼玉	唐沢 清一	唐沢 清一	唐沢 清一	唐沢 清一	唐沢 清一	唐沢 清一	唐沢 清一	柿沼 清	柿沼 清	柿沼 清	柿沼 清	柿沼 清
千葉	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	河辺 満	牧野 建夫
東京	里見 光徳	里見 光徳	安野 智	安野 智	安野 智	竜井 昇治	竜井 昇治	前田 耕作	前田 耕作	前田 耕作	前田 耕作	前田 耕作
神奈川	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	伊沢 三郎	斎藤 栄	斎藤 栄	斎藤 栄	斎藤 栄	斎藤 栄	斎藤 栄	斎藤 栄
山梨	樋口 俊夫	樋口 俊夫	樋口 俊夫	樋口 俊夫	樋口 俊夫	樋口 俊夫	樋口 俊夫	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也	保坂 和也
新潟	吉川 勉	吉川 勉	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫	佐藤 秀夫
富山	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	不破 裕	清水 芳隆
石川	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	飯田 良信	河原山晴夫
福井	杉本 悠介	山内 正孝	山内 正孝	野路 恵一	野路 恵一	野路 恵一	野路 恵一	川端 武和	山内 正孝	山内 正孝	山内 正孝	山内 正孝
長野	百瀬 健司	百瀬 健司	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉	長浦 音吉
岐阜	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	谷 亮	三間 勝乗	三間 勝乗	三間 勝乗	三間 勝乗	三間 勝乗	三間 勝乗
静岡	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也	中嶋 鎮也
愛知	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜	田中 章喜
三重	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉
滋賀	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	沢 長寿	川戸 健一	川戸 健一	川戸 健一
京都	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博	山本 博
大阪	岸 研一	岸 研一	藤浪 輝吉	藤浪 輝吉	藤浪 輝吉	石橋 三彦	石橋 三彦	石橋 三彦	石橋 三彦	石橋 三彦	石橋 三彦	石橋 三彦
兵庫	川崎 紘平	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌	仲山 巌
奈良	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利	武田 博利
和歌山	佐藤 博	佐藤 博	佐藤 博	佐藤 博	佐藤 博	宮本 稔	宮本 稔	宮本 稔	宮本 稔	宮本 稔	宮本 稔	山西 節子
鳥取	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	山根 怜	小谷 章公
島根	石原 幸雄	小林 茂	小林 茂	小林 茂	小林 茂	小林 茂	星野 幸右	星野 幸右	松尾 益吉	松尾 益吉	大北 哲也	大北 哲也
岡山	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	毛利 清志	三宅 勝	三宅 勝	三宅 勝	三宅 勝	三宅 勝	三宅 勝
広島	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実	石井 実	吉川 知之	吉川 知之	吉川 知之	藤田 雅史
山口	浅谷寿々也	浅谷寿々也	浅谷寿々也	浅谷寿々也	三浦 捷治	三浦 捷治	三浦 捷治	沢田 恭治	沢田 恭治	沢田 恭治	沢田 恭治	吉本 侃司
徳島	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	野村 淳平	坂東 輝雄
香川	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示	森田 桂示
愛媛	石丸 良男	越智 幸雄	越智 幸雄	越智 幸雄	越智 幸雄	越智 幸雄	越智 幸雄	奥田 啓介	奥田 啓介	奥田 啓介	奥田 啓介	奥田 啓介
高知	見元 均	見元 均	見元 均	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三
福岡	平木 武美	平木 武美	平木 武美	金光 政秀	金光 政秀	金光 政秀	金光 政秀	佐伯 昌美	佐伯 昌美	横溝 安伸	横溝 安伸	横溝 安伸
佐賀		木下 直典	松村 栄	松村 栄	築地 孝彦	築地 孝彦	築地 孝彦	築地 孝彦	築地 孝彦	築地 孝彦	築地 孝彦	築地 孝彦
長崎	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三	春野 良三
大分	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之	吉田 信之
熊本	本郷 節生	本郷 節生	本郷 節生	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治	南 直治
宮崎	屋良 勝	屋良 勝	屋良 勝	屋良 勝	山内 勇紀	山内 勇紀	山内 勇紀	山内 勇紀	山内 勇紀	山内 勇紀	山内 勇紀	山内 勇紀
鹿児島	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	別府 照	原口健二郎	原口健二郎	原口健二郎
沖縄	仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市	仲村 寛市	屋比久 潔	屋比久 潔	屋比久 潔	屋比久 潔	屋比久 潔	屋比久 潔	又吉 慧	又吉 慧

都道府県名	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成２年度	平成３年度	平成４年度	平成５年度	平成６年度	平成７年度
北海道	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	笠井　武彰	笠井　武彰	笠井　武彰	森田　精一	森田　精一	野坂　政司	野坂　政司	両國　勲
南北海道	増田　幸	平沢　寛	平沢　寛	平沢　寛	平沢　寛	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	河崎　正紀	河崎　正紀
青　森	横山　正二	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫
岩　手	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二
宮　城	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	片桐　勉	片桐　勉	片桐　勉	熱海　文雄	木戸　純一
秋　田	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司
山　形	入間　照雄	入間　照雄	入間　照雄	入間　照雄	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三
福　島	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和
茨　城	紙塚　博	紙塚　博	緒方　和也	緒方　和也	緒方　和也	緒方　和也	緒方　和也	緒方　和也	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏
栃　木	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	武井　祥子	武井　祥子	武井　祥子	別井　晃	森田　昇
群　馬	西巻　育夫	門倉　憲一	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	高田　昌紀
埼　玉	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和
千　葉	牧野　建夫	臼井　俊治	臼井　俊治	臼井　俊治	臼井　俊治	臼井　俊治	臼井　俊治	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一
東　京	前田　耕作	前田　耕作	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫
神奈川	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三
山　梨	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也
新　潟	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	吉田　孝良	吉田　孝良	本田　敏彦	本田　敏彦	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣
富　山	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	二上　敏博	二上　敏博	二上　敏博	二上　敏博	二上　敏博
石　川	河原山晴夫	河原山晴夫	村西　一	村西　一	村西　一	村西　一	村西　一	村西　一	和田　修	和田　修	和田　修	和田　修	和田　修
福　井	山内　正孝	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和
長　野	木内　淳	木内　淳	木内　淳	木内　淳	木内　淳	木内　淳	木内　淳	松久　和弘	松久　和弘	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人
岐　阜	三聞　勝乗	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司
静　岡	中田　稔	中田　稔	中田　稔	中田　稔	中田　稔	本多　常民	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義
愛　知	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜
三　重	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉
滋　賀	川戸　健一	川戸　健一	川戸　健一	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明
京　都	山本　博	山本　博	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生
大　阪	石橋　三彦	石橋　三彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	藤本　信之	藤本　信之	藤本　信之
兵　庫	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌
奈　良	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	乾　哲司
和歌山	山西　節子	山西　節子	山西　節子	森　隆	森　隆	森　隆	森　隆	武藤　隆志	武藤　隆志	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦
鳥　取	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公
島　根	大北　哲也	平井　謙	平井　謙	平井　謙	平井　謙	平井　謙	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治
岡　山	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	石田　賢一
広　島	藤田　雅史	藤田　雅史	藤田　雅史	橋本　忠之	橋本　忠之	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文
山　口	吉本　侃司	安藤　輝夫	安藤　輝夫	池田　信郎	池田　信郎	池田　信郎	池田　信郎	天谷　満徳	天谷　満徳	渡辺　光男	渡辺　光男	渡辺　光男
徳　島	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄	坂東　輝雄
香　川	森田　桂示	森田　桂示	瀬島　靖彦	瀬島　靖彦	瀬島　靖彦	瀬島　靖彦	岸　輝人	岸　輝人	竹内　秀夫	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人
愛　媛	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	池田　節幸	池田　節幸	池田　節幸	池田　節幸	奥田　啓介	奥田　啓介	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸
高　知	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	足達　昇
福　岡	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃
佐　賀	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦
長　崎	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三
大　分	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之
熊　本	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	工藤　勇参
宮　崎	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀
鹿児島	原口健二郎	原口健二郎	原口健二郎	原口健二郎	原口健二郎	原口健二郎	原口健二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎
沖　縄	上原　武久	上原　武久	上原　武久	上原　武久	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰

選挙区	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
北海道	両國　勲	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦
南北海道	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀
青　森	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫
岩　手	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二
宮　城	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一
秋　田	柴田　惣行	柴田　惣行	柴田　惣行	柴田　惣行
山　形	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	遠藤　淳一
福　島	橋本　遊二	橋本　遊二	橋本　遊二	橋本　遊二
茨　城	志子田勝敏	志子田勝敏	征矢　裕	征矢　裕
栃　木	森田　昇	森田　昇	舘野　政男	舘野　政男
群　馬	高田　昌紀	栗原　恒夫	栗原　恒夫	栗原　恒夫
埼　玉	帯山　好和	帯山　好和	帯山　好和	帯山　好和
千　葉	有瀬　浩一	丸山　秀之	丸山　秀之	丸山　秀之
東　京	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫	高橋　英夫
神奈川	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三
山　梨	保坂　和也	滝川　修	滝川　修	滝川　修
新　潟	今井　良彦	今井　良彦	今井　良彦	今井　良彦
富　山	水和　清次	水和　清次	水和　清次	水和　清次
石　川	和田　修	和田　修	和田　修	彼島　重範
福　井	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和
長　野	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人
岐　阜	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司
静　岡	杉山　敏充	杉山　敏充	杉山　敏充	渡邉　治
愛　知	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司
三　重	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也
滋　賀	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄
京　都	成田　光生	高橋　清治	高橋　清治	高橋　清治
大　阪	藤本　信之	藤本　信之	藤本　信之	大住　陽一
兵　庫	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌
奈　良	乾　哲司	乾　哲司	乾　哲司	乾　哲司
和歌山	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦
鳥　取	小谷　章公	三村　俊彦	三村　俊彦	三村　俊彦
島　根	池淵　保正	池淵　保正	池淵　保正	池淵　保正
岡　山	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一
広　島	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文
山　口	渡辺　光男	永茂　勝弘	永茂　勝弘	永茂　勝弘
徳　島	平岡　嘉泰	平岡　嘉泰	平岡　嘉泰	平岡　嘉泰
香　川	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人	岡野　佳浩
愛　媛	泉　富浩	泉　富浩	垣生　雅孝	垣生　雅孝
高　知	足達　昇	足達　昇	足達　昇	桑名　功
福　岡	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃
佐　賀	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦
長　崎	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三
大　分	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之
熊　本	茂見　正	茂見　正	茂見　正	茂見　正
宮　崎	松浦　良一	松浦　良一	松浦　良一	松浦　良一
鹿児島	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎
沖　縄	渡嘉敷通之	渡嘉敷通之	渡嘉敷通之	屋比久　彰



全国高体連バドミントン専門部調査の推移

第14回全国高校バドミントン都道府県予選会参加調査表

（1965年度） 昭和38年7月調　　（Dはダブルス・Sはシングルス）

都道府県名	男子団体校数	人員	女子団体校数	人員	男子個人参加数	女子個人参加数	備考
北海道	道北 53校 道南 54校	353名 385名	59校 55校	376名 395名	371名 371名	413名 381名	
青森	18校	114名	21校	126名	88名	53名	
秋田	4校	28名	10校	62名	31名	72名	
岩手	29校	159名	24校	151名	112名	96名	
宮城	20校	140名	20校	140名	100名	94名	
山形	18校	116名	18校	115名	75名	93名	
福島	6校	31名	8校	51名	60名	73名	
栃木	7校	49名	9校	63名	89名	122名	
群馬	3校	18名	8校	49名	18名	45名	
茨城	1校	4名	7校	49名	4名	64名	
千葉	4校	28名	6校	42名	16名	24名	
埼玉	4校	28名	7校	49名	D16 S35名	D28 S60名	
東京	16校	82名	17校	91名	105名	119名	
神奈川	24校	139名	25校	148名	142名	148名	
山梨	5校	35名	8校	56名	10名	16名	
長野	5校	25名	6校	28名	24名	30名	
新潟	26校	182名	21校	147名	20名	16名	
富山	20校	121名	17校	85名	166名	106名	
石川	20校	120名	25校	150名	136名	136名	
福井	9校	60名	9校	59名	33名	39名	
静岡	9校	63名	12校	84名	名	名	
愛知	8校	64名	8校	64名	71名	94名	
岐阜	14校	97名	17校	115名	53名	65名	
三重	14校	98名	8校	56名	D49組 S108名	D37組 S66名	
滋賀	13校	78名	11校	62名	42名	33名	
京都	18校	108名	15校	87校	132名	110名	
奈良	12校	84名	12校	84名	52名	52名	
和歌山	6校	32名	8校	42名	D34 S33名	D38 S46名	
大阪	15校	105名	20校	140名	80名	124名	
兵庫	7校	49名	16校	112名	D34 S23名	D72 S42名	
岡山	6校	42名	7校	49名	53名	64名	
広島	校	名	校	名	名	名	
鳥取	4校	24名	5校	30名	28名	35名	
島根	4校	28名	5校	35名	75名	69名	
山口	2校	12名	7校	48名	26名	60名	
徳島	校	名	校	名	名	名	
香川	4校	27名	7校	39名	27名	41名	
愛媛	6校	40名	7校	52名	38名	45名	
高知	8校	34名	10校	48名	名	名	
福岡	5校	30名	8校	42名	33名	52名	
長崎	7校	49名	10校	70名	28名	40名	
佐賀	校	名	校	名	名	名	
熊本	4校	22名	7校	32名	25名	43名	
大分	校	名	校	名	名	名	
宮崎	校	名	校	名	名	名	
鹿児島	3校	15名	4校	19名	15名	19名	
合計	474校	3,045名	532校	3,400名	2,927名	3,237名	

未報告県を除いて，延参加数は，男女，個人戦を含めて，1006校，12609名となる。

昭和55年度全国高体連バドミントン専門部調査一覧

（予選参加数・その他）

	協会名	チーム		ダブルス		シングルス		部門総予算	年間使用シャトル	備考
		男	女	男	女	男	女			
01	北海道	166	192	364	416	426	490	66,000	陸 1300	
02	青森	34	42	16	16	16	16	16,459,000	水 170 陸 170	予選通過者のみ
03	岩手	20	23	22	25	17	18	96,000	70	
04	宮城	32	38	85	103	124	147	530,000	水 8	参加制限あり
05	秋田	12	18	45	86	99	183	849,600	水 100	
06	山形	29	32	116	128	145	160	320,000		持
07	福島	22	27	75	90	150	180	335,000	水	
08	茨城	26	44	52	88	50	90	250,000		持
09	栃木	25	22	52	52	53	52	600,000	水 160	
10	群馬	20	25	99	122	56	66	553,500	水 30	他は持
11	埼玉	98	102	403	412	405	420	320,000	水 400	
12	千葉	70	81	280	320	350	400	857,000	水 90	
13	東京	170	205	90	100	80	176	1,286,000	水 400 合 50	
14	神奈川	123	134	254	281	258	288	3,850,000	水 400	
15	新潟	66	65	16	16	16	16	1,223,970	水 300	他は持
16	長野	41	46	123	138	164	184	590,000		持
17	山梨	12	14	26	25	52	51	318,500	水 45	
18	富山	30	32	128	132	155	156	430,000		持
19	石川	32	37	75	82	114	127	100,000	250	
20	福井	20	20	80	72	88	80	460,499	水 110	
21	静岡	25	28	123	178	210	318	546,000		持 参加制限あり
22	愛知	20	28	40	75	75	120	310,000	水 120	
23	三重	24	31	100	154	216	318	340,000	水 300	
24	岐阜	24	33	106	186	108	192	275,000		持
25	滋賀	21	22	56	63	91	93	975,732	水 150	
26	京都	27	33	110	142	190	229	1,698,900	水 200 合 65	参加制限あり
27	大阪	64	107	138	222	209	336	285,000	水 450	

1980. 7. 15現在

	協会名	チーム		ダブルス		シングルス		部門総予算	年間使用シャトル	備考
		男	女	男	女	男	女			
28	兵庫	57	72	290	406	571	778	513,400	水 100	
29	奈良	16	19	52	62	37	44	616,568	水 100	参加制限あり
30	和歌山	9	9	30	30	64	67	445,000	水 90	
31	鳥取	19	19	44	44	44	44	320,000	水 120 合 30	3地区の予選通過者のみ
32	島根	11	15	37	47	53	84	251,000	水 175	
33	岡山	14	15	99	107	16	16	1,313,800	水 220	
34	広島	24	28	40	42	52	53	384,500	水 60	地区予選通過者のみ
35	山口	8	13	24	32	32	52	200,000	水 70	
36	香川	10	22	43	121	100	234	30,000	水 150	
37	愛媛	14	17	66	81	137	168	153,000	水	
38	徳島	15	12	88	96	107	123	57,000	水	
39	高知	11	18	36	63	48	67	89,968		持
40	福岡	29	44	104	156	125	192	1,411,500	水 171	
41	佐賀	5	7	16	26	27	42	47,000	水 60	他は持
42	長崎	17	23	34	46	50	69	282,800	水 100	
43	熊本	25	33	94	126	192	244	350,000	水 120	
44	大分	1	3	4	15	4	31	40,000	水 20	
45	鹿児島	15	26	30	52	60	104	322,000	水 50	参加制限あり
46	宮崎	12	20	47	77	53	83	467,000	水 50	
47	沖縄	10	30	24	61	30	60	400,000	水 50	
昭和50	合計	836	1,070	1,975	2,583	3,290	4,287	11,399,475	2,042	
51	〃	975	1,287	2,175	3,134	3,509	4,732	14,115,257	2,713	
52	〃	1,064	1,386	2,802	3,878	4,390	6,155	38,737,686	3,257	
53	〃	1,319	1,704	3,234	4,435	4,856	6,651	77,981,842	7,419	
54	〃	1,356	1,671	2,985	4,088	4,777	6,590	25,492,494	6,108	
55	〃	1,554	1,903	4,168	5,290	5,584	7,290	41,570,237	7,885	
平均884,473円										

５９年度全国高体連バドミントン部実態調査一覧

	協会名	チーム		個人複		個人単		専門部年間予算	年間使用シャトル他
		男	女	男	女	男	女		
01	北海道	178	207	436	483	493	537	162,000	3,060（40）
02	青森	42	48	95	105	106	113	1,878,000	170
03	岩手	41	46	127	142	178	188	482,000	85
04	宮城	38	36	111	110	222	220	587,100	325
05	秋田	14	23	56	88	107	178	1,075,050	168
06	山形	29	33	119	210	121	224	180,000	300
07	福島	26	28	135	177	283	375	400,000	500
08	茨城	30	59	60	118	60	118	437,000	2,700（200）
09	栃木	31	31	67	73	66	71	500,000	300
10	群馬	26	35	125	185	73	89	633,000	300
11	埼玉	144	144	623	610	712	700	2,480,000	2,600
12	千葉	80	95	84	97	84	97	95,000	95
13	東京	210	240	130	160	75	81		750
14	神奈川	158	167	312	335	326	354	5,020,000	800
15	新潟	76	68	312	305	408	379	2,189,700	275
16	長野	48	52	159	178	318	356	548,000	50（持30）
17	山梨	13	14	32	34	65	62	382,982	40
18	富山	35	37	172	147	171	172	912,976	300
19	石川	36	41	114	129	121	135	1,312,600	480
20	福井	20	18	82	76	89	79	608,802	111（14）
21	静岡	19	37	99	259	176	465	691,000	212
22	愛知	54	74	465	526	930	1,032	2,150,000	480
23	三重	24	36	120	200	240	400	340,000	500
24	岐阜	28	32	120	169	128	162	330,000	400
25	滋賀	26	28	86	96	172	192	1,254,771	114
26	京都	35	47	91	144	105	135	2,919,700	300

84．7．20現在

	協会名	チーム		個人複		個人単		専門部年間予算	年間使用シャトル 他
		男	女	男	女	男	女		
27	大阪	67	129	157	291	190	298	5,100,000	450
28	兵庫	64	83	381	546	756	1,084	980,000	924(37)
29	奈良	20	26	67	100	79	106	840,000	180
30	和歌山	11	11	54	52	106	108	530,000	100
31	鳥取	20	18	42	42	42	42	434,400	260
32	島根	12	16	40	56	74	89	1,090,000	188
33	岡山	15	15	74	79	16	16	801,000	400
34	広島	27	37	41	45	54	58	308,000	110(20)
35	山口	10	16	21	32	64	96	522,000	100
36	香川	16	25	62	91	112	162	10,000	200(20)
37	愛媛	15	17	73	85	171	181	288,050	持
38	徳島	19	16	80	80	178	176	102,000	120
39	高知	13	19	45	72	90	142	65,000	200
40	福岡	31	47	108	165	165	229	2,159,000	500
41	佐賀	6	7	25	28	28	31	190,000	60(10)
42	長崎	15	25	34	50	49	74	401,000	200
43	熊本	35	43	129	159	266	333	650,000	270
44	大分	4	5	14	17	29	36	60,000	40
45	鹿児島	16	36	65	144	132	286	389,000	150
46	宮崎	18	25	70	96	78	103	710,000	140
47	沖縄	16	34	35	70	40	72	683,530	60
昭和59年	合計	1,911	2,326	5,949	7,456	8,548	10,636	43,882,661	20,067(341)
58	〃	1,807	2,262	5,301	6,855	6,050	9,188	36,422,850	13,506
56	〃	1,602	1,925	41,157	5,364	6,004	7,723	28,022 平均596	8,256
54	〃	1,356	1,671	2,985	4,088	4,777	6,590	25,492	6,108
52	〃	1,064	1,386	2,802	3,878	43,900	6,155	38,737	3,257
50	〃	836	1,070	1,975	2,583	3,290	4,287	11,399	2,042

平成元年度全国高体連バドミントン部実態調査一覧

平成元年 7．10 現在

No.	協会名	チーム		個人複		個人単		専門部年間予算	年間使用シャトル他
		男	女	男	女	男	女		
1	北海道	207	222	479	529	546	585	320000	3000
2	青森	45	52	180	200	360	400	3000000	400
3	岩手	41	51	144	161	195	216	880000	100
4	宮城	42	42	126	125	170	174	3159250	200
5	秋田	16	23	66	95	127	181	665000	240
6	山形	12	12	48	48	40	40	190000	300
7	福島	33	35	161	201	344	486	605000	400
8	茨城	47	68	65	84	66	88	754000	400
9	栃木	31	32	71	71	72	74	1200000	250
10	群馬	31	35	172	184	344	368	633000	130
11	埼玉	158	165	630	621	735	720	2358450	2700
12	千葉	115	131	460	524	460	524	1213000	430
13	東京	149	210	112	161	88	82	11844000	1016
14	神奈川	159	169	326	348	331	356	7240000	850
15	新潟	75	72	300	304	378	378	2202200	500
16	長野	62	60	193	203	323	345	78800	550
17	山梨	13	15	34	41	72	95	648000	114
18	富山	34	40	147	177	172	194	913000	300
19	石川	38	44	154	165	168	180	2227186	500
20	福井	25	20	98	83	111	87	652000	282
21	静岡	20	38	98	150	187	230	805000	600
22	愛知	73	92	378	595	856	1031	3200000	480
23	三重	31	40	150	232	316	440	0	800
24	岐阜	34	45	160	220	178	230	393000	655
25	滋賀	27	31	75	89	118	132	1617477	200

No.	協会名	チーム		個人複		個人単		専門部年間予算	年間使用シャトル他
		男	女	男	女	男	女		
26	京都	41	50	150	218	226	296	5,098,160	1200
27	大阪	132	172	161	261	331	526	4,800,000	560
28	兵庫	73	85	478	594	987	1,175	17 01,500	1,350
29	奈良	22	24	85	131	180	255	980000	300
30	和歌山	12	9	65	58	130	116	920,000	130
31	鳥取	20	14	42	42	42	42	501,000	300
32	島根	13	15	54	62	104	130	1,788,297	240
33	岡山	18	18	63	60	16	16	1,000,00	400
34	広島	39	42	40	42	66	70	522,00	120
35	山口	11	18	42	54	80	92	640,00	350
36	香川	19	26	85	110	122	152	15,000	250
37	愛媛	18	19	107	78	229	167	220,00	270
38	徳島	17	16	70	81	159	172	124,00	150
39	高知	14	21	45	77	58	89	61,00	200
40	福岡	41	52	157	210	196	245	2,923,400	600
41	佐賀	7	7	24	30	32	30	378,00	80
42	長崎	16	25	36	54	52	82	452,700	200
43	熊本	39	45	153	165	308	332	550,00	260
44	大分	4	8	18	32	34	53	170,000	80
45	鹿児島	27	44	102	163	215	335	565,000	240
46	宮崎	21	25	81	92	161	188	646,000	210
47	沖縄	21	35	49	71	57	72	667,500	90
	合計	2,143	2514	6,934	8,296	10,542	12271	71521920	22,977
	平均	46	53	148	177	33	261	1,521,743	489
58	合計	1,807	2262	5,301	6855	6,050	9,188	36422,850	13,506
54	合計	1356	1671	2,985	4,088	4,777	6590	25,492	6108
50	合計	1836	1070	1975	2583	3290	4287	11,399	2,042

平成元年度
全国高体連バドミントン専門部年間予算内訳表

平成元年 7．10 現在

No.	協会名	年間総予算額	専門部費	高体連本部補助	バドミントン協会補助	その他
1	北海道	320,000	125,000	105,000	30,000	60,000
2	青森	3,000,000	2,505,000	195,000	300,000	0
3	岩手	880,000	0	550,000	30,000	300,000
4	宮城	3,159,250	290,000	1,787,000	100,000	982,250
5	秋田	665,000	35,000	70,000	360,000	200,000
6	山形	190,000	0	130,000	60,000	0
7	福島	605,000	0	505,000	100,000	0
8	茨城	754,000	624,000	0	130,000	0
9	栃木	1,200,000	300,000	600,000	300,000	0
10	群馬	633,000	308,000	325,000	0	0
11	埼玉	2,358,450	1,984,000	174,000	200,450	0
12	千葉	1,213,000	0	1,213,000	0	0
13	東京	11,844,000	2,140,000	104,000	600,000	9,000,000
14	神奈川	7,240,000	0	840,000	700,000	5,700,000
15	新潟	2,202,200	1,182,200	250,000	580,000	190,000
16	長野	788,000	788,000	588,000	200,000	0
17	山梨	648,000	348,000	180,000	0	120,000
18	富山	913,000	370,000	220,000	111,000	212,000
19	石川	2,227,186	1,977,186	150,000	0	100,000
20	福井	652,000	652,000	0	10,000	0
21	静岡	805,000	0	805,000	0	0
22	愛知	3,200,000	0	3,200,000	0	0
23	三重	0	0	520,000	0	0

No.	協会名	年間総予算額	専門部費	高体連本部補助	バドミントン協会補助	その他
24	岐阜	393,000	0	363,000	30,000	0
25	滋賀	1,617,477	867,850	693,000	0	56,627
26	京都	5,098,160	3,677,160	1,416,000	5,000	0
27	大阪	800,000	3,000,000	1,500,000	0	300,000
28	兵庫	1,701,500	1,256,500	205,000	240,000	0
29	奈良	980,000	610,000	270,000	0	100,000
30	和歌山	920,000	60,000	190,000	30,000	0
31	鳥取	501,000	310,000	136,000	55,000	0
32	島根	1,788,297	58,000	204,000	30,000	1,496,297
33	岡山	1,000,000	270,000	590,000	140,000	0
34	広島	5,522,000	140,000	312,000	70,000	0
35	山口	640,000	620,000	0	20,000	0
36	香川	15,000	15,000	0	0	0
37	愛媛	220,000	196,000	0	0	24,000
38	徳島	124,000	0	114,000	10,000	0
39	高知	61,000	0	61,000	0	0
40	福岡	2,923,400	1,509,000	1,414,400	0	0
41	佐賀	378,000	210,000	93,000	75,000	0
42	長崎	452,700	68,700	384,000	0	0
43	熊本	550,000	0	550,000	0	0
44	大分	170,000	170,000	170,000	0	0
45	鹿児島	565,000	30,000	505,000	30,000	0
46	宮崎	646,000	0	576,000	70,000	0
47	沖縄	667,500	0	667,500	0	0
計		92,050,920	37,336,396	22,924,900	4,616,450	18,841,174
平均		1,958,530	794,391	487,764	98,222	400,876

全国選抜地区予選出場チーム数
（平成元年度会員登録数）

平成元年3月31日現在

No.	協会名	全国選抜地区予選出場		高校	No.	協会名	全国選抜地区予選出場		高校
1	北海道	2	0	2,131	26	京都	2	2	1,097
2	青森	2	1	510	27	大阪	2	2	2,745
3	岩手	2	0	495	28	兵庫	2	2	2,440
4	宮城	2	2	1,630	29	奈良	2	1	666
5	秋田	2	0	427	30	和歌山	2	0	216
6	山形	2	0	420	31	鳥取	2	0	440
7	福島	2	2	1,167	32	島根	2	0	278
8	茨城	2	2	1,010	33	岡山	2	2	1,053
9	栃木	2	1	666	34	広島	2	1	587
10	群馬	2	2	1,474	35	山口	2	1	528
11	埼玉	2	2	1,800	36	香川	2	1	535
12	千葉	2	2	2,198	37	徳島	2	0	257
13	東京	2	2	5,051	38	愛媛	2	1	609
14	神奈川	2	2	5,797	39	高知	2	0	370
15	山梨	2	0	472	40	福岡	2	2	1,171
16	新潟	2	2	2,687	41	佐賀	2	0	293
17	長野	2	0	360	42	長崎	2	1	537
18	富山	2	2	1,359	43	熊本	2	2	1,500
19	石川	2	2	1,312	44	大分	2	0	89
20	福井	2	1	655	45	宮崎	2	1	657
21	静岡	2	2	1,244	46	鹿児島	2	1	769
22	愛知	2	2	3,485	47	沖縄	2	1	545
23	三重	2	2	1,211					
24	岐阜	2	2	1,534		小計	94	55	
25	滋賀	2	1	697		合計	149		57,174

平成６年度

全国高体連バドミントン部実態調査一覧

7月10日現在

No.	協会名	チーム		個人複		個人単		専門部	年間使用シャトル他
		男	女	男	女	男	女	年間予算	
1	北海道	203	232	556	645	832	704	365,000	3,000
2	青森	41	56	91	114	95	120	4,050,000	430
3	岩手	17	18	27	32	27	32	1,650,000	140
4	宮城	43	47	167	179	167	191	2,730,000	1,061
5	秋田	17	25	82	94	147	196	1,050,000	250
6	山形	12	12	48	48	40	40	190,000	300
7	福島	43	46	210	230	460	490	666,200	500
8	茨城	28	35	69	90	70	91	630,000	200
9	栃木	31	33	73	77	74	78	1,400,000	400
10	群馬	31	35	172	184	344	368	633,000	130
11	埼玉	152	163	651	672	789	850	3,125,000	1,800
12	千葉	110	130	471	602	644	783	1,578,000	230
13	東京	148	229	115	188	94	93	3,317,200	1,150
14	神奈川	159	183	326	381	344	400	7,507,000	1,400
15	新潟	80	77	322	340	483	395	1,478,670	700
16	長野	64	69	209	221	326	340	666,000	120
17	山梨	12	18	40	62	85	119	810,000	135
18	富山	42	44	178	176	204	188	1,620,000	1,000
19	石川	37	41	187	194	202	229	2,069,571	400
20	福井	26	23	101	99	113	99	726,000	260
21	静岡	22	39	110	214	189	325	1,205,000	3,000
22	愛知	85	92	850	910	1,700	1,800	5,000,000	1,290
23	三重	35	37	180	260	360	520	770,000	700
24	岐阜	37	47	168	210	181	220	340,000	670
25	滋賀	28	33	75	97	120	134	1,153,000	250

No.	協会名	チーム		個人複		個人単		専門部	年間使用シャトル他
		男	女	男	女	男	女	年間予算	
26	京都	36	60	150	360	250	420	7,272,601	1,200
27	大阪	52	111	171	351	380	693	7,000,000	600
28	兵庫	71	93	393	694	824	1,372	1,482,432	1,200
29	奈良	23	26	90	90	110	110	1,900,000	360
30	和歌山	10	12	47	61	100	126	1,500,000	150
31	鳥取	23	21	42	42	42	42	630,000	300
32	島根	11	14	60	70	123	145	1,800,000	300
33	岡山	19	19	66	69	16	16	900,000	340
34	広島	48	48	52	52	76	80	794,000	300
35	山口	12	19	47	60	101	116	640,000	300
36	香川	21	26	86	116	127	147	870,000	300
37	愛媛	20	22	111	116	192	199	298,000	300
38	徳島	20	18	74	103	156	192	125,000	300
39	高知	15	22	54	91	120	177	212,000	300
40	福岡	39	57	155	221	156	228	3,124,000	600
41	佐賀	13	11	48	44	56	48	930,000	200
42	長崎	20	30	46	65	67	100	526,600	350
43	熊本	46	48	176	178	355	348	1,070,000	450
44	大分	8	12	28	48	65	95	300,000	150
45	鹿児島	36	56	134	208	302	419	950,000	300
46	宮崎	27	28	102	115	197	230	710,000	320
47	沖縄	31	46	72	97	83	103	1,559,000	200
	合計	2,104	2,563	7,682	9,570	11,988	14,211	79,323,274	28,336
平6	平均	45	55	163	204	255	302	1,687,729	603
50	合計	1,836	1,070	1,975	2,583	3,290	4,287	11,399	2,042
58	合計	1,807	2,262	5,301	6,855	6,050	9,188	36,422,850	13,506
59	合計	1,356	1,671	2,985	4,088	4,777	6,590	25,492	6,108

平成10年度全国高等学校体育連盟バドミントン専門部実態調査

平成10年6月30日現在

NO	都道府県	全国高等学校総合体育大会																		平成9年度都道府県大会使用シャトル(ダース)	内訳 *高体連専門部費 *高体連割当金 *バド協会補助金 *個人費・その他 *部門費収=H10 *備　=H9
		都道府県予選会出場数						外国人留学生出場数						1条校以外の生徒出場数							
		学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス			
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
1	北海道	175	215	782	967	530	630	0	0	0	0	0	0	7	0	6	0	3	1	3000	750,000
		380		1749		1160		0		0		0		7		6		4			
2	青森	44	55	96	115	95	117	0	0	0	0	0	0	5	0	4	0	3	0	500	4,472,000
		99		211		212		0		0		0		5		4		3			
3	岩手	45	57	180	228	180	228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	630	3,850,000
		102		408		408		0		0		0		0		0		0			
4	宮城	43	57	178	203	198	227	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	1	700	2,125,000
		105		381		425		0		0		0		0		4		5			
5	秋田	14	26	69	113	137	221	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	7	3	330	1,582,000
		40		182		358		0		0		0		0		8		10			
6	山形	14	16	48	48	40	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	260,000
		20		96		80		0		0		0		0		0		0			
7	福島	42	44	168	176	345	371	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	625	2,090,000
		86		344		716		0		0		0		0		0		0			
8	茨城	50	67	215	282	395	507	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	630,000
		117		497		902		0		0		0		0		0		0			
9	栃木	33	33	74	76	76	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	180	1,304,000
		66		150		149		0		0		0		0		0		0			
10	群馬	30	36	189	193	359	376	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	3,842,789
		66		382		735		0		0		0		0		0		0			
11	埼玉	153	164	604	742	870	1005	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1800	3,703,900 (換算値6台)
		317		1346 (各校7組以内)		1875 (各校10組以内)		1		1		1		0		0		0			
12	千葉	97	124	109	129	112	130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150	1,978,000
		221		238		242		0		0		0		0		0		0			
13	東京	128	220	100	177	97	101	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1200	4,547,800
		348		277		198		1		1		1		0		0		0			
14	神奈川	120	156	276	344	305	362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1300	9,105,000
		276		620		667		0		0		0		0		0		0			
15	山梨	14	18	38	57	91	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	360,000
		32		95		200		0		0		0		0		0		0			
16	新潟	68	77	275	318	376	420	0	0	0	0	0	0	7	7	6	6	4	6	700	1,924,830
		145		593		796		0		0		0		14		12		10			
17	長野	64	66	198	218	335	355	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	750,000
		130		416		690		0		0		0		0		0		0			
18	富山	41	38	171	156	192	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1000	1,230,400
		79		327		366		0		0		0		0		0		0			
19	石川	37	42	168	194	206	233	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400	3,466,738
		79		362		439		0		0		0		0		0		0			
20	福井	25	22	106	87	113	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320	890,000
		47		193		209		0		0		0		0		0		0			
21	静岡	32	50	110	200	213	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	?	1,779,000
		82		310		598		0		0		0		0		0		0			
22	愛知	57	83	350	572	586	776	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1500	3,324,150
		140		922		1362		0		0		0		0		2		0			
23	三重	30	36	114	185	265	385	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	980	3,252,826
		66		299		650		0		0		0		7		0		0			
24	岐阜	31	41	112	182	156	193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	460	350,000
		72		294		349		0		0		0		0		0		0			
25	滋賀	25	36	74	103	114	151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	2,300,000
		61		177		265		0		0		0		0		0		0			

NO	都道府県	全国高等学校総合体育大会																		平成9年度都道府県大会補助シャトル(ダース)	内訳 *県体連専門部費 *県体連補助金 *バド協会補助金 *寄付金・その他 *専門部費→H10 *他　→H9
		都道府県予選会出場数						外国人留学生出場数						1条校以外の生徒出場数							
		学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス			
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
26	京都	38	56	115	290	272	520	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800	7,217,030
		94		405		792		0		0		0		0		0		0			
27	大阪	26	108	87	346	212	667	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600	6,850,000
		134		433		879		0		0		0		0		0		0			
28	兵庫	63	93	317	609	683	1273	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1200	2,509,000
		156		926		1956		0		0		0		0		0		0			
29	奈良	21	23	83	91	98	104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	2,936,600
		44		174 (各統4駅納)		202 (各統4駅納)		0		0		0		0		0		0			
30	和歌山	10	12	46	67	100	146	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135	1,205,000
		22		113		246		0		0		0		0		0		0			
31	鳥取	21	20	130	141	265	262	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	585,000
		41		271		527		0		0		0		0		0		0			
32	島根	10	13	47	100	104	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400	2,550,000
		23		147		274		0		0		0		0		0		0			
33	岡山	44	51	220	333	372	414	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	570	960,000
		95		553		786		0		0		0		0		0		0			
34	広島	40	44	200	250	350	400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	1,416,000
		84		450		750		0		0		0		0		0		0			
35	山口	15	24	60	71	129	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400	780,000
		39		131		267		0		0		0		0		0		0			
36	香川	24	29	100	117	155	191	0	0	0	0	0	0	7	0	6	2	6	3	700	726,000
		53		217		346		0		0		0		7		8		9			
37	徳島	18	19	67	106	169	226	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	1,000,000
		37		173		395		0		0		0		0		0		0			
38	愛媛	19	22	107	120	199	220	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330	794,000
		41		227		419		0		0		0		0		0		0			
39	高知	15	24	51	93	110	187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	450	826,000
		39		144		297		0		0		0		0		0		1			
40	福岡	57	63	195	225	228	252	0	0	0	0	0	0	7	0	6	0	4	0	600	3,200,000 (他に下表6台)
		120		420		480		0		0		0		7		6		4			
41	長崎	22	30	49	73	68	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	380	1,930,000
		52		122 (各統2駅納)		170 (各統3駅納)		0		0		0		0		0		0			
42	熊本	51	53	182	193	381	402	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	1,000,000
		104		375		783		0		0		0		0		0		0			
43	佐賀	13	12	55	42	60	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	220	1,200,000
		25		97		107				0		0		0		0		0			
44	大分	9	12	38	42	69	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	720,000
		21		80		143		0		0		0		0		0		0			
45	宮崎	25	33	96	131	197	266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	1,400,000
		58		227		463		0		0		0		0		0		0			
46	鹿児島	27	60	102	231	221	467	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	1,060,000
		87		333		688				0		0		0		0		0			
47	沖縄	25	41	63	100	62	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170	1,260,000
		66		163		155		0		0		0		0		0		0			
平成10年度 計		2005	2621	7214	9836	10890	14286	1	1	1	1	1	1	26	7	38	12	32	19		
平成 9年度 計		2154	2699	8361	11117	12091	15214	0	4	0	4	0	4	48	5	48	26	33	18		
平成 8年度 計		2159	2714	7659	10031	11399	13996	1	3	2	3	2	3	69	22	60	10	41	7		
平成10年度 合計 (及び平成9年度より移籍)		4626 (1227)		16850 (12628)		25176 (12129)		2 (12)		2 (12)		2 (12)		33 (120)		50 (124)		51 (110)		26730 (1248)	101,993,063 (12,073,630)
平成 9年度 合計		4853		19478		27305		4		4		4		53		74		51		26978	104,066,693
平成 8年度 合計		4873		17690		25395		4		5		5		91		70		48		26591	92 785 676

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部規約及び運営に関する内規

第1章　名称及び事務局

第１条　本専門部は全国高等学校体育連盟（以下全国高体連と略称）バドミントン専門部と称する。

第２条　本専門部は会務処理のために、事務局を部長指定の場所に置く。
なお、事務局規程を別に定める。

第2章　目的及び事業

第３条　本専門部は全国高体連規約に基づき、財団法人日本バドミントン協会と緊密な連絡をとり、全国都道府県高等学校におけるバドミントン競技の健全な普及・発展を図ることを目的とする

第４条　本専門部は前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。
１　バドミントン競技に関する調査研究
２　高等学校生徒のバドミントン競技に関する指導奨励
３　全国高等学校総合体育大会の開催に関する審議及び開催
４　全国高等学校選抜バドミントン選手権大会の開催に関する審議及び開催
５　全国各都道府県高体連バドミントン専門部相互の緊密な連絡調整
６　全国高体連との連絡調整
７　関係諸団体との連絡調整
８　関係各種刊行物の発行
９　その他、本専門部の目的達成に必要な事業

第3章　組　織

第５条　本専門部は全国各都道府県高体連バドミントン専門部をもって組織する。

第4章　役員及びその職務

第６条　本専門部には、次の役員を置く。
１　顧　問　若干名
２　部　長　１名
３　副部長　若干名
４　常任委員　９名〔全国各地区（ブロック）より１名〕
５　事務局長　１名
６　事務局員　若干名〔必要により置くことができる〕
７　監　事　２名

第７条　役員選出規程を別に定める。

第８条　各役員の職務は、次のとおりとする。
1　顧問は重要な会務に関し、部長の諮問に応ずる。
2　部長は本専門部を代表し、会務を統括する。
3　副部長は部長を補佐し、部長事故ある時は、常任副部長がその職務を代行する。
4　非常任副部長は全国高等学校総合体育大会開催の準備等全般を行なう。
5　常任委員は会務を処理する。
6　事務局長は別に定める事務局規程により事務を処理する。
7　事務局員は事務局長を補佐する。
8　監事は会計を監査する。

第９条　役員は学校教育法第５０条・第１項に規定する学校長・教頭・教諭の職にある者があたる。ただし、顧問はこの限りではない。

第１０条　1　本専門部の役員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。
なお、監事の任期は２年のみとし、再任はなしとする。
2　補欠又は増員によって就任した役員の任期は，前任者の残任期間とする。

第１１条　本専門部は顧問を置くことができる。

第5章　会　議

第１２条　全国高体連バドミントン専門部会（常任委員会）（以下専門部会と略称）は、次のとおりとする。
1　部長が召集する。
2　定例の専門部会は毎年７月（全国高等学校総合体育大会組み合わせ会議時）・８月（全国高等学校総合体育大会開催時）に開催する。
また、３月の全国高等学校選抜大会開催時に行なうこともある。
3　その他必要がある時は、臨時に開催することができる。
4　専門部会は部長・副部長・常任委員（・事務局長）で構成する。
5　議長は常任副部長があたる。記録は、事務局長があたる。
6　部長・副部長・常任委員の３分の２以上の出席をもって成立する。
7　会議の表決は出席者の過半数の議決で決する。可否同数の場合は議長がこれを決する。
8　専門部会は以下のような会務を行なう。
(1)　全国高体連バドミントン専門部長・委員長会議の議案の作成・審議
(2)　関係諸団体から委託された事項の審議・処理
(3)　関係諸団体で決議された事項の処理
(4)　緊急事項の審議・処理
(5)　その他の会務の審議・処理

第１３条　全国高体連バドミントン専門部長・委員長会議（以下部長・委員長会議と略称）は、次のとおりとする。

1　部長が召集する。
2　役員の承認・予算・決算・規約改正等重要事項を審議する最高議決機関である。
3　定例の部長・委員長会議は、毎年８月（全国高等学校総合体育大会開催時）に開催する。
4　その他必要がある時は、臨時に開催することができる。
5　部長・委員長会議は、顧問・部長・副部長・常任委員・事務局長・監事・各都道府県高体連バドミントン専門部長・同委員長及びその他同会議関係者で構成する。
6　議長は常任副部長があたる。記録は、事務局長があたる。
7　全国都道府県数（４８、北海道は２‥南北）を定数とし、その３分の２以上（委任状含）の出席をもって成立する。なお、出席できない時は、同都道府県内の他の者に代行させるか全国専門部長に委任することができる。（委任状による）
8　会議の表決は出席都道府県（各都府県１票、北北海道１票・南北海道１票、委任状を含）の過半数の議決で決する。可否同数の場合は議長がこれを決する。

第１４条　緊急な事項で部長・委員長会議を開催できない場合は、専門部会がその決定を代行し、次の部長・委員長会議で報告することができる。

第6章　各種委員会

第１５条　本専門部は事業遂行のための必要がある時は、専門部会の審議により各種委員会を設けることができる。
委員会の名称・目的・委員の定数その他必要な事項は専門部会で定める。

第7章　表　彰

第１６条　本専門部において、特に功績のあった者を表彰することができる。
なお、表彰規程を別に定める。

第8章　会　計

第１７条　本専門部の経費は、次にかかげるもので支弁する。

1　全国高体連からの補助金
2　全国各都道府県（４８）からの分担金
3　財団法人日本バドミントン協会からの助成金
4　事業による収入
5　寄付金
6　その他の収入

第１８条　本専門部の会計年度は、毎年４月１日から翌年３月３１日までとする。

第１９条　会計規程を別に定める。

第9章　規約改正

第２０条　本専門部の規約改正は、部長・委員長会議の議決による。

第10章　組み合わせ

第２１条　全国高等学校総合体育大会・全国高等学校選抜バドミントン選手権大会の組み合わせ基準を別に定める。

附　則

本規約にて規定なき細則は、必要に応じて専門部会で作成する。
本規約は、昭和５５年７月３１日に制定する。
本規約は、昭和５５年７月３１日より施行する。
本規約は、平成１０年７月３１日より一部【第４章　第６条・第８条】追加し、施行する。

事務局規程

第１条　本規程は、全国高体連バドミントン専門部規約第１章第２条により、本専門部の円滑な運営をはかるために定める。

第２条　本事務局は、次の事項について事務を処理する。

１　総務関係
(1) 公印の保管
(2) 全国高体連との連絡調整
(3) 財団法人日本バドミントン協会との連絡調整
(4) 関係諸団体との連絡調整
(5) 運営を推進するための業務
(6) その他総務に関わること

２　庶務・文書関係
(1) 文書の収受・処理・発送・整理・保管・処分等
(2) 諸会議の会議録・行事等の記録
(3) 関係各種刊行物の発行
(4) その他庶務に関わること

３　経理関係
(1) 予算・決算
(2) 収入・支出
(3) その他経理に関わること

第３条　事務局長は、部長の指示を受けて事務を処理する。

附　則

本規程は、昭和４７年７月３１日より施行する。

役員選出規程

第１条　全国高体連バドミントン専門部規約第４章第７条により、役員規程を次のように定める。

第２条　本専門部の役員は、専門部会において選出し、部長・委員長会議の承認を得ることを必要とする。

第３条　顧問は、歴代部長及び広く本専門部に関与する者の中より若干名を選出し、部長が推戴する。

第４条　部長は、広く本専門部に関与する者の中より１名を選出し、全国高体連へ報告する。
選出委員会（全国９地区より１名ずつ選出）において選出され、部長・委員長会議において承認を得ることとする。
また、部長は常任委員を兼ねないこととする。

第５条　副部長は、常任者３名以内・非常任者２名とする。
前者は広く本専門部に関与する者の中より、後者は当年度及び翌年度の全国高等学校総合体育大会開催都道府県の（部長）委員長とする。
選出委員会（全国９地区より１名ずつ選出）において選出され、部長・委員長会議において承認を得ることとする。
また、常任副部長は常任委員を兼ねないこととする。

第６条　常任委員は、全国９地区高体連バドミントン専門部より１名ずつ選出された地区（ブロック）推薦委員とし、部長が委嘱する。

第７条　事務局長は、全国都道府県高体連バドミントン専門部より１名を選出し、部長が委嘱する。
また、事務局長は常任委員が兼ねられる。

第８条　事務局員は、必要により広く本専門部に関与する者の中より若干名を選出し、部長が委嘱する。また、事務局員は常任委員が兼ねられる。

第９条　監事は、全国都道府県高体連バドミントン専門部会より２名を選出する。
選出委員会（全国９地区より１名ずつ選出）において選出され、部長・委員長会議において承認を得ることとする。
また、監事は常任委員を兼ねることはできない。

附　則

本規程は、昭和４４年７月３１日より施行する。
本規程は、平成１０年７月３１日より一部【第８条】を追加し、施行する。

表彰規程

第１条　全国高体連バドミントン専門部規約第７章第１６条により、本専門部の振興発展に貢献した個人・団体に対し、その栄誉を顕彰するために次のような表彰規程を定める。

第２条　表彰の種類及び選考（推薦）基準は次のとおりとする。

１．全国高校総合体育大会及び全国高校選抜大会の学校対抗・個人対抗（単・複）において１～３位に入賞した個人・学校を表彰する。

２．大会ごと表彰

(1) 功労賞　全国専門部本部役員を退任した者を表彰する。
（全国高校総合体育大会時に開催される定例の部長・委員長会議において表彰）
ア．部長・副部長
イ．常任委員・事務局長（ともに２期又は４年以上在任した者）

(2) 優秀校賞
ア．全国高校総合体育大会学校対抗に１０の倍数年連続出場した学校を表彰する。
＊１０・２０・３０・４０年～連続出場校
（開会式時において表彰）
イ．全国高校選抜大会学校対抗に１０の倍数年連続出場した学校を表彰する。
＊１０・２０年～連続出場校
（開会式時において表彰）

(3) 感謝状　全国高校総合体育大会開催市町村への感謝状を（財）日本バドミントン協会へ申請する。（開会式時において表彰）

３．特別表彰

＊　１０の倍数大会ごとの記念大会で行うこととし、成績は前回以後の１０年間のものとする。（この１０年間の間に表彰対象者になった学校や個人も含む）
＊　勤務校が変更になった後の成績や男女別での成績は通算で考えることとする。
＊　同一人の表彰は一回一賞とし、同一人が同時に複数の賞の候補者になった場合の賞の選択は、受賞候補者に任せる。
また、功労賞と感謝状の同一人への表彰は、原則として一回限りとする。ただし、過去の受賞後も、特に功績があった者又は同等な功績があった者（功労賞は、原則的に、この１０年間で３期又は６年以上在任した者）はこの限りではない。

(1) 功労賞　各都道府県専門部の部長・委員長で特に功績があった者又は同等な功績があった者（原則的には４期又は８年以上在任した者）を表彰する。
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）

(2) 優秀監督賞
ア．全国高校総合体育大会学校対抗において２回以上優勝した監督を表彰する。（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）
イ．全国高校選抜大会学校対抗において２回以上優勝した監督を表彰する。（全国高校選抜大会監督会議時において表彰）

(3) 全国大会（高校総体・高校選抜）開催都道府県専門部委員長表彰
この１０年間の開催に貢献した委員長を表彰する。
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）

(4) 優秀校賞　ア．この１０年間で１０の倍数を越えた回数出場をした学校を表彰する
（前回と同じ回数での表彰はしない。）
(ｱ) 全国高校総合体育大会学校対抗に数多く出場した学校を表彰する
＊１０・２０・３０・４０回～出場校
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）
(ｲ) 全国高校選抜大会学校対抗に数多く出場した学校を表彰する。
＊１０・２０回～出場校
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）
イ．この１０年間で５回以上優勝した学校を表彰する。
(ｱ) 全国高校総合体育大会学校対抗に数多く優勝した学校を表彰する
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）
(ｲ) 全国高校選抜大会学校対抗に数多く優勝した学校を表彰する。
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）

(5) 特別功労賞　永年にわたり特に本専門部の振興・発展に寄与した個人を表彰する。
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）
ア．元全国専門部長・常任副部長
イ．常任委員（２期以上）
ウ．元地区（ブロック）部長（２期以上）
エ．その他この１０年間で特に功労があり、常任委員会が推薦する者

(6) 感謝状　永年にわたり本専門部の振興・発展に寄与した個人又は団体を表彰する
（全国高校総合体育大会記念式典時において表彰）

第３条　推薦方法は、次のとおりとする。
１．全国専門部（部長・副部長・常任委員・事務局）よりの推薦
２．各都道府県専門部よりの推薦

第４条　受賞候補者の推薦は、次のとおりとする。
１．大会ごとの表彰については、全国専門部が行なうこととする。
２．特別表彰については、本専門部所定の様式により、当該大会開催年６月末日までに専門部長（事務局）あてに送付することとする。
ただし、全国高校選抜大会関係は当該大会開催年１月末日までとする。

第５条　前条において推薦された者については、専門部会において選考決定する。

第６条　表彰は、原則として全国高校総合体育大会は部長・委員長会議か監督会議か開会式又は記念式典で、全国高校選抜大会は監督会議又は開会式で行うこととする。

第７条　表彰は、原則として賞状等を授与する。

第８条　受賞候補者が故人である場合であっても、追彰することとする。

第９条　受賞のために要する経費（旅費・宿泊費）は、本人が負担することとする。

附　則
本規程は、昭和５４年７月３１日より施行する。
本規程は、平成９年７月３１日より一部【第２条２(1)(3)・３(1)(2)(3)(4)・第６条】追加・改正し、施行する。
本規程は、平成１０年７月３１日より一部【第２条２(2)】追加・改正し、施行する。

平成　　年　　月　　日

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　　様

推 薦 団 体 名　　高体連バドミントン専門部

役職名・責任者名　　印

平成　　年度 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部 特別表彰 受賞候補者推薦書

下記のようなことで、受賞候補者を推薦いたします。

該当賞名	表彰候補者名・校名	推　薦　理　由
功　労　賞 (高校総体)		
優秀監督賞 (高校総体)		
優秀監督賞 (高校選抜)		
優秀校賞 (高校総体)		
優秀校賞 (高校選抜)		
感　謝　状 (高校総体)		

＊ 全国高校選抜大会関係は、(第　　回大会) 平成　　年1月末日までに提出して下さい。
＊ 全国高校総体大会関係は、(第　　回大会) 平成　　年6月末日までに提出して下さい。

会計規程

第１条　全国高体連バドミントン専門部規約第８章第１９条により、本専門部の会計の予算・決算、監査および執行に関することについて次のような会計規程を定める。

第２条　本専門部の会計事務を処理するために、会計担当（事務局長が兼務）を置く。

第３条　会計業務の執行は、部長の承認のもとに事務局長が行う。

第４条　本専門部には、次の諸帳簿を備えることとする。
１　予算書
２　予算差引簿
３　現金出納簿
４　預金通帳

第５条　会計の予算・決算の立案・作成、審議、決定又は承認、監査の機関と時期は、次のようなこととする。
１　予算・決算の立案・作成は、部長の指示のもとに事務局長（会計担当が兼務）が行う。
(1) 予算は、前年度中に暫定予算を立案・作成する。
(2) 決算は、原則として会計年度終了後、１ケ月以内に作成する。
２　予算・決算の審議、決定又は承認は、次のようなこととする。
(1) 予算は、当該年度の７月又は８月の専門部会で審議、決定する。
(2) 決算は、翌年度の７月又は８月の専門部会で審議、決定する。
(3) 予算・決算ともに、８月の部長・委員長会議において承認を得るものとする。
３　監査は、７月又は８月の専門部会での審議に先立って、原則として、部長・事務局長立ち会いのもとに受けることとする。

第６条　全国高等学校総合体育大会の１０の倍数回大会開催年度において、記念事業を実施する時は、臨時に分担金を徴収することができる。
徴収する場合の金額は、前年度の専門部会において審議、決定する。

第７条　会計の収支項目及びその内容は、次のようなこととする。
１　収入の部
(1) 繰越金　　前年度決算における差引残高
(2) 分担金
ア　分担金額　　全国各都道府県（４８）から３０，０００円
イ　納入方法　　(ｱ) 所定の口座への振り込み
(ｲ) ８月の部長・委員長会議受付時での現金納入
ウ　臨時徴収額　　専門部会において審議、決定する。
臨時徴収時も上記、納入方法に準ずる。
(3) 補助金・助成金　　全国高体連・財団法人日本バドミントン協会等からの補助金・助成金

(4) 海外派遣基金
　ア　負担対象者　全国高等学校総合体育大会参加申込者（監督・ｺｰﾁ・ﾏﾈｰｼﾞｬｰ・選手）
　イ　分担金額　１名につき２００円
　ウ　納入方法　(ｱ) 所定の口座への振り込み
　　(ｲ) ８月の部長・委員長会議受付時での現金納入
(5) 寄付金　本専門部運営のための寄付金
(6) 雑収入　預金利子及び上記(1) ～(5) 以外の収入

2　支出の部
(1) 事務費
　ア　通信費　郵券・郵便料金・電話電報料金
　イ　印刷費　専門部運営に関する諸印刷費
　ウ　需要費　備品・消耗品費
　エ　事務経費　事務連絡のための旅費・宿泊費・日当
　　（別に定める旅費等の支出に関する基準による）
　オ　会議費　事務関係
　カ　事務雑費　事務執行上の食費、その他の経費
(2) 会議費
　会議費　各種会議における会場費・食料費
(3) 役員経費
　主要役員費　部長・副部長の旅費・宿泊費・日当
　　（別に定める旅費等の支出に関する基準による）
(4) 補助費
　補助費　選抜大会、海外遠征・国際競技会への補助金
(5) 分担費
　分担費　財団法人日本バドミントン協会への分担金
(6) 記念事業費
　積立費　１０の倍数記念大会での記念事業のための特別積立金

(7) 雑費（上記(1) ～(6) 意外の諸経費）
　ア　慶弔費　　別に定める『慶弔費等の支出に関する内規』による
　イ　見舞金　　同上
　ウ　表彰費　　同上
(8) 予備費（次年度への繰越金を含む）

附則
本規程は、昭和５５年７月３１日より施行する。

『慶弔費等の支出に関する内規』

1　この内規における対象者は次のとおりとする。
　(1) 全国高体連バドミントン専門部役員（顧問・部長・副部長・常任委員・事務局長）
　　（なお、永年に亘り本専門部の役員として貢献した者については、部長の判断により別に考慮する）
　(2) 全国高校総合体育大会・全国高校選抜大会に参加した引率教師・監督・コーチ・マネージャー・選手・大会役員・競技役員
　　〔ただし、競技会（大会）開催期間のみ適用〕
　(3) 全国高体連主催又は全国高体連バドミントン専門部主催・主管の合宿・講習会に参加した引率教師・選手・指導者・役員
　　〔ただし、合宿・講習会開催期間のみ適用〕
　(4) 全国高体連又は全国高体連バドミントン専門部が関与する海外遠征・国際競技会（国際大会）に参加した監督・コーチ・選手・役員
　　〔ただし、海外遠征・国際競技会（国際大会）開催期間のみ適用〕
2　弔辞に対する儀礼、疾病及び障害に対する見舞金・保険金、大会ごと表彰・特別表彰に関わる費用、海外遠征・国際競技会（国際大会）出場に関わる補助金の支出については、次のとおりとする。詳細は部長の指示による。
　(1) 弔辞に対する儀礼
　　上記(1) (2) (3) (4)対象者が死亡の場合➡１０，０００円・花輪１基
　(2) 疾病及び障害に対する見舞金
　　上記(1) 対象者が疾病又は障害により１ケ月以上の入院加療を要した場合➡１０，０００円
　　（該当者等からの全国専門部長への請求による）
　(3) 大会ごと表彰・特別表彰に関わる費用
　(4) 海外遠征・国際競技会（国際大会）出場に関わる補助金
3　その他必要と思われる場合については、専門部会での検討・決定又は部長の指示により決定する。

附則
本内規は、昭和５５年７月３１日より施行する。
本内規は、平成９年７月３１日より一部【附則】改正し、施行する。

『旅費等の支出に関する基準』

1　全国高校総合体育大会関係

(1) 全国高校総合体育大会関係打ち合わせ・視察‥‥部長・副部長
➡開催都道府県が負担

(2) （７月）全国高校総合体育大会組み合わせ会議
‥‥部長・副部長・常任委員・事務局長
➡開催都道府県が負担

(3) （８月）全国高校総合体育大会
‥‥部長・副部長・競技役員
➡開催都道府県が負担

2　全国高校選抜大会関係

(1) （２月）全国高校選抜大会組み合わせ会議 ‥‥ 部長・副部長・事務局長
➡開催都道府県が負担

(2) （３月）全国高校選抜大会 ‥‥ 部長・副部長・事務局長
➡開催都道府県が負担

3　関係会議関係

(1) 全国高体連会議‥‥部長
➡全国高体連が負担

(2) （財）日本バドミントン協会関係会議‥‥部長
➡（財）日本バドミントン協会が負担

(3) その他関係諸会議‥‥部長（・副部長）
➡関係団体が負担

4　受賞に関わる経費

(1) 全国専門部よりの推薦者
➡原則としては、受賞候補者本人が負担

(2) 都道府県専門部よりの推薦者
➡受賞候補者の当該推薦専門部（都道府県専門部）が負担

5　支給基準（全国専門部が旅費を負担する場合には以下の基準による）

(1) 交通費は、勤務先と用務先との最寄り駅により起算する。

(2) 勤務先と用務先との距離が100 Km以上あり、新幹線を利用した方がよい場合には、新幹線料金を支給する。
ただし、新幹線利用距離が100 Km以上の場合とする。

(3) 航空運賃は、長期休業中でない場合に、用務時間と旅行経路とを考慮して支給する。ただし、長期休業中はすべて陸路での計算とする。

(4) 全国専門部役員と都道府県委員長を兼ねている者は、所属都道府県高体連より支給されない部分を支給する。

(5) 本専門部の用務期間中に、他の用務で他の団体等からの旅費等（交通費・宿泊費・日当）の支給があった場合には支給しない。

(6) 全国高校総合体育大会関係用務の場合には、全国高校総合体育大会旅費支給基準による。それ以外の用務については、下記支給基準による。

対象者	顧問・部長・副部長（・常任委員）・事務局長（・監事）
宿泊費	全国高校総体・全国高校選抜大会関係の場合➡大会規定料金 規定料金・指定料金のない場合➡実費 用務の日程・内容により泊数を配慮する
日　当	全国高校総合体育大会支給基準による

費　目	交通機関距離	普通旅客運賃	急行指定運賃	特急指定料金	新幹線指定料金	特急B寝台料金
旅　費	～100Km	○	○			
	101Km ～300Km	○		○ または ○		
	301Km ～500Km	○		○ または ○		
	501Km ～700Km	○		○ または ○	または ○	
	701Km ～	○		○ または ○	または ○	

附則

本基準は、昭和５５年７月３１日より施行する。
本基準は、平成９年７月３１日より一部【慶弔費等の支出に関する内規の４、旅費等の支出に関する基準の５(6) の日当部分】改正し施行する。

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長・委員長会議を欠席する場合には、委任状をお願いします。

平成＿＿年＿＿月＿＿日

委　任　状

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　様

＿＿＿＿＿都・道・府・県　高体連バドミントン専門部

委　員　長＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

平成　　年度全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長・委員長会議　の案件の議決・承認に関しては、一切　全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　に一任いたします

組み合わせ基準

第１条　全国高体連バドミントン専門部規約第１０章第２１条により、全国高等学校総合体育大会（バドミントン競技）の組み合わせ基準を次のように定める。

(1)学校対抗

第１条件　前年度ベスト８入賞校を入れる。

※　ベスト５～８入賞校➡前年度全国高校選抜大会を優先する
（ベスト４は４分割する）

第２条件　開催都道府県予選１位校が第１条件によって入っていない時は入れる

第３条件　前年度全国高校選抜大会ベスト４入賞校が第１条件・第２条件によって入っていない時は入れる

※　ベスト４は４分割する

※　同地区（ブロック）はベスト５～８を考える

第４条件　第１条件～第３条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表校（１校）が入っていない時は入れる

第５条件　第１条件～第３条件によって入っている地区（ブロック）で第１代表校（１校）が、まだ入っていない時は入れる

第６条件　開催都道府県予選２位校が第１条件～第５条件によって入っていない時は入れる

第７条件　各地区（ブロック）の第２代表校（１校）が第１条件～第６条件によって入っていない時は入れる

※　上記の条件を参考にしてシードを決定する
残りはフリー抽選とする

※　試合番号　１・９・１０・１７に入るのは、同地区（ブロック）からは２つまでとする。

※　初回戦が前年度と同対戦にならないようにする

(2)個人対抗（複）

第１条件　前年度ベスト８入賞者を入れる。

※　ベスト５～８入賞者➡前年度全国高校選抜大会を優先する
（ベスト４は４分割する）

第２条件　前年度全国高校選抜大会ベスト４入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる

※　ベスト４は４分割する

第３条件　開催都道府県予選１位者が第１条件・第２条件によって入っていない時は入れる

第４条件　前年度ベスト１６入賞者が第１条件～第３条件によって入っていない時は入れる

第５条件　前年度全国高校選抜大会ベスト８入賞者が第１条件～第４条件によって入っていない時は入れる

第６条件　第１条件・第２条件・第４条件・第５条件の該当者でパートナーの変更（組替え）によって残された者がいる時は、第１条件から順に入れる

第７条件　第１条件～第６条件によって入っていない地区（ブロック）の１位者を入れる

第８条件　開催都道府県予選２位者が第１条件～第７条件によって入っていない時は入れる
第９条件　各地区（ブロック）からの推薦によって入れる
※　上記の条件を参考にしてシードを決定する
残りはフリー抽選とする
※　試合番号　１・１７・１８・３４に入るのは、同地区（ブロック）からは２つまでとする
※　初回戦が前年度と同対戦にならないようにする

(3) 個人対抗（単）
第１条件　前年度ベスト８入賞者を入れる
※　ベスト５～８入賞者➡前年度全国高校選抜大会を優先する
（ベスト４は４分割する）
第２条件　前年度全国高校選抜大会ベスト４入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる
※　ベスト４は４分割する
第３条件　開催都道府県予選１位者が第１条件・第２条件によって入っていない時は入れる
第４条件　前年度ベスト１６入賞者が第１条件～第３条件によって入っていない時は入れる
第５条件　前年度全国高校選抜大会ベスト８入賞者が第１条件～第４条件によって入っていない時は入れる
第６条件　第１条件～第６条件によって入っていない地区（ブロック）の１位者を入れる
第７条件　開催都道府県予選２位者が第１条件～第６条件によって入っていない時は入れる
第８条件　各地区（ブロック）からの推薦によって入れる
※　上記の条件を参考にしてシードを決定する
残りはフリー抽選とする
※　試合番号　１・１７・１８・３４に入るのは、同地区（ブロック）からは２つまでとする
※　初回戦が前年度と同対戦にならないようにする

第２条　全国高体連バドミントン専門部規約第１０章第２１条により、全国高等学校選抜バドミントン大会の組み合わせ基準を次のように定める。

(1) 学校対抗
第１条件　前年度ベスト８入賞校を入れる
第２条件　開催都道府県１位校が第１条件によって入っていない時は入れる
第３条件　全国高校総合体育大会ベスト８入賞校が第１条件・第２条件によって入っていない時は入れる
第４条件　第１条件～第３条件によって入っていない地区（ブロック）の１位校を入れる

※　ストレート出場の東京（男女）・神奈川（男女）・埼玉（男女）・大阪（女）も１つの地区と考える
※　上記の条件を参考にしてシードを決定する
残りはフリー抽選とする
※　初回戦が前年度と同対戦にならないようにする

⑵個人対抗（複）

第１条件　前年度ベスト８入賞者を入れる
第２条件　開催都道府県１位者が第１条件によって入っていない時は入れる
第３条件　全国高校総合体育大会ベスト８入賞者が第１条件・第２条件によって入っていない時は入れる
第４条件　第１条件・第３条件の該当者でパートナーの変更（組替え）によって残された者がいる時は、第１条件・第３条件の順に入れる
第５条件　第１条件～第４条件によって入っていない地区（ブロック）の１位者を入れる
※　上記の条件を参考にしてシードを決定する
残りはフリー抽選とする
※　初回戦が前年度と同対戦にならないようにする

⑶個人対抗（単）

第１条件　前年度ベスト８入賞者を入れる
第２条件　全日本ジュニア選手権大会ベスト４入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる
※　ベスト４は４分割する
第３条件　開催都道府県１位者が第１条件・第２条件によって入っていない時は入れる
第４条件　全国高校総合体育大会ベスト８入賞者が第１条件～第３条件によって入っていない時は入れる
第５条件　第１条件～第４条件によって入っていない地区の１位者を入れる
※　上記の条件を参考にしてシードを決定する
残りはフリー抽選とする
※　初回戦が前年度と同対戦にならないようにする

附記

本基準は、昭和５５年７月３１日より施行する。
本基準は、平成９年７月３１日より一部【『条件』という表現、第１条⑴ 第１条件の※と第７条件の※、第１条⑵ 第１条件の※と第９条件の※、第１条⑶ 第１条件の※と第８条件の※、第２条⑴ 第４条件の※、第２条⑵ 第５条件の※、第２条 ⑶ 第５条件の※、附記】追加・改正し施行する。

創立50周年記念事業協賛者芳名（敬称略）

YONEX®

元全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　遠井稔男

GOSEN 株式会社ゴーセン

学校法人千葉敬愛学園
（敬愛大学・千葉敬愛短期大学・敬愛高等学校・千葉敬愛高等学校・千葉敬愛短期大学付属幼稚園）

アサヒ印刷株式会社（埼玉県鴻巣市）

前全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　大世古吉弘

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　保坂和也

香川県高等学校体育連盟バドミントン専門部

株式会社今泉繊維（群馬県桐生市）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部副部長　成田光生

群馬県高等学校体育連盟バドミントン専門部

三重県高等学校体育連盟バドミントン専門部

株式会社カネマス（埼玉県羽生市）

全日本学生バドミントン連盟　堀江　繁

シャディ岩下美宝有限会社（山梨県甲府市）

埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部

西島手漉紙工業組合青年部（山梨県南巨摩郡中富町）

有限会社アライヤ写真店（埼玉県行田市）

関東高等学校体育連盟バドミントン専門部長　高橋英夫

千葉県高等学校体育連盟バドミントン専門部

株式会社 オーディオ ビジュアル ネットワーク
代表取締役 久保田健夫

グリーンスポーツ
〒857 佐世保市汐見町5-10
電話(0956)31-0373番

バドミントンハウス
はりーあっぷ
ツーオースグループ
・バドミントン・テニス用品
・ラケット張替
〒474-0036 大府市月見町五丁目32番地
TEL・FAX 0562-44-5529

静岡県袋井市川井428
山田スポーツ
TEL (0538)42-2567

株式会社大阪フォトサービス（大阪府大阪市西区）
株式会社しなのメイト（長野県埴科郡坂城町）
株式会社アシックス（埼玉県大宮市）
三洋電機株式会社（大阪府大東市）
東海興業株式会社 取締役社長 木村勝昭
トヨタ自動車株式会社バドミントン部（愛知県豊田市）
ラケットショップノナカ（愛知県名古屋市）
松浦運動具店（長崎県長崎市）
有限会社ラケットショップスガワラ（札幌市中央区）
ラケットハウスグリップ（埼玉県大宮市）

株式会社ニューオークラ（東京都江戸川区）
コイケスポーツ株式会社（佐賀県佐賀市）
株式会社大修館書店（東京都千代田区）
東北電力株式会社新潟支店 常務取締役・新潟支店長 青木　譲
ナガセケンコー株式会社 代表取締役 長瀬二郎
エジンバラ（群馬県太田市）
三菱自動車・京都バドミントン部（京都府京都市右京区）
有限会社クマガヤスポーツ（埼玉県熊谷市）
ラケットショップハマナカ（愛媛県松山市）浜中　勉

佐賀女子短期大学

甲府湯田高等学校
松山大学バドミントン部
山梨県立増穂商業高等学校バドミントン部ＯＧ会
沼津市バドミントン協会
高知県バドミントン協会 顧問 結城健輔 理事長 谷岡敏男
日本体育大学学友会バドミントン部長 関根義雄
茨城県高等学校体育連盟バドミントン専門部
愛媛県高等学校体育連盟バドミントン専門部
静岡県高等学校体育連盟東部バドミントン専門部
富山県高等学校体育連盟バドミントン専門部
新潟県高等学校体育連盟バドミントン専門部
福井県高等学校体育連盟バドミントン専門部

学校法人純美禮学園 滋賀女子短期大学バドミントン部
明治大学体育会バドミントン部 部長 杉恵惇宏
山梨県バドミントン協会
佐世保市バドミントン協会
静岡県教職員バドミントン連盟
静岡県バドミントン協会理事長 石川博義
埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部長 久保田宇作
岩手県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長 伊藤張二
石川県高等学校体育連盟バドミントン専門部
静岡県高等学校体育連盟西部バドミントン専門部
東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部
長野県高等学校体育連盟バドミントン専門部

中尾勘治（長崎県佐世保市）
森俊弘（長崎県諫早市 創成館高等学校）
ラケットショップアッド（香川県高松市）
愛知淑徳高等学校
千葉県昭和学院高等学校 牧野建夫
愛知県立天白高等学校バドミントン部
群馬県立伊勢崎東高等学校バドミントン部
埼玉県立上尾高等学校バドミントン部
栃木県立小山城南高等学校バドミントン部
栃木県立宇都宮南高等学校バドミントン部
埼玉県立行田女子高等学校バドミントン部ＯＧ会
千葉県バドミントン協会理事長 有瀬浩一
岩手県高等学校体育連盟バドミントン専門部副委員長 永澤和彦
東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部副委員長 稲石一雄
長崎県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長 春野良三
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（関東） 伊佐山正和
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（北海道） 河崎正紀
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（東北） 木戸純一
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（東海） 平田欽也
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（北信越） 和田修
前千葉県高等学校体育連盟バドミントン専門部長 林眞示
元山梨県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長 秋山文太郎
栃木県高等学校体育連盟バドミントン専門部

一橋出版株式会社（埼玉県吉川市）
山根怜（鳥取県米子市）
愛国学園大学
茨城県立竹園高等学校 緒方和也
岡崎城西高等学校バドミントン部
小松原高等学校バドミントン部
鳥取県立倉吉工業高等学校バドミントン部
栃木県立真岡女子高等学校バドミントン部
作新学院高等部バドミントン部
群馬県立桐生女子高等学校バドミントン部ＯＧ会
甲府市立甲府商業高等学校バドミントン部翔友会
佐賀県バドミントン協会長 木原逸夫
佐賀県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長 築地孝彦
東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部副委員長 関根忠
福岡県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長 浜司晃
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（中国） 石田賢一
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（四国） 岸輝人
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（近畿） 濱久美雄
全国高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員（九州） 吉田信之
前鳥取県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長 小谷章公
前山梨県高等学校体育連盟バドミントン専門部長 木藤勇興
鳥取県高等学校体育連盟バドミントン専門部

編　集　後　記

この度、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立５０周年を迎えるに当たり、記念誌を作成することになりました。

皆様の推挙により専門部長の大任をまかせられ、右も左も解らないことばかりの中で準備をスタートさせました。期間は２年間、はたして完成まで持っていけるのか不安の中、遠井稔男先生、大世古吉弘先生を始めとした諸先輩のアドバイスのもとに半世紀の記録、出来事の写真や資料の収集から手をつけ始めました。毛利清志先生（元山陽女子高校）を始め多くの方々の協力を得ながら収集につとめてまいりましたが、古い写真や資料についてはなかなか収集が難しく、充分に集めることができなかったことは非常に残念でした。充分な時間をかけて掘り起こしていけば、全国のどこかに眠っている資料が発見できるのでないかと思います。

今後、各地の先生方の協力を得る中で、全国専門部としても資料の発掘と保存を真剣に考えていかなければならないと思います。そして、次の機会に更に補正や修正が加えられ、立派な記念誌が刊行されることを念願いたします。

２０回を越える埼玉県での打ち合わせや準備を重ねた結果、やっと完成させることができました。この間、昼夜を問わない伊佐山正和事務局長（現副部長）のご努力を始め、ご多忙中にも関わらず貴重な資料を提供して戴いた各位、原稿をお寄せいただいた方々、また積極的にご指導、ご協力下さいました関係各位並びに５０周年記念事業の趣旨に賛同いただき、多大なるご援助を賜りました企業、団体、個人各位に衷心より感謝の意を表します。

翔 創立50周年記念誌

平成11年7月12日発行

編　集　全国高等学校体育連盟バドミントン専門部

発　行　創立50周年記念事業実行委員会
〒400-0502 山梨県南巨摩郡増穂町最勝寺1372
山梨県立増穂商業高等学校内　保坂和也

事務局　全国高等学校体育連盟バドミントン専門部
〒360-0843 埼玉県熊谷市三ヶ尻2066
埼玉県立熊谷西高等学校内　伊佐山正和

印　刷　アサヒ印刷株式会社
〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町4－3－23
TEL 048－541－5152(代)